V801SH 基本操作編

V801SH 基本操作編

This Manual includes an English Abridgement

Global Standard

V801SH
基本操作編

vodafone™

vodafone

V801SH 取扱説明書 基本操作編

2004年４月　第１版

ボーダフォン株式会社

※ ご不明な点はお求めになられた
ボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：V801SH
製造元：シャープ株式会社

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※ 回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。

※ プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（メモリダイヤル・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。

この印刷物は、再生紙を使用しています。

この印刷物は、植物性大豆油インキで印刷しています。

TINSJ2154AFZZ
04C 00.0 YM TK508①

はじめに

このたびは、「V801SH」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

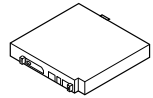
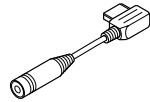
- V801SHをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
- V801SHのボーダフォンライブ！に関する説明は付　のVodafone live!編をご参照ください。
- 本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
- 本書を万一紛失または損傷したときは、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。
- ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

V801SHは、ボーダフォングローバルスタンダード対応携帯電話です。W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

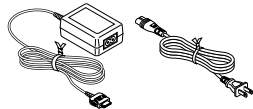
ご注意

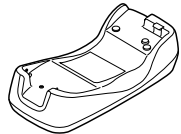
- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたらお問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

■電池パック（SHBR01）※
（1タイプ　リチウムイオンバッテリー）

■急速充電器（SHCR01）※
（本体）　（電源コード）

■卓上ホルダー（SHER01）※

■アナログ変換ケーブル

■光デジタル変換プラグ

■ステレオヘッドホン★

■SDメモリカード★

■USB HOST Driver for V801SH（CD-ROM）
（USBホストドライバ）

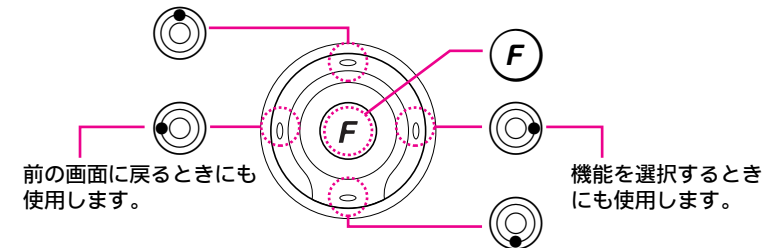
※オプション品としても取り扱いしております。
★試供品としてご提供させていただいているものです。

●付属品／オプション品につきましては、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

本書の見かた

本書では、V801SHを開いた状態での操作を中心に説明しています。
また、本書で記載されている画面は、あくまでも例であり、登　状況などによっては、記載されている画面の内容や番号が実際の画面とは異なります。操作の目安としてご利用ください。
なお、点線で囲んだ画面は、サブディスプレイ（☞P.1-14）を示しています。

マルチガイドボタン

メニュー項目を選ぶときやカーソルを移動するとき、画面をスクロールするときは、マルチガイドボタンを使用します。
なお、本書では、マルチガイドボタンでの操作を次のように表記しています。

●使用するボタンによって、次のように表記しています。
- ■◎または◎を押すとき ……………◎
- ■◎または◎を押すとき ……………◎
- ■◎◎◎◎を押すとき ………………◎

本書の表記

■本文中のマークの表記

◎：Vodafone live!編を示しています。

■補足操作の表記

目　次

6 カメラ機能

7 ディスプレイ設定

8 音の設定

9 マルチメディア機能

10 メモリカード

10 メモリカード

11 データ管理

12 赤外線通信

13 セキュリティ機能

13 セキュリティ機能

14 その他の機能

15 オプションサービス

16 Abridged English Manual

17 付録

安全上のご注意

- ご使用の前に、「**安全上のご注意**」をよくお読みのうえ正しくお使いください。
  また、お読みになったあとは必要なときにご覧になれるよう、大切に保管してください。
- ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

ご使用の前に

■絵表示について

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな絵表示をしています。
その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みください。

	危険	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れが高い内容を示しています。**
	警告	**誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う恐れがある内容を示しています。**
	注意	**誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受ける恐れがある内容を示しています。**

■絵表示の意味

記号は	記号は	記号は
してはいけないこと(禁止)を表しています。	**しなければならないこと(強制)を表しています。**	**気をつける必要があることを表しています。**

⚠危険

V801SH、電池パック、充電器の取り扱いについて(共通)

V801SHに使用する充電器および電池パック、卓上ホルダーは、ボーダフォンが指定したものを使用する(☞P.ii)

指定品以外のものを使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂させる原因となります。また、充電器が発熱したり、故障・感電・火災の原因となります。

充電端子どうしを金　などで接触させない

充電端子を針金などの金属類(金属製のストラップなど)で接触させないでください。また、金属製のネックレスやヘアピンなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火・感電により、やけどやけがの原因となります。専用ケースなどに入れて持ち運んでください。

電池パックの取り扱いについて

**電池パックを充電するときや、使用するときは、必ず次のことを守ってください。
正しく使用しないと、電池パックの液が漏れたり、発熱・破裂・発火により、やけどやけがの原因となります。**

- 加熱したり、火の中へは投げ込まないでください。
- 分解・改造・破壊しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、ハンダ付けをしないでください。
- 外傷、変形の著しい電池パックは使用しないでください。
- 充電するときは、専用の充電器以外は使用しないでください。
  (☞P.ii)
- 電池パックを V801SH に装着する場合、うまく装着できないときは、無理に装着しないでください。
- 火のそばや、ストーブのそば、炎天下など、高温の場所での充電・使用・放置はしないでください。
- 付属品の電池パックは、V801SH専用です。それ以外の機器には使用しないでください。

電池パックが漏液して液が目に入ったときは、こすらずに、すぐにきれいな水で十分に洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。

目に障害を与える恐れがあります。

⚠警告

V801SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

内部に物や水などを入れない
V801SHや充電器、卓上ホルダーの開口部から内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子さまのいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所などの、湿気の多い所では使用しない
火災・感電の原因となります。

水などの入った容器を近くに置かない
V801SHや充電器、卓上ホルダーの近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

引火、爆発の恐れがある場所では使用しない
プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させない
視力傷害の原因になります。
また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

SDメモリカードやアナログ変換ケーブル、光デジタル変換プラグを乳幼児の手の届く所に置かない
誤って飲み込む恐れがあります。万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

電子レンジや高圧容器に、電池パックやV801SH、充電器、卓上ホルダーを入れない
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させたり、V801SHや充電器、卓上ホルダーの発熱・発煙・発火や回路部品を破壊させる原因となります。

分解や改造はしない
- V801SHや充電器、卓上ホルダーのキャビネットは、開けないでください。感電やけがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、ボーダフォンの故障受付窓口にご依頼ください。
- V801SHや充電器、卓上ホルダーを改造しないでください。火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは
V801SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

V801SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

衝撃を与えない
V801SHや充電器、卓上ホルダーを持ち運ぶときは、落としたり、衝撃を与えないようにしてください。けがや故障の原因となります。
万一、V801SHや充電器、卓上ホルダーを落とすなどして、キャビネットを破損したときは、電池パックを外して、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

異常が起きたら
万一、異常な音がしたり、煙が出たり、へんな臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは、V801SHの電源を切って電池パックを取り外し、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いてボーダフォンの故障受付窓口に修理を依頼してください。
異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

V801SHの取り扱いについて

事故防止のために
- 自動車や自転車などの乗物を運転するときは、V801SHを絶対にお使いにならないでください。安全走行を損ない事故の原因となります。車などを安全な所に止めてからご使用ください。
- 自動車やバイク、自転車などの運転中は、ステレオヘッドホンを絶対に使わないでください。
交通事故の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げすぎないでください。特に、踏切や横断歩道などでは、十分に気をつけてください。
交通事故の原因となります。

アンテナ・ストラップを持ってV801SHを振り回したり、投げない
本人や他人に当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

航空機内では、V801SHの電源を切る
電波の影響で航空機の電子精密機器の故障の原因および安全に支障をきたす恐れがあります。

バイブレータや着信音の設定に注意する
心臓の弱い方は、設定に注意してください。

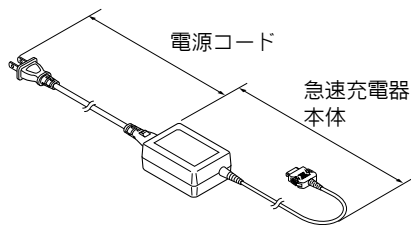
屋外で使用中に、雷が鳴りだしたら、すぐに電源を切って安全な場所に移動する
落雷・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

指定以外の電圧では使用しない

指定された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

- **急速充電器**
  AC100V

■急速充電器本体は、AC100V～240Vの家庭用電源に対応しております。
■付属品の電源コードは国内専用です。海外では使用しないでください。海外で充電器を使用する場合、渡航先に対応した電源コードをお買い求めのうえご使用ください。
■海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いかねます。

- **シガーライター充電器**
  DC12／24V

市販の「変圧器」は使用しない

急速充電器を、海外旅行用として市販されている「変圧器」などに接続しますと、火災・感電・故障の原因となることがあります。

シガーライター充電器はプラスアース車には使用しない

シガーライター充電器は、マイナスアース車専用です。
プラスアース車には使用しないでください。火災の原因となります。

充電器の取り扱いについて

- 濡れた手でプラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- タコ足配線はしないでください。発熱により火災の原因となります。
- コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、加工したりしないでください。また、重い物を乗せたり、加熱したり、引っぱったりすると、コードが破損し、火災・感電の原因となります。

接続コネクターの端子をショートさせない

接続コネクターの端子を金属類でショートさせないでください。
充電器が発熱したり、発火・感電の原因となります。

卓上ホルダーは自動車内で使用しない

卓上ホルダーを自動車内で使用しないでください。
過大な温度と振動により、火災・故障の原因となることがあります。

事故防止のために

シガーライター充電器は、運転に支障のない位置に取り付けてください。
取り付けが不十分な場合、落ちたりして、けがや事故の原因となります。

急速充電器コードやシガーライターコードが傷ついたときは
（芯線の露出、断線など）

ボーダフォンの故障受付窓口に交換をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠警告

充電器の取り扱いについて

雷が鳴りだしたら

安全のため早めに急速充電器のプラグをACコンセントから抜いておいてください。
火災・感電・故障の原因となります。

充電器や卓上ホルダーは、乳幼児の手の届かない所で使用・保管する

感電・けがの原因となります。

電池パックの取り扱いについて

- 充電の際に所定充電時間を超えても充電が完了しないときには、充電をやめてください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 電池パックが漏液したり、異臭がするときには直ちに火気より遠ざけてください。
  漏液した電解液に引火し、発火・破裂する原因となります。

電池パックの使用中や充電中または保管時に異臭を感じたり、発熱したり、変色・変形など、今までと異なることに気がついたときには、V801SHから取り外し、使用しないでください。
そのまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させる原因となります。

医用電気機器の近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成９年４月］）に準拠、ならびに「電波の医用機器等への影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人　電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

満員の電車など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、V801SHの電源を切るようにしてください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には、V801SHを持ち込まない。
- 病棟内ではV801SHの電源を切る。
- ロビー等であっても、付近に医用電気機器がある場合は、V801SHの電源を切る。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示にしたがう。

自宅療養等医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカ等にご確認ください。

⚠注意

V801SH、電池パック、充電器の取り扱いについて（共通）

置き場所について

- ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。
- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。火災・事故の原因となることがあります。
- 冷気が直接吹きつける所へは置かないでください。
  露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。
- 直射日光が長時間当たる場所（特に密閉した自動車内）や暖房器具の近くには置かないでください。
  キャビネットが変形・変色したり、火災の原因となることがあります。
  また、電池パックが変形して、使用できなくなることがあります。

置き場所について（続き）

- 極端に寒い場所に置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。
- 火気の近くに置かないでください。故障や事故の原因となることがあります。

使用場所について

- ほこりの多い所では使わないでください。放熱が悪くなり、焼損・発火の原因となることがあります。
- 海辺や砂地など内部に砂の入りやすい所で使用しないでください。
  故障や事故の原因となることがあります。
- キャッシュカード、テレホンカードなどの磁気を利用したカード類をV801SHや充電器に近づけないでください。カードに記　されているデータが消えることがあります。

V801SHの取り扱いについて

真夏の自動車内など、高温になる場所には置かない

V801SHのキャビネットが熱くなり、やけどの原因となることがあります。

音量の設定について

音量の設定については、十分に気をつけてください。
思わぬ大音量が出て、耳を痛める原因となることがあります。
また、耳をあまり刺激しないように適度な音量でお楽しみください。

ステレオヘッドホンやアナログ変換ケーブル、光デジタル変換プラグの取扱いについて

- 抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードを持って抜くと、断線や故障の原因となることがあります。
- プラグはいつもきれいにしておいてください。
  プラグが汚れていると雑音が出たり、誤動作の原因となることがあります。

自動車内でご使用のとき

V801SHを自動車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を及ぼすことがあります。

⚠注意

V801SHの取り扱いについて

皮膚に異常が生じたときは、ただちに使用をやめ医師の診断を受ける。

下記の箇所に金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。

使用箇所	使用材質、表面処理
キャビネット（メインディスプレイ側）	マグネシウム合金／アクリル系焼付け塗装処理（下地：エポキシ系焼付け塗装）
キャビネット（サブディスプレイ側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
背面飾り	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
ディスプレイ窓	アクリル樹脂
サブディスプレイ窓	アクリル樹脂／表面UVコート処理ダブルインモールド箔
カメラ飾り	ABS樹脂（クロムメッキ/下地：ニッケル）
カメラ透明窓	アクリル樹脂
ネジカバー（ディスプレイ上側）	ウレタン樹脂
ネジカバー（ディスプレイ下側）	ウレタン樹脂
サイドキー	PC樹脂／エラストマー樹脂
接写スイッチ	ABS樹脂（クロムメッキ/下地：ニッケル、銅）/PC樹脂
キャビネット（操作ボタン側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
キャビネット（電池パック側）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
電池カバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
Fボタン	PC樹脂
マルチガイドボタン	PC樹脂／ABS樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル）
ボーダフォンライブ！ボタン、ダイレクトボタン	PC樹脂／ABS樹脂／クロムメッキ（下地：ニッケル）
電源（PWR）ボタン、開始ボタン	PC樹脂
ダイヤルボタン、クリアボタン、スケジュール／メモボタン、文字ボタン	PC樹脂
メモリカードスロットカバー	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理（下地：アクリル系塗装）
イヤホンマイク端子カバー	エラストマー樹脂
外部接続端子カバー	エラストマー樹脂
ネジカバー（電池カバー下）	シリコン樹脂
電池パック	PC樹脂
充電端子	リン青銅/金メッキ（下地：ニッケル）
ネジ（メインディスプレイ側）	SWCH12A／Niメッキ
ネジ（操作ボタン側）	SWCH12A／Niメッキ
ヒンジカバー	PC樹脂/ABS樹脂/クロムメッキ（下地：ニッケル、銅）
アンテナ	エラストマー樹脂
USIMカバー	ABS樹脂
USIMピン	SUS
アンテナ端子カバー	PC樹脂

⚠注意

充電器の取り扱いについて

急速充電器の電源コードやシガーライター充電器コードの取り扱いについて

- プラグを抜くときは、コードを引っぱらないでください。コードを引っぱるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
  急速充電器やシガーライターのプラグを持って抜いてください。
- コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。
- AC コンセントやシガーライターソケットへの差し込みがゆるくぐらついていたり、コードやプラグが熱いときは使用を中止してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。
- シガーライターソケットの中は、きれいにしておいてください。灰などで汚れているときは、プラグを接続しないでください。発熱によりやけどの原因となることがあります。

通電中は卓上ホルダーに長時間触らない

低温やけどの原因となります。

指定以外のヒューズは使用しない

シガーライター充電器のヒューズは、1A（アンペア）のものを使用してください。

指定以外のヒューズを使用したり、針金などで代用すると、火災・故障の原因となります。

風通しの悪い場所では使用しない

充電器や卓上ホルダーは風通しのよい状態でご使用ください。

布や布団でおおったり、つつんだりしないでください。

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

エンジンが切れた状態では使用しない

シガーライター充電器をご使用になるときは、必ずエンジンをかけておいてください。エンジンを切ったまま使用すると、車のバッテリーを消耗させる原因となることがあります。

長期間ご使用にならないとき

安全のため、必ず急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて、V801SHを取り外してください。

お手入れのときは

安全のため、急速充電器はプラグをACコンセントから抜いて、シガーライター充電器はプラグをシガーライターソケットから抜いて行ってください。感電ややけがの原因となることがあります。

シガーライター充電器のケーブル類の配線について

ケーブル類の配線は、運転または車の乗降に支障がないようにご注意ください。けがや事故の原因となることがあります。

⚠注意

電池パックの取り扱いについて

衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。

発熱・破裂・発火の原因となることがあります。

電池パックを直射日光の強い所や炎天下の車内などの高温の場所で使用したり、放置しないでください。

発熱・発火・電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。

水や海水などにつけたり、濡らさないでください。

電池パックの破損や性能・寿命を低下させる原因となることがあります。

電池パックが漏液して液が皮膚や衣類に付着したときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚がかぶれたりする原因となることがあります。

- 不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
  電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。
- 電池パックは乳幼児の手の届かない所に保管してください。けがなどの原因となることがあります。また、使用する際にも乳幼児が機器から取り外さないように注意してください。

- 電池パックの充電温度範囲は5 ℃～35℃です。この温度範囲以外で充電すると、漏液や発熱したり、電池パックの性能や寿命を低下させる原因となることがあります。
- 電池パックをお子さまがご使用のときは、保護者が取扱説明書の内容を教えてください。
  また、使用中においても、取扱説明書のとおりに使用しているかどうかをご注意ください。
- 電池パックを初めてご使用の際に、異臭・発熱や、その他異常と思われたときは、使用しないで、ボーダフォンの故障受付窓口にご連絡ください。
- 電池パックを使い切った状態で、保管・放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管・放置されるときは、半年に1回程度、電池パックの補充電を行ってください。電池パックが使用できなくなります。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- 事故や故障などによりV801SH／SDメモリカードに登　したデータ（メモリダイヤル・画像・サウンドなど）が消失・変化したときの損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。大切なメモリダイヤルなどのデータは、控えをとっておかれることをおすすめします。
- V801SH は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- V801SH を公共の場所でご利用いただくときは、まわりの方の迷惑にならないようにご注意ください。
- V801SH は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオ等をお使いになっている近くで使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 日本モード（３Gモード）は、日本国内でのみご利用になれます。
- **傍受にご注意ください。**
  V801SH は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときは第三者が故意に傍受するケースもまったくないとは言えません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  傍受（ぼうじゅ）とは
  無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。

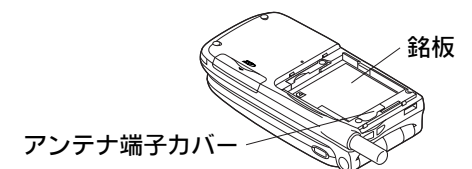
自動車内でのご使用にあたって

- 運転をしながらV801SHをご使用になると危険ですので、おやめください。
- V801SHをご使用になるために、禁止された場所に駐停車しないでください。
- V801SH を車内で使用したときは、自動車の車種によって、まれに車両電子機器に影響を与えることがありますので、ご注意ください。

航空機の機内でのご使用について

- 航空機の機内では、絶対にご使用にならないでください。（電源も入れないでください。）運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

お取り扱いについて

- V801SHの電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客さまが登　・設定した内容が消失または変化してしまうことがありますので、ご注意ください。なお、これらに関しまして発生した損害につきましては当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- V801SHは温度：５℃～35℃、湿度：35%～85%の範囲でご使用ください。
  極端な高温や低温環境、直射日光のあたる場所でのご使用、保管は避けてください。
- モバイルカメラ部分に、直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。
- V801SHを落下させたり衝撃を与えたりしないでください。
- お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。
  また、アルコール、シンナー、　ンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 雨や雪、湿気の多い場所で使用されるときは、水にぬらさないよう十分ご注意ください。
- V801SHは精密部品で作られた無線通信装置です。
  絶対に分解、改造はしないでください。
- V801SHのディスプレイを堅いものでこすったり、傷つけないようご注意ください。
- V801SHを閉じるときは、ストラップなどを挟まないでください。ディスプレイを破損する原因となります。
- ステレオヘッドホンの中には開放型のものがあり、音が外にもれることがあります。周囲の人の迷惑にならないように注意してください。
- **V801SHは防水仕様にはなっていません。水に濡らしたり、湿度の高い所に置かないでください。**
  - ■雨の日にバッグの外のポケットに入れたり、手で持ち歩かないでください。
  - ■エアコンの吹き出し口に置かないでください。急激な温度変化により結露し、内部が腐食する原因となります。
  - ■洗面所などでは衣服に入れないでください。ポケットなどに入れて、身体をかがめたりすると、洗面所に落としたり、水で濡らす原因となります。
  - ■海辺などに持ち出すときは、バッグなどに入れて、海水がかかったり、直射日光が当たらないようにしてください。
  - ■汗をかいた手で触ったり、汗をかいた衣服のポケットに入れないでください。手や身体の汗がV801SHの内部に浸透し、故障の原因になることがあります。
- **V801SHに無理な力がかかるような場所には置かないでください。**
  故障やけがの原因となります。
  - ■V801SH をズボンやスカートの後ろのポケットに入れたまま、座席や椅子などに座らないでください。
  - ■荷物の詰まった鞄などに入れるときは、重たいものの下にならないようにご注意ください。
- 銘板やアンテナ端子カバーをはがさないでください。修理をお受けできないことがあります。

お取り扱いについて

- 電池パックを取り外すときは、必ずV801SHの電源を切ってから取り外してください。
  急速充電器を接続して充電しているときは、必ず急速充電器を取り外したあと、V801SHの電源を切ってから取り外してください。
  データの登　やメールの送信等の動作中に電池パックを取り外すと、データが消失・変化・破損することがあります。
- 連続通話中や充電中には、F ボタン、電源（PWR）ボタン、ダイヤルボタン等の操作部や電池パックの温度が上昇しますが、故障ではありません。

著作権等について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データ　ースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされるときは、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記　したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

- **この機種【V801SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する指針に適合しています。**
  この指針は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の指針値を超えないこととしています。この指針値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
- この携帯電話機【V801SH】の、SARは0.79W/kgです。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも指針値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
- SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。
  - ■総務省のホームページ　http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
  - ■社団法人電波産業会のホームページ　http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

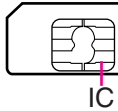
※ 平成９年に郵政省電気通信技術審議会により答申された「電波防護指針」に規定されています。

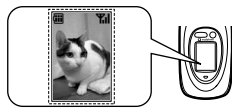
ご利用になる前に

下記の１件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations ;

4,901,307 5,490,165 5,056,109 5,504,773 5,101,501 5,506,865
5,109,390 5,511,073 5,228,054 5,535,239 5,267,261 5,544,196
5,267,262 5,568,483 5,337,338 5,600,754 5,414,796 5,657,420
5,416,797 5,639,569 5,710,784 5,778,338

機能一覧

USIMカード対応
電話番号などお客様の情報が書き込まれたカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に挿入して使います。

P.1-4

サブディスプレイ
着信状態を確認できます。モバイルカメラのファインダーとしても利用できます。

P.1-14

国際ローミング対応
W-CDMA方式とGSM方式に対応しています。日本国内／海外を1つの電話番号でご利用いただけます。

P.2-2

マナーモード
ボタン1つで着信音を鳴らさないようにしたり、簡易留守に設定することができます。

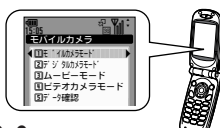
P.3-2

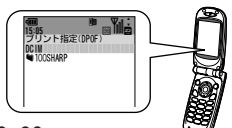
多彩な文字変換
近似予測変換、連携予測変換、推測頭出し変換、ワンタッチ変換など、便利な文字変換機能が利用できます。

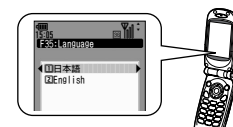
P.4-16、P.4-19、P.4-20

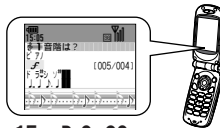
メモリダイヤル
最大500件（1件につき電話番号とE-mailアドレス各3件）まで登　できます。SDメモリカードやUSIMカードへも登　できます。

P.5-2

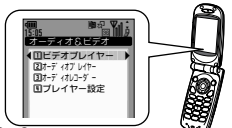
モバイルカメラ
V801SH内蔵のカメラで静止画や動画を撮影できます。撮影した画像は日本国内／海外から送信できます。

P.6-2

プリント指定（DPOF）
SDメモリカード内の静止画に対してプリント情報を設定し、ショップなどでプリントすることができます。

P.6-38

Language／言語選択
メニューや各種メッセージを英語表示に切り替えることができます。

P.7-18

オリジナル着信音／オリジナル音色
最大32和音までのメロディを自作できます。またご自分で音色を作ることもできます。

P.8-15、P.8-28

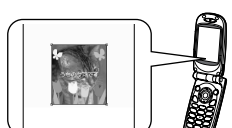
マルチメディア
V801SHで　画した動画を再生したり、音楽や音声を　音／再生できます。

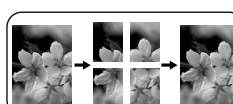
P.9-2

メモリカード
いろいろなデータをSDメモリカードに保存できます。

P.10-2

データフォルダ
いろいろなデータをまとめて管理することができます。

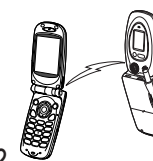
P.11-2

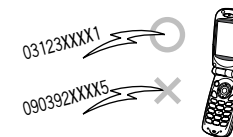
アニメーション作成
ご自分でアニメーションを作成することができます。

P.11-13

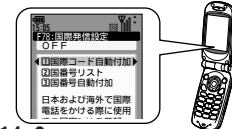
画像分割メール
画像を4分割して送信できます。また、受信した分割画像を1つの画像に結合できます。

P.6-35、P.11-39

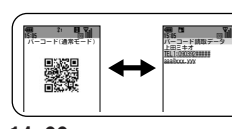
電子ブック
SDメモリカード内の電子書籍データ（XMDF形式）を、V801SHで閲覧することができます。

P.11-45

赤外線通信
赤外線通信を利用してデータのやりとりができます。

P.12-2

指定着信許可／拒否
指定した電話だけを受けたり、受けないようにできます。

P.13-6、P.13-8

国際発信
国際電話用の専用番号を登　して、自動的にメモリダイヤルに付加して発信することができます。

P.14-3

バーコード
バーコードを読み取ったり、メモリダイヤルなどの情報からバーコードを作成することができます。

P.14-22

VGSメール
ボーダフォンの携帯電話やE-mail対応の携帯電話、パソコンなどとの間で長い文字メッセージ、画像、サウンド、vファイルなどの送受信ができます。

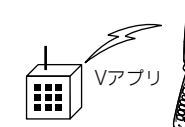
別冊

SMS
ボーダフォン携帯電話の間で文字メッセージのやりとりができます。

別冊

ウェブ
サービスセンターやインターネットから情報を入手できます。

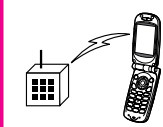
別冊

Vアプリ
インターネットなどからVアプリを入手し、利用することができます。

別冊

オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した電話番号へ転送します。

P.15-3

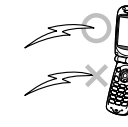
留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。

P.15-5

割込通話サービス
通話中に他からの電話を受けたり、かけられます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話ができます。

P.15-7

三者通話サービス
3人で同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。

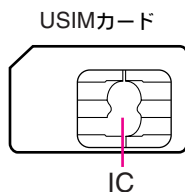
P.15-8

発着信規制サービス
電話をかけたり、電話を受けたりすることを制限します。

P.15-9

USIMカードのお取り扱い

USIMカードをご利用になる前に

USIM（ユーシム）カード（以下USIMカード）は、電話番号やお客様情報が入ったICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けて使用します。USIMカードが取り付けられていない場合、電話の発着信、メール、ウェブなどのネットワーク接続ができません。

- USIMカードの詳細については、USIMカードに付属の説明書を参照してください。
- USIMカードにはメモリダイヤルを保存できます。（☞P.5-7）
- USIMカードに保存したデータは、他のUSIMカード対応のボーダフォン携帯電話でもご利用いただけます。
- USIMカードの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 他社製品のICカードリーダーなどに、USIMカードを挿入し故障した場合、お客様ご自身の責任となり当社では一切責任を負いかねますのでご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは乾いた柔らかい布などでふいてください。
- USIMカードにラ　ル等を貼り付けないでください。故障の原因となります。

USIMカードについてのその他ご注意

- USIMカードの所有権は当社に帰属します。
- 紛失・破損などによるUSIMカードの再発行は有償となります。
- 解約・休止などの際は、USIMカードを当社にご返却ください。
- お客様からご返却いただいたUSIMカードは、環境保全のためリサイクルされています。
- USIMカードの仕様、性能は予告なしに変更する可能性があります。ご了承ください。
- お客様ご自身でUSIMカードに登　された情報内容は、別途、メモなどに控えて保管することをおすすめします。万一、登　された情報内容が消失した場合でも、当社では一切責任を負いかねますのでご了承ください。

CP8 PATENT

USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付け／取り外しは、電池パックを取り外してから行います。（☞P.1-21）

取り付ける

3 「カチッ」と音がするまでゆっくり押し込み、固定する。

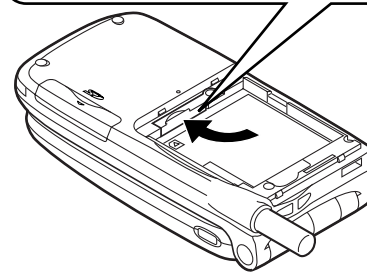
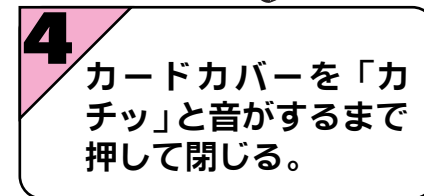
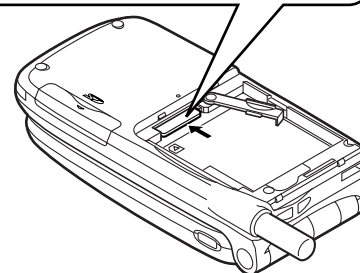
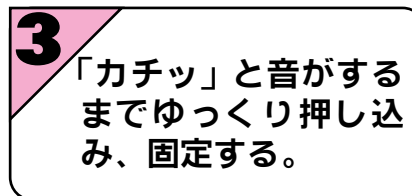
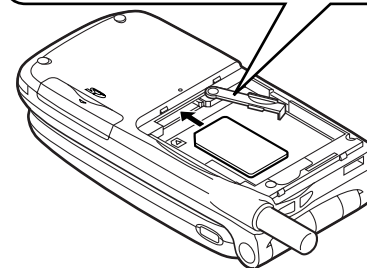
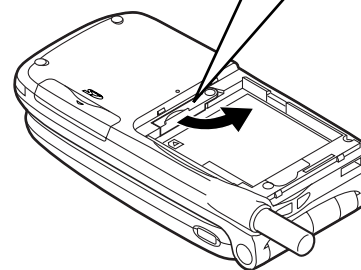
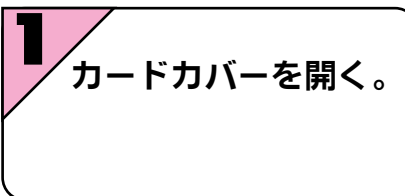
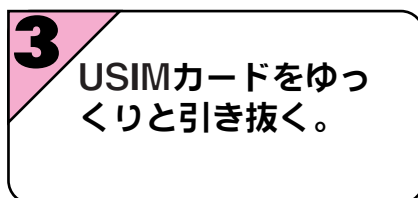
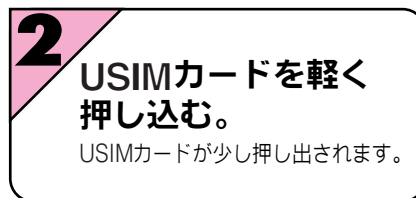
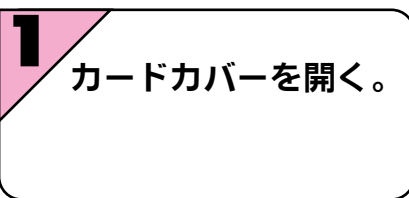
4 カードカバーを「カチッ」と音がするまで押して閉じる。

取り外す

1 カードカバーを開く。

2 USIMカードを軽く押し込む。

USIMカードが少し押し出されます。

3 USIMカードをゆっくりと引き抜く。

注意
- 無理に取り付けようとすると、USIMカードが破損することがありますので、ご注意ください。
- 取り外したUSIMカードは紛失しないよう、ご注意ください。
- USIM カードの取り付け／取り外しを行うときは、IC 部分に不用意に触れたり、傷をつけたりしないでください。また、電池パックとの接点部分にも触れないようにしてください。

PINコード

USIMカードには、「**PIN 1 コード**」と「**PIN 2 コード**」という２つの暗証番号があります。

PIN 1 コード

第三者によるボーダフォン携帯電話の無断使用を防ぐための４～８ケタの暗証番号です。
- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN 1 コードは、変更することもできます。（☞P.13-2）
- 「**PIN 1 ON/OFF切替**」（☞P.13-3）を「ON」に設定すると、USIMカードをV801SHに取り付けたり電源を入れたとき、PIN 1 コードを入力しないとV801SHを使用することができなくなります。

PIN 2 コード

「**累積通話料金**」のリセットや「**通話料金上限設定**」に使用する暗証番号です。
- お買い上げ時には、「9999」に設定されています。
- PIN 2 コードは、変更することもできます。（☞P.13-2）

PINロック解除コード（PUKコード）

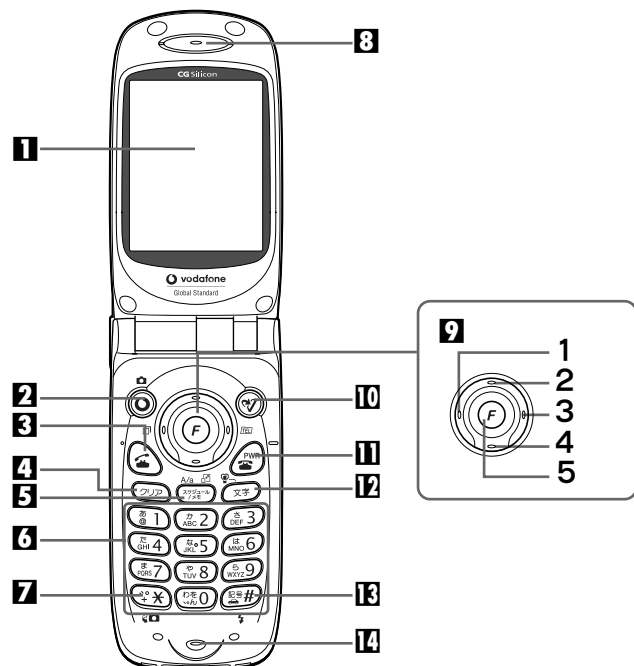
PIN 1 コードまたはPIN 2 コードの入力を３回続けて間違うと、「**PIN 1 ロック**」または「**PIN 2 ロック**」が設定されます。PIN ロックは「**PINロック解除コード（PUKコード）**」を入力することで、解除することができます。
- PINロック解除コードについては、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

注意
- PINロック解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、V801SHが使用できなくなります。PINロック解除コードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようにご注意ください。
- USIMカードがロックされたときは、ロックを解除する方法がなくなります。お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

USIMカードロック時の発信（緊急呼）

■ USIMカードがロックされると、日本モードでは、一切発信ができなくなります。海外モードでは、緊急電話へ発信することができますが、それ以外への発信ができなくなります。

各部の名称と機能

本体

1 ディスプレイ

2 ボーダフォンライブ！ボタン／モバイルカメラ起動ボタン

ボーダフォンライブ！を利用するときや着信時の応答を保留するときに使用します。（短押し）
また、モバイルカメラ起動時にも使用します。（長押し）

3 開始ボタン

電話をかけるときや受けるときに使用します。

4 クリアボタン

入力した電話番号、文字などを削除するときや各種メニューをキャンセルするときなどに使用します。

5 スケジュール／メモ／A／a ボタン

スケジュールを登　／表示するときや、通話内容や声のメモを　音／再生するときに使用します。また、画像表示サイズを切り替えるときにも使用します。文字入力時には、大文字／小文字の切り替えなどに使用します。ウェブやメールの文字サイズや添付画像の大きさを切り替えるときにも使用します。

6 ダイヤルボタン

電話番号や文字の入力などを行うときに使用します。

7 ✱ボタン

モバイルカメラで、ディスプレイとサブディスプレイを切り替えるときに使用します。
また、国際電話をかける際の「+」を入力するときにも使用します。

8 レシーバー（受話口）

相手の声がここから聞こえます。

9 マルチガイドボタン

メニュー項目の選択や決定、カーソルの移動、画面をスクロールするときなどに使用します。

1 **リダイヤルボタン**
以前かけた電話番号に再度かけるときに使用します。

2 受話音量を大きくするときに使用します。

3 **メモリダイヤルボタン**
メモリダイヤルに登　した電話番号を呼び出すときなどに使用します。

4 受話音量を小さくするときに使用します。

5 **F（エフ）／誤動作防止ボタン**
各種機能を利用するときに他のボタンと組み合わせて使用します。
また、誤動作防止機能を設定するときに使用します。（長押し）

10 ダイレクトボタン

ユーザーショートカットリストを表示するときなどに使用します。

11 電源（PWR）／終了ボタン

電源を入れるときや切るときに使用します。（長押し）
また、通話を終了するときやメニューの設定中止などにも使用します。（短押し）

12 文字／マナー（🔔）ボタン

文字の種類を変えたり、メモリダイヤルの登　をするときに使用します。（短押し）
また、マナーモードを設定／解除するときにも使用します。（長押し）

13 #ボタン

運転中モードを設定／解除するときに使用します。（長押し）
モバイルカメラでは、モバイルライトをON/OFFするときに使用します。また、文字入力中は、記号リストの表示にも使用します。

14 マイク（送話口）

自分の声をここから伝えます。

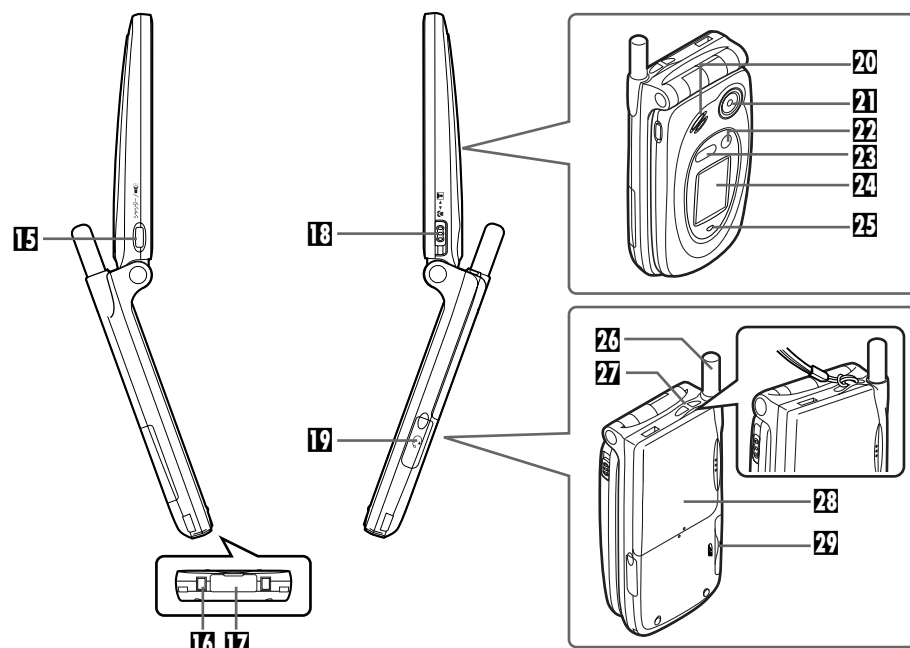
15 サイドキー（シャッター／📢）

カメラモードにしたり、着信中に簡易留守　などを設定するときなどに使用します。
また、サブディスプレイのバックライトを点灯させたり、詳細画面を表示させたりするときにも使用します。

16 充電端子

17 外部機器端子

急速充電器やオプション品のシガーライター充電器などを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

次のページに続きます。➡

18 接写スイッチ（ ）
通常モード「 」と接写モード「 」を切り替えるときに使用します。

19 イヤホンマイク端子／光デジタル・ライン入力端子
付属品のアナログ変換ケーブルや光デジタル変換プラグを接続する端子です。また、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンなどを接続する端子です。通常は端子キャップを閉じてお使いください。

20 スピーカー
着信音や音楽／音声の再生音がここから聞こえます。また、スピーカーホン／スピーカー受話中に相手の声がここから聞こえます。

21 モバイルカメラ（レンズカバー）
ここから撮影した画像がディスプレイに表示されます。

22 モバイルライト
電話がかかってくると設定したカラーパターンで点滅します。モバイルカメラでは、モバイルライト撮影に利用できます。また、待受中にはスポットライトとして利用できます。

23 赤外線ポート
赤外線通信でデータを送受信するときに使用します。

24 サブディスプレイ
着信のお知らせなどが表示されます。

25 スモールライト
充電中、赤色に点灯します。パネルセーブ時は橙色に点滅します。また、着信時に設定したパターンで点滅させることもできます。

26 アンテナ（固定式）

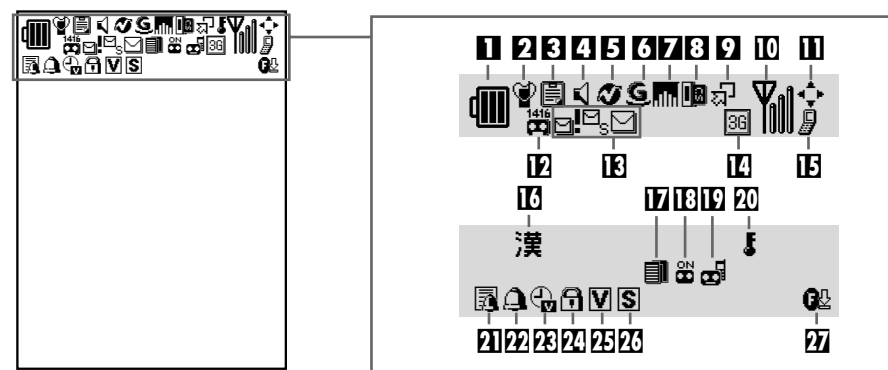
27 ストラップ取り付け穴
図のようにストラップを取り付ける穴です。

28 電池カバー

29 メモリカードスロット
SDメモリカードを挿入する場所です。

注意 アンテナについて
●アンテナには、手で触れたり覆わないようにしてお使いください。また、体の向きや通話している場所によっては、通話品質が悪くなります。

ディスプレイ

ディスプレイに表示されるマークには次の種類があります。

1 （電池残量表示）／ （スポットライト表示）
電池パックの残量（電池レ　ル）の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「 」と「 」を交互に表示します。

2 （マナーモード表示）
マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）
インフォメーションメニューに用件があるときに表示されます。

4 （スピーカーホン表示）／ （スピーカー受話表示）／ （マイクミュート表示）／ （等倍表示）／ （拡大表示）
スピーカーホンで通話しているときは「 」が、スピーカー受話しているときは「 」が表示されます。また、通話中にマイクミュートしたときは「 」が表示されます。画像やメール画面、ウェブ画面の表示サイズを示すときは「 」または「 」が表示されます。

次のページに続きます。➡

5 （Vアプリ起動中表示）／（Vアプリ一時停止中表示）
Vアプリを起動しているときは「」が、一時停止しているVアプリがあるときは「」が表示されます。

6 （GPRS表示）
GPRSエリアにいるときに表示されます。

7 （回線接続表示）／（外部データ通信中表示：パケット通信）／（音楽再生／音楽録音中表示）／（音声再生／音声録音中表示）
メールサーバーと通信しているときや、ウェブでサービスセンターと更新しているときなどは「」が表示されます。また、他の機器と接続してデータ通信したときは、「」（パケット通信時）が表示されます。
音楽や音声の再生／　音中には「」や「」が表示されます。

8 （SDメモリカード状態表示）
SDメモリカードの状態が表示されます。

9 （ユーザーショートカット表示）／（SSL表示）
ユーザーショートカットに登　できる画面で「」が表示されます。また、SSLに対応している情報画面では「」が表示されます。

10 （電波状態表示）／（着信不可状態表示）／（赤外線通信中表示）
電波の強さを表示します。の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外
電源を入れたときなどは、圏外であってもアンテナマーク「」が表示されることがあります。しばらく待ってから、もう一度ご確認ください。また、着信不可状態のときは「」が表示されます。赤外線通信中は「」が表示されます。

11 ／（スクロール表示）
画面をスクロールできるときなどに表示されます。

12 （メッセージお預かり表示）
留守番電話センターに伝言メッセージが入っているときに表示されます。

13 メール状態表示
（SMS受信表示）
受信メールボックスに、未読のSMSがあるときに表示されます。
（VGSメール受信表示）
受信メールボックスに、未読のVGSメールがあるときに表示されます。
（新着VGSメールあり表示）
メールサーバーに、先行受信していないVGSメールがあるときに表示されます。
（サーバーメールあり表示）
メールサーバーに、一時蓄積されたVGSメールがあるときに表示されます。

14 （日本モード表示）／（海外モード表示）
日本モードのときは「」が、海外モードのときは「」が表示されます。

15 （本体表示）／（SDメモリカード表示）／（USIMカード表示）
表示されている情報が、V801SHに保存されているときは「」が、SDメモリカードに保存されているときは「」が、USIMカードに保存されているときは「」が表示されます。

16 入力モード表示
入力できる文字の種類や入力方法を示します。

17 （通信レポート受信表示）
メールの通信レポートを受信したときに表示されます。

18 （留守表示）／（運転中モード表示）
簡易留守　に設定したときは「」が表示されます。また、運転中モードが設定されているときは「」が表示されます。

19 （録音表示）
簡易留守　の用件が　音されているときに表示されます。

20 （シークレットモード表示）
シークレットモードのときに表示されます。シークレットメモリを呼び出したときは点滅表示します。

21 ／（スケジュール表示）
スケジュールが設定されている日に、まだ設定時刻になっていないスケジュール（アラームON時：／アラームOFF時：）があることをお知らせします。

22 （アラーム表示）
アラームが設定されているときに表示されます。

23 （Vアプリタイマー起動設定表示）
Vアプリタイマー起動が設定されているときに表示されます。

24 （ダイヤル操作禁止表示）
ダイヤル操作禁止がかかっているときに表示されます。

25 （バイブレータ表示）
通常着信時にバイブレータが設定されているときに表示されます。

26 （サイレント表示）／（ステップ表示）
通常着信時の着信音量が、「**サイレント**」のときは「」、「**ステップ**」のときは「」が表示されます。

27 （誤動作防止表示）
誤動作防止が設定されているときに表示されます。

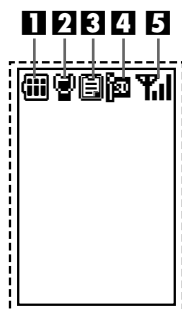
- バイブレータと着信音量は、通常着信音、ボーダフォンライブ！の各着信音に設定することができますが、ディスプレイに表示されている「」、「」、「」は、通常着信時の設定状態を示します。
- 壁紙を設定（P.7-2）しているときに、ディスプレイのマーク表示を消すこともできます。（P.7-8）

1

ご利用になる前に

サブディスプレイ

サブディスプレイの1行目に表示されるマークには次の種類があります。

●サブディスプレイの待受表示内容設定（☞P.7-7）の「2マーク」を「OFF」に設定しているときは、待受画面でサイドキーを1秒以上押すと、同様に表示されます。

1 （電池残量表示）／（スポットライト表示）

電池パックの残量（電池レベル）の目安を表示します。また、スポットライト点灯時は「」と「」を交互に表示します。

2 （マナーモード表示）

マナーモードが設定されているときに表示されます。

3 （インフォメーションあり表示）

不在着信、簡易留守、未読のメール、通信レポートがあるときに表示されます。

4 （SDメモリカード状態表示）／（音楽再生／音楽録音中表示）／（外部データ通信中表示：パケット通信）

SDメモリカードの状態が表示されます。また、音楽の再生／録音中には「」が表示されます。他の機器と接続してデータ通信したときは、「」（パケット通信時）が表示されます。

5 （電波状態表示）／（着信不可状態表示）

電波の強さを表示します。「」の棒の数が多いほど、電波の状態が良好です。

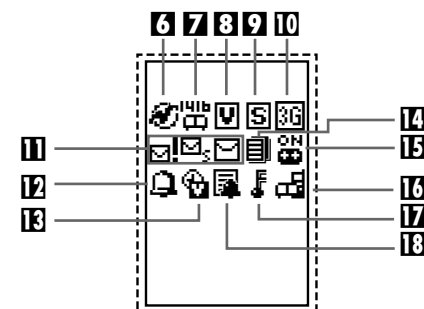
：強　：中　：弱　：微弱　圏外：圏外

電源を入れたときなどは、圏外であってもアンテナマーク「」が表示されることがあります。しばらく待ってから、もう一度ご確認ください。また、着信不可状態のときは「」が表示されます。

2行目以降に表示されるマーク

サイドキー設定（☞P.14-5）を「**マーク表示（待受時）**」に設定しているとき、待受画面でサイドキーを1秒以上押すと、上記のマークに加えて、次のようなマークが2行目以降に表示されます。

●それぞれのマークの意味はディスプレイと同様です。（☞P.1-11～P.1-13）

●詳細マークは、サイドキーから手を離してしばらくすると消えます。

6 （Vアプリ一時停止中表示）

7 （メッセージお預かり表示）

8 （バイブレータ表示）

9 （サイレント表示）／（ステップ表示）

10 （日本モード表示）／（海外モード表示）

11 （SMS受信表示）／（VGSメール受信表示）／（新着VGSメールあり表示）／（サーバーメールあり表示）

12 （アラーム表示）

13 （Vアプリタイマー起動設定表示）

14 （通信レポート表示）

15 （留守表示）／（運転中モード表示）

16 （録音表示）

17 （シークレットモード表示）

18 ／（スケジュール表示）

補足

●サブディスプレイは、V801SHを閉じたときだけ表示されます。ただし、カメラモードのときは、V801SHを開いたままサブディスプレイに表示させることができます。

●V801SHを閉じたとき、およびサイドキーを操作したときに、サブディスプレイのパネル照明が点灯します。（サブディスプレイの照明設定（☞P.7-6）が「OFF」に設定されているときは、点灯しません。）

1

ご利用になる前に

電池パックと充電器のお取り扱い

電池パックと充電器をご利用になる前に

はじめてお使いになるときや、長時間ご使用にならなかったときは、必ず充電してお使いください。

電池パックの寿命について

- 極端な低温／高温の状態では、使用／保存しないでください。極端な温度の状態では、劣化が進行し、本来の容量が得られなくなります。
  ※推奨使用温度：５℃～35℃
- 指定以外の充電器で充電しないでください。指定以外の充電器を使用すると、充電制御回路が不適だったり、充電制御回路が内蔵されていない場合があり、電池パックを劣化させるばかりか、非常に危険な状態（発火、発熱など）となる可能性があります。
- 電池パックは消耗品です。電池パックを完全に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。新しい電池パックをお買い求めください。

充電を行うときは

- 充電器を電池パックの充電以外に使用しないでください。
- 電池パックの金属部分（充電端子）を針金などの金属類でショートさせると大電流が流れて発熱したり、破損しますので、取り扱いにはご注意ください。
- 充電中、充電器や電池パックがあたたかくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。充電中に温度が高くなると、充電を一時中断することがあります。
- 充電器を使用中、テレビやラジオなどに雑音が入る場合は、充電器をテレビやラジオから雑音の入らない場所まで遠ざけてください。

使用時のご注意

- 電池パックや V801SH、充電器の金属部分（充電端子）が汚れると、接触が悪くなり、電源が切れたり、充電できないことがあります。汚れたら、乾いたきれいな綿棒で清掃をしてからご使用ください。
- 次のような場所でのご使用は避けてください。
  - ■極端な高温や低温環境
  - ■湿気、ほこり、振動の多い場所
  - ■直射日光のあたる場所
- 電池パックを使い切った状態で、保管／放置はしないでください。
  また、電池パックを長期間保管／放置されるときは、半年に１回程度、電池パックの補充電を行ってください。
  電池パックが使用できなくなることがあります。
- 電池パック単体を持ち運ぶときは、袋などに入れてください。

- 電池パック単体で充電することはできません。
- V801SHに電池パックを取り付けた状態で充電を行ってください。
- 電源を入れて、待受状態でも充電することができます。電源を入れて充電した場合、充電中は「▥」が点滅します。充電が完了すると、点灯に変わります。
- **V801SHを開いた状態でも充電することができます。**

完全に充電したときの利用可能時間

●完全に充電したときの利用可能時間

利用可能時間	日本モード	海外モード
連続通話時間	約120分	約180分
連続待受時間	約200時間	約220時間
連続操作時間	約220分	約220分
連続再生時間	約８時間	約８時間

※上記の各利用可能時間は、パネル明るさ調整が「**明るさ３**」（お買い上げ時）に設定されているときの時間です。
- ■連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
- ■連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V801SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- ■連続操作時間とは、通話をしないで連続してV801SHを操作し続けたときの利用可能時間です。
- ■連続再生時間とは、着信拒否状態で連続して音楽（オーディオ）を再生し続けたときの利用可能時間です。
- ■電池パックの利用可能時間は電波が安定した状態で算出した当社計算値です。

電池パックの持ちについて

次のような使用や操作をされた場合は、電池パックの消耗が早いため、電池パックの利用可能時間が短くなります。

●使用環境
- ■極端な低温／高温の状態で使用／保存されているとき（５℃～35℃の温度範囲でお使いください。）
- ■V801SH や電池パック、充電器の充電端子が汚れているとき（充電端子が汚れていると、接触が悪くなり正常に充電できなくなります。）
- ■電波の弱い場所で通話しているときや圏外表示で待受しているとき（なるべく電波状態の良い環境でお使いください。）

●操作
- ■Vアプリを起動しているとき
- ■モバイルカメラ撮影／バーコード読み取りを多く使用したとき
  また、モバイルライト撮影を多く使用したとき
- ■動画を再生させたとき
- ■スポットライトを多く使用したとき
- ■メール作成やVアプリ機能（ゲームなど）などの連続したボタン操作（照明の点灯時間が長くなる）を多くしたとき
- ■音楽（オーディオ）やボイスレコーダーを　音／再生させたとき
- ■赤外線通信を多く使用したとき
- ■V801SHを頻繁に開閉したとき

電池パックの持ちについて（続き）

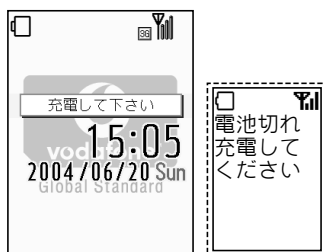
●設定
- ■パネル照明やキー照明の点灯時間を長く設定したとき
- ■壁紙にアニメーションを設定したとき
- ■スクリーンアニメを設定したとき
- ■パネルセーブが働かないように設定したとき
- ■パネル照明を明るくなるように調整したとき
- ■サブディスプレイに壁紙を設定したとき

電池パックの消耗を軽減するには

次の機能の設定を変更していただくと、電池パックの消耗を軽減することができます。

- ●照明設定（☞P.7-17）
- ●サブディスプレイ設定（☞P.7-6）
- ●モバイルライト（☞P.6-24）やスポットライトの継続点灯時間（☞P.14-21）
- ●パネル明るさ調整（☞P.7-17）
- ●パネルセーブ（☞P.14-31）

電池が切れたら

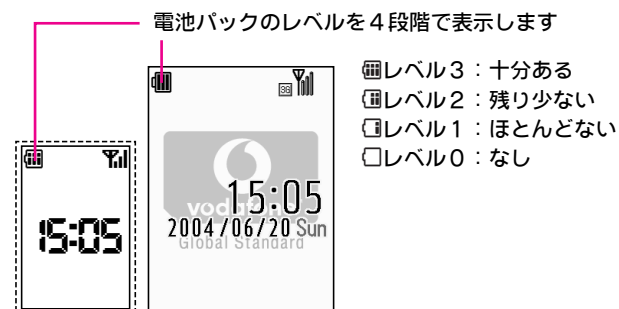
●電池交換のメッセージが表示され、電池アラーム音が「**ピピピ…**」と鳴り、約20秒後に電源が切れます。（20秒以内に充電を開始したときは、電源は切れません。）
電池アラーム音が鳴っているときに PWR を押すと、電池アラーム音は鳴りやみます。電池パックを充電してください。
（マナーモード設定時には、警告音は鳴りません。）

また、通話中に電池が切れた場合は、電池アラーム音「**ピピ**」と断続音が約５秒間隔で鳴ります。約20秒後に通話が切れ、そのあと電源が切れます。電池パックを充電してください。

不要になった電池パックは

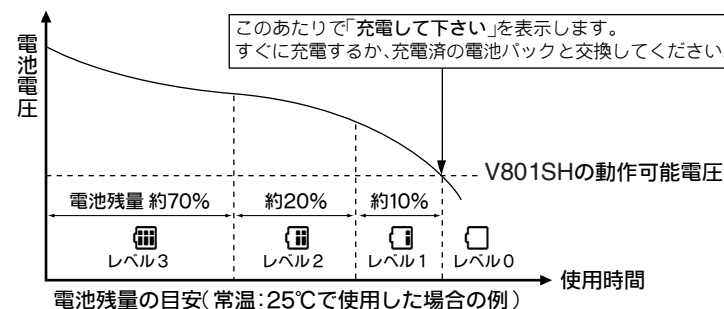
●不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りのボーダフォンショップへお持ちください。
電池を分別している市町村の場合は、その規則に従って処理してください。

電池レベル表示

●電池レベルは、ディスプレイで確認できます

- レベル３：十分ある
- レベル２：残り少ない
- レベル１：ほとんどない
- レベル０：なし

●「□」になると充電することをおすすめする確認メッセージが表示され、電池アラーム音が鳴り、約20秒後に電源が切れます。（☞P.1-18）

●電池レベルについて

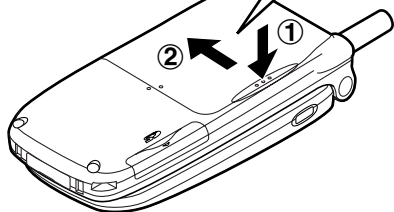
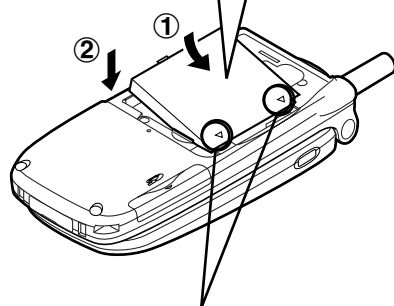
電池レ　ル表示は、ご使用の時間経過とともに次のように変化します。
ディスプレイの電池レ　ル表示と案内表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。

●ご使用の温度条件によって上図の電池レベル表示は次のように変化します

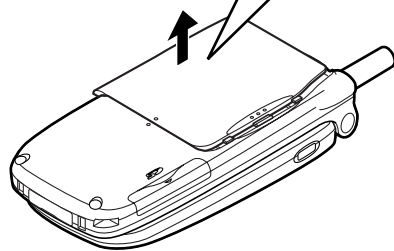
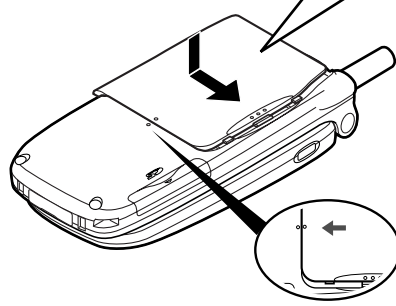
低温下では、レ　ル１が早めに表示されます。
高温下では、レ　ル１が遅めに表示されます。

- ●上記の電池レ　ル表示は電池残量の目安です。
- ●電池レ　ル表示がレ　ル１になると、音楽の　音や再生、ボイスレコーダーの　音、ビデオカメラモードでの撮影などできない機能があります。
（☞P.6-17、P.9-11、P.9-20、P.9-32）

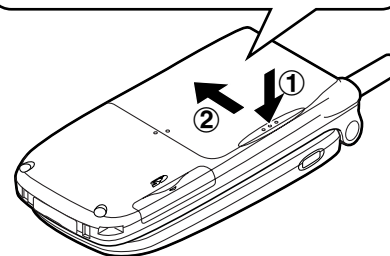
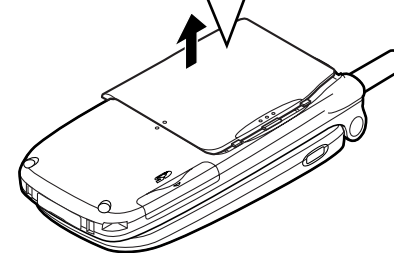
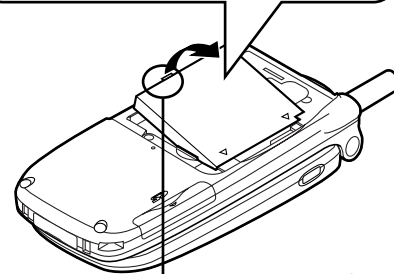
電池パックを取り付ける／取り外す

取り付ける

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドさせる。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを取り付ける。

印刷面を上にして、
本体のくぼみに▽の先の
ツメを合わせて取り付けます。

4 電池カバーを取り付ける。

本体と電池カバーを図の位置に合わせ、電池カバーとキャビネットとのすき間が生じないように電池カバーを押しながらスライドさせます。

取り外す

1 電池カバーを、矢印の方向に押しながらスライドさせる。

2 矢印の方向に持ち上げ、取り外す。

3 電池パックを持ち上げ、取り外す。

この部分から電池パックを
持ち上げます。

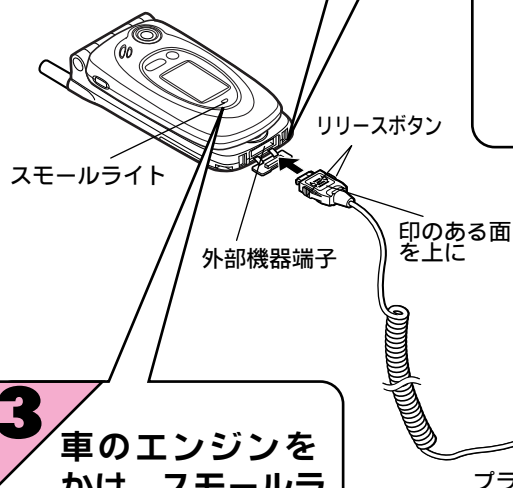
- 電池パックを取り外すときは、電源を切ってから行ってください。また、急速充電器を接続していない状態で行ってください。
- データの登　やメール送信等の動作中に電池パックを取り外すと、メモリが消えてしまうことがありますので、操作をしたあとは、すぐに電池パックを取り外さないでください。

この製品には、リチウムイオン電池を使用しています。
リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。

- リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。
- リサイクルのときは、次のことにご注意ください。火災／感電の原因となります。
  - ■ショートさせない。
  - ■分解しない。

急速充電器を利用して充電する

1 端子キャップを開き、外部機器端子に接続コネクターを差し込む。

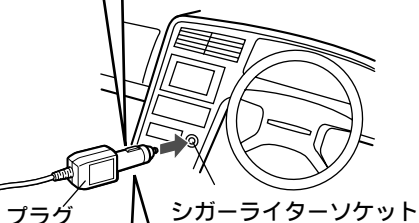
「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

2 電源コードのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

充電が開始されるとスモールライトが赤色点灯します。

電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。

イラストは日本国内の使用例です。

スモールライト
AC100V コンセント
急速充電器
プラグ
電源コード
印のある面を上に
外部機器端子
リリースボタン

3 スモールライトが消灯すれば、充電完了。

充電時間は約125分※です。（電源OFF時）

充電が完了した状態で、急速充電器に接続したときは、スモールライトはすぐに消えます。

4 充電が完了したら、V801SHから接続コネクターを抜き、電源コードのプラグをACコンセントから抜く。

接続コネクターを外すときは、両側のリリースボタンを押さえながらまっすぐに引き抜いてください。

V801SHの端子キャップを元に戻してください。

※常温での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。

注意

- 急速充電器を携帯されるときなど、コードを強くひっぱったり、折り曲げたり、ねじったりしないでください。断線の原因となります。
- 急速充電器本体はAC100〜240Vの家庭用電源に対応しています。
- 付属品の電源コードは国内専用です。海外では使用しないでください。海外で充電器を使用する場合、渡航先に対応した電源コードをお買い求めのうえご使用ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切責任を負いかねます。

卓上ホルダーを利用して充電する

1 急速充電器の接続コネクターを、卓上ホルダーの接続端子に差し込む。

「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。

イラストは日本国内の使用例です。

2 電源コードのプラグを家庭用ACコンセントに差し込む。

電源OFF時に充電する場合は、スモールライトが点灯するまでにしばらく時間がかかることがあります。

3 V801SHに電池パックを取り付け卓上ホルダーに置く。

1のようにV801SHのミゾを卓上ホルダーのツメに合わせ、2の矢印の方向に「カチッ」と音がするまで押し下げてください。

スモールライトが赤色点灯します。（消灯すれば充電完了）

充電時間は約125分※です。（電源OFF時）

4 充電が完了したら、V801SHを卓上ホルダーから取り外し、電源コードのプラグをACコンセントから抜く。

※常温での充電時間の目安です。周囲温度によって充電時間は異なります。

シガーライター充電器を利用して充電する

※常温での充電時間の目安です。
周囲温度によって充電時間は異なります。

注意

- このシガーライター充電器はマイナスアース車専用です。（12V、24V両用）
- シガーライター充電器の電源は、自動車のキースイッチに連動しますが、自動車の種類によっては連動しない場合もあります。自動車から離れるときは、電源が切れていることを確認してください。
- シガーライター充電器を卓上ホルダーに接続しないでください。故障の原因となることがあります。
- 炎天下で高温になった自動車内では、充電しないでください。

補足

- シガーライター充電器の操作方法等については、シガーライター充電器の取扱説明書を参照してください。
- シガーライター充電器を使って充電する場合、V801SHを固定させるため、別売の車載ホルダーを利用されることをおすすめします。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 V801SHを開く。

2 PWRを長く押す。（2秒以上）

3 ディスプレイが点灯する。

「しばらくお待ちください」と表示され、アニメーションのあと「待受画面」が表示されます。

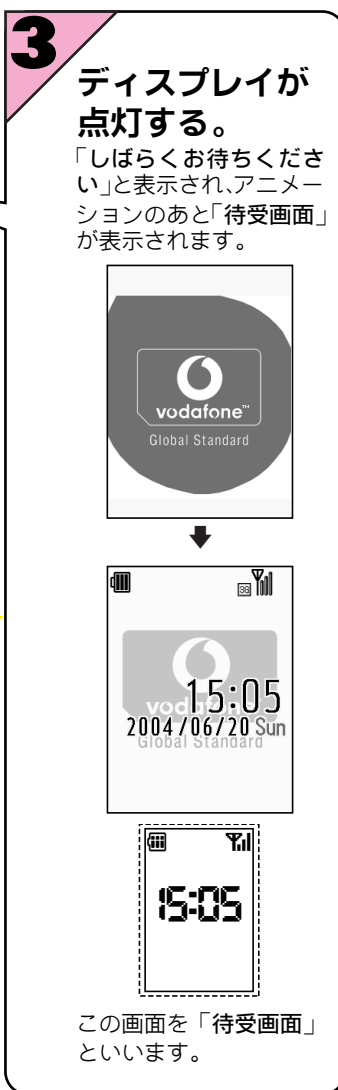
この画面を「待受画面」といいます。

時刻が設定されていないとき

アニメーションのあと、時刻設定の確認画面が表示されます。

- 「1YES」を選びFを押すと、時刻設定の画面になります。（☞P.1-28）
- 「2NO」を選びFを押すと、時刻が設定されていない待受画面になります。

注意

- 初めてお使いになるときは、V801SH 内蔵の時計を合わせてください。（☞P.1-28）
- 電源を入れたときや、切ったときにディスプレイが一瞬暗くなりますが、故障ではありません。
- 電源を入れたときに USIM カードのデータを読み込むため、電波状態が表示されるまで時間がかかることがあります。
- V801SH を開くときは、両手で持って軽く開いてください。力を入れすぎると、破損の原因となります。
- 携帯するときは、V801SH を閉じておくことをおすすめします。

補足

- V801SH を閉じたままで、メールなどのボーダフォンライブ！の着信も自動的に受けることができます。
- V801SH を開いたまま、操作をしない状態が続くと、電池の消耗を抑えるため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ：☞P.14-31）
- 通話中にV801SHを閉じると、電話を切ることができます。

V801SHを閉じたときに通話を切らないようにするとき

- 次の操作を行うと、V801SH を閉じても通話を切らないで、こちらの声を相手に伝えないようにすることができます。
  1. F 1 0の順に押す。
  2. 「1通常着信」を選び、Fを押す。
  3. 「7クローズ終話設定」を選び、Fを押す。
  4. 「2OFF」を選び、Fを押す。
     - クローズ終話の設定は、「1ON」を選び、Fを押します。
- お買い上げ時には、閉じると通話を切るよう（ON）に設定されています。

電源を切る

1 PWRを長く押す。（2秒以上）

2 ディスプレイが消灯する。

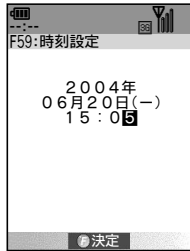
アニメーションが表示されたあと、ディスプレイが消灯します。

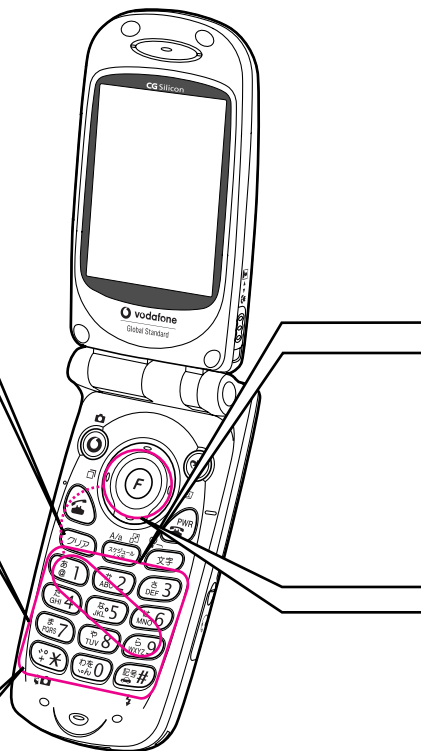
日付／時刻の設定

1 Ⓕ⑤⑨①の順に押す。

2 西暦の年を入力する。

入力したい位置に◎でカーソルを移動し、入力してください。

例：2004年➡②⓪⓪④

3 月／日を入力する。

例：６月20日➡⓪⑥②⓪

4 時／分を入力する。

時刻は24時間制で入力します。

例：午後３時５分➡①⑤⓪⑤

5 Ⓕを押す。

設定した時刻の「０秒」から動き始め、時刻設定が終了して、待受画面に戻ります。

曜日は自動的に設定されます。

注意

- 設定した時刻は、電池パックを交換する場合にも保持されますが、約２週間程度電池パックを外しているか、空の状態で放置していると、記憶が消えることがあります。そのときは、西暦／日付／時刻を再設定してください。

補足

- 西暦・日付・時刻を合わせていない場合、着信履歴やリダイヤルなどの日時表示は「--/-- --:--」と表示されます。
- ボタンを押し間違えたときは、を押しカーソルを移動したあと、正しい数字を入力してください。
- 待受画面に表示される時計の表示方法を設定したり、カレンダーを表示することもできます。（☞P.7-4）

世界時計の設定

- 世界時計を表示させるためには、時計表示設定（F52）で、「5世界時計」または「7カレンダー（世界時計）」を設定する必要があります。（☞P.7-4）

時差の設定

1 Ⓕ⑤⑨②①の順に押す。

2 時差を入力し、Ⓕを押す。

- 変更したい位置に◎でカーソル移動します。時差の「＋」「－」は◎で選択し、時刻はダイヤルボタンで入力します。

サマータイムの設定

サマータイムの設定をすると、１時間進んだ時刻表示になります。

1 Ⓕ⑤⑨②②の順に押す。

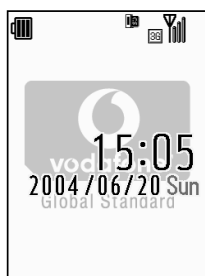
2 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

世界時計設定の項目選択の画面に戻ります。

■ サマータイムの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

機能の呼び出し方

インデックスメニューから機能を呼び出す

V801SHのいろいろな操作は、待受画面でⒻを押すと表示される、「**インデックスメニュー**」と呼ばれる画面から行います。
インデックスメニューには５つの項目があり、各項目を選びⒻを押すと、各項目内のメニューが表示されます。

待受画面

Ⓕ ➡

インデックスメニュー

下記の各項目内のメニューを表示します。
メモリカードメニューを表示します。（☞P.10-6）（SDメモリカードが差し込まれているときに表示されます。）
ユースフルメニューを表示します。

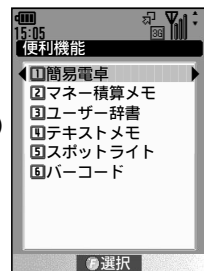
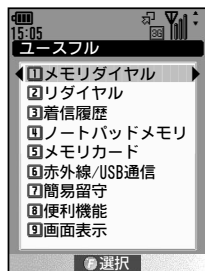
ファンクション	ファンクションメニュー（☞P.1-31）が表示され、各機能の設定や確認を行うことができます。
スケジュール	スケジュール画面（☞P.14-15）が表示され、予定を管理することができます。
インフォメーション	インフォメーションメニュー（☞P.2-22）が表示され、簡単な操作で情報が確認できます。
モバイルカメラ	カメラメニュー（☞P.6-7）が表示され、撮影やデータの確認などを行うことができます。
マルチメディア	マルチメディアメニュー（☞P.9-2）が表示され、動画や音楽を再生したり、他の機器を接続して音楽などを　音することができます。

ユースフルメニューについて

■ インデックスメニューで、◎（USEFUL）を押すと、ユースフルメニューが表示されます。
各項目を選びⒻを押すと、各機能の操作または、各項目内の機能を選ぶ画面になります。

インデックスメニュー

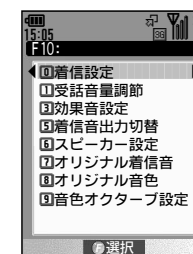
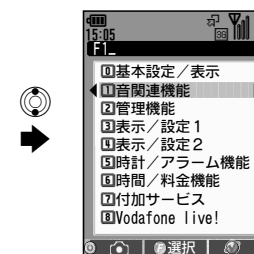
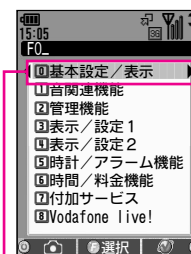
◎（USEFUL）➡

◎Ⓕ ➡

ファンクションメニューから機能を呼び出す

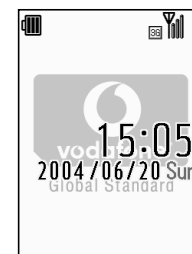
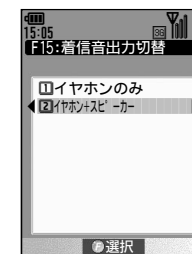
インデックスメニューで「**ファンクション**」を選び、Ⓕを押すと、ファンクションメニューが表示されます。
V801SHの各機能の設定や登　、確認は、ファンクションメニューから行います。
ファンクションメニューでは、大分類の下に各機能が分類されており、それぞれの機能に「**F番号**」と呼ばれる番号がつけられています。（☞P.17-2）

■大分類を選ぶ

◎を押し、大分類を選んだあと、Ⓕを押します。

Ⓕ ➡

選択した項目は、色帯付きで表示されます。

■F番号を直接指定して機能を選ぶ

待受画面でⒻ（インデックスメニュー表示）→「**大分類の番号**」→「**機能の番号**」の順に押すと、該当する機能の操作ができるようになります。

ソフトキーの使い方

各メニュー画面や操作画面では、最下行にボタン操作を示すガイダンスが表示されることがあります。

※オリジナル着信音の入力画面などで表示される「文字」は、文字を押したときの動作を示します。

暗証番号

V801SHのご使用にあたっては、「**操作用暗証番号**」と「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規則用暗証番号**」が必要になります。

操作用暗証番号

「9999」もしくはご契約時にお決めいただいた4ケタの番号で、V801SHの各機能を操作するときに使用します。

- 入力した操作用暗証番号は「¥」で表示されます。
- 操作用暗証番号が間違っていたときは、番号間違いの確認メッセージが表示されます。

交換機用暗証番号

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4ケタの番号です。
オプションサービスを一般電話から操作する場合や、「**ウェブの有料情報**」申込の際に必要な番号です。

発着信規制用暗証番号

ご契約時にお決めいただいた4ケタの暗証番号で、V801SHで発着信規制サービスの設定を行うときに使用します。入力を続けて3回間違えると、発着信用規制サービスの設定変更ができなくなります。この場合、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

注意

- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、お忘れにならないようご注意ください。いずれの暗証番号も万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要になります。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。
- 「**操作用暗証番号**」や「**交換機用暗証番号**」、「**発着信規制用暗証番号**」は、他人に知られないようご注意ください。他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

補足

- 「**操作用暗証番号**」と「**発着信規制用暗証番号**」はV801SHの操作で変更できます。（☞P.13-2、☞P.15-10）
- 「**交換機用暗証番号**」はV801SHの操作では変更できません。「**交換機用暗証番号**」を変更するときは、手続きが必要となります。
詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

基本的な操作のご案内

海外での利用（国際ローミング）

日本モード／海外モードを切り替える

V801SHは、日本国内だけでなく海外でも使用できます。海外で使用するときは、「海外モード」（GSMモード）に切り替える必要があります。
●海外での発信については、P.2-6を参照してください。

1 Ⓕ(わを0)(か2)の順に押す。

2 「1エリア選択設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1 日本モード」（3Gモード）または「2 海外モード」（GSMモード）を選び、Ⓕを押す。

4 V801SHの電源を切り、入れ直す。
切り替えたモードで使用できるようになります。
ディスプレイに日本モードでは「」が、海外モードでは「」が表示されます。

注意
●日本国内では日本モード、海外では海外モードにして使用してください。

補足
●海外モードに切り替えても、画面表示は日本語のままです。

注意
●国際ローミングのしくみ、使用できる国や地域、料金等につきましては、「国際ローミングサービスガイド」をご覧ください。また、使用できる機能や制限等につきましては、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。
●国際ローミングを利用するには別途契約が必要です。

ネットワークを選択する（海外モードのみ）

海外モードでお使いのとき、接続するネットワークを選択することができます。通常はお買い上げ時の状態（「自動」）で使用できます。特定のネットワークに接続される場合、「手動」に設定したうえで、接続するネットワークを選択してください。

1 Ⓕ(わを0)(か2)の順に押す。
■ 現在のネットワーク状況の確認：「3ネットワーク状態表示」選択➡Ⓕ

2 「2ネットワーク選択モード」を選び、Ⓕを押す。

3 「2手動」を選び、Ⓕを押す。
接続できるネットワークの検索が始まります。
■ お買い上げ時の状態に戻す：「1自動」選択➡Ⓕ
■ 検索中止：(PWR)

4 接続するネットワークを選び、Ⓕを押す。

電話をかける

日本国内で電話をかける（日本モード）

1 電源が入っていることを確認する。

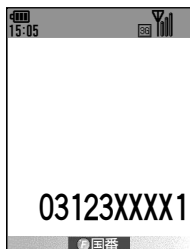
電波状態を確認してください。

ディスプレイに「圏外」や「」と表示されているときは、ご利用になれません。（☞P.17-9）

2 市外局番からダイヤルする。

15:05

03123XXXX1

国番

同一市内への通話の場合でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。

ディスプレイに「」「」が表示されているときは、ダイヤルできません。（☞P.17-9）

電話番号通知／非通知の設定

電話番号の前に次の数字を付けてダイヤルします。

- 通知するとき…… 186（日本のみ使用可）
  *31#（日本／海外とも使用可）
- 通知しないとき… 184（日本のみ使用可）
  #31#（日本／海外とも使用可）

3 電話番号を確認して、を押す。

電話番号を間違えたとき

◎または◎を押し、カーソル「＿」を動かしたあと クリア を押すと、カーソル位置の番号が消えます。クリア を1秒以上押すと、数字がすべて消え、待受画面に戻ります。

を押したあとは、PWRを押して電話を切り、かけ直してください。

4 通話が終わったら、PWRを押す。

V801SHを閉じても、電話は切れます。V801SHを閉じても、電話が切れないようにすることができます。（☞P.1-27）

通話後、自動的に通話時間や通話料金の目安を表示することもできます。（☞P.2-31）

累積の通話時間（☞P.2-28）や通話料金（☞P.2-29）の目安を確認することもできます。

通話の保留とマイクミュート

通話中に次の操作を行います。

1※	通話を保留します。相手には保留音が流れ双方の声が聞こえなくなります。（保留の解除：1）
2	こちらの声を相手に聞こえないようにします。相手の声はこちらに聞こえます。（マイクミュートの解除：2）

※ 通話中の保留をご利用になるには、「**割込通話サービス**」（☞P.15-7）または「**三者通話サービス**」（☞P.15-8）のお申込みが必要です。

■ **相手がお話し中のとき**

PWRを押していったん電話を切り、しばらくしてからかけ直してください。

■ **国際電話をかけるとき**

国際コード自動付加（☞P.14-3）を「ON」に設定したあと、日本モードでP.2-6～P.2-7の操作を行います。ただし、ボーダフォン携帯電話にかけるときは、相手のいる国にかかわらず、ボーダフォン携帯電話の電話番号だけでかけることができます。

注意

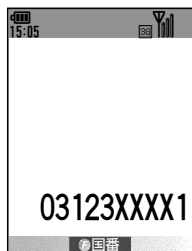
- 通話時マイクがふさがれていると、相手へこちらの声が聞こえにくくなります。

- 長時間連続通話をするとボタン周辺があたたかくなることがありますが、異常ではありません。

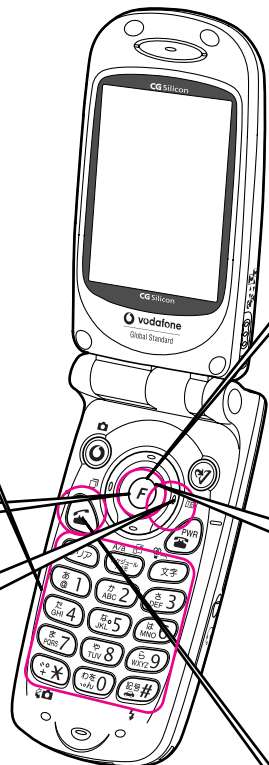
補足

- スピーカーを使って通話することもできます。（☞P.8-11）

海外で電話をかける（海外モード）

1 海外モードで相手の電話番号をダイヤルする。

一般電話の場合、必ず市外局番からダイヤルしてください。

2 Ⓕ（国番）を押す。

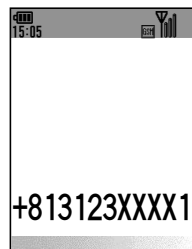
3 ◎を押す。

4 相手の国を選び、Ⓕを押す。

国番号が入力されます。

リストに国名がない場合は、◎または（クリア）で国番号付加画面に戻り、直接国番号を入力してください。

ボーダフォン携帯電話にかけるとき

相手がいる国に関係なく、常に「1 日本」を選んでください。（直接国番号を入力する場合は（8）（1）と押します。）

5 Ⓕを押す。

電話番号の前に「＋」と国番号が入力されます。また、電話番号の先頭の「0」は削除されます。ただし、国番号がイタリア（39）の場合は削除されません。
（「＋」は国際発信を意味します。）

6 ☎を押す。

■ **滞在国内の一般電話／携帯電話へかけるとき**
相手の一般電話番号または携帯電話番号をそのままダイヤルします。

■ **国番号などを直接ダイヤルするとき**
「＊」を２回押し、「＋」を入力したあと、「**国番号**」➡「**先頭の０を除いた電話番号**」の順に入力してください。ただし、イタリア（39）の場合は「０」付きで入力してください。

■ **国番号を自動的に付加するとき**
「**国番号自動付加**」（☞P.14-4）を「ON」に設定しておくと、相手の電話番号をダイヤルし☎を押すだけで、自動的に指定した国番号を付加して発信できます。ただし、先頭に「＋」がついていないすべての電話番号（緊急番号を除く）に対して国番号が付加されますので、ご注意ください。

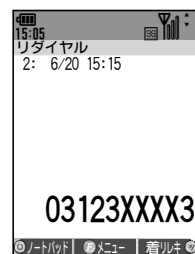
■ **国番号を追加するとき**
よく利用する国番号がリストに登録されていないときは、「**国番号リストを編集する**」（☞P.14-3）の操作で追加することができます。

以前かけた電話番号にもう一度かける（リダイヤル）

以前かけた電話番号を最新の20件まで記憶しています。それらを呼び出して簡単にかけることができます。

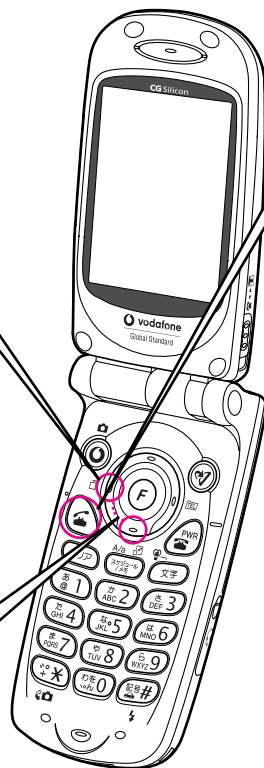
1 ◎（□）を押す。

直前にかけた電話番号と日時が表示されます。

2 かけたい電話番号が表示されるまで、◎または◎（□）を押す。

新しいものから順に表示されます。
◎または◎を押すと、逆の順に表示されます。

3 ☎を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足

- 時刻設定（☞P.1-28）がされていないときや、間違って設定されているときは、電話をかけた正しい日時が表示されません。
- 同じ番号に2回以上の電話をかけた場合、最後に電話をかけた日時のデータのみ記憶されます。
- 相手の電話番号がメモリダイヤルに登　されているときは、名前も表示されます。ただし、シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。

リダイヤルの電話番号を消去する

1 消去したいリダイヤルの電話番号を表示し、Ⓕを押す。

2「8消去」を選び、Ⓕを押す。

3「1一件消去」を選び、Ⓕを押す。

全件消去：「2全件消去」選択➡Ⓕ

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。

次のリダイヤルの電話番号が表示されます。
リダイヤルが1件もないときは、待受画面になります。

補足

- 電源を切ってもリダイヤルの記憶は消えません。
- 20件を超えたときは、古い記憶から消去されます。

電話を受ける

1 電話がかかってきたら、V801SHを開く。

着信中
030123XXXX1

V801SHのメモリダイヤルに登録している相手から電話がかかってきたときは、名前や電話番号が表示されます。

2 を押す。

他のボタンでも受けられます

の他に次のボタンを押しても、電話を受けることができます。
（エニーキーアンサー）
0～9、＊、#、スケジュール/メモ、クリア、◎、◎

3 通話が終わったら、を押す。

V801SHを閉じても、電話は切れます。V801SHを閉じても、電話が切れないようにすることもできます。（☞P.1-27）

補足

- メモリダイヤルやオーナー情報に登録されていない電話番号からの着信について、着信時の動作を約3秒間遅らせることができます。（ワンコールサイレント☞P.2-17）
- 着信音の音量やパターン、モバイルライトの色や点滅パターンを変えたいときは「**着信設定**」（☞P.8-2）を参照してください。

■簡易留守録設定時

- 応答メッセージが流れ、簡易留守録を開始します。また、着信中にF文字の順に押すと、簡易留守録を開始します。（☞P.14-6）
- サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**1簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押すと、簡易留守録を開始します。

■表示について

- 電話番号が通知されてこなかったときは、相手の電話番号や名前は表示されません。（☞P.14-5）
- SDメモリカードおよびUSIMカードのメモリダイヤルに登録している相手からの着信時は、名前やピクチャーコール／メール（☞P.5-11）の画像は表示されません。
  また、指定着信音で設定した着信音も鳴りません。（☞P.5-8）
- 着信内容や時刻は20件まで記憶されており、あとで確認することができます。（☞P.2-12）

電話に出られないとき

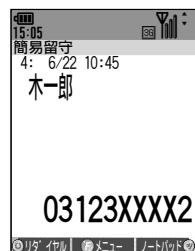
■着信中に次の操作を行います。

キー	操作
◎※	着信を保留して、相手をお待たせします。（☞P.2-15）
F 文字※	V801SHの簡易留守録で応答します。（☞P.2-16）
※	留守番電話サービスセンターなどに転送します。（☞P.15-4）（設定が必要です）
PWR	着信を拒否して、電話を切ります。

※サイドキー設定（☞P.14-5）の設定状況によっては、着信中にサイドキーを1秒以上押しても操作できます。

かけてきた相手にかけ直す

過去にかかってきた電話の着信内容と時刻を、最新の20件まで記憶して、確認することができます。（着信履歴）
また、かかってきた電話に発信者番号通知があった場合、その電話番号を表示し、電話をかけることができます。

1 ◎（□）Ⓥの順に押す。

直前にかかってきた電話の内容が表示されます。

リダイヤルの記憶が１件もないときは、◎（□）を押すと着信履歴が表示されます。

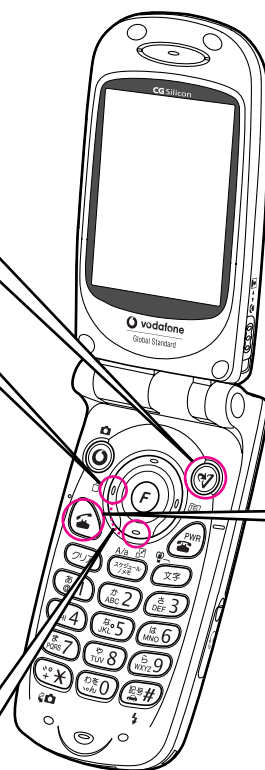
2 かけたい電話番号が表示されるまで、◎または◎（□）を押す。

新しいものから順に表示されます。
◎または◎を押すと、逆の順に表示されます。

3 ☎を押す。

表示されている電話番号がダイヤルされます。

補足

- 時刻設定（☞P.1-28）がされていないときや、間違って設定されているときは、正しい日時が表示されません。
- メモリダイヤルに登　している相手から電話がかかってきたときは、名前も表示されます。
- SDメモリカードおよびUSIMカードのメモリダイヤルに登　している相手から電話がかかってきた場合は、名前は表示されません。

着信履歴に表示されるもの

着信通話	かかってきた電話に出たもの
不在着信	かかってきた電話に出なかったもの
着信応答保留	着信応答保留から切断されたもの
簡易留守	簡易留守 で 音されたもの
手動着信転送	かかってきた電話を転送電話サービスで設定した転送先、または留守番電話サービスセンターに転送したもの
着信応答拒否	かかってきた電話を拒否したもの
運転中モード応答	運転中モード応答アナウンス中に切断されたもの

- 発信者番号通知があったものは、電話番号が表示されます。このとき、メモリダイヤルに登 している方からであれば、名前も表示されます。
  ただし、シークレットデータの名前は、シークレットモード以外では表示されません。
- 公衆電話からかかってきたときは、「**公衆電話**」と表示されます。
- 相手が電話番号を通知してこなかったときは、「**非通知設定**」と表示されます。

着信履歴を消去する

1 消去したい着信履歴を表示し、Ⓕを押す。

2「8消去」を選び、Ⓕを押す。

3「1一件消去」を選び、Ⓕを押す。

■ 全件消去：「2全件消去」選択➡Ⓕ

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。

次の着信履歴が表示されます。着信履歴が1件もないときは、待受画面になります。

- 20件を超えたときは、古い記憶から消去されます。
- 電源を切っても着信履歴は消えません。

電話に出られないとき

着信を保留にする

相手にアナウンスを流し、電話を保留します。（着信応答保留）

1 電話がかかってきたら、V801SHを開く。

2 ◎（応保）を押す。

「**着信応答保留中**」と表示されます。

サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）で「2**着信応答保留**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、着信応答保留になります。

3 電話に出られる状態になったら⌂を押す。

エニーキーアンサー（☞P.2-10）の各ボタンおよび◎、Ⓥを押しても電話に出られます。

- 着信応答保留開始から約30秒後（相手にはアナウンス3回で）、保留中の電話は切れます。
- 着信応答保留中に⌂を押すかV801SHを閉じると、保留中の電話は切れます。（クローズ終話を「OFF」に設定している場合は、電話は切れません。）

- 着信中にⒻを押したあと、「2**着信応答保留**」を選択しても保留できます。（着信パターンに動画を設定しているときは、この操作はできません。）

着信音量を「サイレント」にする

- 着信中に(文字)を押すと、その着信に限り、着信音量が「**サイレント**」になります。
- サイドキー設定（☞P.14-5）を「4**クイックサイレント**」（着信時）に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、クイックサイレントになります。

着信を拒否する

- 着信中に⌂を押します。（☞P.2-11）

メッセージを録音する（簡易留守録）

かかってきた電話を簡易留守　で応答し、相手のメッセージを　音します。（☞P.14-6）

1 電話がかかってきたら、V801SHを開く。

2 着信音が鳴っている間に、F 文字 の順に押す。

応答文が流れたあと、　音が始まります。この場合、その着信に限り留守　音します。

サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）で「1 簡易留守　」（着信時）に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押すと、応答文が流れたあと、　音が始まります。

　音されたメッセージを聞く：F スケジュール/メモ（☞P.14-7）

簡易留守　の設定解除：F 文字（☞P.14-7）

補足

- 　音できる時間が12秒以下のときや、すでに20件　音されているときに操作すると、空き容量不足の確認メッセージが表示され、留守　音はしません。

留守番電話サービス

- 留守番電話サービスを開始に設定しておくと、電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないとき（割込通話サービスの設定時を除く）などに、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.15-5）

迷惑電話を防止する

「ワンコールサイレント」を「ON」にすると、メモリダイヤルやオーナー情報に登録されていない電話番号から電話がかかってきたとき、着信音を鳴らすのを約3秒間遅らせるように設定できます。

- お買い上げ時には「OFF」に設定されています。

1 F 1 0 1 の順に押す。

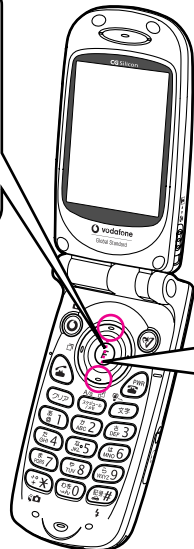
2 「6 ワンコールサイレント」を選びFを押す。

3 「1 ON」を選びFを押す。

通話中の操作

受話音量を調節する

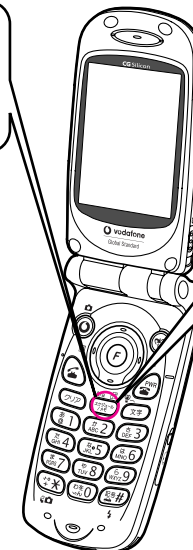
受話口から聞こえる相手の声の大きさ（受話音量）を、５段階で調整します。
●お買い上げ時には、「音量３」に設定されています。

1 通話中または待受画面で、◎を押す。
現在の設定内容が表示されます。

2 ◎（小さくするとき）または◎（大きくするとき）を押す。
押すたびに受話音量が調節できます。
約５秒間そのままにしておくかⒻを押すと、設定されます。

補足
●一度変更した音量は、電源を切っても保持されます。
●Ⓕ①①の順に押しても、調節することができます。

通話中に相手の声を録音する

1 通話中に、(スケジュール/メモ)を1秒以上押す。

2 録音を終了するときは、もう1度(スケジュール/メモ)を押す。

注意
●クローズ終話設定（☞P.1-27）が「ON」に設定されているときにV801SHを閉じると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

補足
●電源を切っても　音内容は保存されています。
●音声メモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.14-6～P.14-8）

通話中にメモを登録する

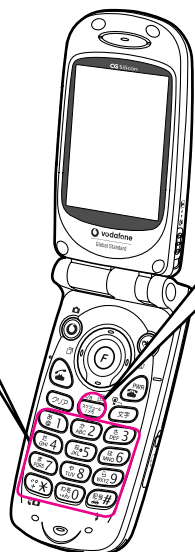
通話中に入力した数字を、最大３件まで登　することができます。相手から聞いた電話番号などを控えるときに便利です。（ノートパッドメモリ）

- １件につき、最大32ケタまで登　できます。（数字０～９、⚹、＃、＋のみ）
- すでに３件登　されている状態で登　すると、古いものから順に消去されます。
- 登　した番号を、メモリダイヤルに登　することもできます。

ノートパッドメモリに登録する

1 通話中に、数字を入力する。

2 （スケジュール/メモ）を押す。

通話中に着信があったり、通話を終了したときなどは、自動的に登　されます。

登録したノートパッドメモリを確認する

1 （□）を押す。

リダイヤル（☞P.2-8）が表示されます。

リダイヤルがないときは、着信履歴（☞P.2-12）が表示されます。着信履歴もないときは、ノートパッドメモリが表示されます。

2 （リダイヤル表示時）または（着信履歴表示時）を押す。

3 確認を終わるときは、（PWR）を押す。

ノートパッドメモリをメモリダイヤルに登録する

1. 登録するノートパッドメモリを表示する。
2. Ⓕを押したあと、「7 メモリダイヤル登録」を選び、Ⓕを押す。
   - ■以降の操作：☞P.5-6 操作３

補足

- 最後に登　したノートパッドメモリが表示されます。を押すと、他のノートパッドメモリを確認することができます。
- を押すと、表示されている番号に電話をかけることができます。
- ノートパッドメモリがないときは、確認画面が表示されます。

ノートパッドメモリを消去する

1 消去するノートパッドメモリを表示する。

2 Ⓕを押したあと、「8消去」を選び、Ⓕを押す。

3 「1一件消去」を選び、Ⓕを押す。

■ すべてのノートパッドメモリをまとめて消去:「2全件消去」選択➡Ⓕ

4 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

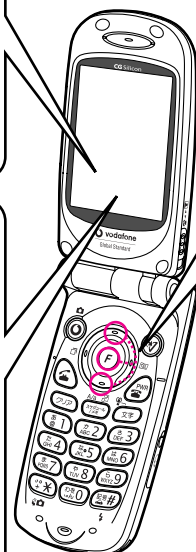
インフォメーションメニュー

電話に出られなかったときや、メールなどを受信してすぐに確認できなかったときには、インフォメーションメニューが表示されます。
インフォメーションメニューを利用すれば、簡単な操作で情報を確認することができます。

（例）着信があったとき

1 着信があると…

着信が終了すると、着信のあった日時と不在着信や簡易留守　の件数が表示されます。

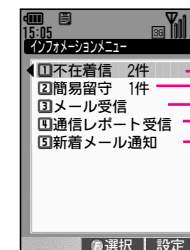
2 約5秒後、インフォメーションメニューが表示される。

3 ◎で確認する項目を選びⒻを押す。

インフォメーションメニューの見かた：☞P.2-23

補足

- 情報を確認しないで、インフォメーションメニューを終了するときは操作２のあと☎を押します。（待受画面に「📄」が表示されます。）
  あとで情報を確認するときは、P.2-24を参照してください。
- サービスセンター内のメールサーバーの蓄積量が、保存できる全容量の80%以上になると、インフォメーションメニューが表示されます。「**メール蓄積量警告**」を選びⒻを押すと、警告画面が表示されます。サーバーからメールを受信するか、サーバーのメールを削除してください。（☞ P.5-3、 P.5-7）
- V801SHの蓄積メモリの容量がなくなると、インフォメーションメニューが表示されます。「**本体メモリフル警告**」を選びⒻを押すと、警告画面が表示されます。不要なデータを削除してください。

インフォメーションメニューの見かた

確認したい項目を選びⒻを押すと、内容が表示されます。

不在着信	不在時に着信があったときは、件数が表示されます。
簡易留守	V801SHがお預かりしている、メッセージの件数が表示されます。
メール受信	受信メールボックスに、未読のメールがあることを示しています。（☞ P.4-2）
通信レポート受信	サービスセンターから通信レポートが届いたことを示しています。（☞ P.4-18）
新着メール通知	メールサーバーに、先行受信していないVGSメールが届いたことを示しています。（☞ P.4-2）

補足

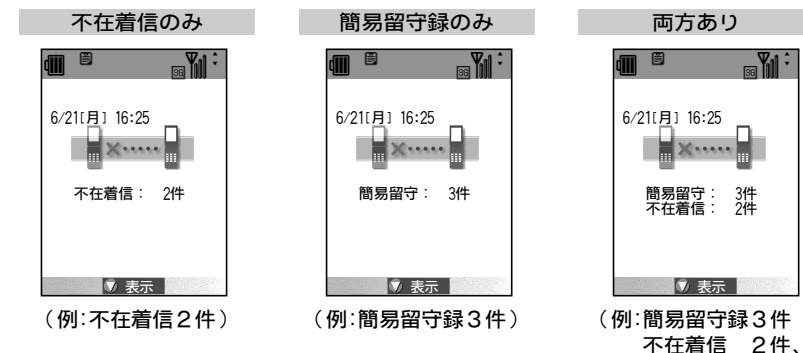
- インフォメーションメニューから表示した各画面でクリアを押すと、インフォメーションメニューに戻ります。（インフォメーションメニューに確認できる情報がないときは、待受画面に戻ります。）
  ただし、簡易留守　の　音データの再生中にクリアを押すと、データ消去の確認画面になります。

2 基本的な操作のご案内

インフォメーションメニューを確認する

インフォメーションメニューがあるときは、待受画面に「📄」が表示されます。
●V801SHを閉じているときは、サブディスプレイに「📄」が表示されます。

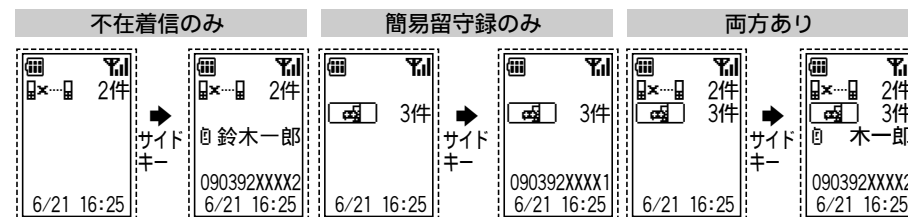
不在時の着信お知らせ表示

不在着信のみ	簡易留守録のみ	両方あり
（例:不在着信２件）	（例:簡易留守録３件）	（例:簡易留守録３件 不在着信　２件、）

インフォメーションメニューから確認したい内容を選んでⒻを押したあと、◎をくり返し押すと、不在時の着信内容（着信の種類、着信日時、相手の電話番号や名前）を確認することができます。

●◎を押すたびに着信日時の新しいものから順に表示されます。
◎を押すたびに着信日時の古いものから順に表示されます。
●☎を押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
●確認を終わるときは、PWRを押します。

- 着信内容を確認しないで、インフォメーションメニューを消す：PWR（このとき、待受画面に「📄」が表示されます。）
- インフォメーションメニューを消したあとで不在時の着信内容を確認：☞P.2-12
  ■着信拒否は、不在着信として記憶されます。
- 簡易留守　：☞P.14-6

■V801SHを閉じているとき

サブディスプレイに、不在時の着信お知らせが表示されているときにサイドキーを押すと、最新の不在時に着信した相手の名前や電話番号が表示されます。

●このあとサイドキーを押すと、着信日時の新しいものから順に表示されます。
●サイドキーを１秒以上押すと、待受画面に戻ります。

各種設定

インフォメーションリセット

インフォメーションメニューの件数をリセットすることができます。

1 インフォメーションメニューを表示し、Ⓥ（設定）を押す。

2 「1インフォメーションリセット」を選び、Ⓕを押す。

3 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

●インフォメーションリセットを行っても「**メール蓄積量警告**」、「**本体メモリフル警告**」の表示はそのままです。

ランプ表示設定

インフォメーションメニューに用件があるとき、モバイルライトを点滅させることができます。ランプ表示設定は、不在着信やボーダフォンライブ！など、項目ごとに設定することができます。

●お買い上げ時には、すべて「**ランプ表示なし**」に設定されています。

1 インフォメーションメニューを表示し、Ⓥ（設定）を押す。

2 「2ランプ表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3 ランプ表示する項目を選び、Ⓕを押す。

4 「1モバイルライト」を選び、Ⓕを押す。

■ ランプ表示しない：「**2ランプ表示なし**」選択➡Ⓕ

5 設定するカラーパターンを選び、Ⓕを押す。

「モバイルライト」設定時

●インフォメーションメニューに設定した項目の用件があるとき、モバイルライトが点滅します。

●「**モバイルライト**」に設定すると、「**ランプ表示なし**」に設定しているときに比べて、電池の利用可能時間が短くなります。

タイムアウト設定

インフォメーションメニューが表示されたとき、自動的にインフォメーションメニューを終了し、待受画面に戻るように設定します。

●お買い上げ時には、「**タイムアウトしない**」に設定されています。

1 インフォメーションメニューを表示し、Ⓥ（設定）を押す。

2 「3タイムアウト設定」を選び、Ⓕを押す。

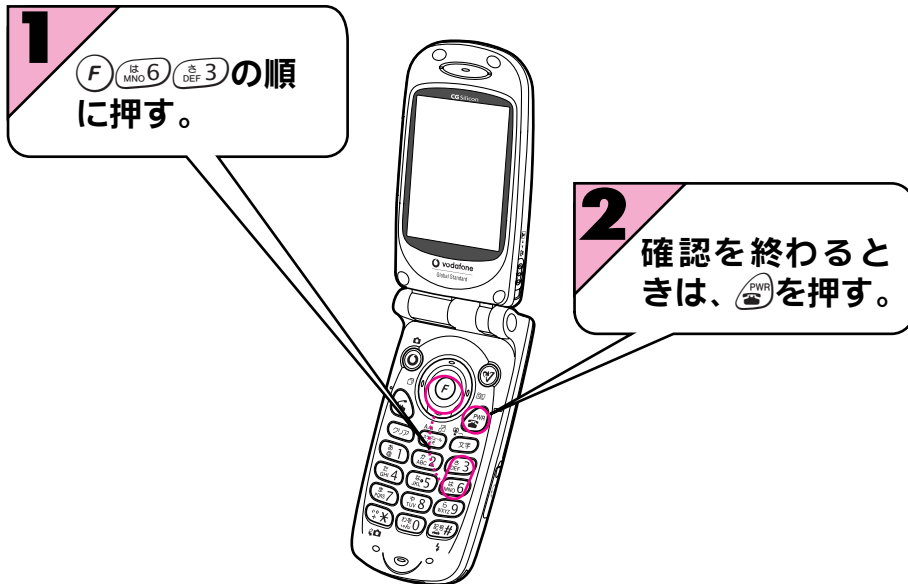
3 「1タイムアウトする」を選び、Ⓕを押す。

■ タイムアウトしない：「**2タイムアウトしない**」選択➡Ⓕ

「タイムアウトする」設定時

●着信があったりメールなどを受信して、インフォメーションメニューが表示されたとき、約10秒後に自動的に待受画面に戻ります。

通話時間表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話時間の目安を確認します。
●電話をかけた場合と電話がかかってきた場合の両方とも表示します。
●累積の通話時間の目安を確認することもできます。

累積の通話時間の目安を確認する

1 F 6 2の順に押す。

2 確認を終わるときは、PWRを押す。

累積の通話時間の目安を消去する

1 累積の通話時間の表示中に、Fを押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「1YES」を選び、Fを押す。

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話時間や累積の通話時間の記憶は消えません。
●着信中や相手を呼び出している時間は計算されません。（応答保留中は計算されます。）
●表示される時間はあくまで目安であり、実際の時間とは異なることがあります。

通話料金表示

通話が終わったあと、直前（前回）の通話料金の目安を確認します。
●累積の通話料金の目安を確認することもできます。

補足
●電源を切っても、直前の電話の通話料金や累積の通話料金の記憶は消えません。
●直前の通話が着信通話のときなどは、「--------円」と表示されます。
●オプションサービスの三者通話サービスをご利用いただいたときは、合算した通話料金を表示します。
●電波が弱くなって通話が切断されたときなどは、切断されるまでの通話料金が表示されます。
●海外でご使用のときは、料金表示されないことがあります。

累積の通話料金の目安を確認する

1 Ⓕ(6)(0)の順に押す。

2 確認を終わるときは、(PWR)を押す。

累積の通話料金の目安を消去する

1 累積の通話料金の表示中に、Ⓕを押す。

2 PIN2コードを入力して、Ⓕを押す。

PIN２コード：☞P.1-7

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

通話料金の上限を設定する

あらかじめ累積通話料金の上限を設定しておくと、限度額を超えた状態では発信ができなくなります。

- 限度額を超えた状態で発信を行うときは、「OFF」（解除）に設定します。
- 通話中に設定した上限を超えても、通話は自動的には切断されません。

1 Ⓕ(6)(5)を順に押す。
- 設定しているときは、上限金額が表示されます。

2 Ⓕ（変更）を押す。

3 PIN２コードを入力して、Ⓕを押す。

4「1ON」を選び、Ⓕを押す。

5 上限金額をダイヤルボタンで入力して、Ⓕを押す。
- 16,777,216円以上は設定できません。

自動的に通話時間／料金を表示する

通話が終わったあと、自動的に通話時間および通話料金の目安を表示します。

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

自分の電話番号とプロフィールの確認

お客様ご自身のV801SHの電話番号を確認します。
- V801SHにオーナー情報（プロフィール）として名前、ヨミ、電話番号、E-mailアドレス、郵便番号、パーソナルデータ、ピクチャーコール／メールの画像設定が登　できます。
- V801SHの電話番号は変更できません。

1 Ⓕ⓪⓪を押す。

ご自分の電話番号が表示されます。

2 確認を終わるときは、Ⓟを押す。

オーナー情報（プロフィール）の確認

1 自局電話番号表示中に、Ⓥ（詳細）を押す。

2 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。
- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ
- オーナー情報画面の見かたは、メモリダイヤルと同様です。☞P.5-16
- オーナー情報を利用してバーコードを作成できます。（☞P.14-28）

オーナー情報の登録

■オーナー情報表示中にⒻ（メニュー）➡「修正」選択➡Ⓕ➡編集項目選択➡☞P.5-23の操作4以降

オーナー情報の消去

■オーナー情報表示中にⒻ（メニュー）➡「消去」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ

オーナー情報の複写

■オーナー情報表示中に◎（複写する項目選択）➡Ⓕ（メニュー）➡「コピー」選択➡Ⓕ➡☞P.4-25の操作5以降

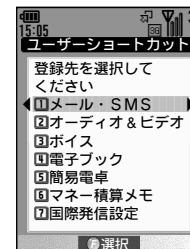
簡単な操作で機能を呼び出す

よく使う機能やデータなどをユーザーショートカットに登　しておけば、簡単な操作で、その機能やデータの画面を表示します。
- ユーザーショートカットに登　できる画面では、「⌂」が表示されます。

ユーザーショートカットに登録する

登　できるユーザーショートカットは、Ⓥ⓪〜Ⓥ⑨、Ⓥ＊、Ⓥ＃、Ⓥ（長押し）です。「⌂」が表示されていない画面は登　できません。
- お買い上げ時に登　されている画面は、次のとおりです。（お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットは消去できません。）
- お買い上げ時に登　されているユーザーショートカットに、上書き登　できます。（上書き登　した内容を消去すると、お買い上げ時の登　内容に戻ります。）

キー	機能	キー	機能
Ⓥ①	メール・SMS	Ⓥ⑧	テキストメモ
Ⓥ②	オーディオ&ビデオ	Ⓥ⑨	バーコード
Ⓥ③	ボイス	Ⓥ⓪	Vアプリライブラリ
Ⓥ④	電子ブック	Ⓥ＊	赤外線／USB通信
Ⓥ⑤	簡易電卓	Ⓥ＃	スポットライト
Ⓥ⑥	マネー精算メモ	Ⓥ（長押し）	データフォルダ
Ⓥ⑦	国際発信設定		

1 登録したい機能一覧またはファイル一覧で、登録したい機能名やファイル名を選んで、Ⓢを1秒以上押す。

2 登録する番号のダイヤルボタン（⓪〜⑨、＊、＃、Ⓥ）を押す。

確認画面が表示されたあと、元の画面に戻ります。

●ユーザーショートカットに登　すると、自動的に登　名がつきます。登　名は変更することもできます。(☞P.2-35)

すでに登録されている番号に登録するとき

●確認メッセージが表示されます。「1YES」を選び Ⓕ を押すと、確認画面が表示され、登　が完了します。

ユーザーショートカットを利用する

●（長押し）に登　している画面を表示するときは、操作１の画面または待受画面でを１秒以上押します。

●データが登　されているときは、登　されているデータが表示／再生されます。

ユーザーショートカットが利用できないとき

●緊急呼モード時（☞P.1-7）

ユーザーショートカットに登録しているデータを消去していたとき

●ユーザーショートカットでデータを表示しようとすると、確認メッセージが表示されます。
「1YES」を選びⒻを押すと、ユーザーショートカットが消去され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

ユーザーショートカットの設定を行う

ユーザーショートカットの名前を変更したり、ユーザーショートカットを消去します。

■名前を変更するとき

1 を押す。

2 名前を変更するユーザーショートカットを選び、（メニュー）を押す。

3「名前変更」を選び、Ⓕを押す。

4 名前を修正し、Ⓕを押す。

名前が変更され、ユーザーショートカットの画面に戻ります。

■ 文字の入力方法：☞P.4-6〜P.4-15

■絵文字は入力できません。

■消去するとき

1 を押す。

2 消去するユーザーショートカットを選び、（メニュー）を押す。

3「消去」を選び、Ⓕを押す。

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。

ユーザーショートカットの画面に戻ります。

●消去したユーザーショートカットは、お買上げ時の登　内容に戻ります。

●Vアプリライブラリやアプリに関する機能など、ユーザーショートカットの名前を変更できない場合があります。

マナーモード

マナーについて

携帯電話をご使用になるときは、周囲の方への気配りを忘れないようにしましょう。
- 劇場や映画館、美術館などでは、まわりの人たちの迷惑にならないように電源を切っておきましょう。
- レストランやホテルのロビーなど、静かな場所では周囲の迷惑にならないように気をつけましょう。
- 新幹線や電車の中などでは、車内のアナウンスや掲示に従いましょう。
- 街の中では、通行の妨げにならない場所で使いましょう。

マナーを守るための機能

- **マナーモード**：☞P.3-3
  着信音やボタン確認音を鳴らさないよう、ワンタッチで設定できます。
  また、マナートークモード、簡易留守　を同時に設定できます。
  電話がかかってくると振動でお知らせします。（マナーモード内容変更の設定による）
- **バイブ設定**：☞P.8-5
  電話がかかってきたときやメールを受信したときなどに振動でお知らせします。
- **音量調節**：☞P.8-2
  「**サイレント**」に設定すると、電話がかかってきたときなどの音を鳴らさないようにできます。また、ウェブの情報画面表示中やVアプリ実行中の音も鳴らさないようにできます。
- **マナートークモード**：☞P.3-3
  通話中にマイクの感度を上げて、小さな声で話しても伝わるようにします。
- **メール着信音**：☞P.8-2
  メールが届いたときの音を鳴らさないようにできます。
- **簡易留守録**：☞P.14-6
  電話に出られないときに相手の用件をV801SHに　音できます。
- **運転中モード**：☞P.3-6
  着信音を鳴らさないように、また簡易留守　の設定がワンタッチでできます。

マナーモード設定

マナーモードを設定／解除する

■マナーモードを設定する

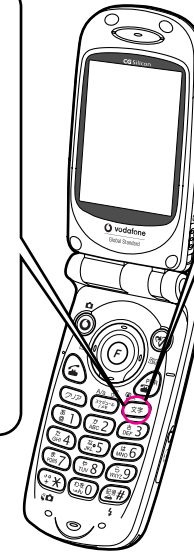
待受中に、(文字)を1秒以上押す。

「♈：マナーモード」が点灯します。また、マナーモードの設定内容に応じて「☎」（留守表示）「V」（バイブレータ）「S」（サイレント）「≣」（ステップ）も表示されます。（☞P.3-4）

ウェブの情報画面やメールの画面（リスト画面、メッセージ画面など）、Vアプリ利用中でも設定／解除することができます。

■マナーモードを解除する

マナーモードが設定されている待受中に、(文字)を1秒以上押す。

「♈」が消え、マナーモードが解除されます。

マナーモードの設定中

- ■ ボタン確認音／エラー音／パワーON／パワーOFF時のサウンドやバーコード認識完了音、警告音が鳴らなくなります。
- ■ マナーモードを設定しても、モバイルカメラ撮影時のシャッター音は鳴ります。
- ■ マルチメディアで再生中の音楽や、ボイスレコーダーで再生中の音声が、V801SHのスピーカーから聞こえなくなります。(オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを利用しているときは、イヤホンから聞くことができます。)
- ■ 簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータが自動的に設定されます。

- マナートークモードが設定されると、通話中に小さな声でお話しできるようになります。（このとき「♈」が点滅します。）
- マナートークモードを設定していなくても、通話中に(文字)を1秒以上押すと、マナートークモードの設定をすることができます。通話を終了すると、マナートークモードは解除されます。
- 簡易留守　の　音中は、相手の声が受話口から聞こえます。

マナーモードの設定内容を変更する

マナーモードを設定したとき自動的に設定される機能（簡易留守　、着信音量、バイブレータ、ランプ設定、マナートークモード、サウンド再生音量、Vアプリ再生音量、Vアプリバイブレータ）を変更します。

●お買い上げ時には、次のように設定されています。

簡易留守録	ON	着信音量	すべてサイレント	バイブレータ	すべてON
ランプ設定	スモールライト	マナートークモード	ON	サウンド再生音量	サイレント
Vアプリ再生音量	サイレント	Vアプリバイブレータ	ON		

簡易留守録／マナートークモードの設定を変更する

1 Ⓕ④⑥の順に押す。

2「①簡易留守録」または「⑤マナートークモード」を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。
設定解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

4 設定を終わるときは、◎（戻る）を押す。

着信音量／バイブレータの設定を変更する

着信音量やバイブレータは「通常着信」「メール着信」「受信完了通知」「配信確認」（☞P.8-2）のそれぞれに設定することができます。

1 Ⓕ④⑥の順に押す。

2「②着信音量」または「③バイブレータ」を選び、Ⓕを押す。

3 設定を変更したい着信の種類を選び、Ⓕを押す。

4 設定内容を選び、Ⓕを押す。

5 設定を終わるときは、クリアを押したあと、◎（戻る）を押す。

マナー設定変更で着信音量を「ステップ」に設定

■着信設定の着信音量（☞P.8-2）やアラーム設定のアラーム音量調節（☞P.14-10、P.14-12、P.14-16）を「**サイレント**」に設定していると、音量は「**サイレント**」になります。また「**音量１**」～「**音量５**」に設定していると、設定されている音量までの「**ステップ**」になります。（「**音量３**」に設定しているとき：「**音量１**」→「**音量２**」→「**音量３**」）

マナー設定変更でバイブレータを「ON」に設定

■着信設定のバイブ設定（☞P.8-5）やアラーム設定のバイブ設定（☞P.14-13）を「OFF」または「SMAF連動」に設定していても、「ON」として動作します。

ランプの設定を変更する

マナーモード時のランプ設定を変更します。
変更できる内容は次のとおりです。

通常動作	着信設定などで設定されている内容に従う
スモールライト	スモールライトが点滅
OFF	すべて点滅しない

1 Ⓕ④⑥の順に押す。

2「④ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定内容を選び、Ⓕを押す。

4 設定を終わるときは、◎（戻る）を押す。

サウンド再生音量／Vアプリ再生音量の設定を変更する

1 Ⓕ④⑥の順に押す。

2「⑥サウンド再生音量」または「⑦Vアプリ再生音量」を選び、Ⓕを押す。
「⑦Vアプリ再生音量」の設定：「①サイレント」／「②音量１」選択➡Ⓕ➡操作４へ

3 ◎を押し、設定したい音量を選び、Ⓕを押す。

4 設定を終わるときは、◎（戻る）を押す。

Vアプリバイブレータの設定を変更する

1 Ⓕ④⑥の順に押す。

2「⑧Vアプリバイブレータ」を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。
■設定解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

4 設定を終わるときは、◎（戻る）を押す。

運転中モード設定

運転中モードを設定／解除する

●お買い上げ時は「OFF」に設定されています。

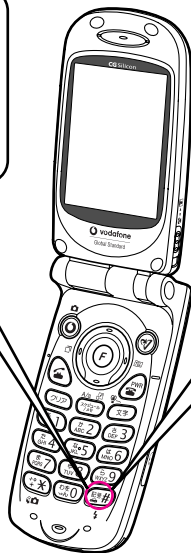
■運転中モードを設定する

待受中に、記号#を1秒以上押す。

「🚗：運転中モード」が点灯します。

■運転中モードを解除する

運転中モードが設定されている待受中に、記号#を1秒以上押す。

「🚗」が消え、運転中モードが解除されます。

運転中モードの設定中

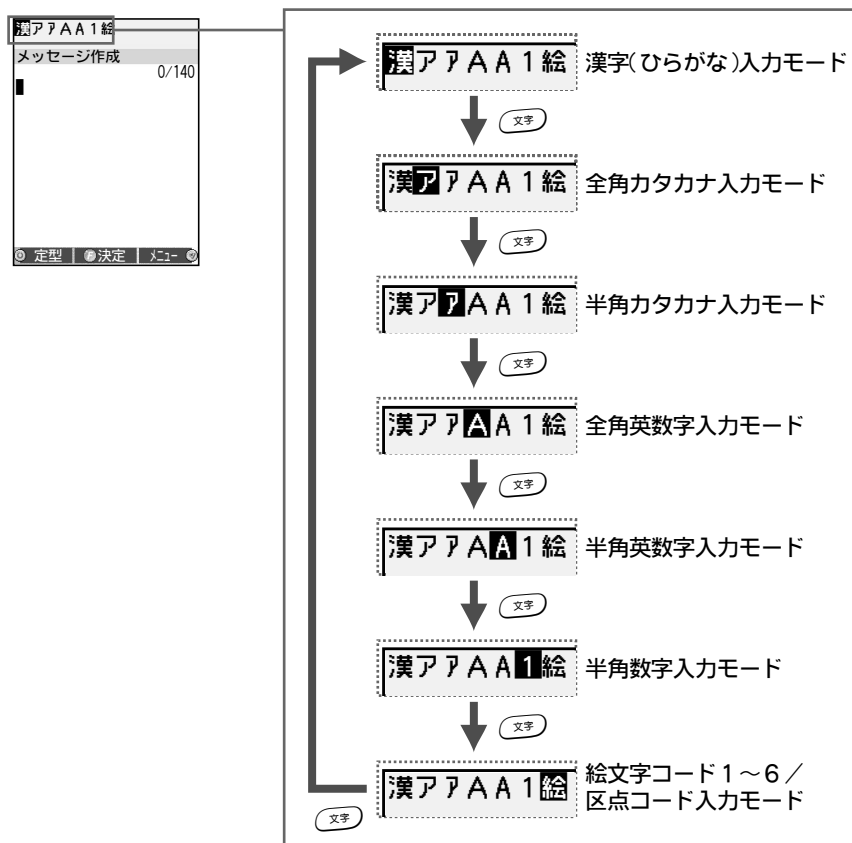
■ VGSメール、SMS着信音が鳴らなくなります。
■ スケジュール、リピートアラームのアラーム音は鳴りません。
■ 電話の着信があった場合は、着信音を鳴らさず、運転中モード応答アナウンスが流れたあと、簡易留守　を開始します。（バイブレータ、ランプは動作しません。）

文字の入力方法

文字入力について

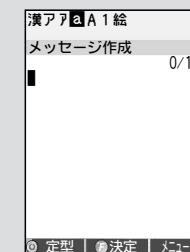
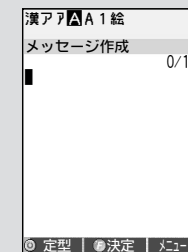
ひらがな、漢字、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、記号（全角／半角）、絵文字が入力できます。文字入力には、かな入力方式とポケ　ル入力方式（☞P.4-12）の２種類の方法があります。

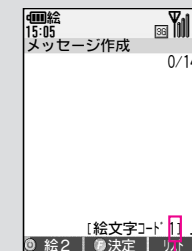
文字入力モード

文字入力選択状態で（文字）を押すごとに、入力できる文字（入力モード）が切り替わります。

●入力モード切替中は、◎を押しても上記の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。
●メモリダイヤルのヨミ入力や E-mail アドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

■入力モードの表記（画面１行目に、現在の入力モードが表示されます。）

表記	モード	表記	モード
漢	漢字（ひらがな）	A	半角英数字（大小文字）
ア	全角カタカナ	a	半角英数字（小文字）
ｱ	半角カタカナ	1	半角数字
Ａ	全角英数字（大小文字）	絵	絵文字コード
ａ	全角英数字（小文字）	区	区点コード

●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで（ｽｹｼﾞｭｰﾙ/ﾒﾓ）を押すと、大小文字⇔小文字が切り替わります。

全角英数字入力モード（大小文字）　全角英数字入力モード（小文字）

●絵文字コード１～６と区点コード入力モードは、◎を押すと次の順に切り替わります。
■絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード→絵文字コード１…
●絵文字コード番号（１～６）は、画面下部で確認できます。

絵文字コード番号

ダイヤルボタンの割り当て

1つのボタンには複数の文字が割り当てられており、ボタンを押す回数によって表示される文字が切り替わります。

例：カタカナ入力モードで1を3回押すと、「ウ」が表示されます。

- 文字入力中にを押すと、表示を逆順に切り替えることができます。（半角数字入力モード、絵文字コード、区点コード入力は除く）

例：「い」を入力しているときにを押すと、「あ」になります。

全角文字

ボタン	漢字（ひらがな）入力モード	全角カタカナ入力モード	全角英数字入力モード	
			大小文字	小文字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	アイウエオァィゥェォ	@．／＿－1□（スペース）	@．／＿－1□（スペース）
2	かきくけこ	カキクケコ	ＡＢＣａｂｃ２	ａｂｃ２
3	さしすせそ	サシスセソ	ＤＥＦｄｅｆ３	ｄｅｆ３
4	たちつてとっ	タチツテトッ	ＧＨＩｇｈｉ４	ｇｈｉ４
5	なにぬねの	ナニヌネノ	ＪＫＬｊｋｌ５	ｊｋｌ５
6	はひふへほ	ヒフヘホ	ＭＮＯｍｎｏ６	ｍｎｏ６
7	まみむめも	マミムメモ	ＰＱＲＳｐｑｒｓ７	ｐｑｒｓ７
8	やゆよゃゅょ	ヤユヨャュョ	ＴＵＶｔｕｖ８	ｔｕｖ８
9	らりるれろ	ラリルレロ	ＷＸＹＺｗｘｙｚ９	ｗｘｙｚ９
0	わをんー、。（改行）	ワヲンー、。（改行）	，．０（改行）	，．０（改行）
*	゛゜		E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※	
#	記号入力（全角）／絵文字入力			
上	変換／カーソル上移動	カーソル上移動		
下	変換/カーソル下移動（改行）	カーソル下移動（改行）		
左	カーソル左移動			
右	カーソル右移動			
文字	文字入力モードの切り替え			
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合のみ有効）		小文字/大文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え	大文字/小文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え
クリア 短く押す	1文字消去、変換中止	1文字消去		
クリア 長く押す	全文字消去			
F	決定			

※ E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。

- 変換できる漢字は、区点全文字（6355文字）です。

半角文字

ボタン	半角カタカナ入力モード	半角英数字入力モード		半角数字入力モード	絵文字コード1～6/区点コード入力モード
		大小文字	小文字		
1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	@．/_－1□（スペース）	@．/_－1□（スペース）	1	1
2	ｶｷｸｹｺ	ABCabc2	abc2	2	2
3	ｻｼｽｾｿ	DEFdef3	def3	3	3
4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHIghi4	ghi4	4	4
5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKLjkl5	jkl5	5	5
6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNOmno6	mno6	6	6
7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRSpqrs7	pqrs7	7	7
8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUVtuv8	tuv8	8	8
9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZwxyz9	wxyz9	9	9
0	ﾜｦﾝｰ､｡（改行）	，．0（改行）	，．0（改行）	0	0
*	ﾞﾟ-	E-mailアドレス用／URL用変換（半角）※1		*＋-,（ポーズ）※2	
#	記号入力（半角）／絵文字入力			#	
上	カーソル上移動				
下	カーソル下移動（改行）				
左	カーソル左移動				
右	カーソル右移動				
文字	入力モードの切り替え				
スケジュール/メモ	小文字／大文字変換（変換できる文字の場合のみ有効）	小文字/大文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え	大文字/小文字変換+大小文字/小文字入力モードの切り替え		
クリア 短く押す	1文字消去				入力済みコード消去／1文字消去
クリア 長く押す	全文字消去				
F	決定				
					絵文字コード1～6／区点コード入力モードの切り替え

※1 E-mailアドレス、URLの一部が画面に表示され入力できます。

※2 「＋」、「-」や「,（ポーズ）」は、電話番号入力時のみ有効です。

- メモリダイヤルのヨミ入力やE-mailアドレス入力のときなどは、入力できる文字（入力モード）が制限されます。

文字の入力方法

漢字／ひらがな／カタカナを入力する

漢字（ひらがな）入力モードにしたあと、ひらがなを入力し、漢字に変換します。

●ひらがなをそのまま入力するときは、ひらがなを入力したあとⒻを押します。

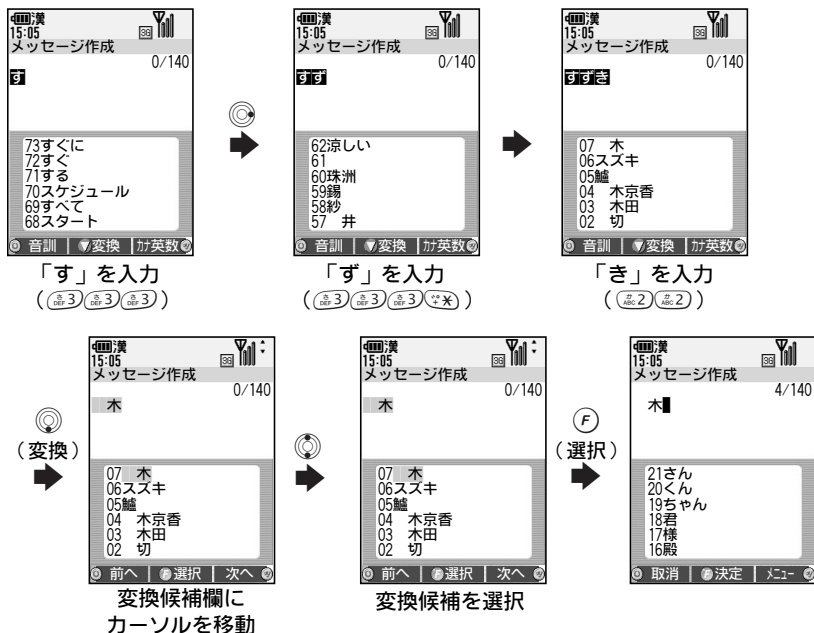
●カタカナの入力は、全角カタカナ入力モードまたは半角カタカナ入力モードにして入力します。また、漢字入力モードでひらがなを入力し、変換候補から選んで入力することもできます。

例：「　木」と変換するとき

「す」を入力

「ず」を入力

「き」を入力

変換候補欄にカーソルを移動

変換候補を選択

●ひらがなを1文字入力するたびに、変換候補が表示されます。採用するときは、◎を押し変換候補欄にカーソルを移動したあと、◎で入力したい変換候補を選び、Ⓕを押します。

■ 他の変換候補画面の表示：◎（次へ）／◎（前へ）

■ 変換候補欄での選択中止：クリア➡文字入力画面へ

●同じボタンを使って次の文字を入力するとき（例：「あい」）は、必ず◎を押してカーソルを移動させてから入力してください。

●「めーる」と入力した場合「Mail」、「mail」、「MAIL」、また「いちまるきゅー」と入力した場合「109」のように、一部の英数字（半角）が変換候補に表示されます。

カーソル

■ 文字入力時に表示される「■」を「カーソル」といいます。カーソルは、◎を押すと1文字単位で移動することができます。文字の入力や修正は、カーソル位置に対して行われます。

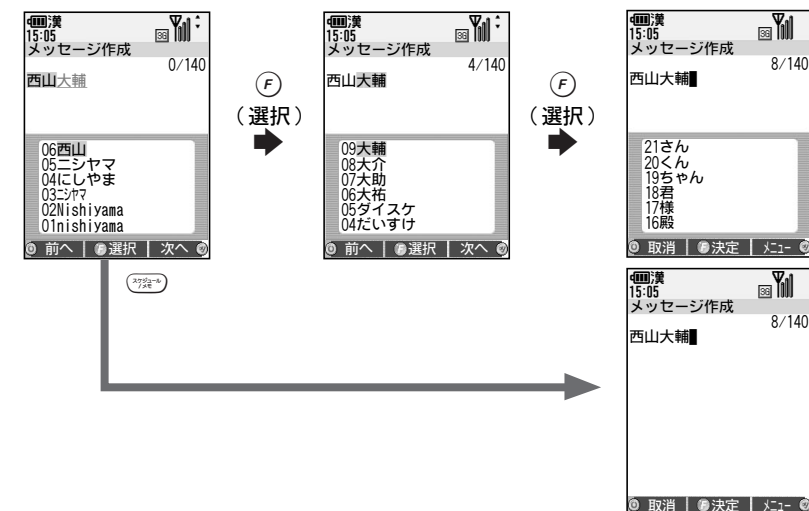
学習機能

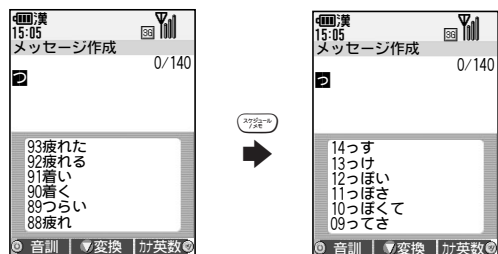
■ 漢字変換では、これまでによく変換した漢字が優先してリストに表示されます。

●目的の漢字に変換されないときは、クリアを押し文字入力画面にカーソルを戻したあと、◎を押し、変換の対象となる文字（反転している文字：下の例の場合は「み」と「ち」）の区切りを変えて変換し直すことができます。

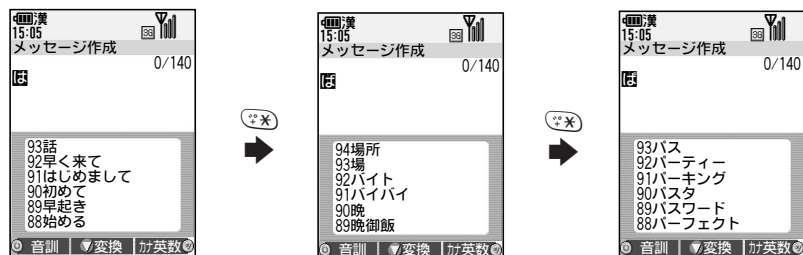
例：「三智」と変換するとき

●スケジュール/メモを押すと、複数の変換の対象を一度に採用することもできます。

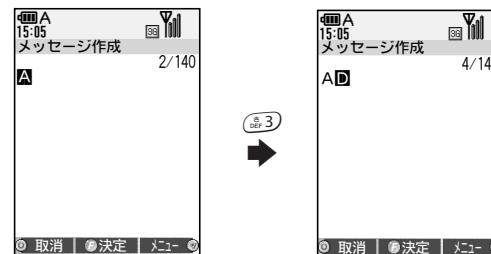
例：「西山大輔」と変換するとき

小文字（っ、ッなど）を入力する

ひらがなやカタカナの「**あいうえおつやゆよ**」を小文字に変換します。
小文字に変換したい文字を入力し、（スケジュール/メモ）を押します。

●小文字にできない文字では、（スケジュール/メモ）を押しても受けつけません。

だく点（゛）／半だく点（゜）を入力する

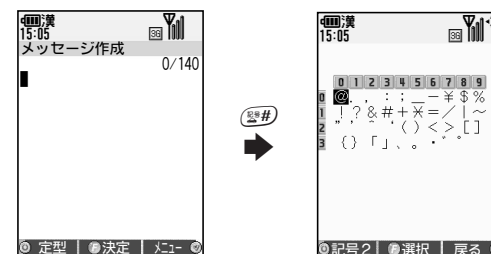
だく点や半だく点を付けたい文字を入力し、（＊）を押します。

●漢字（ひらがな）や全角カタカナ入力モードの場合、「**か行**」「**さ行**」「**た行**」は１回押すとだく点が付き、２回押すと元に戻ります。また、「**は行**」は１回押すとだく点が付き、２回押すと半だく点が付き、３回押すともとに戻ります。
●ただし、ひらがなや全角カタカナのだく点や半だく点を付けられない文字では、（＊）を押しても受けつけません。
●半角カタカナ入力モードの場合は、１回押すとだく点が、２回押すと半だく点が半角１文字分として表示されます。
だく点や半だく点を使わないときは（クリア）を押し、だく点や半だく点を消去します。

英数字を入力する

全角英数字入力モード（大文字／小文字）または半角英数字入力モード（大文字／小文字）で、英数字を入力します。半角数字は、半角数字入力モードでも入力できます。

●同じボタンを使って、次の文字を入力するとき（例：「ＡＢ」）は、必ず◎を押してカーソルを移動させてから入力してください。
●全角英数字入力モード、半角英数字入力モードで（スケジュール/メモ）を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。
●英字の場合は、（スケジュール/メモ）を押し小文字に変換すると、小文字入力モードになります。続けて小文字を入力することができます。

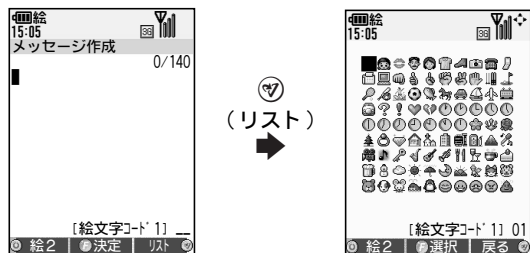
記号／絵文字／顔文字などを入力する

記号を入力する

記号変換が可能なモードにして、（＃）を押します。

●（方向キー）を押して、入力したい記号を選んだあと、（F）を押します。
●行番号と列番号を続けて押しても、選ぶことができます。
例：「&」選択時：（1）（2）と押す。
●全角のモードで操作したときは全角の記号が、半角のモードで操作したときは半角の記号が入力できます。
●記号画面表示中に（◎）または（＃）を押すと、記号（１～３）リストを順に切り替えることができます。（全角モードの場合のみ）
さらに続けて（◎）または（＃）を押すと絵文字リスト（１～６）が表示されます。（☞P.4-10）
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**きごう**」と入力し（変換）を押すと、一部の記号を入力することができます。

絵文字を入力する

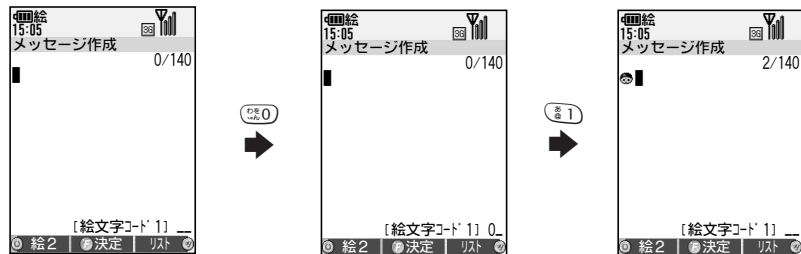
■リストから入力する

絵文字コード入力モードで、㋳（**リスト**）を押すと、絵文字１リストが表示されます。

■ 絵文字リスト（１～６）の切り替え：◎

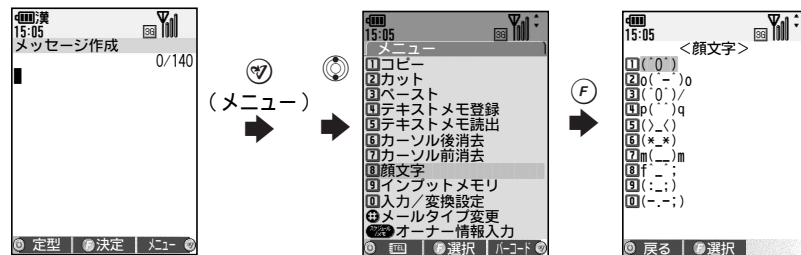
●✥を押して、入力したい絵文字を選んだあと、Ⓕを押します。

●漢字（ひらがな）入力モードで、#をくり返し押すと、記号画面のあとに、絵文字リストを表示させることができます。

■コードで入力する

絵文字コード１～６入力モードにして、２ケタの数字（絵文字コード：☞P.14-4～P.14-6）を押します。

■ 絵文字コードの押し間違い：２ケタ目を押す前にクリア

顔文字を入力する

文字入力画面で㋳（**メニュー**）を押し、「8**顔文字**」を選んだあと、Ⓕを押します。

●入力したい顔文字を選んだあと、Ⓕを押して選択します。

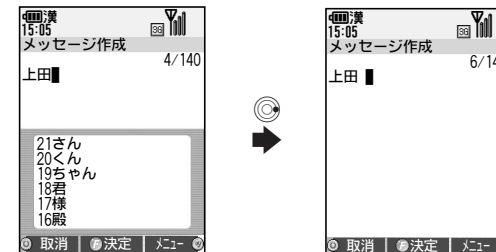
●顔文字は、入力モードにかかわらず半角で入力されます。

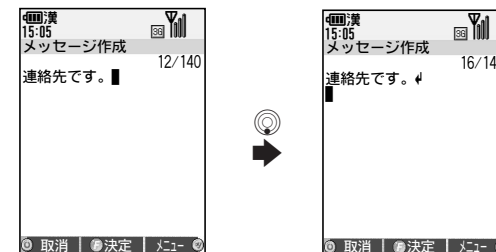
●絵文字１～６入力モードのときは、顔文字入力はできません。

●漢字（ひらがな）入力モードで、「**かお**」と入力し◎（**変換**）を押すと、上記の操作で入力できる（表示される）顔文字以外の顔文字も入力できます。

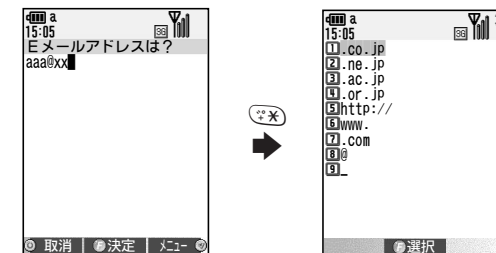
●漢字（ひらがな）入力モードで、「**わーい**」や「**うーん**」などの顔の表情を表す言葉を入力し◎（**変換**）を押しても、顔文字が入力できます。

スペースを入力する

◎を押してカーソルを進めます。英文字入力モードのとき、1を７回押してスペースを入力することもできます。

改行する

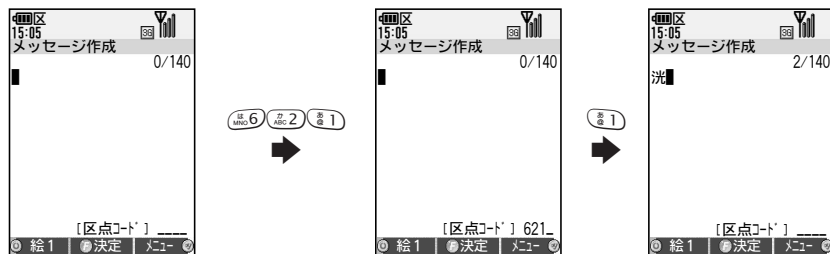
文末で◎を押します。（メールのメッセージの文末やテキストメモなどで有効です。）

●文の途中で改行するときは、改行したい位置にカーソルを移動し、0を数回押して「↲」を表示させたあと、Ⓕを押します。（0を押す回数は入力モードによって異なります：☞P.4-4～P.4-5）

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

英数字入力モードにして、*を押します。

●入力したい文字を選んだあと、Ⓕを押します。

●全角／半角モードにかかわらず、E-mailアドレス、URLは半角で入力されます。

区点コードを利用する

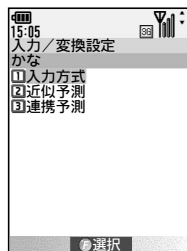
区点コード入力モードにして、４ケタの数字（区点コード：☞P.17-12〜P.17-22）を押します。

■ 区点コードの押し間違い：４ケタ目を押す前に(クリア)

●区点コード表にないコードを入力すると、スペースが入力されることがあります。

ポケベル方式で文字を入力する

ポケベル入力方式にする

1 **文字入力画面で、(メニュー)（メニュー）を押す。**

2 **「0入力／変換設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1入力方式」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「2ポケベル」を選び、Ⓕを押す。**

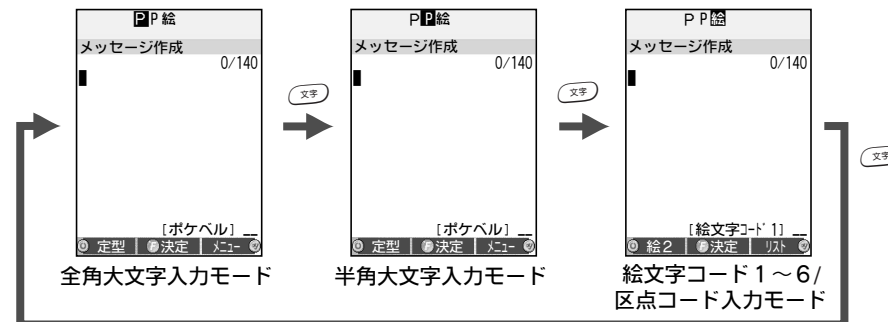
入力方式が設定され、文字入力画面に戻ります。

■ かな入力方式設定時：「1かな」選択➡Ⓕ

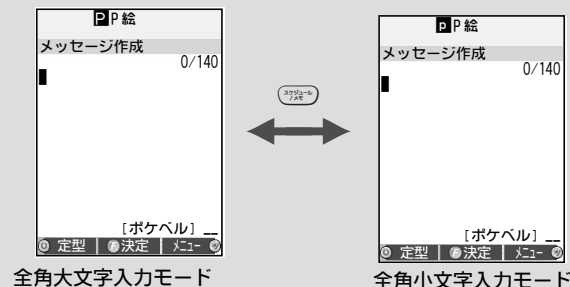
●文字入力画面によっては、表示されるメニュー画面の番号や内容が異なります。
●ポケ　ル入力方式は、通常の入力方式（かな入力方式）にするまで継続します。

入力モード

文字入力選択状態で(文字)を押すごとに、入力モードが切り替わります。

全角大文字入力モード　半角大文字入力モード　絵文字コード１〜６/区点コード入力モード

●◎を押しても上記の順に切り替わります。◎を押すと逆の順に切り替わります。

補足

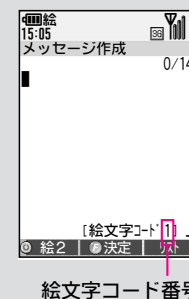
●全角入力モード、半角入力モードで(スケジュール/メモ)を押すと、大文字⇔小文字が切り替わります。

全角大文字入力モード　全角小文字入力モード

●絵文字コード１〜６と区点コード入力モードは、◎を押すと次の順に切り替わります。

■ 絵文字コード１→絵文字コード２→絵文字コード３→絵文字コード４→絵文字コード５→絵文字コード６→区点コード入力モード→絵文字コード１…

●絵文字コード番号（１〜６）は、画面下部で確認できます。

絵文字コード番号

4 文字の入力方法

ポケベルコードの入力方法

ポケベル入力方式にして、2ケタの数字（ポケベルコード：☞P.4-15）を押します。

■ポケベルコードの押し間違い：2ケタ目を押す前にクリア

●ポケベルコードとは、文字ひとつひとつにつけられている固有の番号です。

補足

- ●ポケベル入力方式で入力した文字の変換や、区点コード入力、スペース入力、小文字入力、記号入力、E-mailアドレス／URL入力、絵文字入力の操作は、かな入力方式と同じです。
- ●ポケベル入力方式では、カナ英数字変換はできません。
- ●だく点､半だく点は､ポケベルコード一覧を参照して入力してください｡（☞P.4-15）

■ポケベルコード一覧

●全角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	￥	&		☎	※1
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	#	スペース	❤	※2
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

●全角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			っ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ゃ		ゅ		ょ					※2
9										
0				、	。					

●半角大文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｱ	ｲ	ｳ	ｴ	ｵ	A	B	C	D	E
2	ｶ	ｷ	ｸ	ｹ	ｺ	F	G	H	I	J
3	ｻ	ｼ	ｽ	ｾ	ｿ	K	L	M	N	O
4	ﾀ	ﾁ	ﾂ	ﾃ	ﾄ	P	Q	R	S	T
5	ﾅ	ﾆ	ﾇ	ﾈ	ﾉ	U	V	W	X	Y
6	ﾊ	ﾋ	ﾌ	ﾍ	ﾎ	Z	?	!	-	/
7	ﾏ	ﾐ	ﾑ	ﾒ	ﾓ	¥	&		☎	※1
8	ﾔ	(	ﾕ	)	ﾖ	*	#	スペース	❤	※2
9	ﾗ	ﾘ	ﾙ	ﾚ	ﾛ	1	2	3	4	5
0	ﾜ	ｦ	ﾝ	ﾞ	ﾟ	6	7	8	9	0

●半角小文字モード

1ケタ目（最初に押すボタン）	2ケタ目（次に押すボタン）									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	ｧ	ｨ	ｩ	ｪ	ｫ	a	b	c	d	e
2						f	g	h	i	j
3						k	l	m	n	o
4			ｯ			p	q	r	s	t
5						u	v	w	x	y
6						z				
7										※1
8	ｬ		ｭ		ｮ					※2
9										
0				,	.					

※1　7 0 と押すと、改行が入力されます。（改行は、メールのメッセージ本文、テキストメモ入力時などに有効です。）

※2　8 0 と押すと、大文字モード（左表）と小文字モード（右表）が切り替わります。

●「☎」、「❤」は半角2文字分となります。

●空欄は、空白を示します。（何も入力されません。）

●■部分は、文字入力後スケジュール/メモを押すたびに、大文字⇔小文字と切り替わります。

文字の変換機能

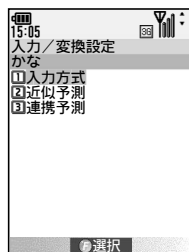
変換方法を設定する

漢字変換では、「**近似予測変換**」と「**連携予測変換**」という便利な変換機能が利用できます。

近似予測変換	ひらがなを1～3文字入力するたびに、入力した文字で始まる変換候補が表示されます。専用の辞書を持っており、一般的によく使われる単語が登　されています。
連携予測変換	文字を確定すると、これまでの文字入力／変換履歴から推測して、確定した文字に続くと思われる文字の候補が自動的に表示されます。

●お買い上げ時には、両方の変換機能が「ON」（使用する）に設定されています。

1 **文字入力画面でⓂ（メニュー）を押す。**

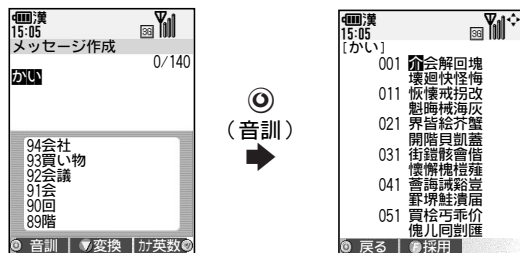
2 **「[1]入力／変換設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「[2]近似予測」または「[3]連携予測」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「[1]ON」または「[2]OFF」を選び、Ⓕを押す。**

変換方法が設定され、文字入力画面に戻ります。

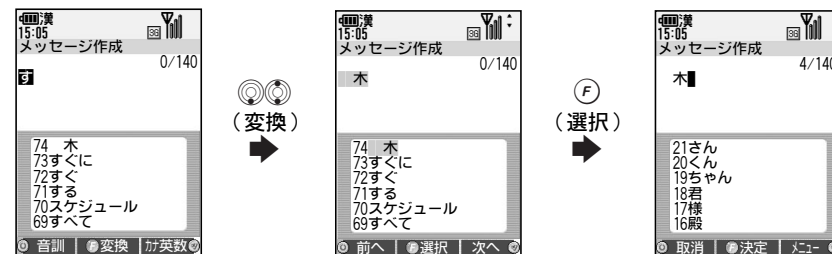
音訓変換を利用する

通常変換で入力したい漢字が見つからないときは、漢字の読みを入力して1文字ずつ漢字を変換します。

漢字（ひらがな）入力モードで、ひらがなを入力し、◎（**音訓**）を押して、漢字に変換します。

●✥を押して、入力したい漢字を選んだあと、Ⓕを押して採用します。

一度入力した文字を利用する

一度、通常の変換方法で入力した漢字を次回入力するときには、先頭の1文字を入力して漢字に変換することができます。（1文字変換）

例：以前に「　木」を変換したとき

●1文字変換で記憶されるメモリは、ユーザー辞書と共用しています。（1文字変換は、ユーザー辞書の空きメモリに自動的に記憶されます。）
そのため、ユーザー辞書の登　内容や件数によっては、1文字変換が記憶できないことがあります。

●1文字変換で記憶される件数は、同じ見出し語（1文字）に対して、ユーザー辞書と合わせて最大5件です。
記憶可能な件数を超える場合、古い1文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

カナ英数字変換を利用する

漢字入力モードのまま、カタカナや英字、数字を入力することができます。文字を入力したあと（カナ英数）を押し、で入力したい文字を選び、Ⓕを押します。

例：「明日は、AM10時に集合です」と入力するとき

「明日は、」と入力したあと…

このあと、「時に集合です」と入力し、文章を完成させます。

●英字は次のように変換されます。（小文字やだく点／半だく点つきも同様です。）

あ	@	い	.	う	／	え	_	お	スペース
か	A	き	B	く	C	け	スペース	こ	スペース
さ	D	し	E	す	F	せ	スペース	そ	スペース
た	G	ち	H	つ	I	て	スペース	と	スペース
な	J	に	K	ぬ	L	ね	スペース	の	スペース
は	M	ひ	N	ふ	O	へ	スペース	ほ	スペース
ま	P	み	Q	む	R	め	S	も	スペース
や	T	ゆ	U	よ	V				
ら	W	り	X	る	Y	れ	Z	ろ	スペース
わ	,	を	.	ん	スペース	ー（長音）、。改行			スペース

●数字は次のように変換されます。（小文字やだく点／半だく点つきも同様です。）

■あ行…1　■か行…2　■さ行…3　■た行…4　■な行…5　■は行…6　■ま行…7
■や行…8　■ら行…9　■わ／を／ん／ー（長音）／、／。　■改行…0

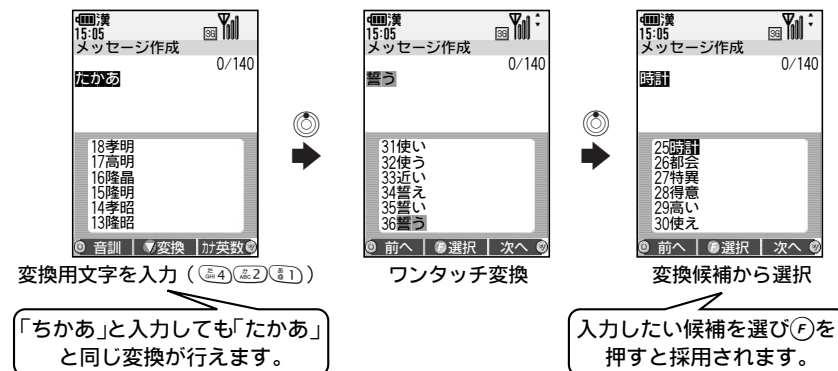
ワンタッチ変換を利用する

押したボタンに割り当てられている、すべてのひらがなの組み合わせを利用して、漢字変換を行うことができます。

ワンタッチ変換を利用するときは、ひらがなを入力したあと、を押します。

目的のひらがなを入力するために、何度も同じボタンを押す必要がなくなります。

例：「時計」を入力するとき

通常の変換	4 4 4 4 4（と）2 2 2 2（け）1 1（い）（変換）
ワンタッチ変換	4（た）2（か）1（あ）（ワンタッチ変換）

●ワンタッチ変換は、主に名詞に対応しています。
●ワンタッチ変換状態では、カーソルが緑色になります。他のワンタッチ変換の変換候補を表示するときは、を押します。
●ワンタッチ変換状態（緑色のカーソル）のとき、を押すと、変換の対象となる文字の区切りを変えることもできます。このときも以降の変換はワンタッチ変換となります。
●ワンタッチ変換では、これまでによく変換した文字列が優先してリストに表示されます。
●ひらがな以外を入力しているときは、ワンタッチ変換は働きません。
●だく点／半だく点付きの文字を指定するときは、元の文字が割り当てられているボタンを1回押したあと、だく点／半だく点を入力します。（例：「**べんきょう**」の場合「**ばわかやあ**」と入力）

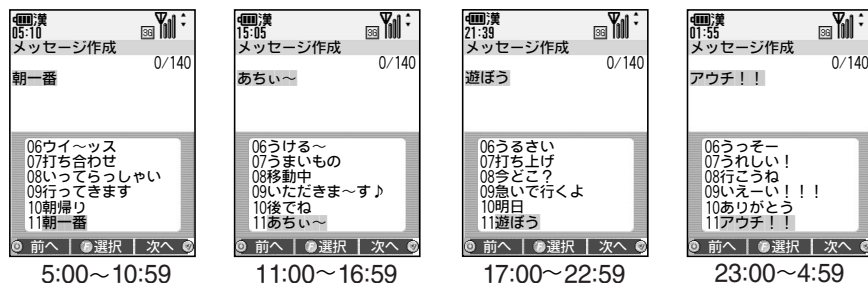
■ 通常変換に戻す：変換候補表示中にクリア➡変換前のひらがなに戻る➡（通常変換）

推測頭出し変換

１文字だけ入力してワンタッチ変換を行うと、入力した文字の行の文字（「あ」を入力した場合「あ」「い」「う」「え」「お」）で始まる言葉が、操作した時間帯に応じて表示されます。

例：「あ」を入力したとき

5:00〜10:59

11:00〜16:59

17:00〜22:59

23:00〜4:59

- 表示される言葉は、あらかじめ登　されています。
- 表示される言葉は、5:00〜10:59、11:00〜16:59、17:00〜22:59、23:00〜4:59の時間帯で変わります。
- 時刻が設定されていないときは、操作した時間帯にかかわらず11:00〜16:59の内容が表示されます。

ワンタッチ１文字学習

以前にワンタッチ変換を行った文字列の先頭の１文字を入力してワンタッチ変換を行うと、以前の変換結果が最初に表示されます。

例：以前に「あたあさわ」と入力してワンタッチ変換で「お父さん」を採用していた場合

よく使う言葉を登録する（ユーザー辞書）

よく使う言葉に見出し語をつけて、最大100語まで登　できます。（同じ見出し語は５件までしか登　できません。）
登　した単語は、見出し語を入力して漢字変換すると、変換候補に表示され、入力することができます。

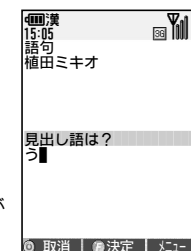
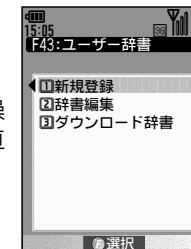
ユーザー辞書に登録する

1 Ⓕ(4)(3)の順に押す。

2 「①新規登録」を選び、Ⓕを押す。
- すでに100語登　されているときは、確認画面が表示され、操作１の画面に戻ります。不要なユーザー辞書を消去してやり直してください。（☞P.4-22）

3 登録する単語を入力する。
- 最大全角15文字まで入力できます。
- 改行や半角スペースは入力できません。

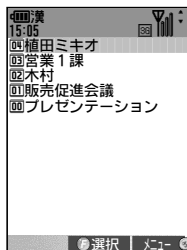
4 Ⓕを押したあと、見出し語を入力する。
- ひらがなで最大全角８文字まで入力できます。

5 Ⓕを押す。
ユーザー辞書が登　され、操作１の画面に戻ります。
■ 別の単語の登　：操作２〜５をくり返す
- すでに同じ見出し語が５件登　されているときは、確認画面が表示され、操作４の画面に戻ります。

- １文字の見出し語に登　できるユーザー辞書の件数は、１文字変換の記憶と合わせて最大５件です。ユーザー辞書を登　して、登　可能な件数を超える場合、古い１文字変換の記憶から順に消去されます。（ユーザー辞書は消去されません。）

ユーザー辞書を修正する

1 **Ⓕ 4 3の順に押す。**

2 **「2辞書編集」を選び、Ⓕを押す。**

- 登　されている単語のリストが表示されます。（見出し語の、あいうえお順に表示されます。）
- ユーザー辞書に単語が１語も登　されていないときは、確認画面が表示され、操作１の画面に戻ります。

3 **修正する単語を選び、Ⓕを押す。**

4 **単語を修正し、Ⓕを押す。**

- 修正しないときは、そのままⒻを押します。

5 **見出し語を修正し、Ⓕを押す。**

- 修正しないときは、そのままⒻを押します。
- 単語も見出し語も修正しなかったときは､確認画面が表示され、操作２のあとの画面に戻ります。

6 **「1上書登録」または「2新規登録」を選び、Ⓕを押す。**

ユーザー辞書が登　され、操作２のあとの画面に戻ります。

- すでに同じ見出しが５件登　されているときは、確認画面が表示され、操作５の画面に戻ります。
- 「2新規登録」の場合、すでに100語登　されているときは、確認画面が表示され、操作６の画面に戻ります。

ユーザー辞書を消去する

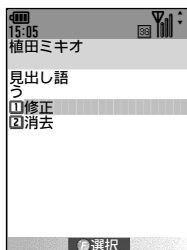
1 **Ⓕ 4 3の順に押す。**

2 **「2辞書編集」を選び、Ⓕを押す。**

3 **消去する単語を選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**

4 **「2消去」を選び、Ⓕを押す。**

5 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

ユーザー辞書が消去されます。（消去した単語以降の番号が、繰り上がります。）

ダウンロードした辞書を設定する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を使用します（２件）。専門用語などの辞書をダウンロードして使用すると、その辞書に登　されている用語が変換候補に表示されるようになります。

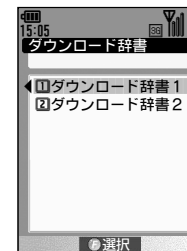
- ダウンロードした辞書ファイルはデータフォルダのETCフォルダ画面から登　することもできます。（☞P.11-49）

辞書を設定する

1 **Ⓕ 4 3の順に押す。**

2 **「3ダウンロード辞書」を選び、Ⓕを押す。**

3 **辞書を登録する番号を選び、Ⓕを押す。**

データフォルダのETCフォルダに登　されているファイルの一覧が表示されます。

すでにダウンロード辞書が登録されている番号の選択時

- 登　されている辞書の内容が表示されます。新しい辞書に変更するときは、Ⓜ（**メニュー**）を押し「**変更**」を選ぶとデータフォルダのETCフォルダ画面になります。

4 **登録する辞書を選び、Ⓕを押す。**

辞書が登　され、ダウンロード辞書の画面に戻ります。

辞書の設定を解除する

1 **Ⓕ 4 3の順に押す。**

2 **「3ダウンロード辞書」を選び、Ⓕを押す。**

3 **解除したい辞書を選び、Ⓕを押したあと、Ⓜ（メニュー）を押す。**

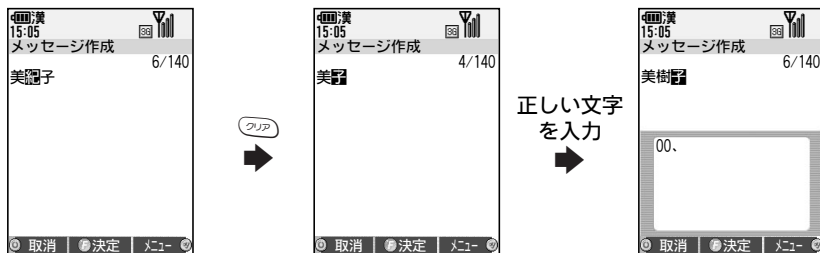
4 **「設定解除」を選び、Ⓕを押す。**

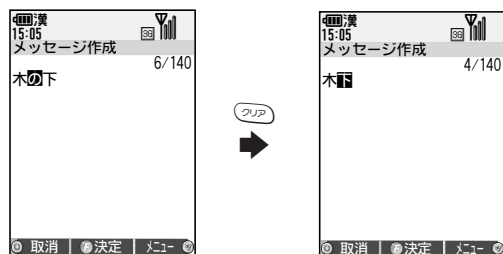
辞書の使用が解除され、ダウンロード辞書の画面に戻ります。

文字の編集

入力した文字を修正する

でカーソルを訂正したい文字まで移動し、クリアを短く押して不要な文字を消去したあと、正しい文字を入力します。

正しい文字を入力

指定した文字を削除する

でカーソルを消去したい文字まで移動し、クリアを押します。

- クリアを短く押すとカーソル上の１文字が消えます。
- クリアを１秒以上押すとすべての文字が消えます。

コピー／切り取り／貼り付けを行う

連続した文字列を、他の場所に複写／移動します。

- 同じ画面内にも他の画面にも複写／移動できます。（「メニュー」が表示されていない画面へは複写／移動できません。）

1 **文字入力画面で（メニュー）を押す。**

2 **「1コピー」（複写するとき）または「2カット」（移動するとき）を選び、Fを押す。**

3 **を押し、複写／移動する文字列の最初の文字にカーソルを移動したあと、F（開始）を押す。**

文字列の開始位置が指定されます。（「終了」が表示されます。）

■ 開始位置の再指定：クリア➡操作３

4 **を押し、複写／移動する文字列の最後の文字にカーソルを移動したあと、F（終了）を押す。**

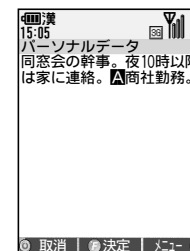
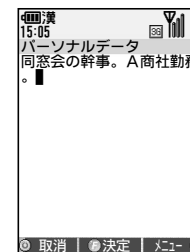
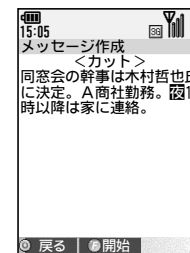
複写／移動する文字列が記憶されます。（最大全角約7500文字（半角約15000文字）まで指定できます。）

- 移動する場合、指定した文字列が元の画面から消去されます。

5 **複写／移動先の画面を表示する。**

6 **（メニュー）を押したあと、「3ペースト」を選び、Fを押す。**

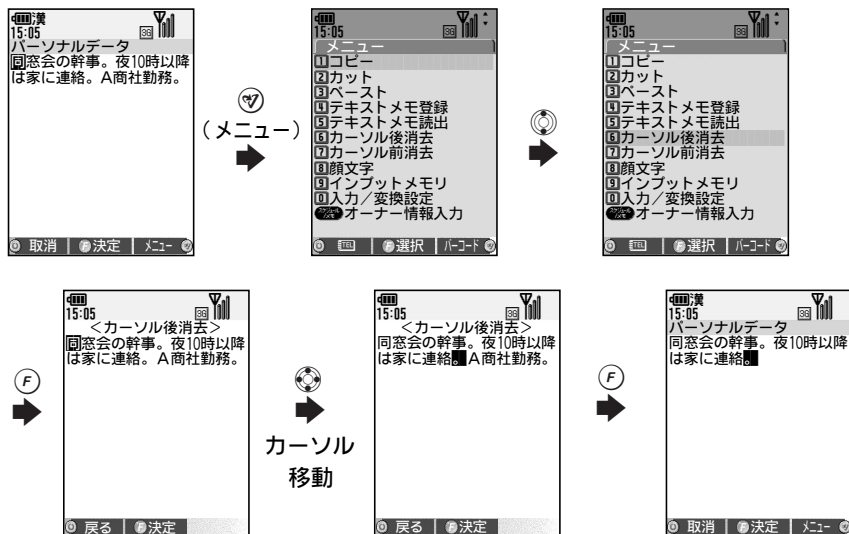
7 **を押し、貼り付ける位置にカーソルを移動したあと、Fを押す。**

記憶している文字列が挿入されます。

カーソル前後の文字をまとめて消去する

㋮（**メニュー**）を押し、「6**カーソル後消去**」または「7**カーソル前消去**」を選んだあと、Ⓕを押します。カーソルを移動したあとⒻを押すと、消去されます。

例：「6カーソル後消去」のとき

（メニュー）

カーソル移動

メモリダイヤルを利用する

文字入力中にメモリダイヤルを呼び出し、登 している電話番号やE-mailアドレスなどの文字列を作成中の文章に挿入します。

文字入力画面で㋮（**メニュー**）を押し、◎（ TEL ）を押すと、メモリダイヤルを呼び出すことができます。このあと、◎を押して入力したい項目を選びⒻを押すと、選んだ項目の内容を記憶します。

◎を押し、文字列を挿入する位置にカーソルを移動したあと、Ⓕを押すと、記憶されていた文字列が挿入されます。

●利用できる項目は、「**名前**」、「**電話番号１～３**」、「**メールアドレス１～３**」、「**パーソナルデータ**」です。

例：「**植田ミキオ**」の「**電話番号１**」を挿入するとき

挿入位置
決定後

文字入力中にオーナー情報を呼び出す

■ 文字入力中に㋮（**メニュー**）➡（スケジュール/メモ）➡操作用暗証番号入力➡オーナー情報表示

●以降の操作は、上記のメモリダイヤルを呼び出したあとの操作と同様です。

テキストメモ

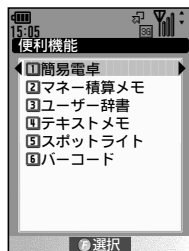
よく使う文章を登　し、メッセージの本文入力などで利用します。

- 1件のテキストメモに登　できる最大文字数は、全角約3000文字（半角約6000文字）です。
- V801SHには最大40件、SDメモリカードには最大300件のテキストメモを登　できます。

テキストメモに文章を登録する

1 Ⓕ◎（8）の順に押す。

2「④テキストメモ」を選び、Ⓕを押す。

- テキストメモの確認：テキストメモ選択➡Ⓕ
- SDメモリカード内のテキストメモの利用：Ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへの切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

3 Ⓜ（メニュー）を押す。

4「新規作成」を選び、Ⓕを押す。

5「本文」を選び、Ⓕを押す。

6 登録する文章を入力し、Ⓕを押す。

7「カテゴリ」を選び、Ⓕを押す。

8 設定するカテゴリを選び、Ⓕを押す。

9 ◎を押す。

- SDメモリカードに登　：◎（）
  - ■V801SHに戻す：上記操作のあと◎（）

10「①YES」を選び、Ⓕを押す。

テキストメモに登　されます。

- 他のテキストメモの登　：操作3〜10をくり返す
- テキストメモの登　終了：

補足
- テキストメモを最大件数まで登　すると、新規作成をすることができません。不要なテキストメモを消去するときはP.4-29を参照してください。

メールやメモリダイヤルなどの文字入力画面から登録

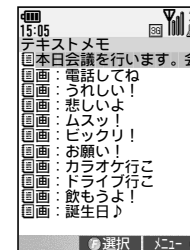
1. Ⓜ（メニュー）を押したあと、「④テキストメモ登録」を選びⒻを押す。
2. テキストメモに登録する文字列の最初の文字にカーソルを移動したあと、Ⓕを押す。
3. テキストメモに登録する文字列の最後の文字にカーソルを移動したあと、Ⓕを押す。
4. 「①YES」を選びⒻを押す。
   - 確認メッセージが表示されたあと、テキストメモに登　されます。
   - 内容によっては、すべての文章が登　できない場合があります。

補足
- 赤外線通信機能を利用して、テキストメモのやりとりができます。（☞P.12-3）

テキストメモを修正／消去する

1 Ⓕ◎（8）の順に押す。

2「④テキストメモ」を選び、Ⓕを押す。

- SDメモリカード内のテキストメモの修正／消去：Ⓜ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

3 修正または消去するテキストメモを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。

4 修正するとき

1. 「メモ編集」を選び、Ⓕを押す。
2. 「本文」または「カテゴリ」を選び、Ⓕを押す。
3. 文章を修正、またはカテゴリを選び、Ⓕを押す。
4. 修正が終われば、◎（完了）を押す。
5. 「①新規登録」または「②上書登録」を選び、Ⓕを押す。

- メモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。不要なテキストメモを消去するときは、下記を参照してください。

消去するとき

1. 「消去」を選び、Ⓕを押す。
2. 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

テキストメモが消去され、テキストメモ一覧に戻ります。

メモリダイヤル

メモリダイヤル登録

メモリダイヤルに登録できる項目

項目		内容
:名前		本体、SDメモリカード：最大全角12文字（半角24文字）まで登　できます。漢字、ひらがな、カタカナ（全角／半角）、英数字（全角／半角）、絵文字が登　できます。 USIMカード：最大全角12文字まで登　できます。（半角カナ入力時は、最大半角12文字まで。）
:ヨミ		本体、SDメモリカード：名前を入力すると、入力した文字がカタカナ、英数字、記号で自動的に入力されます。最大半角24文字（だく点、半だく点含む）まで登　できます。 USIMカード：最大半角英数字24文字まで登　できます。（半角カナを含む場合は最大12文字まで。）
:電話番号		本体、SDメモリカード：メモリダイヤル１件につき、最大３件の電話番号を登　することができます。電話番号は、それぞれ最大32ケタまで登　できます。（「*」や「#」も入力できます。） USIMカード：メモリダイヤル１件に対し、１件登　できます。（32ケタ）
:E-mailアドレス		本体、SDメモリカード：メモリダイヤル１件につき、最大３件のE-mailアドレスを登　することができます。E-mailアドレスは、それぞれ最大半角128文字まで登　できます。 USIMカード：メモリダイヤル１件に対し、１件（半角60文字まで。記号も含みます。）のみ登　できます。
:グループ※		メモリダイヤルを、最大10種類のグループ（グループ０～グループ９）に分けて管理することができます。グループ名を登　／変更したり、グループごとに着信音を設定することができます。
:パーソナルデータ※		登　した相手の個人情報を、最大全角30文字（半角60文字）まで登　することができます。
:シークレット設定※		他人に見られたくないメモリダイヤルを、秘密のメモリダイヤルとして登　することができます。
オプション設定※	指定着信音	登　した相手から電話がかかってきたときの着信パターンなどを設定することができます。
	メールコール	登　した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定することができます。
	ピクチャーコール／メール	着信時に、ピクチャーコール／メールに登　している画像を表示するかどうかを設定します。着信時に画像を表示させるときは「ON」に設定します。
	メールフォルダ	登　した相手から届いたメッセージを、自動的に設定したフォルダに振り分けることができます。

※　USIMカードには登　できません。

- V801SHのメモリダイヤルには、000～499番の最大500件まで登　できます。
- SDメモリカードのメモリダイヤルには、0000～9999番の最大10000件まで登　できます。
- USIMカードのメモリダイヤルには、01～50番の最大50件まで登　できます。

大切なデータを失わないために

- メモリダイヤルに登　した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切なメモリダイヤルなどは、控えをとっておかれることをおすすめします。なお、メモリダイヤルが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

メモリダイヤルに登録する

ここでは、V801SHのメモリダイヤルに新規登　する場合を例に、相手の名前とヨミ、電話番号、E-mailアドレスの登　を順に説明します。

名前を入力する

1 **(文字)を押す。**

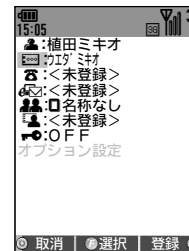
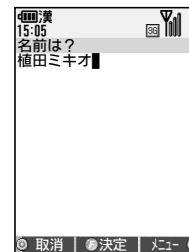
2 **相手の名前を入力する。**

- メモリダイヤルには、名前／電話番号／E-mailアドレスのいずれかを入力しないと登　できません。

3 **(F)を押す。**

「:」の行に、名前に入力した文字（漢字の読み）が半角カタカナで自動的に表示されます。

- ワンタッチ変換、連携予測変換、コピー／ペーストなどで入力したとき、絵文字などを入力したときは、ヨミは入力されません。
- カタカナ、英字、数字、記号を入力したときは、入力した文字が半角で自動的に表示されます。

■ ヨミの変更：「:」選択➡(F)➡ヨミ入力➡(F)
■ 登　の中止：(取消)➡「1YES」選択➡(F)

メモリダイヤル
入力画面

電話番号を入力する

名前を入力したあと、続けて次の操作を行います。

1 メモリダイヤルの入力画面で「☎:」を選び、Ⓕを押す。

電話番号の入力画面になります。

2 電話番号を入力する。

●一般電話の場合は、市外局番も必ず入力してください。

●(*)を３回押すと、「-」が表示されます。(「-」も電話番号の１ケタとしてカウントされます。)

■ プッシュトーン区切り文字の入力：(*)（４回押す）（送信方法：☞P.14-2）

■「+」の入力：(*)（２回押す）（国番号などを直接ダイヤルする方法：☞P.2-7）

3 Ⓕを押す。

4 アイコンを選び、Ⓕを押す。

■ 複数の電話番号の登録：「☎:<未登録>」選択➡Ⓕ➡操作２～４

E-mailアドレスを入力する

電話番号を入力したあと、続けて次の操作をします。

1 メモリダイヤルの入力画面で「✉:」を選び、Ⓕを押す。

2 E-mailアドレスを入力する。

■ E-mailアドレスの一部を入力：(*)（☞P.4-11）

3 Ⓕを押す。

4 アイコンを選び、Ⓕを押す。

■ 複数のE-mailアドレスの登録：「✉:<未登録>」選択➡Ⓕ➡操作２～４を行う

グループの設定

■ メモリダイヤルの入力画面で「👥:」選択➡Ⓕ➡グループ選択➡Ⓕ

パーソナルデータの設定

■ メモリダイヤルの入力画面で「👤:」選択➡Ⓕ➡パーソナルデータ入力➡Ⓕ

メモリダイヤル編集中の着信時

■ 編集中の内容は一時的に記憶（保護）されています。編集を継続するときは、次の操作を行います。Ⓕ➡確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ➡メモリダイヤルの画面に戻る

登録する

1 (✓)（登録）を押す。

メモリ番号（１件ごとのメモリダイヤルにつけられている固有の番号）の入力画面になります。

■ SDメモリカードに登録：☞P.5-7

■ USIMカードに登録：☞P.5-7

メモリ番号入力画面（V801SH）

2 登録するメモリ番号（３ケタ：000～499）を入力する。

１件分のメモリダイヤルが登録されます。

■ オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを使った発信用：メモリ番号000を入力（☞P.14-37）

■ スピードダイヤルを使った発信用：メモリ番号000～009を入力（☞P.5-20）

空いているメモリ番号に自動登録する

■ (*)を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登録されます。

■ 百の位、十の位の数字を押したあと(*)を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

- **百の位を指定するとき（数字を１ケタ入力後➡(*)）**
  (3)(*)と押すと、300～399の最も小さいメモリ番号へ登録されます。
- **十の位を指定するとき（数字を２ケタ入力後➡(*)）**
  (2)(1)(*)と押すと、210～219の最も小さいメモリ番号へ登録されます。

こんな表示が出たときは

「シークレットデータが登録されています」と表示されたときは、秘密のメモリダイヤル（☞P.13-9）のメモリ番号を指定しています。

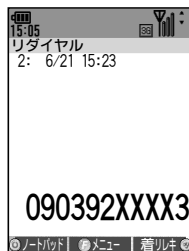
●シークレットモードにしないと書き換えできません。（☞P.13-10）

リダイヤル／着信履歴の電話番号を登録する

1 **メモリダイヤルに登録したいリダイヤルまたは着信履歴のデータを表示させる。（☞P.2-8、P.2-12）**

2 **Ⓕを押し、「7メモリダイヤル登録」を選んだあと、Ⓕを押す。**

3 **名前を入力し、Ⓕを押す。**

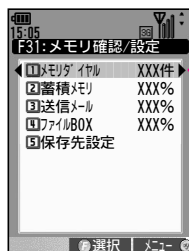
- 自動的に電話番号が入力されます。このあと、他の項目を入力してメモリダイヤルの登　を完了させてください。（☞P.5-3～P.5-5）

注意
- 着信履歴のデータには、発信者番号通知がないものも記憶されます。発信者番号通知がないものは、メモリダイヤルに登　できません。

補足
- 赤外線通信機能を利用して、他の機器との間で、メモリダイヤルのやりとりができます。（☞P.12-2）

メモリダイヤルの登録件数を確認する

Ⓕ③①の順に押します。V801SHに登　されているメモリダイヤルの件数が表示されます。

- 詳しい登　状況を確認するときには、「1メモリダイヤル」を選びⒻを押します。電話番号とE-mailアドレスの登　数が表示されます。（最大登　数は電話番号：1500番号、E-mailアドレス：1500アドレスです。）

■ 確認終了：PWR

メモリダイヤル
登録件数

メモリカードに登録する

1 **名前、電話番号、E-mailアドレスを入力し、✉（登録）を押す。（☞P.5-3～P.5-5 の操作1）**

2 **◎（SD）を押す。**

SDメモリカードが装着されていると「SD」が、USIMカードが装着されていると「SIM」が表示されます。

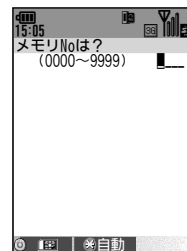
■ 登　先の切替：◎（くり返し押す）

- 画面上の表示：「本体」→「SD」→「SIM」の順に切替

メモリNoは？
（0000～9999）

メモリ番号入力画面（SDメモリカード）

3 **登録するメモリ番号（4ケタ：0000～9999）を入力する。**

SDメモリカードに登　されます。

SDメモリカードの空いているメモリ番号に自動登録する

■ ＊を押すと、空いているメモリ番号の中で最も小さいメモリ番号へ登　されます。

■ 千の位や百の位、十の位の数字を押したあと＊を押すと、空きメモリ番号を探す範囲を指定することができます。

- **千の位を指定するとき（数字を1ケタ入力後➡＊）**
  ③＊と押すと、3000～3999の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **百の位を指定するとき（数字を2ケタ入力後➡＊）**
  ②①＊と押すと、SDメモリカードの場合は2100～2199の最も小さいメモリ番号へ登　されます。
- **十の位を指定するとき（数字を3ケタ入力後➡＊）**
  ①②③＊と押すと、1230～1239の最も小さいメモリ番号へ登　されます。

USIMカードに登録する

1 **名前、電話番号、E-mailアドレスを入力し、✉（登録）を押す。（☞P.5-3～P.5-5 の操作1）**

2 **◎を2回押す。**

画面右上に「SIM」が表示されます。

■ SDメモリカードを取り付けていないとき：◎（1回押す）

3 **登録するメモリ番号（2ケタ：01～50）を押す。**

USIMカードに登　されます。

- 電話番号、E-mailアドレスは、メモリダイヤル1件につき各1件登　できます。
- グループ、パーソナルデータ、シークレット設定、オプション設定は登　できません。
- USIMカードでは、名前、ヨミ、E-mailアドレスは、本体やSDメモリカードに比べ、登　できる文字数が少なくなります。（☞P.5-2）

メモリダイヤル登録時のオプション設定

電話番号やE-mailアドレスを入力したあと（☞P.5-3～P.5-5）、オプション設定を行うこともできます。オプション設定では、指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メール、メールフォルダを設定できます。

- 1件のメモリダイヤルに複数の電話番号／E-mailアドレスが登 されているときは、一括設定で、電話番号／E-mailアドレスに対してまとめて設定できます。個別設定は、電話番号／E-mailアドレスに対して個別に設定できます。

- 個別設定が行われているメモリダイヤルに対して一括設定を行うと、個別設定はすべて解除されます。また、一括設定が行われているメモリダイヤルに対して個別設定を行うと、一括設定で設定されていた内容は無効となり、個別設定を行った電話番号に対してのみ、設定した内容が有効となります。

個別に着信音などを設定する（音声着信時）

電話がかかってきたときの着信パターンやバイブレータ、モバイルライト／スモールライトの色や点滅のしかた、サブディスプレイの着信方法（カラーパターン、グラフィックパターン）を設定します。

1 「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「1指定着信音」を選び、Ⓕを押す。

3 一括設定するとき

「1一括設定」を選び、Ⓕを押す。

個別設定するとき

1「2個別設定」を選び、Ⓕを押す。

2 設定する電話番号を選び、Ⓕを押す。

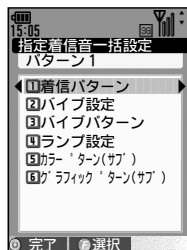
3「1ON」を選び、Ⓕを押す。

■個別設定の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

指定着信音を解除するとき

■「3OFF」を選び、Ⓕを押す。
オプション設定の画面に戻ります。

一括設定の場合

4 「1着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

5 内蔵パターンや効果音から選ぶとき

1「1固定パターン」を選び、Ⓕを押す。

2 パターンや効果音を選び、Ⓕを押す。

内蔵メロディを選ぶとき

1「2固定メロディ」を選び、Ⓕを押す。

2 メロディを選び、Ⓕを押す。

データフォルダから選ぶとき

1「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

2 メロディを選び、Ⓕを押す。

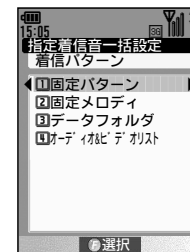
オーディオ&ビデオリストから選ぶとき

1「4オーディオ&ビデオリスト」を選び、Ⓕを押す。

2「オーディオリスト」または「ビデオリスト」を選び、Ⓕを押す。

3「オーディオトラック」または「ビデオクリップ」を選択し、Ⓕを押す。

一括設定の場合

- データフォルダから選ぶときは、V801SHのデータフォルダのメロディフォルダに登 されているメロディのみ、着信パターンに設定できます。
  ただし、メロディフォルダ内のご自分で作成したフォルダにあるメロディは設定できません。
- SDメモリカード内のメロディ、オーディオ&ビデオリストの動画や音楽は、着信パターンに設定できません。
- メロディのファイル名が全角14文字（半角28文字）を超える場合は、着信パターンに設定できません。

6 他の項目を設定する場合は、設定する項目（「2バイブ設定」～「6グラフィックパターン（サブ）」）を選び、Ⓕを押す。

選んだ項目の設定画面になります。次の表を参考にして、必要な項目を設定します。

項目	初期値	ページ
バイブ設定	OFF	☞P.8-5
バイブパターン	バイブ1	☞P.8-6
ランプ設定	モバイルライト、カラーパターン：マスカット、点滅パターン：パターン1	☞P.8-6
カラーパターン（サブ）	ホワイト	☞P.5-15
グラフィックパターン（サブ）	OFF	☞P.5-15

7 ◎（完了）を押す。

指定着信音の相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定時：操作７のあと電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡オプション設定画面へ

8 ◎（完了）を押す。

メモリダイヤル入力画面に戻ります。

- 指定着信音の着信パターンに設定したデータフォルダ内のメロディ、またはオーディオ&ビデオリストの動画や音楽を消去したり、ファイル名を変更したり、SDメモリカードへ移動すると、指定着信音の着信パターンは「**パターン１**」になります。
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、指定着信音の設定は無効となります。

個別に着信音などを設定する（メール受信時）

登　した相手からメッセージが届いたときの着信パターンなどを設定します。

- 複数件のメールを受信したときは、メールコールに設定した内容で、受信した件数分鳴動します。
- ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールコールを設定しても、設定は無効になります。

1 「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「②メールコール」を選び、Ⓕを押す。

3

一括設定するとき

「①一括設定」を選び、Ⓕを押す。

個別設定するとき

1「②個別設定」を選び、Ⓕを押す。

E-mailアドレス／電話番号の選択画面が表示されます。

2 設定するE-mailアドレス／電話番号を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。

■個別設定の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

メールコールを解除するとき

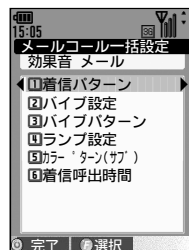
「③OFF」を選び、Ⓕを押す。

オプション設定画面に戻ります。

4 「①着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

5 着信パターンを選び、Ⓕを押す。

■ 着信パターンの設定方法や注意点：☞P.5-9の操作５

6 他の項目を設定する場合は、設定する項目（「②バイブ設定」～「⑥着信呼出時間」）を選び、Ⓕを押す。

選んだ項目の設定画面になります。次の表を参考にして、必要な項目を設定します。

項目	初期値	ページ
バイブ設定	OFF	☞P.8-5
バイブパターン	バイブ2	☞P.8-6
ランプ設定	スモールライト、点滅パターン：SMAF連動	☞P.8-6
カラーパターン（サブ）	ホワイト	☞P.5-15
着信呼出時間	10秒	☞P.5-15

7 ◎（完了）を押す。

メールコールの相手先として設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定：操作７のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡オプション設定画面へ

8 ◎（完了）を押す。

メモリダイヤル入力画面に戻ります。

- メールコールの着信パターンに設定したデータフォルダ内のメロディ、またはオーディオ&ビデオリストの動画や音楽を消去したり、ファイル名を変更したり、SDメモリカードへ移動すると、メールコールの着信パターンは「**効果音メール**」になります。
- 設定したメモリダイヤルがシークレットメモリの場合、シークレットモードに設定されていないときは、メールコールの設定は無効となります。

着信時に指定した画像を表示する

ピクチャーコール／メールに画像を登　した相手から電話がかかってきたときや、メールが送られてきたとき、登　している画像がディスプレイに表示されます。

- お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「③ピクチャーコール／メール」を選び、Ⓕを押す。

3 「①ON」を選び、Ⓕを押す。

- V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダに登　されている画像の一覧が表示されます。

■ 設定の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

4 画像を選び、Ⓕを押す。

5 Ⓕを押す。

6 ◎（完了）を押す。

- ピクチャーコール／メールに登　したデータフォルダ内の元の画像を消去すると、ピクチャーコール／メールは解除（OFF）されます。

個別にメールフォルダを設定する

登　した相手から届いたメッセージを、指定したメールフォルダに自動的に振り分けます。

●ボーダフォン携帯電話以外の電話番号にメールフォルダを設定しても、設定は無効となります。

1 「オプション設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「④メールフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 一括設定するとき

「①一括設定」を選び、Ⓕを押す。

個別設定するとき

1「②個別設定」を選び、Ⓕを押す。

E-mailアドレス／電話番号の選択画面が表示されます。

2 設定するE-mailアドレス／電話番号を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 個別設定の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

メールフォルダを解除するとき

「③OFF」を選び、Ⓕを押す。

オプション設定の画面に戻ります。

4 振り分けるメールフォルダを選び、Ⓕを押す。

振り分けるメールフォルダが設定され、オプション設定の画面に戻ります。

■ 個別設定：操作４のあとE-mailアドレス／電話番号選択画面表示➡◎（完了）➡オプション設定画面へ

5 ◎（完了）を押す。

メモリダイヤル入力画面に戻ります。

グループ設定

メモリダイヤルで使用するグループ名を変更したり、グループごとに着信音やサブディスプレイの着信（カラーパターン／グラフィックパターン）を設定します。

●指定着信音やメールコールを設定しているとき（☞P.5-8～P.5-11）は、グループ着信の設定は無効となります。

グループ名を変更する

1 Ⓕ③⑦の順に押す。

2 「①グループ名変更」を選び、Ⓕを押す。

現在のグループ名が表示されます。

3 変更するグループ名を選び、Ⓕを押す。

●「グループ０（名称なし）」はグループ名を変更できません。

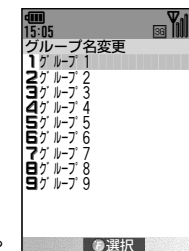
4 グループ名を入力する。

●グループ名は最大全角５文字（半角10文字）まで入力できます。

■ 文字の入力方法：☞P.4-6～P.4-15

5 Ⓕを押す。

■ 別のグループ名の変更：操作３～５をくり返す。

6 変更を終わるときは、Ⓟを押す。

グループ着信音を設定する

グループ別に着信音（通常着信、メール着信）を設定します。

●お買い上げ時には、すべてのグループで「OFF」に設定されています。

●グループ着信音を「OFF」に設定しているときは、通常着信音の設定に従います。

1 Ⓕ③⑦の順に押す。

2 「②グループ着信」を選び、Ⓕを押す。

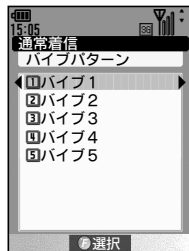
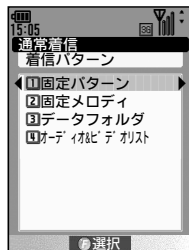
3 設定するグループを選び、Ⓕを押す。

4 「①通常着信」または「②メール着信」を選び、Ⓕを押す。

5「1着信設定」を選び、Ⓕを押す。
- 着信設定を「OFF」に設定しているときは、「1 着信設定」以外の項目は選択できません。(選択できない項目は、グレーで表示されます。)

6「1ON」を選び、Ⓕを押す。
■ 着信設定の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

7 **着信パターンを設定するとき**

「2着信パターン」を選び、Ⓕを押す。
- 設定方法は、通常着信音と同様です。(☞P.8-3)
- お買い上げ時には、「パターン1」(通常着信)／「効果音メール」(メール着信)に設定されています。

バイブレータを設定するとき

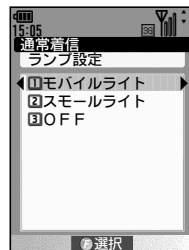
「3バイブ設定」を選び、Ⓕを押す。
- 設定方法は、通常着信音と同様です。(☞P.8-5)
- お買い上げ時には、「OFF」(通常着信／メール着信とも)に設定されています。

バイブパターンを設定するとき

「4バイブパターン」を選び、Ⓕを押す。
- 設定方法は、通常着信音と同様です。(☞P.8-6)
- お買い上げ時には、「バイブ1」(通常着信)／「バイブ2」(メール着信)に設定されています。

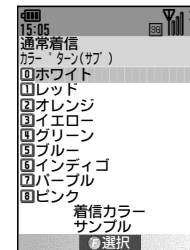
ランプを設定するとき

「5ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。
- 設定方法は、通常着信音と同様です。(☞P.8-6)
- お買い上げ時には、通常着信、メール着信共、次の内容に設定されています。

通常着信	モバイルライト	カラーパターン	マスカット(緑色系統)
		点滅パターン	パターン1
メール着信	スモールライト	点滅パターン	SMAF連動

サブディスプレイのカラーパターンを設定するとき

1「6カラーパターン(サブ)」を選び、Ⓕを押す。
- お買い上げ時には、「ホワイト」(通常着信／メール着信とも)に設定されています。

2 カラーパターンを選ぶ。
サブディスプレイに表示したときのイメージ(着信カラーサンプル)が表示されます。

3 Ⓕを押す。
カラーパターンが設定されます。

サブディスプレイのグラフィックパターンを設定するとき(通常着信のみ)

1「7グラフィックパターン(サブ)」を選び、Ⓕを押す。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

2「1ON」を選び、Ⓕを押す。

3 グラフィックパターンを選び、◎を押す。
サブディスプレイに表示したときのイメージが表示されます。
■グラフィックパターンの変更：◎(戻る)

4 Ⓕを押す。
グラフィックパターンが設定されます。

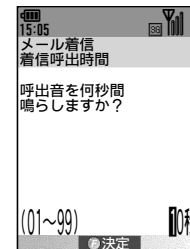
メールの着信音の鳴る時間を設定するとき(メール着信のみ)

1「7着信呼出時間」を選び、Ⓕを押す。
着信呼出時間の入力画面になります。
- お買い上げ時には、「10秒」に設定されています。

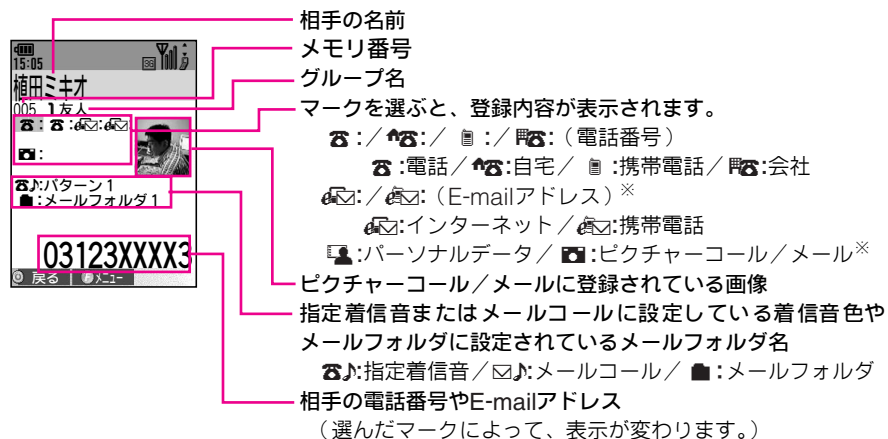
2 呼出し時間(2ケタ：01〜99)を入力する。

3 Ⓕを押す。
着信呼出時間が設定されます。

8 設定を終わるときは、Ⓟを押す。

メモリダイヤルの利用

メモリダイヤルから電話をかける

ディスプレイ表示

メモリダイヤル画面のみかたは、次のとおりです。

※「:」を選んだときは、（表示）を押すと、表示しきれなかったE-mailアドレスがすべて表示されます（73文字以上のE-mailアドレスの場合）。E-mailアドレスの画面で（戻る）を押すと、メモリダイヤル画面に戻ります。また、「:」（ピクチャーコール／メール）を選んだときは、（表示）を押すと、画像が拡大表示されます。拡大表示画面で（戻る）を押すと、拡大表示される前の画面に戻ります。

- メモリ使用禁止を設定（☞P.13-5）しているときは、メモリダイヤルは使えません。
- シークレットメモリを使って電話をかけるときは、シークレットモードに設定しておいてください。（☞P.13-10）

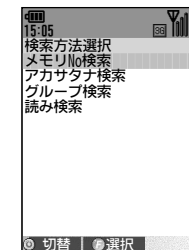
メモリダイヤル各種検索方法

待受画面で（TEL）を押すと、前回利用した検索方法の画面が表示されます。他の検索方法で検索するときは、下記の操作を行い検索方法を変更してください。

1 **（TEL）を押す。**

前回利用した検索方法の画面が表示されます。

2 **（メニュー）を押したあと、検索方法を選ぶ。**

- **メモリNo検索**
  指定したメモリ番号のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.5-18）
- **アカサタナ検索**
  指定した「ヨミ」の行のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.5-18）
- **グループ検索**
  指定したグループ内のメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.5-19）
- **読み検索**
  入力した「ヨミ」ではじまるメモリダイヤルを表示する方法です。（☞P.5-19）

3 **を押す。**

選んだ検索方法の画面が表示されます。

4 **各検索方法の操作を行い、メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-18〜P.5-19）**

登　されていないメモリダイヤルを呼び出したとき：
エラー表示➡（他のメモリダイヤルリスト表示）

SDメモリカード内のメモリダイヤルを呼び出す

■ 待受画面で（TEL）➡（切替）➡SDメモリカードのメモリ番号を選択➡➡このあと上記操作2へ
■ V801SHの選択：（切替）➡「本体」選択➡
- SDメモリカードのメモリダイヤルは、メモリ番号500件ごとに分類されています。メモリダイヤルが1件も登　されていない場合は、その番号をとばして表示されます。

USIMカード内のメモリダイヤルを呼び出す

■ 待受画面で（TEL）➡（切替）➡「USIMカード」選択➡➡このあと上記操作2へ
■ V801SHの選択：（切替）➡「本体」選択➡
- USIMカードは、メモリNo検索のみ可能です。

■メモリ番号を入力して呼び出す（メモリNo検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**メモリNo検索**」に変更してください。（☞P.5-17）

2 相手のメモリ番号（3ケタ：000～499）を入力する。

入力したメモリ番号のメモリダイヤルリストが表示されます。

●SDメモリカードの場合は、4ケタのメモリ番号を入力します。

●USIMカードの場合は、2ケタのメモリ番号を入力します。

3 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やE-mailアドレスを表示

4 ◎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

> **メモリダイヤルリスト簡単呼び出し**
>
> ■ ダイヤルボタンを押したあと、◎を押す（長押し）と、本体に登　されているメモリダイヤルリストが呼び出せます。
>
> ■ メモリ番号000～090の呼び出し：呼び出したいメモリ番号の10の位のダイヤルボタンを押す➡◎（長押し）
>
> ■ メモリ番号100～499の呼び出し：呼び出したいメモリ番号の100の位と10の位のダイヤルボタンを順に押す➡◎（長押し）
>
> ●USIMカードやSDメモリカードの呼び出しはできません。

■「ヨミ」の行を指定して呼び出す（アカサタナ検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**アカサタナ検索**」に変更してください。（☞P.5-17）

2「ヨミ」の行を指定する。

指定した行のメモリダイヤルリストが表示されます。

★読みの行の指定方法

ア行	1	カ行	2	サ行	3	タ行	4
ナ行	5	行	6	マ行	7	ヤ行	8
ラ行	9	ワ行	0	その他	#		

※英字、数字、記号または「ヨミ」の入力がされていないデータのときは、「**その他**」になります。

3 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やE-mailアドレスを表示

4 ◎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

> **アカサタナ検索簡単呼び出し**
>
> ■ ヨミに対応したダイヤルボタン（操作2）を押したあと、◎を押す（短押し）と、本体に登　されているアカサタナ検索リストが呼び出せます。

■グループを指定して呼び出す（グループ検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**グループ検索**」に変更してください。（☞P.5-17）

2 グループを選ぶ。

●グループ名の登　／変更はP.5-13を参照してください。

3 Ⓕを押す。

指定したグループのメモリダイヤルリストが表示されます。

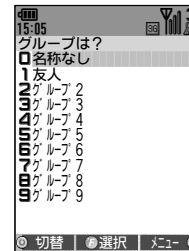
4 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やE-mailアドレスを表示

5 ◎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

■「ヨミ」を入力して呼び出す（読み検索）

1 ◎（TEL）を押す。

●右の画面が表示されないときは、検索方法を「**読み検索**」に変更してください。（☞P.5-17）

2 相手の「ヨミ」を入力する。

●半角24文字以内で入力してください。

3 Ⓕを押す。

入力した「ヨミ」を含んだ行のメモリダイヤルリストが表示されます。

4 相手を選び、Ⓕを押す。

メモリダイヤルの内容が表示されます。

■ メモリダイヤルの内容表示：◎（前のデータ）／◎（次のデータ）

■ 複数の電話番号やE-mailアドレスを登　時：◎（他のマーク選択）➡他の電話番号やE-mailアドレスを表示

5 ◎を押す。

登　されている電話番号がダイヤルされます。

スピードダイヤルで電話をかける

V801SHのメモリ番号000～009に登　したメモリダイヤルは、簡単な操作で発信できます。

1 メモリダイヤルのメモリ番号の下１ケタの数字（０～９）を押す。

2 を押す。
相手の名前と電話番号が表示され、ダイヤルされます。
- 登　されていない場合は電話番号未登　の確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。
- 複数の電話番号が登　されているときは、１番目に登　されている電話番号がダイヤルされます。

- メモリ使用禁止を設定（ON）しているときは、この機能は使用できません。（☞P.13-5）
- 秘密のメモリダイヤル（シークレットデータ）を使って電話をかけるときは、この操作の前にシークレットモードに設定しておいてください。（☞P.13-10）
通常モードのままで操作すると、確認メッセージが表示されたあと、待受画面に戻ります。

メモリダイヤルの登録内容をコピーする

V801SHのメモリダイヤルに登　したデータを、SDメモリカードやUSIMカードに１件ずつコピーします。

文字入力画面で利用する

メモリダイヤルに登　している電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを、文字入力画面に複写します。

1 複写する電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータが登録してあるメモリダイヤルを呼び出す。
（☞P.5-18～P.5-19）

2 電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータを選ぶ。

3 Ⓕを押す。

4「コピー」を選び、Ⓕを押す。
選んだ電話番号やE-mailアドレス、パーソナルデータが記憶されます。
以降の操作：☞P.4-25の操作５以降

メモリカードにコピーする

1 コピーしたいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-18～P.5-19）

2 Ⓕ（メニュー）を押す。

3「登録先変更（コピー）」を選び、Ⓕを押す。

4 ◎（）を押す。
このあとメモリ番号（４ケタ）を入力すると、指定したメモリダイヤルにコピーされます。

- V801SHとSDメモリカードの間で、メモリダイヤルを移動したり、まとめて転送することもできます。（☞P.10-13～P.10-15）

USIMカードにコピーする

1 コピーしたいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-18～P.5-19）

2 Ⓕ（メニュー）を押す。

3「登録先変更（コピー）」を選び、Ⓕを押す。

4 ◎を２回押す。
このあとメモリ番号（２ケタ）を入力すると、指定したメモリダイヤルがコピーされます。
SDメモリカードを取り付けていないとき：◎（１回押す）

USIMカードからV801SHにコピーする
- コピーしたいメモリダイヤルを呼び出す（☞P.5-17）➡Ⓕ（メニュー）➡「登録先変更（コピー）」選択➡Ⓕ➡◎➡メモリ番号（３ケタ）入力

赤外線を利用してデータ転送を行う

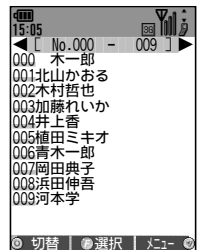
赤外線通信機能を利用して、V801SHのメモリダイヤルを１件ずつ送受信します。
- 赤外線通信を利用したメモリダイヤルの全件送信もできます。（☞P.12-6）

■メモリダイヤルを１件ずつ送信する

1 メモリダイヤルリストを表示する。
- メモリダイヤル画面からでも操作できます。

2 Ⓥ（メニュー）を押す。

3「赤外線１件送信」を選び、Ⓕを押す。

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。
- 送信中は、着信することができません。
- このあと、タイトルを変更することもできます。ただし、タイトルを変更しても、元のデータの登　名は変更されません。

メモリダイヤルリスト

5 **タイトルを修正して、Ⓕを押す。**

6 **受信側を待機状態にする。**

7 **15秒以内に、「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

送信が開始されます。

●送信が完了すると、確認メッセージが表示され、メモリダイヤルリストの画面に戻ります。

■メモリダイヤルを１件ずつ受信する

赤外線通信を利用した１件受信は、赤外線／USB通信画面から行います。

1 **ⒻⓄ（USEFUL）の順に押したあと、「6赤外線／USB通信」を選び、Ⓕを押す。**

赤外線／USB通信の画面になります。

2 **「2赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

操作用暗証番号の入力画面になります。

4 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

認証パスワード（P.12-3）の入力画面が表示されたとき

●初めて赤外線受信を行うときなどには、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（4ケタ）を入力すると、受信が開始されます。

●一度入力した認証パスワードは、自動的にV801SHに設定されます。

5 **受信が終われば、確認画面が表示される。**

6 **受信したデータを登録するとき**

「1YES」を選び、Ⓕを押す。

データが登　され、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

受信したデータを登録しないとき

1「2NO」を選び、Ⓕを押す。

確認メッセージが表示されます。

2「1YES」を選び、Ⓕを押す。

赤外線／USB通信の画面に戻ります。

メモリダイヤルの編集

メモリダイヤルを修正する

1 **修正したいメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-18～P.5-19）**

2 **Ⓕを押す。**

3 **「修正」を選び、Ⓕを押す。**

4 **修正する項目を選び、Ⓕを押す。**

選んだ項目が修正できるようになります。

●このあと、登　時と同様の操作で修正を行います。

■ 文字の修正方法：☞P.4-24

5 **修正が終われば、Ⓕを押す。**

メモリダイヤル入力画面が表示されます。

■ 操作の中止：Ⓞ（**取消**）➡「1YES」選択➡Ⓕ

6 **操作４～５をくり返し、必要な項目を修正する。**

■ オプション設定の変更：「**オプション設定**」選択➡Ⓕ➡☞P.5-8～P.5-12

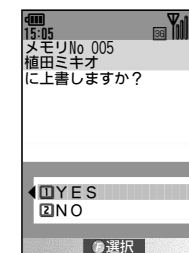
7 **修正が終われば、Ⓥ（登録）を押す。**

8 **Ⓕを押す。**

9 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

変更した内容が元のメモリ番号に登　されます。

■ 別のメモリ番号で登　：「2NO」選択➡Ⓕ➡メモリ番号入力（または✉）

●名前を修正した場合、「**ヨミ**」は自動的に修正されません。「**ヨミ**」も修正してください。

メモリダイヤルを消去する

1 **消去したいメモリダイヤルを呼び出す。**（☞P.5-18～P.5-19）

2 **Ⓕを押す。**

3 **「消去」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**

メモリダイヤルが消去されたあと、次のメモリダイヤルを表示します。次のメモリダイヤルがないときは、待受画面に戻ります。

補足
- 指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルを消去しても、データフォルダ内のメロディ、オーディオ&ビデオリストの動画や音楽は消去されません。

カメラ機能

カメラをご利用になる前に

V801SHは有効画素数100万画素のCCDカメラを搭載し、静止画や動画の撮影が可能です。

●静止画（☞P.6-5）　●動画（☞P.6-15）

■保存形式や登録場所について

●撮影した静止画／動画の保存形式と登　場所は、次のとおりです。

モード	保存形式	登録場所
モバイルカメラモード	JPEGファイル	データフォルダ（ピクチャー）（☞P.11-3）
デジタルカメラモード	JPEGファイル	デジタルカメラフォルダ（☞P.10-8）
ムービーモード	MPEG-4ファイル	ビデオリスト（☞P.9-3）
ビデオカメラモード	MPEG-4ファイル	

撮影前のご注意

●レンズカバー（☞P.1-10）に指紋や油脂がつくとピントが合わなくなります。柔らかい布でレンズカバーをきれいにしてください。

●手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となります。V801SHが動かないようにしっかり持って撮影するか安定した場所においてセルフタイマー（☞P.6-20）で撮影してください。

カメラ利用時のご注意

●カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見える画素や暗く見える画素もありますのでご了承ください。

●V801SH を暖かい場所に長時間置いていたあとで撮影したり、画像を登　したときは画質が劣化することがあります。

●カメラ部分に直射日光が長時間あたると、内部のカラーフィルターが変色して、映像が変色することがあります。

自動終了

■ モバイルカメラ起動中に約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し待受画面に戻ります。

■ 撮影後に自動終了したときは、次の操作を行います。

　Ⓕ➡確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ➡撮影後の画面へ

静止画撮影直後／動画撮影中の着信時

■ 撮影した静止画は保護されています。静止画を登　するときは、上記の操作を行います。

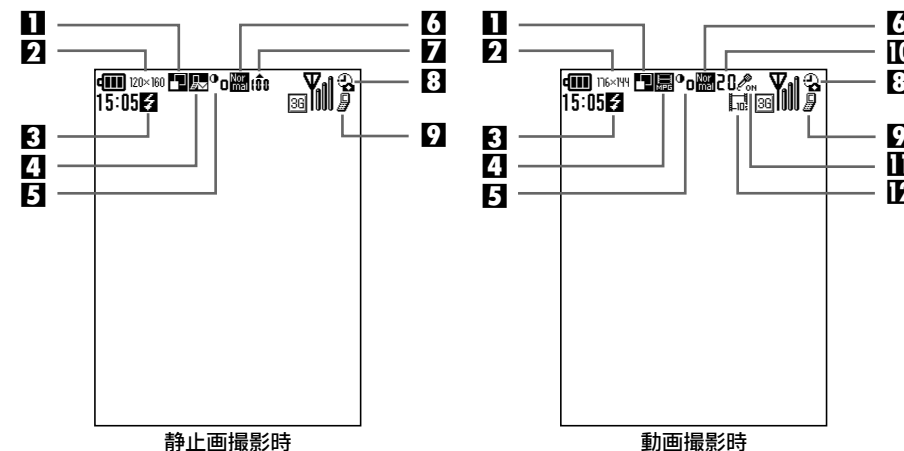
■ ムービーモードで撮影中の動画は保護されています。動画を登　するときは、上記の操作を行います。

■ ビデオカメラモードで撮影中の動画は、着信までに撮影した部分が登　されます。（登　が完了し着信が受けられる状態になるまで、数秒間かかることがあります。）

ディスプレイ

モバイルカメラでは、ディスプレイの上部に次のようなマークが表示されます。

●連写モード時のマークについては、P.6-12を参照してください。

静止画撮影時　　動画撮影時

1 画像表示サイズ表示
　：等倍／　：2倍

2 撮影サイズ表示

3 モバイルライト表示
　：通常撮影用ON／　：接写撮影用ON

4 モード表示
　：モバイルカメラモード／　：デジタルカメラモード／
　：ムービーモード、ビデオカメラモード

5 明るさ表示
　-2　-1　0　+1　+2
　暗い⬅標準➡明るい

6 画質／撮影モード表示
　：ノーマル／　：ファイン／　：ハイクオリティ

7 登録可能件数表示
各モードでの撮影（登　）可能件数が表示されます。
●100件以上撮影（登　）可能なときは、「　」が表示されます。
●5件以下になると、背景が赤く表示されます。

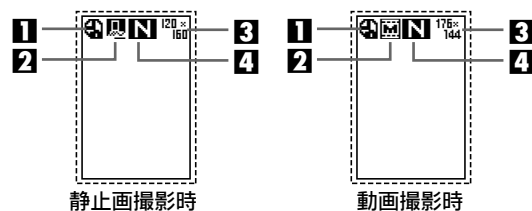
8 セルフタイマー表示
　：セルフタイマーON

9 登録先表示
　：本体（V801SH）／　：メモリカード（SDメモリカード）

10 登録可能件数表示（ムービーモード）

11 音声表示（ムービーモード／ビデオカメラモード）

12 1回あたりの撮影時間表示（ムービーモード）
（5秒間隔）

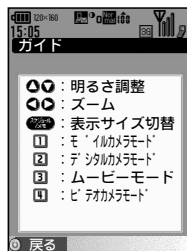
サブディスプレイ

1 セルフタイマー表示
2 モード表示
[アイコン]：モバイルカメラモード／[アイコン]：デジタルカメラモード／
[アイコン]：ムービーモード、ビデオカメラモード
3 撮影サイズ表示
4 画質／撮影モード表示
[N]：ノーマル／[F]：ファイン／[HQ]：ハイクオリティ

静止画／動画登録場所の設定

■ 次の操作を行うと、モバイルカメラモードで撮影した静止画や、ムービーモードで撮影した動画の登　場所を、あらかじめV801SH（本体）またはSDメモリカードのいずれかに設定しておくことができます。
Ⓕ③①⑤➡「①モバイルカメラデータ」選択➡Ⓕ➡「①本体」／「②メモリカード」選択➡Ⓕ
●デジタルカメラモードで撮影した静止画や、ビデオカメラモードで撮影した動画は、SDメモリカードにのみ登　できます。

ガイド機能

モバイルカメラの撮影画面で◎（**ガイド**）を押すと、そのモードで利用できるボタン操作が表示されます。
●◎（**戻る**）を押すと、撮影画面に戻ります。

6
カメラ機能

静止画の撮影

静止画撮影モード

モバイルカメラモード

V801SHのディスプレイや
サブディスプレイなどに合った
サイズで撮影可能
V801SHまたはSDメモリカードに保存
メール添付や壁紙登　も可能
連写※、装飾なども可能
（※横240×縦320ドットでは、連写はできません。）

こんなときに ➡ メール添付や壁紙登録など、携帯電話で利用する静止画を手軽に撮影するとき

デジタルカメラモード

最大横1144×縦858ドットの
大きな静止画が撮影可能
メール添付やSDメモリカード経由で
パソコンなどに取り込み可能
DPOFに対応、V801SHで
プリントアウトの指定が可能

こんなときに ➡ 大きな静止画のメール添付やパソコンで加工／印刷するなど、いろいろな用途に利用できる静止画を撮影するとき

●V801SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。DCFは、（社）日本電子工業振興協会（JEIDA）で主として、デジタルスチルカメラ等の画像ファイル等を、関連機器間で簡便に利用しあえる環境を整えることを目的に標準化された規格『Design rule for Camera File system』の略称です。
ただし、「**DCF規格**」は、機器間の完全な互換性を保証するものではありません。
●DPOF（Digital Print Order Format）とは、デジタルカメラで撮影した中から、プリントしたい画像や枚数などの設定情報をSDメモリカードなどの記　媒体に記するためのフォーマットです。

6
カメラ機能

静止画撮影モードの機能比較

	モバイルカメラモード	デジタルカメラモード
サイズ	横240×縦320ドット 横120×縦160ドット 横120×縦128ドット 横64×縦96ドット	横1144×縦858ドット※1 横1024×縦768ドット※1 横640×縦480ドット※1
登録先	V801SHまたはSDメモリカードの データフォルダ（ピクチャー）	SDメモリカードの デジタルカメラフォルダ（DCIM）
画質	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ	
ズーム	横240×縦320ドット：1～3.5倍 横120×縦160ドット：1～7.1倍 横120×縦128ドット：1～7.1倍 横64×縦96ドット：1～7.1倍	横1144×縦858ドット：なし 横1024×縦768ドット：なし 横640×縦480ドット：1～1.7倍
メール添付	可能	可能※2
ファイル形式	JPEG形式（.JPG）	
登録可能数（目安）	1020ファイル※3	409ファイル※4

※1　デジタルカメラモードで撮影したときは、実際のサイズの静止画に加えて横120×縦160ドットの小さな静止画も同時に保存されます。この小さな静止画を「**サムネイル**」と言います。
※2　サムネイルまたは実画像が添付できます。
（メール本文などと合わせて200Kバイトを超えるときは添付できません。）
※3　お買い上げ時の状態で、V801SHに登　したときの数です。
※4　お買い上げ時の状態で、16MバイトのSDメモリカードに登　したときの数です。

- V801SHのデータフォルダのメモリは、ムービーやアニメーション、メロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-33を参照してください。

静止画のファイル名

モバイルカメラモード	撮影（登　）日時のファイル名がつきます。（例：2004年6月16日午後12時34分に撮影した場合、「04-06-16_12-34.JPG」） 登　先に同じ名前のファイルがあるときは、登　したファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、aa～zz）がつきます。
デジタルカメラモード	「V8010001.JPG」、「V8010002.JPG」…の順に、ファイル名がつきます。

- モバイルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は変更することができます。（☞P.11-50）

- デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は、V801SHでは変更することができません。パソコン等でファイル名を変更すると、V801SHで静止画が表示できなくなることがあります。ファイル名は変更しないことをおすすめします。

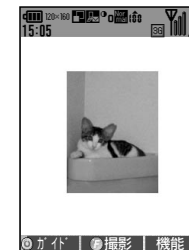
6 カメラ機能

静止画を撮影する

1 待受中にⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、ⓕを押す。

2 「①モバイルカメラモード」または「②デジタルカメラモード」を選び、ⓕを押す。

3 撮影したい画像をディスプレイに表示する。

- 画像表示サイズの変更：（2段階切替）
- ズームの利用：◎（ズームアップ：画像が拡大）／◎（ズームダウン：画像が縮小）
  - 利用できる倍率：☞P.6-6
  - サブディスプレイに表示を切り替えると、等倍に戻ります。
- 明るさの調整：◎（明るい）／◎（暗い）

モバイルカメラの別の起動方法とモードの切り替え

- 待受画面で◎を1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時には、モバイルカメラモード）
- 待受画面でサイドキーを1秒以上押して、モバイルカメラモードを直接起動するように設定することもできます。（☞P.14-6）
- モバイルカメラの各モードで次のボタンを押すと、モードを切り替えることができます。

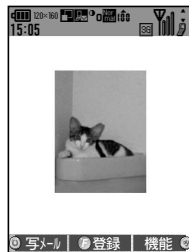
キー	モード	キー	モード
1	モバイルカメラモード	3	ムービーモード（☞P.6-17）
2	デジタルカメラモード	4	ビデオカメラモード（☞P.6-17）

- デジタルカメラモードで撮影した静止画は、パソコンのディスプレイのように横長の静止画になり、パソコンで確認したとき、右に90度回転した静止画となります。デジタルカメラモードで撮影するときは、V801SHを右の図のように横向きに持って撮影することをおすすめします。

6 カメラ機能

4 Ⓕ（撮影）またはサイドキーを押す。

シャッター音が鳴り、撮影した静止画が表示されます。スモールライトが緑色で確認点灯します。
- モバイルライトを利用したときは、モバイルライト設定の内容でモバイルライトが点灯します。

■ 撮影のやり直し：操作4のあと(クリア)➡「1YES」➡Ⓕ

- シャッター音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、シャッター音の音量は、変更することはできません。

- シャッター音のパターンを変更することもできます。(☞P.6-25)
- 撮影サイズ設定が「240　320」以上で、表示サイズ切替が「標準」のときは、撮影前に枠が表示されています。この枠は、撮影後に消えます。

5 撮影した静止画を登録するときは、Ⓕ（登録）を押す。

- 登　中の確認メッセージが表示され、撮影した静止画が登　されます。P.6-7の操作3の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

■ メモリ不足時：☞P.6-33

6 モバイルカメラを終了するときは、(PWR)を押す。

待受画面に戻ります。

登録していない画像があるとき

終了の確認メッセージが表示されます。
- 「1YES」を選びⒻを押すと、撮影した画像を登　しないで、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選びⒻを押すと、モバイルカメラに戻ります。

文字やマーカースタンプを貼り付ける

モバイルカメラモードで、P.6-8の操作4のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2 「7テキスト貼付／マーカースタンプ」を選び、Ⓕを押す。

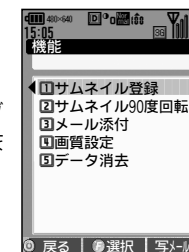
■ 以降の操作：☞P.11-27 操作2以降

サムネイルだけ登録する

デジタルカメラモードで、P.6-8の操作4のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2 「1サムネイル登録」を選び、Ⓕを押す。

「登録中」と表示され、サムネイルがV801SHのデータフォルダ（ピクチャー）に登　されます。P.6-7の操作3の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

サムネイルを回転する

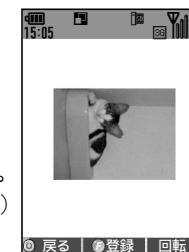
デジタルカメラモードで、P.6-8の操作4のあと、次の操作を行います。

1 Ⓥ（機能）を押す。

2 「2サムネイル90度回転」を選び、Ⓕを押す。

時計回りで90度回転したサムネイルが表示されます。
- さらに回転するときは、Ⓥ（回転）を押します。
- 回転したサムネイルを登　するときは、Ⓕ（登録）を押します。

■ サムネイルの表示サイズ変更：(スケジュール/メモ)（「2倍」⇔「等倍」切替）

カメラ機能

静止画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

ファインダー切替	サブディスプレイに表示を切り替えます。（☞P.6-22）
表示サイズ切替	画像の表示サイズを設定します。（☞P.6-25）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-20）
モバイルライト設定	モバイルライトの点灯時間とカラーを設定します。（☞P.6-23）
連写設定※1	連写モードや連写スピードを設定します。（☞P.6-13）
フレーム設定※1	画像にフレームを設定します。（☞P.6-11）
撮影サイズ設定	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-26）
シャッター設定	シャッター優先／暗所撮影優先を設定します。（☞P.6-27）
シャッター音設定	撮影時のシャッター音を設定します。（☞P.6-25）
画質設定	画質を設定します。（☞P.6-27）
登録先※1	静止画の登　先（V801SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-29）
データ消去	V801SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-33）

※1　モバイルカメラモードで利用できます。

撮影直後（画像登録前）

静止画の撮影直後（画像登　前）に（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

■モバイルカメラモード

表示サイズ切替	画像の表示サイズを設定します。（☞P.6-25）
画質設定	画質を設定します。（☞P.6-27）
画像加工	撮影した静止画を加工します。（☞P.11-28〜P.11-31、P.11-33）
登録先	静止画の登　先（V801SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-29）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-34）
データ消去	V801SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-33）
テキスト貼付／マーカースタンプ	静止画に文字やマーカースタンプを付けます。（☞P.6-9）

●連写モードのときは、表示される内容が異なります。

■デジタルカメラモード

サムネイル登録	サムネイルだけを登　します。（☞P.6-9）
サムネイル90度回転	サムネイルを90度に回転して表示します。（☞P.6-9）
メール添付	撮影した静止画をメールに添付します。（☞P.6-36）
画質設定	画質を設定します。（☞P.6-27）
データ消去	V801SHまたはSDメモリカード内の静止画を消去します。（☞P.6-33）

フレームを付けて撮影する

モバイルカメラモードで利用可能

●ボーダフォンライブ！などで入手した画像（透過PNG形式の画像）も利用できます。
●連写モードで撮影すると、すべての静止画にフレームが付きます。
●モバイルカメラを終了すると、フレームは「OFF」（解除）に設定されます。
●登　済みの静止画にフレームを付けることもできます。（☞P.11-31）

1 モバイルカメラモードで、（機能）を押す。

●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2「6フレーム設定」を選び、Ⓕを押す。

3 あらかじめ登録されているフレームを利用するとき

1「1固定フレーム」を選び、Ⓕを押す。

2 利用するフレームを選び、Ⓕを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■フレームの変更：（前へ）／（次へ）

3 Ⓕを押す。

フレームが設定され、モバイルカメラモードに戻ります。

●撮影サイズ設定が「64　96」のときは、固定フレームを付けて撮影できません。また、固定フレームを付けている場合、撮影サイズ設定を「64　96」にすると、フレームは解除されます。

オリジナルフレームを利用するとき

1「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダの画面が表示されます。

2 フォルダを選び、Ⓕを押す。

●利用できない画像のファイル名は、グレーで表示されています。

3 利用する画像を選び、Ⓕを押す。

選んだフレームの付いた画像が表示されます。

■フレームの変更：（戻る）➡「2オリジナル」選択➡Ⓕ➡フォルダ選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ

4 Ⓕを押す。

フレームが設定され、モバイルカメラモードに戻ります。

●撮影サイズ設定が「240　320」のときは、横120×縦160ドットよりも小さいフレームを選択すると、フレームは拡大して表示されます。

フレームを解除するとき

「3OFF」を選び、Ⓕを押す。

フレームが解除（OFF）され、モバイルカメラモードに戻ります。

静止画を連続して撮影する

モバイルカメラモードで利用可能

撮影前に連写モードを設定しておくと、４枚または９枚の静止画を連続して撮影することができます。撮影した静止画は、連写画像（４枚または９枚の静止画＋分割画像）として登録されます。（撮影サイズ設定が「240×320」のときは、連写設定は利用できません。）

- 連写モードでは、１枚目のシャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押すと、あとは一定間隔で自動的に３回または８回撮影されます。自動的に撮影される間隔（連写スピード）を設定することもできます。また、ご自分で４回または９回シャッターを押す、「**マニュアル**」に設定することもできます。
- 連写画像から１枚の静止画を選択して登録したり（☞P.11-35）、メールに添付して送信する（☞P.6-34）こともできます。また、指定した静止画を簡単アニメにすることもできます。（☞P.11-13）

ディスプレイ

- 通常のモバイルカメラモードのマーク表示については、P.6-3を参照してください。

1 枚数表示

- ～：右下の数字は、連写枚数を示します。また、左上の数字は撮影済みまたは表示中の枚数を示します。
- ：分割画像を確認中に表示されます。
- ※９枚連写のときは、「」～「」が表示されます。

2 連写モード表示　※（　）内はサブディスプレイ

（）：４枚連写ON／（）：９枚連写ON

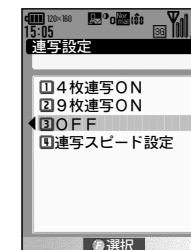
3 連写スピード表示

：速い／：普通／：やや遅い／：遅い／：マニュアル

連写モードを設定する

1 モバイルカメラモードで、Ⓜ（機能）を押す。

- 撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「5連写設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1４枚連写ON」または「2９枚連写ON」を選び、Ⓕを押す。

連写モードが設定され、モバイルカメラモードに戻ります。
（連写モードマーク点灯：☞P.6-12）

■ 連写モードの解除：「3OFF」選択➡Ⓕ

連写スピードを設定する

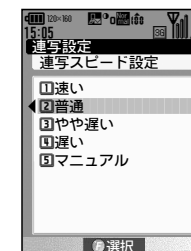
１枚目のシャッターを押したあと自動的に撮影される間隔（連写スピード）を、４段階で設定することができます。また、ご自分で４回または９回シャッターを押す「**マニュアル**」に設定することもできます。

- お買い上げ時には、「**普通**」に設定されています。
- ここで設定した内容は、モバイルカメラを終了しても保持されます。
- セルフタイマー（☞P.6-20）を設定しているときは、「**マニュアル**」は設定できません。

1 モバイルカメラモードで、Ⓜ（機能）を押す。

- 撮影直後（登録前）は、操作できません。

2 「5連写設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「4連写スピード設定」を選び、Ⓕを押す。

4 設定する連写スピードまたは「5マニュアル」を選び、Ⓕを押す。

連写スピードが設定され、連写設定の画面に戻ります。

- 連写スピードを「**速い**」「**普通**」にしているときに、暗い所で撮影すると、明るい所で撮影するよりも連写スピードが遅くなることがあります。
- 連写スピードを「**速い**」にして連写撮影すると、撮影と撮影確認音が同期しないことがあります。
- モバイルライト点灯時は、連写スピードが遅くなることがあります。

連写モードで撮影する

あらかじめ、連写モードを設定しておいてください。（☞P.6-13）

1 撮影したい画像をディスプレイに表示させ、Ⓕ または サイドキーを押す。

1 枚目の静止画が撮影されます。このあと、一定間隔おきに、残りの回数分の画像が順次撮影されます。

- 連写の中止：㊫（停止）
  - ■中止前に撮影した枚数分の連写画像の登　：上記のあとⒻ
- 連写の中止（マニュアル時）：◎（取消）➡「①YES」選択➡Ⓕ➡途中まで撮影した画像は消去

手動（マニュアル）で撮影するとき
- 1 枚目の静止画を撮影したあと、同様に残りの回数分シャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押します。

2 連写が終了すると、分割画像が表示される。

- 連写画像内の静止画の確認：◎
- 連写画像内の静止画の登　：◎（画像選択：分割画像も可能）➡㊫（機能）➡「①表示画像登録」選択➡Ⓕ
- 連写画像内の静止画のメール送信：◎（画像選択：分割画像も可能）➡㊫（機能）➡「③表示画像添付」選択➡Ⓕ➡VGSメール送信操作（☞P.3-3）

4 枚連写の場合

3 撮影した連写画像を登録するときは、Ⓕ（登録）を押す。

分割画像と設定した回数分の静止画をまとめた連写画像がV801SHのデータフォルダ（連写）に登　されます。（SDメモリカードに登　することもできます。：☞P.6-29）

- 連写画像を登　したあとも、連写モードのままでモバイルカメラモードに戻ります。

動画の撮影

動画撮影モード

ムービーモード
最大横176×縦144ドットで、5～40秒間の動画が撮影可能
パソコンなどでも利用可能
メール添付も可能

メール添付用の画像や ちょっとした記録用として、手軽に動画を撮影するとき

ビデオカメラモード
1 回の撮影で、最長30分の動画撮影が可能
メール添付用の切り出しや簡単な編集が可能

簡易ビデオカメラとして、長めの動画を撮影するとき

●動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。

- 動画を撮影するときは、なるべくカメラから1.5mまでの距離で、また明るい状態で撮影されることをおすすめします。

動画撮影モードの機能比較

	ムービーモード	ビデオカメラモード
サイズ	横176×縦144ドット 横128×縦96ドット	
登録先	V801SHまたはSDメモリカードの ビデオクリップ全リスト※1	SDメモリカードの ビデオクリップ全リスト
録画時間	最大40秒（ノーマル） 最大30秒（ファイン） 最大20秒（ハイクオリティ）	SDメモリカードの容量により変動
画質設定	ノーマル／ファイン／ハイクオリティ	
ズーム	1～4.8倍 （横176×縦144ドットの場合） 1～6.7倍 （横128×縦96ドットの場合）	
メール添付	可能	切り出した部分のみ可能
ファイル形式	MPEG-4形式（.3gp）	
登録可能数（目安）	約80件※2	約40分※3

※1　登　時にフォルダを選択できます。

※2　お買い上げ時の状態で、V801SH に登　したときの数です。登　できる数は、撮影サイズや音声設定、撮影時間などによって異なります。

※3　お買い上げ時の状態で、何も登　されていない16MバイトのSDメモリカードに登　したときの時間です。
撮影できる時間は、SDメモリカードの容量、音声設定、画質設定などによって異なります。

- V801SHのメモリは、アニメーションやメロディ、Vアプリライブラリなどと共用しているため、他のデータの登　状況によって、撮影（登　）できる画像数は少なくなります。
- メモリの使用状況を確認するときは、P.6-33を参照してください。

動画のタイトル名

ムービーモード／ ビデオカメラモード	撮影（登　）日時のタイトル名がつきます。（例：2004年6月16日午後12時34分に撮影した場合、「04-06-16_12-34」）

動画を撮影する

- 電池レ　ル表示が「□」のときは撮影できません。また、撮影中に電池レ　ルが「□」になると、確認メッセージが表示され、撮影が中止されます。

1 **待受中にⒻを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「3ムービーモード」または「4ビデオカメラモード」を選び、Ⓕを押す。**

着信許可／不可の選択画面が表示されます。

3 **「2NO」を選び、Ⓕを押す。**

撮影画面が表示されます。
- 通常は着信不可（「2NO」を選ぶ）にすることをおすすめします。

■ 着信許可：「1YES」選択➡Ⓕ

4 **撮影したい画像をディスプレイに表示する。**

■ 画像表示サイズの変更：(スケジュール/メモ)（2段階切替）
- ■モードや撮影サイズ設定によっては、画像の一部が切れます。

■ ズームの利用：◎（ズームアップ：画像が拡大）／◎（ズームダウン：画像が縮小）
- ■利用できる倍率：☞P.6-16
- ■サブディスプレイに表示を切り替えると、等倍に戻ります。

■ 明るさの調整：◎（明るい）／◎（暗い）

ムービーモード

ビデオカメラモードの撮影可能残り時間について

- 「000」のときは、1分未満であることを示しています。
- 「030」より多いときでも、1回あたりの撮影可能時間は、最大30分です。
 1回の撮影で30分が経過すると自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。
- 何も登　されていない16MバイトのSDメモリカードの場合、お買い上げ時の設定で約40分　画できます。
- 撮影する画像によっては、表示される撮影可能残り時間まで撮影できないことや、撮影可能残り時間より長く撮影できることがあります。あくまで目安としてご利用ください。

モバイルカメラの別の起動方法とモードの切り替え

■ 待受画面で◎を1秒以上押すと、前回使用していたモードでモバイルカメラが起動します。（お買い上げ時には、モバイルカメラモード）

■ 待受画面でサイドキーを1秒以上押して、モバイルカメラモードを直接起動するように設定することもできます。（☞P.14-6）

■ モバイルカメラの各モードで次のボタンを押すと、モードを切り替えることができます。

1	モバイルカメラモード（☞P.6-7）	3	ムービーモード
2	デジタルカメラモード（☞P.6-7）	4	ビデオカメラモード

5 Ⓕ（撮影）またはサイドキーを押す。

撮影開始音が鳴り、動画の撮影が始まります。（撮影開始まで、しばらく時間がかかることもあります。）

- 撮影中はスモールライトが橙色で確認点灯します。
- モバイルライトを利用したときは、モバイルライト設定の内容でモバイルライトが点灯します。
- 音声設定を「ON」に設定しているときは、音声はマイクから50cm程度の距離を目安に　音してください。

- 撮影開始音や撮影終了音は、マナーモードを設定していても鳴ります。また、音量を変更することはできません。

撮影前にメモリが不足しているとき

- 確認メッセージが表示され、P.6-17の操作４の画面に戻ります。

ビデオカメラモードの撮影中にメモリが一杯になると

- 自動的に撮影が終了し、確認メッセージが表示されます。

6 ムービーモード

1 撮影を終了するときは、Ⓕまたはサイドキーを押す。

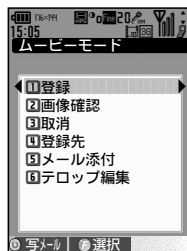
撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

- 撮影可能時間が経過したときは、自動的に終了します。

■撮影した動画の再生：「2画像確認」選択➡Ⓕ

■撮影やり直し：「3取消」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

2「1登録」を選び、Ⓕを押す。

撮影した動画が登　されます。P.6-17の操作４の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

メモリが一杯のとき

- P.6-33の操作で他の画像を消去したあと、登　することができます。
- SDメモリカードを取り付けているときは、撮影後の画面で「4登録先」を選びⒻを押すと、登　先を変更することができます。（☞P.6-29）
- SDメモリカードの残り容量が200Kバイト以下のときは、SDメモリカードへの保存はできません。

ビデオカメラモード

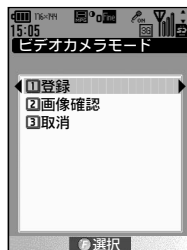
1 撮影を停止するときは、Ⓕ（停止）を押す。

撮影終了音が鳴り、動画の撮影が終了します。

■撮影した動画の再生：「2画像確認」選択➡Ⓕ

■撮影やり直し：「3取消」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

2「1登録」を選び、Ⓕを押す。

撮影した動画が登　されます。P.6-17の操作４の状態に戻りますので、続けて撮影することができます。

7 モバイルカメラを終了するときは、PWRを押す。

待受画面に戻ります。

登録していない画像があるとき

終了の確認メッセージが表示されます。

- 「1YES」を選びⒻを押すと、撮影した画像を登　しないで、モバイルカメラを終了し、待受画面に戻ります。
- 「2NO」を選びⒻを押すと、撮影終了後の画面に戻ります。
- SDメモリカードの残り容量が200Kバイト以下のときは、SDメモリカードへの保存はできません。

- 撮影開始時に、着信許可／不可の選択画面（☞P.6-17操作２のあとの画面）で「2NO」を選び着信不可に設定したときは、モバイルカメラ終了後、自動的に解除されます。
- 撮影中に着信があると着信を受けるまで時間がかかることがあります。（着信許可設定時）

動画撮影で利用できる機能

撮影前

撮影前に✓（機能）を押すと、次の機能が利用できます。

機能	説明
ファインダー切替	サブディスプレイに表示を切り替えます。（☞P.6-22）
タイマー設定	セルフタイマーを設定します。（☞P.6-20）
モバイルライト設定	モバイルライトのカラーや点灯時間を設定します。（☞P.6-23）
撮影サイズ設定	撮影する画像のサイズを設定します。（☞P.6-26）
撮影モード設定	画質や撮影時間を設定します。（☞P.6-28）
音声設定	音声　音を設定します。（☞P.6-28）
登録先※1	動画の登　先（V801SH／SDメモリカード）を指定します。（☞P.6-29）
データ消去	V801SHまたはSDメモリカード内の動画を消去します。（☞P.6-33）
ムービー写メール30K設定※1	V601SHやJ-SH53などで再生できる動画に設定します。（☞P.6-29）

※1　ムービーモードでのみ利用できます。

撮影直後（画像登録前）

動画の撮影直後（画像登　前）には、メニューが自動的に表示され次の機能が利用できます。

機能	説明
登録	撮影した動画を登　します。（☞P.6-18）
画像確認	撮影した動画を再生します。（☞P.6-18）
取消	撮影をやり直します。（☞P.6-18）
登録先※1	動画の登　先（V801SH／SDメモリカード）を設定します。（☞P.6-29）
メール添付※1	撮影した動画をメールに添付します。（☞P.6-37）
テロップ編集※1	動画の再生に合わせて、文章（テロップ）を流すことができます。（☞P.9-6）

※1　ムービーモードでのみ利用できます。

各種撮影方法

セルフタイマーを利用する

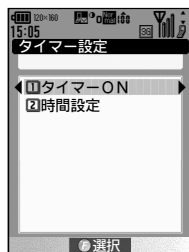
モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

撮影前にタイマー設定しておくと、セルフタイマーで撮影することができます。
- タイマー設定はセルフタイマー動作後に、自動的に解除されます。
- モバイルカメラモードのときは、連写モードと組み合わせて利用することもできます。（1回目のシャッターとして働きます。）
  ただし、連写スピード設定（☞P.6-13）を「マニュアル」に設定しているときは、利用できません。

セルフタイマーを設定する

1 利用可能なモードで、（機能）を押す。
- 撮影直後（登 前）は、操作できません。

2「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1タイマー ON」を選び、Ⓕを押す。
タイマーが設定され（「」点灯）、各モードに戻ります。

セルフタイマーの解除

■ セルフタイマー設定中（「」点灯中）に、上記の操作を行います。ただし、操作3では「1タイマー OFF」を選び、Ⓕを押します。（「」消灯）

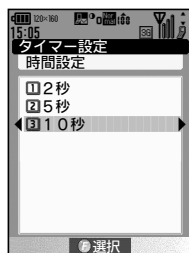
タイマーが動作するまでの時間を設定する

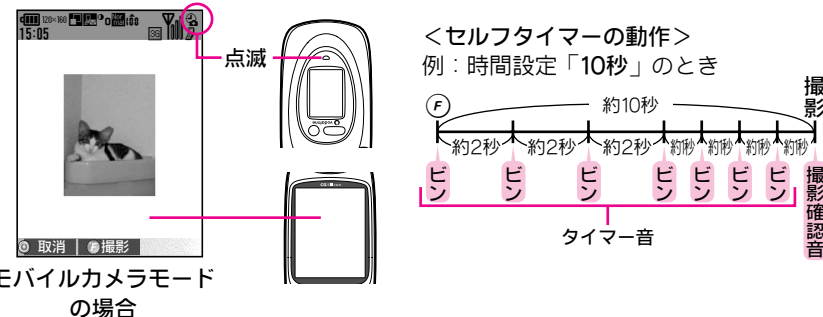
シャッター（Ⓕまたはサイドキー）を押したあと、タイマーが動作するまでの時間を、「2秒」、「5秒」、「10秒」のいずれかに設定ができます。
- お買い上げ時には「10秒」に設定されています。
- ここで設定した内容は、モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。
- 動画撮影時は、ここでの設定にかかわらず、10秒でタイマーが動作します。

1 利用可能なモードで、（機能）を押す。
- 撮影直後（登 前）は、操作できません。

2「タイマー設定」を選び、Ⓕを押す。

3「2時間設定」を選び、Ⓕを押す。

4 設定する時間を選び、Ⓕを押す。
タイマーの時間が設定され、タイマー設定の画面に戻ります。を2回押すと、元のモードに戻ります。

セルフタイマーで撮影する

セルフタイマー設定中（「」点灯中）にⒻ（撮影）を押すと、セルフタイマーが動作します。
- セルフタイマー動作中は、スモールライトが点滅し、タイマー音が鳴ったあと、設定しているタイマー時間後（お買い上げ時には約10秒後）に撮影（ムービーモード、ビデオカメラモードのときは撮影開始）され、撮影確認音が鳴ります。（タイマーは解除されます。）

モバイルカメラモードの場合

セルフタイマーで撮影した静止画や動画を登 する際は、撮影後、以下の操作を行います。

モード	撮影後の操作
モバイルカメラモード／デジタルカメラモード	Ⓕ（登録）
ムービーモード	Ⓕ（停止）➡➡「1登録」選択➡Ⓕ
ビデオカメラモード	Ⓕ（停止）➡➡「1登録」選択➡Ⓕ

- セルフタイマー動作中に撮影を中止するときは、（取消）またはを押します。このとき、タイマーは設定されたままです。
- セルフタイマー動作中にⒻまたはサイドキーを押すと、その時点で撮影され、タイマーは解除されます。
- セルフタイマー動作中に着信やアラーム動作があったり、を押したりすると、撮影は中止されます。このとき、タイマーは解除されます。
- セルフタイマー動作中は、次のことは行えません。
  明るさの調整、サブディスプレイへの表示切り替え、モバイルライトの点灯／モード変更

サブディスプレイを利用して撮影する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

を押すと、サブディスプレイに画像が表示されます。
（ディスプレイの画像は消えます。）
もう一度を押すと、サブディスプレイの画像は消え、ディスプレイに表示されます。

- サブディスプレイ表示で撮影しても、撮影した静止画は、ディスプレイに表示されます。
- ディスプレイに表示されていた画像とは左右逆に表示されます。
- サブディスプレイに表示される画像は、ディスプレイに表示される画像に比べて画質は劣ります。
- サブディスプレイに表示しているときに、画像の明るさの調整やモバイルライトの点灯、モバイルライトのモード切り替えができます。

注意
- サブディスプレイ設定（P.7-6）を「OFF」に設定しているときは、サブディスプレイの表示に切り替えることはできません。

メニュー操作でサブディスプレイに切り替える

- ここでの設定にかかわらず、を押すとディスプレイとサブディスプレイが切り替わります。

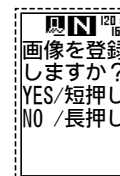
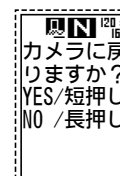
1 利用可能なモードで、（メニュー）を押す。
- 撮影直後（登　前）は、操作できません。

2「ファインダー切替」を選び、を押す。
「**メインディスプレイに戻るときはを押してください**」と表示され、サブディスプレイに切り替わります。
- サブディスプレイに表示している状態で、を押すと、ディスプレイに切り替わります。

V801SHを閉じて撮影する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

V801SHを閉じるとサブディスプレイに画像が表示されます。このあと、サイドキーを押すと撮影できます。
（サブディスプレイON／OFF（P.7-6）が「OFF」のときは、モバイルカメラは終了し、待受画面に戻ります。）

- サイドキー押す（撮影）➡画像表示（約2秒間）➡右上の画面表示➡サイドキー押す➡画像登　（メモリフル時：保存不可のメッセージ表示➡V801SHを開く➡画像の消去操作）

- 撮影をやり直すときは、右上の画面でサイドキーを長く押します。右の画面が表示されますので、サイドキーを短く押します。

モバイルライトを利用する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

夜間および室内などでの撮影にモバイルライトが利用できます。
を押すたびに、「ON（通常撮影用）」（「」点灯）→「ON（接写撮影用）」（「」点灯）→「OFF」の順に切り替わります。

通常撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時には、さらに強い光で発光します。（動画のときは同じ光量のままです。）
接写撮影用	設定するとモバイルライトが点灯します。撮影時も、同じ光量のままです。

注意
- モバイルライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してからご使用ください。

モバイルライトの点灯方法を設定する

モバイルライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

- お買い上げ時には、継続点灯時間は「1分」、点灯カラーは「ライチフルーツ（白色系統）」に設定されています。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。

- 撮影直後（登　前）は、操作できません。

2「モバイルライト設定」を選び、Ⓕを押す。

3 継続点灯時間を設定するとき

1「①継続点灯時間」を選び、Ⓕを押す。

2 設定する点灯時間を選び、Ⓕを押す。

継続点灯時間が設定され、操作2の画面に戻ります。

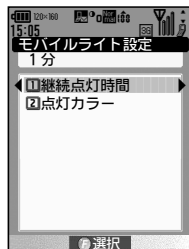
点灯カラーを設定するとき

1「②点灯カラー」を選び、Ⓕを押す。

2 設定するカラーを選ぶ。

現在選ばれているカラーのモバイルライトが点灯します。

3 Ⓕを押す。

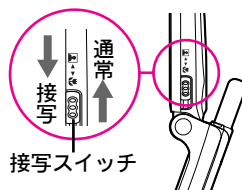
点灯カラーが設定され、操作2の画面に戻ります。

補足

- モバイルライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減することができます。

接写撮影をする

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

V801SHの側面の接写スイッチを図のように接写側にスライドさせます。接写モードになりますので、約10cmまで被写体に近づいて撮影できます。

- 接写モードを終了するときは、通常側にスライドさせます。
- 目安として、接写モードのときは約10cm程度、通常モードのときは約40cm以上、被写体より離してください。

ズームを利用する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

各モードの撮影画面で◎を押すとズームアップ（画像が拡大）、◎を押すとズームダウン（画像が縮小）します。

- ズームの倍率は、モードによって異なります。(☞P.6-6、P.6-16)
- 次のモード（撮影サイズ）のときは、ズームは利用できません。
  - ■デジタルカメラモードの撮影サイズ「768　1024」「858　1144」

画像の表示サイズを設定する

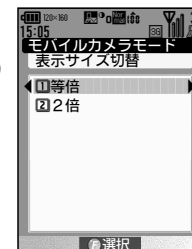
モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード		ビデオカメラモード	

- ここでの設定にかかわらず、(スケジュール/メモ)を押すと「等倍」⇔「2倍」に切り替わります。(☞P.6-7、P.6-17)
- デジタルカメラモード、および撮影サイズが「240　320」のモバイルカメラモードでは、「標準」⇔「全画面」に切り替わります。
- お買い上げ時には、「等倍」または「標準」に設定されています。
- モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。

2「表示サイズ切替」を選び、Ⓕを押す。

3「①等倍」(「①標準」) または「②2倍」(「②全画面」) を選び、Ⓕを押す。

表示サイズが設定され、元のモードに戻ります。

撮影時のシャッター音を設定する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード		ビデオカメラモード	

撮影時に鳴るシャッター音を3種類の中から設定します。

- お買い上げ時には、「パターン1」に設定されています。
- シャッター音の音量を変更することはできません。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。

- 撮影直後（登　前）は、操作できません。

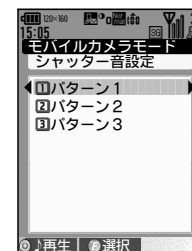
2「シャッター音設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定するシャッター音を選ぶ。

シャッター音の再生：◎（再生）

■再生を止める：◎（停止）

4 Ⓕを押す。

シャッター音が設定され、元のモードに戻ります。

補足

- モバイルカメラモードの「連写モード」で撮影するときは、この設定とは関係なく専用のシャッター音が鳴ります。

各種画像の設定

画像の明るさを調整する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

◎を押し、調整します。（５段階）

●モバイルカメラを終了すると、「0」に戻ります。

-2　-1　0　+1　+2
暗い ← 標準 → 明るい

撮影サイズを設定する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

●設定できるサイズについては、P.6-6、P.6-16を参照してください。

●お買い上げ時には、モバイルカメラモードは「120　160」、デジタルカメラモードは「480　640」、ムービーモードは「176　144」、ビデオカメラモードは「176　144」に設定されています。

1 **利用可能なモードで、◎（機能）を押す。**
●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 **「撮影サイズ設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **撮影サイズを選び、Ⓕを押す。**
撮影サイズが設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

シャッターを撮影環境に合わせて設定する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード		ビデオカメラモード	

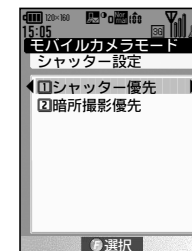
撮影環境を、次のいずれかに設定します。

シャッター優先	比較的明るい場所での撮影に向いたモードです。シャッターのスピードを優先して撮影するため、手ぶれも少なくなります。
暗所撮影優先	比較的暗い場所での撮影に向いたモードです。その場所の光量に合わせてシャッタースピードを調整するので、手ぶれに注意してください。

●お買い上げ時には、「シャッター優先」に設定されています。
●モバイルカメラを終了すると、お買い上げ時の設定に戻ります。

1 **利用可能なモードで、◎（機能）を押す。**
●撮影直後（登　前）は、操作できません。

2 **「シャッター設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1シャッター優先」または「2暗所撮影優先」を選び、Ⓕを押す。**
撮影環境が設定され、元のモードに戻ります。

静止画の画質を設定する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	○
ムービーモード		ビデオカメラモード	

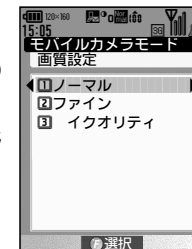
画質を「ノーマル」、「ファイン」、「　イクオリティ」のいずれかに設定します。

●「ノーマル」→「ファイン」→「　イクオリティ」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、登　可能画像数は減ります。

●お買い上げ時には、「ノーマル」（モバイルカメラモードの撮影サイズ設定が「240　320」のときのみ、「ファイン」）に設定されています。

1 **利用可能なモードで、◎（機能）を押す。**

2 **「画質設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1ノーマル」、「2ファイン」、「3ハイクオリティ」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**
画質が設定され、元のモードに戻ります。（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

動画の画質／撮影時間を設定する

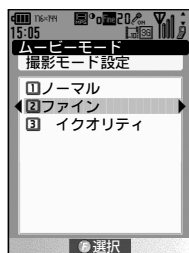
モバイルカメラモード		デジタルカメラモード	
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

撮影モード（画質）を「**ノーマル**」、「**ファイン**」、「 **イクオリティ**」のいずれかに設定します。また、ムービーモードのときは、撮影時間も設定します。
●「**ノーマル**」→「**ファイン**」→「 **イクオリティ**」の順に画像はきれいになります。ただし、ファイル容量が大きくなるため、 画可能時間は減ります。
●お買い上げ時には、「**ファイン**」、「**10秒間**」に設定されています。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。
●撮影直後（登 前）は操作できません。

2「撮影モード設定」を選び、Ⓕを押す。

3「①ノーマル」、「②ファイン」、「③ハイクオリティ」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
■ ビデオカメラモード：設定完了

4 撮影時間を選び、Ⓕを押す。
撮影モード、撮影時間が設定され、元のモードに戻ります。
（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

動画の音声録音を設定する

モバイルカメラモード		デジタルカメラモード	
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	○

動画の撮影時に、音声も一緒に 音するかどうかを設定します。
●「**ボイスON**」と「**ボイスOFF**」では、若干画質が異なります。
●お買い上げ時には、「**ボイスON**」に設定されています。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。
●撮影直後（登 前）は操作できません。

2「音声設定」を選び、Ⓕを押す。

3「①ボイスON」を選び、Ⓕを押す。
音声 音が設定され、元のモードに戻ります。
（設定した内容に応じたマークが点灯します。）
■ 音声 音なし：「②ボイスOFF」選択➡Ⓕ

ムービー写メール用の動画を撮影する

モバイルカメラモード		デジタルカメラモード	
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	

ムービー写メール30K設定を「**実行**」にすると、動画撮影の設定が次のようになり、スーパーメール対応機（MPEG-4対応機のみ）に送信できる動画を撮影することができます。
●撮影サイズ：128×96（SubQCIF）、撮影モード：ノーマル、撮影時間：5秒
●お買い上げ時には、「**キャンセル**」に設定されています。

1 ムービーモードで、㊙（機能）を押す。

2「ムービー写メール30K設定」を選び、Ⓕを押す。

3「①実行」を選び、Ⓕを押す。
ムービー写メール30K設定が設定され、元のモードに戻ります。
■ 解除：「②キャンセル」選択➡Ⓕ

注意
●ムービー写メール30K設定を「**実行**」にしているときに、他の設定（撮影サイズ、撮影モード、撮影時間）を変更すると、ムービー写メール30K設定は「**キャンセル**」になります。

その他の設定

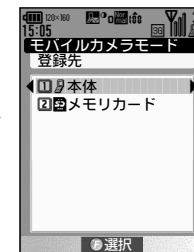
静止画／動画の登録先を設定する

モバイルカメラモード	○	デジタルカメラモード	
ムービーモード	○	ビデオカメラモード	

モバイルカメラモードまたはムービーモードでの静止画や動画の登 先を、「**本体**」（V801SH）または「**メモリカード**」（SDメモリカード）のいずれかに設定することができます。
●ここで設定した内容は、保存先設定（☞P.6-4）の設定内容に反映されます。
●お買い上げ時には、「**本体**」（V801SH）に設定されています。

1 利用可能なモードで、㊙（機能）を押す。

2「登録先」を選び、Ⓕを押す。

3「① 本体」または「② メモリカード」を選び、Ⓕを押す。
登 先が設定され、元のモードに戻ります。
（設定した内容に応じたマークが点灯します。）

撮影した画像の確認

静止画の確認

撮影（登　）した静止画の確認は待受画面から行います。
●データフォルダの操作で確認することもできます。（☞P.11-7）

1 待受中に、Ⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。

2「5データ確認」を選び、Ⓕを押す。

3「1モバイルカメラデータ」または「2デジタルカメラデータ」を選び、Ⓕを押す。

フォルダ内の画像一覧が表示されます。
■ SDメモリカード内の画像の確認（モバイルカメラデータ）：Ⓜ（メニュー）➡◎（切替）

モバイルカメラデータの場合

4 確認する静止画を選び、Ⓕを押す。

静止画が表示されます。
■ 別の静止画の確認：クリア➡操作４をくり返す

補足
●静止画表示中にⓂ（メニュー）を押すと、その画像に対して利用できる機能が表示されます。以降の操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.11-23）

デジタルカメラデータの場合
●ディスプレイのサイズに合わせて縮小されたサイズで、表示されます。原寸で表示することもできます。（☞P.6-31）
●◎を押すと、上下左右にスクロールします。
●Ⓕ（回転）を押すと、右に90度ずつ静止画が回転します。

連写画像の確認

1 ◎③の順に押したあと、「連写」を選びⒻを押す。
●V801SHのデータフォルダの連写フォルダ内の画像一覧が表示されます。
●SDメモリカード内の連写画像を確認するときは、このあとⓂ（メニュー）を押し、「メモリカードへ切替」を選び、Ⓕを押します。

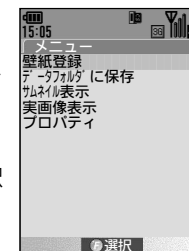
2 連写画像（「SRG」マーク付き）を選び、Ⓕ を押す。
●分割画像が表示されます。
●このあと◎を押すと、１枚目の静止画から順に表示されます。◎を押すと、逆の順に表示されます。

サムネイル／原寸で確認する

デジタルカメラデータで操作します。

1 静止画表示中に、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「サムネイル表示」または「実画像表示」を選び、Ⓕを押す。

サムネイルまたは実画像（原寸画像）が表示されます。
■ 元の画像サイズに戻す：Ⓜ（メニュー）➡「通常表示」選択➡Ⓕ

壁紙登録／データフォルダに保存

撮影した静止画を壁紙として登　したり、データフォルダに保存できます。データフォルダに保存した静止画は、モバイルカメラモードで撮影した静止画と同様にメール添付やサブディスプレイの壁紙などに利用できます。

1 静止画表示中に、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「壁紙登録」または「データフォルダに保存」を選び、Ⓕを押す。

●デジタルカメラモードのときは、画像の表示方法によっては「サムネイル壁紙登録」、「サムネイルデータフォルダに保存」、「画像を壁紙登録」、「画像をデータフォルダに保存」と表示されます。
■ 壁紙登　時：Ⓕ（決定）
■ データフォルダ保存時：フォルダ選択➡Ⓕ（登録）

補足
●静止画を壁紙に登　したりデータフォルダに保存したときは、画質が変わることがあります。
●通常表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイサイズに縮小された画像が登　されます。
●サムネイル表示状態からデータフォルダに保存したときは、横120×縦160ドットの画像（サムネイル）が登　されます。
●実画像表示状態からデータフォルダに保存したときは、ディスプレイに表示されている画像（横240×縦320ドット）部分が登　されます。

動画の確認

撮影（登　）した動画の確認は待受画面から行います。

●ビデオプレイヤーの操作で確認することもできます。（☞P.9-3）

1 **待受中に、Ⓕを押したあと、「モバイルカメラ」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「5データ確認」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「3ムービーデータ」を選び、Ⓕを押す。**

ビデオプレイヤー内のビデオリストが表示されます。

●撮影した動画は、「**ビデオクリップ全リスト**」に登　されています。

■ SDメモリカード内の動画の確認：◎（**切替**）

4 **確認する動画を選び、Ⓕを押す。**

動画が再生されます。再生が終わると、自動的にリピート再生します。

■ 別の動画の確認：◎（**戻る**）➡操作４をくり返す

●V801SHでは、V601SH／V401SH／J-SH53／J-SH52などで撮影し、SDメモリカードに登　した動画は再生できません。ムービー写メールで受信した動画は再生できます。

再生中にできること

停止する	Ⓕ（停止）を押します。一時停止状態になります。
音量を変える	◎（音量大）または ◎（音量小）を押します。（音声設定「ON」時） 音量は「0」～「16」の17段階で調整することができます。 ビデオプレイヤーを終了すると、サウンド再生音量の設定値に戻ります。 （☞P.8-8）

メモリ使用状況を確認する

撮影した静止画や動画は、V801SHまたはSDメモリカードに登　されます。V801SHまたはSDメモリカードのメモリの使用状況は、次の操作で確認します。

1 **Ⓕ31の順に押す。**

■ SDメモリカード使用状況の確認：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡Ⓕ

2 **「4ファイルBOX」を選び、Ⓕを押す。**

各メモリの使用状況（％）が表示されます。

メモリが一杯のとき

静止画や動画の撮影後に登　しようとすると、空き容量なしの確認メッセージが表示されることがあります。このときは、クリアを押すと撮影後の状態に戻りますので、次の操作を行い他のデータを消去すると、撮影した静止画や動画を登　することができます。

1 **✉（機能）を押したあと、「データ消去」を選び、Ⓕを押す。**

2 **消去するデータの種類を選び、Ⓕを押す。**

■ SDメモリカード内の画像を選択（データフォルダデータ／オーディオ&ビデオリスト）：✉（**メニュー**）➡「**メモリカードへ切替**」選択➡Ⓕ

■ データフォルダデータ選択時：フォルダ選択➡Ⓕ

■ オーディオ&ビデオリスト選択時：「**1ビデオリスト**」／「**2オーディオリスト**」選択➡Ⓕ

3 **消去するデータを選び、Ⓕを押す。**

4 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

データが消去されます。

静止画／動画のメール添付

撮影した静止画を添付する

撮影した静止画を、撮影直後の画面から直接メールに添付して送信します。

●撮影した静止画を登　したあとは、データフォルダの操作で送信することができます。（☞P.11-12）

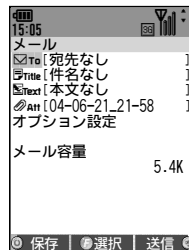
1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-8）で、◎（写メール）を押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、メールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●連写画像のときは、分割画像を含め、◎で添付する静止画を選んでから操作してください。

●横240×縦320ドットで撮影したときは、実画像が添付されます。画像を縮小したり、4分割して送信することもできます。（☞P.6-35）

●データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞◎P.6-5）

●デジタルカメラモードで撮影したときは、実画像が添付されます。サムネイルを添付することもできます。（☞P.6-36）

簡単メール宛先が登録されているとき

●登　されている相手の名前が表示されます。送信する相手を選びⒻを押すと、メールの送信画面が表示されます。

●簡単メール宛先の登　方法：☞◎P.6-2

●送信する相手が登　されていないときは、「0<該当宛先無し>」を選びます。

2 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。

●詳しくは、◎P.3-3を参照してください。

●画像加工を行った静止画は、モバイルカメラからは添付できません。データフォルダに登　したあと、データフォルダの操作で送信してください。

●ロングメール（PNGファイルのみ）対応機に送信するときは、JPEG形式の画像をPNG形式に変換する必要があります。（☞P.11-33）

●相手機種のサービス対応状況（ロングメール／スーパーメール／VGSメール／JPEG／PNG）については、「**サービスガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

QVGAサイズの静止画を添付する

撮影サイズ「横240ドット　縦320ドット」で撮影した静止画を、そのままのサイズ（実画像）で送信したり、横120×縦160ドットに縮小して送信します。

●相手機種によっては、実画像を受信できないことがあります。

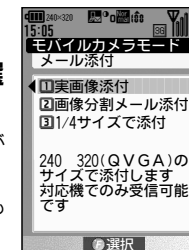
1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-8）で、㋞（機能）を押す。

2 「5メール添付」を選び、Ⓕを押す。

3 「1実画像添付」または「3 1／4サイズで添付」を選び、Ⓕを押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、メールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞◎P.6-5）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-34

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。

●詳しくは、◎P.3-3を参照してください。

画像を4分割して添付する

撮影サイズ「横240ドット　縦320ドット」で撮影した静止画を、4分割してメール送信します。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-8）で、㋞（機能）を押す。

2 「5メール添付」を選び、Ⓕを押す。

3 「2画像分割メール添付」を選び、Ⓕを押す。

右の画面が表示されます。（分割された画像を添付した4通のメールが、送信トレイに保存されました。）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-34

4 送信トレイに保存したメールを送信するとき

「1YES」を選び、Ⓕを押す。

送信トレイの画面になります。このあと、送信トレイからメールを送信します。（☞◎P.4-19）

送信トレイへの保存のみを行うとき

「2NO」を選び、Ⓕを押す。

待受画面に戻ります。

注意
●画像分割メールを送信すると、４通分のメール料金がかかります。

●操作３で、送信トレイに保存された４通のメールには、それぞれ「件名」に「**画像分割メール左上**」「**画像分割メール右上**」「**画像分割メール左下**」「**画像分割メール右下**」が自動的に入力されています。

デジタルカメラモードの実画像やサムネイルを添付する

●相手機種によっては、実画像を受信できないことがあります。

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-8）で、㊫（機能）を押す。

2「③メール添付」を選び、Ⓕを押す。

3「①実画像添付」または「②サムネイル添付」を選び、Ⓕを押す。

静止画がデータフォルダに登　されたあと、メールの送信画面が表示されます。（静止画はあらかじめ添付されています。）

●データフォルダに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞[O]P.6-5）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-34

4 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。

●詳しくは、☞[O]P.3-3を参照してください。

●メール本文などと合わせて200Kバイトを超える場合は添付できません。

撮影した動画を添付する

ムービーモードで撮影した動画を、直接メールに添付して送信します。

●撮影した動画を登　したあとは、ビデオプレイヤーの操作で送信することができます。（☞P.9-3）

1 撮影直後（登録前）の状態（☞P.6-18）で、◎（写メール）を押す。

動画がビデオクリップ全リストに登　されたあと、メールの送信画面が表示されます。（動画はあらかじめ添付されています。）

●ビデオクリップ全リストに登　せず送信するように設定しておくこともできます。（☞[O]P.6-5）

■ 簡単メール宛先登　時：☞P.6-34

2 宛先など他の項目を入力し、メールを送信する。

●詳しくは、[O]P.3-3を参照してください。

●メール本文などと合わせて200Kバイトを超える場合は添付できません。
●V801SHで撮影した動画を受信（再生）するには、VGSメール対応のボーダフォン携帯電話が必要です。ただし、ムービー写メール30K設定（☞P.6-29）を「ON」にして撮影した動画は、スーパーメール対応機（MPEG-4対応機のみ）で受信（再生）することができます。

●相手機種のサービス対応状況（ロングメール／スーパーメール／VGSメール／JPEG／PNG）については、「**サービスガイドブック**」の機能一覧でご確認ください。

静止画のプリントを指定する（DPOF）

DPOF（「Digital Print Order Format」の略称）とは、デジタルカメラで撮影した静止画のプリント指定形式です。V801SHのデジタルカメラモードで撮影したSDメモリカード内の静止画の中から、プリントしたい静止画とその枚数を指定しておけば、DPOF対応のデジタルカメラプリントショップやプリンタで、指定した情報に沿ってプリントが行えます。

- ボーダフォンライブ！などから入手した静止画はプリント指定できません。
- DPOFは、SDメモリカードのデジタルカメラフォルダに保存されてる静止画に対してのみ設定できます。
- 操作中にSDメモリカードの容量が不足すると、容量不足の確認メッセージが表示されます。このときは、一旦操作を終了し、不要なデータを削除してやり直してください。
- プリント時の操作など、詳しくは、プリントする機器の操作説明書をご覧ください。

プリントする静止画と枚数を指定する

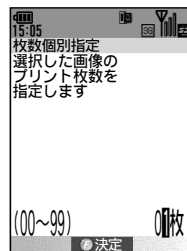
1 Ⓕ（プリント）（画）の順に押す。

2 「3 デジタルカメラフォルダ」を選び、（プリント）を押す。

3 プリントを指定するフォルダを選び、Ⓕを押す。
選んだフォルダ内の静止画のサムネイルが表示されます。（プリント指定画面）

4 でプリントしたい静止画を選び、（枚数）を押す。

5 プリント枚数（01～99）を入力し、Ⓕ（決定）を押す。
- 最大99枚まで指定できます。
- SDメモリカード内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定することもできます。（☞P.6-39）

■ 指定の解除：「00」入力➡Ⓕ

6 操作3～5をくり返し、プリントする静止画と枚数を指定する。

7 プリント指定が終われば、◎（完了）を押す。
プリントが指定されます。
■ 他のフォルダを指定：操作3～7をくり返す

8 すべての指定が終われば、◎（完了）を押す。
メモリカード画面に戻ります。

- V801SHでは、他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）は変更できません。
- 他のデジタルカメラなどで設定されたプリント指定（DPOF）があるときは、V801SHでプリント指定を行うと、以前設定されていたプリント指定は消去されます。
- デジタルカメラプリントショップまたはプリンタによっては、機能が一部制限されることがあります。
- プリント指定する画像数が多いときは、プリント指定に時間がかかることがあります。
- パソコン等でSDメモリカード内の画像を削除したり名前の変更を行うと、プリント指定が正しく行われなくなります。このときは、枚数一括解除（☞P.6-39）を行ってからプリント指定し直してください。

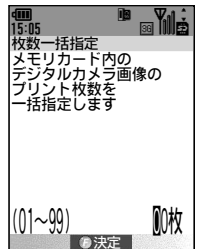
すべての静止画に同じプリント枚数を指定する

SDメモリカードのデジタルカメラフォルダ内のすべての静止画（DCF形式）に同じプリント枚数を指定します。

1 Ⓕ（画）の順に押す。

2 「3 デジタルカメラフォルダ」を選び、（プリント）を押す。

3 「DCIM」を選び、Ⓕを押す。

4 「1 枚数一括指定」を選び、Ⓕを押す。

指定した枚数をすべて解除するとき（枚数一括解除）
- 「2 枚数一括解除」を選び、Ⓕを押します。確認画面が表示されますので、「1 実行」を選び、Ⓕを押します。

5 プリント枚数（01～99）を入力し、Ⓕを押す。
- 最大99枚まで指定できます。
- プリントが指定されます。

日付を付けてプリントする

- お買い上げ時には、「OFF」（日付なし）に設定されています。

1 Ⓕ（画）の順に押す。

2 「3 デジタルカメラフォルダ」を選び、（プリント）を押す。

3 「DCIM」を選び、Ⓕを押す。

4 「3 日付付加指定」を選び、Ⓕを押す。

5 「1 ON」を選び、Ⓕを押す。
日付付加が設定されます。
■ 日付なし：「2 OFF」選択➡Ⓕ

インデックスプリントを指定する

指定した静止画の画像一覧を並べた、インデックスプリントが必要かどうかを設定します。

●お買い上げ時には、「OFF」（インデックスプリント不要）に設定されています。

1 Ⓕ㊙（🖨）の順に押す。

2「3 デジタルカメラフォルダ」を選び、㊙（プリント）を押す。

3「DCIM」を選び、Ⓕを押す。

4「4インデックスプリント指定」を選び、Ⓕを押す。

5「1ON」を選び、Ⓕを押す。

インデックスプリントが指定されます。

■ インデックスプリントなし：「2OFF」選択➡Ⓕ

プリントの指定状況を確認する

1 Ⓕ㊙（🖨）の順に押す。

2「3 デジタルカメラフォルダ」を選び、㊙（プリント）を押す。

3「DCIM」を選び、Ⓕを押す。

4「5指定状況確認」を選び、Ⓕを押す。

印刷画像数、総印刷枚数などが表示されます。

●◎（戻る）を押すと、プリント指定画面に戻ります。

6 カメラ機能

ディスプレイ設定

壁紙設定

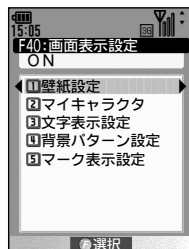
あらかじめ登 されている内蔵画像や、モバイルカメラで撮影した静止画、ボーダフォンライブ！などで入手した画像やアニメーションを利用します。

壁紙を表示する

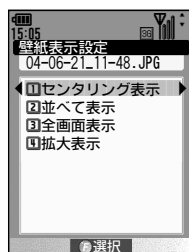
●「**オリジナル**」を選ぶと最大４枚まで壁紙を設定できます。複数の壁紙を設定すると、２時間ごとに表示が切り替わります。（表示が切り替わる間隔も変更できます。）
●画像の種類やデータ内容／サイズによっては、利用できない画像があります。
●お買い上げ時には、「ON」、「VGS_logo」に設定されています。

1 Ⓕ4 0**の順に押す。**

2「**1壁紙設定」を選び、Ⓕを押す。**

3「**1内蔵画像」または「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。**
■「**1内蔵画像**」選択時：画像選択➡Ⓕ（操作完了）
■壁紙の表示切替時間の変更（「**2オリジナル**」で複数の壁紙設定時）：Ⓜ（**メニュー**）➡「**3切替時間設定**」選択➡Ⓕ➡切替時間（01〜24時間ごと）入力➡Ⓕ

4 設定する番号（「1」など）を選び、Ⓕを押す。
■登 済みの画像の消去：番号選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**2消去**」選択➡Ⓕ➡「**1YES**」選択➡Ⓕ

5 データフォルダから、壁紙に設定する画像を選ぶ。
■データフォルダの操作：☞P.11-9
●画像サイズによっては、◎で画像の表示範囲を設定してください。

6 Ⓕ**を押す。**
画像が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）
●画像がE-アニメータのときは、２倍のサイズで表示されます。
■右の画面表示時：表示方法（下記）選択➡Ⓕ
■センタリング表示…そのままのサイズでディスプレイ中央に表示
■並べて表示…そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示
■全画面表示…ディスプレイサイズいっぱいに拡大表示
■拡大表示…縦横どちらかがディスプレイサイズになるまで拡大表示

7 Ⓕ**を押す。**
オリジナル壁紙設定の画面に戻ります。
●すでに登 されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登 せずに、ボーダフォンライブ！などから直接壁紙に設定していたときは、画像は消去されます。）
■複数の壁紙の設定：操作４〜７をくり返す

8 設定を終わるときは、◎（完了）を押す。
待受画面に戻り、壁紙が表示されます。

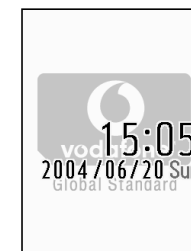
補足
●ボーダフォンライブ！やデータフォルダで、画像を壁紙に登 すると、壁紙設定は自動的に「ON」に設定されます。（待受画面に戻ると、壁紙が表示されます。）
●VアプリをVアプリ待受に設定していると、壁紙を設定しても表示されないことがあります。
●壁紙を「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。（アニメーションを選んだときや複数の画像を設定すると、さらに短くなります。）
●アニメーションを選んでも、待受画面で約15秒間何も操作しないときは、静止画像になることがあります。また、時計表示設定（☞P.7-4）を「**時計大１**」／「**時計大２**」／「**カレンダー**」に設定すると、アニメーション表示中は「**時計小１**」で表示されます。「**世界時計**」または「**カレンダー（世界時計）**」に設定すると、アニメーション表示中は標準時刻のみが表示されます。

壁紙設定時に待受画面のアイコンを消す

壁紙設定しているとき、待受画面のアンテナマークや電池マークなどを消します。
●お買い上げ時には、「ON」（表示する）に設定されています。

1 Ⓕ4 0**の順に押す。**

2「**5マーク表示設定」を選び、Ⓕを押す。**

3「**2OFF」を選び、Ⓕを押す。**
画面表示設定の画面に戻ります。
■アイコンの表示：「**1ON**」選択➡Ⓕ

■壁紙設定時に「マーク表示設定」を「OFF」に設定すると

待受画面には、アイコンは表示されません。
アイコンを表示するときは、Ⓟを押します。約５秒間アイコンが表示されたあと、待受画面に戻ります。

補足
●壁紙を設定していないときは、「**マーク表示設定**」を「OFF」に設定していても、待受画面にアイコンが表示されます。
●待受画面以外では、「**マーク表示設定**」の設定にかかわらず、アイコンが表示されます。

時計／カレンダー表示設定

時計の表示形式を設定する

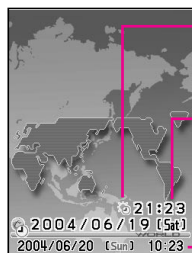
●お買い上げ時には、「時計大１」に設定されています。

1 **Ⓕ 5 2の順に押す。**

2 **「1時計大１」～「5世界時計」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

待受画面に戻り、時計が表示されます。

■ 時計の非表示：「8OFF」選択➡Ⓕ

世界時計の見かた

サマータイム表示

●サマータイム設定を「ON」に設定しているときに表示されます。

現地時刻

●世界時計の設定（☞P.1-29）で時差調整された時刻が表示されます。

標準時刻

●時刻設定（☞P.1-28）で設定した時刻が表示されます。

カレンダーの表示形式を設定する

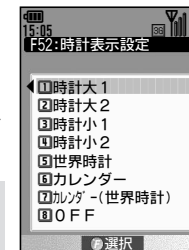
カレンダーには１ヶ月表示（大）／１ヶ月表示（小）／２ヶ月表示があり、世界時計対応もあわせて６種類から選べます。

●「１ヶ月表示（小）」／「２ヶ月表示」は、表示位置を変更できます。

●お買い上げ時には、「１ヶ月表示（大）」に設定されています。

1 **Ⓕ 5 2の順に押す。**

2 **「6カレンダー」または「7カレンダー（世界時計）」を選び、Ⓕを押す。**

●時刻が設定されていないときは、時計／アラーム機能の選択画面に戻ります。「9時刻設定」を行ってください。（☞P.1-28）

3 **「1 １ヶ月表示（大）」～「3２ヶ月表示」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

■「2 １ヶ月表示（小）」／「3２ヶ月表示」選択時：表示位置指定➡Ⓕ

■ カレンダー曜日色の設定：「4曜日色設定」選択➡Ⓕ➡曜日選択➡Ⓕ➡色選択➡Ⓕ

カレンダーの見かた

「１ヶ月表示（大）」に設定しているとき

現在の日付

●現在の日付は、反転表示されています。

スケジュールが設定されている日付

●スケジュール（☞P.14-15）が設定されている日付には、破線のアンダーラインが表示されます。

●◎を押すと前の月のカレンダーが、◎を押すと次の月のカレンダーが表示されます。◎を押し続けると、表示される月が連続して変わります。（「２ヶ月表示」では、１月ずつ順に送られます。）

●壁紙でアニメーションが動作しているときは、カレンダーは表示されません。

●壁紙を「ON」に設定しているときは、壁紙の画像の上にカレンダーが表示されます。

●VアプリをVアプリ待受に設定していると、カレンダーが表示されないことがあります。

サブディスプレイ設定

サブディスプレイのON／OFFや液晶濃度、待受時の表示内容、着信時の表示などを設定します。

サブディスプレイの表示／照明を設定する

●お買い上げ時には、「ON」（照明点灯：15秒）に設定されています。

1 Ⓕ47の順に押す。

2 「1サブディスプレイON／OFF」を選び、Ⓕを押す。

「1サブディスプレイON／OFF」選択時：「1ON」（表示する）／「2OFF」（表示しない）選択➡Ⓕ（操作完了）

●サブディスプレイを「OFF」に設定したときは、以降の操作はできません。

3 「2照明設定」を選び、Ⓕを押す。

4

点灯時間を変更するとき

1「1ON」を選び、Ⓕを押す。

2点灯時間（01～99秒）を入力し、Ⓕを押す。

点灯時間が設定されます。

常時点灯しないようにするとき

「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

●「2OFF」に設定しても、モバイルカメラ起動中はパネル照明が点灯します。

点灯する時間帯を設定するとき

あらかじめ現在時刻を合わせておいてください。（☞P.1-28）

●時刻設定を行っていないときは、ここでの設定は反映されません。

1「3点灯時間帯」を選び、Ⓕを押す。

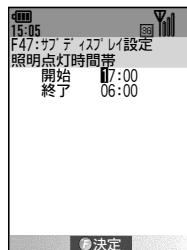
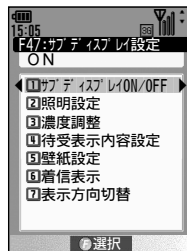
2開始時刻と終了時刻（各4ケタ）を入力し、Ⓕを押す。

開始時刻と終了時刻の間、パネル照明が点灯します。

3点灯時間（01～99秒）を入力し、Ⓕを押す。

点灯時間帯と点灯時間が設定されます

●V801SHを閉じたときのサブディスプレイの照明点灯時間は、設定した時間（秒）にかかわらず最大で3秒間です。「1秒」または「2秒」に設定したときは、設定した秒数だけ点灯します。

●サブディスプレイの照明点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

液晶濃度を設定する

サブディスプレイの液晶濃度は9段階で調整します。見る角度に合わせて、調整してください。

●お買い上げ時には、「濃度5」（標準濃度）に設定されています。

1 Ⓕ47の順に押す。

2 「3濃度調整」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎（濃くする）または◎（淡くする）をくり返し押す。

4 調整後、Ⓕを押す。

サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

表示内容を設定する

●時計／マーク／メモ（テキスト）／壁紙がすべて「OFF」に設定されているときは、電池残量表示／電波状態表示／SDメモリカード状態表示／マナーモード表示（マナーモード設定時）のみ表示されます。

時計表示を設定する

●お買い上げ時には、「デジタル時計大1」に設定されています。

1 Ⓕ47の順に押す。

2 「4待受表示内容設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「1時計」を選び、Ⓕを押す。

4

時計を表示するとき

1「1時計小」～「3世界時計」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

2表示する時計を選び、Ⓕを押す。

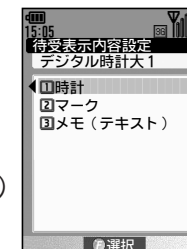
「2時計大」の「3アナログ時計」選択時：文字盤選択➡Ⓕ

3設定する色を選び、Ⓕを押す。

時計表示が設定され、待受表示内容設定の画面に戻ります。

時計を表示しないとき

「4OFF」を選び、Ⓕを押す。

待受表示内容設定の画面に戻ります。

●メモ（テキスト）を「ON」に設定したあと、時計を「2時計大」または「3世界時計」に設定すると、メモ（テキスト）は自動的に「OFF」（解除）に設定されます。

補足
- 時刻が設定されていない状態で、各時計を選ぶと、確認メッセージが表示されます。時刻を設定してⒻを押すと、操作を続けることができます。

電池残量／電波状態などのアイコンを消す

- お買い上げ時には、「ON」（表示する）に設定されています。

1 **Ⓕ④⑦の順に押す。**

2 **「4待受表示内容設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「2マーク」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「2OFF」を選び、Ⓕを押す。**
■ アイコン表示：「1ON」選択➡Ⓕ

メモ（テキスト）を表示する

- メモ（テキスト）を「ON」に設定すると、時計は「**デジタル時計小**」になります。
- お買い上げ時には、「OFF」（表示しない）に設定されています。

1 **Ⓕ④⑦の順に押す。**

2 **「4待受表示内容設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「3メモ（テキスト）」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**
■ メモ（テキスト）の非表示：「2OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

5 **表示するメモ（テキスト）を入力し、Ⓕを押す。**
待受表示内容設定の画面に戻ります。
- 全角25文字（半角50文字）まで入力できます。

- 全角5文字ごとに自動的に改行されます。
- 全角文字と半角文字を組み合せて入力すると、入力可能文字数内であってもサブディスプレイにすべての文字が表示されないことがあります。

- メモ（テキスト）を登　したあと、「OFF」に設定しても、登　したメッセージは消えません。再び「ON」に設定すると、メモ（テキスト）が利用できます。

壁紙を設定する

あらかじめ登　されている内蔵画像やデータフォルダに登　した画像を、待受中のサブディスプレイに表示します。
- アニメファイル（「☺」表示）や4枚連写画像（「▦」表示）も利用できます。（9枚連写画像は設定できません。）
- 画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。
- あらかじめ利用する画像をサブディスプレイ用のサイズに変更しておくと便利です。（☞P.11-25）
- イメージを上下逆にするときは、元の画像を回転しておくと便利です。（☞P.11-33）
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **Ⓕ④⑦の順に押す。**

2 **「5壁紙設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1内蔵画像」または「2オリジナル」を選び、Ⓕを押す。**
■「1内蔵画像」選択時：画像選択➡Ⓕ（操作完了）

4 **データフォルダから壁紙に設定する画像を選ぶ。**
■ データフォルダの操作：☞P.11-9

5 **Ⓕを押す。**
サブディスプレイに表示したときのイメージが枠で表示されます。アニメファイルや4枚連写画像を選んだときは、1枚目の画像が表示されます。
- 画像サイズによっては、Ⓜで画像の表示範囲を設定してください。

■ 画像サイズの変更：Ⓞ（「1/2」⇔「等倍」切替）
■ 画像の変更：クリア

6 **Ⓕを押す。**
サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

着信中の表示を設定する

電話やメールの着信中にサブディスプレイに表示されるカラーパターンやグラフィックパターン（通常着信のみ）を設定します。

- お買い上げ時には、カラーパターンは「**ホワイト**」、グラフィックパターンは「OFF」に設定されています。

1 **Ⓕ4 7の順に押す。**

2 **「6着信表示」を選び、Ⓕを押す。**

3 **カラーパターンを設定するとき**

1「1通常着信」または「2メール着信」を選び、Ⓕを押す。

■「1通常着信」選択時：「1カラーパターン（サブ）」選択➡Ⓕ

2設定するカラーパターンを選ぶ。

着信カラーサンプルが表示されます。

3Ⓕを押す。

通常着信では通常着信設定画面に戻り、メール着信では、着信表示の画面に戻ります。

グラフィックパターンを設定するとき（通常着信のみ）

1「1通常着信」を選び、Ⓕを押す。

2「2グラフィックパターン（サブ）」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。

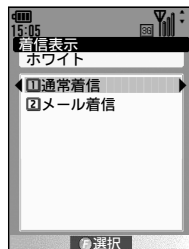
■グラフィックパターンの解除：「2OFF」選択 ➡Ⓕ（操作完了）

4設定するグラフィックパターンを選ぶ。

■パターンの表示：◎（表示）

5Ⓕを押す。

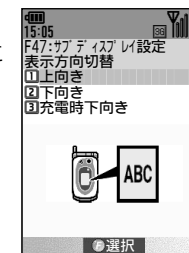
通常着信の設定画面に戻ります。

- グラフィックパターンを設定すると、着信時にはサブディスプレイにカラーパターンと交互に表示されます。
- サブディスプレイの着信表示を設定していても、次のときは、その設定内容が優先して表示されます。
  - ■メモリダイヤルの指定着信音やメールコール、ピクチャーコール／メールに登 している相手からの着信
  - ■メモリダイヤルのグループ着信を設定している相手からの着信

表示方向を設定する

- お買い上げ時には、「**上向き**」に設定されています。

1 **Ⓕ4 7の順に押す。**

2 **「7表示方向切替」を選び、Ⓕを押す。**

- 「**充電時下向き**」に設定すると、充電時のみ表示方向を下向きにして表示します。

上向き　　下向き　　充電時下向き

3 **「1上向き」、「2下向き」、「3充電時下向き」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**

サブディスプレイ設定の画面に戻ります。

フォント変更

文字の太さを変更する

●お買い上げ時には、「文字１」に設定されています。

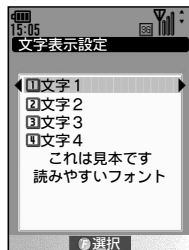
1 Ⓕ 4 0の順に押す。

2「3文字表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1文字１」～「4文字４」のいずれかを選ぶ。

●「2文字２」などを選ぶごとに、文字のサンプルが表示されます。

4 Ⓕを押す。

文字の形が設定され、画面表示設定の画面に戻ります。

補足
●この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONT及びLCロゴマークは、シャープ株式会社の登 商標です。

スクリーンアニメ設定

V801SHを開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続いたとき、ボーダフォンライブ！などで入手したアニメーションなどを自動的に表示します。

●スクリーンアニメに利用できるアニメーションは、E-アニメータ（.nva）のみです。
●スクリーンアニメが起動する時間（お買い上げ時:「１分」）も設定できます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

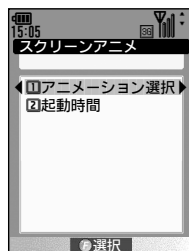
1 Ⓕ 4 8の順に押す。

2「1スクリーンアニメ」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」を選び、Ⓕを押す。

■ スクリーンアニメの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

4「1アニメーション選択」を選び、Ⓕを押す。

■ スクリーンアニメ起動時間の設定：「2起動時間」選択➡Ⓕ➡時間選択➡Ⓕ（操作完了）

5「1キュービック」～「3オリジナル」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

■「3オリジナル」選択時：画像選択➡Ⓕ
■「3オリジナル」選択時の画像の変更：Ⓥ（変更）➡画像選択（データフォルダの操作：☞P.11-9）

6 Ⓕを押す。

スクリーンアニメ設定の画面に戻ります。

注意
●スクリーンアニメは、次のときは表示されません。
- 待受画面
- 通話中／着信中
- （ボタン）を押して画像の表示サイズを切り替えられる画面
- データフォルダの画像一覧表示画面
- パネルセーブ（☞P.14-31）までの時間を、スクリーンアニメ動作までの時間より短くしているとき
- マルチメディアの 音／再生中
- モバイルカメラ起動中
- Vアプリ起動中
- ボーダフォンライブ！利用中
- データ通信中

補足
●VアプリをVアプリ待受に設定しているときやSDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、スクリーンアニメを設定しても表示されないことがあります。
●スクリーンアニメを「ON」に設定すると、「OFF」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

■スクリーンアニメが動作すると

設定したアニメーションが自動的に表示されます。何かボタンを押すと、スクリーンアニメは停止します。

背景設定

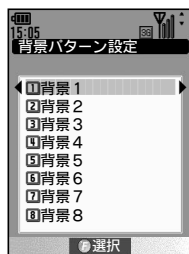
背景パターンを設定する

機能メニューなど、リスト画面の背景パターンを９種類の中から選びます。
●お買い上げ時には、「背景１」に設定されています。

1 Ⓕ④⓪の順に押す。

2「④背景パターン設定」を選び、Ⓕを押す。

3「①背景１」～「⑨背景９」のいずれかを選ぶ。
●項目（「③背景3」など）を選ぶごとに、背景が変わります。

4 Ⓕを押す。
背景パターンが設定され、画面表示設定の画面に戻ります。

背景アニメを設定する

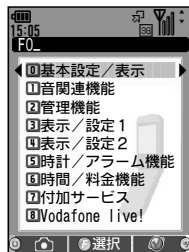
インデックスメニューの５つの項目を選んだときや、ユーザーショートカットで表示される右のような背景アニメを表示しないようにします。
●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2「②背景アニメ」を選び、Ⓕを押す。

3「②OFF」を選び、Ⓕを押す。
アニメーション設定の画面に戻ります。
■ アニメーションの表示：「①ON」選択➡Ⓕ

注意
●背景アニメは、次のときは表示されません。
■通話中
■マルチメディア再生中（☞P.9-3）
■スクリーンアニメ表示中（☞P.7-12）

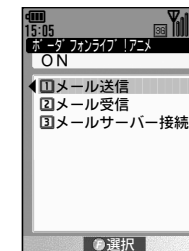
補足
●SDメモリカードの使用中（データの読み出し中や書き込み中など）は、背景アニメが表示されないことがあります。

ボーダフォンライブ！アニメ設定

メール送受信時やメールサーバー接続時に表示されるアニメーションなどの画像を送受信の種類ごとに表示させないようにします。
●お買い上げ時には、すべて「ON」に設定されています。

1 Ⓕ④⑧の順に押す。

2「③ボーダフォンライブ！アニメ」を選び、Ⓕを押す。

3 表示する場面を選び、Ⓕを押す。

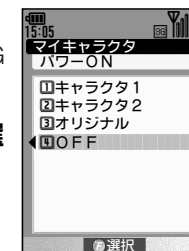
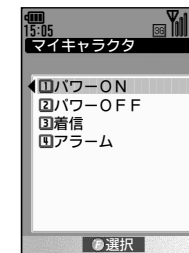
4「②OFF」を選び、Ⓕを押す。
ボーダフォンライブ！アニメ設定画面に戻ります。
●続けて、他の表示場面を設定できます。
■ アニメーションの表示：「①ON」選択➡Ⓕ

マイキャラクタ設定

電源ON／OFF時やアラーム動作時、着信中などに、モバイルカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像などをマイキャラクタとして表示します。
●連写画像は利用できません。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ④⓪の順に押す。

2「②マイキャラクタ」を選び、Ⓕを押す。

3 マイキャラクタを表示する場面を選び、Ⓕを押す。
●「③着信」または「④アラーム」では、E-アニメータ／MNGファイルの画像は利用できません。

4「①キャラクタ１」～「③オリジナル」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
●キャラクタを選んだときは、このあと操作８へ進みます。
■「③オリジナル」選択時の画像の変更：Ⓥ（変更）
■ マイキャラクタ設定の解除：「④OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

5 データフォルダから、マイキャラクタに設定する画像を選ぶ。

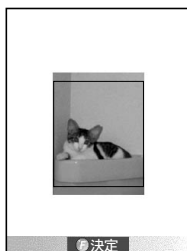
■ データフォルダの操作：☞P.11-9

6 Ⓕを押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。
（利用できない画像は表示されません。）

パワーON	横120　縦130ドット	着信	横120　縦38ドット
パワーOFF	横120　縦130ドット	アラーム	横120　縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大表示されます。

■ 画像の表示サイズの変更：(スケジュール/メモ)（「等倍」⇔「２倍」切替）

7 ◎で画像の表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できないこともあります。

■ 画像の変更：(クリア)（データフォルダ画面へ）

8 Ⓕを押す。

マイキャラクタが設定されます。

●すでに登　されていたオリジナル画像を変更すると、元のオリジナル画像は上書きされます。（画像をデータフォルダに登　せずに、ボーダフォンライブ！などから直接マイキャラクタに設定していたときは、画像は消去されます。）

注意
●マイキャラクタの「3着信」を「3オリジナル」に設定しているときに、メモリダイヤルのピクチャーコール／メールを登　している相手から電話番号が通知されて電話がかかってきたときは、マイキャラクタの設定は無効になります。

電源を入れたときにメッセージを表示する

電源を入れたときに、メッセージなどをディスプレイ下部に表示します。（ウェイクアップ）

●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 Ⓕ(3)(6)の順に押す。

2 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

メッセージの入力画面が表示されます。

■ ウェイクアップの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

3 表示する内容を入力し、Ⓕを押す。

次回から電源を入れたときは、登　した内容がディスプレイに表示されます。

●全角８文字（半角16文字）まで入力できます。

ディスプレイ／ボタンの照明設定

ディスプレイ／ボタン照明を設定する

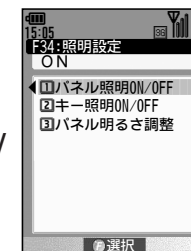
ディスプレイやボタン照明の点灯時間を変更したり、点灯しないようにします。

●１日の中で特定の時間帯だけ点灯するように設定できます。

●お買い上げ時には、「ON」（15秒）に設定されています。

1 Ⓕ(3)(4)の順に押す。

2 「1 パネル照明 ON/OFF」または「2 キー照明 ON/OFF」を選び、Ⓕを押す。

■ 以降の操作：☞P.7-6の操作４

補足
●パネル照明を「ON」に設定したときは、設定した照明点灯時間を経過するとパネル照明は微点灯に変わります。（パネル照明が完全には消えません。）
●パネル照明やキー照明の点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

ディスプレイの明るさを設定する

ディスプレイのパネル照明の明るさを４段階で調整します。

●お買い上げ時には、「明るさ３」に設定されています。

1 Ⓕ(3)(4)の順に押す。

2 「3パネル明るさ調整」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎（明るくする）または ◎（暗くする）をくり返し押す。

押すごとにパネル照明の明るさが変更されます。

●それぞれの連続操作時間は次のとおりです。

■明るさ１…約270分　■明るさ２…約260分
■明るさ３…約220分　■明るさ４…約200分

4 調整後、Ⓕを押す。

照明設定の画面に戻ります。

補足
●パネル照明の明るさは、サブディスプレイには反映されません。

英語表示に切り替える

●お買い上げ時には、「日本語」に設定されています。

1 Ⓕ(3)(5)**の順に押す。**

2「**2English」を選び、Ⓕを押す。**

これ以降、英語で表示されます。

■ 日本語表示：「1日本語」選択➡Ⓕ

音の設定

着信設定

着信音のパターンや音量、バイブレータの動作、モバイルライト／スモールライトの色や点滅パターン、着信音の鳴る時間を設定します。
着信の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

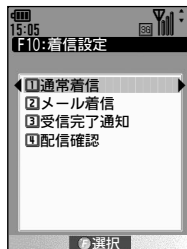
	通常着信	メール着信	受信完了通知	配信確認
着信パターン	パターン1	効果音 メール	パターン5	効果音 黒電話
着信音量	音量5	音量5	音量1	音量5
バイブ設定	OFF	OFF	OFF	OFF
バイブパターン	バイブ1	バイブ2	バイブ5	バイブ2
ランプ設定	モバイルライト	スモールライト	スモールライト	スモールライト
モバイルライトカラーパターン	マスカット（緑色系統）	―	―	―
モバイルライト／スモールライト点滅パターン	パターン1	SMAF連動	SMAF連動	SMAF連動
着信呼出時間	―	10秒	1秒	10秒

●「受信完了通知」とは、次のようなときの動作です。
■メールサーバーからメッセージの続きやメールリストを取得したとき
■メールサーバーのメッセージを消去したとき
●「配信確認」とは、サービスセンターから通信レポートを受信したときの動作です。（☞📖P.4-5）
●設定した内容は、電源を切っても保持されます。

補足 ●着信と連動するタイプのVアプリをVアプリ待受に設定していると、着信設定で設定している着信パターンやバイブパターンとは異なる動作をすることがあります。

着信音量を設定する

1 Ⓕ 1 0の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3 「2着信音量」を選び、Ⓕを押す。

4 ◎で設定する音量を選ぶ。
「音量5」が最大です。「ステップ」に設定すると、約3秒ごとに、「音量1」～「音量5」の順に段々と音が大きくなります。
■ 音量の確認：◎（♪再生）
■再生の停止：上記操作のあと◎（停止）
（マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定内容と連動します。）

サイレントに設定しているとき

5 Ⓕを押す。
通常着信を「ステップ」に設定すると「🔲」が、「サイレント」に設定すると「S」が、待受時に表示されます。

着信パターンを設定する

パターン5種類、効果音13種類、メロディ12種類（☞P.8-4）の中から選べます。
●V801SHのデータフォルダ内のメロディ、オーディオ&ビデオリストの動画や音楽も、着信パターンに設定できます。

1 Ⓕ 1 0の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3 「1着信パターン」を選び、Ⓕを押す。

4 あらかじめ登録されているパターンや効果音を選ぶとき
「1固定パターン」を選び、Ⓕを押す。

あらかじめ登録されているメロディを選ぶとき
「2固定メロディ」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき
「3データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

オーディオ & ビデオリストから選ぶとき
1「4オーディオ&ビデオリスト」を選び、Ⓕを押す。
2「1ビデオリスト」または「2オーディオリスト」を選び、Ⓕを押す。

●SDメモリカード内のメロディ、オーディオ&ビデオリストの動画や音楽は、着信パターンに設定できません。
●オーディオ&ビデオリストは、「受信完了通知」には利用できません。
●メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えると、着信パターンに設定できません。

●メロディのデータ内容などによっては、着信音として登　できないことがあります。
●設定によっては、ひずんだり、音割れをおこすことがあります。
このときは、音量や強弱設定を下げるか、音色を変更してください。

5 設定するパターン／効果音／メロディなどを選ぶ。

■ メロディの再生：メロディ選択➡◎（♪再生）
- 再生の停止：上記操作のあと◎（停止）
  （マナーモードを設定していても、再生します。）
  メロディを再生するとモバイルライト／スモールライトがランプ設定（☞P.8-6）に従って動作します。

6 Ⓕを押す。

着信パターンが設定されます。

- 着信音量（☞P.8-2）を「**サイレント**」または「**ステップ**」にすると、操作5で選んだ種類が「**音量1**」で鳴ります。
- 着信パターンに設定したデータフォルダ内のメロディ、またはオーディオ&ビデオリストの動画や音楽を消去したり、ファイル名を変更したり、SDメモリカードへ移動すると、着信パターンはお買い上げ時の状態に戻ります。
- あらかじめ登　されているメロディを着信パターンに設定したとき、バイブ設定（☞P.8-5）が「**SMAF連動**」に設定されていると、メロディ内のバイブレータが動作します。

あらかじめ登録されているメロディ

曲　名（表示名）	作曲者名	画面表示
別れの曲	CHOPIN FREDERIC FRANCOIS	別れの曲
山の音楽家	ドイツ民謡	山の音楽家
大きな古時計	WORK HENRY CLAY	大きな古時計
森のくまさん	アメリカ民謡	森のくまさん
カノン	PACHELBEL JOHANN	カノン
威風堂々	ELGAR EDWARD	威風堂々
帰れソレントへ	イタリア民謡	帰れソレントへ
弦楽セレナーデ	CHAJKOVSKIJ PETR ILICH	弦楽セレナーデ
MOONLIGHT	TJK	MOONLIGHT
TENDER MOMENT	TJK	TENDER MOMENT
Top Speed	TJK	Top Speed
Circle of Lights	TJK	Circle of Lights

着信をバイブレータでお知らせする

バイブレータを設定する

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3「③バイブ設定」を選び、Ⓕを押す。

- 「**③SMAF連動**」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されている場合、メロディ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
  「**③SMAF連動**」に設定していても、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にバイブレータが設定されていないと、バイブレータは動作しません。
- 「**④ビデオ連動**」は、着信パターンに設定したビデオ（MPEG-4ファイル）にバイブレータが設定されている場合、ビデオ内のバイブレータを動作させるときに選びます。
  「**④ビデオ連動**」に設定していても、着信パターンに設定したビデオ（MPEG-4ファイル）にバイブレータが設定されていないと、バイブレータは動作しません。

4「①ON」、「②OFF」、「③SMAF連動」「④ビデオ連動」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

通常着信のバイブ設定を「ON」にすると「V」（緑色）が、「**SMAF連動**」または「**ビデオ連動**」に設定すると「V」（黄色）が待受時に表示されます。

- バイブレータを設定中、V801SHを机の上等に置いておくと、着信があったとき振動により落下することがありますのでご注意ください。
  充電するときは、落下防止のためにもバイブレータを「OFF」に設定することをおすすめします。

バイブパターンを設定する

●バイブレータが「ON」に設定されているときに有効です。（☞P.8-5）

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3 「④バイブパターン」を選び、Ⓕを押す。

4 設定するバイブパターンを選び、Ⓕを押す。

バイブパターン	動作
①バイブ1	0.75秒振動→0.75秒停止のくり返し
②バイブ2	0.25秒振動→0.25秒停止→0.25秒振動→1秒停止のくり返し
③バイブ3	1秒振動→2秒停止のくり返し
④バイブ4	1秒振動→1秒停止→1秒振動→2秒停止のくり返し
⑤バイブ5	0.5秒振動→0.5秒停止→0.5秒振動→1秒停止のくり返し

バイブパターンが設定され、設定したバイブパターンで約5秒間バイブレータが動作します。

モバイルライト／スモールライトを設定する

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類を選び、Ⓕを押す。

3 「⑤ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

4 モバイルライトに設定するとき

1「①モバイルライト」を選び、Ⓕを押す。

2 設定するカラーパターンを選び、Ⓕを押す。

スモールライトに設定するとき

「②スモールライト」を選び、Ⓕを押す。

●スモールライトは、固定色（緑色）です。

点滅しないようにするとき

「③OFF」を選び、Ⓕを押す。

5 設定する点滅パターンを選ぶ。

■点滅パターンの確認：◎（点灯）

■点滅の停止：上記操作のあと、点灯中に◎（停止）

点滅パターン	動　作
①パターン1	0.75秒点灯→0.75秒消灯のくり返し
②パターン2	0.25秒点灯→0.25秒消灯→0.25秒点灯→1秒消灯のくり返し
③パターン3	1秒点灯→2秒消灯のくり返し
④パターン4	1秒点灯→1秒消灯→1秒点灯→2秒消灯のくり返し
⑤パターン5	0.5秒点灯→0.5秒消灯→0.5秒点灯→1秒消灯のくり返し
⑥SMAF連動	SMAFに連動　※（スモールライトのみ設定可能）

補足
●「⑥SMAF連動」は、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にランプが設定されている場合、メロディ内のランプを動作させるときに選びます。
●「⑥SMAF連動」に設定していても、着信パターンに設定したメロディ（SMAFファイル）にランプが設定されていないと、ランプは動作しません。（ランプは点滅します。）

6 Ⓕを押す。

ランプが設定されます。

8 音の設定

着信呼出時間を設定する

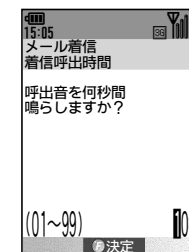
●通常着信では設定できません。

1 Ⓕ①⓪の順に押す。

2 設定する着信の種類（「①通常着信」以外）を選び、Ⓕを押す。

3 「⑥着信呼出時間」を選び、Ⓕを押す。

4 呼出し時間（01～99秒）を入力し、Ⓕを押す。（例：15秒のとき①⑤）

着信呼出時間が設定されます。

各種効果音の設定

効果音設定は、操作音の種類ごとに設定します。操作音の種類とお買い上げ時の設定は、次のとおりです。

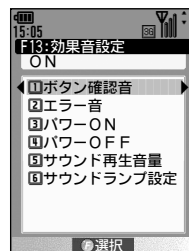
	ボタン確認音	エラー音	パワー ON	パワー OFF	サウンド再生音量	サウンドランプ設定
設定	ON	ON	ON	ON	音量５	スモールライト
サウンド選択	プッシュトーン	効果音 エラー音	効果音 オープニング1	効果音 エンディング1		
サウンド音量	音量中	音量中	音量5	音量5		
サウンド時間	0.05秒	0.5秒	３秒	３秒		

- 「**パワー ON**」は電源を入れたとき、「**パワー OFF**」は電源を切ったときを意味します。
- 「**サウンド再生音量**」はデータフォルダのメロディや、メッセージに添付されたメロディなどの再生音量を意味します。
- 「**サウンドランプ設定**」はメロディを再生したときのランプ設定を意味します。
- 設定した各種効果音設定は、電源を切っても保持されます。

8 音の設定

操作音のパターンを設定する

- ボタン確認音は、「**ピッ**」という音（プッシュトーン）も選べます。
- 操作音を鳴らないようにすることもできます。

1 **(F)(1)(3)の順に押す。**
効果音設定の画面が表示されます。

2 **設定する操作音の種類（「1 ボタン確認音」～「4 パワー OFF」）を選び、(F)を押す。**
- サウンド再生音量の設定：「**5サウンド再生音量**」選択➡(F)➡音量選択➡(F)
- サウンドランプの設定：「**6サウンドランプ設定**」選択➡(F)➡「**1モバイルライト**」／「**2スモールライト**」／「**3OFF**」選択➡(F)
  - ■モバイルライト選択時：上記操作のあと、カラーパターン選択➡(F)

3 **「1ON」を選び、(F)を押す。**
- 操作音なし：「**2OFF**」選択➡(F)（操作完了）

4 **「1サウンド選択」を選び、(F)を押す。**

5 **あらかじめ登録されているパターンや効果音を選ぶとき**

「1固定パターン」を選び、(F)を押す。

あらかじめ登録されているメロディを選ぶとき

「2固定メロディ」を選び、(F)を押す。

データフォルダに登録したメロディを選ぶとき

「3データフォルダ」を選び、(F)を押す。

- データフォルダから選ぶときは、V801SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディのみ設定できます。
- SDメモリカード内のメロディは、操作音のパターンに設定できません。
- メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超えると、操作音のパターンに設定できません。

- メロディのデータ内容などによっては、操作音として登　できないことがあります。

「ピッ」という音にするとき（ボタン確認音のみ）

「4プッシュトーン」を選び、(F)を押す。
操作音のパターンが設定されます。

6 **設定するパターン／効果音／メロディを選ぶ。**
- 固定パターン／固定メロディの再生：メロディ選択➡(◎)（♪再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に(◎)（停止）
- データフォルダ内のメロディの再生：メロディ選択➡(メニュー)（メニュー）➡「**再生**」選択➡(F)
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に(◎)（戻る）

7 **(F)を押す。**
操作音のパターンが設定されます。

- 操作音のパターンをデータフォルダから選んだときは、設定しているメロディ等が削除されると、操作音のパターンはお買い上げ時の状態に戻ります。
ただし、ボタン確認音とパワー ONについては、設定しているメロディ等を削除しても、設定されている音が鳴ります。（削除後、効果音設定の画面で確認すると、お買い上げ時の状態に戻ります。）

8 音の設定

操作音の音量を設定する

1 F 1 3の順に押す。

2 設定する操作音の種類を選び、Fを押す。

3「1ON」を選び、Fを押す。

4「2サウンド音量」を選び、Fを押す。

5 ◎で設定する音量を選び、Fを押す。

操作音の音量が設定されます。

操作音の鳴動時間を設定する

1 F 1 3の順に押す。

2 設定する操作音の種類を選び、Fを押す。

3「1ON」を選び、Fを押す。

4「3サウンド時間」を選び、Fを押す。

5 **ボタン確認音／エラー音のとき**

設定する時間を選ぶ。

パワーON／パワーOFFのとき

設定する時間（01～10秒）を入力する。

6 Fを押す。

補足

- ボタン確認音は「4プッシュトーン」を選ぶと、鳴動時間の設定にかかわらず、「10.05秒」で鳴ります。
- ボタン確認音やエラー音で選択したメロディによっては、鳴動時間が短いと、操作音が鳴らないことがあります。

スピーカーホン／スピーカー受話設定

スピーカーを使っての通話時に、こちらの声も相手に届く「**スピーカーホン**」にするか、相手の声だけが聞こえる「**スピーカー受話**」にするかを設定できます。

- 「**スピーカーホン**」にすると、V801SHを置いたままハンズフリーでお話しするときに便利です。ただし、V801SHを離しすぎたり、周りの騒音が大きいときなどは、会話が聞こえにくくなることがあります。
- 「**スピーカー受話**」にすると、こちらの声は相手に届きませんので、通話できません。
- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 F 1 6の順に押す。

2「1スピーカーホン」または「2スピーカー受話」を選び、Fを押す。

通常の通話：「3OFF」選択➡F

スピーカーを使用して通話する

ダイヤル前やダイヤル後、または着信中や通話中に（スピーカーキー）を1秒以上押します。

- 「1 **スピーカーホン**」に設定しているときは「（アイコン）」が、「2 **スピーカー受話**」に設定しているときは「（アイコン）」が表示されます。
- 通話を終了すると、スピーカーを使っての通話も解除されます。
- 通話中にスピーカーを使っての通話を解除するときは、（スピーカーキー）を1秒以上押します。

補足

- 付属品のステレオヘッドホン、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンなどの利用中は、スピーカーでの通話はできません。

着信音出力切替

イヤホンマイク端子に付属品のステレオヘッドホンやオプション品のマイク付液晶オーディオリモコンを差し込んでいると、着信音はイヤホン（ヘッドホン）とスピーカーの両方から鳴ります。これをイヤホン（ヘッドホン）からのみ鳴るように設定します。

● お買い上げ時には、「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されています。

1 **Ⓕ①⑤の順に押す。**

2 **「①イヤホンのみ」を選び、Ⓕを押す。**

待受画面に戻ります。

■ イヤホンとスピーカーの両方から鳴らす：「**②イヤホン＋スピーカー**」選択 ➡Ⓕ

補足 ● イヤホンマイク端子に付属品のステレオヘッドホンなどが差し込まれていないときは、「**イヤホンのみ**」に設定していても、スピーカーから着信音が鳴ります。

音の設定

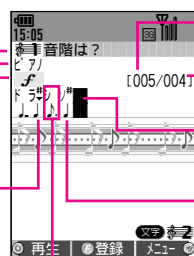
オリジナル着信音の作成

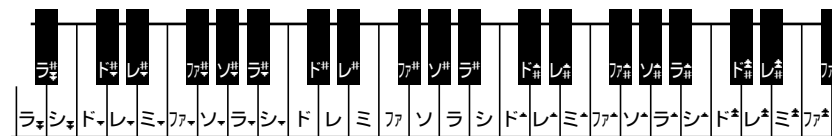
自分でメロディを作り、着信音として利用したり、VGSメールに添付して送信できます。

● 1曲あたり95音×32和音または190音×16和音、380音×8和音のいずれかまで入力できます。

● オリジナル着信音は、データフォルダ（☞P.11-3）に登　されます。

オリジナル着信音の基礎知識

ディスプレイ

入力できる音の高さ

約4オクターブ入力できます。（半音も使えます。）

入力できる音符／休符

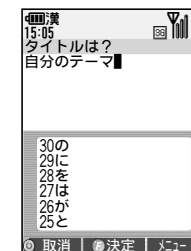
音符例	休符例	長　さ	音符例	休符例	長　さ
𝅝	𝄻	全音符（休符）	𝅗𝅥.	𝄼.	付点2分音符（休符）
𝅘𝅥𝅯	𝄿	16分音符（休符）	3	3	全音3連符（休符）
♪	𝄾	8分音符（休符）	3	3	16分3連符（休符）
♪.	𝄾.	付点8分音符（休符）	3	3	8分3連符（休符）
♩	𝄽	4分音符（休符）	3	3	4分3連符（休符）
♩.	𝄽.	付点4分音符（休符）	3	3	2分3連符（休符）
𝅗𝅥	𝄼	2分音符（休符）			

注意 ● オリジナル着信音は、SJM形式で作成されます。オリジナル着信音をVGSメールに添付して、V801SH／V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51以外の相手機種に送信するときは、SJM形式からメロディ形式（SMD）またはSMAF形式に変換したあと、送信してください。（☞P.3-11）

■**作成の流れ**

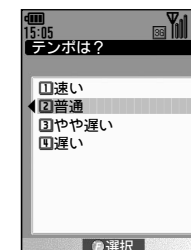
1 **オリジナル着信音のタイトルを入力する。**

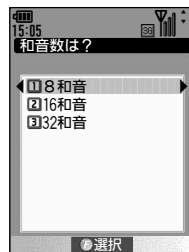
● ここで入力したタイトルが、着信音選択時に表示されます。

● 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

2 **曲のテンポを指定する。**

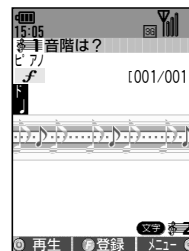
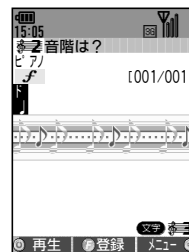
● 「**速い**」、「**普通**」、「**やや遅い**」、「**遅い**」の中から選びます。

8

音の設定

3 和音数を指定する。

- 「８和音」、「16和音」、「32和音」の中から選びます。

4 メロディ（旋律１ 𝄞1）を１音ずつ入力する。

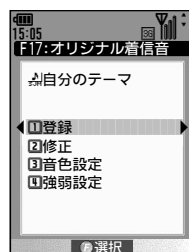
- 音の高さやオクターブ、長さなどを順に入力します。
  半音や３連符の入力も可能です。（☞P.8-17〜P.8-18）
- 入力中に◎（**再生**）を押すと、それまで入力したすべての旋律のメロディが流れます。
  また(スケジュール/メモ)を押すと、表示している旋律のメロディがカーソルのある位置まで流れます。音量は、サウンド再生音量（☞P.8-8）と連動します。
  マナーモード設定中でも、◎（**再生**）や(スケジュール/メモ)を押すとメロディが流れます。マナーモード設定中の音量は、マナーモードの設定内容と連動します。（**サウンド再生音量**：☞P.3-5）
  ただし、いずれも「**サイレント**」のときは「**音量１**」で流れます。
- 入力中に㋱（**メニュー**）を押して「**1音色設定**」、「**2強弱設定**」を選ぶと、入力中の旋律の音色や強弱を設定できます。

5 ハーモニー（旋律２ 𝄞2、旋律３ 𝄞3…旋律32 𝄞32）を入力する。

- (文字)を押すと、他の旋律の入力画面に切り替わります。
- 入力方法は、旋律１と同様です。
- このあと、各旋律の音色や強弱も設定できます。（☞P.8-19〜P.8-24）

6 入力したメロディを登録する。

- すべて入力できれば、登　します。
- 着信パターン（☞P.8-3）で、データフォルダに登　したオリジナル着信音を選べば、着信音として利用できます。

- VGSメールにオリジナル着信音を「**メロディ形式**」に変換して添付すると、６旋律（和音）以上は削除されます。また、「**SMAF（MA-2）形式**」に変換して添付すると、17旋律（和音）以上は削除されます。

8 音の設定

F17

オリジナル着信音を作成する

- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、オリジナル着信音を作成してください。

1 Ⓕ(1)(7)の順に押す。

2 「1新規作成」を選び、Ⓕを押す。

3 タイトルを入力し、Ⓕを押す。

タイトルを入力していないときは、メッセージが表示され、次へ進めません。

- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- 入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（☞P.11-50）

4 テンポを選び、Ⓕを押す。

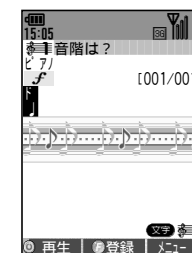
- テンポの目安は、次のとおりです。
  「1速い」………♩= 150
  「2普通」………♩= 125
  「3やや遅い」…♩= 107
  「4遅い」………♩=94
  （「♩」の数は１分間に鳴る４分音符の数です。）

5 和音数を選び、Ⓕを押す。

6 音の高さや休符を指定する。

■ 音の高さや休符の指定方法：☞P.8-17

7 音符や休符の種類を指定する。

■ 音符や休符の種類の指定方法：☞P.8-18

8 １つの音が入力できれば、◎を押す。

カーソルが１つ右に移動し、次の音が入力できます。

8 音の設定

9 操作6～8をくり返して、音を順に入力する。

- すべての旋律のメロディの再生：◎（再生）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）
- 表示中の旋律（カーソルまで）のメロディの再生：（スケジュール/メモ）
  - ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）
- 音色の設定：（メニュー）➡「1音色設定」選択➡F（☞P.8-19）
- メロディの強弱設定：（メニュー）➡「2強弱設定」選択➡F（☞P.8-24）
- 他の旋律のメロディ入力：（文字）（押すたびに旋律切り替え）

10 すべての音が入力できれば、Fを押す。

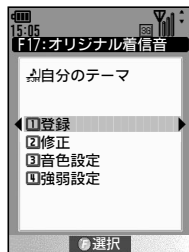
- 音色や強弱の修正：☞P.8-19～P.8-24
- 入力済のメロディ修正：「2修正」選択➡F（修正の詳細☞P.8-24～P.8-26）

11 「1登録」を選び、Fを押す。

登　先選択画面が表示されます。

12 Fを押す。

V801SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されます。

●別のフォルダを選んで登　したり､SDメモリカードに登　することもできます。

フォルダ内に同じ名前のオリジナル着信音があるとき

●ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示され、操作11に戻ります。（不要なファイルの消去：☞P.11-51）

オリジナル着信音作成中の着信時

■作成中の内容は保存されています。作成を継続するときは、次の操作を行います。
F➡確認画面表示➡「1YES」選択➡F➡オリジナル着信音の画面へ

●多くの旋律に16分音符のような短い音符や3連符を多く入力すると、◎（再生）を押したとき確認メッセージが表示され、操作9の音の入力画面に戻ることがあります。
また、F（登録）を押したときも確認メッセージが表示され、操作9の音の入力画面に戻ることがあります。
このときは、旋律の数を減らしたり、短い音符を長い音符に変更したり、3連符を普通の音符に変更したりしてエラーを解消できます。

メロディの入力方法

1音ごとに次の手順で入力します。

●旋律1～旋律32とも、同様の操作で入力できます。

●メロディ入力画面にするには、P.8-15の操作1～5を行います。

1 音の高さや休符を指定する

下表のボタンを使って、音の高さ（ド～シ）、または休符を指定します。

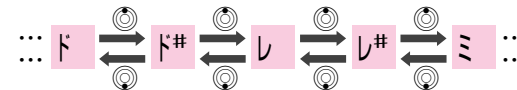
ド	レ	ミ	ファ	ソ	ラ	シ	休符
1	2	3	4	5	6	7	0

<音の高さを指定するとき>

●上記のボタンを押すと、中間の音階（マークなし）の音で4分音符が指定されます。同じボタンをくり返し押すと、同じ音で1オクターブ上または下の音が順番に選択できます。（休符は除きます。）

●音が指定された状態で◎を押すと、半音ずつ上または下に高さを変えることができます。

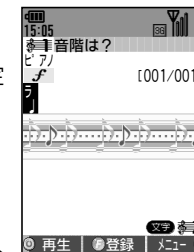
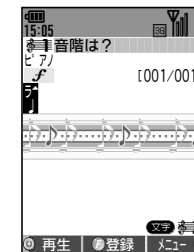
6を押す

続けて6を押す

<休符を入力するとき>

●0を押すと、4分休符が入力されます。（「休」表示）

■続けて、次ページの「音符や休符の種類を指定する」に進みます。

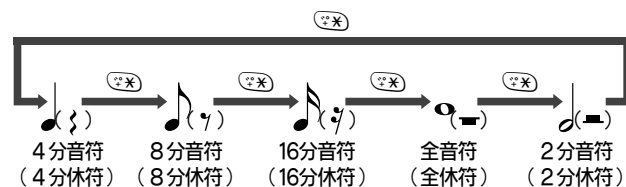
●同じ音階（高さ）の音を複数の旋律で同時に鳴らしたときは、正しく再生されないことがあります。

●同時に多くの旋律を鳴らすと、ひずみや音割れを起こすことがあります。

2 音符や休符の種類を指定する

(＊)または(#)をくり返し押し、音符や休符を指定します。

4分音符（4分休符）→ 8分音符（8分休符）→ 16分音符（16分休符）→ 全音符（全休符）→ 2分音符（2分休符）

(＊)を押す

（8分音符が指定）

●(#)を押すと、逆の順に切り替わります。

<付点付きの音符や3連符にするとき>

●音符を選んだあと、(9)を押し付点や3連符を指定します。

※付点は、4分音符(4分休符)、8分音符(8分休符)、2分音符(2分休符)にのみ有効です。

●3連符は3つ続けて入力してください。

例）

注意

●3つ続いていない3連符が入力されていると、正しく再生できなかったり、VGSメールに添付できないことがあります。
また、音の高さが極端に違う3連符が入力されているときも、VGSメールに添付できないことがあります。

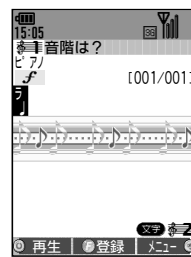
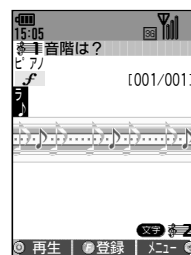
<音をのばすとき（スラーの指定）>

●音符を選んだあと、(8)を押します。音符の右に「_」が表示され、次の音となめらかにつながるようになります。

■これで、1つの音の指定は終了です。

次の音を入力するときは、◎でカーソルを1つ右に進めたあと、前ページの操作からくり返します。

●音符が入力されていない位置にカーソルがあるとき、◎を押すと、直前の音符と同じ音符が入力できます。

●音を入力するとき、ボタンを押すと指定した音が鳴ります。ただし、マナーモード（☞P.3-3）設定中のときは鳴りません。

メロディの音色を設定する

メロディの音色を、旋律ごとに変えることができます。

●ご自分で作ったオリジナル音色（☞P.8-32）も設定できます。

●設定できる音色やジャンル：☞P.8-20～P.8-23

●お買い上げ時には、すべての旋律が「ピアノ」に設定されています。

1 **オリジナル着信音を作成する。（☞P.8-15～P.8-16の操作1～10）**

2 **「3音色設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **設定する旋律を選び、Ⓕを押す。**

4 **◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。**

●オリジナル音色を選ぶときは、「オリジナル（FM）」または「オリジナル（WT）」を選んでください。

作成したメロディ再生：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

音色の確認：◎（確認）➡「ドレミファソラシド」再生

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

5 **Ⓕを押す。**

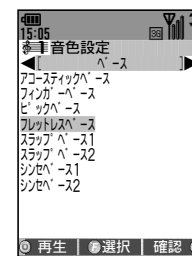
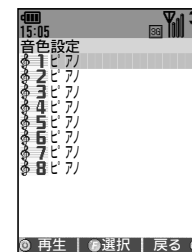
他の旋律の設定：操作3～5をくり返す

6 **設定を終わるときは、◎（完了）を押す。**

●このあと、「1登録」を選びⒻを押し、メロディの登　を行ってください。

●スピーカーから聞こえる音は、実際の楽器の音色とは異なることがあります。
また、音色や音階によって聞こえる音量が異なったり、ひずんだように聞こえることがあります。

●スピーカーから聞こえる音は、音色によって実際の音階「ドレミファソラシド」とは異なることがあります。

●旋律1と旋律17、旋律2と旋律18、旋律3と旋律19…旋律16と旋律32は、それぞれ同じ音色になります。

設定できる音色

128種類の基本音色と、61種類の拡張音色があります。

- ご自分で作ったオリジナル音色も24種類登　できます。
- それぞれの音色の音程（オクターブ）は変更できます。（音色オクターブ設定：☞P.8-34）

■基本音色

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値	ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
ピアノ	PIANO	ﾋﾟｱﾉ	－1	ギター	NYLON GUITAR	ﾅｲﾛﾝ･ｷﾞﾀｰ	－1
	BRIGHT PIANO	ﾌﾞﾗｲﾄﾋﾟｱﾉ	－1		STEEL GUITAR	ｽﾁｰﾙ･ｷﾞﾀｰ	－1
	E GRAND PIANO	ｸﾞﾗﾝﾄﾞﾋﾟｱﾉ	－1		JAZZ GUITAR	ｼﾞｬｽﾞ･ｷﾞﾀｰ	－1
	HONKY-TONK	ﾎﾝｷｰﾄﾝｸﾋﾟｱﾉ	－1		CLEAN GUITAR	ｸﾘｰﾝ･ｷﾞﾀｰ	－1
	ELE PIANO 1	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ1	－1		MUTED GUITAR	ﾐｭｰﾄ･ｷﾞﾀｰ	－1
	ELE PIANO 2	ｴﾚｸﾄﾘｯｸﾋﾟｱﾉ2	－1		OVERDRIVE	O.D.ｷﾞﾀｰ	－1
	HARPSICHORD	ﾊｰﾌﾟｼｺｰﾄﾞ	±0		DISTOTION GTR	Dist.ｷﾞﾀｰ	－1
	CLAVI	ｸﾗﾋﾞ	－1		GTR HARMO	ｷﾞﾀｰﾊｰﾓﾆｸｽ	±0
鉄琴	CELESTA	ﾁｪﾚｽﾀ	＋1	ベース	ACOUST BASS	ｱｺｰｽﾃｨｯｸﾍﾞｰｽ	－2
	GLOCKENSPIEL	ｸﾞﾛｯｹﾝ	＋1		FINGER BASS	ﾌｨﾝｶﾞｰﾍﾞｰｽ	－2
	MUSIC BOX	ｵﾙｺﾞｰﾙ	±0		PICK BASS	ﾋﾟｯｸﾍﾞｰｽ	－2
	VIBRAPHONE	ﾋﾞﾌﾞﾗﾌｫﾝ	－1		FRET BASS	ﾌﾚｯﾄﾚｽﾍﾞｰｽ	－2
	MARIMBA	ﾏﾘﾝﾊﾞ	±0		SLAP BASS 1	ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ1	－2
	XYLOPHONE	ｼﾛﾌｫﾝ	＋1		SLAP BASS 2	ｽﾗｯﾌﾟﾍﾞｰｽ2	－2
	TUBULAR BELLS	ﾁｭｰﾌﾞﾗ･ﾍﾞﾙ	－1		SYNTH BASS 1	ｼﾝｾﾍﾞｰｽ1	－2
	DULCIMAR	ﾀﾞﾙｼﾏｰ	－1		SYNTH BASS 2	ｼﾝｾﾍﾞｰｽ2	－2
オルガン	DRAW ORGAN	ﾄﾞﾛｰﾊﾞｰｵﾙｶﾞﾝ	－1	弦楽器	VIOLIN	ﾊﾞｲｵﾘﾝ	±0
	PERC ORGAN	Percｵﾙｶﾞﾝ	－1		VIOLA	ﾋﾞｵﾗ	－1
	ROCK ORGAN	ﾛｯｸｵﾙｶﾞﾝ	－1		CELLO	ﾁｪﾛ	－2
	CHURCH ORGAN	ﾁｬｰﾁｵﾙｶﾞﾝ	±0		CONTRABASS	ｺﾝﾄﾗﾊﾞｽ	－2
	REED ORGAN	ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ	±0		TREM STRINGS	ﾄﾚﾓﾛｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	－1
	ACCORDION	ｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	±0		PIZZ STRINGS	Pizz.ｽﾄﾘﾝｸﾞｽ	±0
	HARMONICA	ﾊｰﾓﾆｶ	±0		HARP	ﾊｰﾌﾟ	－1
	TANGO ACD	ﾀﾝｺﾞｱｺｰﾃﾞｨｵﾝ	－1		TIMPANI	ﾃｨﾝﾊﾟﾆｰ	－2

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値	ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
ストリング	STRINGS 1	ｽﾄﾘﾝｸﾞ1	±0	シンセリード	SQUARE LEAD	矩形ﾘｰﾄﾞ	±0
	STRINGS 2	ｽﾄﾘﾝｸﾞ2	±0		SAW LEAD	鋸歯ﾘｰﾄﾞ	－1
	SYN STRINGS 1	ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ1	±0		CALIOP LEAD	calliopeﾘｰﾄﾞ	－1
	SYN STRINGS 2	ｼﾝｾｽﾄﾘﾝｸﾞｽ2	±0		CHIFF LEAD	chiffﾘｰﾄﾞ	－1
	CHOIR Aahs	ﾎﾞｲｽ(ｱｰ)	－1		CHARANG LEAD	charangﾘｰﾄﾞ	－1
	VOICE Oohs	ﾎﾞｲｽ(ｳｰ)	－1		VOICE LEAD	ﾎﾞｲｽ	－1
	SYNTH VOICE	ｼﾝｾ･ﾎﾞｲｽ	－1		FIFTH LEAD	5度 ﾘｰﾄﾞ	－1
	ORCHESTRA HIT	ｵｰｹｽﾄﾗﾋｯﾄ	－1		BASS & LEAD	ﾍﾞｰｽ & ﾘｰﾄﾞ	－1
ブラス	TRUMPET	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	±0	シンセパッド	NEW AGE PAD	ﾆｭｰｴｲｼﾞﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	TROMBONE	ﾄﾛﾝﾎﾞｰﾝ	－1		WARM PAD	ｳｫｰﾑﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	TUBA	ﾁｭｰﾊﾞ	－2		POLYSYN PAD	ﾎﾟﾘｼﾝｾﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	MUTED TRP	ﾐｭｰﾄﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	－1		CHOIR PAD	ｸﾜｲｱﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	FR HORN	ﾌﾚﾝﾁﾎﾙﾝ	－1		BOWED PAD	Bowedﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	BRASS SECTION	ﾌﾞﾗｽｾｸｼｮﾝ	－1		METAL PAD	ﾒﾀﾘｯｸﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	SYN BRASS 1	ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ1	－1		HALO PAD	haloﾊﾟｯﾄﾞ	－1
	SYN BRASS 2	ｼﾝｾﾌﾞﾗｽ2	－1		SWEEP PAD	ｽｳｨｰﾌﾟﾊﾟｯﾄﾞ	－1
リード	SOPRANO SAX	ｿﾌﾟﾗﾉ･ｻｯｸｽ	±0	シンセエフェクト	RAIN	雨	－1
	ALTO SAX	ｱﾙﾄ･ｻｯｸｽ	－1		SOUND TRACK	ｻｳﾝﾄﾞ ﾄﾗｯｸ	－1
	TENOR SAX	ﾃﾅｰ･ｻｯｸｽ	－1		CRYSTAL	ｸﾘｽﾀﾙ	±0
	BARITONE SAX	ﾊﾞﾘﾄﾝ･ｻｯｸｽ	－2		ATMOSPHERE	ｱﾄﾓｽﾌｨｱ	－1
	OBOE	ｵｰﾎﾞｴ	－1		BRIGHT	ﾌﾞﾗｲﾄﾈｽ	－1
	ENGLISH HORN	ｲﾝｸﾞﾘｯｼｭﾎﾙﾝ	－1		GOBLINS	ｺﾞﾌﾞﾘﾝ	－1
	BASSOON	ﾊﾞｽｰﾝ	－2		ECHOES	ｴｺｰ	－1
	CLARINET	ｸﾗﾘﾈｯﾄ	－1		Sci-Fi	SF	－1
笛	PICCOLO	ﾋﾟｯｺﾛ	＋1	エスニック	SITAR	ｼﾀｰﾙ	－1
	FLUTE	ﾌﾙｰﾄ	±0		BANJO	ﾊﾞﾝｼﾞｮｰ	－1
	RECORDER	ﾘｺｰﾀﾞｰ	±0		SHAMISEN	三味線	±0
	PAN FLUTE	ﾊﾟﾝ･ﾌﾙｰﾄ	±0		KOTO	琴	－1
	BOTTLE	ﾎﾞﾄﾙ･ﾌﾞﾛｳ	－1		KALIMBA	ｶﾘﾝﾊﾞ	－1
	SHAKUHACHI	尺八	－1		BAGPIPE	ﾊﾞｸﾞ･ﾊﾟｲﾌﾟ	－1
	WHISTLE	口笛	±0		FIDDLE	ﾌｨﾄﾞﾙ	－1
	OCARINA	ｵｶﾘﾅ	±0		SHANAI	ｼｬﾅｲ	－1

8 音の設定

■基本音色（続き）

ジャンル	音色名	画面表示	オクターブ初期値
パーカッション	TINKLE BELL	ﾃｨﾝｶ･ﾍﾞﾙ	－1
	AGOGO	ｱｺﾞｺﾞ	±0
	STEEL DRUM	ｽﾃｨｰﾙ･ﾄﾞﾗﾑ	－1
	WOODBLOCK	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸ	±0
	TAIKO DRUM	太鼓	－2
	MELODIC TOM	ﾒﾛﾃﾞｨｯｸ･ﾀﾑ	－1
	SYNTH DRUM	ｼﾝｾ･ﾄﾞﾗﾑ	－2
	REV CYMBALL	ﾘﾊﾞｰｽｼﾝﾊﾞﾙ	－2
効果音	GTR FRETNOISE	ｷﾞﾀｰﾌﾚｯﾄﾉｲｽﾞ	－1
	BREATH NOISE	ﾌﾞﾚｽ･ﾉｲｽﾞ	－1
	SEASHORE	海辺	－1
	BIRD TWEET	鳥	－1
	TELEPHONE	電話のベル	－1
	HELICOPTER	ﾍﾘｺﾌﾟﾀｰ	－1
	APPLAUSE	拍手	－1
	GUNSHOT	ｶﾞﾝ･ｼｮｯﾄ	－1
※オリジナル（FM）	オリジナル1	オリジナル1	－
	オリジナル2	オリジナル2	－
	オリジナル3	オリジナル3	－
	オリジナル4	オリジナル4	－
	オリジナル5	オリジナル5	－
	オリジナル6	オリジナル6	－
	オリジナル7	オリジナル7	－
	オリジナル8	オリジナル8	－

※お買い上げ時には、オリジナル（FM）1～8にあらかじめ次の音色が登録されています。

オリジナル1	ﾋﾟｱﾉ	－1
オリジナル2	ｸﾞﾛｯｹﾝ	＋1
オリジナル3	ﾘｰﾄﾞｵﾙｶﾞﾝ	±0
オリジナル4	ﾅｲﾛﾝｷﾞﾀｰ	－1
オリジナル5	ﾊﾞｲｵﾘﾝ	±0
オリジナル6	ｽﾄﾘﾝｸﾞ1	±0
オリジナル7	ﾄﾗﾝﾍﾟｯﾄ	±0
オリジナル8	ｿﾌﾟﾗﾉ･ｻｯｸｽ	±0

■拡張音色

ジャンル	音色名	画面表示
ドラム（FM）	SeqClick H	SeqｸﾘｯｸH
	Brush Tap	ﾌﾞﾗｼ1（ﾀｯﾌﾟ）
	BrushSwirl L	ﾌﾞﾗｼ2（ｽｳｨﾙL）
	Brush Slap	ﾌﾞﾗｼ3（ｽﾗｯﾌﾟ）
	BrushSwirl H	ﾌﾞﾗｼ4（ｽｳｨﾙH）
	Snare Roll	ｽﾈｱﾛｰﾙ
	Castanet	ｶｽﾀﾈｯﾄ
	Sticks	ｽﾃｨｯｸｽ
	OpenRimShot	ｵｰﾌﾟﾝﾘﾑｼｮｯﾄ
	ClosedRimShot	ｸﾛｰｽﾞﾘﾑｼｮｯﾄ
	Hand Clap	ﾊﾝﾄﾞｸﾗｯﾌﾟ
	RideCymbalCup	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ
	Tambourine	ﾀﾝﾊﾞﾘﾝ
	Cowbell	ｶｳﾍﾞﾙ
	Vibraslap	ﾋﾞﾌﾞﾗｽﾗｯﾌﾟ
	Bongo H	ﾎﾞﾝｺﾞH
	Bongo L	ﾎﾞﾝｺﾞL
	Conga H Mute	ﾐｭｰﾄｺﾝｶﾞH
	Conga H Open	ｵｰﾌﾟﾝｺﾝｶﾞH
	Conga L	ｺﾝｶﾞL
	Timbale H	ﾃｨﾝﾊﾞﾚｽH
	Timbale L	ﾃｨﾝﾊﾞﾚｽL
	Agogo H	ｱｺﾞｺﾞH
	Agogo L	ｱｺﾞｺﾞL
	Cabasa	ｶﾊﾞｻ
	Maracas	ﾏﾗｶｽ
	SambaWhistle H	ｻﾝﾊﾞﾎｲｯｽﾙH
	SambaWhistle L	ｻﾝﾊﾞﾎｲｯｽﾙL
	Guiro Short	ｼｮｰﾄｷﾞﾛ
	Guiro Long	ﾛﾝｸﾞｷﾞﾛ
	Claves	ｸﾗﾍﾞｽ

8 音の設定

■拡張音色（続き）

ジャンル	音色名	画面表示
ドラム（FM）	Wood Block H	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸH
	Wood Block L	ｳｯﾄﾞﾌﾞﾛｯｸL
	Cuica Mute	ﾐｭｰﾄｸｲｰｶ
	Cuica Open	ｵｰﾌﾟﾝｸｲｰｶ
	Triangle Mute	ﾐｭｰﾄﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ
	Triangle Open	ﾄﾗｲｱﾝｸﾞﾙ
	Shaker	ｼｪｰｶｰ
	Jingle Bell	ｼﾞﾝｸﾞﾙﾍﾞﾙ
	Belltree	ﾍﾞﾙﾂﾘｰ
ドラム（WT）	Snare L	ｽﾈｱL
	Snare M	ｽﾈｱM
	Snare H	ｽﾈｱH
	BassDrum L	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑL
	BassDrum M	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑM
	BassDrum H	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑH
	FloorTom L	ﾌﾛｱﾀﾑL
	FloorTom H	ﾌﾛｱﾀﾑH
	Low Tom	ﾛｰﾀﾑ
	Mid Tom L	ﾐｯﾄﾞﾀﾑL
	Mid Tom H	ﾐｯﾄﾞﾀﾑH
	High Tom	ﾊｲﾀﾑ
	Hi-Hat Closed	ｸﾛｰｽﾞﾄﾞﾊｲﾊｯﾄ
	Hi-Hat Pedal	ﾍﾟﾀﾞﾙﾊｲﾊｯﾄ
	Hi-Hat Open	ｵｰﾌﾟﾝﾊｲﾊｯﾄ
	Crash Cymbal1	ｸﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ1
	CrashCymbal2	ｸﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ2
	Ride Cymbal1	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ1
	Ride Cymbal2	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ2
	Chinese Cymbal	ﾁｬｲﾆｰｽﾞｼﾝﾊﾞﾙ
	SplashCymbal	ｽﾌﾟﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ

ジャンル	音色名	画面表示
※オリジナル（WT）	オリジナル1	オリジナル1
	オリジナル2	オリジナル2
	オリジナル3	オリジナル3
	オリジナル4	オリジナル4
	オリジナル5	オリジナル5
	オリジナル6	オリジナル6
	オリジナル7	オリジナル7
	オリジナル8	オリジナル8

※お買い上げ時には、オリジナル（WT）1～8にあらかじめ次の音色が登録されています。

オリジナル1	ｽﾈｱL
オリジナル2	ﾊﾞｽﾄﾞﾗﾑL
オリジナル3	ﾌﾛｱﾀﾑL
オリジナル4	ｸﾛｰｽﾞﾄﾞﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル5	ﾍﾟﾀﾞﾙﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル6	ｵｰﾌﾟﾝﾊｲﾊｯﾄ
オリジナル7	ﾗｲﾄﾞｼﾝﾊﾞﾙ1
オリジナル8	ｽﾌﾟﾗｯｼｭｼﾝﾊﾞﾙ

●■は、WT音色です。WT音色とは、楽器などの音色の波形データを記　したもので、原音に近い音色を着信音として利用できます。

メロディの強弱を設定する

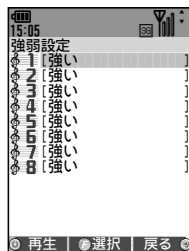
旋律ごとに、メロディの強弱を３段階で設定します。

●お買い上げ時には、すべての旋律が「強い」に設定されています。

1 オリジナル着信音を作成する。（☞P.8-15～P.8-16の操作１～10）

2「4強弱設定」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する旋律を選び、Ⓕを押す。

強弱設定画面が表示されます。

4 設定する強さを選ぶ。

■ メロディの強弱確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

5 Ⓕを押す。

■ 他の旋律の設定：操作３～５をくり返す

■ 設定した音の確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

6 設定を終わるときは、✉（完了）を押す。

●このあと、「1登録」を選びⒻを押し、メロディの登録を行ってください。

オリジナル着信音を修正する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、オリジナル着信音を修正してください。

1 Ⓕ17の順に押す。

2「2データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

オリジナル着信音には「♫」が表示されます。

■ SDメモリカード内のオリジナル着信音の修正：✉（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

3 修正するオリジナル着信音を選び、✉（メニュー）を押す。

4「データ編集」を選び、Ⓕを押す。

■ 音色や強弱の修正：「音色設定」／「強弱設定」選択➡Ⓕ（☞P.8-19～P.8-24）

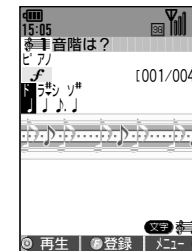
5 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

6 テンポを選び、Ⓕを押す。

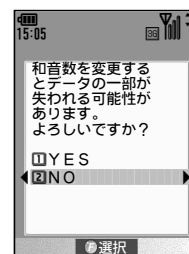
7 和音数を選び、Ⓕを押す。

旋律１の入力画面が表示されます。

■ 他の旋律の修正：文字➡修正する旋律選択

8 カーソルを修正する音に移動する。

和音数変更時

■ 下の画面が表示されることがあります。「1YES」を選びⒻを押すと、和音数が変更されます。（入力している音や旋律が一部消えることがあります。下記の表を参照してください。）

「2NO」を選びⒻを押すと、和音数の指定画面に戻ります。

元の和音	変更後の和音	消去される内容
8和音	16和音	各旋律の191音目以降の音
8和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	32和音	各旋律の96音目以降の音
16和音	8和音	旋律9～16
32和音	8和音	旋律9～32
32和音	16和音	旋律17～32

■ 和音数を変更すると、音色が変わることがあります。

8 音の設定

9 音を変更するとき

Ⓢで音の高さを、#／＊／8／9の各ボタンで音符や休符の種類を変更する。

●1〜7の各ボタンで音の高さを変えたり、音符⇔休符の変更はできません。

音を追加するとき

追加する音を入力する。

カーソル位置に、新しく入力した音が追加されます。

●すでに380音（８和音のとき）または190音（16和音のとき）、95音（32和音のとき）入力されているときは、追加できません。

音を消去するとき

クリアを押す。

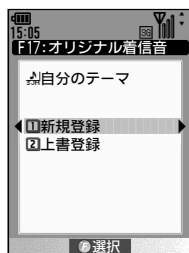
カーソル位置の１音が消去されます。

●すべての音を消去するときは、クリアを１秒以上押します。

■ 連続した音の消去：Ⓥ（メニュー）➡「6カーソル後消去」／「7カーソル前消去」選択➡Ⓕ

10 修正を終わるときは、Ⓕを押す。

■ 音色や強弱の設定：☞P.8-19〜P.8-24

11 「1登録」を選び、Ⓕを押す。

12 「2上書登録」を選び、Ⓕを押す。

修正したオリジナル着信音が登　されます。

●「1新規登録」を選びⒻを押すと、登　先選択画面が表示されます。このあと、登　先（フォルダ）を選びⒻを押すと、修正前のメロディは変更されず、新しいメロディとして登　できます。（ファイル名には自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00〜99、AA〜ZZ）が付加されます。）

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、確認メッセージが表示され、操作11に戻ります。（不要なファイルの消去：☞P.11-51）

オリジナル着信音を消去する

1 Ⓕ1 7の順に押す。

2 「2データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 消去するオリジナル着信音を選び、Ⓥ（メニュー）を押す。

4 「消去」を選び、Ⓕを押す。

5 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダの画面に戻ります。

メロディのコピー／切り取りを行う

●メロディのコピー／切り取りは、オリジナル着信音および編集可能なメロディでのみ行えます。編集ができないメロディでは行えません。

1 Ⓕ1 7の順に押す。

2 「2データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

3 利用するオリジナル着信音を選び、Ⓥ（メニュー）を押す。

4 「データ編集」を選び、Ⓕを押す。

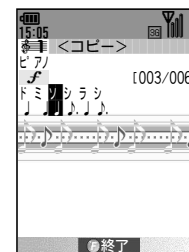
5 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

6 テンポを選び、Ⓕを押す。

7 和音数を選び、Ⓕを押す。

8 Ⓥ（メニュー）を押し、「3 コピー」（複写するとき）または「4カット」（切り取り）を選び、Ⓕを押す。

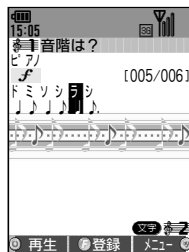
9 コピー／切り取るメロディの最初の音にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

最初の音が指定され、「終了」が表示されます。

10 コピー／切り取るメロディの最後の音にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

コピー／切り取る音が記憶されます。

●切り取ると、指定した音が元の画面から消去されます。

他のメロディにコピー／貼り付けするとき

●このあと、利用元のメロディを登　するか編集を中止したあと、操作11へ進みます。

11 コピー／貼り付け先の画面を表示する。

12 Ⓜ（メニュー）を押したあと、「5 ペースト」を選び、Ⓕを押す。

13 コピー／貼り付けする位置にカーソルを移動し、Ⓕを押す。

記憶している音が挿入されます。

オリジナル音色の作成

自分で音色を作り、オリジナル着信音などの音色として利用します。

●８和音用／16和音用、32和音用、WT音源それぞれに、８種類ずつまで登　できます。

オリジナル音色作成の基礎知識

オリジナル音色は、FM音源のしくみを利用し「**アルゴリズム**」、「**オペレータ**」、「**エフェクト周波数**」の動作（パラメータ）を設定することにより、お好みの音色を作成するものです。

●あらかじめ登　されている音色（☞P.8-20〜P.8-23）、または自分で作ったオリジナル音色を　ースに、各パラメータを変更して作成します。

●実際に音色を再生しながら各パラメータを設定し、オリジナル音色を作成してください。

●WT音源の音色を作成することもできます。

■作成の流れ

1 和音の種類を選ぶ。

●「８,16和音用」、「32和音用」、「WT音源」のいずれかを選びます。

2 オリジナル音色の登録先を選ぶ。

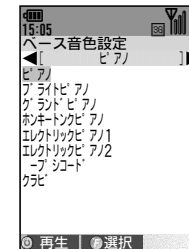
●８和音／16和音用、32和音用、WT音源はそれぞれ８種類まで登　できます。

3 オリジナル音色の名前を入力する。

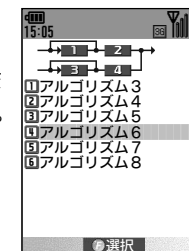
●ここで入力した名前が、音色選択時に表示されます。

●全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

4 ベースになる音色を選ぶ。

●あらかじめ登　されている音色から選びます。

5 アルゴリズムを選ぶ。

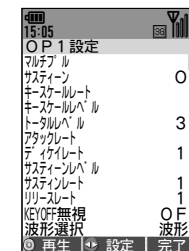
●あらかじめ登　されている６種類（８和音／16和音のとき）または２種類（32和音のとき）のアルゴリズムの中から選びます。

●WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

6 各オペレータのパラメータを設定する。

●４種類（８和音／16和音のとき）または２種類（32和音のとき）のオペレータが設定できます。

●選んだ音色のパラメータが自動的に設定されています。

●Ⓒで設定するパラメータを選び、Ⓒで内容を変更します。

●設定中にⓄ（再生）を押すと、音色が流れます。

7 エフェクト周波数や基本オクターブなどを設定する。

8 設定した音色を登録する。

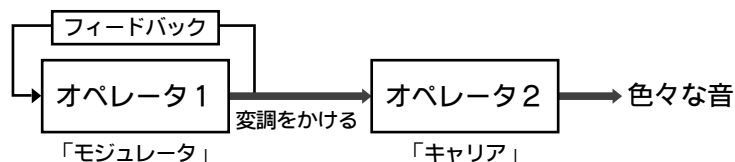
●設定がすべて完了すれば、登　します。

●音色設定（☞P.8-19）で登　したオリジナル音色を選べば、オリジナル着信音の音色として利用できます。

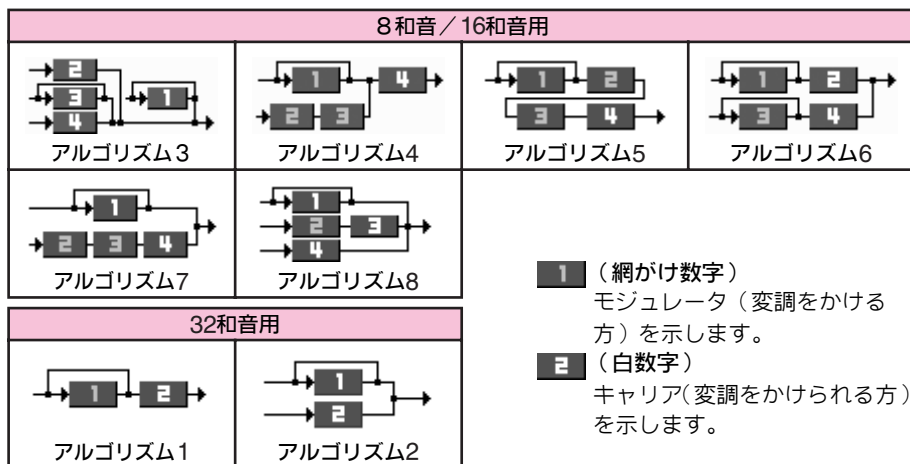
WT音源について

●楽器などの音色の波形データを記　したものを読み出して利用する形式の音源で、原音に近い音色を着信音として利用できます。

■FM音源とは

「**オペレータ**」と呼ばれる１つの正弦波を発生させる機能を組み合わせることで、色々な音色を合成します。オペレータの組み合わせ方法を「**アルゴリズム**」といいます。オペレータはアルゴリズムの違いにより、「**モジュレータ**」（変調をかける方）、「**キャリア**」（変調をかけられる方）として動作します。

- 各オペレータには、マルチプルやサスティーンといった様々な動作（パラメータ）を設定できます。
- 特定のオペレータに対して、フィードバックを設定することで、より幅広い音色を作成できます。

■アルゴリズムの設定

オペレータの組み合わせを設定します。８和音／16和音用は６種類、32和音用は２種類の組み合わせから選びます。

- 選んだアルゴリズムにより、モジュレータ（変調をかける方）、キャリア（変調をかけられる方）として機能するオペレータが変化します。
- WT音源では、アルゴリズムの設定はありません。

■オペレータの設定

オペレータに設定できるパラメータの意味と設定内容は次のとおりです。

- 和音数によっては、設定できるパラメータの項目が制限されることがあります。

パラメータ	意　味
マルチプル（13段階）	音色に最も影響を与えるパラメータです。キャリアの値が大きいと高い音になり、モジュレータの値を変えることでいろいろな音色を設定できます。
サスティーン（ON/OFF）	１音符の発音長（１つの音符の長さ）終了後もそのまま音を伸ばすかどうかを設定します。ピアノ、打楽器系等で余韻を残す音を作りたいときは、「ON」に設定してください。
キースケールレート（２段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど音の立ち上がりや立ち下がりが早くなります。「２」に設定すると、より強調されます。
キースケールレベル（４段階）	自然楽器では、高い音になればなるほど、音量が小さくなるものがあります。この度合いをキースケールレ　ルをかけないものを含めて、４段階から選択します。
トータルレベル（64段階）	（１）キャリア この値が大きくなると音量も大きくなります。 音量を抑えたい伴奏などは小さい値に設定し、それ以外は最大（64）に設定することをおすすめします。 （２）モジュレータ この値が大きくなると明るい、きらびやかな音色になります。 逆に値が小さくなると柔らかい音色になります。通常はこの値を目安として40～64の範囲に設定すると、音色の変化を楽しめます。
アタックレート（15段階）	音が出始めてから最大音量になるまでの時間を設定します。この時間を長く設定すると音が出ないことがありますので、この時間を長くする音色を使用するときは長い音符にしたり、テンポを遅く設定するようにしてください。
ディケイレート（16段階）	最大音量になった後、サスティーンレ　ル（持続音量、減衰開始音量）まで音量が下がる時間を設定します。
サスティーンレベル（16段階）	持続音では持続して出る音量を表し、減衰音では減衰を開始する音量を表します。この値が大きいほど音量は大きくなります。
サスティーンレート（16段階）	サスティーンレ　ルに達してからの減衰を設定します。値が小さいほどサスティーンレ　ルを持続する時間が長くなります。また、「16」に設定すると持続音、それ以外では減衰音となります。
リリースレート（16段階）	持続音では音符の長さの発音を終了してから音が出なくなるまでの時間を表し、減衰音では減衰開始から音が出なくなるまでの時間を表します。 この時間が短いほど早く鳴り終わります。 余韻が必要な音色では時間を長く設定してください。
KEYOFF無視（ON/OFF）	ドラムなどの減衰音では「ON」にすることにより、音が急に途切れる現象を防ぐことができます。
波形選択（29種類）	基本となる波形を29種類から選択します。
ビブラート（４段階/OFF）	音程の変化（ビブラート）を有効にするかどうかを設定します。 ビブラートは、４段階から選択します。
AM変調（４段階/OFF）	音の強さの変化（トレモロ）を有効にするかどうかを設定します。 トレモロは、４段階から選択します。
フィードバック（8段階）	フィードバックされるオペレーターのみ、８段階から選択できます。

- 「**持続音**」でリリースレートが大きいと、音符の次に休符があっても、鳴り続けます。

■その他の設定項目

パラメータ	意　味
エフェクト周波数（４段階）	音程の変化（ビブラート）および音の強さの変化（トレモロ）の揺れの周期を設定します。数字が大きくなるほど、周期が短くなります。
基本オクターブ（４段階）	音の音程（オクターブ）を設定します。
パンポット（31段階）	音の左右の定位を設定します。L（左）、R（右）の組み合わせで設定し、数字が大きいほど、左または右によった音になります。
サスティーン（ON/OFF）	音をのばすかどうかを設定します。
ビブラート倍率（４段階/OFF）	ビブラートの倍率を設定します。また、ビブラートを無効にすることもできます。

●WT音源では、「基本オクターブ」、「サスティーン」、「ビブラート倍率」の設定はありません。

オリジナル音色を作成する

1 F 1 8の順に押す。

2 「1 8,16和音用」、「2 32和音用」、「3 WT音源」のいずれかを選び、Fを押す。

すでに名前を変更して音色を設定しているときは、変更された名前が表示されます。

3 オリジナル音色を登録する番号を選び、Fを２回押す。

●名前を変更しないときは、Fを１回押したあと操作５へ進みます。

4 名前を入力し、Fを押す。

●全角６文字（半角12文字）まで入力できます。

5 「ベース音色設定」を選び、Fを押す。

■ あらかじめ登　されている音色：P.8-20～P.8-23

●オリジナル音色の音程は、操作５で　ース音色として選んだ音色と同じ音程です。

6 ◎で音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。

●オリジナル音色を選ぶときは、「**オリジナル（FM）**」または「**オリジナル（WT）**」を選んでください。

■ 選んだ音色の確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

7 Fを押す。

8 「音色設定」を選び、Fを押す。

●アルゴリズムを変更しないときは、このあと操作11へ進みます。

9 「アルゴリズム」を選び、Fを押す。

設定できるアルゴリズムが表示されます。

10 設定するアルゴリズムを選び、Fを押す。

●オペレータを変更しないときは、このあと操作15へ進みます。

11 変更するオペレータを選び、Fを押す。

　ース音のパラメータが、あらかじめ設定されています。

12 変更するパラメータを選び、◎でパラメータを変更する。

■ パラメータの内容：P.8-31～P.8-32

13 操作12をくり返し、必要なパラメータをすべて変更する。

■ 変更後の音色確認：◎（再生）

■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（停止）

14 Fまたは◎（完了）を押す。

15 「エフェクト周波数」を選び、Fを押す。

16 設定するエフェクト周波数を選び、Fを押す。

エフェクト周波数設定完了のメッセージが表示されます。

17 「基本オクターブ」を選び、Fを押す。

18 設定するオクターブを選び、Fを押す。

オクターブ設定完了のメッセージが表示されます。

19 「パンポット」を選び、◎で設定する値を選ぶ。

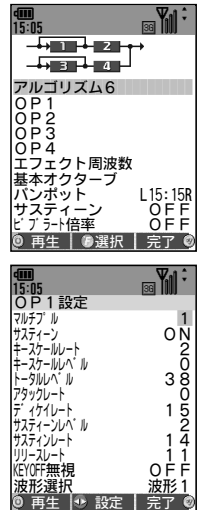
20 「サスティーン」を選び、◎で「ON」または「OFF」を選ぶ。

21 「ビブラート倍率」を選び、◎で設定する値を選ぶ。

22 ◎（完了）を押す。

23 すべての設定が終われば、◎（完了）を押す。

オリジナル音色が設定されます。

■ 別のオリジナル音色の作成：P.8-32～P.8-33の操作３～23をくり返す

音程の設定

あらかじめ登　されている音色、または自分で作ったオリジナル音色ごとに、音程（オクターブ）を４段階で設定します。

- 設定した音程は、SMAFファイルのメロディには無効です。
- お買い上げ時の各音色の音程：☞P.8-20～P.8-23

1 **Ⓕ①⑨の順に押す。**

2 **◎で設定する音色のジャンルを選び、◎で音色を選ぶ。**

- オリジナル音色の音程を変更するときは、「**オリジナル音色**」の「**基本オクターブ**」で行ってください。（☞P.8-33操作17、18）

■ 選んだ音色の確認：◎（**再生**）

- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

3 **Ⓕを押す。**

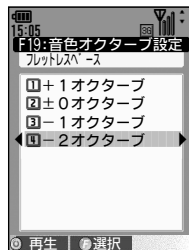
4 **設定する音程を選ぶ。**

■ 選んだ音程の確認：◎（**再生**）

- ■再生の停止：上記操作のあと、再生中に◎（**停止**）

5 **Ⓕを押す。**

■ 他の音色の設定：操作２～５をくり返す

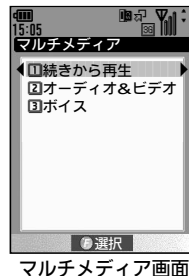
■ 設定終了：☎

注意
- メロディに高い音が含まれている場合、「**＋１オクターブ**」に設定しても、一部の高い音が「**±０オクターブ**」のまま再生される場合があります。

マルチメディア機能

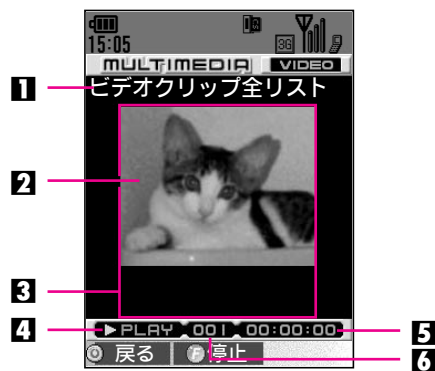
マルチメディア機能でできること

マルチメディア機能を利用すれば、モバイルカメラで撮影した動画を再生したり、音楽や音声を　音／再生できます。
マルチメディア画面は、待受画面でⒻを押したあと、「**マルチメディア**」を選びⒻを押すと、表示されます。

マルチメディア画面

<あらかじめ登録されている動画ファイル>
V801SHには、あらかじめ動画（「**鉄人28号1**」、「**鉄人28号2**」）が登　されています。

動画を再生する

モバイルカメラのムービーモードやビデオカメラモードで撮影した動画、ボーダフォンライブ！で入手した動画などが再生できます。
再生音は、V801SHのスピーカーから聞こえます。
●付属品のステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを利用して聴くこともできます。（☞P.9-20）

ディスプレイ表示（ビデオプレイヤー）

1 リスト名／タイトル名
2 動画再生領域
3 テロップ表示領域
4 動作状態表示
　▶PLAY：再生中／II PAUSE：一時停止中／ ▶▶ FF：早送り中／
　◀◀ REW：早戻し中
5 現在の再生経過時間
6 クリップ番号

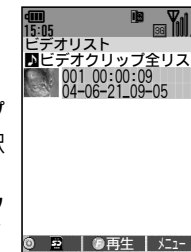
再生する

1 **Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。**
- 前回の続きからの再生：「**1続きから再生**」選択➡Ⓕ➡「**1ビデオ**」選択➡Ⓕ

2 **「2オーディオ & ビデオ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1ビデオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

4 **再生するビデオリストを選び、Ⓕを押す。**

- ビデオリスト：☞P.9-23
- SDメモリカード内の動画を再生：◎（「　」⇔「　」切替）
- タイトルや作者で動画を検索：Ⓜ（**メニュー**）➡「**クリップ検索**」選択➡Ⓕ➡「**1タイトル検索**」／「**2作者検索**」選択➡Ⓕ➡検索文字入力➡Ⓕ➡該当する動画のリスト表示
- タイトルや作者名の編集：動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**クリップ情報編集**」選択➡Ⓕ➡「**1YES**」選択➡Ⓕ➡「**1タイトル**」／「**2作者名**」選択➡Ⓕ➡タイトル／作者名入力➡Ⓕ
- 動画の情報を表示：動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ
  - ■戻る：◎➡クリア
- ムービーモードで撮影した動画をメールに添付：動画選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**メール添付**」選択➡Ⓕ➡☞P.6-37

5 **再生を開始するクリップ（動画）を選び、Ⓕを押す。**

ビデオプレイヤーの画面（再生画面）が表示され、再生が始まります。
最後のクリップ（動画）まで再生すると、自動的に止まります。
（PLAY SETTINGの設定が「**リピートOFF**」時：☞P.9-27）

- 途中で再生を停止：Ⓕ（**停止**）
- 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）（TRAIN（再生音量制限：☞P.9-29）を「ON」に設定しているときは、「音量14」以上にはなりません。）

再生中にできること

クリップを最初から再生する	◎を押します。くり返し押すと前のクリップを再生することができます。※1
次のクリップを再生する	◎を押します。くり返し押すと次のクリップを再生することができます。※2
早送りする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。
早戻しする	◎を押し続けます。ボタンから手を離すと、その時点から再生されます。
一時停止する	Ⓕ（停止）を押します。もう一度Ⓕ（再生）を押すと、再生が再開されます。

※1「**ランダム再生中**」は◎をくり返し押しても再生中のクリップを最初から再生されます。
※2「**1クリップリピート再生中**」は、◎を押すと再生中の次のクリップから再生されます。

一時停止中の操作

■ ◎を押すとコマ送りができます。早送り（早戻し）や次（前）のクリップを再生することはできません。

再生中に電話着信／メール受信があると

■ 再生中に電話がかかってきたり、メール受信があったときは、再生が自動的に停止します。
- 続きを再生するときは、P.9-3の操作1を行ったあと、「**前回の続きからの再生**」の操作を行います。

■「**着信優先設定**」を「**再生優先**」に設定しているときは、再生は継続します。（☞P.9-29）
- 電話がかかってきたときは、専用の着信音でお知らせします。
- 「**再生優先**」に設定していても、次のときは再生が自動的に停止します。
  - リピートアラームやスケジュールなどのアラームが鳴ったとき
  - Vアプリタイマー起動設定時刻になったとき
  - 簡易留守　設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
  - 運転中モード設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
  - 指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、非通知や公衆電話からの電話がかかってきたとき（おことわりのメッセージが流れたとき）

動画を編集する

次の編集が行えます。

2点間切り出し	指定した2点間の動画を切り出します。
前部分消去	指定したコマより前の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登　します。
後部分消去	指定したコマより後の部分を消去して、残った部分を新しい動画として登　します。
テロップ編集	動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流すことができます。

- 動画のデータ内容によっては、編集できないことがあります。
- V801SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用されているときは、編集した動画が正しく再生されないことがあります。
- SDメモリカードの残り容量が200Kバイト以下のときは、SDメモリカードへの保存はできません。

指定した2点間の動画を切り出す

1 再生画面（再生停止中）で、㋱（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、Ⓕを押す。

3「①2点間切り出し」を選び、Ⓕを押す。

4「①YES」を選び、Ⓕを押す。

再生が開始されます。
- 編集中は着信することができません。

5 切り出したい最初のコマで、㋱（開始）を押す。

切り出しの開始点が指定されます。

6 切り出したい最後のコマで、㋱（終了）を押す。

新しい動画として登　され、ビデオリスト画面に戻ります。

動画の一部を消去する

1 再生画面（再生停止中）で、㋱（メニュー）を押す。

2「編集」を選び、Ⓕを押す。

3「②前部分消去」または「③後部分消去」を選び、Ⓕを押す。

4「①YES」を選び、Ⓕを押す。
- 編集中は着信することができません。

5 消去の開始位置で、Ⓜ（切出）を押す。
新しい動画として登　され、ビデオリストの画面に戻ります。

●前部分消去の場合は、ここで指定したコマより前の動画がすべて消去されます。また、後部分消去の場合は、ここで指定したコマより後の動画がすべて消去されます。

テロップを編集する

動画の再生に合わせて、文字（テロップ）を流します。
●表示位置を変更したり、文字を装飾することもできます。
●テロップの編集は、撮影終了直後またはビデオプレイヤーから行えます。

テロップを入力する

テロップは最大10件まで入力できます。また、１件あたり最大全角24文字（半角48文字）まで登　できます。
●テロップを入力したあと、動画のどの位置に表示するか（表示時間）を指定してください。指定しないと、テロップを設定することができません。

1 再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「テロップ編集」を選び、Ⓕを押す。

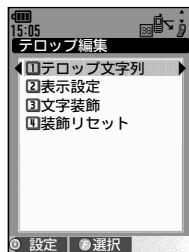
3「1YES」を選び、Ⓕを押す。
●編集中は、着信することができません。

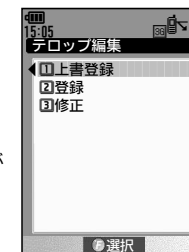
4 登録する番号を選び、Ⓕを押す。
■ 登　済みのテロップの編集：編集する番号を選択➡Ⓕ➡「1設定」選択➡設定項目選択➡Ⓕ
■ 登　済のテロップの消去：消去する番号を選択➡Ⓕ➡「2消去」選択➡Ⓕ

5 テロップを入力し、Ⓕを押す。
再生が開始されます。

6 テロップを表示する最初の位置で、Ⓜ（開始）を押す。

7 テロップを表示する最後の位置で、Ⓜ（終了）を押す。
■ 文字の表示設定／装飾：☞P.9-7、P.9-9

8 ◎（設定）を押す。
１件のテロップが入力されます。
■ 他のテロップの入力：操作４～８をくり返す

9 ◎（完了）を押す。

10「1上書登録」または「2登録」を選び、Ⓕを押す。
テロップ編集が完了します。
●「1上書登録」を選んだときは、元の動画が更新されます。「2登録」を選んだときは、元の動画はそのままで新たに動画が登　されます。
■ テロップの修正：「3修正」選択➡Ⓕ➡操作４へ

表示方法を設定する

テロップとして入力した文字の表示方法を設定します。
●表示設定は、P.9-6の操作７の画面から行います。

表示時間	テロップの表示場面を設定します。
表示位置	テロップの表示位置を設定します。
フォントサイズ	テロップの文字サイズを設定します。
スクロール	テロップが流れるように設定します。流れる方向や表示／消去の効果、静止時間も設定できます。
テロップ背景色	文字の背景色を７色（透明含む）の中から選びます。

■テロップの表示場面を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「2表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2「1表示時間」を選び、Ⓕを押す。
再生が開始されます。

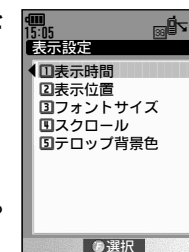
3 テロップを表示する最初の位置で、Ⓜ（開始）を押す。

4 テロップを表示する最後の位置で、Ⓜ（終了）を押す。
■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

■テロップの表示位置を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「2表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2「2表示位置」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎で表示位置を選び、Ⓕを押す。
■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

■テロップの文字サイズを設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「②表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「③フォントサイズ」を選び、Ⓕを押す。

3 「①携帯電話用（20×20）」または「②パソコン用（12×12）」を選び、Ⓕを押す。

■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

■テロップのスクロール方法を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「②表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「④スクロール」を選び、Ⓕを押す。

3 **テロップが流れる方向を設定する**

1「①方向」を選び、Ⓕを押す。
2「①左から右」または「②右から左」を選ぶ。

テロップの表示／消去の効果を設定する

1「②効果」を選び、Ⓕを押す。
2「①スクロールイン」または「②スクロールアウト」、「③スクロールイン&スクロールアウト」のいずれかを選ぶ。

- スクロールイン…画面の外から中へテロップが流れます。
- スクロールアウト…画面の中から外へテロップが流れます。
- スクロールイン&スクロールアウト…画面の外から中へ、そして画面の外へテロップが流れます。

テロップの静止時間を設定する

1「③スクロール静止時間」を選び、Ⓕを押す。
2 静止時間（２ケタ：秒）を選ぶ。

4 Ⓕを押す。

■ 設定終了：クリア➡クリア➡P.9-6操作８へ

■テロップの背景色を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「②表示設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「⑤テロップ背景色」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する色を選び、Ⓕを押す。

■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

文字を装飾する

テロップとして入力した文字に次の装飾が行えます。

文字色	文字の色を７色の中から選びます。文字全体に色を付けたり、文字の一部だけに付けることもできます。
ハイライト	文字の一部や全部を強調します。
点滅文字	文字を点滅させます。

- 文字装飾は、文字色、ハイライト、点滅文字のうち、２つまで設定できます。
- 文字装飾はP.9-6の操作７の画面から行います。

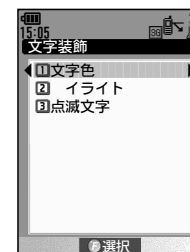
■文字の色や背景色を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「③文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「①文字色」を選び、Ⓕを押す。

3 「①全体」または「②文字指定」を選び、Ⓕを押す。

■ 文字指定時：◎（指定開始文字選択）➡Ⓕ➡◎（指定終了文字選択）➡Ⓕ

4 設定する色を選び、Ⓕを押す。

■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

■文字の強調や点滅を設定する

1 P.9-6の操作７の画面で、「③文字装飾」を選び、Ⓕを押す。

2 「②ハイライト」または「③点滅文字」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎で指定開始文字を選び、Ⓕ（開始）を押す。

4 ◎で指定終了文字を選び、Ⓕ（終了）を押す。

■ 設定終了：クリア➡P.9-6操作８へ

■文字装飾の指定をすべて取り消す

1 P.9-6の操作７の画面で、「④装飾リセット」を選び、Ⓕを押す。

2 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

■ 設定終了：P.9-6操作８へ

バイブレータを設定する

指定した動画の場面でバイブレータが動作するように設定できます。

1 再生画面（再生停止中）で、ⓥ（メニュー）を押す。

2「バイブ編集」を選び、Ⓕを押す。

3「①YES」を選び、Ⓕを押す。
●編集中は、着信することができません。

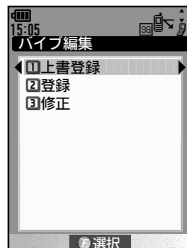
4「①設定」を選び、Ⓕを押す。
■ バイブレータの消去：「② 消去」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ➡◎（完了）

5 バイブレータの種類を選び、Ⓕを押す。
バイブレータが動作したあと、再生が開始されます。

6 バイブレータの動作を開始する位置で、ⓥ（開始）を押す。

7 バイブレータの動作を終了する位置で、ⓥ（終了）を押す。

8 ◎（完了）を押す。

9「①上書登録」または「②登録」を選び、Ⓕを押す。
バイブレータが設定されます。
●「①上書登録」を選んだときは、元の動画が更新されます。
●「②登録」を選んだときは、元の動画はそのままで新たに動画が登　されます。
■ バイブレータの修正：「③修正」選択➡Ⓕ➡操作４へ

バイブレータの動作を停止

■ 次の操作を行うと、バイブレータの動作を停止することができます。
●再生画面でⓥ（メニュー）➡「バイブ設定」選択➡Ⓕ➡「②OFF」選択➡Ⓕ
●この操作を行っても、編集したバイブレータは消去されません。バイブレータが動作するように設定（「①ON」選択）すると、再度バイブレータが動作します。

●「テロップ編集」や「バイブ編集」で、約５分間何も操作しないでおくと、自動的に編集を終了し、待受画面に戻ります。

音楽を録音する

V801SHとオーディオ機器を接続して、CDなどの音楽をV801SHに取り付けたSDメモリカードに　音（保存）します。　音した音楽は、V801SHのオーディオプレイヤーで再生します。
●V801SHにはSDMI（Secure Digital Music Initiative）の取り決めに従い、著作権保護のための暗号技術が組み込まれています。データを記　する際にSDメモリカードとの間でデータの暗号化／認証の処理を行うことで、データの不正な複製や再生ができなくなっています。認証された機器以外ではこの暗号化されたデータを再生できません。また、SDMIの取り決めに従い、コピーが禁止されているデータを　音（保存）することはできません。

録音時のご注意

充電しながら録音してください。
●　音中に電池が切れることを防ぐため、必ず急速充電器を使用して、充電しながら　音してください。
●電池レ　ル表示が「▯」以下のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、　音が中止されます。

音楽データは、SDメモリカードに保存されます。
●あらかじめ、SDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-3）

録音中は着信不可に設定することをおすすめします。
●　音中に電話の着信やメール受信があると、　音が正常に行えないことがあります。（　音が途中で終了しますので、ご注意ください。）
着信不可に設定すると、電話の発信／着信やメール受信などはできなくなります。（☞P.9-16）

録音中は、絶対にSDメモリカードを取り出さないでください。
●　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。

●お客様が　音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
●　音した内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。なお、データが消失または変化したときの損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●　音したデータを、別のSDメモリカードなど他のメディアにデジタル　音（コピー）することはできません。

録音時間

　音できる時間は、SDメモリカードの容量やビットレートの設定によって異なります。次の表を目安にしてください。

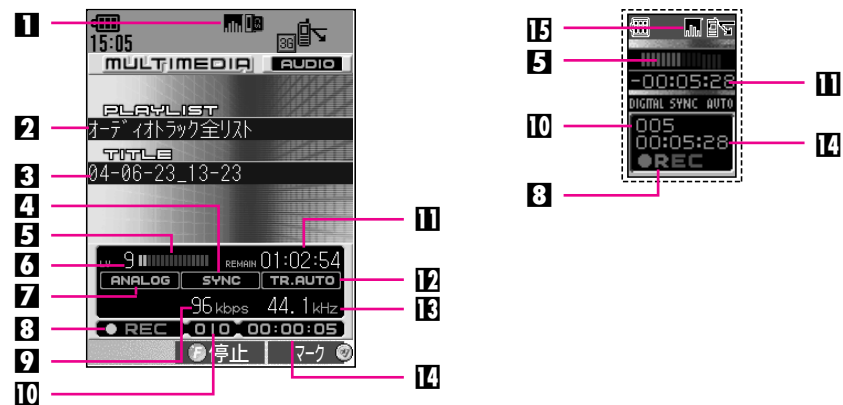
SDメモリカード容量	ビットレート	録音時間
16MB	96kbps	約19分
	128kbps	約14分
64MB	96kbps	約80分
	128kbps	約60分

- 上記の時間は、何もデータが保存されていないSDメモリカードのときの目安です。
- ビットレートとは、音楽データを記　する際の1秒あたりのデータ量を示す単位です。数字が大きいほどデータ量が多く、音の再現性がよくなります。

デジタル入力録音とアナログ入力録音

接続するオーディオ機器の出力端子によって、「**デジタル入力録音**」または「**アナログ入力録音**」が行えます。

デジタル入力録音	光出力端子の付いたオーディオ機器と接続して　音が行えます。CDなどのデジタル信号を直接圧縮するため、音楽を高音質でSDメモリカードに保存できます。
アナログ入力録音	アナログの音楽信号をデジタルに変換し、SDメモリカードに保存します。デジタル　音に比べ音質は劣りますが、ライン出力端子やヘッドホン端子が利用できるため、いろいろなオーディオ機器から　音が行えます。

ディスプレイ表示（オーディオレコーダー）

1 録音中表示
　音中に固定表示されます。

2 プレイリスト名

3 タイトル

4 シンクロ録音表示（☞P.9-18）
シンクロ　音が「ON」に設定されているときに表示されます。

5 録音レベルメータ

6 録音レベル
アナログ入力　音時のみ表示されます。

7 録音入力識別表示
DIGITAL：デジタル入力　音／ANALOG：アナログ入力　音

8 動作状態表示
● REC：　音中／■STOP：停止中

9 ビットレート設定表示（☞P.9-18）

10 トラック番号

11 録音可能な残り時間
1トラックごとに変化します。

12 トラックマーク表示（☞P.9-19）

13 サンプリング周波数表示（☞P.9-19）

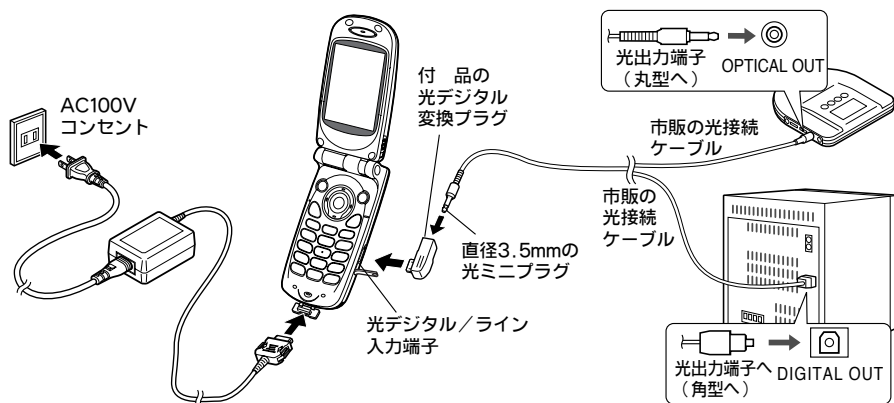
14 現在の録音経過時間

15 録音中表示
　音中に赤色で固定表示されます。

オーディオ機器の接続方法

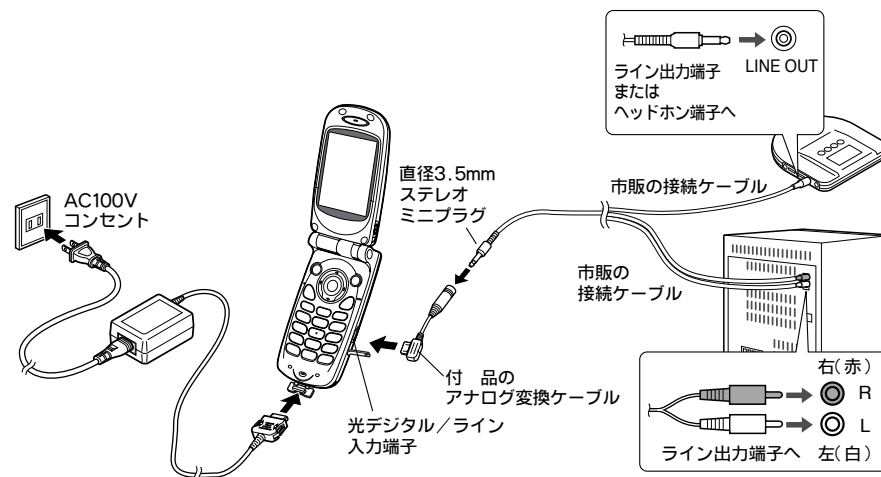
デジタル入力　音、アナログ入力　音それぞれのときの、V801SHとオーディオ機器の接続方法を説明します。

デジタル入力録音

市販の光接続ケーブルと付属品の光デジタル変換プラグを利用して、オーディオ機器の「**光出力端子**」とV801SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

- V801SH へ接続するときは、光デジタル変換プラグを接続ケーブルに取り付けたあと、光デジタル変換プラグを持ってゆっくりと確実に差し込んでください。
  また、抜くときも、光デジタル変換プラグを持ってまっすぐに抜いてください。
- 接続ケーブルを取り付けているときは、ケーブルをひっぱらないでください。
  強くひっぱったり、無理な力を加えると、V801SHの光デジタル／ライン入力端子が破損する恐れがあります。
- 光デジタル変換プラグは、付属品以外は使用しないでください。付属品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V801SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。
- 　音中に着信があると、オーディオ機器の光出力端子を傷める恐れがあります。
  　音するときは、着信不可状態にすることをおすすめします。（☞P.9-16）

アナログ入力録音

市販の接続ケーブルと付属品のアナログ変換ケーブルを利用して、オーディオ機器の「**ライン出力端子**」または「**ヘッドホン端子**」とV801SHの「**光デジタル／ライン入力端子**」を接続します。

- アナログ入力　音のときは、P.9-16の操作1～4で着信不可状態にしてから、オーディオ機器と接続します。

- V801SH へ接続するときは、アナログ変換ケーブルを接続ケーブルに取り付けたあと、アナログ変換ケーブルを持ってゆっくりと確実に差し込んでください。
  また、抜くときも、アナログ変換ケーブルを持ってまっすぐに抜いてください。
- 接続ケーブルを取り付けているときは、ケーブルをひっぱらないでください。
  強くひっぱったり、無理な力を加えると、V801SHの光デジタル／ライン入力端子が破損する恐れがあります。
- アナログ変換ケーブルは、付属品以外は使用しないでください。付属品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V801SHや接続先のオーディオ機器を傷める恐れがあります。
- 　音中に着信があると、オーディオ機器のライン出力端子を傷める恐れがあります。
  　音するときは、着信不可状態にすることをおすすめします。（☞P.9-16）
- 市販の接続ケーブルは抵抗が入っているものがあります。
  抵抗入りの接続ケーブルは使用できません。

録音する

接続したオーディオ機器で音楽を再生し、V801SHで　音します。
- あらかじめ、SDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-3）
  また、急速充電器を接続して、充電しながら　音してください。
- 　音中の音を聞きながら　音することができます。（　音モニター）
  また、　音モニター音量は　音前に調整します。（☞P.9-19）
- 再生側のオーディオ機器は、あらかじめ電源を入れ、再生する曲の頭出しを行ったうえで、一時停止状態にしておいてください。

1 Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。

2 「2オーディオ ＆ ビデオ」を選び、Ⓕを押す。

3 「3オーディオレコーダー」を選び、Ⓕを押す。

着信許可／不可の選択画面が表示されます。
- 通常は着信不可（「2NO」を選ぶ）にすることをおすすめします。

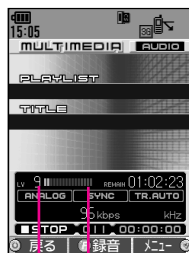
4 「2NO」を選び、Ⓕを押す。

オーディオレコーダーの画面（　音画面）が表示されます。
- 　音前に、　音状態を設定：☞P.9-18
- 着信許可：「1YES」選択➡Ⓕ

赤いバー
録音レベルメーター

5 オーディオ機器と接続し、オーディオ機器で音楽を再生して、録音レベルを確認／調整する。

- デジタル入力　音のときは、　音レ　ルは自動的に調整されます。
- アナログ入力　音のときは、ご自分で　音レ　ルを調整します。
  - ■調整方法：　音開始前にオーディオ機器を再生➡◎
  - ■　音レ　ルが最も大きいときでも、　音レ　ルメーターの赤いバーにかからないように調整してください。
  - ■　音中は、　音レ　ルを調整できません。
- 　音停止中に約20分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。

- V801SHで　音（保存）した音楽データには、　音日時のタイトルが自動的に記されます。タイトルは、あとで変更することができます。
- 　音末チェック曲が入ってるSDメモリカードをV801SHに取り付けて、オーディオレコーダーを利用すると、　音末チェック曲は削除されます。（　音末チェック曲は、J-SH51またはJ-SH52で　音した際、チェックされずに　音モードを終了したときに作成されます。）

6 Ⓕ（録音）を押す。

「●」と「REC」が点滅して、シンクロ　音の待機状態になります。
- 「**シンクロ録音**」とは、オーディオ機器の再生と同時に　音を開始させる機能です。（お買い上げ時には、「ON」に設定されています。）
- シンクロ　音しない：シンクロ　音を「OFF」に設定（☞P.9-18）➡Ⓕ（録音）➡オーディオ機器で音楽を再生
  - ■終了：➡Ⓕ（停止）

7 接続したオーディオ機器で音楽を再生する。

接続した機器のデータ（音）を検知して、自動的に　音が開始されます。オーディオ機器で再生が終了し、一定時間以上無音が続くと、自動的に　音も終了します。
- アナログ入力　音のときは、接続した機器によっては、オーディオ機器が一時停止中でも　音を開始することがあります。
- 　音停止：Ⓕ（停止）

録音中にトラックマークを手動で付ける
- 手動でトラックマークを付けるときは、　音中にトラックマークを付けたいところで◎（**マーク**）を押します。
- 「**トラックマーク**」とは、オーディオリスト内のトラック（曲）にトラック番号を付ける機能です。リピート再生やランダム再生は、このトラック単位で行います。V801SHは、　音を開始すると、曲と曲の間の無音状態を自動的に検知して、トラックマークが付くようになっています。（☞P.9-19）

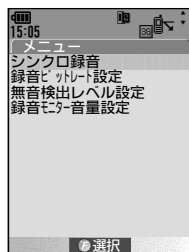
- オーディオレコーダーの開始時に、着信選択画面（☞P.9-16操作3の画面）で「2NO」を選び着信不可に設定したときは、　音終了後、自動的に解除されます。
- 　音中は、　音が終了するまで、絶対にSDメモリカードを取り出したり、電池パックを外さないでください。　音データが消えたり、SDメモリカードが故障する原因となります。
- 　音中は、接続ケーブルやプラグに触れないでください。雑音や音とびの原因となります。
- 再生する機器がパソコンやサウンドボードおよびBS／CSデジタルチューナーの場合、　音レ　ルが低くなることがあります。

- 　音中に、リピートアラームなどの予定の時刻になっても、アラームは動作しません。　音モードを終了したあと、1分以内に動作します。

9 マルチメディア機能

音楽録音に関する設定

音画面（　音停止中）で（メニュー）を押すと、右の　音メニュー画面が表示されます。この画面から、シンクロ　音の設定やビットレートによる音質の設定、無音検出レ　ルや　音時の音モニター音量の設定が行えます。

● 　音中は、上記の　音状態を設定することはできません。

録音メニュー画面

シンクロ録音の設定

●お買い上げ時には、「ON」に設定されています。

1 録音画面（録音停止中）で、（メニュー）を押す。

2「シンクロ録音」を選び、Ⓕを押す。

3「1ON」または「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

音画面に戻ります。

ビットレートの設定

「高音質（128kbps）」に設定すると、音質はよくなりますが、データ量が大きくなるため、　音できる時間は短くなります。

●お買い上げ時には、「標準（96kbps）」に設定されています。

1 録音画面（録音停止中）で、（メニュー）を押す。

2「録音ビットレート設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1標準（96kbps）」または「2高音質（128kbps）」を選び、Ⓕを押す。

音画面に戻ります。

無音検出レベルの設定

アナログ　音時など、トラックマーク（☞P.9-19）を付けるとき、無音部分として判別するレ　ルを設定することができます。音量レ　ルの低い状態が続く曲のときは、「-59dB」に設定すると、トラックマークを付きにくくできます。

●お買い上げ時には、「-41dB」に設定されています。

1 録音画面（録音停止中）で、（メニュー）を押す。

2「無音検出レベル設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1-41dB」または「2-59dB」を選び、Ⓕを押す。

音画面に戻ります。

モニター音量の設定

●お買い上げ時には、「音量3」に設定されています。

1 録音画面（録音停止中）で、（メニュー）を押す。

2「録音モニター音量設定」を選び、Ⓕを押す。

3 で音量を選び、Ⓕを押す。

音画面に戻ります。

トラックマーク

音開始後、次のような状態を検知すると、トラックマークが自動的に付きます。

デジタル入力録音	曲間の無音データを検知したとき（CDやMDなどのトラック情報が含まれたデータのときは、　音元のトラックに従ってトラックマークが付きます。）
アナログ入力録音	曲間の無音状態を検知したとき

●曲間の無音状態が正しく検知できないときは、１つのトラックとして扱われます。

●シンクロ　音を「ON」に設定しているときは、上記の状態が検知されると、　音一時停止状態になります。次のデータ（または音）を検知すると　音を再開します。

●シンクロ　音を「ON」に設定しているときは、　音一時停止状態が約15秒間続くと、音を終了します。

●無音（または音量レ　ルの低い音）が続く曲を　音したときは、無音（または音量レ　ルの低い音）だけのトラックが作られることがあります。

●トラックマークを付けると、音が一瞬途切れます。

●接続した機器によっては、トラックマークが自動的につかないことがあります。このときは、手動でトラックマークを付けてください。（☞P.9-17）

サンプリング周波数

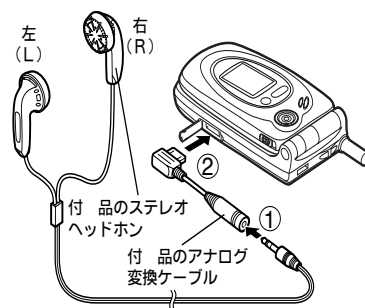
ビットレートと同様に　音時の音質を左右するものとして、「**サンプリング周波数**」があります。サンプリング周波数とは、１秒間に何回データ量（音の強さ）を記　するかを示すもので、数字が大きいほど記　回数が増え、音の再現性がよくなります。V801SHでは、　音方法や再生側の機器によって、自動的にサンプリング周波数が設定されます。

録音方法	サンプリング周波数
デジタル入力録音	再生側の機器に従い、32kHz／44.1kHz／48kHzのいずれかに自動的に設定されます。（DVDプレーヤー出力のときは、DTSを「OFF」に設定してください。）
アナログ入力録音	44.1kHz固定になります。

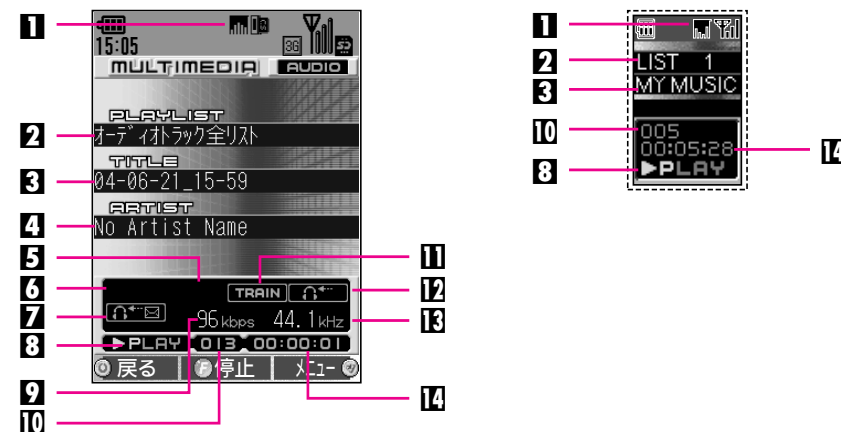
●デジタル入力　音のときは、信号形式の内容によっては、うまく　音できないことがあります。

音楽を再生する

SDメモリカードに　音（保存）した音楽を再生します。

- ダウンロードした音楽ファイルを再生することもできます。（V801SHに保存されている音楽ファイルも再生できます。）
- 再生音は、付属品のステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを利用して聞くことができます。右の図を参考に差し込んでください。
- V801SHのスピーカーから聞くこともできます。

再生時のご注意

- ステレオヘッドホンを取り付けたり、取り外すときは、アナログ変換ケーブルを持って行ってください。また、アナログ変換ケーブルに無理な力を加えないでください。V801SHのイヤホンマイク端子が破損したり、コードが切れたりする恐れがあります。
- 付属品のアナログ変換ケーブル以外は、使用しないでください。付属品以外のものを使用すると、正常に動作しなかったり、V801SHのイヤホンマイク端子やステレオヘッドホンが破損する恐れがあります。
- 電話をかけてきた相手とお話するときは、ステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを取り外してください。
- 電池レ　ル表示が「▯」以下のときは再生できません。また、再生中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、再生が中止されます。
- スピーカーでの再生時に、曲や再生音量によっては、ひずんだように聞こえることがあります。このときは、再生音量を下げてください。

ディスプレイ表示（オーディオプレイヤー）

1 再生中表示
再生中にアニメーション表示されます。

2 プレイリスト名

3 タイトル

4 アーティスト名

5 音質調整表示（TONE CONTROL：☞P.9-28）
TruBass1：BASS1（低音強調小）／TruBass2：BASS2（低音強調大）／
SRS：サラウンド／WOW：サラウンドバス
※何も表示されないときは、ノーマル設定です。

6 リピート／ランダム再生表示（PLAY SETTING：☞P.9-27）
1：1トラックリピート再生／ALL：全トラックリピート再生
／RANDOM：ランダム再生
※何も表示されないときは、リピートOFF設定です。

7 メール着信優先設定（☞P.9-29）
[アイコン]：着信優先／[アイコン]：再生優先

8 動作状態表示
▶PLAY：再生中／■STOP：停止中／▶▶ FF：早送り中／◀◀REW：早戻し中

9 ビットレート表示（☞P.9-18）

10 トラック番号

11 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.9-29）
TRAIN：再生音量制限「ON」
※何も表示されないときは、TRAIN OFF設定です。

12 電話着信優先設定（☞P.9-29）
[アイコン]：着信優先／[アイコン]：再生優先

13 サンプリング周波数表示（☞P.9-19）

14 現在の再生経過時間

再生する

1 Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。

■ 前回の続きからの再生：「1 続きから再生」選択 ➡Ⓕ➡「2 オーディオ」選択➡Ⓕ

2 「2オーディオ & ビデオ」を選び、Ⓕを押す。

3 「2オーディオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

4 再生するオーディオリストを選び、Ⓕを押す。

■ オーディオリスト：☞P.9-23
■ SDメモリカード内の音楽を再生：◎（「SD」⇔「本体」切替）
■ タイトルやアーティストで曲を検索：Ⓜ（メニュー）➡「トラック検索」選択➡Ⓕ➡「1タイトル検索」／「2アーティスト検索」選択➡Ⓕ➡検索文字入力➡Ⓕ➡該当する曲のリスト表示
■ タイトルやアーティスト名の編集：トラック（曲）選択 ➡Ⓜ（メニュー）➡「トラック情報編集」選択➡Ⓕ➡「1タイトル」／「2アーティスト名」選択➡Ⓕ➡タイトル／アーティスト名入力➡Ⓕ

5 再生を開始するトラック（曲）を選び、Ⓕを押す。

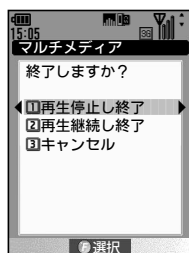
オーディオプレイヤーの画面（再生画面）が表示され、再生が始まります。
最後のトラック（曲）まで再生すると、自動的に止まります。
（PLAY SETTINGの設定が「リピートOFF」時：☞P.9-27）
■ 途中で再生を停止：Ⓕ（停止）
■ 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）
▪TRAIN（再生音量制限：☞P.9-29）を「ON」に設定しているときは、「音量14」以上にはなりません。
■ 再生中にできること：☞P.9-4

●再生画面で、音楽を再生しない状態で、約5分間何も操作しないでおくと、自動的に終了し、待受画面に戻ります。（自動終了）

再生中の操作

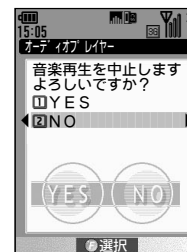
■終了操作

再生中に📞を押すと、右の画面が表示されます。

●「1再生停止し終了」を選びⒻを押すと、再生が停止し、待受画面に戻ります。
●「2再生継続し終了」を選びⒻを押すと、再生を継続したまま、待受画面に戻ります。
●「3キャンセル」を選びⒻを押すと、再生画面に戻ります。

■他の機能の操作（「再生継続し終了」を選んだとき）

再生中でもメモリダイヤルやメール作成など、他の機能の操作を行うことができます。ただし、次の操作を行うと、再生を中止するかどうかの確認画面が表示されます。

電話の発信／カメラの利用／SDメモリカードの利用／VGSメールの送信／メロディ再生／データフォルダの利用／ウェブアクセス／Vアプリの起動　など

●「1YES」を選びⒻを押すと、再生が中止され各機能が利用できるようになります。（VGSメールのときは、メール送信完了後、自動的に再生が続きから再開されます。）
●「2NO」を選びⒻを押すと、各機能の動作は中止され、再生が継続されます。

●再生中の待受画面で📞を押しても、同様の確認画面が表示されます。
●メール作成画面でデータフォルダ、SDメモリカード、テキストメモなどを利用すると、同様の確認画面が表示されます。（再生を中止したときでも、メール作成画面に戻ると、自動的に再生が続きから再開されます。）

動画／音楽ファイルを管理する

V801SH内の動画や音楽は、それぞれ「ビデオリスト」、「オーディオリスト」で管理されています。「ビデオリスト」、「オーディオリスト」は、ご自分で追加作成することもできます。一連の動画をまとめて管理したり、音楽をジャンルごとに分類したりするときに便利です。
●お買い上げ時には、「ビデオリクリップ全リスト」と「オーディオトラック全リスト」が登録されており、このリストからすべての動画、またはすべての音楽を利用することができます。
●SDメモリカードの残り容量が200Kバイト以下のときは、SDメモリカードへの保存はできません。

新規リストを作成する

1 Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。

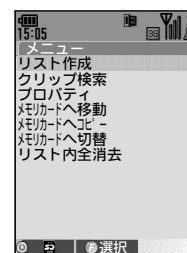
2 「2オーディオ&ビデオ」を選び、Ⓕを押す。

3 「1 ビデオプレイヤー」または「2 オーディオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

4 Ⓜ（メニュー）を押す。

ビデオプレイヤーの場合

5 「リスト作成」を選び、Ⓕを押す。

9 マルチメディア機能

6 **リストタイトルを入力し、Ⓕを押す。**
新しいリストが登　されます。

> **リスト削除**
>
> ■ 作成したリストを削除します。リストに追加したファイル情報は消去されますが、元ファイル（「**ビデオクリップ全リスト**」または「**オーディオトラック全リスト**」内）は消去されません。P.9-23の操作３のあと、次の操作を行います。
> 削除するリスト選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡Ⓕ➡「**リスト削除**」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ
>
> **ビデオ内リストのファイル表示方法の設定**
>
> ■ ビデオリスト内の動画の表示方法を「**サムネイル表示**」／「**リスト表示**」のいずれかに設定することができます。（お買い上げ時「**サムネイル表示**」）
> Ⓕ➡「**マルチメディア**」選択➡Ⓕ➡「**②オーディオ＆ビデオ**」選択➡Ⓕ➡「**④プレイヤー設定**」選択➡Ⓕ➡「**①ビデオ設定**」選択➡Ⓕ➡「**⑥リスト表示設定**」選択➡Ⓕ➡「**①サムネイル表示**」／「**②リスト表示**」選択➡Ⓕ

リストに動画／音楽ファイルを追加する

「**ビデオクリップ全リスト**」または「**オーディオトラック全リスト**」内の動画／音楽ファイルを作成したリストに追加します。
●リストに追加されるのは、動画／音楽ファイルの保存場所情報のみです。実際の動画／音楽ファイルはコピーされません。

1 **Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「②オーディオ＆ビデオ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「① ビデオプレイヤー」または「② オーディオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

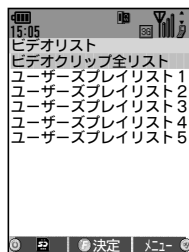
ビデオプレイヤーの場合

4 **「ビデオクリップ全リスト」または「オーディオトラック全リスト」を選び、Ⓕを押す。**

5 **追加するファイルを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**

6 **「リストに追加」を選び、Ⓕを押す。**

7 **追加先のリストを選び、Ⓕを押す。**

8 **◎で追加先の位置を選び、Ⓕを押す。**
リストに追加されます。

● １つのリストに同じ音楽ファイルを追加することはできません。同じ音楽ファイルが２つ以上登　されていると、V801SHでは操作できません。

> **リストに追加した動画／音楽ファイルを消去する**
>
> ■ リスト内の動画／音楽ファイルの保存場所情報を消去します。元ファイル（「**ビデオクリップ全リスト**」または「**オーディオクリップ全リスト**」内）は消去されません。
> P.9-24の操作３のあと、次の操作を行います。
> リスト選択➡Ⓕ➡消去するファイル選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**リストから消去**」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ
>
> **同じリスト内での位置移動**
>
> ■ リスト内に追加した動画／音楽ファイルの位置を移動することができます。
> P.9-24の操作３のあと、次の操作を行います。
> リスト選択➡Ⓕ➡移動するファイル選択➡Ⓜ（**メニュー**）➡「**リスト内移動**」選択➡Ⓕ➡◎（移動する位置を選択）➡Ⓕ

ファイルをSDメモリカードに移動／コピーする

「**ビデオクリップ全リスト**」内の動画ファイルをSDメモリカードに移動／コピーしたり、「**オーディオトラック全リスト**」内の音楽ファイルをSDメモリカードに移動できます。
●ファイルによっては、SDメモリカードに移動／コピーできないことがあります。

1 **Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「②オーディオ＆ビデオ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①ビデオプレイヤー」または「②オーディオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**
■ SDメモリカードから本体への切替：◎（「」⇔「」切替）

4 **「ビデオクリップ全リスト」または「オーディオトラック全リスト」を選び、Ⓕを押す。**

5 **移動／コピーするファイルを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**

6 **「メモリカードへ移動」または「メモリカードへコピー」を選び、Ⓕを押す。**
■ 画面左下のソフトキーが「」のとき：「**本体へ移動**」または「**本体へコピー**」選択➡Ⓕ

●　音した音楽ファイルは、本体には移動できません。

7 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**
移動／コピーが開始されます。
■ 移動するファイルが他のリストに追加されているとき：リストから消去の確認画面表示➡「①YES」選択➡Ⓕ➡移動／コピー開始

動画／音楽ファイルを消去する

「ビデオクリップ全リスト」または「オーディオトラック全リスト」内の動画／音楽ファイルを消去します。

●この操作を行うと、動画／音楽ファイルそのものが消去されます。消去してもよいかどうか、十分ご確認のうえ、操作してください。

1 Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。

2「②オーディオ&ビデオ」を選び、Ⓕを押す。

3「① ビデオプレイヤー」または「② オーディオプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。

4 1件ずつ消去するとき

1「ビデオクリップ全リスト」または「オーディオトラック全リスト」を選び、Ⓕを押す。
2 消去するファイルを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。
3「クリップ消去」または「トラック消去」を選び、Ⓕを押す。

リスト内のすべてのファイルを消去するとき

1「ビデオクリップ全リスト」または「オーディオトラック全リスト」を選び、Ⓜ（メニュー）を押す。
2「リスト内全消去」を選び、Ⓕを押す。
3「①YES」を選び、Ⓕを押す

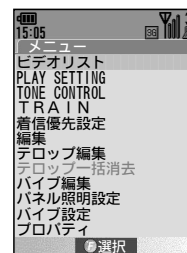
5「①YES」を選び、Ⓕを押す。

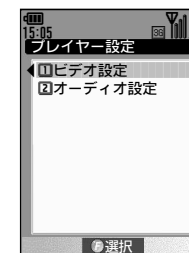
ファイルが消去されます。

注意
●V801SHにあらかじめ登　されている動画ファイルも消去できます。
●あらかじめ登　されている動画ファイルは、P.9-31の「プレイヤー初期化」を行うと元に戻ります。

動画／音楽再生に関する設定

動画や音楽の再生画面でⓂ（メニュー）を押すと、再生に関する設定を行います。

●オーディオ & ビデオ画面の「④プレイヤー設定」から操作することもできます。

動画再生メニュー画面

音楽再生メニュー画面

プレイヤー設定画面

動画／音楽再生に共通の設定

くり返し再生／ランダム再生（PLAY SETTING）

すべてのファイルまたは指定したファイルをくり返し再生（※）したり、ランダムに再生できます。

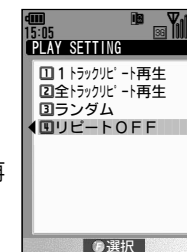
※動画の場合：全クリップリピート再生／1クリップリピート再生
※音楽の場合：全トラックリピート再生／1トラックリピート再生

●1クリップリピート再生または1トラックリピート再生を設定するときは、くり返し再生するファイルの表示中（再生停止中、音楽は再生中も可）に操作してください。
●お買い上げ時には、「リピートOFF」に設定されています。

1 再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「PLAY SETTING」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する再生モードを選び、Ⓕを押す。

再生画面に戻ります。音楽再生中に設定したときは、設定した再生モードで再生されます。

音楽再生の場合

音質の調整（TONE CONTROL）

低音を強調し迫力のある音で再生したり、サラウンドで再生します。
●お買い上げ時には、「**ノーマル**」に設定されています。

1 再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「TONE CONTROL」を選び、Ⓕを押す。

●設定できる内容は、次のとおりです。

ノーマル	保存データをそのまま再生
BASS1	低音強調小
BASS2	低音強調大
サラウンド	SRS（サラウンド効果が得られます）
サラウンドバス	サラウンド＋BASS2の効果

●音質を「BASS1」「BASS2」「サラウンド」「サラウンドバス」に設定しているときに再生音量を上げすぎると、曲によっては音がひずむことがあります。このときは、音質を変えるか、再生音量を下げてください。
●「BASS1」は「音量14」以上に設定したとき、「BASS2」は「音量12」以上に設定したときに音のひずみを少なくするため、強調レ　ルが自動的に調整されます。

3 設定する音質を選び、Ⓕを押す。

再生画面に戻ります。

●この設定は、ヘッドホン利用時のみ有効です。スピーカーでの再生時は、画面の設定表示にかかわらず、「BASS1」、「BASS2」、「サラウンド」、「サラウンドバス」に設定していても無効となります。
また、モノラルの音楽データのときは、サラウンド効果は無効となります。
●SRS、TruBass、WOWと(●)® 記号は、SRS Labs, Inc.の商標です。
SRS、TruBass、WOW技術はSRS Labs, Inc.からのライセンスに基づき製品化されています。

再生音量の制限（TRAIN）

再生音量を上げすぎると、ヘッドホンによっては周囲に音がもれることがあります。このようなときは、再生音量を「**音量14**」以上に上げられないように設定できます。
●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「TRAIN」を選び、Ⓕを押す

3「1ON」または「2OFF」を選び、Ⓕを押す。

再生画面に戻ります。
■ TRAINの解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

●「**音量14**」以上に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「**音量13**」に切り替わります。
●TRAINを「OFF」に設定し直しても、「**音量14**」以上の元の状態には戻りません。

再生中の着信通知設定

再生中に電話がかかってきたときの動作を、次のいずれかに設定できます。

着信優先	V801SHから設定されている着信音が鳴り、再生が停止します。（プレイヤーは終了します。）
再生優先	専用の着信音が鳴り、再生は継続します。

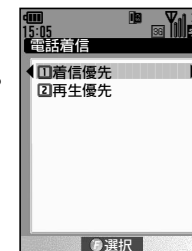
●電話着信とメール着信、それぞれ個別に設定することができます。
●お買い上げ時には、共に「**着信優先**」に設定されています。

1 再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「着信優先設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1電話着信」または「2メール着信」を選び、Ⓕを押す。

4「1着信優先」または「2再生優先」を選び、Ⓕを押す。

着信通知が設定されます。
■ 他の着信の種類の設定：操作3～4をくり返す
■ 設定終了：[クリア]➡メニュー画面へ

●「**再生優先**」に設定していても、次のときは再生が自動的に停止します。
■簡易留守　設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
■運転中モード設定時に電話がかかり、応答文が流れたとき
■指定着信拒否の非通知拒否、公衆電話拒否設定時に、非通知や公衆電話からの電話がかかってきたとき（おことわりのメッセージが流れたとき）
●マナーモード設定時に再生優先で動画を再生しているときは、着信音出力切替が「**イヤホン＋スピーカー**」に設定されていても、ステレオヘッドホンを接続していると、着信音はステレオヘッドホンからのみ鳴ります。

動画再生に関する設定

パネル照明の点灯方法設定

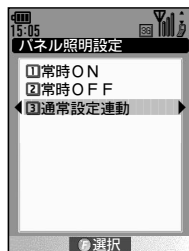
再生中のパネル照明の点灯方法を、次の３種類の中から設定します。

常時ON	再生中は、常に点灯します。※
常時OFF	再生中は、ボタンを押しても点灯しません。
通常設定連動	F34照明設定（☞P.7-17）と連動します。

※再生を停止したときや、再生終了したときは、照明は消えます。
●お買い上げ時には、「**通常設定連動**」に設定されています。

1 **再生画面（再生停止中）で、Ⓥ（メニュー）を押す。**

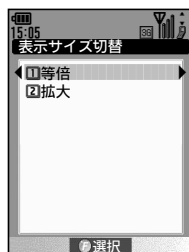
2 **「パネル照明設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **点灯方法を選び、Ⓕを押す。**
再生画面に戻ります。
■ 設定のやり直し：クリア➡操作３をくり返す

表示サイズの設定

●横176×縦144ドットより大きな動画の場合、表示サイズを設定することはできません。
●お買い上げ時には、「等倍」に設定されています。

1 **再生画面（再生停止中）で、Ⓥ（メニュー）を押す。**

2 **「表示サイズ切替」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「等倍」または「拡大」を選び、Ⓕを押す。**
表示サイズが設定されます。

動画／音楽ファイルをすべて消去する

ビデオプレイヤーまたはオーディオプレイヤーに保存されている動画／音楽ファイルをすべて消去して、お買い上げ時の状態に戻す（初期化する）ことができます。
●初期化はV801SHまたはSDメモリカードのいずれかを選んで、個別に行えます。

1 **Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「2オーディオ&ビデオ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「4プレイヤー設定」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ビデオ設定」または「2オーディオ設定」を選び、Ⓕを押す。**

5 **「プレイヤー初期化」を選び、Ⓕを押す。**

6 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**
●初期化中は、着信することができません。

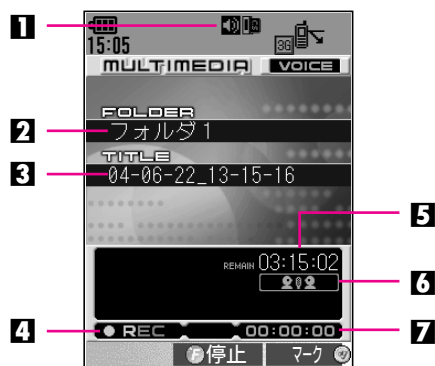
7 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：ビデオ設定画面またはオーディオ設定画面へ

8 **「1本体」または「2メモリカード」を選び、Ⓕを押す。**

9 **「1実行」を選び、Ⓕを押す。**

補足
●あらかじめ登　されている動画ファイルを消去していたときは、「**プレイヤー初期化**」を行うと、お買い上げ時の状態に戻ります。

音声を録音する

ディスプレイ表示（ボイスレコーダー）

1 録音中表示
　音中に赤色表示されます。

2 登録フォルダ

3 タイトル

4 動作状態表示
● REC ：　音中／■STOP：停止中

5 録音可能な残り時間
　音を終了する（　音した音声が登　される）、または　音中に㋮（**マーク**）を押すと変化します。

6 マイク感度表示（☞P.9-34）
[会議用アイコン]：会議用／[口述用アイコン]：口述用

7 現在の録音経過時間

録音する

V801SHのマイクを利用して、SDメモリカードに音声を　音します。

- あらかじめ、V801SHにSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-3）
  16MバイトのSDメモリカードのときは、約50分間　音することができます。
- 通話中の音声の　音はできません。
- 外部マイクとして利用できないプラグなどをイヤホンマイク端子に接続すると、正しく　音ができないことがあります。
- 電池レ　ル表示が「▯」のときは　音できません。また、　音中に電池レ　ル表示が「▯」になると、電池残量不足の確認メッセージが表示され、　音が中止されます。

1 Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。

2 「3ボイス」を選び、Ⓕを押す。

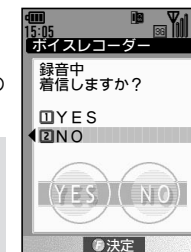
3 「2ボイスレコーダー」を選び、Ⓕを押す。

着信許可／不可の選択画面が表示されます。

■ 通常は着信不可（「2NO」を選ぶ）にすることをおすすめします。

15:05
ボイスレコーダー
録音中
着信しますか？
1YES
2NO
YES　NO
決定

はじめて録音するときや前回登録したフォルダが消去されているとき

- ボイスフォルダ画面が表示されます。このあと、　音した音声ファイルを登　するフォルダを選び、Ⓕを押します。
- フォルダ作成：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡Ⓕ➡フォルダ名入力➡Ⓕ

4 「2NO」を選び、Ⓕを押す。

　音画面が表示されます。

■ 着信許可：「1YES」選択➡Ⓕ

■ 登　するフォルダの選択：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡Ⓕ➡フォルダ選択➡Ⓕ（1つのフォルダには最大100ファイル登　可能）

■ 新しいフォルダの作成：㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ選択**」選択➡Ⓕ➡㋮（**メニュー**）➡「**フォルダ作成**」選択➡Ⓕ➡クリア（1秒以上）➡フォルダ名入力➡Ⓕ

5 Ⓕ（録音）を押す。

　音が開始されます。（　音中はスモールライトが橙色で確認点灯します。）

- 　音中に㋮（**マーク**）を押すと、以降の音声を別ファイルに分けることができます。

- 　音中は、V801SHに衝撃を与えないでください。雑音や音とびの原因となります。
- 　音中にオプション品の「**マイク付液晶オーディオリモコン**」などの外部マイクを取り付けたり、取り外すと、　音は終了します。
- SDメモリカードに音声ファイルが大量に保存されているときは、　音が開始されるまでに、しばらく時間がかかることがあります。

6 録音を終了するときは、Ⓕ（停止）を押す。

登　の確認メッセージが表示され、　音した音声が登　されます。

- 再びⒻ（**録音**）を押すと、　音を再開することができます。
  このときは、別のファイルとして同じフォルダに登　されます。

- V801SHを閉じた状態で音声を　音することもできます。（☞P.14-6）
- V801SHで　音した音声データには、　音日時のタイトルがつきます。
  タイトルは、あとで変更することができます。
- 着信許可に設定時、　音中に着信があると、　音が自動的に終了したあと、設定されている着信音が鳴り、着信をお知らせします。
- 　音中は、リピートアラームやVアプリタイマー起動設定の予定の時刻になっても、アラームやVアプリは動作せず　音が継続されます。　音終了後、アラームやVアプリが動作します。

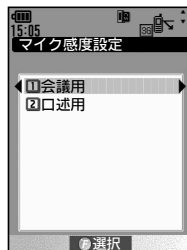
音声録音に関する設定

マイク感度の設定

音する場所や状況に応じて、マイク感度を設定します。
●マイク感度には、広い場所での会議などに適した「会議用」と、対面での打ち合わせなどに適した「口述用」とがあります。
●お買い上げ時には、「会議用」に設定されています。

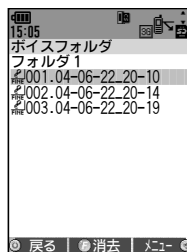
1 録音画面（録音停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「マイク感度設定」を選び、Ⓕを押す。

3「1会議用」または「2口述用」を選び、Ⓕを押す。
マイク感度が設定され、　音画面に戻ります。
●マイク感度設定が「会議用」のときは、V801SHのマイクからおよそ2m前後、「口述用」のときはおよそ20～30cmを目安にご使用ください。いずれも、一度試しに　音されることをおすすめします。

音声ファイルの消去

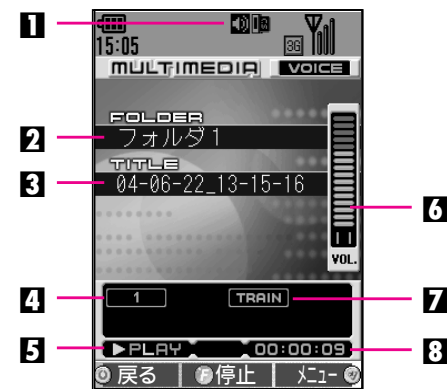
音した音声を1件ずつ消去することができます。

1 録音画面（録音停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。

2「データ消去」を選び、Ⓕを押す。

3 消去する音声を選び、Ⓕを押す。

4「1YES」を選び、Ⓕを押す。
音声が消去され、操作2の画面に戻ります。

音声を再生する

ディスプレイ表示（ボイスプレイヤー）

1 再生中表示
再生中に緑色表示されます。
2 フォルダ名
3 ファイル名
4 再生モード表示（PLAY SETTING：☞P.9-37）
[1]：1件再生／[ALL]：全件再生
5 動作状態表示
▶PLAY：再生中／■STOP：停止中
6 再生音量（☞P.9-36）
◎を押すと表示されます。
7 再生音量制限表示（TRAIN：☞P.9-37）
[TRAIN]：再生音量制限「ON」
※何も表示されないときは、TRAIN OFF設定です。
8 現在の再生経過時間

●サブディスプレイにも、再生画面が表示されます。

再生する

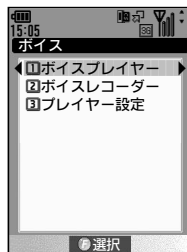
- ●再生音は、V801SHのスピーカーから聞こえます。
- ●付属品のステレオヘッドホンとアナログ変換ケーブルを利用して再生することもできます。（☞P.9-20）

1 **Ⓕを押したあと、「マルチメディア」を選び、Ⓕを押す。**

2 **「③ボイス」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①ボイスプレイヤー」を選び、Ⓕを押す。**

ボイスフォルダ画面が表示されます。

■ フォルダ作成：Ⓜ（メニュー）➡「フォルダ作成」選択➡Ⓕ➡フォルダ名入力➡Ⓕ

4 **フォルダを選び、Ⓕを押す。**

選んだフォルダ内の音声ファイルが表示されます。

■ ファイル名変更：ファイル選択➡Ⓜ（メニュー）➡「名前の変更」選択➡Ⓕ➡ファイル名入力➡Ⓕ

■ ファイル消去：ファイル選択➡Ⓜ（メニュー）➡「消去」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ

5 **再生する音声ファイルを選び、Ⓕを押す。**

ボイスプレイヤーの画面（再生画面）が表示されます。

6 **Ⓕ（再生）を押す。**

再生が始まります。

■ 音量の調整：◎（上げる）／◎（下げる）

▪TRAIN（再生音量制限：☞P.9-37）を「ON」に設定しているときは、「音量14」以上にはなりません。

■ 再生中にできること：☞P.9-4

■ 再生の停止：Ⓕ（停止）

▪再開：Ⓕ

再生中に電話着信があると

■ 再生が停止されたあと、設定されている各着信音が鳴り、着信をお知らせします。

音声再生に関する設定

- ●PLAY SETTINGとTRAINの設定は、ボイス画面の「③プレイヤー設定」（☞P.9-36）から操作することもできます。

再生モードの設定

「全件再生」に設定すると、再生する音声ファイルを指定したとき、同じフォルダに登録されている他の音声ファイルも、連続して再生します。

- ●お買い上げ時には、「１件再生」（指定した音声ファイルのみ再生する）に設定されています。

1 **再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。**

2 **「PLAY SETTING」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①１件再生」または「②全件再生」を選び、Ⓕを押す。**

メニュー画面に戻ります。

再生音量の制限（TRAIN）

再生音量を「音量０」〜「音量13」に制限するように設定します。

- ●お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。

1 **再生画面（再生停止中）で、Ⓜ（メニュー）を押す。**

2 **「TRAIN」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「①ON」または「②OFF」を選び、Ⓕを押す。**

メニュー画面に戻ります。

■ TRAINの解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

- ●「音量14」以上に設定されている状態で、TRAINを「ON」に設定すると、自動的に「音量13」に切り替わります。
- ●TRAINを「OFF」に設定し直しても、「音量14」以上の元の状態には戻りません。

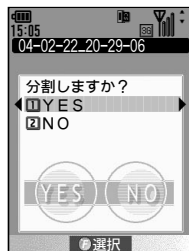
音声ファイルの分割

再生中に指定した位置または一時停止している位置で、ファイルを2つに分割します。

1 再生中に、(メニュー)を押す。

● 一時停止中でも操作できます。

2「データ分割」を選び、Ⓕを押す。

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

ボイスフォルダ画面が表示されます。

● 分割後のファイルは、分割前のファイル名に自動的に「~XX」(XXは2ケタの数字:00~99)が付いたファイル名になります。

注意

● 音声ファイルの先頭および末尾から約20秒程度の間は、データ分割はできません。
● SDメモリカードの空き容量によっては、分割できないことがあります。
● V801SH以外でフォーマットしたSDメモリカードを使用されているときは、データ分割したファイルが正しく再生されないことがあります。

メモリカード

メモリカードをご利用になる前に

V801SHでは、SDメモリカードを利用することができます。V801SHで撮影した画像や音楽を保存したり、V801SH内のデータフォルダやメモリダイヤルなどのデータを保存することができます。

- SDメモリカードへのデータの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- V801SHでSDメモリカードに保存したデータは、V801SHの設定時刻より9時間遅れた時刻で保存されます。（パソコン等で確認した場合、作成時間が9時間遅れています。）

メモリカードの取り扱い

SDメモリカードをお使いになるときは、次のことにご注意ください。
SDメモリカードの登　内容は、事故や故障によって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは控えをとっておかれることをおすすめします。
なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- V801SHの電源を入れた状態でSDメモリカードを取り付けたり、取り外したりしないでください。
- 貼られているラ　ルは、はがさないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- 新たにラ　ルやシールを貼らないでください。SDメモリカードは非常に薄く、精密に作られているため、ラ　ルやシール程度の厚みでも接触不良やデータの破壊などの原因となることがあります。
- 文字を書くときは、フェルトペン（油性）をご使用ください。
  鉛筆やボールペンは、ご使用にならないでください。SDメモリカードに損傷を与えたり、データが破壊されることがあります。
- V801SHから取り出したときは、必ず専用収納ケースに入れて保管してください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 金属端子部分を手や金属で触れないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たる所など、温度が高くなる所には置かないでください。
- 湿度の高い所やほこりが多い所には置かないでください。
- 腐食性のガスなどが発生する所には置かないでください。
- SDメモリカードを火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。
- SDメモリカードには寿命があります。長期間ご使用になると、新しくデータを書き込めなくなることがあります。
- SDメモリカードは、推奨のものをご使用ください。推奨以外のSDメモリカードは使用できない場合や正しく動作しない場合があります。

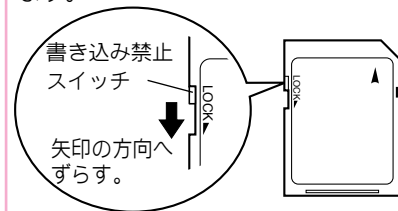
- 本機で推奨するSDメモリカードは、8Mバイト／16Mバイト／32Mバイト／64Mバイト／128Mバイト／256Mバイト／512MバイトのSDメモリカードです。（8MバイトのSDメモリカードは容量が少ないため、ご使用方法によっては音楽用または動画用のいずれかの用途にしか使えなくなることがあります。）

メモリカードを取り付ける／取り外す

取り付ける

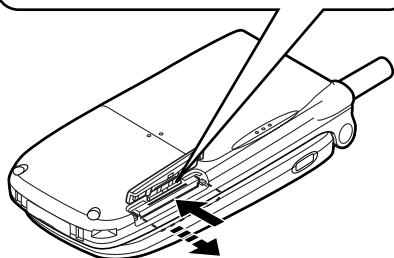
必ずV801SHの電源を切った状態で取り付けてください。

書き込み禁止スイッチについて

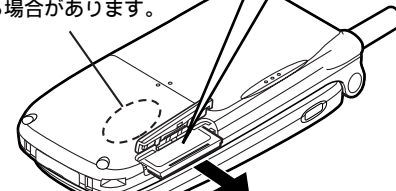
SDメモリカードには、データの誤消去を防止する「**書き込み禁止スイッチ**」がついています。「**書き込み禁止スイッチ**」を「LOCK」にすると、データの消去や保存などができなくなります。

- メモリカードスロットのカバーは、爪を使って開かないでください。カバーが傷つく恐れがあります。
- 他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになる場合は、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.10-10）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードの場合、データが正しく表示されないことがあります。

取り外す

必ずV801SHの電源を切った状態で取り外してください。

1 メモリカードスロットのカバーを開き、SDメモリカードを軽く押し込む。

SDメモリカードを軽く押し込んで手を離すと、SDメモリカードが少し飛び出てきますので、指で軽く押さえてください。

2 SDメモリカードを取り出す。

この部分を強く押さえないでください。SDメモリカードを挿入したり、取り出したりできなくなる場合があります。

まっすぐにゆっくり引き抜いてください。SDメモリカードを取り出したあと、カバーを閉じます。

メモリカードのアイコン

SDメモリカードを取り付けると、画面に次のようなマークが表示されます。

	SDメモリカードが取り付けられています。
	SDメモリカードが使用中（読み出し中や書き込み中）です。（緑色点滅または赤色点滅）
	SDメモリカードが書き込み禁止です。（赤色点灯）

●サブディスプレイには「〔アイコン〕」のマークが表示されます。

注意

- SDメモリカードを取り外すときは、必ずSDメモリカードを軽く押し込んだあと、SDメモリカードを引き抜いてください。
  無理に引き抜くと、V801SHやSDメモリカードが破損する恐れがあります。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対にSDメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外さないでください。SDメモリカードまたはV801SHが破損する恐れがあります。
- SDメモリカード以外のものを挿入しないでください。カードやV801SHが破損する恐れがあります。

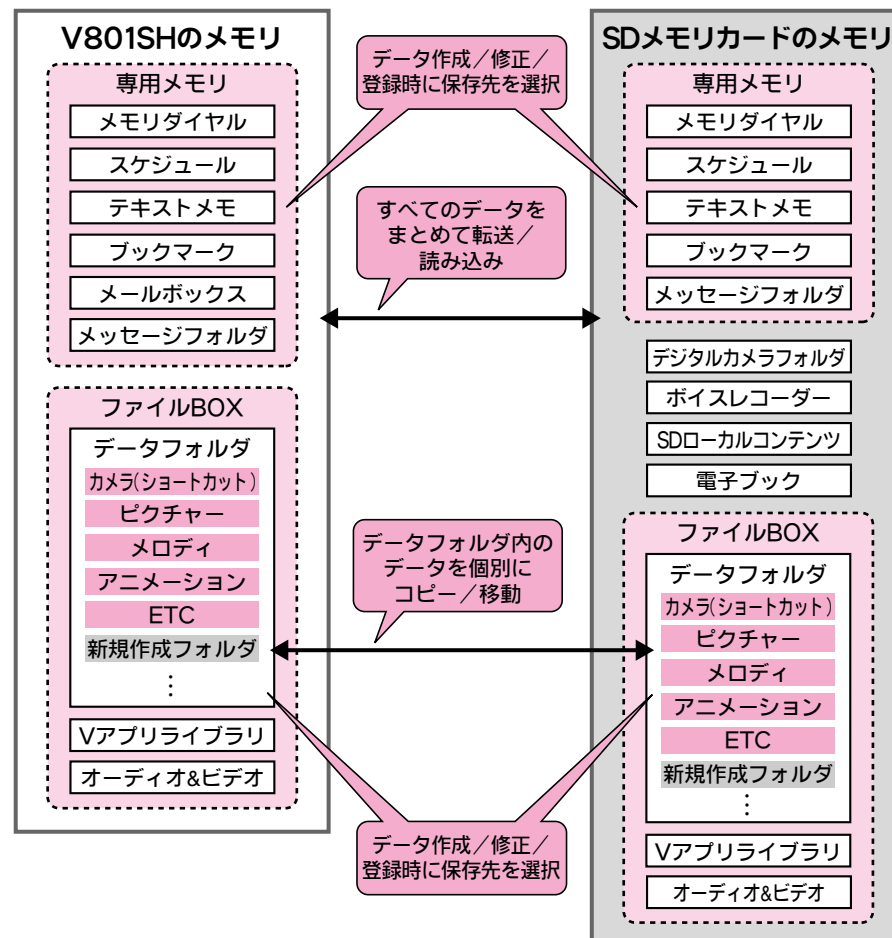
補足

- V801SHにSDメモリカードを取り付け、電源を入れたときは、SDメモリカード内の情報確認のため、待受画面が表示されるまで時間がかかることがあります。
  （SDメモリカードの容量や書き込まれているデータ量によっては、待受画面が表示されるまでの時間が異なります。）
  また、Vアプリライブラリ手動シンクロの確認メッセージが表示される場合があります。（☞P.10-4）

メモリカードについて

メモリカードのメモリ管理方法について

SDメモリカードのメモリ管理方法は、基本的にV801SH（本体）と同様です。各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」とがあります。それぞれのメモリには、次の方法でV801SHからデータを保存します。

- V801SHとSDメモリカードには、それぞれ別のデータを保存することも、同じデータを保存することもできます。（ウェブのメッセージやブックマーク、Vアプリライブラリ、データフォルダのコピー／転送禁止ファイルなど、同じデータを保存できない場合もあります。）
  目的に応じて使い分けてください。

メモリカードを利用する

保存されているデータを確認する

V801SHでSDメモリカードに保存したデータは、次の方法で確認します。

各機能から確認する

「**メモリカードへ切替**」が表示される次の機能では、直接SDメモリカード内のデータを利用できます。

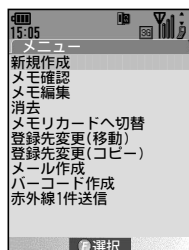
- テキストメモ
- スケジュール
- メッセージフォルダ（ウェブ）
- ブックマーク（ウェブ）
- Vアプリライブラリ

1 各機能の画面で、（メニュー）を押す。

- ブックマークの画面からは、（**メニュー**）を押します。

SDメモリカード内のメモリダイヤルの確認：メモリダイヤルの検索画面またはリスト画面➡（**切替**）（☞P.5-17）

テキストメモの場合

2 「メモリカードへ切替」を選び、を押す。

V801SHに登録されているデータの利用：「**本体へ切替**」選択➡

- 他の機器で使用していたSDメモリカードをお使いになる場合は、必ず「**カード手動シンクロ**」（☞P.10-10）を行ってください。ただし、他の機器で使用していたSDメモリカードの場合、データが正しく表示されないことがあります。
- パソコン等でSDメモリカードに保存したデータを、V801SHで確認した場合、データのファイル属性は無効となります。

データフォルダから確認する

- SDメモリカード内のフォルダやファイルも、V801SH内のデータフォルダと同様に、いろいろな管理や設定（☞P.11-49〜P.11-52）を行えます。

1 の順に押す。

データフォルダ画面になります。

2 （メニュー）（）の順に押す。

SDメモリカード内のデータフォルダ画面が表示されます。
（画面２行目の右端に「」が表示されます。）

V801SHのデータフォルダを利用：（**メニュー**）➡（）

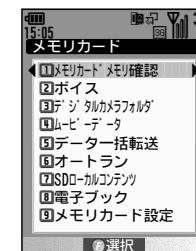
メモリカード

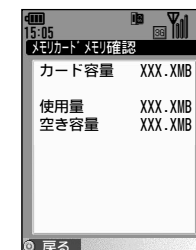
3 確認するファイルを選び、を押す。

選んだファイルの種類に応じて、再生や表示が行われます。

メモリカードの使用状況を確認する

1 （）の順に押す。

メモリカードメニューが表示されます。

2 「1メモリカードメモリ確認」を選び、を押す。

メモリ使用量や空き容量が表示されます。

- SDメモリカードのメモリは、お客様が直接ご利用できる部分（ユーザー領域）と著作権保護などに使用する部分があります。
  例：16MバイトのSDメモリカードの場合
  - ユーザー領域は、約14.2Mバイトになります。メモリカードメモリ確認の「**カード容量**」で表示される数値は、ユーザー領域のメモリ容量です。

メモリカード内のデジタルカメラフォルダを表示する

デジタルカメラモードで撮影した静止画は、SDメモリカード内の「**デジタルカメラフォルダ**」に登　されます。

このデジタルカメラフォルダを表示して、静止画を確認します。

- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。
- デジタルカメラフォルダの静止画に対してプリント枚数などを指定することもできます。（DPOF：☞P.6-38）

1 **Ⓕ㋱（🗂）の順に押す。**

2 **「③デジタルカメラフォルダ」を選び、Ⓕを押す。**

デジタルカメラフォルダ（DCIM）の内容が表示されます。

3 **フォルダを選び、Ⓕを押す。**

- デジタルカメラモードで撮影した静止画は、通常「100SHARP」フォルダ内に登　されています。

■ 壁紙やデータフォルダに登　：静止画選択➡㋱（**メニュー**）（☞P.11-34）

■ 静止画の消去：静止画選択➡㋱（**メニュー**）➡「**消去**」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ

4 **確認する静止画を選び、Ⓕを押す。**

■ 確認終了：PWR

パソコンなどの他の機器での画像編集

V801SHのデジタルカメラモードで撮影した画像は、DCFに対応しています。デジタルカメラモードの画像をパソコンなどで編集する場合、以下の点にご注意ください。

- V801SHで撮影したデジタルカメラ画像をパソコンで加工／編集し、上書き保存した場合、自動的にDCF規格（☞P.6-5）以外のファイルとなってしまい、V801SHで画像を再表示できなくなる場合があります。
- パソコンで加工／編集する場合、SDメモリカード内の元ファイルをパソコンのハードディスクなどにコピーしたあと、コピーした画像ファイルを操作されることをおすすめします。

メモリカード内の動画を表示する

ビデオカメラモードで撮影した動画は、SDメモリカード内に登　されます。

- ムービーモードでも、登　先をSDメモリカードに設定できます。
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 **Ⓕ㋱（🗂）の順に押す。**

2 **「④ムービーデータ」を選び、Ⓕを押す。**

■ 動画の情報の確認：確認する動画選択➡㋱（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ

- メニュー画面に戻る：◎（**戻る**）

3 **確認する動画を選び、Ⓕを押す。**

再生が始まります。Ⓕ（**停止**）を押すと、一時停止します。

■ 再生中の操作：☞P.6-32

■ 続けて、別の動画を確認：◎（**戻る**）

■ 確認終了：PWR

メモリカード内のローカルコンテンツを表示する

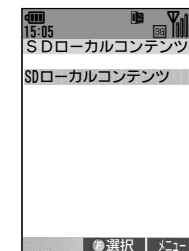
SDメモリカード内のHTMLファイルを表示して、SDメモリカード内のファイルやインターネットにアクセスします。

- ウェブを「OFF」にしているときは、操作できません。「ON」にしてから操作してください。（☞ⓄP.1-8）
- パソコンでSDメモリカードを確認したとき、ローカルコンテンツは次のフォルダに保存されています。
  - 「PRIVATE/SDJPHONE/SDコンテンツ」

1 **Ⓕ㋱（🗂）の順に押す。**

2 **「⑦SDローカルコンテンツ」を選び、Ⓕを押す。**

3 **表示したいタイトルを選び、Ⓕを押す。**

10 メモリカード

メモリカードの情報を更新する

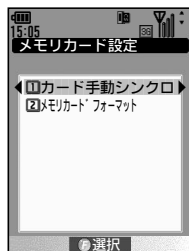
SDメモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコン等で利用（データ編集や追加、消去など）した場合、「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新する必要があります。

- 「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新しないと、SDメモリカードが正しく動作しない場合があります。
- SDメモリカード内のファイル数やデータ量によっては、情報更新が完了するまで時間がかかることがあります。
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 Ⓕ㊫（🗉）の順に押す。

2 「⑨メモリカード設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「①カード手動シンクロ」を選び、Ⓕを押す。

4 「①実行」を選び、Ⓕを押す。

SDメモリカードの情報が更新され、待受画面に戻ります。

- SDメモリカードの情報更新を途中で中止：◎（**キャンセル**）➡「①YES」選択➡Ⓕ
- SDメモリカードの情報更新中にV801SHを利用：SDメモリカードの情報更新中に☎

注意
- SDメモリカードに空き容量がないときは、カード手動シンクロができない場合があります。

メモリカードをフォーマット（初期化）する

フォーマット（初期化）されていないSDメモリカードを使うときは、V801SHでフォーマットする必要があります。

- 付属品のSDメモリカードは、あらかじめフォーマットされています。
  フォーマットを行うと、あらかじめ登　されているサンプルデータ（auto runファイルやローカルコンテンツ対応のHTMLファイル）が消えてしまいますのでご注意ください。
- 他の機器でフォーマットしたSDメモリカードは、V801SHでは正常に使用できない場合があります。（動作が遅くなったり、利用できない機能があります。）
- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

注意
- SDメモリカードをフォーマットすると、SDメモリカード内のすべてのデータが消去されます。ご注意ください。

1 Ⓕ㊫（🗉）の順に押す。

2 「⑨メモリカード設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「②メモリカードフォーマット」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：メモリカード設定メニューに戻る

5 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

SDメモリカードがフォーマットされます。

注意
- メモリカードフォーマットは、電池パックが十分に充電された状態で行ってください。
- メモリカードフォーマット中は、絶対にSDメモリカードや電池パックを抜かないでください。SDメモリカードまたはV801SHが破損する恐れがあります。

自動的にHTMLファイルを実行する

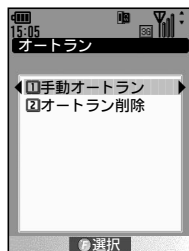
オートラン機能のはたらき

SDメモリカード内にauto runファイルがあると、SDメモリカード挿入状態で電源を入れたときに、auto runファイルで指定されたローカルコンテンツ対応のHTMLファイルが自動的に表示されます。

●SDメモリカードを取り付けたり、取り外すときは、電源を切った状態で行ってください。

手動でオートランファイルを実行する

1 Ⓕ㊍（🅂）の順に押す。

2「6オートラン」を選び、Ⓕを押す。

3「1手動オートラン」を選び、Ⓕを押す。
●オートラン機能が実行されます。

メモリカード

オートランファイルを削除する

1 Ⓕ㊍（🅂）の順に押す。

2「6オートラン」を選び、Ⓕを押す。

3「2オートラン削除」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：SDメモリカードメニューに戻る

5「1実行」を選び、Ⓕを押す。
auto runファイルが削除されます。

補足
●付属品の16MバイトSDメモリカードには、オートラン機能に対応したauto runファイルとローカルコンテンツ対応のHTMLファイルがあらかじめ登　されています。メモリカードフォーマット（☞P.10-11）を行うと、これらのファイルは削除されてしまいますので、ご注意ください。
●auto runファイルを一度削除すると、元に戻すことはできません。
また、自動的にHTMLファイルを表示したり、手動でオートラン機能を実行することもできません。
●auto runファイルを削除してもローカルコンテンツ対応のHTMLファイルは削除されません。ローカルコンテンツを表示する操作（☞P.10-9）を行うとHTMLファイルを表示することができます。

メモリカード内のデータ転送

V801SHとSDメモリカードの間では、次の方法で各データをやりとりすることができます。

コピー／移動	指定したデータを、１件ずつSDメモリカードに移動／コピーします。 コピー／移動できるデータは、次のとおりです。 メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ETC、ユーザー作成フォルダ）、ウェブのブックマーク、メッセージフォルダ※、Vアプリ※
一括転送 （☞P.10-14）	データの種類ごとに、すべてのデータをSDメモリカードに転送します。 転送できるデータは、次のとおりです。 上記のコピー／移動できる各データ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）

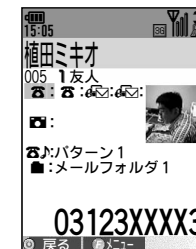
※　コピーは不可

●データフォルダ内のファイルをコピー／移動ができます。（☞P.11-51〜P.11-52）

指定したデータをコピー／移動する

データのコピー／移動は、「登録先変更（コピー）」や「登録先変更（移動）」が表示される機能や画面で行えます。ここでは、メモリダイヤルのコピー／移動を例に説明します。（データフォルダ内のデータも同様の操作でコピー／移動できます。）

●移動したデータは移動元から消去されます。

1 コピー／移動したいメモリダイヤルを呼び出す。
（☞P.5-18〜P.5-19）

2 Ⓕ（メニュー）を押す。

3「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」を選び、Ⓕを押す。
■ データフォルダ内のデータの場合：「コピー」／「移動」選択
➡Ⓕ

4 ◎（🅂）を押す。
登　先がSDメモリカードになります。このあとメモリ番号を入力すると、指定したメモリダイヤルがコピー／移動されます。
■ 登　先の切替：◎（くり返し押す）
■画面上の表示：🅂➡🅂➡🅂

10

メモリカード

メモリダイヤルやデータフォルダ以外のデータのコピー／移動

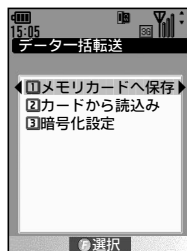
1 コピー／移動したいデータを選び、Ⓕ（メニュー）またはⓋ（メニュー）を押す。
2「登録先変更（コピー）」または「登録先変更（移動）」を選び、Ⓕを押す。
●指定したデータが、コピー／移動されます。

データをまとめて転送する

一括転送できるデータの種類と、転送後のファイルの状態は次のとおりです。

1つのファイルにまとめて保存	次の各機能では、機能内のすべてのデータを1つのバックアップファイルとしてSDメモリカードに保存します。SDメモリカードへの保存後は、V801SHから確認することはできません。 メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール（受信メール、送信メール、送信トレイ）、ウェブのブックマーク
個別のファイルで保存	次の各機能では、機能内のデータが個別にSDメモリカードに保存されます。SDメモリカードに保存後も、V801SHから確認することができます。 データフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ETC、ユーザー作成フォルダ）、Vアプリライブラリ、ウェブのメッセージフォルダ

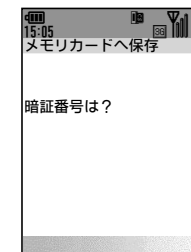
●データの種類を指定して一括転送することもできます。
●著作権で保護されている（コピー不可）データをSDメモリカードに一括転送した場合、SDメモリカードにのみ保存され、V801SHからは削除されます。（著作権で保護されているデータはコピーできません。）
●データの内容によっては、SDメモリカードに転送できないデータがあります。
●SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。
●電池残量が少ない場合、一括転送はできません。
●この機能は、個人データのバックアップや同機種間（SDメモリカード対応機）での情報共有、または機種交換時の個人データの移動等の目的でご利用されることをおすすめします。

メモリカードに一括転送する

1 ⒻⓋ（🖫）の順に押す。

2「5データ一括転送」を選び、Ⓕを押す。

3「1メモリカードへ保存」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：データ一括転送の画面に戻る

5「1YES」を選び、Ⓕを押す。

●転送中は、着信することができません。

6 一括転送するデータの種類を選び、Ⓕを押す。

■ 一括転送データ内に画像あり（「全て」／「メモリダイヤル」選択時）：画像データ転送の確認画面が表示➡「1YES」／「2NO」選択➡Ⓕ

7「1YES」を選び、Ⓕを押す。

SDメモリカードへの一括転送が完了すると、確認メッセージが表示され、データ一括転送の画面に戻ります。

●メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマークを一括転送した場合、1つのファイルとして保存されます。（転送日のファイル名がつきます。）

■ 他のデータの種類の一括転送：操作3～6をくり返す
■ 一括転送を途中で中止：◎（キャンセル）

注意

●内容によっては、転送できないデータもあります。
●メモリダイヤルやスケジュールに設定した、動画や音楽の設定は転送できません。（転送すると固定パターンの「パターン1」に設定され保存します。）
●一括転送されたデータは、種類や内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。
●同じファイル名のデータは転送されません。
●SDメモリカードの空き容量が少ない場合は、データの登 （移動／コピー／データ一括転送を含む）がうまくできないことがあります。
●メモリダイヤル、メール、スケジュールで、暗号化設定（☞P.10-17）を「1ON」に設定してSDメモリカードに一括転送したこれらのデータは、お客様のV801SHでのみ利用できます。

メモリカードから読み込む

SDメモリカードに一括転送したデータを、V801SHに読み込みます。

●**SDメモリカードからデータを読み込むと、V801SH内のデータは消去されます。消去してもよいかを十分ご確認のうえ、操作してください。**

●著作権で保護されている（コピー不可）データをSDメモリカードから読み込んだ場合、V801SHにのみ保存され、SDメモリカードからは削除されます。（著作権で保護されているデータはコピーできません。）

●電池残量が少ない場合、SDメモリカードから読み込みできません。

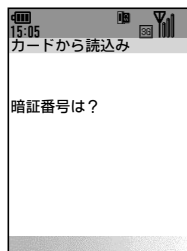
1 **P.10-14の操作1～2を行う。**

2 **「2カード から読込み」を選び、Ⓕを押す。**

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

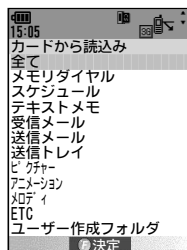
■ 操作用暗証番号の入力間違い：データ一括転送の画面に戻る

4 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

●読込み中は、着信することができません。

■転送するデータがない項目は、グレーで表示されます。

5 **読み込むデータの種類を選び、Ⓕを押す。**

■ メモリダイヤル、スケジュール、テキストメモ、メール、ブックマーク選択時：操作6へ

■ その他のデータの種類選択時：操作7へ（SDメモリカード内にある該当するデータすべてが読み込まれます。）

6 **読み込むファイルを選び、Ⓕを押す。**

●ファイルが複数ある場合は、ファイル名の転送日を確認して選んでください。

例：2004年2月20日に一括転送した場合のファイル名「040220XX」
（XXは、00～99、aa～zzの2ケタの数字、英字）

■ SDメモリカードに一括転送したファイルの消去：消去するファイル選択➡Ⓥ（消去）➡「1YES」選択➡Ⓕ

7 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**

8 **「1実行」を選び、Ⓕを押す。**

読み込みが開始されます。

●V801SHへの読み込みが完了すると、確認メッセージが表示され、データ一括転送の画面に戻ります。

■ 他のデータの種類を読み込む：操作2～7をくり返す

■ 読み込みを途中で中止：◎（キャンセル）

注意

●**V801SHの空き容量が少ない場合は、データの登録（移動／コピー／データ一括転送を含む）がうまくできないことがあります。**

●データ一括転送でSDメモリカードから連写データを読み込んだとき、データの登録がうまくできなかった場合、V801SHのデータフォルダの連写フォルダ内に「未完成.SRF」が自動的に作成されることがあります。

●データ一括転送でSDメモリカードから読み込んだとき、登　されているデータによっては、データの消去に時間がかかることがあります。（20秒程度）

●SDメモリカードに一括転送した著作権で保護されている（コピー不可）データを再度読み込むことができるのは、ご自分のボーダフォン携帯電話のみとなります。著作権で保護されているデータをSDメモリカードを介して、第三者（ご自分と異なる電話番号）のボーダフォン携帯電話に転用することはできませんので、ご注意ください。

●SDメモリカードに一括転送したデータは、V801SHからは確認することはできません。（SDメモリカードから読み込むと、確認することができます。）

暗号化を設定する

V801SH内のデータをSDメモリカードにまとめて転送する場合、メモリダイヤルやメール、スケジュールを暗号化して保存するかどうかを設定します。暗号化してSDメモリカードに保存されたデータは、ご利用のV801SHでのみ正しく表示されます。他のボーダフォン携帯電話やパソコン等の機器で表示させることはできません。

●暗号化は、メモリダイヤル、メール、スケジュール、それぞれ個別に設定できます。

●お買い上げ時には、すべて「OFF」に設定されています。

●あらかじめ、V801SHにSDメモリカードを取り付けておいてください。（☞P.10-3）

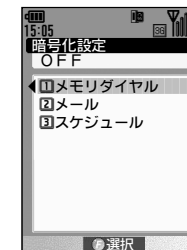
1 **P.10-14の操作1～2を行う。**

2 **「3暗号化設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **暗号化を設定するデータの種類を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

5 **他のデータの種類を設定するときは、操作3～4をくり返す。**

■ 操作終了：

データ管理

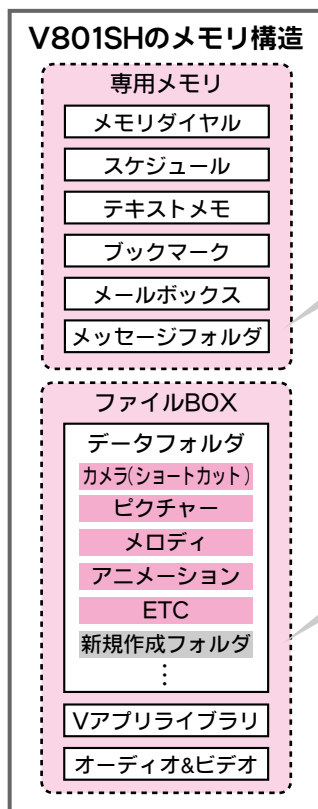
データフォルダについて

データフォルダの構成

V801SHのメモリには、メモリダイヤルやメッセージなど、各機能別のデータが保存されている「**専用メモリ**」と、ファイルの種類別にデータを管理する「**ファイルBOX**」があります。

- V801SH で作成または入手したデータは、利用した機能やファイル形式によって専用メモリまたはファイルBOXに自動的に振り分けて保存されるようになっています。

V801SHのメモリ構造

- 専用メモリ
  - メモリダイヤル
  - スケジュール
  - テキストメモ
  - ブックマーク
  - メールボックス
  - メッセージフォルダ
- ファイルBOX
  - データフォルダ
    - カメラ(ショートカット)
    - ピクチャー
    - メロディ
    - アニメーション
    - ETC
    - 新規作成フォルダ
    - ⋮
  - Vアプリライブラリ
  - オーディオ&ビデオ

各機能で作成／入手したデータが保存される専用メモリです。機能ごとに登録できる容量（件数など）が決められています。

各機能で作成／入手したデータの形式によって自動的に振り分けて保存されるメモリです。ファイルBOX全体の容量が決められています。

- 専用メモリ内のデータには、「**vファイル**」として、ファイルBOXのデータフォルダに登できるものもあります。（☞P.11-41）
- V801SHのファイルBOXには、最大約５Mバイトまで登　できます。

ファイルBOXのメモリ使用状況を確認するとき

- Ⓕ③①の順に押し、メモリ確認の画面を表示したあと、「**④ファイルBOX**」を選び、Ⓕを押します。

データフォルダに登録できるファイル

データフォルダには、あらかじめファイルの種類別にいくつかのフォルダが登　されており、各機能でデータを作成したり、メールやウェブなどでデータを入手すると、ファイル形式に応じて該当するフォルダに保存されるようになっています。

- 各フォルダには、次のファイル形式のデータが保存されます。

データフォルダ

- カメラ(ショートカット)：カメラへのショートカット
  - **モバイルカメラモードのファイル**（保存先：「**モバイルカメラデータ**」）
  - **デジタルカメラモードのファイル**（保存先：「**デジタルカメラデータ**」）
  - **ムービーモード／ビデオカメラモードのファイル**（保存先：「**ムービーデータ**」）
- ピクチャー：V801SHで撮影した静止画などの画像（ピクチャー）ファイル
- メロディ：V801SHで作成したオリジナル着信音などのメロディファイル
- アニメーション：V801SHで作成したアニメーションなどのアニメファイル
- ETC：上記ファイルのほか、vファイル、HTMLファイル、MMLファイル、EMLファイル、辞書ファイルなど
- 新規作成フォルダ：お客様が作成されたフォルダ（ファイル形式はETCフォルダと同様）

※連写画像を撮影／登録すると、連写フォルダが自動的に作成されます。

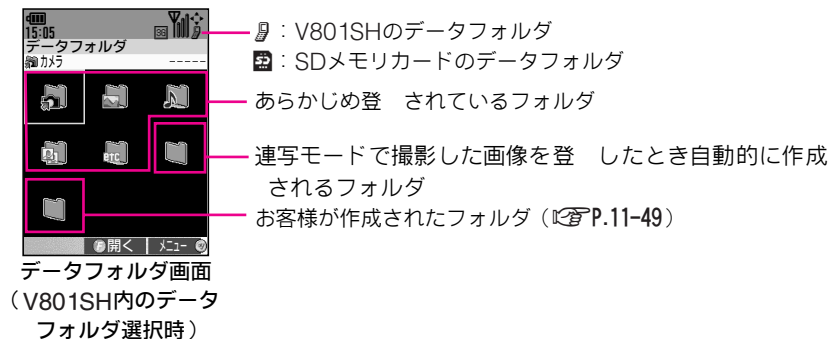
ディスプレイ

データフォルダ画面は、待受画面でⓄを押したあと、「**③データフォルダ**」を選びⒻを押すと表示されます。

- データフォルダ内のファイル表示方法を設定できます。（☞P.11-6）

- 📱：V801SHのデータフォルダ
- SD：SDメモリカードのデータフォルダ
- あらかじめ登　されているフォルダ
- 連写モードで撮影した画像を登　したとき自動的に作成されるフォルダ
- お客様が作成されたフォルダ（☞P.11-49）

データフォルダ画面（V801SH内のデータフォルダ選択時）

11 データ管理

各種アイコンについて

■静止画やアニメーションファイルのアイコン

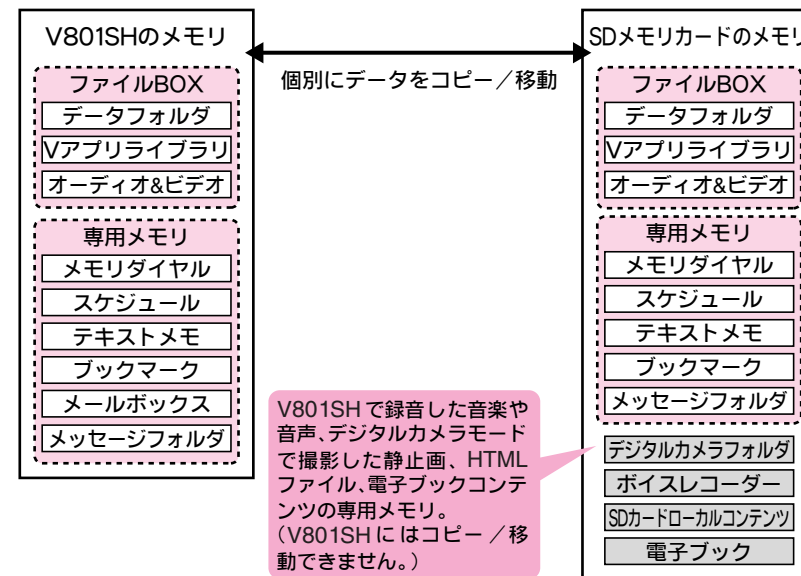
アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
※1	JPEGファイル（.JPG）	JPEG形式の静止画像
※1	PNGファイル（.PNG）	PNG形式の静止画像
	連写画像（分割画像＋4枚または9枚のJPEGファイル）（.SRG）	連写モードで撮影した画像
	E-アニメータファイル（NEVAファイル）（.NVA）	アニメーション（サウンド付きの場合もあり）
	アニメファイル（JPEGアニメ、PNGアニメ、JPEG/PNGアニメ）※2	アニメーション（サウンド付きの場合もあり）
	MNGファイル（.MNG）	JPEGファイルやPNGファイルを組み合わせた簡易アニメーション

※1　文字が青色のアイコンは［転送可］、文字が赤色のアイコンは［転送不可］
※2　JPEGアニメ、PNGアニメ、JPEG/PNGアニメは、拡張子が表示されません。

■メロディファイルのアイコン

アイコン	ファイル形式（拡張子）	内容
	SMAFファイル（.MMF）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	メロディファイル（.SMD）	ボーダフォンライブ！で入手したメロディ［（青）：転送可／（赤）：転送不可］
	オリジナル着信音ファイル（.SJM）	自分で作曲したメロディ

メモリカード

V801SHでは、データの保存場所として「**SDメモリカード**」を利用することもできます。SDメモリカードには、V801SHで　音した音楽や撮影した画像や動画が保存されるほか、V801SH内のデータを一括保存したり、作成したデータをSDメモリカード内に直接登　することができます。また、V801SHとSDメモリカード間でデータをコピー／移動することも可能です。

●SDメモリカード：☞P.10-2

●メールボックスのデータ（メッセージ）は、個別にSDメモリカードにコピー／移動することはできません。ただし、メールボックスのメッセージをvMessage形式のデータとしてデータフォルダに保存したり、データフォルダにあるvMessage形式のデータをメールボックスに読み込むことはできます。
●データの種類や内容によっては、コピー／移動できない場合があります。
●SDメモリカードに保存したデータの種類や内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。
●他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）した場合は、「**カード手動シンクロ**」を行い、SDメモリカードの情報を更新する必要があります。（☞P.10-10）

データの保存先を設定する

■ データの保存先を、あらかじめV801SH（本体）またはSDメモリカードのいずれかに設定しておくことができます。
Ⓕ3 1 5➡「3 データフォルダデータ」選択➡「1 本体」／「2 メモリカード」選択➡Ⓕ
●データフォルダ内のフォルダを指定することはできません。
●データによっては、SDメモリカードにのみ登　できるものもあります。そのときは、ここでの設定に関わらず、SDメモリカードが選択されます。

データフォルダの表示方法を設定する

データフォルダでは、ファイル表示方法を次の中から設定します。

画像一覧表示	登　されているファイルを画像一覧で表示します。
ファイル名一覧表示	登　されているファイルをファイル名一覧で表示します。

1 ◎3の順に押す。

2 ㋲（メニュー）を押す。

3「ファイル名一覧表示」または「画像一覧表示」を選び、Ⓕを押す。
●これ以降、選んだ方法で表示されます。

ファイルを日時順や名前順に並べ替える

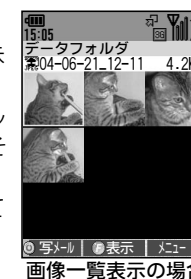
■ ファイル名一覧表示のとき、データフォルダ内のファイルは、次の操作を行うと日時順やファイル名順に並べ替えて表示することができます。（この設定は、選んだフォルダだけでなく、すべてのフォルダに有効になります。）
1 データフォルダ画面またはファイル表示画面で、◎を押して画面3行目のフォルダ名（「データフォルダ」や「ピクチャー」など）を選ぶ。
2 ㋲（メニュー）押す。
3「並べ替え」を選び、Ⓕを押す。
並べ替え方法の選択画面が表示されます。
4 並べ替え方法を選び、Ⓕを押す。
■ この操作以降、選んだ方法で並べ替えて表示されます。フォルダ内のファイル数が多い場合、並べ替えを行うとフォルダ内のファイル表示に時間がかかることがあります。このときは、上記の操作で「**並べ替えしない**」に設定すると、ファイル表示が早くなります。
■ フォルダ内に181ファイル以上ある場合は、「**日時**」または「**ファイル名**」に設定しているときでも、並べ替えて表示されません。

保存されているファイルの確認

データフォルダ内のファイルを確認する

1 ◎3の順に押す。
■ SDメモリカード内のデータの確認：㋲（メニュー）➡◎（☞P.10-6）

2 確認するフォルダを選び、Ⓕを押す。
フォルダ内のファイル（画像一覧またはファイル名一覧）が表示されます。（ファイル表示画面：☞P.11-8）
●フォルダ内にご自分でフォルダを作成しているときは、フォルダも表示されます。このあと、フォルダを選びⒻを押すと、そのフォルダ内のファイルが表示されます。
●フォルダ内のファイルは、日時順やファイル名順に並べ替えて表示することもできます。（☞P.11-6）
■ フォルダの選びかた：☞P.11-9
■ 全画面スクロール：◎（画面上へ）／◎（画面下へ）
■ ファイル名一覧の場合に行えます。

画像一覧表示の場合

3 確認するファイルを選び、Ⓕを押す。
選んだファイルのファイル形式に応じて、表示または再生されます。

補足

連写画像を確認したとき
●分割画像が表示されます。◎を押すと、連写画像内の静止画を1枚ずつ確認することができます。
240　320ドットより大きい画像（JPEGファイル）を確認したとき
●画面サイズに縮小して表示されます。
●実際のサイズで表示するときは、㋲（メニュー）を押したあと、「**実画像表示**」を選び、Ⓕを押します。

4 データフォルダ画面に戻るときは、クリアを押す。

11 データ管理

ディスプレイ

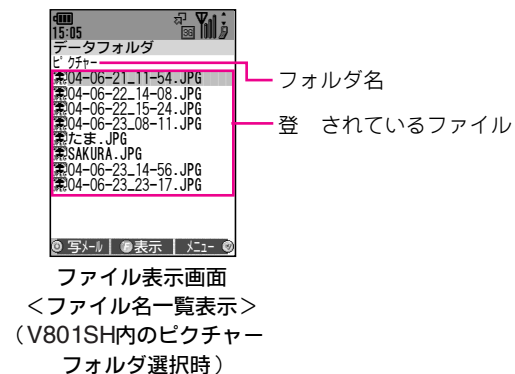
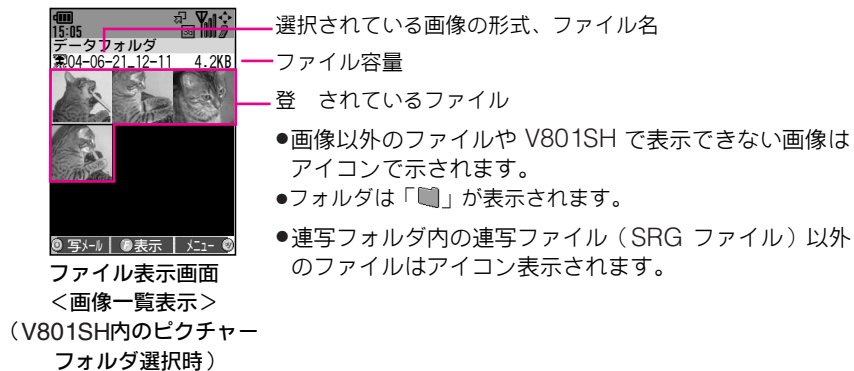
選択されている画像の形式、ファイル名
ファイル容量
登　されているファイル

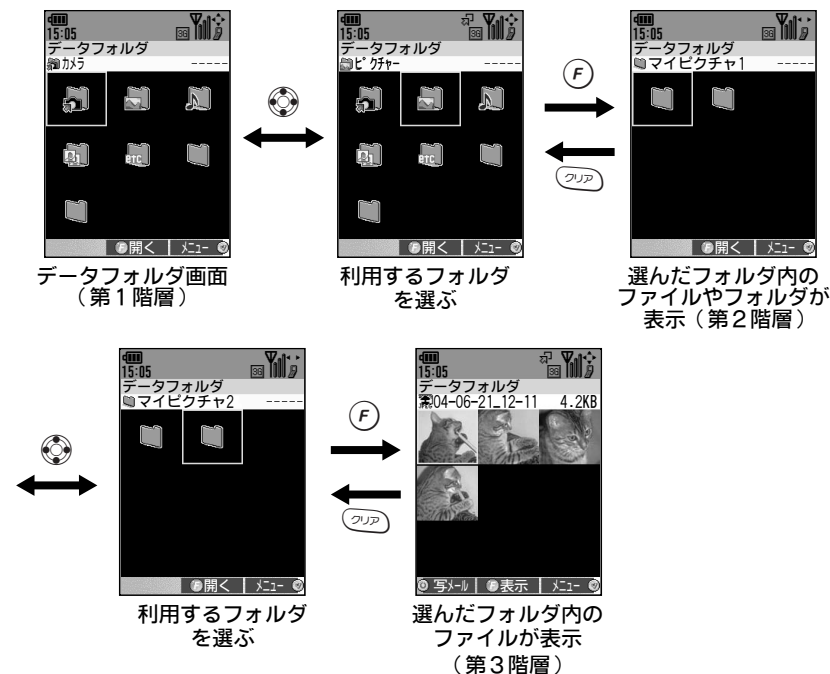
●画像以外のファイルや V801SH で表示できない画像はアイコンで示されます。
●フォルダは「📁」が表示されます。
●連写フォルダ内の連写ファイル（SRG ファイル）以外のファイルはアイコン表示されます。

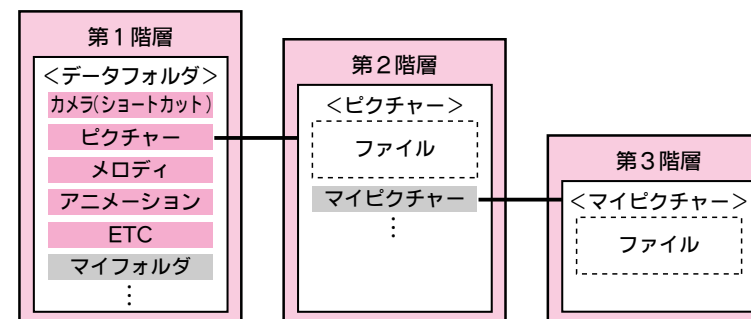
ファイル表示画面
<画像一覧表示>
（V801SH内のピクチャーフォルダ選択時）

フォルダ名
登　されているファイル

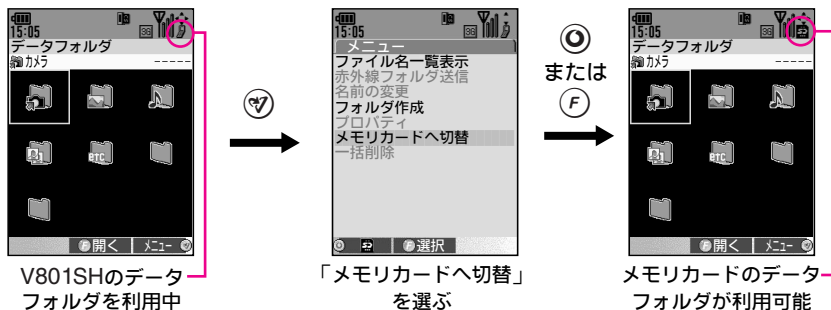
ファイル表示画面
<ファイル名一覧表示>
（V801SH内のピクチャーフォルダ選択時）

11
データ管理

フォルダを選択する

データフォルダ画面で、目的のフォルダを選択したあと、Ⓕを押します。
選んだフォルダ内のファイルやフォルダが表示されます。（第２階層）
さらにフォルダを選びⒻを押すと、下の階層のファイルが表示されます。
●フォルダ内のファイルを選びⒻを押すと、選んだファイルの形式に応じて、表示または再生されます。

●前の画面（１つ上の階層）に戻るときは、クリアを押します。
●データフォルダでは、ご自分でフォルダを作ることにより、３階層までの構造でファイルを管理することができます。（下の図の「**マイフォルダ**」、「**マイピクチャー**」はお客様が作成されたフォルダを表しています。）

11
データ管理

■メモリカードのデータフォルダを利用する

V801SHのデータフォルダとSDメモリカード内のデータフォルダは、必要に応じてメニュー操作で切り替えて利用することができます。

●現在利用しているデータフォルダの種類は、画面右上のマークで確認できます。（「」: V801SHのデータフォルダ、「」: SDメモリカードのデータフォルダ）

●V801SHのデータフォルダに戻すときは、「**メモリカードへ切替**」のかわりに「**本体へ切替**」を選びます。

データ登録

V801SHで作成したオリジナル着信音やアニメーション、ボーダフォンライブ！で入手したデータやvファイルなどは、データフォルダへの登　時に、登　するフォルダを選ぶことができます。

●データの登　前に、タイトル（ファイル名）入力画面が表示される場合があります。
●データの登　時には、それぞれのファイル形式に応じたフォルダが最初に表示される場合もあります。（下の図は、JPEGファイルを登　するときの例です。）

●登　できないフォルダは、グレー表示され選択できません。

●フォルダ内に同じ名前のファイルがあるときに登　すると、登　するファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加される場合があります。

画像の表示サイズを切り替える

データフォルダ内の画像やアニメーション、画像付きSMAFファイルでは、画像を表示中に(スケジュール/メモ)を押すと、画像の表示サイズを「等倍」⇔「２倍」に切り替えることができます。

●ファイル形式やデータの内容によっては、表示サイズを切り替えできない場合もあります。また、表示サイズを「２倍」にしたとき、画像の中心部分のみ表示され、画像のすべてを表示できない場合があります。
●等倍の時は「」、２倍の時は「」がディスプレイ上部に表示されます。

フォルダ内の画像を連続して表示する

ピクチャーフォルダ内の画像、デジタルカメラフォルダ内の画像を連続して表示します。

●連写画像は、連続表示できません。
●次の画像へ切り替わる間隔（連続表示スピード時間）を設定することもできます。

1 **◎(3)の順に押す。**

2 **確認するフォルダを選び、(F)を押す。**

3 **確認するファイルを選び、(メニュー)（メニュー）を押す。**

4 **「連続表示」を選び、(F)を押す。**

選択している画像から、連続表示が開始されます。

- 画像の表示サイズの変更：(スケジュール/メモ)（「等倍」⇔「２倍」切替）
- 連続表示の停止：(F)（停止）
  - ■連続表示の再開：(F)（再開）
- データフォルダ画面に戻る：連続表示中に(F)（停止）➡◎（戻る）
- 次の画像へ早送り：(メニュー)（次へ）
- 前の画像へ早戻し：連続表示中に◎（前へ）

連続表示スピード時間を設定する

●お買い上げ時には、「普通」に設定されています。

1 **◎(3)の順に押す。**

2 **確認するフォルダを選び、(F)を押す。**

3 **確認するファイルを選び、(メニュー)（メニュー）を押す。**

4 **「連続表示スピード設定」を選び、(F)を押す。**

5 **「1速い」、「2普通」、「3遅い」のいずれかを選び、(F)を押す。**

プロパティを確認する

1 **データフォルダ画面またはファイル表示画面で、確認したいフォルダまたはファイルを選ぶ。**

2 **Ⓥ（メニュー）を押す。**

3 **「プロパティ」を選び、Ⓕを押す。**

フォルダやファイルの情報が表示されます。◎を押すと、隠れている項目が表示されます。

●各項目の内容は次の表のとおりです。

データサイズ	データサイズ（メール添付時のサイズ）
保存サイズ	V801SHまたはSDメモリカード内での保存サイズ
コピー転送	メール添付やデータ加工、データフォルダ内でのコピーの可／不可
保存	データフォルダへの保存の可／不可
外部転送	SDメモリカードへのコピーや移動の可／不可

ファイルをVGSメールに添付

■ⓄⒹ3➡フォルダ選択➡Ⓕ➡添付ファイル選択➡Ⓥ（**メニュー**）➡「**メール添付**」選択➡Ⓕ➡宛先など他の項目を入力し、VGSメールを送信：☞Ⓞ P.3-9〜P.3-14

●「**メール添付**」が選択できないファイルの場合、操作できません。

●詳しくはP.6-34、P.6-37を参照してください。

連写画像内の画像をＶＧＳメールに添付

■連写画像を表示中に◎で添付画像選択➡Ⓥ（**メニュー**）➡「**表示画像のみ添付**」選択➡Ⓕ

画像を分割してＶＧＳメールに添付

■ⓄⒹ3➡フォルダ選択➡Ⓕ➡添付ファイル選択➡Ⓥ（**メニュー**）➡「**メール添付**」選択➡Ⓕ➡「**2画像分割メール添付**」選択➡Ⓕ➡以降の操作☞P.6-35

●画像分割メールを送信すると、４通分のメール料金がかかります。

アニメーションファイルの作成

簡単アニメを作成する

V801SHのカメラで撮影した画像やボーダフォンライブ！で入手した画像を、最大４枚まで指定した間隔で連続表示します。

●簡単アニメで利用できる画像は、PNGファイルとJPEGファイルです。

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、簡単アニメを作成してください。

●簡単アニメで表示できる画像サイズは横120×縦160ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦160ドット部分のみ抜き出し表示されます。

●指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。

1 **Ⓕ4 8の順に押す。**

2 **「4アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1簡単アニメ」を選び、Ⓕを押す。**

4 **「1新規作成」を選び、Ⓕを押す。**

タイトルの入力画面が表示されます。

5 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**

タイトルを入力していないときは確認メッセージが表示され、次へ進めません。

●全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

●入力したタイトルは、自動的にファイル名としても登　されます。ファイル名は変更できます。（☞P.11-50）

6 **速さを選び、Ⓕを押す。**

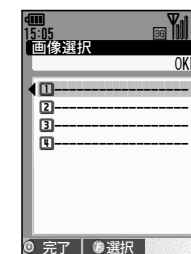
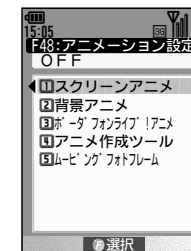
7 **指定する番号を選び、Ⓕを押す。**

ここで指定した番号順に画像が切り替わります。

8 **データフォルダから利用する画像を選び、Ⓕを押す。**

■データフォルダの操作：☞P.11-7

■画像の変更：Ⓥ（**変更**）➡操作８からやり直す

■指定する番号の変更：Ⓞ（**戻る**）➡操作７からやり直す

9 Ⓕを押す。

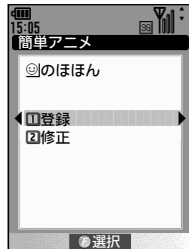
画像が指定されます。

- 簡単アニメの再生：Ⓥ（メニュー）➡「1再生」選択➡Ⓕ
  - ■簡単アニメの停止：◎（戻る）
- 画像の変更：変更する画像選択➡Ⓥ（メニュー）➡「2変更」選択➡Ⓕ➡操作8～9を行う
- 画像の消去：消去する画像選択➡Ⓥ（メニュー）➡「3消去」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

10 操作7～9をくり返し、画像をすべて指定する。

●最大4枚または最大10Kバイトまで設定できます。（指定する画像の種類やデータサイズによっては、4枚まで設定できない場合もあります。）

11 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

- タイトル、速さ、画像の修正：「2修正」➡Ⓕ➡タイトルの入力画面へ（修正の詳細：☞P.11-15）

12 「1登録」を選び、Ⓕを押す。

13 Ⓕ（登録）を押す。

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

●別のフォルダを選んで登　したり、SDメモリカードに登　することもできます。

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作12の画面に戻ります。

補足

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき

●ファイル名に自動的に「～XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

簡単アニメを編集する

●あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、簡単アニメを編集してください。

1 Ⓕ4 8の順に押す。

2 「4アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。

3 「1簡単アニメ」を選び、Ⓕを押す。

4 「2データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。

データフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

5 編集する簡単アニメを選び、Ⓕを押す。

6 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

7 速さを選び、Ⓕを押す。

- 空き番号への画像追加：番号選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
- 指定画像の変更：変更する番号選択➡Ⓥ➡「2変更」選択➡Ⓕ➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
- 指定画像の消去：消去する番号選択➡Ⓥ➡「3消去」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

8 編集が終われば、◎（完了）を押す。

9 「1登録」を選び、Ⓕを押す。

- タイトル未修正時：「1新規登録」／「2上書登録」選択➡Ⓕ
  - ■新規登　選択時：登　選択画面➡操作10へ

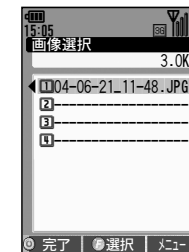
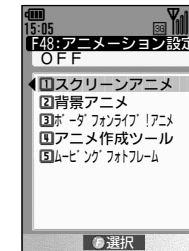
10 Ⓕ（登録）を押す。

新しい簡単アニメとしてデータフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作2の画面に戻ります。

補足

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき

●ファイル名に自動的に「＾XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

アニメーションの保存形式を変換する

JPEGアニメ、PNGアニメを、「**MNGファイル**」に変換できます。
●JPEGアニメ、PNGアニメをパソコンなどへ送信するときに変換します。

1 保存形式を変換するアニメーションを再生している状態で、㋱（メニュー）を押す。

2「MNG変換」を選び、Ⓕを押す。

形式を変換したアニメーションは、新しいアニメーションとしてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

●「**MNG変換**」が選択できないアニメーションのときは、操作できません。

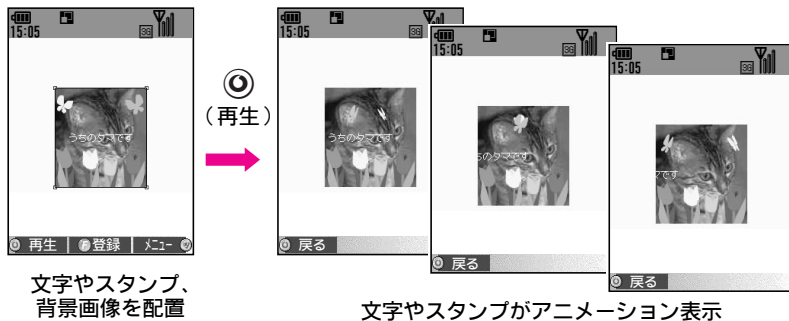
●アニメーションサイズや内容によっては、MNG変換できない場合があります。
●MNGファイルに変換すると、画質が変わることがあります。

●JPEGアニメをMNGファイルに変換したファイルは、V801SH／V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51以外では展開できません。上記以外の携帯電話に添付送信等する際は、PNGアニメからMNG変換したものをご使用ください。

E-アニメータを作成する

内蔵のアニメーション用図形（スタンプ）や文字を組み合わせてアニメーションを作成します。背景画像やBGMも設定できます。

文字やスタンプ、背景画像を配置

文字やスタンプがアニメーション表示

●E-アニメータは、「**E-アニメータ**」（.NVA）形式で登　されます。

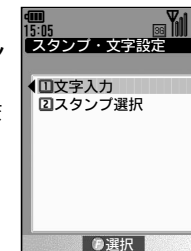
●E-アニメータで作成したファイル（.NVA）は、V801SH／V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51および、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機以外の機種に添付送信しても、ファイルを展開することができません。また、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機に添付送信したときでも、背景の画像やBGMなどが正しく表示／鳴動しないことがあります。

E-アニメータの基本操作

実際にE-アニメータを作成する前に、E-アニメータの基本操作（文字の入力方法、スタンプの入力方法）を覚えておきましょう。

■文字またはスタンプの選択方法

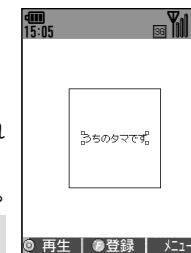
「**スタンプ・文字設定画面**」で、「**1文字入力**」または「**2スタンプ選択**」を選びます。

●文字／スタンプは、それぞれ最大3個または最大10Kバイトまで入力できます。

■文字の入力方法

1 文字を入力する

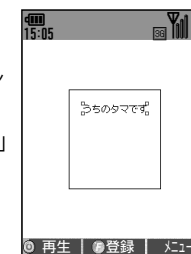
文字を入力し、Ⓕを押します。

●入力した文字が表示されます。
●文字の四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。
●1回あたり最大全角75文字（半角150文字）まで入力できます。

複数の文字やスタンプが入力されているとき
●(文字)を押すたびに四隅の「□」が移動し、移動や消去などを行う対象を選ぶことができます。

2 文字の位置を移動する

㋺で四隅の「□」を入力する位置に移動し、Ⓕを押します。

■ボタンを押したときの移動幅の設定：㋱（**メニュー**）➡「**❸移動幅設定**」選択➡Ⓕ➡移動幅（2ケタ：01〜20ポイント）入力➡Ⓕ

■文字の消去：㋱（**メニュー**）➡「**2消去**」選択➡Ⓕ➡「**1YES**」選択➡Ⓕ

●画像（JPEGファイル）とスタンプを組み合わせて、簡単にE-アニメータを作成できます。（ムービングフォトフレーム：☞P.11-32）

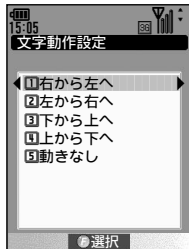
3 文字の色を設定する

Ⓥ（メニュー）を押したあと、「4文字色設定」を選びⒻを押します。

●設定する色を選び、Ⓕを押します。

4 文字の動作を設定する

Ⓥ（メニュー）を押したあと、「5文字動作設定」を選びⒻを押します。

●設定する動作を選び、Ⓕを押します。

5 文字を確定する

Ⓕを押して、文字の位置や色、動作設定を登　します。

●続けて、他の文字やスタンプを入力できます。

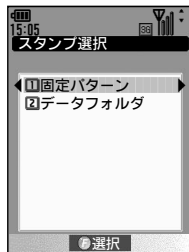
- 文字やスタンプの順番変更：変更する文字やスタンプ選択➡Ⓥ（メニュー）➡「3移動」選択➡Ⓕ➡文字やスタンプを移動➡Ⓕ
- 入力済みの文字変更：変更する文字選択➡Ⓥ（メニュー）➡「4変更」選択➡Ⓕ➡文字入力（修正）

■スタンプの入力方法

1 スタンプの分類を選ぶ

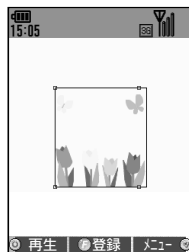
「1固定パターン」（あらかじめ登　されているスタンプ）または「2データフォルダ」（ボーダフォンライブ！などで入手したスタンプ）を選び、Ⓕを押します。

●「2 データフォルダ」を選んだときは、V801SH のデータフォルダのアニメーションフォルダが表示されます。

●「1固定パターン」には、あらかじめスタンプが登　されています。

2 入力するスタンプを選ぶ

入力するスタンプを選び、Ⓕを押します。

●選んだスタンプが画面中央に表示されます。

●スタンプの四隅には、選択されていることを示す「□」が表示されます。

複数のスタンプや文字が入力されているとき

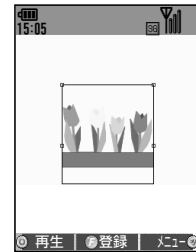
●（文字）を押すたびに四隅の「□」が移動し、変形や消去などを行う対象を選ぶことができます。

3 スタンプを変形する

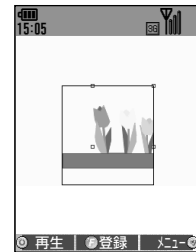
次のボタンを押したあとⒻを押して、スタンプを変形します。

拡大縮小	3	ボタンを押すと拡大します。
	7	ボタンを押すと縮小します。
	2	ボタンを押すと縦方向のみ拡大します。
	6	ボタンを押すと横方向のみ拡大します。
	8	ボタンを押すと縦方向のみ縮小します。
	4	ボタンを押すと横方向のみ縮小します。

●上記の各操作は、Ⓥ（メニュー）を押して、メニュー画面から選択できます。

- スタンプの反転：スタンプ選択➡Ⓥ（メニュー）➡「7上下反転」／「8左右反転」選択➡Ⓕ
- スタンプの消去：Ⓥ（メニュー）➡「2消去」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

4 スタンプの位置を移動する

スタンプを入力する位置を移動し、Ⓕを押します。

●文字と同様に、ボタンを押したときの移動幅も設定できます。（☞P.11-17）

5 スタンプを確定する

Ⓕを押して、スタンプの位置や形を登　します。

- スタンプや文字の順番変更：変更するスタンプや文字選択➡Ⓥ（メニュー）➡「3移動」選択➡Ⓕ➡スタンプや文字を移動➡Ⓕ
- 入力済みのスタンプ変更：変更するスタンプ選択➡Ⓥ（メニュー）➡「4変更」選択➡Ⓕ➡スタンプ選択

●1つのE-アニメータに入力可能な文字数およびスタンプ数は、アニメーションの複雑さによって異なります。非常に複雑なアニメーションの場合、スタンプが1つしか入力できないこともあります。

●スタンプによっては、変形などができなかったり、制限があるものもあります。

E-アニメータを新規作成する

あらかじめ、データフォルダ内の空きメモリがあることを確認して、E-アニメータを作成してください。
- 空きメモリがないときは、一時保存できません。不要なファイルを消去するときは、P.11-51を参照してください。

1 Ⓕ(4)(8)**の順に押す。**

2 **「④アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「②E-アニメータ」を選び、Ⓕを押す。**

一時保存（☞P.11-22）しているE-アニメータがあるときは、確認画面が表示されます。
- 「①YES」を選びⓕを押すと、一時保存しているE-アニメータのタイトル修正画面になります。

4 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**

タイトルを入力せずにⓕを押したときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。
- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。

5 **背景に画像を表示するとき**

1 **「①データフォルダ」を選び、Ⓕを押す。**
2 **背景に表示する画像を選び、Ⓕを押す。**
3 **Ⓕを押す。**
- 背景に設定できる画像サイズは横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦130ドット部分のみ抜き出し背景に設定されます。

補足
- 指定した画像によっては、元の画像と画質が変わることがあります。
- 背景に表示させる画像のデータサイズによっては、背景に設定できない場合や文字やスタンプが入力できない場合があります。

背景に画像を表示しないとき

「②背景なし」を選び、Ⓕを押す。

6 **入力する番号を選び、Ⓕを押す。**

ここで指定した番号順に、文字やスタンプが重なって表示されます。

7 **文字を入力するとき**

1 **「①文字入力」を選び、Ⓕを押す。**
2 **文字を入力する。**
■文字の入力方法：☞P.11-17～P.11-18

スタンプを入力するとき

1 **「②スタンプ選択」を選び、Ⓕを押す。**
2 **スタンプを入力する。**
■スタンプの入力方法：☞P.11-18～P.11-19

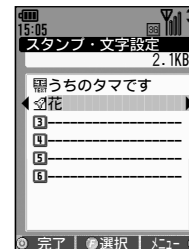
補足
- スタンプの内容や大きさによっては、他のスタンプや文字、背景が表示されない場合があります。このような場合は、スタンプを変形や移動したり、他のスタンプや文字の順番を変更（☞P.11-18）すると、表示されるようになります。

8 **操作6～7をくり返し、文字やスタンプを入力する。**

- 文字／スタンプは、それぞれ最大3個または最大10Kバイトまで入力できます。

■ E-アニメータの再生：◎（**再生**）
- E-アニメータの停止：上記操作のあと➡◎（**戻る**）

■ BGMの設定：Ⓜ（**メニュー**）➡「⓪BGM設定」選択➡ⓕ➡「①ON」選択➡ⓕ➡メロディ選択➡ⓕ

■ 背景の設定：Ⓜ（**メニュー**）➡「⑨背景設定」選択➡ⓕ➡画像選択➡ⓕ➡ⓕ

9 **文字やスタンプの入力後、◎（完了）を押す。**

- このあと「③修正」を選びⓕを押すと、操作4に戻り、タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定を修正できます。（修正の詳細：☞P.11-22～P.11-23）

補足
「一時保存」とは
- E-アニメータは登　すると、あとで編集できなくなります。
作成中に一旦保存したあとで編集したいときは、「**一時保存**」しておくと便利です。一時保存は1件のみ行えます。

10 **「①登録」を選び、Ⓕを押す。**

補足
一時保存したとき
- 確認画面が表示されますので、ⓕ（**決定**）を押します。（一時保存したE-アニメータの編集：☞P.11-22～P.11-23）

11 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**

■ 取消：「②NO」選択➡ⓕ➡操作10へ

12 **Ⓕ（登録）を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。
- データフォルダ内のメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作10の画面に戻ります。

補足
フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき
- ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

一時保存したE-アニメータを編集する

一時保存したE-アニメータは、あとで編集できます。
●登　したE-アニメータは、編集できません。

1 Ⓕ4 8の順に押す。

2 「4アニメ作成ツール」を選び、Ⓕを押す。

3 「2E-アニメータ」を選び、Ⓕを押す。
一時保存しているE-アニメータがあるときは、右の画面が表示されます。

4 「1YES」を選び、Ⓕを押す。
●「2NO」を選びⒻを押すと、新規作成（タイトル入力）画面になります。

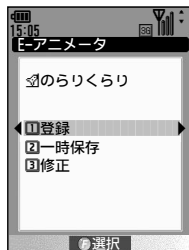
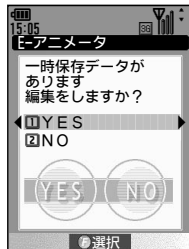
5 タイトルを修正し、Ⓕを押す。

6 背景を設定し、Ⓕを押す。

7 編集する文字やスタンプを選び、Ⓕを押したあと、文字やスタンプを編集する。
■ 文字の入力方法：☞P.11-17～P.11-18
■ スタンプの入力方法：☞P.11-18～P.11-19
■ 他のスタンプや文字の編集：操作7をくり返す
■ BGMの変更：Ⓥ（メニュー）➡「7BGM設定」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ➡メロディ選択➡Ⓕ
■ 背景の変更：Ⓥ（メニュー）➡「6背景設定」選択➡Ⓕ➡Ⓥ（変更）➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
■ E-アニメータの登　：操作8へ

8 編集を終わるときは、◎（完了）を押す。
■ タイトル、背景設定、文字やスタンプ設定の修正：「3修正」選択➡Ⓕ➡操作5へ

9 「1登録」を選び、Ⓕを押す。
● 一時保存もできます。（☞P.11-21）

10 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

11 Ⓕ（登録）を押す。
データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。
●データフォルダ内のメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示され、操作9の画面に戻ります。

フォルダ内に同じ名前のアニメファイルがあるとき
●ファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加されます。

アニメーションを確認する

1 ◎3の順に押す。

2 「アニメーション」フォルダを選び、Ⓕを押す。
■ SDメモリカード内のアニメーションの確認：Ⓥ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）
■ データフォルダの操作：☞P.11-9

3 確認するアニメーションを選び、Ⓕ（再生）を押す。
選んだアニメーションが再生されます。再生中に◎（戻る）を押すと、停止し、操作2の画面に戻ります。

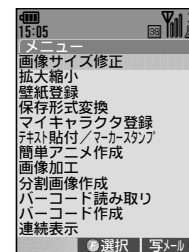
4 確認を終わるときは、Ⓟを押す。

●アニメーションファイルのコピー／移動／消去／ファイル名の変更は、P.11-50～P.11-52を参照してください。

画像／アニメーションファイルの利用

データフォルダの画像やアニメーションファイルに対して、各種操作を行います。
P.11-24～P.11-39の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選びⓋ（メニュー）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。
●ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なる場合があります。
●画像やアニメーションを編集して保存するときに、データフォルダのメモリが一杯のときは、空き容量不足の確認メッセージが表示されます。不要なファイルを消去するときは、P.11-51を参照してください。

メニュー画面
（画像の場合）

データ管理

画像を拡大／縮小する

●画像の拡大／縮小は、画面の中心を基点にして行います。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「拡大縮小」を選び、Ⓕを押す。

リサイズ（拡大／縮小）モードになります。

●「**拡大縮小**」が選択できない画像の場合、操作できません。

●画像表示中に◎（**リサイズ**）を押しても、リサイズ（**拡大／縮小**）モードになります。

●ディスプレイ下部左に「**移動**」が表示されていることを確認してください。表示されていないときは、◎（**リサイズ**）を押します。

拡大／縮小の中心を指定（画像を移動）するとき（移動モード）

●◎（**移動**）を押します。ディスプレイ下部の左に「**リサイズ**」が表示され、移動モードになります。

●このあと◈を押し続けて、拡大／縮小する場合の中心となる位置を、画面の中央部に移動します。

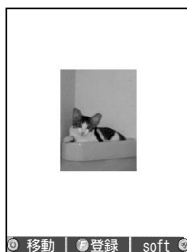
●ボタンを押している間、画像が移動します。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上移動できない位置まで移動すると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

2 ◎（拡大）または◎（縮小）を押し続けて、画像のサイズを変更する。

●ボタンを押している間、画像が拡大／縮小されます。ボタンから手を離すと、止まります。（それ以上拡大／縮小できないサイズになると、ボタンを押し続けていても、止まります。）

■ 画像をなめらかにする：Ⓥ（soft）

●拡大により画面からはみ出した（表示されていない）部分は、登　時に自動的に消去されます。

●拡大／縮小後に、◎（**移動**）を押し移動モードにしたときは、拡大／縮小した結果は破棄され、元の大きさに戻ります。

3 変更が終われば、Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

画像サイズを変更する

壁紙用や着信時表示用などのサイズに変更します。

●固定のサイズに変更するほか、お好みのサイズに切り出すことができます。

●画像サイズを変更すると、画像のデータサイズも変更されます。メールに画像を添付するときなどにも便利です。

固定サイズに変更する

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「**画像サイズ修正**」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「1壁紙用」～「6アラーム時表示用」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

選んだ画像とサイズを示す枠が表示されます。（利用できない画像は表示されません。）

●画像サイズが大きい場合、エラーが表示され、画像を表示できないことがあります。

●各サイズについては以下のとおりです。

1壁紙用	横240　縦320ドット
2写メール用	横120　縦160ドット
3サブディスプレイ用※	横64　縦96ドット
4パワー ON/OFF用※	横120　縦130ドット
5着信時表示用※	横120　縦38ドット
6アラーム時表示用※	横120　縦51ドット

※このあと、サイズを変更した画像をマイキャラクタのオリジナルに設定すると、元のサイズが自動的に２倍となって表示されます。

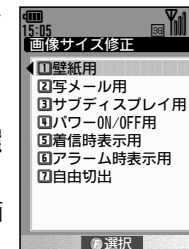
■ 画像サイズの選択のやり直し：Ⓥ（**サイズ**）

3 画像の表示範囲を指定するとき

1 ◎（移動）を押し、ディスプレイ下部左に「リサイズ」を表示させる。

●すでに「**リサイズ**」が表示されているときは、必要ありません。

2 表示範囲を指定する。

●画像サイズによっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

データ管理

画像を拡大縮小するとき

1 ◎（リサイズ）を押し、ディスプレイ下部左に「移動」を表示させる。

●すでに「移動」が表示されているときは、必要ありません。

2 ◎（拡大）または◎（縮小）を押し続けて、サイズを変更する

4 Ⓕ（決定）を押す。

5 Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

■ 登録しない：◎（戻る）

サイズを自由に変更する

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像サイズ修正」を選び、Ⓕを押す。

●「画像サイズ修正」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「7自由切出」を選び、Ⓕを押す。

画像が表示されます。（「＋」表示）

3 「＋」を切り出す部分の左上に移動する。

4 Ⓕを押したあと、「＋」を切り出す部分の右下に移動する。

■ 左上の指定からやり直す：◎（戻る）

5 ◎（完了）を押す。

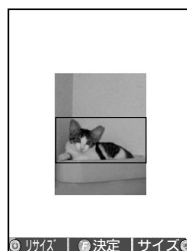
■ 画像サイズの選択からやり直す：◎（サイズ）

■ 以降の操作：☞P.11-25の操作3以降

6 Ⓕ（決定）を押す。

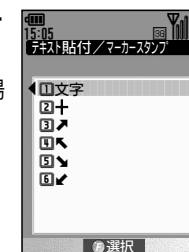
7 Ⓕ（登録）を押す。

サイズ変更した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

■ 登録しない：◎（戻る）

画像にマーカー／文字を入力する

●メールへの添付時につけることもできます。（☞P.3-9）

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「テキスト貼付／マーカースタンプ」を選び、Ⓕを押す。

●「テキスト貼付／マーカースタンプ」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 文字を入力するとき

1「1文字」を選び、Ⓕを押す。

2 文字を入力（☞P.4-6〜P.4-15）し、Ⓕを押す。

●最大全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

●バーコード読み取り機能は働きません。また、絵文字は入力できません。

■ 文字の入力し直し：◎（メニュー）➡「1文字」選択➡Ⓕ➡文字修正➡Ⓕ

マーカーを付けるとき

マーカーの種類を選び、Ⓕを押す。

マーカーが付いた画像が表示されます。

■ マーカーの変更：◎（メニュー）➡マーカー種類選択➡Ⓕ

3 文字またはマーカーを付けたい位置に移動し、Ⓕを押す。

確認画面が表示されます。

4 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

確認メッセージが表示されます。

■ 文字やマーカーの追加：操作4のあと「2マーキング」選択➡Ⓕ➡◎➡操作2〜4

■ 画像の確認：操作4のあと「3画像確認」選択➡Ⓕ

■ 編集の取消：操作4のあと「4編集キャンセル」選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

5 「1編集完了」を選び、Ⓕを押す。

確認画面が表示されます。

6 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

マーカーをつけた画像は、新しい画像としてデータフォルダに登録されます。また、登録日時のファイル名がつきます。

画像を装飾する

画像の色あいやタッチを変更できます。

- 画像装飾に利用できる画像は、JPEG形式です。連写画像も装飾できます。
- 装飾可能な画像サイズは、横52×縦52ドット～横240×縦320ドットです。
  これ以上のサイズの画像を装飾すると、画像の中心を基準に横240×縦320ドット部分のみ抜き出し、装飾されます。（画像サイズも変更されます。）
- 画像サイズが縦51ドットまたは横51ドット以下のときは、装飾できません。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。

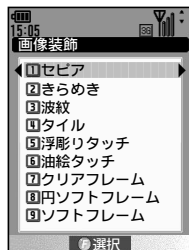
●「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

連写画像を装飾するとき

- 「連写画像装飾」を選び、Ⓕを押します。このあと操作3に進みます。
- 連写画像の場合、連写画像内のすべての画像が装飾されます。連写画像内の1枚の画像のみを装飾する場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

2 「1画像装飾」を選び、Ⓕを押す。

●次の装飾が行えます。

1セピア	セピア色で濃淡を表現
2きらめき	光輝部を十字に輝かせる効果を表現
3波紋	輪の形にひろがる波の効果を表現
4タイル	周りにタイル調の効果を表現
5浮彫りタッチ	メタル系シルバーで立体感を表現
6油絵タッチ	ルノワール風油絵タッチ
7クリアフレーム	周りに透明なふちを描くフレーム調
8円ソフトフレーム	周りを丸くぼかすフレーム調
9ソフトフレーム	周りをぼかすフレーム調
0ちぎりフレーム	周りを手でちぎった感じのフレーム調

3 装飾の種類を選び、Ⓕを押す。

装飾された画像が表示されます。

■ 装飾のやり直し：◎（戻る）

4 Ⓕ（登録）を押す。

装飾された画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

- 画像を装飾すると、画像データサイズが大きく変わってしまい、VGSメールに添付して送信したとき、相手機種によっては受信できないことがあります。
- 装飾された画像によっては、装飾後の画像データサイズが大きくなりすぎて、登　できないことがあります。

顔写真を加工する

画像内の顔を笑い顔や怒った顔、泣き顔などに変えるなど、加工して楽しめます。（フェイスアレンジ）

- フェイスアレンジに利用できる画像は、JPEG形式です。
- フェイスアレンジには、正面を向いた顔が大きく中央に写っている画像を使用してください。
- フェイスアレンジは、あらかじめ設定されている顔パーツ（輪郭、目、口）の位置や大きさを元に加工を施します。そのため、画像内の顔の位置や大きさによっては、うまく加工できないこともあります。
  また、次のような画像の場合、うまく加工できないこともあります。
  　ピントが合っていない／首を傾けている／暗い／目が髪で隠れている／画面の中央に写っていない／口が開いている／メガネをかけている／ヒゲを生やしている　など

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。

●「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「2フェイスアレンジ」を選び、Ⓕを押す。

●次のアレンジが行えます。

1右顔合成	顔の右半分をもとにした左右対称の顔
2左顔合成	顔の左半分をもとにした左右対称の顔
3微笑む	目、口が微笑んでいる顔
4怒る	目、口が怒っている顔
5悲しむ	目、口が悲しんでいる顔
6パッチリ目	パッチリ目を合成
7炎	炎の目を合成
8なみだ	なみだ目を合成
9伯爵	めがねとひげを合成
0カチン	怒りマークを合成

3 アレンジの種類を選び、Ⓕを押す。

アレンジされた画像が表示されます。

■ あらかじめ設定されている顔パーツの位置や大きさを確認：
　「✱顔抽出確認」選択➡Ⓕ
　▪フェイスアレンジ選択画面に戻る：◎（戻る）

■ フェイスアレンジのメニューに戻る：◎（戻る）

4 アレンジ後の画像を登録するときは、Ⓕを押す。

アレンジされた画像は、新しい画像としてデータフォルダに保存されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

- 画像に応じてご自分で、顔パーツの位置や大きさを指定して加工することもできます。（☞P.11-30）
- フェイスアレンジを行った画像をVGSメールに添付したり、壁紙などに設定して楽しまれるときは、人格権、肖像権を尊重し、他の方の中傷などにご配慮ください。

顔パーツの位置／大きさを調整する

あらかじめ設定されている顔パーツの位置が、加工する画像の顔とずれているときなどは、ご自分で顔パーツの位置や大きさを指定できます。

- 顔パーツは画像ごとに指定して登　します。
- P.11-29の操作２のあと、次の操作を行います。

1 **「顔抽出確認」を選び、Ⓕを押す。**
処理中の確認メッセージが表示されたあと、現在設定されている顔パーツが表示されます。

2 **（修正）を押す。**
顔輪郭の枠の左上に「＋」が表示されます。

3 **顔の輪郭を指定する。**

で顔の輪郭の左上に「＋」を移動　　で顔の輪郭の右下に「＋」を移動　　顔の輪郭の位置が指定完了

■ 指定のやり直し：（戻る）

4 **操作３と同様の操作で、右目→左目→口の順に、それぞれの顔パーツを、画面上部のガイドに従い、指定する。**

右目の位置を指定

左目の位置を指定

口の位置を指定

5 **指定が終わると、（完了）を押す。**
指定した顔パーツがすべて表示されます。
■ 顔パーツの指定のやり直し：P.11-30の操作２からやり直す
■ あらかじめ設定されている顔パーツに戻す：（リセット）

6 **Ⓕを押す。**
新規登　の確認画面が表示されます。

7 **「YES」を選び、Ⓕを押す。**
指定した顔パーツを付加した画像が、新しい画像としてデータフォルダに登　され、フェイスアレンジの画面に戻ります。
- このあと、新規登　した画像を使ってフェイスアレンジを行うと、指定した顔パーツで画像を加工できます。

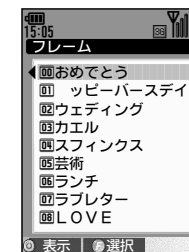
画像にフレームを付ける

フレームを付けられる画像は、JPEG形式です。連写画像も利用できます。

1 **メニュー画面（P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。**
- 「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

補足
連写画像にフレームを付けるとき
- 「連写フレーム」を選びⒻを押します。このあと、操作３へ進みます。
- 連写画像の場合、連写画像内のすべての画像にフレームが付きます。連写画像内の１枚の画像のみにフレームを付ける場合は、個別の画像として登　してから操作してください。

2 **「3フレーム」を選び、Ⓕを押す。**
■ フレームの確認：確認するフレーム選択➡（表示）
　▪ フレーム選択画面に戻る：（戻る）

3 **利用するフレームを選び、Ⓕを押す。**
フレームが付いた画像が表示されます。
■ フレームのメニューに戻る：（戻る）

4 **Ⓕを押す。**
フレームを付けた画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

画像にムービングフォトフレームを付ける

画像と内蔵のムービングフォトフレームを組み合わせて、アニメーションを作成することができます。

- ムービングフォトフレームを利用できる画像は、JPEGファイルとPNGファイルです。
- 作成したアニメーションは、「**E-アニメータ**」(.NVA)形式で登　されます。
- ムービングフォトフレームを付けることができる画像サイズは、横120×縦130ドットです。これ以上のサイズの画像のときは、画像の中心を基準に横120×縦130ドット部分のみ抜き出し、ムービングフォトフレームを付けます。

1 **Ⓕ④⑧の順に押す。**

2 **「⑤ムービングフォトフレーム」を選び、Ⓕを押す。**

- データ内容によっては、ムービングフォトフレームが付けられないことがあります。

3 **データフォルダからムービングフォトフレームを付ける画像を選び、Ⓕを押す。**

4 **利用するムービングフォトフレームを選び、Ⓕを押す。**

処理中の確認メッセージが表示されたあと、選んだ画像とムービングフォトフレームを組み合わせたアニメーションが表示されます。

■ ムービングフォトフレームの確認：確認するムービングフォトフレーム選択➡◎（**再生**）

▪ ムービングフォトフレーム選択画面に戻る：◎（**戻る**）

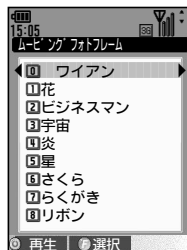
5 **アニメーションを登録するときは、Ⓕを押す。**

■ 登　の取消：◎（**取消**）➡ムービングフォトフレーム選択

6 **Ⓕ（登録）を押す。**

データフォルダのアニメーションフォルダに登　されます。

注意

- ムービングフォトフレームで作成したファイル(.NVA)は、V801SH／V601SH／J-SH53／J-SH52／J-SH51および、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機以外の機種に添付送信しても、ファイルを展開することができません。また、J-SH04以降のシャープ製ロングメール対応機に添付送信した場合でも、背景の画像などが正しく表示しない場合があります。

画像を回転する

画像を90度単位（時計回り）で回転します。

1 **メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。**

- 「**画像加工**」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 **「⑥90度回転」を選び、Ⓕを押す。**

時計回りで90度回転した画像が表示されます。

- このあと㋮（**回転**）を押すと、さらに時計回りで90度回転します。

3 **Ⓕを押す。**

回転した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

■ 登　中止：◎（**戻る**）

画像の保存形式を変換する

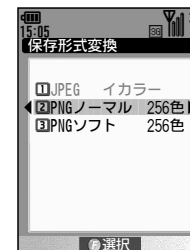
JPEG形式のファイルをPNG形式（ノーマル／ソフト）に変換したり、PNG形式（ノーマル／ソフト）のファイルをJPEG形式に変換します。

- 画像の保存形式の変換は、JPEGファイル（「▣」表示）とPNGファイル（「▣」表示）のみ行えます。

1 **メニュー画面（☞P.11-23）で、「保存形式変換」を選び、Ⓕを押す。**

- 「**保存形式変換**」が選択できない画像の場合、操作できません。
- 変換前と同じ保存形式はグレーで表示され、選択できません。

2 **変換する保存形式を選び、Ⓕを押す。**

保存形式を変換した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

補足

- 保存形式を変換すると、画像のデータサイズが変わる場合があります。
  保存形式を変換したあと、画像のデータサイズが40Kバイトを超えたときは、確認メッセージが表示され、データフォルダの画面に戻ります。
- 保存形式を変換すると、画質が変わることがあります。

11 データ管理

画像／アニメーションを壁紙に登録する

指定した画像やアニメーションを壁紙に登　できます。
●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

1 **メニュー画面（☞P.11-23）で、「壁紙登録」を選び、Ⓕを押す。**
●「壁紙登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

2 **Ⓕを押す。**
表示方法の選択画面が表示されます。項目は次のとおりです。

1センタリング表示	そのままのサイズでディスプレイ中央に表示します。
2並べて表示	そのままのサイズで、同じ画像を並べて表示します。
3全画面表示	ディスプレイサイズいっぱいに拡大して表示します。（画像によっては一部切り取って表示します。）
4拡大表示	横または縦のどちらかが、ディスプレイサイズになるまで拡大します。

■ アニメーション選択時：Ⓕ➡登　完了

3 **表示方法を選び、Ⓕを押す。**
壁紙に登　（オリジナル1に登　）されます。（壁紙設定が自動的に「**オリジナル**」に設定され、「ON」になります。）

●すでにオリジナル1に画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

画像／アニメーションをマイキャラクタに登録する

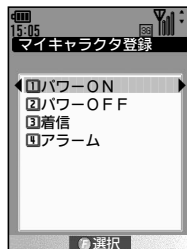
●画像の種類やデータ内容によっては、利用できない画像があります。

1 **メニュー画面（☞P.11-23）で、「マイキャラクタ登録」を選び、Ⓕを押す。**
●「マイキャラクタ登録」が選択できない画像やアニメーションの場合、操作できません。

2 **マイキャラクタを表示する場面を選び、Ⓕを押す。**
画像が表示されます。
●E-アニメータ、MNGファイルの画像は、「3着信」、「4アラーム」に利用することはできません。

各画面の画像サイズ

1パワー ON	横120×縦130ドット	3着信	横120×縦38ドット
2パワー OFF	横120×縦130ドット	4アラーム	横120×縦51ドット

●マイキャラクタとして表示されるときは、２倍に拡大して表示されます。

3 **画像の表示枠を指定する。**
●画像サイズや種類によっては、表示範囲を指定できない場合もあります。

4 **Ⓕを押す。**
マイキャラクタに登　（オリジナルに登　）されます。（マイキャラクタ設定が自動的に「**オリジナル**」になります。）

●すでにオリジナルに画像が登　されている場合は、ここで登　した画像に変更されます。

連写画像を個別の画像として登録する

連写画像（複数の画像＋分割画像）をそれぞれ個別の画像として登　することができます。また連写画像の内、指定した画像を個別の画像として登　することもできます。
●個別の画像は、新しい画像（JPEGファイル）として登　されます。（元の連写画像はそのまま残っています。）

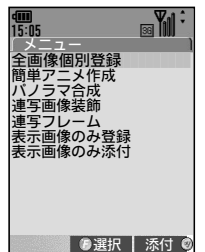
1 **データフォルダから連写フォルダを選び、Ⓕを押す。**

2 **個別の画像として登録する連写画像を選び、Ⓕ（表示）を押す。**
連写画像の分割画像が表示されます。
●連写画像には、ファイル名の先頭に「▦」が表示されています。

3 **連写画像内のすべての画像を登録するとき**

1 ㋱（メニュー）を押す。
2 「全画像個別登録」を選び、Ⓕを押す。
データフォルダに登　されます。

連写画像内の１枚の画像を登録するとき

1 登録する画像を表示する。
●分割画像も登　できます。
2 ㋱（メニュー）を押す。
3 「表示画像のみ登録」を選び、Ⓕを押す。
データフォルダに登　されます。

画像の合成

分割画像を作成する

最大４枚の画像を縮小し、１枚の画像内に配置して分割画像を作成します。

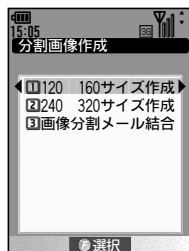
- 分割画像で利用できる画像は、JPEG形式とPNG形式です。連写画像も利用できます。
- あらかじめ、空きメモリがあることを確認して、分割画像を作成してください。不要なファイルを消去するときはP.11-51を参照してください。

分割画像

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「分割画像作成」を選び、Ⓕを押す。

- 分割画像の左上に配置する画像を選んで操作してください。
- 「**分割画像作成**」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「1 120×160サイズ作成」または「2 240×320サイズ作成」を選び、Ⓕを押す。

- サイズが大きすぎるときは、メニュー画面に戻ります。

3 ファイル名を入力し、Ⓕを押す。

- 全角12文字（半角24文字）まで入力できます。
- ここで指定した番号順に、分割画像の左上、右上、左下、右下に配置されます。
- ファイル名を入力していないときは、確認メッセージが表示され、次へ進めません。

■ ファイル名の修正：「**ファイル名**」選択➡Ⓕ➡ファイル名修正➡Ⓕ

4 指定する番号を選び、Ⓕを押す。

V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

5 利用する画像を選び、Ⓕを押す。

選んだ画像が表示されます。（利用できない画像は選択できません。）

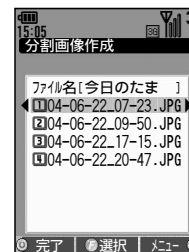
■ 画像の変更：㋱（**変更**）➡ピクチャーフォルダの画面へ
■ 画像の拡大：スケジュール/メモ➡（「**等倍**」⇔「**２倍**」切り替え）
■ 指定する番号から選び直し：◎（**戻る**）

6 Ⓕを押す。

分割画像用の画像として指定されます。

7 操作４～６をくり返し、画像をすべて指定する。

- 最大４枚まで設定できます。

■ 分割画像の確認：㋱（**メニュー**）➡「1**分割画像表示**」選択➡Ⓕ
　■ 分割画像作成のメニュー画面に戻る：◎（**戻る**）
■ 画像の変更：変更する画像選択➡㋱（**メニュー**）➡「2 **変更**」選択➡Ⓕ➡操作５～６を行う
■ 画像の消去：消去する画像選択➡㋱（**メニュー**）➡「3 **消去**」選択➡Ⓕ➡「1**YES**」選択➡Ⓕ

8 画像の指定が終われば、◎（完了）を押す。

確認画面が表示されます。

9 「1YES」を選び、Ⓕを押す。

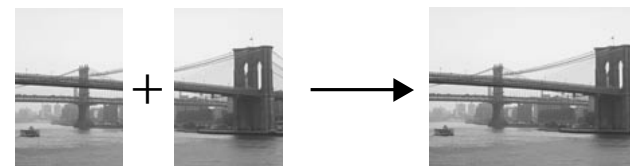
分割画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。

> **連写画像内の１枚の画像を利用するとき**
>
> **1** 操作５で、クリア（画像一覧表示のとき）または◎（ファイル名一覧表示のとき）を押したあと、連写フォルダを選びⒻを押す。
>
> **2** 連写画像（「連写」表示）を選び、Ⓕを押す。
> 分割画像が表示されます。
>
> **3** 利用する画像を選び、Ⓕを押す。
> 分割画像用の画像として指定されます。（ファイル名のあとに「1/4」～「4/4」などが付加されます。）
> このあと操作７へ進みます。
>
> ■ 分割画像も指定できます。（ファイル名のあとに「田」が付加されます。）

補足

- 120×160サイズ作成のときは、分割エリアの中央に1/2に縮小されて表示されます。240×320サイズ作成のとき元の画像が、４分割された分割エリアに収まるときは、分割エリアの中央にそのまま表示されます。また、４分割された分割エリアより大きい画像の場合は、1/2に縮小され、４分割された分割エリアの中央に配置されます。

２枚の画像をパノラマ合成する

２枚の画像を横に並べて、１枚の画像にできます。

２枚の画像を選択　　パノラマ合成

パノラマ合成時には、画像に応じて次の効果をつけることができます。

標準	パノラマ合成の標準モード。 近距離で撮影した画像、遠距離で撮影した画像のどちらを合成するのにも適しています。
近景	近づいて撮影したときに生じる視差の影響を補正します。 近距離で撮影した画像を合成するのに適しています。
ドキュメント	説明板などの文字のある画像を合成するのに適しています。

- パノラマ合成に利用できる画像は、横48×縦64ドット以上、横120×縦160ドットまたは横160×縦120ドット以下のJPEG画像です。
- ２枚の画像サイズが異なる場合、同じサイズになるよう、自動的に一部を切り出して合成します。
- 色味が異なる２枚の画像をパノラマ合成すると、うまく合成されない場合があります。

1 メニュー画面（☞P.11-23）で、「画像加工」を選び、Ⓕを押す。
- パノラマ合成する１枚目の画像を選んで操作してください。
- 「画像加工」が選択できない画像の場合、操作できません。

2 「⑤パノラマ合成」を選び、Ⓕを押す。
- 画像サイズが大きすぎるときや、小さすぎるときはデータフォルダ画面に戻ります。画像を選び直してください。

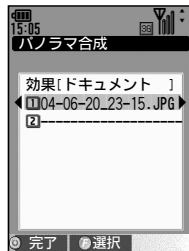
3 「①標準」～「③ドキュメント」のいずれかを選び、Ⓕを押す。
１枚目の画像として指定されます。

4 「②----------------------」を選び、Ⓕを押す。
V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダが表示されます。

5 合成するもう１枚の画像を選び、Ⓕを押す。
選んだ画像が表示されます。

6 Ⓕを押す。
２枚目の画像として指定されます。
- 画像の確認：画像選択➡Ⓕ
  - ■パノラマ合成画面に戻る：◎（戻る）
- 画像の変更：画像選択➡Ⓕ➡☑（変更）➡画像選択➡Ⓕ➡Ⓕ
- 効果の変更：「効果」選択➡Ⓕ➡「①標準」～「③ドキュメント」選択➡Ⓕ

7 画像の指定が終わると、◎（完了）を押す。
合成された画像が表示されます。
- ◈を押すと、画像が移動し、隠れている部分が表示されます。
- 画像の左右入れ替え：☑（入替）

8 Ⓕを押す。
合成した画像は、新しい画像としてデータフォルダに登　されます。また、登　日時のファイル名がつきます。

分割画像を結合する（画像分割メール）

画像分割メールに添付されてきた画像の１つを指定することで、４枚の画像を自動的に結合することができます。

1 ◎3の順に押す。

2 フォルダを選択して、Ⓕを押す。

3 結合する画像を１つ選択して、Ⓕを押す。

4 ☑（メニュー）を押す。

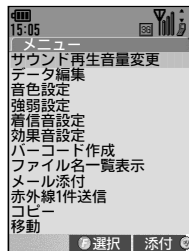
5 「分割画像作成」を選び、Ⓕを押す。
- 「画像分割作成」が選択できない画像の場合、操作はできません。

6 「③画像分割メール結合」を選び、Ⓕを押す。
- 分割画像の数が足りないときや、ファイル名を基準に収集したファイルの形式が正しくないときは、確認画面が表示され、データフォルダ画面に戻ります。

7 Ⓕを押す。
新しい画像としてデータフォルダに登　されます。

注意
- 受信した画像のファイル名を変更すると、正しく結合できない場合があります。
- 画像分割メールで送受信した画像の場合、結合した画像は多少粗くなることがあります。
- 画像分割メールを受信すると、４通分のメール料金がかかります。

メロディファイル

データフォルダに保存されているファイルに対して、ファイル形式に応じた各種操作を行います。
下記の各操作は、データフォルダ画面で対象のファイルを選び、ⓨ（**メニュー**）を押したあとの画面（メニュー画面）から操作します。
- ファイル形式やデータ内容によっては、操作できなかったり、表示されるメニューが異なるときがあります。
- メロディファイル（.SMD）で、「**データ編集**」、「**音色設定**」、「**強弱設定**」を行うと、オリジナル着信音（.SJM）形式で保存されます。

メニュー画面

再生音量を設定する

メロディごとに再生音量を設定することができます。

メニュー画面で、「サウンド再生音量変更」を選び、ⓕを押す。

着信パターン／効果音に設定する

V801SHのデータフォルダのメロディフォルダに登　されているメロディを、設定できます。ただし、メロディフォルダ内のご自分で作成したフォルダにあるメロディは設定できません。
- メロディのファイル名が全角12文字（半角24文字）を超える場合は、設定できません。

データ管理

1 メニュー画面で、「着信音設定」または「効果音設定」を選び、ⓕを押す。
選択できないメロディの場合、操作できません。

2 設定する着信の種類を選び、ⓕを押す。
着信パターンまたは効果音に設定され、データフォルダ画面に戻ります。

メロディファイルの編集

■ 待受中に◎➡「3**データフォルダ**」選択➡ⓕ➡「**メロディフォルダ**」選択➡ⓕ➡編集するメロディ選択➡ⓨ（メニュー）➡「**データ編集**」選択➡ⓕ
以降の操作：☞P.8-25

メロディの音色や強弱の設定

■ 待受中に◎➡「3**データフォルダ**」選択➡ⓕ➡「**メロディフォルダ**」選択➡ⓕ➡編集するメロディ選択➡ⓨ（メニュー）➡「**音色設定**」／「**強弱設定**」選択➡ⓕ
- 音色設定または強弱設定の画面になります。

以降の操作：☞P.8-24

メロディをVGSメールに添付

■ 待受中に◎➡「3**データフォルダ**」選択➡ⓕ➡「**メロディフォルダ**」選択➡ⓕ➡編集するメロディ選択➡ⓨ（メニュー）➡「**メール添付**」選択➡ⓕ
以降の操作：☞P.3-9

vファイル

vファイルのしくみ

vファイルとは

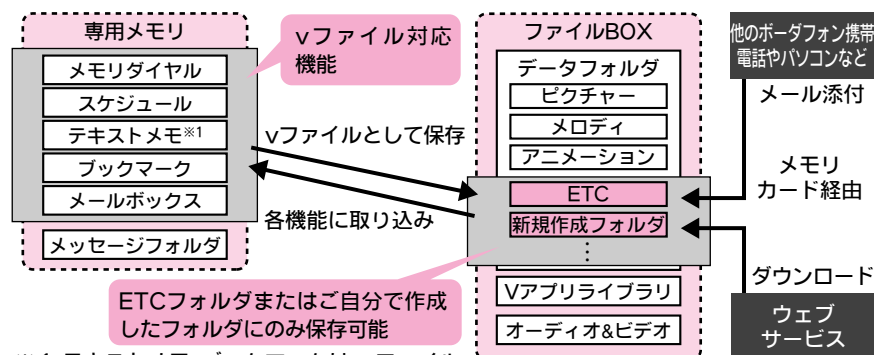
「**vファイル**」とは、V801SHのメモリダイヤルやスケジュールなどのデータを、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間でやりとりし、相互で利用できるようにしたファイル形式の総称です。
vファイルを利用すると、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで作成したメモリダイヤルやスケジュールなどのデータをV801SHに取り込んだり、V801SHのメモリダイヤルをパソコンで管理することなどが可能になります。
vファイル対応機能と各ファイル形式は次のとおりです。

機能	アイコン	ファイル形式	機能	アイコン	ファイル形式
メモリダイヤル（オーナー情報）	（.VCF）	vCard形式	テキストメモ	（.VNT）	vNote形式
			メール	（.VMG）	vMessage形式
スケジュール	（.VCS）	vCalendar形式	ブックマーク※	（.VBM）	vBookmark形式

※ 拡張子が「.URL」の場合もあります。

データ管理

vファイルの利用方法

vファイルは、V801SHの専用メモリのデータをデータフォルダに保存すると自動的に作成されます。作成されたvファイルは、メールに添付したり、SDメモリカードを経由して、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりすることができます。
また、メールやウェブを利用して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから受信や入手したvファイルも、データフォルダに保存して各機能に取り込むと、V801SHで使用できるようになります。

※1 テキストメモ、ブックマークは、vファイルとして取り込めますが、保存することはできません。

vファイルを作成（保存）する

1 メモリダイヤルを保存するとき

❶ **保存するメモリダイヤルを呼び出す。**
(☞P.5-18〜P.5-19)
●オーナー情報を保存する場合は、オーナー情報画面を表示します。(☞P.2-32)

スケジュールを保存するとき

❶ **予定の一覧画面を表示する。(☞P.14-18のスケジュールの確認：操作1〜3)**
❷ **保存する予定を選ぶ。**

メールを保存するとき

❶ **メールのリスト画面を表示する。(☞P.4-2の操作1〜2)**
❷ **保存するメールを選ぶ。**

2 メモリダイヤルのとき

Ⓕを押す。

スケジュール、メールのとき

(メニュー)を押す。

3 **「データフォルダに保存」を選び、Ⓕを押す。**

4 **タイトルを入力し、Ⓕを押す。**
V801SHの「ETCフォルダ」のファイル表示画面になります。
●ご自分で作成したフォルダなどにも登　できます。
■ SDメモリカード内のデータフォルダに登　：(メニュー)
➡( )(☞P.10-6)

5 **(メニュー)を押したあと、「登録」を選び、Ⓕを押す。**
vファイルがデータフォルダに登　されます。

注意
●指定着信音やメールコール、メールフォルダが登　されているメモリダイヤルの場合は削除して保存されます。
また、ピクチャーコール／メールが登　されているメモリダイヤルの場合、登　されている画像のサイズによっては、削除して保存されます。

vファイルを転送する

メールを利用するとき

vファイル（ブックマーク以外）は、メールに添付して他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどとの間で送受信することができます。
●受信したvファイルは、データフォルダに保存して各機能に取り込むと利用することができます。(☞P.11-44)
■ 実際の送受信方法：☞P.3-9

メモリカードを利用するとき

SDメモリカードのデータフォルダに保存したvファイルは、SDメモリカード対応の他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどに直接取り付けて利用することができます。また、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどでvファイルを保存したSDメモリカードを、V801SHに取り付けて利用することもできます。

注意
●SDメモリカードに保存したブックマークは、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できません。
●SDメモリカードに保存したvファイルは、内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

パソコン等ボーダフォン携帯電話以外の機器とやりとりするとき

■ パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応したソフトウェアが必要になります。データの内容によっては、V801SHに取り込めない場合や、パソコンなどで利用できないことがあります。
■ パソコンやSDメモリカードドライブの種類によっては、V801SHでフォーマットしたSDメモリカードや、保存したvファイルが読み込めない場合があります。
■ パソコン等でフォーマットしたSDメモリカードや保存したvファイルは、V801SHで読み込めない場合があります。

データフォルダのvファイルを取り込む

受信したvファイルなど、データフォルダのvファイルを各機能で利用するには、各機能に取り込む必要があります。

■ 受信したvファイルをデータフォルダに保存する方法：☞ P.4-27

1 データフォルダ画面で、取り込むvファイルを選ぶ。（☞P.11-7）

2 取り込むvファイルを選び、Ⓥ（メニュー）を押す。

3 メモリダイヤルを取り込むとき

1「メモリダイヤルへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2 メモリ番号を入力して登録する。（☞P.5-5）

スケジュールを取り込むとき

1「スケジュールへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1YES」を選び、Ⓕを押す。（☞P.14-15）

テキストメモを取り込むとき

1「テキストメモへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1YES」を選び、Ⓕを押す。（☞P.4-28）

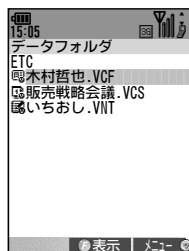
メールを取り込むとき

「メールボックスへ登録」を選び、Ⓕを押す。

V801SHの受信メールボックス、送信メールボックス、送信トレイのいずれかに、自動的に登　されます。

ブックマークを取り込むとき

1「ブックマークへ登録」を選び、Ⓕを押す。

2「1本体」または、「2メモリカード」を選び、Ⓕを押す。（☞P.8-13）

電子ブックの利用

V801SHでは、SDメモリカードに保存されている電子書籍用のデータフォーマット（XMDF形式やText形式）で作成されたデータ（電子ブック）を閲覧することができます。電子ブックには通常の「**書籍データ**」と、言葉の意味などを検索することのできる「**辞書データ**」があります。

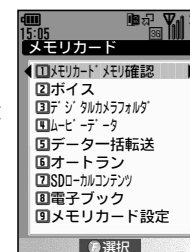
- 電子ブックにご利用いただける書籍データの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞P.8-10、P.8-13）でご案内しています。
- 書籍データによっては、音声や画像が埋め込まれているデータがありますが、V801SHではご利用になれない場合があります。

書籍データを読む

- SDメモリカードを取り付けていないと、メモリカードメニューは表示されません。

1 ⒻⓋ（ ）の順に押す。

■ 音楽再生中：音楽再生中止確認➡「1YES」選択➡Ⓕ（メモリカードのメニュー画面へ）

■ Vアプリ一時停止中：Ⓕ➡（操作1のⒻを押した時点で）再開確認画面表示➡「2終了」選択➡Ⓕ（Vアプリライブラリリスト画面へ）➡（待受画面へ）➡操作1からやり直す

2「8電子ブック」を選び、Ⓕを押す。

電子ブックフォルダの書籍データのリストが表示されます。電子ブックフォルダに書籍データがない場合は、書籍データのないリスト表示になります。

- 前回の閲覧時にを押して終了した場合、終了時に表示されていたページが表示されます。

■ 電子ブックフォルダ以外のフォルダ内の電子ブックを閲覧：Ⓥ（**メニュー**）➡「**表示フォルダ切替**」選択➡Ⓕ➡フォルダ選択➡Ⓕ（次回からもここで選択したフォルダが表示されます。）

■ タイトルや著者などの情報を表示：Ⓥ（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ

3 読みたいデータを選び、Ⓕを押す。

- ディスプレイ上部に表示される「○％」は、現在のページが書籍データ全体の何％ぐらいの位置にあたるかを示しています。

■ パスワードが必要なデータ：パスワード入力画面➡パスワード入力➡Ⓕ➡閲覧画面へ

- 書籍データをユーザーショートカットに登　することができます。（☞P.2-33）

補足

- 閲覧中にSDメモリカードが抜かれたときは、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

4 閲覧を終わるときは、[クリア]または[PWR]を押す。

- ◎（リスト）が表示されているときは、◎（リスト）を押しても書籍データのリストが表示されます。
- [PWR]を押した場合、次回閲覧する際に終了時に表示していたページが表示されます。

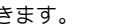
閲覧画面でのページ移動／目次の利用

■ 閲覧画面での操作は、横書き、縦書きによって次のようになります。

	横書き	縦書き
◎（上）	上にスクロール（行戻り）	前のページへ（ページ戻し）
◎（下）	下にスクロール（行送り）	次のページへ（ページ送り）
◎（左）	前のページへ（ページ戻し）	左にスクロール（行送り）
◎（右）	次のページへ（ページ送り）	右にスクロール（行戻り）

■ データの先頭や最後に移動することができます。
- 閲覧画面で[メニュー]（メニュー）➡「先頭へ」／「最後へ」選択➡Ⓕ

■ 先頭からおおよその位置を%で指定して、移動することができます。
- 閲覧画面で[メニュー]（メニュー）➡「%指定移動」選択➡Ⓕ➡%入力（2ケタ：00～99）➡Ⓕ

■ 目次を利用すれば、読みたい章を表示することができます。（目次に対応した書籍データのみ有効）
- 閲覧画面で[メニュー]（メニュー）➡「目次」選択➡Ⓕ➡読みたい章を選択➡Ⓕ

閲覧画面の表示方法設定

■ 閲覧画面での表示方法を次の中から選ぶことができます。

項目	内容	お買い上げ時の設定
文字サイズ設定	文字サイズを「小」「中」のいずれかに設定することができます。（閲覧画面で[スケジュール/メモ]を押すと、「小」⇔「中」の切り替えができます。）	中
縦横設定	縦書きと横書きを切り替えて表示することができます。（書籍データによっては、切り替えられない場合や設定が指定されている場合もあります。）	縦書き
ルビ表示	ルビを表示するかどうかを設定することができます。	OFF

■ 閲覧画面で[メニュー]（メニュー）➡「表示設定」選択➡Ⓕ➡設定項目選択➡Ⓕ➡設定内容選択➡Ⓕ

情報の利用／文字列のコピー

■ 書籍データ内に電話番号やE-mailアドレス、URLが入っているとき、これらの情報を利用することができます。（電話発信、メール送信、インターネット接続）
- 情報選択➡Ⓕ➡確認画面表示➡「1OK」選択➡Ⓕ➡電話発信画面／メール作成画面／情報画面表示（データの内容によっては、利用できない場合もあります。）

■ 書籍データ内の文字列（最大20文字）を、他の場所に複写することができます。
- 閲覧画面で[メニュー]（メニュー）➡「コピー」選択➡Ⓕ➡☞P.4-25操作3以降

しおりを利用する

読みかけのページにしおりを登　することができます。しおりを登　しておけば、次回簡単な操作で続きから閲覧することができます。
- しおりは1書籍につき最大2個（最大5書籍）まで登　することができます。

1 しおりを登録したいページで、[メニュー]（メニュー）を押したあと、「しおりをはさむ」を選びⒻを押す。

2 「1しおり1」または「2しおり2」を選び、Ⓕを押す。

指定したページにしおりが登　されます。

自動しおりについて
- 書籍データの閲覧を終了すると、自動的に最後に表示していたページにしおりが登　されます。（自動しおり1）
  次に同じ書籍データの閲覧を行い終了した場合、最後に表示していたページが自動しおり1に登　され、前回の自動しおり1は自動しおり2に登　されます。（自動しおりは1書籍につき最大2個まで登　され、古いものから順に自動的に消去されます。）

しおりを登録したページの表示

■ メニュー画面で、「しおりへ移動」を選びⒻを押したあと、「1しおり1」、「2しおり2」、「3自動しおり1」、「4自動しおり2」を選びⒻを押します。

マスク情報について
- 書籍データによっては、特定の文字列や画像を隠す情報（マスク情報）が埋め込まれている場合があります。マスク情報が埋め込まれている部分を選びⒻを押すと、その文字列や画像のマスクが反転します。再度Ⓕを押すと、文字列または画像が表示されなくなります。

ジャンプ情報について
- 書籍データによっては、コンテンツ内の他のページに移動する情報（ジャンプ情報）が埋め込まれている場合があります。ジャンプ情報が埋め込まれている文字列を選びⒻを押すと、指定されているページに移動します。移動先のページで◎（戻る）を押すと、元のページに戻ります

書籍データ内の画像を利用する

書籍データ内の画像を壁紙に設定する

画像によっては、壁紙に設定できないものがあります。

1 画像を選び、Ⓕを押す。

2 「壁紙登録」を選び、Ⓕを押す。

- 以降の操作：☞P.7-2の操作6以降
- 登　の中止：[クリア]

画像に埋め込まれた情報を利用する

画像データによっては、リンク情報やマスク情報、動画の実行などの情報が埋め込まれている場合があります。

1 画像を選び、Ⓕを押す。

2 「リンクへ移動」、「マスクの切替」、「動画の実行」のいずれかを選び、Ⓕを押す。

- リンクへ移動…ジャンプ情報の場合、書籍内の他のページへジャンプします。ウェブへのアクセスやメール送信など、リンク情報を実行する場合には、電子ブックの終了確認が表示されます。（情報の利用／文字列のコピー：☞P.11-46）
- マスクの切替…隠された特定の文字列または画像を表示します。
- 動画の実行…指定のパラパラアニメが動きます。

■ 中止：クリア

辞書データを利用する

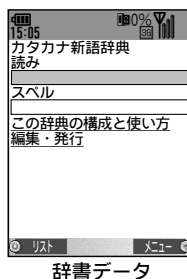
SDメモリカードに保存されている辞書データを利用して、言葉の意味などを検索し、検索結果を表示することができます。

- 辞書データの表示方法は、P.11-45の「**書籍データを読む**」の操作と同様です。

データ管理

辞書データで文字列を検索する

1 辞書データを表示する。（☞P.11-45〜P.11-46）

2 検索文字列の入力欄を選び、Ⓕを押す。

辞書データ

3 検索する文字列を入力する。

4 Ⓕを押す。

検索中の確認メッセージが表示されたあと、検索結果画面が表示されます。

- 検索結果画面から、見たい情報を選び、Ⓕを押すと、辞書データの項目が表示されます。
- 項目画面の操作はP.11-46と同じです。（ただし、項目画面が1画面にすべて表示されている場合は、スクロール操作により、ページが切り替わります。）

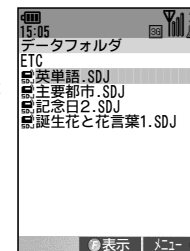
■ 辞書データや書籍データの情報の確認：Ⓥ（**メニュー**）➡「**プロパティ**」選択➡Ⓕ

辞書ファイルを利用する

ボーダフォンライブ！などでダウンロードした日本語変換用の辞書を、漢字変換用の辞書として使用することができます。

- 辞書ファイルの入手方法などについては、シャープオリジナルサイト「Space Town」（☞ P.8-10、P.8-13）でご案内しています。
- 辞書ファイルのダウンロード方法などについては、 P.8-6を参照してください。

1 データフォルダ画面で、利用する辞書ファイルを選ぶ。（☞P.11-7）

- 利用できる辞書ファイルには、「」と拡張子「.SDJ」が表示されています。

2 Ⓥ（メニュー）を押す。

- 「ダウンロード辞書登録」が選択できない辞書ファイルの場合、操作できません。

3 「ダウンロード辞書登録」を選び、Ⓕを押す。

4 辞書を登録する番号を選び、Ⓕを押す。

辞書が登 され、データフォルダ画面に戻ります。

補足

辞書が登録されている番号を選択時

- 上書きしてもよいかどうかの確認画面が表示されます。「1YES」を選びⒻを押すと、辞書が登 されます。「2NO」を選びⒻを押すと、操作3を行ったあとの画面に戻ります。

データ管理

フォルダ／ファイルの編集

新しいフォルダを作成することができます。作成したフォルダは、あらかじめ登 されている「**ETCフォルダ**」と同様に、すべての形式のファイルを保存することができます。（☞P.11-3）

- フォルダは第1階層、第2階層に作成できます。（第3階層には作成できません。）（☞P.11-9）
- あらかじめ登 されているフォルダ（ピクチャー、メロディ、アニメーション、ETC）内や、ご自分で作成したフォルダ内に新しいフォルダを作成することもできます。
- V801SH内のフォルダ／ファイル名は、大文字のみ使用できます。（小文字で入力しても、大文字になります。）
- SDメモリカード内のファイル／フォルダ名は、大文字、小文字が使用できます。
- フォルダ名やファイル名には、半角の「¥」、「/」、「:」、「;」、「.」、「<」、「>」、「|」、「?」、「¥」、「"」や絵文字は使用できません。

新しくフォルダを作成する

1 ◎3の順に押す。

データフォルダ画面になります。

すでにあるフォルダ内にフォルダを作成するとき
- フォルダを作成するフォルダを選びⒻを押し、ファイル表示画面にします。

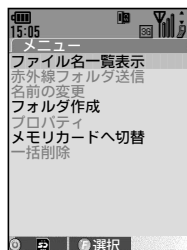
2 ⓥ（メニュー）を押す。

3 「フォルダ作成」を選び、Ⓕを押す。

4 新しいフォルダの名前を入力し、Ⓕを押す。

- 新しいフォルダが作成されます。

■ 他のフォルダを作成：操作２～４をくり返す

すでに同じフォルダ名があるとき
- フォルダ名入力画面に戻ります。フォルダ名を変更して、やり直してください。

フォルダ名／ファイル名の変更

- あらかじめ登　されているフォルダの名前は変更できません。
- ファイルの拡張子は変更できません。
- SDメモリカード内のフォルダやファイル（☞P.10-6）に対しても行うことができます。

1 データフォルダ画面で、名前を変えるフォルダやファイルを選ぶ。（☞P.11-7）

2 ⓥ（メニュー）を押す。

3 「名前の変更」を選び、Ⓕを押す。

4 名前を変更し、Ⓕを押す。

名前が変更され、元の画面に戻ります。

すでに同じフォルダ名やファイル名があるとき
- 名前の入力画面に戻ります。名前を変更して、やり直してください。

データ管理

フォルダ／ファイルを消去する

選択したフォルダやファイルを消去します。

- フォルダを選択した場合、フォルダ内のファイルもすべて消去されます。
- あらかじめ登　されているフォルダは消去できません。
- SDメモリカード内のフォルダやファイル（☞P.10-6）に対しても行うことができます。

1 データフォルダ画面で、消去するフォルダやファイルを選ぶ。（☞P.11-7）

2 ⓥ（メニュー）を押す。

3 「消去」を選び、Ⓕを押す。

消去の確認画面になります。

4 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

ファイルを移動する

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダに移動することができます。

- あらかじめ登　されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイルのみ移動できます。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、移動できない場合があります。

1 データフォルダ画面で、移動するファイルを選ぶ。（☞P.11-7）

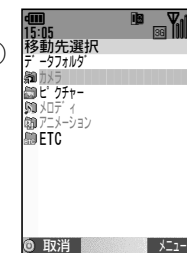
2 ⓥ（メニュー）を押す。

3 「移動」を選び、Ⓕを押す。

■ SDメモリカード内のデータフォルダに移動：ⓥ（メニュー）➡◎（ ）（☞P.10-6）

4 移動先のフォルダを選び、Ⓕを押す。

5 Ⓕ（登録）を押す。

移動が開始されます。

- SDメモリカードが書き込み禁止になっている場合は、SDメモリカードへは移動はできません。
- SDメモリカードへ移動したファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルを移動すると、移動したファイル名に自動的に「~XX」（XXは２ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加される場合があります。

データ管理

ファイルをコピーする

データフォルダ内のファイルを、別のフォルダにコピーすることができます。
- コピー／転送不可ファイルは、コピーできません。
- あらかじめ登　されているフォルダへは、該当するファイル形式のファイルのみコピーできます。
- ファイルの種類やデータの内容によっては、コピーできない場合があります。

1 データフォルダ画面で、コピーするファイルを選ぶ。
（☞P.11-7）

2 Ⓥ（メニュー）を押す。

3 「コピー」を選び、Ⓕを押す。
■ SDメモリカード内のデータフォルダにコピー：Ⓥ（メニュー）
➡◎（▣）（☞P.10-6）

4 コピー先のフォルダを選び、Ⓕを押す。

5 Ⓕ（登録）を押す。
コピーが開始されます。

- SD メモリカードが書き込み禁止になっている場合は、SD メモリカードへはコピーできません。
- SDメモリカードへコピーしたファイルの種類やデータの内容によっては、他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用できない場合があります。

- 同じ名前のファイルがあるフォルダに、ファイルをコピーすると、コピーしたファイル名に自動的に「~XX」（XXは2ケタの数字、英字：00～99、AA～ZZ）が付加される場合があります。
- SDメモリカード内のファイルを、V801SHへコピー／移動したとき、ファイル名は大文字になります。

赤外線通信

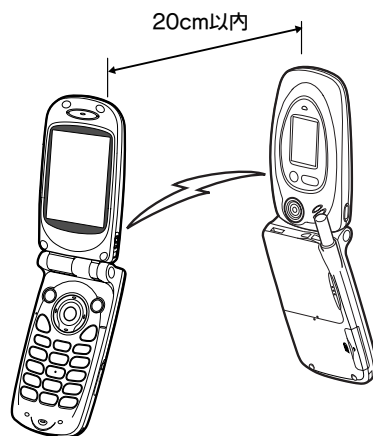
赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信機能を搭載したボーダフォン携帯電話などと、データを送受信します。
赤外線通信モードでは、次のことが行えます。

1件データ送信	メモリダイヤルやメールなどの画面で選んだデータを、1件ずつ送信します。
1件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作によりデータを1件ずつ受信します。受信したデータは自動的に識別され、該当する機能のデータとして追加されます。
フォルダ単位送信	データフォルダ画面で選んだフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを送信します。
フォルダ単位受信	赤外線通信画面で、送信側の操作により指定したフォルダおよびフォルダ内のすべてのデータを受信します。
全件データ送信	赤外線通信画面で選んだ機能ごとに、すべてのデータを送信します。
全件データ受信	赤外線通信画面で、送信側の操作により指定した機能のすべてのデータを受信します。

- 通信中やボーダフォンライブ！の利用中／オーディオプレイヤー再生中／SDメモリカードの手動シンクロ中は、赤外線通信は行えません。
- V801SHの赤外線通信機能は、IrMC1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機能によっては送受信できないデータがあります。
- 赤外線通信機能を利用中は、着信不可に設定されます。そのため、着信／通話／ボーダフォンライブ！などは利用できません。赤外線通信が終了すると、自動的に着信不可は解除されます。
- USBデータ通信：☞P.14-38

赤外線通信利用時のご注意

- 受信側、送信側のボーダフォン携帯電話を、20cm以内に近づけます。このとき、両方の赤外線ポートがまっすぐに向き合うようにします。また、間に物を置かないようにしてください。
- データの送受信が終わるまで、お互いの赤外線通信ポートが向き合ったままにして動かさないでください。
- 直接日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、これらの影響によって正常に通信できないことがあります。
- 赤外線ポートが汚れていると通信しにくくなります。汚れているときは、傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。

- 正常に通信できないときは、再接続の確認画面が表示されます。
  上記のご注意を確認していただいたあと、再接続してください。(「1YES」を選び、Ⓕを押します。)

送受信できるデータ

機能	1件	全件	備考
メモリダイヤル	○	○	1件データ送受信では、グループ指定、シークレット設定、指定着信音、メールコール、メールフォルダは送受信できません。また、ピクチャーコール／メールに登　されている画像のサイズによっては、送受信できないことがあります。
スケジュール	○	○	1件データ送受信では、シークレット設定とアラーム設定は送受信できません。
テキストメモ	○	○	
メール	○	○	V801SHの送信トレイと送信メールのメモリを共有しているため、他のデータの登　状況によって、保存できなくなることがあります。
データフォルダ	○	○	全件送受信はデータフォルダ全体またはフォルダ単位で行えます。また、著作権で保護されているファイルは送受信できません。
ビデオプレイヤー	○		200Kバイトを超えるファイルは送受信できません。

- SDメモリカードのデータフォルダ内のファイルは1件送信できます。
- 280Kバイトを超えるファイルは送受信できません。
- ブックマークデータも受信できます。

認証パスワード設定

「認証パスワード」は赤外線通信のための専用パスワードです。データの全件送受信では、受信側／送信側とも同じ認証パスワードを入力する必要があります。この認証パスワードは、初めて赤外線受信を行うときなどに表示される、認証パスワード入力画面で入力すると自動的に設定されます。設定された認証パスワードは、このページの操作で変更できます。

1 **待受中にⒻ◎（Useful）の順に押したあと、「6赤外線／USB通信」を選び、Ⓕを押す。**

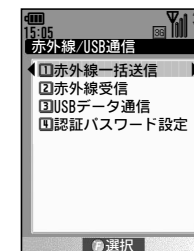
2 **「4認証パスワード設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線／USB通信画面へ

4 **設定する認証パスワード（4ケタ）を入力する。**

認証パスワードが設定され、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

- 初めて赤外線受信を行う前にこのページの操作を行うと、認証パスワードをあらかじめ設定しておくことができます。このときは、次に赤外線受信を行っても、認証パスワードの入力画面は表示されません。

赤外線通信の利用

データを1件ずつ送受信する

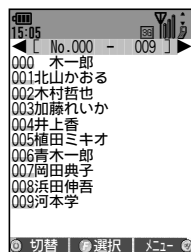
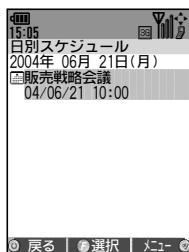
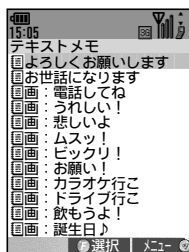
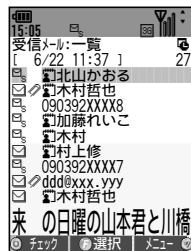
●送受信できるデータについては、P.12-3を参照してください。

データを１件ずつ送信する

赤外線通信を利用した１件送信は、各機能の画面から行います。

1 各機能のリスト画面で送信するデータを表示する。

●メモリダイヤル､スケジュール､テキストメモは､各詳細画面からでも操作できます。

メモリダイヤル

スケジュール

テキストメモ

メール

データフォルダ
（ピクチャー）

ビデオプレイヤー

2 Ⓜ（メニュー）を押す。

●メモリダイヤルの詳細画面から送信するときは、Ⓕを押します。

3 「赤外線１件送信」を選び、Ⓕを押す。

着信不可の確認画面が表示されます。

4 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

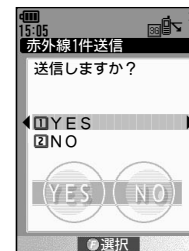
●着信不可に設定できなかったときは、データ表示の画面に戻ります。

5 タイトルを入力し、Ⓕを押す。

●タイトルを変更しないときはそのままⒻを押し、操作６へ進みます。タイトルを変更しても、元のデータの登　名は変更されません。

6 受信側を待機状態にする。

7 15秒以内に、「①YES」を選び、Ⓕを押す。

送信が開始されます。送信が完了すると、データ表示の画面に戻ります。

データを１件ずつ受信する

1 待受中にⒻ◎（USEFUL）の順に押したあと、「⑥赤外線／USB通信」を選び、Ⓕを押す。

2 「②赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。

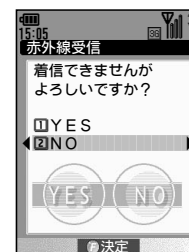
着信不可の確認画面が表示されます。

3 「①YES」を選び、Ⓕを押す。

4 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。

■操作用暗証番号：☞P.1-33

■操作用暗証番号の入力間違い：赤外線／USB通信画面へ

補足 認証パスワードの入力画面が表示されたとき

●初めて赤外線受信を行うときなど、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。

●一度入力した認証パスワードは自動的にV801SHに設定されます。設定した認証パスワードは変更できます。（☞P.12-3）

●認証パスワードを間違えたときは、赤外線／USB通信画面に戻ります。

5 受信が終われば、登録の確認画面が表示される。

6 受信したデータを登録するとき

「①YES」を選び、Ⓕを押す。

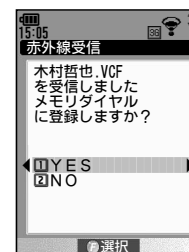
データ登　完了後、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

受信したデータを登録しないとき

1「②NO」を選び、Ⓕを押す。

情報を破棄してよいかの確認画面が表示されます。

2「①YES」を選び、Ⓕを押す。

通信を終了し、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

登録の確認画面
（メモリダイヤル）

データを全件送受信する

- データの全件送受信には、「**暗証番号**」と「**認証パスワード**」の入力が必要です。送信側／受信側の認証パスワードが一致すると赤外線通信が行えます。
  - ■「**暗証番号**」は、V801SHに設定した４ケタの操作用暗証番号（☞P.1-33）です。
  - ■「**認証パスワード**」は、赤外線通信のための専用パスワードです。受信時の認証パスワードは、あらかじめ設定しておくこともできます。（☞P.12-3）
- 送受信できるデータについては、P.12-3を参照してください。
- データフォルダの全件送受信については、P.12-7を参照してください。

データを全件送信する

1 **待受中にⓕ◎（USER）の順に押したあと、「6赤外線／USB通信」を選び、ⓕを押す。**

2 **「1赤外線一括送信」を選び、ⓕを押す。**
着信不可の確認画面が表示されます。

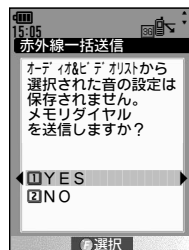
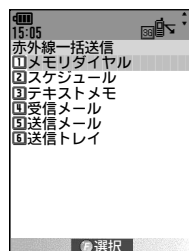
3 **「1YES」を選び、ⓕを押す。**
- 着信不可に設定できなかったときは、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

4 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線／USB通信画面へ

5 **送信する機能を選び、ⓕを押す。**

6 **受信側を待機状態にする。**

7 **認証パスワード（４ケタ）を入力する。**
送信の確認画面が表示されます。
■ メモリダイヤル一括送信時：画像データ送信の確認画面表示 ➡「1YES」／「2NO」選択➡ⓕ

8 **15秒以内に、「1YES」を選び、ⓕを押す。**
送信が開始されます。送信が完了すると、送信完了のメッセージが表示され、送信する機能の選択画面に戻ります。
- 認証パスワードを間違えたときも、送信する機能の選択画面に戻ります。

送信の確認画面
（メモリダイヤル）

データを全件受信する

1 **待受中にⓕ◎（USER）の順に押したあと、「6赤外線／USB通信」を選び、ⓕを押す。**

2 **「2赤外線受信」を選び、ⓕを押す。**
着信不可の確認画面が表示されます。

3 **「1YES」を選び、ⓕを押す。**

4 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線／USB通信画面へ

認証パスワードの入力画面が表示されたとき
- 初めて赤外線受信を行うときなど、認証パスワードの入力画面が表示されます。認証パスワード（４ケタ）を入力すると、受信が開始されます。
- 一度入力した認証パスワードは自動的にV801SHに設定されます。設定した認証パスワードは変更できます。（☞P.12-3）
- 認証パスワードを間違えたときは、赤外線／USB通信画面に戻ります。

5 **登録方法の選択画面が表示される。**

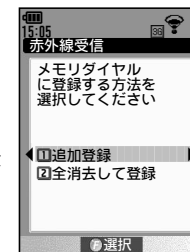
登録方法の選択画面
（メモリダイヤル）

6 **追加登録するとき**

「1追加登録」を選び、ⓕを押す。
データ受信が開始されます。受信が完了すると受信結果が表示され、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

すべてのデータを消して登録するとき

1 **「2全消去して登録」を選び、ⓕを押す。**
削除してよいかの確認画面が表示されます。

2 **「1YES」を選び、ⓕを押す。**
データ受信が開始されます。受信が完了すると受信結果が表示され、赤外線／USB通信の画面に戻ります。

フォルダ単位でデータを送受信する

- 送受信できるデータについては、P.12-3を参照してください。

フォルダ単位で送信する

- データフォルダ全体を送信するときは、ファイル名一覧表示にしておいてください。

1 **データフォルダ（☞P.11-9）から送信するフォルダを選び、Ⓜ（メニュー）を押す。**
- データフォルダ全体を送信するときは、「**データフォルダ**」を選び、Ⓜ（メニュー）を押してください。

2「赤外線フォルダ送信」または「赤外線データフォルダ送信」(データフォルダ全体の送信)を選び、Ⓕを押す。

着信不可の確認画面が表示されます。

3「①YES」を選び、Ⓕを押す。

●データフォルダ全体を送信するときは、このあと操作5へ進みます。

●着信不可に設定できなかったときは、データフォルダの画面に戻ります。

4 フォルダ名を入力し、Ⓕを押す。

●フォルダ名を変更しないときはそのままⒻを押し、操作5へ進みます。

5 受信側を待機状態にする。

6 15秒以内に、「①YES」を選び、Ⓕを押す。

送信が開始されます。送信が完了すると、データフォルダの画面に戻ります。

フォルダ単位で受信する

1 待受中にⒻ◎(USEFUL)の順に押したあと、「⑥赤外線／USB通信」を選び、Ⓕを押す。

12 赤外線通信

2「②赤外線受信」を選び、Ⓕを押す。

着信不可の確認画面が表示されます。

3「①YES」を選び、Ⓕを押す。

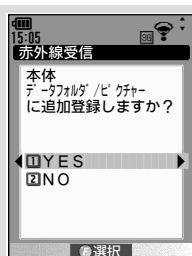
4 操作用暗証番号(4ケタ)を入力する。

待機状態になります。30秒以内に送信側からデータが送信されると、自動的に受信します。受信が完了すると、赤外線／USB通信画面に戻ります。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：赤外線／USB通信画面へ

補足

●受信したフォルダがすでにデータフォルダにあるときは、同じフォルダ内に登　するかの確認画面が表示されます。
「①YES」を選びⒻを押すと、データ受信を開始し、同じフォルダ内に追加保存します。
「②NO」を選びⒻを押すと、赤外線／USB通信画面に戻ります。

セキュリティ機能

暗証番号の変更

操作用暗証番号を変更する

現在使用している操作用暗証番号を新しい番号に変更します。

1 **Ⓕ 2 8の順に押す。**

2 **現在の操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

4 **もう一度、新しい操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

新しい操作用暗証番号が一致しないときは、待受画面に戻ります。

PINコードを変更する

PIN1コード／PIN2コードを変更する

USIMカードの暗証番号である「PIN1コード」、「PIN2コード」を変更します。

●「PIN1ON／OFF切替」（☞P.13-3）が「OFF」に設定されているときは、PIN1コードは変更できません。

1 **Ⓕ 0 1の順に押す。**

2 **「2PINコード変更」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1PIN1変更」または「2PIN2変更」を選び、Ⓕを押す。**

4 **現在のPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、Ⓕを押す。**

■ 現在のPIN1コード／PIN2コードの入力間違い：操作４をやり直す（最大２回まで）

●PIN１コードまたはPIN２コードの入力を3回続けて間違えると、PIN１ロックまたはPIN２ロックが設定され、特定の機能しか利用できなくなります。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
PIN1ロック／PIN２ロックの解除：☞P.13-3

5 **新しいPIN1コードまたはPIN2コード（４～８ケタ）を入力し、Ⓕを押す。**

6 **確認のため、もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、Ⓕを押す。**

■ 新PIN1コード／新PIN2コードの不一致：操作５～６をやり直す

電源を入れたときにPINコード入力をする

USIMカードを取り付けたときや電源を入れたとき、PIN1コードを入力して照合を行うかどうかを設定します。

●お買い上げ時には、「OFF」（照合しない）に設定されています。

1 **Ⓕ 0 1の順に押す。**

2 **「1PIN1 ON/OFF切替」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

■ 照合なしに設定：「2OFF」選択➡Ⓕ

4 **現在のPIN1コードを入力し、Ⓕを押す。**

■ 現在のPIN1コードの入力間違い：操作４をやり直す（最大２回まで）

●PIN1コードの入力を3回続けて間違えると、PIN1ロックが設定され特定の機能しか利用できなくなります。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
PIN1ロックの解除：☞P.13-3

PINロックを解除する

PIN1コードまたはPIN2コードの入力を3回続けて間違うと、PIN1ロック／PIN2ロックが設定され、V801SHの使用が制限されます。PIN1ロック／PIN2ロックを解除するときは、次の操作を行います。

●PIN1ロックまたはPIN2ロック解除コード（PUKコード）については、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

1 **PIN1ロック／PIN2ロックが設定されている状態で、PIN1／PIN2の入力が必要な機能を選んだあと、PINロック解除コード（PUKコード）を入力し、Ⓕを押す。**

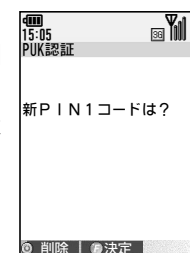
15:05
PUK認証
新ＰＩＮ１コードは？
削除　決定

■ PINロック解除コードの入力間違い：操作１をやり直す（最大9回）

2 **新しく設定するPIN1コードまたはPIN2コード（４～８ケタ）を入力し、Ⓕを押す。**

3 **確認のため、もう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、Ⓕを押す。**

■ 新PIN１解除コード／新PIN2解除コードの不一致：操作２～３をやり直す

●PIN解除コードの入力を10回続けて間違えると、USIMカードがロックされ、緊急呼モード（☞P.1-7）に切り替わり、V801SHの使用が制限されます。（途中で電源を切っても連続として数えます。）
●USIMカードがロックされたときは、所定の手続きが必要となります。お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

無断で利用されたくないとき

ダイヤル操作禁止を設定する

操作用暗証番号を入力しないと、電話をかけられないようにします。

1 **Ⓕ2 0の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

「🔒」が表示され、ダイヤル操作禁止が設定されます。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

ダイヤル操作禁止を解除する

操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。

「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。

- 通話中でも同様の操作で解除できます。
- 電源を切ってもダイヤル操作禁止は解除されません。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

ダイヤル操作禁止設定中は

■ 待受状態のときは、PWR長押し（電源のON／OFF）、Ⓕ長押し（誤動作防止の設定／解除）、0〜9（操作用暗証番号入力）、クリア（入力中の操作用暗証番号消去）以外の操作はできません。ただし、緊急ダイヤル（110、119）や海上保安庁への緊急通報（118）へは、電話をかけることができます。

■ 電話がかかってきたときは、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-10）で出ることができます。着信中にⓋを押すと、手動着信転送（☞P.15-4、P.15-5）ができます。また、◎を押すと、着信応答保留もできます。（オプションサービスの割込通話サービス利用時の割込着信中は、◎を押すと手動着信拒否となり、着信応答保留はできません。）

■ 通話中は、PWR（終話）、通話（オプションサービスの割込通話サービス利用時の通話切替）、0〜9（操作用暗証番号入力）、クリア（入力中の操作用暗証番号消去）、Ⓥ（通話中メニュー）以外の操作はできません。

電源を入れるたびにダイヤル操作禁止を設定する

電源を入れるたびに自動的にダイヤル操作禁止を設定します。（簡易ロック）

1 **Ⓕ2 1の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

このあと電源を切ると、電源を入れるたびにダイヤル操作禁止が設定されるようになります。

簡易ロックを解除する

ダイヤル操作禁止が設定されているときの解除方法を説明します。

1 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

「🔒」が消え、ダイヤル操作禁止が解除されます。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 **Ⓕ2 1の順に押す。**

3 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

4 **「2OFF」を選び、Ⓕを押す。**

メモリダイヤルの使用を禁止する

メモリダイヤルを誤って削除したり、他人が使用できないようにします。（メモリ使用禁止）

1 **Ⓕ2 3の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**

待受画面に戻ります。

■ メモリ使用禁止の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

F24

メモリ使用禁止設定中は

■ メモリダイヤルの検索／登　／修正／発信ができなくなります。
■ メモリダイヤルやオーナー情報を使ったバーコードの作成はできなくなります。（☞P.14-28）
■ スピードダイヤル（☞P.5-20）で電話をかけることもできません。

ダイヤルボタンでの発信を禁止する

ダイヤルボタンを押して電話をかけられないようにします。（ダイヤル禁止）

1 **Ⓕ②④の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1ON」を選び、Ⓕを押す。**
待受画面に戻ります。
■ ダイヤル禁止の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

ダイヤル禁止設定中は

■ 緊急ダイヤル（110、119）や海上保安庁への緊急通報（118）へは、電話をかけることができます。

セキュリティ機能

電話の着信制限

相手を限定して電話を受けたり、特定の相手からの電話は受けられないようにします。

指定着信許可	登　した電話番号からの着信に限り、つながるようになります。それ以外の相手には、話中音が流れます。
指定着信拒否	登　した電話番号からの着信は受けつけず、相手には話中音が流れます。

●着信拒否した電話は、不在時の着信お知らせ表示（☞P.2-25）で「**不在着信：○件**」と表示され、着信履歴には「**着信応答拒否**」として記憶されます。
●電話番号を通知してきた相手に限り有効です。
●非通知や公衆電話からの着信拒否もできます。（☞P.13-8）
●指定着信許可と指定着信拒否を、同時には設定できません。

リストに電話番号を登録する

着信許可または着信拒否の相手先は、最大10件まで登　できます。相手先を登　したあと「**指定着信許可**」または「**指定着信拒否**」を「ON」に設定すると、それぞれの機能が有効になります。

1
着信許可のとき

1 **Ⓕ②⑤の順に押す。**
2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

着信拒否のとき

1 **Ⓕ②⑥の順に押す。**
2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**
3 **「1リスト拒否」を選び、Ⓕを押す。**
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

2 **「3リスト登録」を選び、Ⓕを押す。**
登　済みの相手先があるときは、名前または電話番号が表示されます。
■ 相手先の消去：消去する番号選択 ➡ⓥ（消去）➡「1YES」選択➡Ⓕ

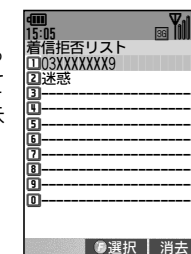
3 **登録する番号を選び、Ⓕを押す。**
●新規に登　するときは「-----------------」が表示されている番号を選んでください。

4 **電話番号を入力する。**
■ メモリダイヤルの利用：◎（TEL）➡メモリダイヤル選択（☞P.5-17〜P.5-19）

5 **Ⓕを押す。**
直接電話番号を入力したときは電話番号が、メモリダイヤルから選んだときは名前が表示されます。（メモリダイヤルに登　している電話番号と同じ番号を入力しても、登　している名前は表示されません。）
■ 他の相手先の登　：操作３〜５をくり返す

着信拒否のとき

13

セキュリティ機能

指定した電話番号の着信を許可する

●指定着信拒否を「ON」に設定しているときは、設定できません。

1 Ⓕ②⑤の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。
●相手先が１件も登録されていないときは、設定できません。
■ 指定着信許可の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

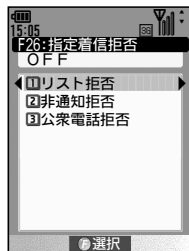
指定した電話番号の着信を拒否する

●指定着信許可を「ON」に設定しているときは、設定できません。

1 Ⓕ②⑥の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「①リスト拒否」を選び、Ⓕを押す。

4「①ON」を選び、Ⓕを押す。
●相手先が１件も登録されていないときは、設定できません。
■ 指定着信拒否の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

非通知の電話／公衆電話からの着信を拒否する

着信があると、着信音を鳴らさずに着信応答し、おことわりのメッセージを流します。

1 Ⓕ②⑥の順に押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3「②非通知拒否」または「③公衆電話拒否」を選び、Ⓕを押す。

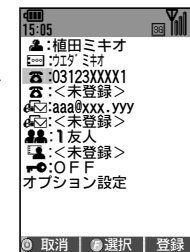
4「①ON」を選び、Ⓕを押す。
指定着信拒否の設定画面に戻ります。
■ 着信拒否の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ

秘密にしたい電話番号の登録

シークレットメモリを登録する

他人に知られたくないメモリダイヤルを、シークレットメモリとして登録します。
●シークレットメモリに登録したメモリダイヤルは、シークレットモード（☞P.13-10）でのみ表示されます。
●シークレットメモリは、USIMカードに設定できません。

1 メモリダイヤルを修正状態にする。（☞P.5-23）
●メモリダイヤルを新規登録する場合にシークレットメモリにするときは、通常のメモリダイヤルと同様に、名前／ヨミ／電話番号などを登録します。（☞P.5-3～P.5-5）

2「🔑:」を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。
「🔑:」の行に「ON」が表示されます。

4 ✉（登録）を押したあと、メモリ番号を入力する。

シークレットメモリを通常のメモリダイヤルに戻す

■ シークレットメモリを呼び出し、修正状態にします。「🔑:」を選びⒻを押したあと、「②OFF」を選びⒻを押します。✉（登録）を押して、終了します。

注意 ●操作用暗証番号を知らない人でも偶然番号が合い、メモリダイヤルを見られることも考えられます。重大な秘密などの記録用としてではなく、便利なメモリダイヤルとしてお使いになることをおすすめします。

シークレットメモリを呼び出す

シークレットモードに設定し（☞P.13-10）、通常のメモリダイヤルと同様に呼び出します。
電話をかけるときは、☎を押します。
●通常のメモリダイヤルは「🔑」が点灯し、シークレットメモリは「🔑」が点滅します。
●シークレットメモリの修正／削除なども、通常のメモリダイヤルと同様に行います。

シークレットモードを設定する

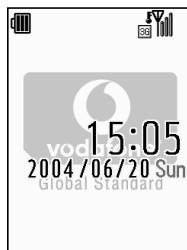
1 Ⓕ②②**の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

「⚷」が表示され、シークレットモードが設定されます。

●V801SHを閉じた状態でサイドキーを１秒以上押すと、サブディスプレイに「⚷」が表示されます。（サイドキー設定の待受時の動作を「**マーク表示**」に設定しているとき）

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

シークレットモードを解除する

Ⓕ②②**の順に押す。**

「⚷」が消え、シークレットモードが解除されます。

注意 ●電源を切るとシークレットモードは解除されます。

シークレットモード解除中

■ シークレットメモリとして登　されている相手から電話がかかってきたり、メールが送られてくると、相手の名前やピクチャーコール／メールに設定されている画像は表示されません。（指定着信音、メールコールの設定も無効となります。）
また、リダイヤルや着信履歴、受信メールボックスの画面でも表示されません。（シークレットモードに設定すると表示されます。）
ただし、シークレットメモリ登　する前に、メモリダイヤルを使って電話をかけたときのリダイヤルの名前や、相手からかかってきたときの着信履歴の名前は、シークレットモードの設定／解除にかかわらず表示されます。

誤動作防止設定

カバンの中に入れて持ち運ぶときなどに、誤ってボタンを押さないようにします。

待受中に、Ⓕを１秒以上押す。

「🔒」が表示され、誤動作防止が設定されます。

誤動作防止を解除する

誤動作防止が設定された待受中に、Ⓕを１秒以上押す。

「🔒」が消え、誤動作防止が解除されます。

誤動作防止設定中は

■ 電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止が解除され、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-10）で電話に出ることができます。通話終了後には、再び誤動作防止が設定されます。

■ Ⓟを２秒以上押しても、電源は切れません。

■ V801SHを閉じた状態でサイドキーを１秒以上押すと、サブディスプレイに「**サイドキー誤動作防止F長押しで解除**」と表示されます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻す

お客様が設定された項目を、お買い上げ時の状態（初期状態）に戻します。（設定リセット）

- メモリダイヤルなどの登　内容は消去されません。
- お買い上げ時の状態に戻る項目：☞P.17-6

1 **Ⓕ29の順に押す。**

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1実行」を選び、Ⓕを押す。**

メモリダイヤルなどの登録内容を消去する

操作用暗証番号以外の登　内容（メモリダイヤルやオリジナル着信音など）や履歴などのデータ（メールを含む）はすべて消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。（オールリセット）

- USIMカード内の登　内容は、消去されません。

1 **Ⓕ27の順に押す。**

- Vアプリ一時停止中：確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ

2 **操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

- 操作用暗証番号：☞P.1-33
- 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

3 **「1実行」を選び、Ⓕを押す。**

注意
- 一度、オールリセットで消去された登　内容や履歴などのデータは、元に戻すことはできません。

その他の機能

通話時の便利な機能

プッシュトーンを送る

V801SHからポケット　ルに文字メッセージを送ったり、自宅の留守番電話を遠隔操作します。

メモリダイヤルに登録した番号を一括して送る

よく送るポケット　ルのメッセージなどを登　しておくと便利です。

- あらかじめプッシュトーンをメモリダイヤルに登　しておいてください。（☞P.5-4）
- この方法で送るとき、メモリダイヤルには送りたいプッシュトーンのみを登　してください。

1 相手とつながったあと、◎（TEL）を押し、送りたいプッシュトーンを登録したメモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-17〜P.5-19）

2 Ⓕを押す。

3 「PB一括送信」を選び、Ⓕを押す。

補足
- メモリダイヤルの番号の中に「,（ポーズ）」を入力すると、「,（ポーズ）」までの番号を一区切りとして送信します。

ダイヤルボタンを押して送る

電話をかけ、相手とつながったあとダイヤルボタンを押し、プッシュトーンを送ります。

1 相手とつながったあと、送りたい番号を押す。

- アナウンスやアラーム音等に従って、ダイヤルボタンを押してください。詳しくは、接続先の機器やサービスの取扱説明書などを参照してください。
- 送ることのできるプッシュトーンは「0」〜「9」、「*」、「#」です。

2 ✉（PB送信）を押す。

発信時の便利な機能

F78

国際コード／国番号を付加して国際電話をかける

あらかじめよく利用する国際コードや国番号を指定しておけば、国際電話をかけるとき簡単な操作で利用できます。（☞P.2-6）

- 国際電話を利用するには、別途契約が必要です。

国際コードを自動的に付加する

国際コード自動付加を「ON」に設定すると、日本および海外で国際電話をかけるとき、自動的に国際コードを付加できます。
（電話番号の先頭に入力した「＋」の記号を、あらかじめ登　した国際コードに置きかえます。）

- お買い上げ時には、「OFF」に設定されています。また、国際コードはボーダフォンの国際電話識別番号「0046010」が登　されています。

1 Ⓕ7 8の順に押す。

15:05
F78:国際発信設定
OFF
1国際コード自動付加
2国番号リスト
3国番号自動付加
日本および海外で国際電話をかける際に使用する国際ｺｰﾄﾞを登録、自動的に付加します
選択

2 「1国際コード自動付加」を選び、Ⓕを押す。

3 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

現在登　されている国際コードが表示されます。

■ 国際コード自動付加の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

- 国際コードを変更するときはこの画面で入力し直します。

4 Ⓕを押す。

■電話をかける

例）国際電話識別番号「0046010」を設定してイギリス（44）へ国際電話をかけるとき

⬇

0046010441234XXX1として発信されます。

国番号リストを編集する

V801SHには、あらかじめ16の国番号が登　されており、日本および海外で国際電話をかけるときに選んで利用できます。新たに国番号を追加したり、変更もできます。（最大20件まで登　可能）

- 国番号も自動的に付加できます。（☞P.14-4）

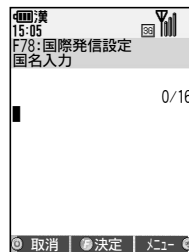
1 Ⓕ7 8の順に押す。

2 「2国番号リスト」を選び、 Ⓕを押す。

14 その他の機能

3 編集する番号を選び、Ⓕを押す。

- 新規に登　するときは、「-------------」が表示されている番号を選んでください。
- すでに登　されている番号を選んでⒻを押すと、内容を修正できます。

■ 登　済み国番号の変更：番号選択➡「①変更」選択➡Ⓕ
■ 登　済み国番号の消去：番号選択 ➡「② 消去」選択 ➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ（操作完了）

4 国名や地域名を入力し、Ⓕを押す。

- 全角８文字（半角16文字）以内で、必ず入力してください。

5 国番号を入力し、Ⓕを押す。

国番号リストに登　され、国番号リスト一覧の画面に戻ります。

- ６ケタ以内で、必ず入力してください。

国番号を自動的に付加する

国番号自動付加を「ON」に設定すると、日本および海外で国際電話をかけるとき、あらかじめ指定した国番号を簡単な操作で付加できます。

- お買い上げ時には、「OFF」（付加しない）に設定されています。

1 Ⓕ⑦⑧の順に押す。

2「③国番号自動付加」を選び、Ⓕを押す。

3「①ON」を選び、Ⓕを押す。

■ 国番号自動付加の解除：「②OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

4 自動付加する国番号を入力し、Ⓕを押す。

■ 国番号リストからの選択：◎➡国番号選択➡Ⓕ

番号を付加して電話をかける

あらかじめ登　した６ケタ以内の番号を、メモリダイヤルの先頭に付けて発信できます。（セット発信）

付加する番号を登録する

- 登　できる件数は１件のみです。

1 Ⓕ⑦⑨の順に押す。

2 登録する番号を入力し、Ⓕを押す。

電話をかける

1 メモリダイヤルを呼び出す。（☞P.5-17～P.5-19）

2 Ⓕを押す。

3「セット発信」を選び、Ⓕを押す。

表示されている電話番号の前に番号をつけてダイヤルします。

サイドキー設定

サイドキーを１秒以上押したときの動作を設定します。

- お買い上げ時には、着信時は「**簡易留守録**」、待受時は「**マーク表示**」に設定されています。

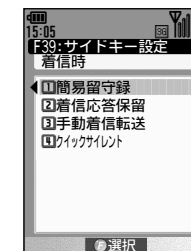
着信時の動作を設定する

1 Ⓕ③⑨の順に押す。

2「①着信時」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する動作を選び、Ⓕを押す。

- それぞれの動作は次のとおりです。

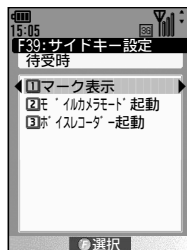
①簡易留守録	V801SHで相手のメッセージを　音する	☞P.14-6
②着信応答保留	アナウンスを流し、電話を保留する	☞P.2-15
③手動着信転送	留守番電話サービスセンターに転送し、相手の伝言を　音する または転送先に転送する	☞P.15-5 ☞P.15-4
④クイックサイレント	かかってきた着信に限り、着信音を「**サイレント**」にする	☞P.2-15

待受時の動作を設定する

1 Ⓕ③⑨の順に押す。

2 「2待受時」を選び、Ⓕを押す。

3 設定する動作を選び、Ⓕを押す。

●それぞれの動作は、次のとおりです。

1マーク表示	未読表示やアラーム表示などの詳細マークを表示する
2モバイルカメラモード起動	モバイルカメラがモバイルカメラモードで起動する
3ボイスレコーダー起動	ボイスレコーダーが起動する

電話を受けられないときに相手からのメッセージを録音する

電話を受けられないとき、相手のメッセージを録音します。（簡易留守録）

簡易留守録を設定する

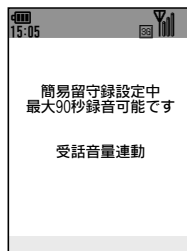
簡易留守録は電源が切れていたり、「圏外」の表示が出ているときは使用できません。このときは、オプションサービスの留守番電話サービスをご利用ください。（☞P.15-5）

●簡易留守録できるのは音声メモやマイボイスメモ（☞P.14-9）と合わせて20件まで、最大約90秒です。

Ⓕ文字の順に押す。

録音可能秒数が表示され、簡易留守録に設定されます。（設定完了後、待受画面に戻り、「留」が表示されます。）

■ 応答文再生：Ⓕ◎7➡「3応答文再生」選択➡Ⓕ

■ 留守録応答／録音中の受話音量の変更：Ⓕ◎7➡「4音量設定」選択➡Ⓕ➡「1受話音量連動」／「2サイレント」選択➡Ⓕ

簡易留守録が設定できない状態

■ マナーモード（☞P.3-3）／運転中モード（☞P.3-6）設定中は、簡易留守録の設定／解除はできません。
マナーモード／運転中モードを解除してください。

■ 録音できる時間が12秒以下のときや、すでに20件録音されているときは、簡易留守録に設定できません。不要なメッセージを消去してください。（☞P.14-8）

簡易留守録を解除する

Ⓕ文字の順に押す。

簡易留守録の設定が解除され、待受画面に戻ります。

注意 ●簡易留守録音中、マナーモード／運転中モード設定中は、簡易留守録の解除はできません。

簡易留守録設定時

■ 着信があると、相手に応答文が流れたあと録音が始まります。
- 録音中にV801SHを閉じても、録音は止まりません。
- 録音中に電話に出る：Ⓢ（録音内容は残りません。）

■ 録音が終わると、「留」が表示されます。
- 録音後、簡易留守録が設定できない状態（☞P.14-6）になったときは、簡易留守録は自動的に解除され、「留」表示が消えます。（「留」は用件を消去するまで表示したままです。）

簡易留守録未設定時

■ 着信中にⒻ文字の順に押すと、応答文が流れたあと、録音が始まります。このときは、その着信に限り留守録音します。（簡易留守録は「OFF」の設定のままです。）

■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**簡易留守録**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押すと、応答文が流れたあと、録音が始まります。

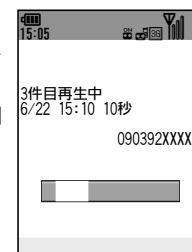
■ 簡易留守録が設定できない状態（☞P.14-6）のときは、不要なメッセージを消去してください。（☞P.14-8）

録音された用件を聞く

Ⓕスケジュール/メモの順に押す。

用件数表示後、新しいものから順に再生されます。最後の用件を再生し終わると、自動的に止まり、待受画面に戻ります。

■ メニュー操作の再生：Ⓕ◎➡「7簡易留守録」選択➡Ⓕ➡「2録音再生」選択➡Ⓕ

■ 再生途中の停止：再生中にⓅ

補足 ●時刻設定（☞P.1-28）がされていないときや、間違って設定されているときは、正しい日時が表示されません。

再生中に電話がかかってくると

●再生は自動的に止まります。電話に出るとき、Ⓢを押してください。

■再生中にできること（例：３件録音されているとき）

再生中に次の用件を聞く	再生中の用件の頭に戻す	再生中の１つ前の用件に戻す
再生中に◎を押す。	再生中に◎を押す。	再生中に◎を２回押す。
３件目 ２件目 １件目 —再生→ —再生→	３件目 ２件目 １件目 —再生→ —再生→	３件目 ２件目 １件目 —再生→ —再生→

録音された用件を消去する

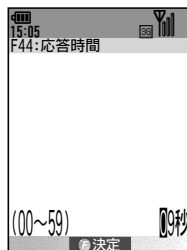
1 消去する用件を再生中に、クリアを押す。
消去の確認画面が表示されます。

2「①YES」を選び、Ⓕを押す。
次の用件が続けて再生されます。次の用件がないときは、待受画面に戻ります。
●用件をすべて消去すると、「📼」が消えます。

応答時間を変更する

０秒～59秒の範囲で設定します。
●お買い上げ時には、「９秒」に設定されています。

1 Ⓕ4 4の順に押す。

2 呼出し時間（00～59秒）を入力し、Ⓕを押す。
■ 着信音を鳴らさずに簡易留守　で応答：「00」を入力➡Ⓕ

補足
●簡易留守　を、オプションサービスの留守番電話サービス、または転送電話サービスと併せてご利用になる場合は、設定されている呼出し時間の短い機能が優先されます。また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると、留守番電話サービスや転送電話サービスが優先されます。

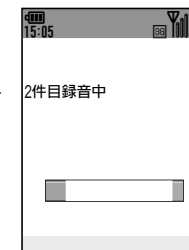
通話内容や自分の声を録音する

通話中の相手の声（音声メモ）や、待受中の自分の声（マイボイスメモ）をV801SHに　音します。
●　音できる時間は、簡易留守　（☞P.14-6）と合わせて最大約90秒です。
ただし、　音できる時間が３秒以下になったときや、用件やメモが20件　音されると、それ以上　音はできなくなります。
●待受中にSDメモリカードにも音声を　音できます。（ボイスレコーダー：☞P.9-32）

1 音声メモを録音するとき
通話中に、スケジュール/メモを１秒以上押す。

マイボイスメモを録音するとき
1 待受中に、スケジュール/メモを１秒以上押す。
2「①マイボイスメモ」を選び、Ⓕを押す。

2 録音が開始される。
音声メモは、相手の声のみ　音されます。
●マイボイスメモを　音するときは、送話口に向かってお話しください。送話口からの距離の目安は5～10cm位です。

3 録音を止めるときは、もう一度スケジュール/メモを押す。

●音声メモの場合、クローズ終話設定（☞P.1-27）が「ON」に設定されているときにV801SHを閉じると、電話が切れ、　音も終わります。（このときは、残りの　音可能時間は表示されません。）

●マイボイスメモを　音中に着信があると、　音は中止されます。このとき、エニーキーアンサー（☞P.2-10）で電話に出ることができます。（途中までの　音は保存されています。）

●電源を切っても　音内容は保存されています。
●音声メモ／マイボイスメモの再生方法や消去方法は、簡易留守　と同様です。（☞P.14-7～P.14-8）

アラーム設定

アラームを設定する

あらかじめ指定した時刻に毎日アラームでお知らせします。指定した曜日にだけアラームを鳴らすこともできます。(リピートアラーム)
また、世界時計に連動させることができます。(世界時計連動)
●最大5件まで登　できます。
●アラーム動作時にメッセージや電話番号も表示できます。また、アラーム音の鳴動時間／音量／種類／ランプ／バイブ設定も変更できます。

1 Ⓕ5 0の順に押す。

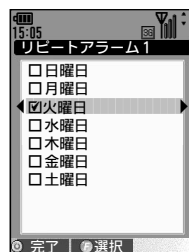
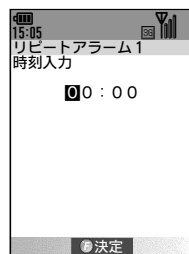
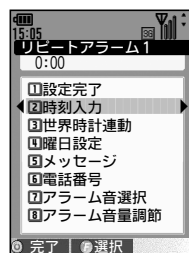
2 設定する番号を選び、Ⓕを押す。
●新規に登　するときは、「--------------」が表示されている番号を選んでください。

3「2時刻入力」を選び、Ⓕを押す。

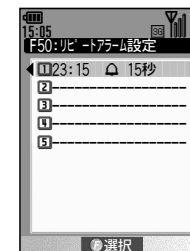
4 アラームの時刻を入力し、Ⓕを押す。
●時刻は24時間制で必ず入力してください。
■ 時差設定した時間にアラーム設定する：「3世界時計連動」選択➡Ⓕ➡「1ON」選択➡Ⓕ
■ オプション設定：☞P.14-12～P.14-13

5「4曜日設定」を選び、Ⓕを押す。

6 曜日を指定しないとき
毎日アラームを鳴らします。
「1デイリー」を選び、Ⓕを押す。

曜日を指定するとき
指定した曜日にアラームを鳴らします。
1「2曜日指定」を選び、Ⓕを押す。
2アラームを鳴らす曜日を選び、Ⓕを押す。
曜日が指定され、「☑」が表示されます。
●すでに指定されている曜日を選んでⒻを押すと、指定が解除されます。
3 2をくり返し、必要な曜日を指定する。
4指定が終われば◎（完了）を押す。

7「5メッセージ」を選び、Ⓕを押す。

8 メッセージを入力し、Ⓕを押す。
●全角8文字（半角16文字）まで入力できます。

9 ◎（完了）を押す。
アラームが設定されます。
■ 続けて他の時刻にアラームを設定：操作2～9をくり返す

10 設定を終わるときは、PWRを押す。
待受画面に戻り、「🔔」が表示されます。
●V801SHを閉じた状態でサイドキーを1秒以上押すと、サブディスプレイに「🔔」が表示されます。(サイドキー設定の待受時の動作を「**マーク表示**」に設定しているとき)

アラーム設定時刻になると

アラーム設定の内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
●世界時計連動を「ON」に設定していたときは、世界時計（☞P.7-4）の時刻にお知らせします。
●マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、ビデオファイルや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、それぞれの画像が優先して表示されます。
●アラームを解除するまで毎日または設定した曜日にお知らせします。

●通話中にアラーム設定時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後PWRを押すとアラームが動作します。
●アラーム音量調整を「**サイレント**」に設定していると、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。
●サブディスプレイにアラーム時刻の画面が表示されているときにサイドキーを押すと、登　されているメッセージや電話番号がサブディスプレイに表示されます。このあとサイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。
●世界時計連動を設定してアラームが鳴ったあと、世界時計連動を「OFF」に設定（解除）すると、標準時刻でもアラームを鳴らすことができます。

■アラーム音を途中で止める

PWRを押します。
●サイドキーを押すか、0～9／#／*／クリア／スケジュール／◎を押しても止まります。
●電話番号表示設定時：電話番号表示➡Ⓐ➡発信（表示の消去：PWR）

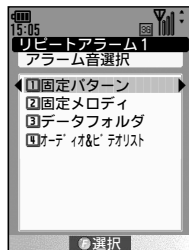
●あらかじめ登　していたメッセージや電話番号を表示しているときに、別のアラーム設定時刻になっても、メッセージや電話番号の表示を消すまでアラームは動作しません。

アラームの各種設定

アラーム動作時に電話番号を表示したり、アラーム音やバイブレータ、ランプを設定します。

●P.14-12～P.14-13の操作は「**アラームを設定する**」の操作1～4（☞P.14-10）を行ったあとの画面から行います。

アラーム音の種類を変更する

1 「アラーム音選択」を選び、Ⓕを押す。

2 アラーム音の種類を選び、Ⓕを押す。

●設定方法は、着信パターンと同様です。（☞P.8-3）

3 アラーム音を選び、Ⓕを押す。

4 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

アラーム音量を変更する

1 「アラーム音量調節」を選び、Ⓕを押す。

2 アラーム音量を選び、Ⓕを押す。

3 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

鳴動時間を変更する

1 「鳴動時間」を選び、Ⓕを押す。

2 鳴動時間（02～99秒）を入力し、Ⓕを押す。

3 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

バイブ設定を変更する

1 「バイブ設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「1ON」を選び、Ⓕを押す。

●バイブパターンは通常着信音の設定となります。

■ バイブ設定の解除：「2OFF」選択➡Ⓕ

3 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

ランプ設定を変更する

1 「ランプ設定」を選び、Ⓕを押す。

2 「1モバイルライト」または「2スモールライト」を選び、Ⓕを押す。

■ モバイルライト選択時：カラーパターン選択➡Ⓕ

■ ランプ消灯：「3OFF」選択➡Ⓕ➡操作4へ

3 設定する点滅パターン（☞P.8-6）を選び、Ⓕを押す。

4 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

電話番号を表示する

アラーム動作時に電話番号を表示すると、簡単な操作で電話をかけられます。（☞P.14-11）

1 「電話番号」を選び、Ⓕを押す。

2 電話番号を入力し、Ⓕを押す。

■ メモリダイヤルの利用：◎（TEL）➡メモリダイヤル検索（☞P.5-17）

3 ◎（完了）を押す。

■ 設定終了：PWR

14 その他の機能

アラームを解除する

解除してもアラーム時刻などの登　内容は消えません。再設定を行うことで、同じ内容でアラームを動作させることができます。

1 Ⓕ5 0の順に押す。

2 解除する番号を選び、Ⓕを押す。

●「🔔」が表示されている番号を選んでください。

3「2解除」を選び、Ⓕを押す。

「🔔」が消え、アラームが解除されます。

> **アラームの消去**
>
> ■（操作1のあと）消去する番号選択➡Ⓕ➡「3消去」選択➡Ⓕ

アラームを再設定する

解除したアラームを同じ内容で再設定できます。また一部を変更して設定できます。

1 Ⓕ5 0の順に押す。

2 再設定する番号を選び、Ⓕを押す。

3「1設定」を選び、Ⓕを押す。

■ アラームの内容変更：☞P.14-10の操作3以降

4 ◎（完了）を押す。

●待受画面に戻ると、「🔔」が表示されます。

スケジュール機能

V801SHには最大150件、SDメモリカードには最大300件の予定を登　できます。
スケジュールに登　できる項目は、次のとおりです。

件名	予定の内容を示すタイトルです。全角8文字（半角16文字）まで入力できます。
日時	開始日時と終了日時を登　します。
内容	予定の内容です。全角64文字（半角128文字）まで入力できます。
アラーム	アラームの有無やアラームを鳴らす時刻／アラーム音の種類／表示する電話番号などを設定します。
シークレット	予定をシークレットデータにします。
カテゴリ	予定の小分類を「未設定」／「個人予定」／「休日」／「旅行」／「仕事」／「ミーティング」／「クラブ・サークル」のいずれかに設定します。
優先度	予定の優先度を、「未設定」／「高」／「低」のいずれかに設定します。
状態	予定の状態を、「予定」／「完了」のいずれかに設定します。
詳細	予定の作成者、管理番号を確認します。

●赤外線通信機能を利用すれば、他の機器との間でスケジュールのやりとりができます。（☞P.12-4）
また、USB接続によるデータ転送も行えます。（☞P.14-38）

スケジュールを登録する

スケジュールを登　しておくと、アラームもお知らせできます。

1 待受中にⒻを押す。

2「スケジュール」を選び、Ⓕを押す。

●時刻を設定していないときは、時刻設定を行ってください。（☞P.1-28）

3 ✉（メニュー）を押す。

4「新規作成」を選び、Ⓕを押す。

5「件名」を選び、Ⓕを押す。

6 スケジュールのタイトルなどを入力し、Ⓕを押す。

●件名は必ず入力してください。

7「日時」を選び、Ⓕを押す。

8 **スケジュールの開始日時と終了日時を入力する。**
- 西暦4ケタ、月日時分各2ケタずつで、必ず入力してください。
- 1回のみの予定は、このあとⒻ（**決定**）を押し、操作9へ進みます。

くり返しの予定のとき

1 **◎（周期）を押す。**

2 **「②毎日」、「③毎週」、「④毎月」、「⑤毎年」のいずれかを選び、Ⓕを押す。**
- 日時を29～31日に設定し、「④毎月」を選択した場合、29～31日が存在しない月は、自動的にその月の末日に設定されます。

3 **くり返す回数（00～99回）を入力し、Ⓕを押す。**
- 「⑤毎年」を選んだときは、くり返す回数は設定できません。
- くり返す回数変更：Ⓥ（**回数**）

4 **Ⓕを押す。**

9 **「内容」を選び、Ⓕを押す。**
- 内容を入力しないときは、操作11へ進みます。

10 **スケジュールの内容を入力し、Ⓕを押す。**

11 **「アラーム」を選び、Ⓕを押す。**
- アラームを設定しないときは、操作14へ進みます。

12 **「①ON」を選び、Ⓕを押す。**
- このあと「①アラーム時刻」を設定しないときは、スケジュールの開始時刻にアラームが鳴る設定となります。

13 **アラーム設定の各項目を設定する。**
- 設定方法は、リピートアラームと同様です。（☞P.14-12～P.14-13）

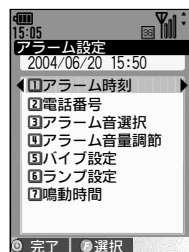
14 **アラーム設定が終われば、◎（完了）を押す。**

15 **すべての項目の設定が終われば、◎（完了）を押す。**
- 他の予定の登　：☞P.14-15～P.14-16の操作3～15をくり返す
- SDメモリカード登　：◎（▣）
  - ■登　先の変更：上記操作のあと、◎（▯）

16 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**

スケジュールを登　した日のカレンダーには、アンダーラインが表示されます。

登録したスケジュール当日

■ まだ設定時刻になっていないスケジュールがあると、待受画面に「▣」（アラームONのとき）または「▤」（アラームOFFのとき）が表示されます。（その日の最後のスケジュールの時刻が過ぎると消えます。）

スケジュールの指定時刻になると

アラーム設定を「ON」に設定していたときは、アラームの設定内容に従って、アラーム音やバイブレータでお知らせします。
- SDメモリカード内のスケジュールは、開始時刻になっても、アラームは動作しません。
- アラーム設定を「OFF」に設定しているときは、何も動作を行いません。
- マイキャラクタを設定しているときは、キャラクタが表示されます。また、ビデオファイルや画像付きSMAFファイルをアラーム音に設定しているときは、それぞれの画像が優先して表示されます。

- 通話中にスケジュール時刻になると、アラーム音は鳴りません。このときは、通話終了後Ⓟを押すとアラーム音が鳴ります。
- アラーム音量調節を「**サイレント**」に設定していると、マナーモード設定中（☞P.3-3）は、マナー設定変更で着信音量を「**ステップ**」に設定していても、「**サイレント**」になります。

- サブディスプレイにスケジュール時刻の画面が表示されているときにサイドキーを1秒以上押すと、登　している電話番号がサブディスプレイに表示されます。このあとサイドキーを1秒以上押すと、待受画面に戻ります。

■アラーム音を途中で止める

Ⓟを押します。
- サイドキーを1秒以上押すか、エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-10）を押しても止まります。
- アラーム音を止めると、登　した電話番号が表示されます。このあとⓈを押すと、表示されている電話番号に電話をかけることができます。
  表示を消すときはⓅを押します。

その他の項目の設定

■「シークレット」:「①ON」／「②OFF」選択➡Ⓕ
■「カテゴリ」:「①未設定」～「⑦クラブ・サークル」選択➡Ⓕ
■「優先度」:「①未設定」～「③低」選択➡Ⓕ
■「状態」:「①予定」／「②完了」選択➡Ⓕ

スケジュールの作成者、管理番号の確認

■「詳細」選択➡Ⓕ
- 作成者は、オーナー情報（☞P.2-32）の名前が表示されます。また、管理番号はスケジュールの登　時に、自動的に設定されます。

スケジュールの表示方法を設定する

カレンダー画面に表示されるスケジュールを、1日表示または1週間表示に設定します。
●お買い上げ時には、「1日表示」に設定されています。

1 **待受中にⒻを押したあと、「スケジュール」を選び、Ⓕを押す。**

2 **Ⓥ（メニュー）を押す。**

3 **「表示切替／1週間表示」または「表示切替／1日表示」を選び、Ⓕを押す。**
カレンダー画面に戻り、設定した表示方法でスケジュールが表示されます。

1　間表示

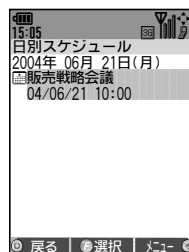
スケジュールを確認する

1 **待受中にⒻを押したあと、「スケジュール」を選び、Ⓕを押す。**
スケジュールが登　されている日付には、アンダーラインが表示されます。
■ SDメモリカード内の予定の確認：Ⓥ（メニュー）➡「メモリカードへ切替」選択➡Ⓕ（☞P.10-6）

2 **確認するスケジュールがある日を選び、Ⓕを押す。**
スケジュールの優先度により、表示される文字色が異なります。（未設定：黒／高：赤／低：青）
■ すべての予定を一覧で確認：Ⓥ（メニュー）➡「全件一覧表示」選択➡Ⓕ
■ データフォルダ登　（vファイル）：予定選択➡Ⓥ（メニュー）➡「データフォルダに保存」選択➡Ⓕ➡☞P.11-43

3 **確認するスケジュールを選び、Ⓕを押す。**

4 **確認を終わるときは、Ⓞ（戻る）を押す。**
日別スケジュール画面に戻ります。

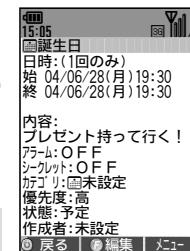
14 その他の機能

スケジュールを編集／消去する

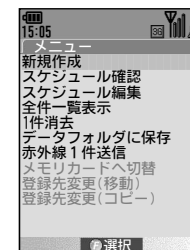
1 **待受中にⒻを押したあと、「スケジュール」を選び、Ⓕを押す。**

2 **編集または消去するスケジュールがある日を選び、Ⓕを押す。**

3 **編集するとき**

1 **編集するスケジュールを選び、Ⓕを押す。**
2 **編集する項目を選び、Ⓕを押す。**
●編集方法は、スケジュールの設定時と同様です。（☞P.14-15）
3 **必要な項目の編集が終われば、Ⓞ（完了）を押す。**
4 **「①新規登録」または「②上書登録」を選び、Ⓕを押す。**
カレンダー画面に戻ります。

●メモリが一杯のときは確認メッセージが表示され、編集画面に戻ります。不要な予定を消去したあと、やり直してください。（☞P.14-19）

消去するとき

1 **消去するスケジュールを選び、Ⓥ（メニュー）を押す。**
2 **「1件消去」を選び、Ⓕを押す。**
3 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**
スケジュール一覧の画面に戻ります。

スケジュールをまとめて消去する

1 **待受中にⒻを押したあと、「スケジュール」を選び、Ⓕを押す。**

2 **Ⓥ（メニュー）を押す。**

3 **「過去の予定を全消去」または「全消去」を選び、Ⓕを押す。**

4 **操作用暗証番号（4ケタ）を入力する。**
操作用暗証番号は表示されません。（「*」が表示されます。）
■ 操作用暗証番号：☞P.1-33
■ 操作用暗証番号の入力間違い：待受画面へ

5 **「①YES」を選び、Ⓕを押す。**
カレンダー画面に戻ります。

14 その他の機能

スポットライト

V801SHを懐中電灯のように利用できます。

スポットライトを点灯する

サイドキーを続けて2回押す。

スポットライト消灯

■ サイドキーを押す／エニーキーアンサーの各ボタン（☞P.2-10）を押す／V801SHを開く（閉じていたとき）

●スポットライトを人の目に近づけて点灯させたり、発光部を直視したりしないでください。また、発光方向を確認してから、ご使用ください。

●次のときは、スポットライトは点灯しません。
　■カメラモード中　■誤動作防止中　■ダイヤル操作禁止中　■通話中
　■メール受信中　■ボイスレコーダー録音中　■SMAF動作中　■発信中

●スポットライト点灯中に着信があると、スポットライトが消灯し、ディスプレイ／サブディスプレイのパネル照明が点灯します。

●Vアプリ起動中（Vアプリの「**パネル照明**」（☞P.12-4）を「**常時ON**」に設定しているとき）にスポットライトを点灯すると、設定した点灯時間終了後、ディスプレイのパネル照明が点灯します。

スポットライトの点灯方法を設定する

スポットライトの継続点灯時間や点灯カラーを設定します。

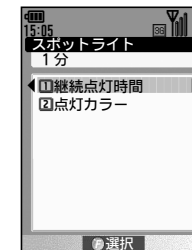
●お買い上げ時には、継続点灯時間は「**1分**」、点灯カラーは「**ライチフルーツ（白色系統）**」に設定されています。

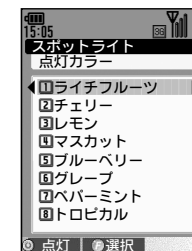
1 待受中にⒻ◎（USEFUL）の順に押したあと、「8便利機能」を選びⒻを押す。

2「5スポットライト」を選び、Ⓕを押す。

3「2スポットライト設定」を選び、Ⓕを押す。

4 継続点灯時間を設定するとき

1「1継続点灯時間」を選び、Ⓕを押す。
2 設定する時間を選び、Ⓕを押す。

点灯カラーを設定するとき

1「2点灯カラー」を選び、Ⓕを押す。
2 設定するカラーを選ぶ。
　カラーの確認：◎（点灯）
3 Ⓕを押す。

●スポットライトの継続点灯時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

バーコードを読み取る

バーコードの読み取り方法には、次の種類があります。

通常モード	１つのバーコード（JANコード）またはQRコードを読み取ります。（複数に分割されているQRコードを自動的に認識し、読み取れます。）
連続モード	複数のバーコード（JANコード）またはQRコードを連続して読み取ります。

- 印刷されたバーコードをモバイルカメラで撮影して読み取ったり、ボーダフォンライブ！などで入手したバーコードの画像ファイルを直接読み取れます。
- バーコード（JANコード）、QRコードのいずれかを自動的に判別し、読み取れます。
- 連続モードで読み取れる回数は、バーコード（JANコード）が最大50回、QRコードが最大16回です。
  ただし、データ内容やデータサイズによっては、連続読み取りできないことがあります。

注意

- バーコードが汚れていたり、かすれていたり、薄いときなどは、読み取れないことがあります。
- 室内などでバーコードを読み取るときに、体の一部やV801SHの影がバーコードにかかると、読み取れないことがあります。このようなときは、モバイルライトを利用することをおすすめします。
- ディスプレイ内に複数のバーコードが表示されているときは、読み取れないことがあります。
- 次のときはバーコードの読み取りはできません。
  - ■Vアプリ一時停止中
  - ■オーディオプレイヤー再生中
  - ■SDメモリカードの手動シンクロ中
  - ■メール続き受信中
  - ■外部データ通信中

補足

- JANコードとは幅の異なるバーとスペースを組み合わせた一次元コードの種類です。（ただし、JANコード以外の一次元バーコード（ITFコード、Code39、Codabar/NW-7等）は、読み取ることができません。）
- QRコードとは縦横に情報を持った二次元コードの種類です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登　商標です。

モバイルカメラで撮影して読み取る

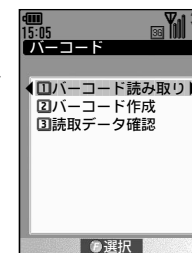
バーコード専用モードで読み取る方法と、文字入力中に読み取る方法があります。

バーコード専用モードで読み取る

読み取った文字を、コピーして他の画面にペーストできます。また、「TEL:」や「MAILTO:」など、特別な意味を持った文字が含まれていると、メモリダイヤルやメールに文字を入力したり、インターネット接続できます。

1 待受中にⓕ◎（[USEFUL]）の順に押したあと、「8便利機能」を選び、ⓕを押す。

2 「6バーコード」を選び、ⓕを押す。

■ Vアプリ一時停止中／オーディオプレイヤー再生中／SDメモリカードの手動シンクロ中／メール続き受信中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡ⓕ

3 「1バーコード読み取り」を選び、ⓕを押す。

4 「1通常モード」または「2連続モード」を選び、ⓕを押す。

モバイルカメラが起動します。（被写体との距離を約10cm程度、離してください。）

- 通常サイズのバーコードを読み取るときは、接写モードにしてください。（☞P.6-24）

■ 読み込みデータがないときのモード切替：Ⓥ（通常⇔連続）

■ モバイルライトの利用：[#]（「点灯」⇔「消灯」切替）

■ 明るさの調整：◎（☞P.6-26）

QR コードのとき

5 読み取るバーコードをディスプレイ中央部に表示し、ⓕ（認識）を押す。

バーコードの読み取りが開始されます。V801SHを固定してそのままお待ちください。

■ 読み取りの中止：◎（中止）（操作４を行ったあとの状態に戻る）

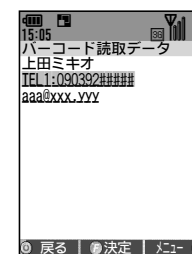
6 通常モードのとき

読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、読み取り結果が表示される。

■読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-25

補足

分割されているバーコードのとき

- 次のバーコードを読み取るかどうかの確認画面が表示されます。
- 「1YES」を選びⓕを押すと、次のバーコードの読み取りができる（操作４を行ったあとの）状態になります。ⓕを押して、バーコードを読み取ってください。
- 「2NO」を選びⓕを押すと、情報破棄の確認メッセージが表示されます。「1YES」を選びⓕを押すとすでに読み取ったバーコード内の情報は破棄され、新たにバーコードが読み取れる（操作４を行ったあとの）状態になります。
- 分割個数分のバーコードをすべて読み込まないと、表示／保存できません。
- 読み取り中は、分割されている個数と、読み取っている個数が画面１行目に表示されます。
  （例：[2/4]…４分割の２個目）

連続モードのとき

1 読み取りが終了すると、認識完了音が鳴り、連続して読み取るかどうかの確認画面が表示される。

2 連続して読み取るときは、「1YES」を選び、Ⓕを押す。

読み取り後、1の画面が表示されます。

- 2をくり返し、必要なバーコードをすべて読み取ります。（画面１行目には、現在の読み取り個数を示すアイコン（「1」など）が表示されます。）

3 読み取りを終了するときは、「2NO」を選び、Ⓕを押す。

読み取り結果が表示されます。

■読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-25

読み取り結果の表示サイズ変更

■ お買い上げ時には、「**文字中／画像等倍**」に設定されています。

■ 読み取り結果表示中に、（**メニュー**）を押したあと、「**表示サイズ設定**」を選び、Ⓕを押します。設定する表示サイズを選び、Ⓕを押します。

■ 読み取り結果表示中に、（スケジュール/メモ）を押しても、文字や画像の表示サイズが切り替わります。（スケジュール/メモ）を押すたびに、「**文字中／画面サイズ**」→「**文字小／画像等倍**」→「**文字小／画面サイズ**」→「**文字大／画像等倍**」→「**文字大／画面サイズ**」→「**文字中／画像等倍**」の順に切り替わります。（画像等倍時には、「」、画面サイズ時には「」がディスプレイ上部に表示されます。）

読み取りのやり直し

■ 読み取り結果表示中に、◎（**戻る**）を押します。情報破棄の確認メッセージが表示されますので「1YES」を選び、Ⓕを押します。操作４を行ったあとの状態に戻りますので、操作５をやり直してください。

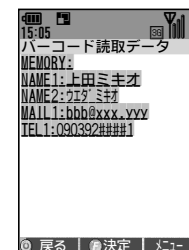
■バーコードの読み取り結果を利用した各操作

電話をかける※1	「TEL:」のついている番号を選択➡Ⓕ➡「⇒**電話**」選択➡Ⓕ➡
メール送信する※2	「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡Ⓕ➡「⇒**メール送信**」選択➡Ⓕ➡メール作成画面表示（以降の操作：☞P.3-3）
メール本文に利用してメール送信する	（**メニュー**）➡「**メール送信**」選択➡Ⓕ➡「1**メール送信**」／「2**SMS送信**」選択➡Ⓕ➡読み取り結果確認➡Ⓕ ● 読み取った文字の利用：読み取り結果確認画面で（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡Ⓕ➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡Ⓕ（メール送信操作：☞P.3-3）
メモリダイヤルに登録する※1、※2	「TEL:」のついている番号／「@」の含まれているE-mailアドレスを選択➡Ⓕ➡「⇒**メモリダイヤル登録**」選択➡Ⓕ（以降の操作：☞P.5-3操作３以降）
インターネットに接続する※3	先頭に「http://」のついているURLを選択➡Ⓕ➡「⇒**ウェブアクセス**」選択➡Ⓕ（以降の操作：☞P.4-26）
ライブラリに登録する（画像／メロディ）	画像／メロディ選択➡Ⓕ➡「**データフォルダに保存**」選択➡Ⓕ
登録	（**メニュー**）➡「**読取データの登録**」選択➡Ⓕ➡タイトル入力➡Ⓕ ● 登　できるのは最大10件です。 （登　した読取データの確認：☞P.14-27）
コピーする	（**メニュー**）➡「**コピー**」選択➡Ⓕ➡コピーする最初の文字にカーソル移動➡Ⓕ➡コピーする最後の文字にカーソル移動➡Ⓕ ● 選んだ文字が記憶されます。このあと他の画面にペーストします。

※1　含まれている文字が「TEL:¥」のときに利用できます。
※2　含まれている文字が「¥@¥」のときに利用できます。
※3　含まれている文字が「http://¥」のときに利用できます。
「¥」は英数字１文字以上を示します。

● 先頭に「TEL:」の付いている電話番号／「@」が含まれているE-mailアドレス／先頭に「http://」の付いているURLがないと、それらを利用した各操作は行えません。

「MEMORY:」や「MAILTO:」が含まれている読み取り結果

■ 操作６（☞P.14-23〜P.14-24）の画面で右のような、メモリダイヤル（「MEMORY:」のとき）やメール（「MAILTO:」のとき）用の項目と内容が表示されます。このあとⒻを押すと、表示されている内容をメモリダイヤル登　画面やメール送信画面にまとめて入力できます。まとめて入力できるものには破線のアンダーラインがつきます。（ただし、文字列の中に規定以外の文字があると、その文字以降は破線のアンダーラインはつきません。）

文字入力中に読み取る

読み取った文字を、文字入力画面のカーソル位置に入力します。

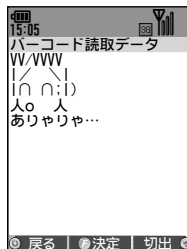
●バーコードを読み取ったときの文字入力状態によっては、読み取った文字がすべて入力されないことがあります。

1 文字入力画面で、Ⓥを２回押す。

2 バーコードを読み取る。（☞P.14-23～P.14-24の操作4～6）

■ 読み取った文字の一部利用：Ⓥ（**切出**）➡切り出す最初の文字にカーソル移動➡Ⓕ➡切り出す最後の文字にカーソル移動➡Ⓕ

3 Ⓕを押す。

読み取った文字が、文字入力画面に入力されます。

●次のときは、文字入力中のバーコード読み取りはできません。
- テキスト貼付／マーカースタンプの文字入力中
- 通話をしているときの文字入力中
- 赤外線送信時の文字入力中
- バーコード読取データの登　のタイトル入力中
- メール続き受信中
- 外部データ通信中

データフォルダ内のバーコードを直接読み取る

1 ⓞ3の順に押す。

2 「ピクチャー」を選び、Ⓕを押す。

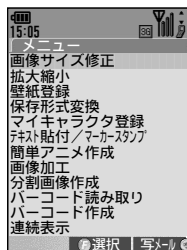
■ フォルダ表示中：フォルダ選択➡Ⓕ

3 読み取るバーコードファイルを選び、Ⓥ（メニュー）を押す。

メニュー画面が表示されます。（バーコードの画像は表示されません。）

4 「バーコード読み取り」を選び、Ⓕを押す。

読み取り結果が表示されます。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-25

●拡大縮小（リサイズ）したバーコードは読み取れないことがあります。

●対応していないコードでは、確認メッセージが表示され、読み取りできないことがあります。

読取データを確認する

バーコード読取データフォルダ内の読み取り結果（読取データ）を確認します。

1 待受中にⒻⓞ（USEFUL）の順に押したあと、「8便利機能」を選び、Ⓕを押す。

2 「6バーコード」を選び、Ⓕを押す。

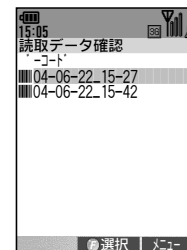
3 「3読取データ確認」を選び、Ⓕを押す。

●このあと読取データを選びⓋ（**メニュー**）を押すと、読取データの情報確認（プロパティ）や名前の変更、消去などが行えます。操作方法は、データフォルダでの操作と同様です。（☞P.11-12、P.11-50～P.11-51）

4 確認する読取データを選び、Ⓕを押す。

読み取り結果が表示されます。

●表示した読み取り結果は再登　できません。

■ 読み取り結果を利用した各操作：☞P.14-25

バーコードを作成する

V801SHのオーナー情報／メモリダイヤル／メール／テキスト／メロディ／画像（ピクチャー）を利用して、バーコードファイルを作成します。作成したバーコードファイルはデータフォルダに登　したり、メールに添付して送信できます。

バーコード専用モードを利用する

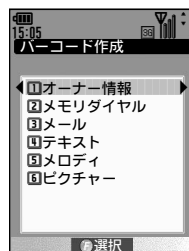
１回の操作につき、１つの情報（オーナー情報／メモリダイヤル／メール／テキスト／メロディ／画像）を選び、バーコードとして作成します。

- すでにV801SHに登　されている情報から選んで作成したり、新たにメモリダイヤルやメールの内容などを入力しての作成もできます。
- １つのバーコードに登　できる文字数の目安としては、数字のみ入力したときは513文字、漢字のみ入力したときは131文字となります。
- 情報量が多いときは、一度に最大16個のバーコードが分割作成されます。

1 待受中にⒻ◎（USEFUL）の順に押したあと、「8便利機能」を選び、Ⓕを押す。

2「6バーコード」を選び、Ⓕを押す。

■ Vアプリ一時停止中／オーディオプレイヤー再生中／SDメモリカードの手動シンクロ中／メール続き受信中：終了確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ

3「2バーコード作成」を選び、Ⓕを押す。

4

オーナー情報をバーコード化するとき

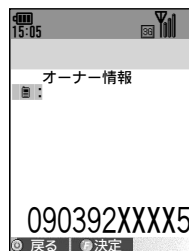
オーナー情報の名前／ヨミ／電話番号（３件）／E-mailアドレス（３件）／パーソナルデータの情報から作成します。（郵便番号はバーコード化されません。）

1「1オーナー情報」を選び、Ⓕを押す。

2 操作用暗証番号（４ケタ）を入力する。

■ 操作用暗証番号：☞P.1-33

■ 操作用暗証番号の入力間違い：バーコード作成の情報選択画面へ

3 Ⓕを押す。

メモリダイヤルをバーコード化するとき

メモリダイヤルの名前／ヨミ／電話番号（３件）／E-mailアドレス（３件）／パーソナルデータの情報から作成します。（グループ名やオプション設定の内容は、バーコード化されません。）

1「2メモリダイヤル」を選び、Ⓕを押す。

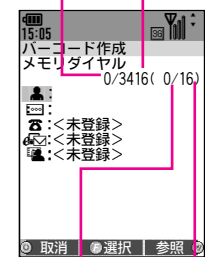
2 ㊂（参照）を押したあと、バーコード化するメモリダイヤルを選び、Ⓕを押す。

選んだメモリダイヤルの内容が表示されます。

■ 新規内容入力：項目選択➡Ⓕ（各項目の入力画面へ）➡内容入力➡Ⓕ（☞P.5-3～P.5-4）

3 Ⓕを押す。

バーコード化したときの情報量

可能情報量（バイト）

現在の分割数

最大分割数

メールをバーコード化するとき

宛先／件名／本文／添付の情報から作成します。

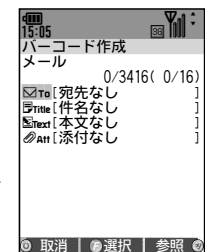
1「3メール」を選び、Ⓕを押す。

■ 新規内容入力：項目選択➡Ⓕ（各項目の入力画面へ）➡内容入力➡Ⓕ（☞P.3-3）

2 ㊂（参照）を押したあと、バーコード化するメールの種類を選び、Ⓕを押す。

- 受信メールボックス／送信メールボックス／送信トレイから選びます。

3 バーコード化するメールを選び、Ⓕを押す。

選んだメールの内容が表示されます。

- 宛先は１番目の指定先のみバーコード化されます。
- オプション設定内容はバーコード化できません。
- バーコード作成時に、メール本文中の改行は削除されます。

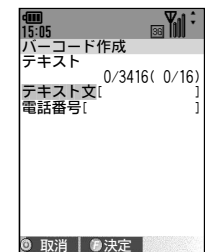
テキスト（文字）をバーコード化するとき

入力したテキスト文／電話番号の情報から作成します。

1「4テキスト」を選び、Ⓕを押す。

2「テキスト文」を選び、Ⓕを押す。

■ 電話番号の入力：「電話番号」選択➡Ⓕ➡電話番号を入力➡Ⓕ

3 バーコード化するテキストを入力し、Ⓕを押す。

メロディや画像をバーコード化するとき

データフォルダ内のメロディや画像から作成します。

1「5メロディ」または「6ピクチャー」を選び、Ⓕを押す。

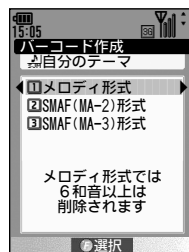
2 バーコード化するメロディまたは画像を選び、Ⓕを押す。

オリジナル着信音（.SJM）を選ぶと、右の画面が表示されますので、変換するデータ形式を選び、Ⓕを押します。

●データ内容やデータサイズによっては、バーコード作成できないことがあります。

3「1YES」を選び、Ⓕを押す。

バーコードが作成され、表示されます。

●このあと、操作6へ進みます。

5 Ⓜ（作成）を押す。

作成されたバーコードが表示されます。1つのバーコードに作成できる文字数を超えたときは、確認画面が表示され、自動的に分割バーコードとして作成されます。

■ SD メモリカード登　：Ⓜ（メニュー）➡「1 登録先」選択➡Ⓕ➡「2メモリカード」選択➡Ⓕ

■登　先をV801SHに戻す：上記操作のあと、「1本体」選択➡Ⓕ

■ メール添付送信：Ⓜ（メニュー）➡「2メール添付」選択➡Ⓕ

（☞P.3-3）

■ データの消去：Ⓜ（メニュー）➡「3データ消去」選択➡Ⓕ➡消去するデータ選択➡Ⓕ➡「1YES」選択➡Ⓕ

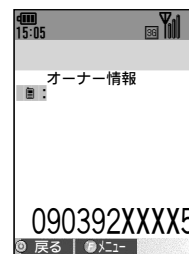
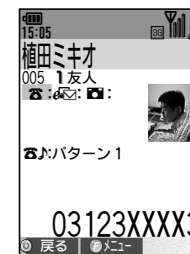
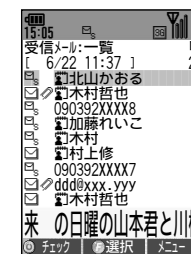
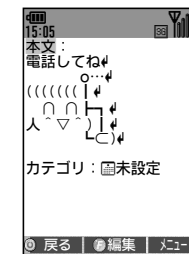
6 Ⓕを押す。

V801SHのデータフォルダのピクチャーフォルダに登　されます。

バーコード作成中の着信時

■ 作成中の内容は保存されています。作成を継続するときは、次の操作を行います。
Ⓕ➡確認画面表示➡「1YES」選択➡Ⓕ➡バーコード作成画面へ

各情報画面からバーコードを作成する

V801SHに登　しているオーナー情報／メモリダイヤル／メール／テキスト メモ／データフォルダ内のメロディ／画像から、バーコードを作成します。

オーナー情報

メモリダイヤル

メール

テキストメモ

1 各情報の画面で、Ⓕ（メニュー）またはⓂ（メニュー）を押す。

●メールのときは、バーコード作成するメッセージを選んで操作します。

2「バーコード作成」を選び、Ⓕを押す。

情報の種類に応じて、各画面が表示されます。

■ 以降の操作：☞P.14-30の操作5以降

電池の消費を抑える

ディスプレイの消費を抑える

パネルセーブを設定する

V801SHは、開いたまま操作をしない状態が一定時間以上続くと、電池の消耗を防ぐため、自動的に画面表示が消えます。（パネルセーブ）

このパネルセーブまでの時間を2分～20分の間（1分単位）で変更したり、パネルセーブしないようにします。

●お買い上げ時には、5分後にパネルセーブするよう「ON」（5分）に設定されています。

1 Ⓕ③③の順に押す。

2 「①ON/OFF設定」を選び、Ⓕを押す。

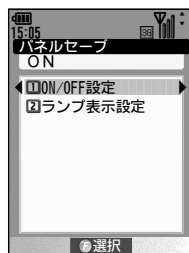
3 「①ON」を選び、Ⓕを押す。

■ パネルセーブの解除：「②OFF」選択➡Ⓕ（操作完了）

4 パネルセーブの動作までの時間（02〜20分）を入力し、Ⓕを押す。

パネルセーブの動作までの時間が設定されます。

注意 ●通話中やボーダフォンライブ！利用中など、利用状態によってはパネルセーブが動作しないことがあります。

補足 ●パネルセーブ時間を短くすると、電池パックの消耗を軽減できます。

パネルセーブ動作時

■ 自動的に画面表示が消えます。（スモールライトが橙色点滅）

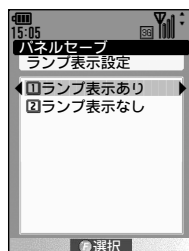
●パネルセーブは何かボタンを押したり、着信などがあると、解除されます。
（最初に押したボタンは、パネルセーブ解除用としてのみ働きます。ダイヤル入力や各種操作などは、パネルセーブが解除されてから行ってください。）

●パネルセーブ動作中にV801SHを閉じると、「③パワー ON」（☞P.8-8）で設定されている効果音が鳴り、パネルセーブ動作中であることをお知らせします。このあとV801SHを開くと、パネルセーブは解除されます。

パネルセーブ動作時にスモールライト表示も消す

●お買い上げ時には、点滅するよう「ランプ表示あり」に設定されます。

1 Ⓕ③③の順に押す。

2 「②ランプ表示設定」を選び、Ⓕを押す。

3 「②ランプ表示なし」を選び、Ⓕを押す。

補足 ●「ランプ表示あり」に設定すると、「ランプ表示なし」に設定しているときに比べて、電池パックの利用可能時間が短くなります。

簡易電卓

12ケタまでの四則演算とパーセント計算が行えます。
また、通貨の換算もできます。

●通貨レートは5件まで記憶しておくことができます。ただし、設定できるのは1件です。

1 Ⓕ④⑨①の順に押す。

●簡易電卓の機能は、次のボタンに割り当てられています。

機能	ボタン	機能	ボタン
＋（足す）	◎	RM（メモリ呼出）	文字
−（引く）	◎	M＋（メモリ加算）	✓
×（掛ける）	◎	．（小数点）	＊
÷（割る）	◎	＋/−（符号反転）	#
＝（イコール）	Ⓕ	％（パーセント）	◎
C・CE（クリア）	クリア	通貨（レート変換）	◎
CM（クリアメモリ）	スケジュール/メモ		

通貨換算設定

■ 通貨レートの新規登録：Ⓕ④⑨②➡「①ON」選択➡Ⓕ➡登録する番号選択➡Ⓕ➡通貨名（半角8ケタまで）入力➡Ⓕ➡レート（12ケタまで）入力➡Ⓕ

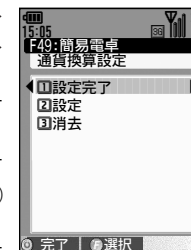
■ 通貨レートの選択：Ⓕ④⑨②➡「①ON」選択➡Ⓕ➡設定する番号選択➡Ⓕ➡「①設定完了」選択➡Ⓕ

■ 通貨レートの修正：Ⓕ④⑨②➡「①ON」選択➡Ⓕ➡修正する番号選択➡Ⓕ➡「②設定」選択➡Ⓕ➡通貨名（半角8ケタまで）入力➡Ⓕ➡レート（12ケタまで）入力➡Ⓕ

■ 通貨レートの消去：Ⓕ④⑨②➡「①ON」選択➡Ⓕ➡消去する番号選択➡Ⓕ➡「③消去」選択➡Ⓕ➡「①YES」選択➡Ⓕ

■ 通貨換算方法：換算前の通貨額入力➡◎➡換算後の通貨額表示

●通貨換算設定で設定しているレートで計算されます。

●換算前の通貨額に戻すときは、換算後の通貨額を表示しているときに◎を押します。

2 簡易電卓を終わるときは、◎を押す。

注意 ●計算中に着信があったときは、入力した数値や計算結果は消去されます。ただし、メモリに記憶した数値は消去されません。

補足 ●メモリ計算では(スケジュール/メモ)を押して、メモリ内容を消去してから始めてください。
●メモリに記憶した数値は簡易電卓を終了しても消去されません。電源を切ると消去されます。

マネー積算メモ

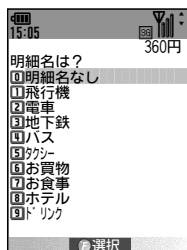
順次入力した金額の合計を自動的に計算します。出張時の経費の計算などに便利です。
●積算メモに入力できる金額は最大で31件です。（合計金額は30,999,969円まで、１回の入力は999,999円まで）

マネー積算メモを入力する

1 待受中に、積算する金額を入力する。

2 (スケジュール/メモ)を押す。

3 明細名（例：2電車）を選び、(F)を押す。

入力した金額が加算され、待受画面に戻ります。
●自動的に入力した日時で登　されます。時刻設定（☞P.1-28）していないときは、日時には「--/-- --:--」が登　されます。
■ 明細名の変更：☞P.14-35

補足 ●通話中にマネー積算メモは入力できません。

入力したマネー積算メモを確認する

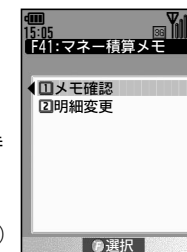
1 (F)(4)(1)の順に押す。

2「1メモ確認」を選び、(F)を押す。

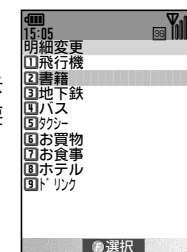
マネー積算メモの合計が表示されます。
●マネー積算メモがないときは、確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。
■ 他の金額の確認：(◎)
■ マネー積算メモの消去：マネー積算メモ表示中に (クリア)（消去）➡「1YES」選択➡(F)
■ 確認終了：(PWR)

明細名を変更する

1 (F)(4)(1)の順に押す。

2「2明細変更」を選び、(F)を押す。

3 変更する明細名を選び、(F)を押す。

4 明細名を変更し、(F)を押す。

●全角５文字（半角10文字）まで入力できます。
●変更した明細名を元に戻すときは、修正した明細を(クリア)で消去したあと(F)を押します。あらかじめ登　されている明細名に戻ります。
■ 他の明細名の変更：操作３～４をくり返す
■ 変更終了：(PWR)

「電車」→「書籍」に変更したとき

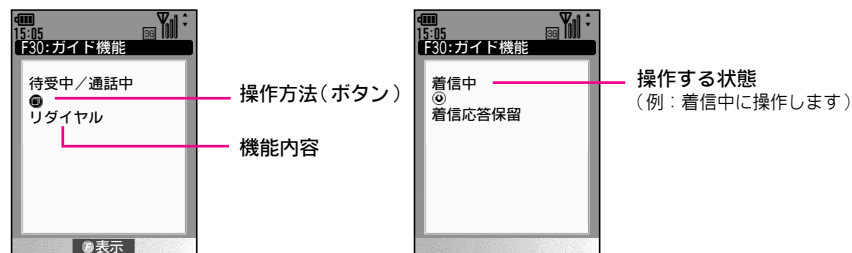
機能の操作方法の確認

1 F 3 0の順に押す。

マナーモードの操作方法が表示されます。

2 ◎を押す。

別の機能の操作方法が表示されます。

★画面の見かた

3 確認を終わるときは、PWRを押す。

マイク付液晶オーディオリモコンの利用

ワンタッチで電話をかける

あらかじめメモリダイヤルのメモリ番号000に相手を登 録しておけば（☞P.5-5）、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのスイッチを押すだけで、電話をかけられます。

1 イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

2 スイッチを「ピピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

●相手が出たら、お話しください。

3 通話が終わったら、スイッチを「ピッ」と音がするまで、長く（1秒以上）押し続ける。

電話が切れます。PWRを押して、電話を切ることもできます。

●V801SHを閉じても、電話は切れません。

注意

●ダイヤル操作禁止やメモリ使用禁止設定中は、電話をかけられません。（☞P.13-4、P.13-5）

●オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードをV801SH本体やアンテナ部分に巻き付けないでください。アンテナが正しく働かないことがあります。また、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンのコードをアンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。ご注意ください。

●プラグは確実に差し込んでください。半差しなど途中で止まっていると音が聞こえないことがあります。

補足

●メモリ番号000をシークレットデータにしているときは、シークレットモード（☞P.13-10）にしてから、スイッチの操作で電話をかけてください。

ワンタッチで電話を受ける

1 イヤホンマイク端子に、オプション品のマイク付液晶オーディオリモコンの接続プラグを差し込む。

着信音を鳴る設定にしているときに電話がかかってくると、着信音出力切替（☞P.8-12）の設定により、イヤホンのみ、またはイヤホンとスピーカーの両方から着信音が聞こえます。

2 スイッチを長く（1秒以上）押し続ける。

電話がつながります。相手と、お話しください。

●電話を切る操作は上記と同様です。

外部機器を利用してデータ通信をする

V801SHをオプション品のVodafone Global Standard USBケーブルを介してパソコンに接続し、パケット通信方式のデータ通信を行います。

■データ通信に必要な機器

- V801SH本体
- Vodafone Global Standard USBケーブル（オプション品）
- USB HOST Driver for V801SH（USBホストドライバ）（付属品）
- パソコン※

※ご利用いただけるパソコンの動作環境につきましては、付属品のUSB HOST Driver for V801SH（USBホストドライバ）に同梱のインストールマニュアルをご確認ください。

■データ通信を行う前に

- オプション品のVodafone Global Standard USBケーブルをご使用の際は、付属品のUSB HOST Driver for V801SH（USBホストドライバ）をパソコンにインストールする必要があります。インストール手順などの詳細については、付属品のUSB HOST Driver for V801SH（USBホストドライバ）に同梱のインストールマニュアルを参照してください。
- パソコンとオプション品のVodafone Global Standard USBケーブルの接続については、オプション品のVodafone Global Standard USBケーブルに同梱のインストールマニュアルを参照してください。
- パソコンの通信設定などについては、ご契約されたプロバイダの説明書、またはお手持ちのパソコンの取扱説明書を参照してください。なお、本データ通信をご利用いただけるプロバイダは、V801SHに同梱のガイドブックでご確認ください。
- プロバイダ不要の「**アクセスインターネット**」でデータ通信をご利用になるときは、アクセスポイントや設定方法、サービス概要などを同梱のガイドブックでご確認のうえ、ご利用ください。

- データ通信は、電波の安定した環境で行ってください。
- 海外モード中（「GSM」表示）に電話とデータ通信は、同時にはご利用になれません。
- 「**赤外線／USB通信**」メニューを選ぶと（待受中にⒻ◎⑥の順に押したときなど）、「**USBデータ通信**」メニューが表示されますが、この機能はボーダフォンで使用する機能です。お客様はご利用になれませんのであらかじめご了承ください。
  この機能をご利用の際に生じた不具合については、一切の保障はいたしかねます。

- 卓上ホルダーを使って充電しながらデータ通信を行えます。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスが利用できます。
- 電波の届かない場所では、V801SHからは操作できません。
- 一般電話からの操作、ご利用にあたっての詳細は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。

転送電話サービス	電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、電話に出られないときにかかってきた電話を、指定した電話番号へ転送します。（☞P.15-3）
留守番電話サービス（別途お申し込みが必要）	電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときなどに、留守番電話サービスセンターで伝言メッセージをお預かりします。（☞P.15-5）
割込通話サービス（別途お申し込みが必要）	通話中の相手を保留にし、第三者からの電話を受けたり、第三者へ電話をかけることができます。また、相手を切り替えることもできます。（☞P.15-7）
三者通話サービス（別途お申し込みが必要）	２人での通話中に、もう１人に電話をかけ、３人同時に通話できます。また、相手を切り替えながらの通話もできます。（☞P.15-8）
発着信規制サービス	電話をかけたり、電話を受けたりすることを状況にあわせて制限できます。（☞P.15-9）
発信者番号通知サービス	お客様の電話番号を相手に通知したり、かけてきた相手の電話番号を確認できます。

転送電話サービス

- 発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、転送電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

転送電話サービスを開始する

1 **Ⓕ⑦①の順に押す。**

2 **転送先の電話番号を入力し、Ⓕを押す。**
- 一般電話は、市外局番から入力してください。

■ メモリダイヤル利用：◎➡メモリダイヤル呼び出し（☞P.5-17）

転送先を留守番電話サービスセンターにするとき
- ㊙（留守）を押すと登　済の番号が表示されます。
  - ■登　済の番号の変更：㊙（変更）➡番号修正➡Ⓕ
  （ボーダフォンからお知らせがないときは、変更しないでください。）
  Ⓕを押したあと、もう一度Ⓕを押し、操作３へ進みます。

3 **「①あり」（着信音を鳴らす）または「②なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。**

■「①あり」選択時：呼出し時間選択➡Ⓕ

4 **確認画面が表示されたら、Ⓕを押す。**

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
- しばらくすると、待受画面に戻ります。

- 転送電話サービスと留守番電話サービスは同時には利用できません。
- すでに留守番電話サービスを開始しているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止します。

転送先として登録できない電話番号
- 「１」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
- 「00」から始まる電話番号（例：001、0041から始まる国際電話番号など）
- 「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
- 「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ２など）

呼出し時間

■ 呼出し時間とは、転送電話サービスまたは留守番電話サービスを開始しているときに、V801SHにかかってきた電話が転送されるまでの時間（V801SHの着信音が鳴る時間）のことです。
■ 転送電話サービスまたは留守番電話サービスをV801SHの簡易留守　（☞P.14-6）と合わせてご利用になるときは、呼出し時間の設定により、優先順位が変わります。
　　例：**各サービスの呼出し時間…20秒**
　　　　簡易留守録の呼出し時間…19秒
と設定すると、簡易留守　が優先されます。（ただし、電波状況により優先順位が変わることがあります。）
また、簡易留守　を優先していても、　音件数が一杯になると各サービスが優先されます。

転送電話サービス開始後の着信

■ 着信音が鳴っている間に　を押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま転送先に転送されます。

転送電話サービス開始後の手動着信転送

■ 着信中、呼出し時間内に電話を転送するときは、　を押します。
転送先に転送できなかったときは、待受画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**手動着信転送**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、転送先に転送されます。
■ 　またはサイドキーによる手動着信転送は、転送電話サービスを開始しているときに有効です。
留守番電話サービスを開始しているときは、留守番電話サービスセンターに転送されます。それぞれのサービスを停止中に操作すると、着信拒否となります。

転送電話サービスを停止する

1 **Ⓕ7 3の順に押す。**

2 **「1YES」を選び、Ⓕを押す。**
接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

転送電話サービスの設定状況の確認

1 Ⓕ7 4の順に押す。
2「1YES」を選び、Ⓕを押す。
●設定状況が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

15 オプションサービス

留守番電話サービス

留守番電話サービスで利用できる機能などの詳細は「**サービスガイドブック**」をご覧ください。
●発着信規制サービスの「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定中は、留守番電話サービスはご利用になれません。（発着信規制サービスが優先されます。）

別途お申込みが必要です。

留守番電話サービスを開始する

1 **Ⓕ7 2の順に押す。**

2 **「1留守呼出設定」を選び、Ⓕを押す。**

3 **「1あり」（着信音を鳴らす）または「2なし」（着信音を鳴らさない）を選び、Ⓕを押す。**
アナウンスが流れますので、設定内容を確認してください。
●「1あり」に設定したときの呼出し時間は、約20秒（固定）です。

4 **　を押す。**
待受画面に戻ります。

注意
●留守番電話サービスと転送電話サービスは同時には利用できません。
●すでに転送電話サービスを開始しているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止します。

補足
●海外から留守番電話サービスを開始するときは、転送電話サービスの転送先を留守番電話サービスセンターにしてください。（☞P.15-3）

留守番電話サービス開始後の着信

■ 着信音が鳴っている間に　を押すとそのまま通話できます。
●転送時の着信音を「**なし**」にしているときは、そのまま留守番電話サービスセンターに転送されます。

留守番電話サービス開始後の手動着信転送

■ 着信中（呼出し時間内）に　を押すと、留守番電話サービスセンターに転送されます。
留守番電話サービスセンターに転送できなかったときは、待受画面に戻ります。
■ サイドキー設定の着信時の動作（☞P.14-5）を「**手動着信転送**」に設定しているときは、着信中にサイドキーを1秒以上押しても、留守番電話サービスセンターに転送されます。
■ 　またはサイドキーによる手動着信転送は、留守番電話サービスを開始しているときに有効です。
転送電話サービスを開始しているときは、転送先に転送されます。それぞれのサービスを停止中に操作すると、着信拒否となります。

15 オプションサービス

F73 F77

留守番電話サービスの呼出し時間

■ 留守番電話サービスの呼出し時間（固定：20秒）を変更したいときは、転送電話サービスの転送先を留守番電話サービスセンターの番号で登　し、転送電話サービスの呼出し時間を変更してください。（☞P.15-3）

留守番電話サービスを停止する

1 Ⓕ7 3の順に押す。

2 「①YES」を選び、Ⓕを押す。
接続中のメッセージが表示されたあと、停止の確認メッセージが表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

伝言メッセージを聞く

留守番電話サービスセンターに伝言メッセージが入っているときは、ディスプレイに「1416」が表示されます。
●「1416」は、Ⓕ7 2 2の順に押すと、消すことができます。

1 Ⓕ7 7の順に押す。

2 日本では「①日本からの再生」、海外からは「②海外からの再生」を選び、Ⓕを押す。

3 ◎（発信）を押す。
留守番電話サービスセンターに接続されます。アナウンスに従って操作してください。

4 📞を押す。
待受画面に戻ります。

補足 ●「1416」はV801SHから伝言メッセージを聞いたときに消えます。（一般電話から伝言メッセージを聞いたときは消えません。）

留守番電話サービスの設定状況の確認

1 Ⓕ7 4の順に押す。
2 「①YES」を選び、Ⓕを押す。
●設定状況が表示されます。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

割込通話サービス

通話中に第三者からの電話を受けたり、第三者へ電話をかけることができます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話することができます。

別途お申込みが必要です。

割込通話サービスを設定する

1 Ⓕ7 5の順に押す。

2 「①ON」を選び、Ⓕを押す。
ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。
表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

割込通話サービスの解除

1 Ⓕ7 5の順に押す。
2 「②OFF」を選び、Ⓕを押す。
●確認メッセージが表示され、待受画面に戻ります。

割込通話サービスの設定を確認する

1 Ⓕ7 6の順に押す。

2 「①YES」を選び、Ⓕを押す。
ネットワーク接続後、設定状況が表示されます。表示されないときは、もう一度操作をやり直してください。
●しばらくすると、待受画面に戻ります。

割込通話を受ける

1 通話中に電話がかかってくると、割り込み音が聞こえる。

2 📞を押す。
今まで通話していた相手が保留になり、あとからかかってきた相手と通話できます。
●✉3（**通話切替**）を押すたびに、通話する相手が切り替わります。

割込通話中に📞を押すかV801SHを閉じた場合

■ すべての通話が切れます。
●V801SHを閉じたとき、通話を切らないようにすることもできます。（☞P.1-27）

割込通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ってディスプレイに保留中の画面が表示されます。
✉1（**保留解除**）を押すと、保留中の相手との通話になります。

15 オプションサービス

●割込通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

●留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話サービスセンターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスで「**着信音なし**」に設定しているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話サービスセンターまたは転送先に転送されます。
●割込通話サービスをご利用中は、通話中に着信があってもバイブレータは動作しません。（着信音も鳴りません。）
専用の割り込み音が聞こえ着信中のメッセージが表示されます。ただし、保留中に割込着信があったときは、バイブレータは動作し、パターン１の着信音が鳴ります。

三者通話サービス

別途お申込みが必要です。

通話中にもう１人へ電話をかける

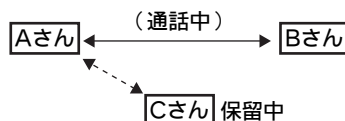
通話中に電話番号を押し、を押す。

相手につながると、通話できます。それまで通話していた相手は、保留になります。
●メモリダイヤル、リダイヤル、着信履歴、ノートパッドメモリを使ってもかけられます。

相手を切り替えながら通話する（切替通話）

通話中に3または を押す。

それまで通話していた相手が保留になり、もう一方の相手と通話できます。

●3を押すたびに、通話する相手が切り替わります。

切り替え通話中にを押すかV801SHを閉じた場合

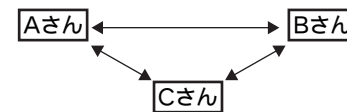
■すべての通話が切れます。
●V801SHを閉じたとき、通話を切らないようにすることもできます。（☞P.1-27）

切り替え通話中に、通話中の相手が電話を切った場合

■「ピピピピ…」と警告音が鳴ってディスプレイに保留中のメッセージが表示されます。1（**保留解除**）を押すと、保留中の相手との通話になります。

三人で同時に通話する（三者通話）

1 **切替通話中に、（メニュー）を押す。**

2 **「4三者通話開始」を選び、Fを押す。**
三者通話モードになり、３人で同時に通話できます。

三者通話中にを押すかV801SHを閉じた場合

■２人の相手との電話が同時に切れます。
●V801SHを閉じたとき、通話を切らないようにすることもできます。（☞P.1-27）

三者通話中に、通話中の相手のどちらかが電話を切った場合

■残された相手との通話になります。

発着信規制サービス

電話をかけたり、電話を受けたりすることをSMSも含めて制限します。
●「**転送電話サービス**」または「**留守番電話サービス**」を設定中は、「**全発信規制**」および「**全着信規制**」はご利用になれません。（転送電話サービスまたは留守番電話サービスが優先されます。）
■転送電話サービスまたは留守番電話サービスを設定中に「**全発信規制**」または「**全着信規制**」を設定すると、SMSの発着信のみできなくなります。
規制内容は次のとおりです。

発信規制		着信規制	
全発信規制	緊急通話を除くすべての電話をかけられないようにします。	**全着信規制**	すべての電話を受けられないようにします。
国際発信全規制※1	滞在国以外への電話をかけられないようにします。	**出国中全着信規制**	日本以外で電話を受けられないようにします。
国際発信規制※2	滞在国と日本以外への国際電話をかけられないようにします。		

※1　例：イギリス滞在中➡イギリス国内へのみ発信可能
※2　例：イギリス滞在中➡イギリス国内および日本国内へのみ発信可能
●ここで使用する発着信規制用暗証番号とは、ご契約時にお決めいただいた発着信規制サービス専用の４ケタの番号（☞P.1-33）のことです。

●発着信規制用暗証番号の入力を３回続けて間違えると、発着信規制サービスの設定変更ができなくなります。このときは、発着信規制用暗証番号と交換機用暗証番号の変更が必要となりますので、ご注意ください。詳しくは、お問い合わせ先（☞P.17-23）までご連絡ください。

発信規制を設定する

1 **F 7 0 1の順に押す。**

2 **「1全発信規制」、「2国際発信全規制」、「3国際発信規制」のいずれかを選び、Fを押す。**

3 **発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示され、待受画面に戻ります。

●発信規制中に電話をかけようとすると、発信規制中である旨のメッセージが表示されますが、お客様がご利用になる地域によっては、表示されるまでに時間がかかることがあります。メッセージが表示されないときは、発着信規制サービスの設定状況をご確認ください。

着信規制を設定する

1 **F 7 0 2の順に押す。**

2 **「1全着信規制」または「2出国中全着信規制」を選び、Fを押す。**

3 **発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示され、待受画面に戻ります。

発着信規制の制限をすべて解除する

1 **F 7 0 3の順に押す。**

2 **発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

ネットワーク接続後、解除の確認画面が表示され、待受画面に戻ります。

発着信規制サービスの設定状況を確認する

1 **F 7 0 4の順に押す。**

2 **確認する発着信規制を選び、Fを押す。**

ネットワーク接続後、設定状況の確認画面が表示され、待受画面に戻ります。

発着信規制用暗証番号を変更する

1 **F 7 0 5の順に押す。**

発着信規制用暗証番号の入力画面が表示されます。

2 **現在の発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

3 **新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

4 **もう一度新しい発着信規制用暗証番号（４ケタ）を入力する。**

ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示され、待受画面に戻ります。

●新しい発着信規制用暗証番号が一致しないときは、待受画面に戻ります。

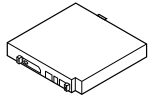
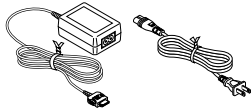
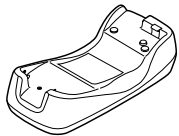
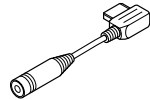
Abridged English Manual

For more information about handset operations and functions, please go to the Vodafone K.K. Website (www.vodafone.jp) for the full manual* or dial 157 from a Vodafone handset for Customer Service.

Contents

*Please note that the full manual may not be available in English at time of purchase. In this case, call Customer Service or check Vodafone Website again at a later date.

Accessories

■Battery (SHBR01)*
(Type 1 lithium-ion battery)

■Rapid Charger (SHCR01)*

■Desktop Holder (SHER01)*

■Analog Conversion Cable

■Optical Conversion Plug

■Stereo Headphones

■SD Memory Card

■USB HOST Driver for V801SH (CD-ROM)

*Additional quantities may be purchased separately.

Address accessory-related inquiries to Customer Service, General Information (☞P. 16-47).

Safety Precautions

- Read safety precautions before using handset.
- Observe precautions to avoid injury to self or others or damage to property.
- Vodafone is not liable for any damages resulting from use of this product.

Before Using Handset

■ Symbols

Make sure you thoroughly understand these symbols before reading on. Symbols and their meanings are described below:

⚠ DANGER	Great risk of death or serious injury from improper use
⚠ WARNING	Risk of death or serious injury from improper use
⚠ CAUTION	Risk of injury or damage to property from improper use

■ Symbols

(prohibition symbols)	Prohibited Actions
(compulsory symbols)	Compulsory Actions
⚠	Attention Required

⚠ DANGER

Handset, Battery & Charger

Use only the specified battery, charger or holder
Using non-specified equipment may cause malfunctions, electric shock or fire due to battery leakage, overheating or bursting.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal objects away from charger terminals. Keep handset away from jewelry. Battery may leak, overheat, burst or ignite causing injury. Use a case to carry handset.

Battery

Prevent injury from battery leakage, breakage or fire.
Do not:

- Heat or dispose of battery in fire.
- Disassemble, modify or break battery.
- Damage or solder battery.
- Use a damaged or deformed battery.
- Use non-specified charger.
- Force battery into handset.
- Charge or place battery near fire, heat sources or in extreme heat.
- Use battery for other equipment.

If battery fluid gets into eyes, do not rub them. Rinse with clean water and consult a doctor immediately.
Eyes may be severely damaged.

WARNING

Handset, Battery & Charger

Do not insert foreign objects into handset
Do not put metal or flammable objects in handset, charger or holder. This may cause fire or electric shock. Keep handset out of the reach of children.

Keep handset out of rain or extreme humidity
Fire or electric shock may occur.

Keep handset away from liquid-filled containers
Keep handset, charger and holder away from chemicals/liquids. Fire/electric shock may result.

Avoid sources of fire
Prevent fire or explosion. Do not use handset in the presence of gas or fine particles (coal, dust, metal, etc.).

Do not use Mobile Light near people's faces
Eyesight may be temporarily affected leading to accidents.

Keep SD Memory Card, Analog Conversion Cable & Optical Conversion Plug out of reach of small children
If swallowed accidentally, consult a doctor immediately.

Keep handset, charger or holder away from microwave ovens
Battery or handset may leak, burst, overheat or ignite and cause accidents.

Do not disassemble or modify handset
- Do not open handset, battery or holder; may cause electric shock or injury. Contact Vodafone Customer Assistance for repairs.
- Do not modify handset, charger or holder. Fire or electric shock may result.

Do not subject handset to shocks
Subjecting handset, charger or holder to shocks may cause malfunction or injury. Should the handset break, remove the battery and contact Vodafone Customer Assistance. Discontinue handset use. Fire or electric shock may occur.

If water or foreign matter should get inside handset:
Discontinue handset use to prevent fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery, unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

If an abnormality occurs:
Should there be unusual sound, smoke or odor, discontinue handset use to avoid fire or electric shock. Turn handset power off, remove battery and unplug charger and contact Vodafone Customer Assistance.

Handset

Preventing accidents
For safety, never use handset while driving. Pull over beforehand.

Do not swing handset by handstrap
May result in injury or breakage.

Turn handset power off before boarding aircraft
Using wireless devices aboard aircraft may cause electronic malfunctions or endanger aircraft operation.

Adjust vibration and ring tone settings:
Select settings carefully if you have a heart condition or pacemaker.

During lightning storms, turn power off and take shelter
There is a risk of lightning strike or electric shock.

Charger

Use only the specified voltage
Non-specified voltages may cause fire or electric shock.
- Rapid Charger
  AC 100 V
- Rapid Charger compatible with AC 100 V - 240 V household currents.
- Included power cord is for use in Japan only.
- Do not use included power cord overseas. Purchase power cord with appropriate plug. Vodafone bears no responsibility for problems charging handset abroad.
- Cigarette Lighter Charger
  DC 12 V/24 V

Do not use commercial transformers
Connecting the Rapid Charger to a commercially available transformer for travel use may cause breakage, fire or electric shock.

Do not use In-Car Charger in cars with a positive earth
Fire may result. Use In-Car Charger only in cars with a negative earth.

Charger Care
Do not touch plug with wet hands. Electric shock may occur.

- Do not use multiple cords in one outlet. May generate excess heat or fire.
- Do not bend, twist, pull or set objects on cord. Exposed wire may cause fire or electric shock.

Do not short-circuit charger terminals
Keep metal away from terminals. May cause overheating, fire or electric shock.

Do not use Desktop Holder in automobiles
Extreme temperature or vibration may cause fire or breakage.

If Charger or In-Car Charger cord is damaged:
May cause fire or electric shock; contact Vodafone Customer Assistance to replace.

Preventing accidents
Secure In-Car Charger to avoid injury or accidents.

During lightning storms:
Unplug charger to avoid breakage, fire or electric shock.

Keep Charger and Desktop Holder out of reach of children
Failure to do so may result in electric shock or injury.

Battery

- If battery does not charge properly, stop charging. Battery may overheat, burst or cause fire.
- If there is leakage or abnormal odor, avoid fire sources. It may catch fire/burst.

If there is abnormal odor, excessive heat, discoloration or distortion, remove battery from handset. It may leak, overheat or explode.

Handset Use & Electronic Medical Equipment

This section is based on "Guidelines on the Use of Radio Communications Equipment such as Cellular Telephones and Safeguards for Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference, April 1997) and "Report of Investigation of the Effects of Radio Waves on Medical Equipment, etc." (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Persons with implanted pacemakers or defibrillators should keep handset more than 22 cm away
Radio waves may cause implanted pacemakers or defibrillators to malfunction.

Turn handset power off in crowded places such as trains. People with implanted pacemakers or defibrillators may be near.
Implanted pacemakers or defibrillators may malfunction due to radio waves.

Observe these rules when visiting medical institutions:
- Do not take handset into operating rooms, Intensive or Coronary Care Units.
- Keep handset off in hospitals.
- Keep handset off in hospital lobbies. Electronic equipment may be near.
- Obey rules regarding mobile phone use in medical institutions.

Consult manufacturer for radio wave effects on electronic medical equipment.

⚠CAUTION

Handset, Battery & Charger

Handset Care
- Place handset on stable surfaces to avoid malfunction or injury.
- Keep handset away from oily smoke or steam. Fire or accidents may result.
- Cold air from air conditioners may condense, resulting in leakage or burnout.
- Keep handset away from direct sunlight (inside cars, etc.) or heat sources. Distortion, discoloration or fire may occur. Battery shape may be affected.
- Keep handset out of extremely cold places to avoid malfunction or accidents.
- Keep handset away from fire sources to avoid malfunction or accidents.

Usage Environment
- Excessive dust may prevent heat release and cause burnout or fire.
- Avoid using handset on the beach. Sand may enter resulting in malfunction or accidents.
- Keep handset away from credit cards, phone cards, etc. to avoid data loss.

Handset

Avoid leaving handset in extreme heat (inside a car, etc.)
Handset may heat up and lead to burns.

Do not use in crowded places
The handset may strike others and cause accidents.

Volume settings
Be careful when setting volumes. High volumes may damage you hearing. In order to prevent this, set at a moderate volume.

Stereo headphones, analog conversion cable and optical digital conversion plug
- Always grasp the plug to disconnect. Pulling on the cord may disconnect the wire and malfunction.
- Keep the plug clean. If the plug is dirty, noise and malfunctions may occur.

Inside automobiles:
Handset use may cause electronic equipment to malfunction.

Charger

Charger & In-Car Charger
Grasp plug (not cord) to disconnect Charger. May cause fire/electric shock.

- Keep cord away from heaters. Exposed wire may cause fire or electric shock.
- Stop use if plug is hot or improperly connected. May cause fire/electric shock.
- Keep In-Car Charger socket clean. May overheat and cause injury.

Do not touch Desktop Holder while in use
May cause burns.

Long periods of disuse
Be sure to unplug Charger or In-Car Charger after use.

Handset Maintenance
When cleaning, disconnect Charger/In-Car Charger to prevent shock/injury.

Use only the specified fuse
1A fuse for In-Car Charger. Or may cause breakage/fire.

Always charge handset in a well-ventilated area
Avoid covering/wrapping Charger/Desktop Holder. May cause damage/fire.

Installing In-Car Charger
Properly position the cable for safe driving to avoid injury or accidents.

Do not use In-Car Charger when engine is off
Start engine before use. Or car battery may be weakened.

Battery

Do not throw or abuse battery. Battery may overheat, burst or cause fire.

Do not leave battery in direct sunlight or inside cars. Overheating/fire may occur and battery performance may deteriorate.

Do not expose battery to liquids. Performance may deteriorate.

If battery fluid gets on skin or clothes, rinse with clean water immediately.

- Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to a Vodafone shop. Follow local regulations regarding battery disposal.
- Keep battery out of the reach of children.

- Charge battery within a range of 5℃ - 35℃. Or may leak/overheat. Performance may deteriorate.
- If your child is using handset, explain all instructions and supervise usage.
- If there is abnormal odor or excessive heat, stop using battery and call Vodafone Customer Assistance.

General Notes

General Use

- Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration of handset or SD Memory Card data. Please keep separate records of Phone Book data, etc.
- Handset transmissions may be disrupted inside buildings, tunnels or underground, or when moving into/out of such places.
- Use handset without disturbing others.
- Handsets are radios as stipulated by the Radio Law.
  Under the Radio Law, handsets must be submitted for inspection upon request.
- Handset use near landlines, TVs or radios may cause interference.
- Japan Mode (3G Mode) available only within Japan.
- Beware of Eavesdropping
  Digital signals reduce interception, however transmissions may be overheard.
  Eavesdropping
  Deliberate/accidental interception of communications constitutes eavesdropping.

In Automobiles

- Do not use handset while driving. Doing so is dangerous.
- Do not park illegally to use handset.
- Handset use may affect an automobile's electronic equipment.

Aboard Aircraft

Never use handset aboard aircraft (keep power off).
Handset use may impair aircraft operation.

Handset Care

- If handset is left with no battery or an exhausted one, data may be altered/lost. Vodafone is not liable for any resulting damages.
- Use handset between 5℃ - 35℃ and 35% - 85% humidity. Avoid extreme temperatures/direct sunlight.
- Exposing lens to direct sunlight may damage color filter and affect image color.
- Do not drop or subject handset to shocks.
- Clean handset with dry, soft cloth. Using alcohol, thinner, etc. may damage it.
- Do not expose handset to rain, snow or high humidity.
- Never disassemble or modify handset.
- Avoid scratching handset displays.
- When closing handset, keep straps, etc. outside to avoid damaging the display.
- **Handset is not water-proof. Keep it away from fluids and high humidity.**
  - Keep handset away from precipitation.
  - Cold air from air conditioning, etc. may condense causing corrosion.
  - Avoid dropping handset in a wet area (restroom, bathroom, etc.).
  - On the beach, keep handset away from water and direct sunlight.
  - Perspiration may get inside handset causing malfunction.
- **Heavy objects or excessive pressure should be avoided.**
  - Do not sit down with handset in a back pocket.
  - Do not place heavy objects on handset in a bag.
- Do not remove the face plate or antenna terminal cover. Handset may not be accepted for repairs.
- Handset or battery may become warm with prolonged use. This is not a malfunction if it is not hot enough to prevent touch by hand.
- Always turn off handset before removing battery. When charging with the Rapid Charger connected, always turn off handset before disconnecting.
- If battery is removed while saving data or sending mail, data may be lost, changed or destroyed.

Handset Temperature

Handset becomes hot when phone is used while charging. This is not a malfunction.

Observe Copyrights

Copyright laws protect sounds, images, computer programs, databases, other materials and copyright holders. Duplicated material is limited to private use only. Use of materials beyond this limit or without permission of copyright holders may constitute copyright infringement, and be subject to criminal punishment. Comply with copyright laws when using images captured with handset camera.

FCC Declaration of Conformity

This device complies with part 15 of the FCC Rules.
Operation is subject to the following two conditions:
(1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
Responsible Party:
SHARP ELECTRONICS CORPORATION
Sharp Plaza, Mahwah, New Jersey 07430
TEL: 1-800-BE-SHARP
Tested To Comply With FCC Standards
FOR HOME OR OFFICE USE

FCC Notice

The handset may cause TV or radio interference if used in close proximity to receiving equipment. The FCC can require you to stop using the handset if such interference cannot be eliminated.

Information To User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/Relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution:Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver.
It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.489W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.284W/kg. Body- worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID APYHRO00032.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

European RF Exposure Information

Your handset has been designed, manufactured and tested so as not to exceed the limits for exposure to electromagnetic fields recommended by the Council of the European Union. These limits are part of comprehensive guidelines developed by independent scientific organisations. The guidelines include a substantial safety margin designed to assure the safety of the handset user and others and to take into account variations in age and health, individual sensitivities and environmental conditions. European standards provide for the amount of radio frequency electromagnetic energy absorbed by the body when using a handset to be measured by reference to the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for the general public is currently 2W/kg averaged over 10g of body tissue. Your handset SAR value is 0.364W/kg.
This has been tested to ensure that this limit is not exceeded even when the handset is operating at its highest certified power. In use however your handset may operate at less than full power because it is designed to use only sufficient power to communicate with the network.

Minding Mobile Manners

Please use your handset responsibly. Use these basic tips as a guide.

Basic Handset Etiquette

Inappropriate handset use can be both dangerous and bothersome. Please take care not to disturb others when using your handset. Adjust handset use according to your surroundings.

- Turn it off in theaters, museums and other places where silence is the norm.
- Refrain from using it in restaurants, hotel lobbies, elevators, etc.
- Observe signs and instructions regarding handset use aboard trains, etc.
- Refrain from use that interrupts the flow of pedestrian or automobile traffic.

Manner-Related Features

Take advantage of built-in features to help you use your handset in public places without disturbing or endangering others.

■ Manner Mode

Press the Manner Key to automatically silence all ring tones and activate Vibration Mode for incoming calls, mail and information.

■ Driving Mode

Disable incoming calls with a single operation (Message Recorder is set). Callers hear an announcement that you are driving and cannot accept the call. Handset will not ring or vibrate when calls are received.

■ Vibration Mode

Activate Vibration Mode to use handset vibration to alert you to incoming calls, mail, etc. in public places.

■ Volume Settings

Lower or silence Ring Tone Volume for Incoming Calls, New Mail, Information and V-Applications when carrying the handset in public places.

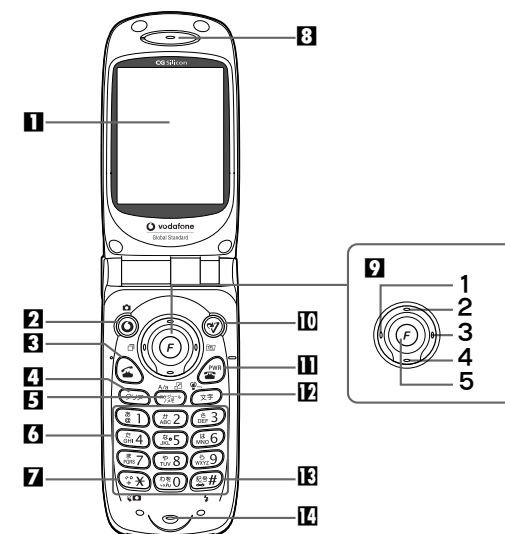
■ Whisper Mode

Use Whisper Mode to increase microphone sensitivity, allowing you to lower your voice and speak softly when you must use the handset in public places.

■ Message Recorder

Use Message Recorder to handle incoming calls when it is inappropriate or unsafe to answer them. Use Optional Services such as Call Forwarding or remote Voice Mail to handle incoming calls.

Handset Parts & Functions

Handset (Front)

1 Display
2 Vodafone live! Key/Mobile Camera Key
  Initiate Vodafone live! Service. Press for 1+ seconds to activate Mobile Camera.
3 Start Key
  Initiate/answer calls.
4 Clear Key
  Delete entries/return to previous window.
5 Schedule/Memo and A/a Key
  Save/check schedule or record/play Voice Memos. Toggle between upper/lower case alphanumerics or double-byte/single-byte hiragana/katakana in text entry windows. Change Web and Mail text size and attached image size.
6 Keypad
7 (*) Key
  In Mobile Camera, toggle between Display/Sub Display.
  Enter + when making international calls.
8 Earpiece
9 Multi Selector
  Select menu items, move cursor, scroll, etc. or use for the following:
  1 Redial Key
    Select previously dialed numbers.
  2 Raise volume
  3 Phone Book Key
    Open entries to make calls/send messages.
  4 Lower volume

5 F Key/Key Guard
Access Functions menu. Press for 1+ seconds to set or release Key Guard.

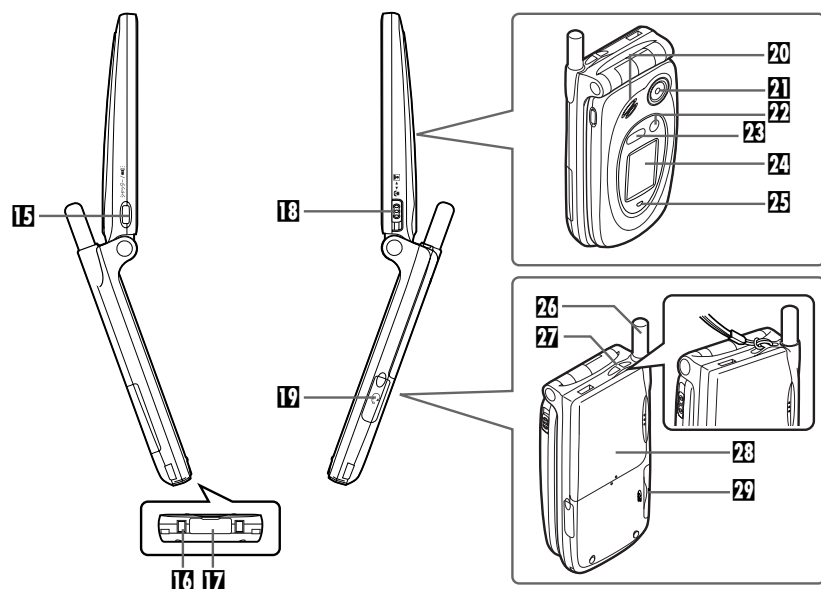
10 Direct Key
List User Shortcuts, etc.

11 Power On/Off & End Key
Place callers on hold or cancel operations. Press for 2+ seconds to turn power on/off.

12 Text/Manner Key ( )
Toggle character type or create Phone Book entry.
Press for 1+ seconds to activate/cancel Manner Mode.

13 Key
Activate/Disable Driving Mode. In Mobile Camera, turn Mobile Light on/off.
In Character Entry Mode, toggle through Symbol & Pictograph lists.

14 Microphone

Handset (Side & Back)

15 Side Key (シャッター /)
With handset closed, activate Message Recorder for incoming calls or Camera, and illuminate Sub Display backlight or Sub Display indicators.

16 Charger Terminal

17 External Device Connector
Connect Charger here.

18 Macro Selector
Switch between Macro Mode and Portrait Mode.

19 Earphone Jack/Optical Digital/Line In
Connect included Analog Conversion Cable or Optical Conversion Plug.
Also connect optional LCD Remote/Mic. Cover when not in use.

20 Speaker

21 Camera
Captures still images and movies.

22 Mobile Light
Flashes for incoming calls/mail; serves as a strobe or penlight.

23 Infrared Port

24 Sub Display

25 Small Light
Illuminates red while charging; flashes orange when Panel Saving is active.
Set to flash for incoming calls.

26 Antenna

27 Strap Eyelet
Attach strap as shown.

28 Battery Cover

29 Memory Card Slot
Insert SD Memory Card here.

Note Do not touch or cover Antenna during transmissions. Signal quality will be affected.

16 Abridged English Manual

Charging Battery

Battery & Charger

Charge a new battery before use or after a period of disuse.

Battery Life

- Do not use or store battery at extreme temperatures. May shorten battery life.
  Ideal working temperature is between 5℃ - 35℃.
- Use specified charger only. Battery may deteriorate, overheat or cause fire.
- Replace battery if operating time is noticeably shorter than normal.

Charging

- Do not use Charger for other purposes.
- Battery may short-circuit, overheat or burst from contact with metal objects.
- Charger and battery may become warm during charging.
- Move charger away from TV or radio if interference occurs.

Precautions

- Use a dry cotton swab to keep handset, battery and charger terminals clean.
- Avoid:
  - Extreme temperatures
  - Humidity, dust and vibration
  - Direct sunlight
- Do not leave battery uncharged. Charge at least once every six months.
- Use a case when carrying battery separately.

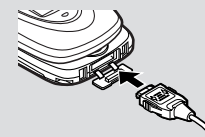
Battery Disposal

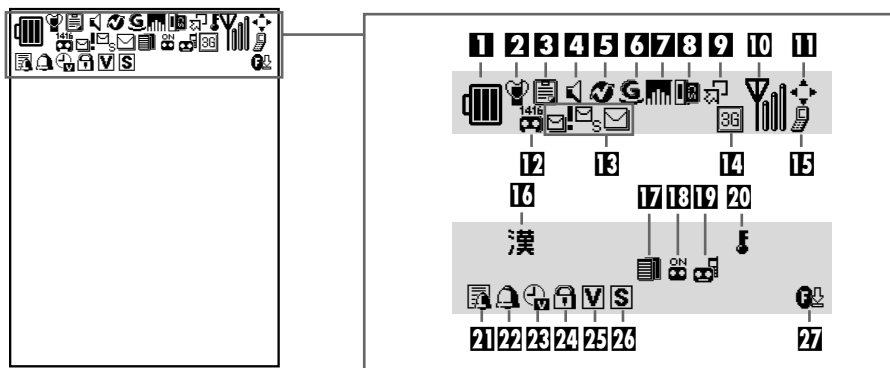
Do not dispose of exhausted batteries with ordinary refuse. Tape over charger terminals before disposal, or bring them to the nearest Vodafone shop. Always follow local regulations.

Charging with Desktop Holder

1. Insert charger connector into Desktop Holder until it clicks
2. Plug in Charger
3. Gently insert the handset into Desktop Holder
   - Fit tabs into slots as shown in and push handset as indicates until it clicks.
     Small Light illuminates red (goes out when charging is complete).
   - Charging takes approximately 125 minutes (with handset power off).
   May vary with temperature.
4. After charging, unplug Charger from outlet and remove handset
   Pull Rapid Charger straight out.

Note
- Rapid Charger is compatible with AC 100 V - 240 V household currents.
- Included power cord is for use in Japan only.

Tip
Rapid Charger
Insert connector into External Device Connector.

Display

Display indicators

1 Battery Strength / Pen Light

: Strong : Moderate : Low : Empty

and flash when Pen Light is in use.

2 Manner Mode Active

3 Information

4 Speaker Phone Active / Speaker Active / Microphone Mute / Normal / Large

5 Active V-Application / Paused V-Application

6 GPRS

7 Audio Player Active / Voice Recorder Active / Line Active / External Data Transmission: Packet Transmission

8 SD Memory Card Status

9 SSL / User Shortcut

appears if Web site supports SSL and appears if it can be set as User Shortcut.

10 Signal Strength / No Incoming Calls / Infrared Transmission

: Strong : Moderate : Low : Weak OUT : Out-of-Range

11 / Scroll

Scrolling options

12 New Voice Mail

13 SMS

VGS Mail

Unretrieved VGS Mail

VGS Mail held at Server

14 3G / GSM

Japan Mode International Mode

15 Handset / SD Memory Card / USIM Card

Accessing handset , SD Memory Card or USIM Card data.

16 Character Mode

Character Type Icons

漢	Kanji and Hiragana
ア	Double-byte Katakana
ｱ	Single-byte Katakana
Ａ	Double-byte Alphanumerics (upper / lower case)
ａ	Double-byte Alphanumerics (lower case)
A	Single-byte Alphanumerics (upper / lower case)
a	Single-byte Alphanumerics (lower case)
1	Single-byte Numbers
絵	Pictograph Codes
区	Kuten Codes
Ｐ*	Double-byte Roman Letters (upper case)
P*	Single-byte Roman Letters (upper case)
ｐ*	Double-byte Roman Letters (lower case)
p*	Single-byte Roman Letters (lower case)

*Available in Pager Mode

17 Report

18 Message Recorder Active / Driving Mode Active

19 Message

20 Secret Mode Active

21 / Schedule

Schedule Alarm On: / Off:

22 Alarm Set

23 V-Application Timer On

24 Keypad Lock Active

25 Vibration Active

26 Silent / Rising Tone

Ringer is Silent or Rising Tone

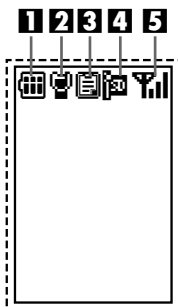
27 Key Guard Active

Vibration and Ring Tone Level can be set separately for incoming calls and Vodafone live! However, , and are Incoming Call setting indicators.

16 Abridged English Manual

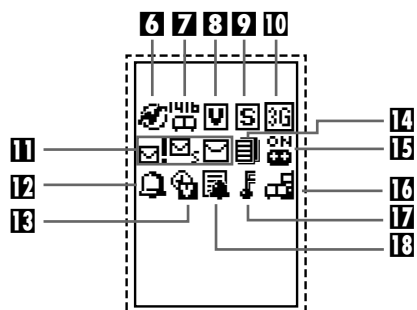
16 Abridged English Manual

Sub Display

Indicators appear on the first line of Sub Display

1. Battery Strength / Pen Light
   and flash when Pen Light is in use.
2. Manner Mode Active
3. Information
4. SD Memory Card Status / Audio Player Active / External Data Transmission: Packet Transmission
5. Signal Strength / No Incoming Calls

Indicators appearing below the first line

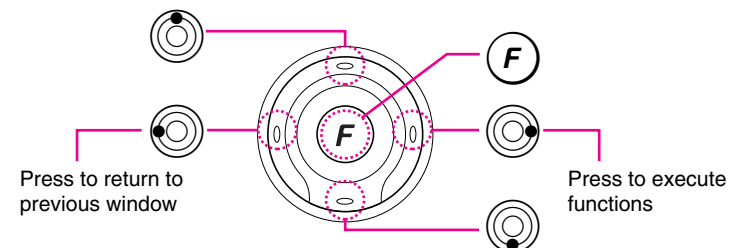
When 2 ***In Standby*** of Side Key Settings is set to Mark, press Side Key for 1+ seconds to see active Sub Display indicators.

- Sub Display & Display indicators (P. 16-20) represent same functions.
- These indicators disappear when Side Key is released.

6. Paused V-Application
7. New Voice Mail
8. Vibration Active
9. Silent / Rising Tone
10. Japan Mode / International Mode
11. SMS / VGS Mail / Unretrieved VGS Mail / Server VGS Mail
12. Alarm Set
13. V-Application Timer On
14. Report
15. Message Recorder Active / Driving Mode Active
16. Message
17. Secret Mode Active
18. / Schedule

- Sub Display is only active when handset is closed.
  (Note: In Camera mode, Sub Display can be used with handset open.)
- Sub Display backlight illuminates when handset is closed or Side Key is pressed unless Sub Display is Off.

Symbols

Multi Selector

Select menu items, move cursor, scroll, etc.
Multi Selector Indicators used in this manual:

Navigational Multi Selector Indicators

Examples of key operations

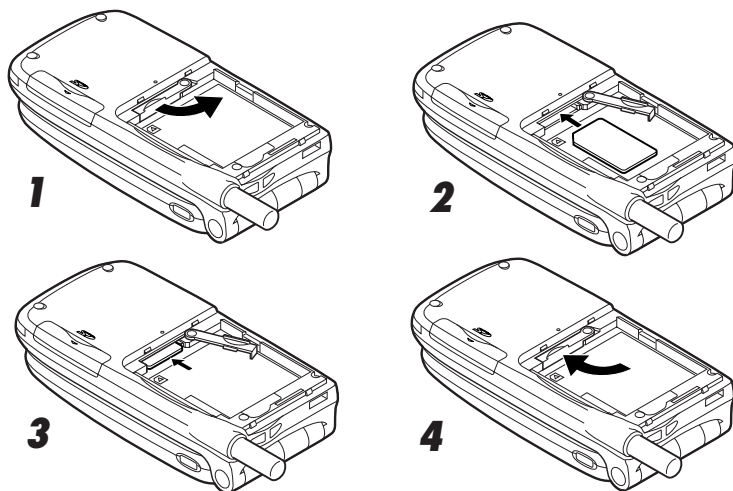
- : Press or
- : Press or
- : Press , , or

Menu Items

Use or to select menu items. (Example: Select 5 ***Text*** and press F.)

USIM Card

Vodafone Global Standard USIM Card is an IC Card containing customer information such as handset number. USIM Card must be inserted before using a USIM Card compatible handset. USIM Card can only be used on networks specified by Vodafone.

Inserting USIM Card

1. Open USIM Card cover
2. Insert USIM Card with IC Chip facing down
3. Push in until USIM Card clicks
4. Close USIM Card cover

Removing USIM Card

1. Open USIM Card cover
2. Lightly push in USIM Card
   USIM Card pops out.
3. Slowly pull out USIM Card
4. Close USIM Card cover

Do not apply force to USIM Card. Bending or stress may damage it.

USIM PINs

PIN1 & PIN2

PIN1	Prevent unauthorized use of Vodafone handset.
PIN2	Required to reset Total Charges and to set, cancel or save Fixed Dialing Number.

- PIN1 & PIN2 are ***9999*** by default.
- PIN1 & PIN2 can be changed.
- When ***PIN On/Off*** is ***ON***, PIN1 (4-8 digits) is required when USIM Card is inserted into handset or handset is turned on.

PIN Lock & Cancel PIN Lock

PIN1 Lock or ***PIN 2 Lock*** is activated if PIN1 or PIN2 is incorrectly entered three times.
Cancel PIN Lock by entering the ***PIN Lock Cancel Code***.
For information on PIN Lock Cancel Code, contact Customer Service (☞P. 16-47).

- If PIN Lock Cancel Code is incorrectly entered ten times, USIM Card is locked and handset is disabled. Write down PIN Lock Cancel Code.
- For procedures required to unlock USIM Card, contact Customer Service (☞P. 16-47).

Placing Calls when USIM Card Locked
In Japan, calls cannot be made from the handset when USIM Card is locked.
Overseas calls can be placed to emergency service numbers only.

Handset Codes

Security Code and Center Access Code.

Security Code

"9999" or 4-digit number selected at initial subscription. Security Code is required to use/change handset functions. ＊ appear as Security Code is entered.
If incorrect, ***Invalid Code*** appears.

Center Access Code

4-digit number in subscription contract required to access optional services from fixed line phones.

Call Barring Password

Use Call Barring Password selected at initial subscription to restrict handset services. If Call Barring Password is incorrectly entered three times, Call Barring settings are locked. Center Access Code and Call Barring Password must be changed. For details, contact Customer Service (☞P. 16-47).

- Write down PINs, Center Access Code and Call Barring Password. If you forget any of these codes, contact Customer Service (☞P. 16-47).
- Do not disclose PINs, Center Access Code or Call Barring Password to others. Vodafone is not liable for damages resulting from misuse.

- Change PINs and Call Barring Password on the handset.
- Do not attempt to change Center Access Code. If you mistakenly alter Center Access Code, please contact Customer Service, General Information (☞P. 16-47).

Basic Handset Operations

Turning Handset On/Off

Activate Handset Power

Press PWR for 2+ seconds

Deactivate Handset Power

Press PWR for 2+ seconds

Display Language

1. Press F 3 5
2. Select 2 ***English*** and press F

Your Phone Number

1. Press F 0 0
2. Press PWR to exit

Setting Clock

1. Press F 5 9 1
2. Enter current date and time
3. Press F

Japan/International Mode

1. Press F 0 2
2. Select 1 ***Area Selection*** and press F
3. Select 1 ***Japan*** (3G Mode) or 2 ***International*** (GSM Mode) and press F
4. Restart handset

Initiating a Call

Calling in Japan

1. Enter a phone number
2. Press Send

Making an International Call

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. Enter a phone number

   Proceed to Step 6 when calling Vodafone handsets (GSM Mode).
2. Press F Code
3. Press ◎
4. Select a country and press F
5. Press F
6. Press Send

- Omit the first 0 of the area code except when calling a number in Italy.
- For detailed information concerning international calling, contact Customer Service, General Information (☞P. 16-47).

Calling from Abroad

Service requires an additional contract, but no basic monthly charges or application fees.

1. In International Mode, enter a phone number
2. Press F Code
3. Press ◎
4. Select a country and press F

   Always select 01 ***日本(JPN)*** when calling Vodafone handsets.
5. Press F
6. Press Send

Redial

1. Press ◎ ❐
2. Press ◎ or ◎ ❐ to search Redial records
3. Press Send

Total Charges & Talk Time

1. Press F 6 0 (Total Charges) or F 6 2 (Total Talk Time)
2. Press PWR to exit

Incoming Call

1. Handset rings and Mobile Light flashes for an incoming call. Open handset
2. Press Send

   Answer calls by pressing: 0 - 9, *, #, スケジュール/メモ, クリア, ◎, ◎

Placing a Caller on Hold

1. Handset rings and Mobile Light flashes for an incoming call. Open handset
2. Press [●] to place caller on hold
3. Press [Send] to talk

Message Recorder & Voice Mail

Use Message Recorder or Voice Mail to record caller messages.

	Message Recorder	Voice Mail
Message Recorded	Handset	Voice Mail Center
Setting	Press [F] [文字]	Press [F] [7] [2] Select 1 ***Set VM Ring Tone*** and press [F] Select 1 ***Call*** or 2 ***No Call*** and press [F]
Additional Contract	Not required	Required
Message Indicator	[icon]	[icon]
Play	Press [F] [スケジュール]	Press [F] [7] [7] Select 1 ***Play (Japan)*** or 2 ***Play (Abroad)*** and press [F] Press [●] Dial
Delete	During playback, press [クリア], choose 1 ***Yes*** and press [F]	After playback, press [7]
When Handset Power is Off	Unavailable	Available
When Handset is Out-of-Range	Unavailable	Available

Tip When Voice Mail is off, press [✓] to forward a call to Voice Mail Center.

Forwarding a Call

Forward a call to a specified phone number.

Initiating Call Forwarding

1. Press [F] [7] [1]
2. Enter a phone number and press [F]
3. Select 1 ***Call*** or 2 ***No Call*** and press [F]
   Select Forward Ring Time and press [F] when selecting 1 ***Call***
4. Press [F] to confirm

Initiating Call Forwarding cancels Voice Mail.

Calling from Call History

1. Press [◎] [□] [✓]
2. Press [◎] or [◎] to search Call History record
3. Press [Send]

Manner Mode

Activate Manner Mode to use handset without disturbing others.
Default Manner Mode Settings:
①Silences Keypad Sound, Power On/Off, Error and Barcode recognition tones.
②Sets the following: Message Recorder (On), Ring Tone Level (Silent), Vibration (On), LED Indicator (Small Light), Whisper Mode (On), Sound Volume (Silent), V-Appli Volume (Silent), V-Appli Vibration (On).
These settings can be changed.

In Standby, press [文字] for 1+ seconds

Canceling Manner Mode
In Standby, press [文字] for 1+ seconds.

Driving Mode

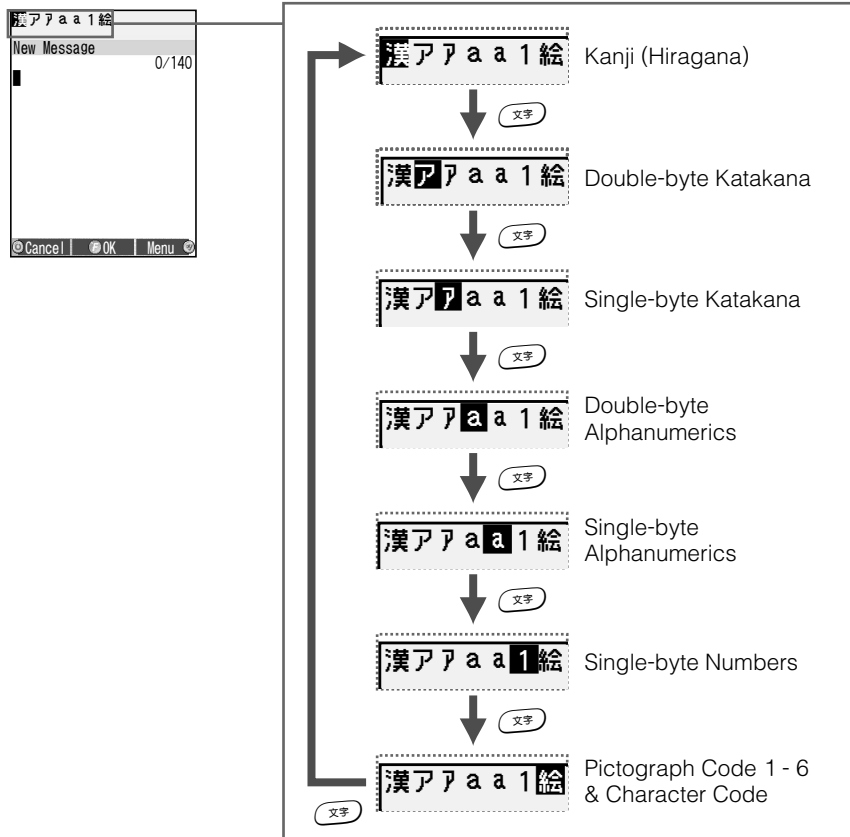
Disable handset with a simple operation when driving and have incoming calls forwarded to Message Recorder.
Driving Mode Settings:
- Silences VGS Mail and SMS ring tones.
- Schedule, Repeat Alarm are disabled.
- If a call is received, the handset does not ring or vibrate. After the caller hears the Driving Mode announcement, Message Recorder is activated.

In Standby, press [#] for 1+ seconds

Canceling Driving Mode
In Standby, press [#] for 1+ seconds.

Entering Characters

Character Types

Press 文字 to toggle between character types.

Key Assignments

Key	Single-byte Alphanumerics: Upper & Lower Case	Single-byte Alphanumerics: Lower Case	Single-byte Numbers	Pictograph Code 1 - 6 & Character Code
1	@./_-1 (Space)	@./_-1 (Space)	1	1
2	A B C a b c 2	a b c 2	2	2
3	D E F d e f 3	d e f 3	3	3
4	G H I g h i 4	g h i 4	4	4
5	J K L j k l 5	j k l 5	5	5
6	M N O m n o 6	m n o 6	6	6
7	P Q R S p q r s 7	p q r s 7	7	7
8	T U V t u v 8	t u v 8	8	8
9	W X Y Z w x y z 9	w x y z 9	9	9
0	, . 0 (Line Break)	, . 0 (Line Break)	0	0
*	Single-byte Mail/Web Extensions[1]		*+-, (Pause)[2]	
#	Single-byte Symbols/Double-byte Pictographs		#	
	Cursor Up			
	Cursor Down (Line Break)			
	Cursor Left			
	Cursor Right			
文字	Change Character Type			
スケジュール/メモ	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)	Toggle Case + Toggle Mode (upper & lower/lower case)		
クリア (Short Press)	Delete One Character			Delete Code/ One Character
クリア (Long Press)	Delete All			
F	OK			
				Switch Pictograph Code 1 - 6 & Character Code

[1] Portion of E-mail address or URL appears.

[2] Use +, - and , (Pause) for phone number entry.

Entering Characters Assigned to the Same Key

Press the navigation key (right) to move cursor to the right, then enter the next character.

Editing Characters

Use the navigation key to move cursor to a character. Press クリア to delete it and then enter another.

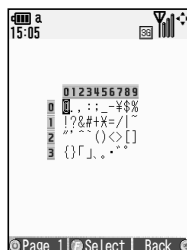
16 Abridged English Manual

Symbols, Pictographs & Emoticons

Symbols

1 Press (#) in text entry window

Usable Symbols appear.

2 Use ◎ to select a symbol and press Ⓕ

Tip In double-byte character entry, three symbol lists appear.
Press ⊙ to toggle between them.

Pictographs

1 Select Pictograph Mode (☞P. 16-30)

2 Press ⓥ List

Pictograph 1 List appears.

3 Use ◎ to select a pictograph and press Ⓕ

Tip Press ⊙ to toggle between Pictograph Lists 1 to 6.

Emoticons

1 Press ⓥ Menu in text entry window

2 Select 8 *Emoticons* and press Ⓕ

3 Select an Emoticon and press Ⓕ

Saving to Phone Book

Save names with phone numbers, E-mail addresses, etc. to Phone Book.
Save up to three phone numbers and three mail addresses per entry.

Phone Book Entry Items

Item		Description
Name :		Up to 24 single-byte (12 double-byte) characters.
Reading :		Katakana, Alphanumerics and symbols automatically appear. (Up to 24 single-byte characters including ゛ and ゜).
Phone Number ☎ :		Up to three phone numbers (32 digits each).
E-mail :		Up to three E-mail addresses (128 single-byte characters each).
Group : *		Sort entries into ten groups (0 - 9). Change group names or set ring tone by group.
Personal Data : *		Add personal details. Use up to 60 single-byte (30 double-byte) characters.
Secret Mode : *		Restrict access to Phone Book entries by saving them as secret.
Option Settings*	Personal Ring Tone	Set ring tone by caller.
	Incoming Notice	Set ring tone by sender.
	Picture Call/Mail	Set images to appear by caller or sender.
	Mail Folder	Messages are sorted into folders.

*Cannot be saved to USIM Card.

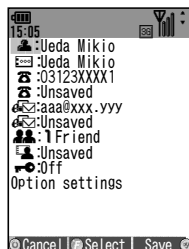
- Up to 500 entries (000 to 499) can be saved in Phone Book.
- Up to 10,000 entries (0000 to 9999) can be saved in Phone Book saved on SD Memory Card.
- Up to 50 entries (01 to 50) can be saved in Phone Book saved on USIM Card (only Name, Reading, one Phone Number and one E-mail address can be saved per entry).

Back-up Important Information
Keep a separate copy of important data. When battery is exhausted or removed for long periods, Phone Book data may be lost. Handset damage may also affect data. Vodafone is not liable for any damages resulting from accidental loss/alteration.

New Phone Book Entries

Enter a name, reading and phone number.

1. Press 文字
2. Enter a name
3. Press F
   - Characters entered for names appear after :
   - Confirm the reading.

Correcting Spelling, etc.
Select : and press F. Correct spelling and press F.

4. Select : and press F
5. Enter a phone number and press F
6. Select an icon and press F
7. Select : and press F
8. Enter an e-mail address and press F
9. Select an icon and press F
10. Press Save
11. Enter a 3-digit number (000 - 499)

Enter a name, phone number or mail address to create a Phone Book entry.

Saving to SD Memory Card or USIM Card

- After Step 10, press to select save destination (once for SD Memory Card or twice for USIM Card).
- After selecting save destination, enter Memory Number (SD Memory Card: 0000 to 9999, USIM Card: 01 to 50).

Editing Phone Book

1. Open Phone Book (☞P. 16-36)

2. Press F Menu
3. Select *Edit* and press F
4. Select an item and press F
5. Make corrections and press F
6. Press Save to finish
7. Press F
8. Choose 1 *Yes* and press F

Saving from Call History

1. Select a phone number (☞P. 16-29)
2. Press F Menu, select 7 ***Save to Phone Book*** and press F
3. Enter a name
4. Press F
   - Characters entered for names appear after :
   - Confirm the reading.

Correcting Spelling, etc.
Select : and press F. Correct spelling and press F.

5. Select : and press F
6. Enter an e-mail address and press F
7. Select an icon and press F
8. Press Save
9. Enter a 3-digit number (000 - 499)

Dialing from Phone Book

Entry Number Search

1. Press ◎ TEL
   The search method used last appears.
2. Press ✉ Menu, select *Memory No. Search* and press Ⓕ
3. Enter Memory No. (000 - 499)
4. Select a name and press Ⓕ

Multiple Numbers/Addresses
Use ◎ to select other numbers/addresses.

5. Press ☎

Search by Reading

1. Press ◎ TEL
   The search method used last appears.
2. Press ✉ Menu, select *Search by Reading* and press Ⓕ
3. Enter reading and press Ⓕ
   Use up to 24 single-byte characters.
4. Select a name and press Ⓕ

Multiple Numbers/Addresses
Use ◎ to select other numbers/addresses.

5. Press ☎

Mobile Camera

Before Using Camera

Select from four different shooting modes.
Use ***Mobile Camera*** and ***Digital Camera*** for still images and ***Movie*** and ***Video Camera*** for videos.

	Mobile Camera	Digital Camera
Image Size	240 × 320 dots 120 × 160 dots 120 × 128 dots 64 × 96 dots	1144 × 858 dots 1024 × 768 dots 640 × 480 dots
Save to	Handset or SD Memory Card	SD Memory Card

	Movie	Video Camera
Image Size	176 × 144 dots 128 × 96 dots	176 × 144 dots 128 × 96 dots
Save to	Handset or SD Memory Card	SD Memory Card

Camera Shake
If handset moves while shooting, images may blur. Hold handset firmly or place it on a stable surface and use Self-Timer.
Do not shoot while charging
The red Small Light may be captured if shot while charging.

Lens Cover
Use a soft cloth to wipe fingerprints or oil off the lens cover.
CCD Camera
- Mobile Camera is engineered to exacting standards; however, some pixels may appear brighter or darker.
- Shooting/saving images while handset is hot may affect the image quality.
- Color filter may be affected if the lens is subjected to direct sunlight.

Capturing Still Images

1. In Standby, press Ⓕ, select *Mobile Camera* and press Ⓕ
2. Select 1 *Mobile Camera* or 2 *Digital Camera* and press Ⓕ
3. Frame image on Display
4. Press Ⓕ Shoot or Side Key
5. Press Ⓕ Save to save the image
6. Press ☎ to exitt

Using Camera with Handset Closed
After Step 2, close handset, use Sub Display to frame image and Side Key as shutter release.

Abridged English Manual

Data Folder

Data Folder Contents

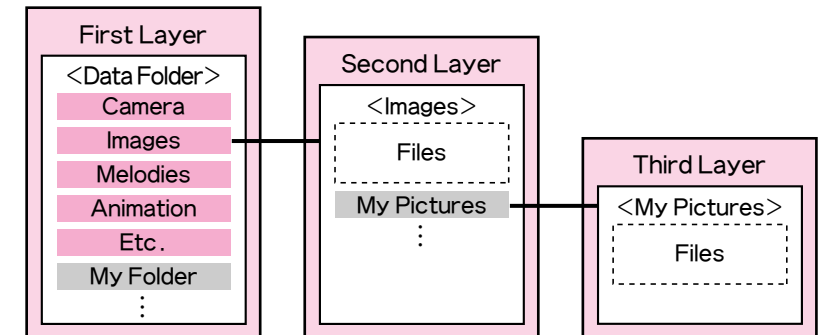
Saved files are organized in separate folders according to file format.
Data Folder supports the file formats listed below.

<Data Folder>
- Camera (Shortcut) — Mobile Camera Data
  Shortcut to still and video images captured in Mobile Camera , Digital Camera or Movie/Video Camera.
- Images — Image Files including Still Images
  <JPEG files (/.jpg), PNG files (/.png)>
- Melodies — Melody Files such as Original Ring Tones
  <SMAF files (/.mmf), Melody files (/.smd)>
  <Original Ring Tone (/.sjm)>
- Animation — Animation Files
  <JPEG Animation (), PNG Animation ()>
  <PNG/JPEG Animation (), E-Animation (/.nva)>
  <MNG files (/.mng)>
- Etc. — All of the above as well as v files, HTML files, MML files, EML files, Dictionary files, etc.
- Create New Folder — Create additional folders. (Format is the same as Etc. folder.)

New Folder (連写) is created when the first Burst Shot is taken.

Note File extensions and icons inside < > indicate file format. File extensions do not appear for JPEG Animation, PNG Animation nor PNG/JPEG Animation.

Data Folder Structure

Create up to three layers to organize files.
Example: Create folders, My Folder and My Pictures for convenient access to files.

Opening Data Folder

1. Press ◎ 3
2. Select a folder and press (F)
3. Select a file and press (F)
4. Press (PWR) to exit

VGS Mail Attachments

Example: Attaching an image from Images Folder to VGS Mail

1. Press ◎ 3
2. Select *Images* and press (F)
3. Select a file and press (✉) Menu
4. Select *Attachment* and press (F)
5. Select Attachment type and press (F)
6. Enter an address, title, text and press (✉) to send VGS Mail

16

Abridged English Manual

F Function Shortcuts

Select and execute handset functions by pressing the indicated keys.

[1] Available while talking

[2] Only available when SD Memory Card is inserted.

Shortcut	Function	Description
● Basic & Display		
F 0 0 [1]	My Number	Show handset number
F 0 1	USIM Setting	PIN On/Off Settings
F 0 2	System Settings	Toggle Japan/International Mode and show Network Status
● Sounds		
F 1 0	Call Functions	Set Ring Tones
F 1 1 [1]	Volume	Adjust Volume
F 1 3	Sound Effects	Set Sound Effects
F 1 5	Ringer Out	Set Ringer Output for Earphone use
F 1 6 [1]	Speaker	Set Speaker Phone/Speaker
F 1 7	Original Ring Tone	Save Original Ring Tones
F 1 8	Instrument Effects	Save Instrument Effects
F 1 9	Tone Octave	Set Tone Octaves
● Privacy		
F 2 0	Keypad Lock	Disable keypad
F 2 1	Auto Key Lock	Disable keypad at handset power on
F 2 2 [1]	Secret Mode	Show Secret Memory
F 2 3	Phone Book Lock	Disable Phone Book
F 2 4	Restrict Dial	Restrict calling from keypad
F 2 5	Accept Call	Accept calls from designated numbers
F 2 6	Reject Call	Reject calls from designated numbers
F 2 7	Reset All	Delete all saved information, restore defaults
F 2 8	Change Code	Change Security Code
F 2 9	Reset Defaults	Reset settings to default values
● Settings 1		
F 3 0 [1]	Guide	Show functions other than F functions
F 3 1	Memory	Phone Book, Accumulated Memory, Sent, File Cabinet, Save location
F 3 3	Panel Saving	Set Panel Saving
F 3 4	Backlight Settings	Adjust Backlight, Keypad light and Backlight Brightness
F 3 5	Language (言語選択)	Toggle between Japanese and English Menus
F 3 6	Power On Message	Set/Cancel welcome message
F 3 7	Group Settings	Change Group Names/Ring Tones
F 3 9	Side Key Settings	Set functions for Side Key (for 1+ seconds)
● Settings 2		
F 4 0	Display Settings	Set Display detail
F 4 1 [1]	Expenditure Memo	Show total expenditures and item list
F 4 3	User Dictionary	Save/Edit entries or add downloaded items
F 4 4	Answer Time	Set Message Recorder Answer Time
F 4 6	Manner Settings	Change Manner Mode settings
F 4 7	Sub Display	Set Sub Display and Clock
F 4 8	Animation Settings	Set/create animation
F 4 9	Calculator	Open Calculator/Foreign Exchange
● Clock		
F 5 0	Alarm	Set Alarm
F 5 2	Clock Display	Show Clock and Calendar in Standby
F 5 9 [1]	Clock Settings	Set Date & Time/Set Travel Clock
● Charges		
F 6 0	Total Charges	Show Total Charges
F 6 1	Call Charge	Show Last Call Charge
F 6 2	Total Talk Time	Show Total Talk Time
F 6 3	Call Time	Show Last Call Talk Time
F 6 4	Instant Display	Show Charge/Talk Time after a call
F 6 5	Set Charge Limit	Set limit for call charges

Shortcut	Function	Description
● Services		
F 7 0	Call Barring	Restrict incoming and outgoing calls
F 7 1	Call Forwarding	Activate service/Set a Forwarding Number
F 7 2	Voice Mail	Activate Voice Mail Service
F 7 3	Cancel Call Fwd/VM	Cancel Call Forwarding or Voice Mail
F 7 4	Fwd/VM Status	Check Call Forwarding or Voice Mail
F 7 5	Call Waiting	Set/Cancel Call Waiting
F 7 6	Confirm Status	Check Call Waiting Settings
F 7 7	Play Voice Mail	Listen to messages
F 7 8	Int'l Calling	Toggle International Prefix and Auto Country Code On/Off and edit Country Code List
F 7 9	Send With Code	Set number to add to phone numbers saved in Phone Book
● Messaging		
F 8 0 1	Mail Box	Open Mail Box
F 8 0 2	Mail	Create New Mail
F 8 0 3	New Mail Request	Preloads received VGS Mail
F 8 0 4	Server Mail	Receive/Delete VGS Mail held temporarily at Mail Server
F 8 0 5	SMS	Create New SMS
F 8 0 6	Settings	Adjust/Customize Mail Settings
● Web		
F 8 1 1	Vodafone Web	Connect to Vodafone Web
F 8 1 2	Home	Open Web page set as Home
F 8 1 3	Favorites	View/Access saved Web page links
F 8 1 4	Bookmarks	View/Access saved Web page
F 8 1 5	Internet	Enter a URL or select from Log List to access the Web
F 8 1 6	Message Folder	Open Cache Memory or Message Folder
F 8 1 7	Web Settings	Adjust and customize Web Settings
● V-Appli		
F 8 2 1	V-Appli Library	Open V-Appli Library
F 8 2 2	V-Appli Settings	Set V-Appli details
● Data Folder		
F 8 3	Data Folder	Open Data Folder

Shortcut	Function	Description
● Audio & Video		
F 8 4 1	Video Player	Playback/Edit Video
F 8 4 2	Audio Player	Playback music
F 8 4 3	Audio Recorder	Record music
F 8 4 4	Player Settings	Audio & Video Settings
● Network Settings		
F 8 5 1	Incoming	Choose Notify or Reject for calls during Web ops
F 8 5 2	Network Setup	Network Connection Status
F 8 5 3	Clear DNS Cache	Clear DNS Cache
● Others		
F Long Press	Key Guard	Disable Keypad
F[1]	Menu	Open Index Menu
F ✓[2]	Memory Card	Memory Card Menu
F 文字 In Standby	Message Recorder	Set/Cancel Message Recorder
F スケジュール/メモ In Standby	Play	Play Messages/Voice Memos
F 3 Incoming call	Forward Call	Forward an incoming call to Voice Mail/Forwarding Number
文字 In Standby or during call	Add to Phone Book	Create a new Phone Book entry
文字 Long Press in Standby	Manner Mode	Set/Cancel Manner Mode
記号# Long Press in Standby	Drive Mode	Activate/Cancel Drive Mode
スケジュール/メモ In Standby	Schedule	Open Existing/Create New Schedule
スケジュール/メモ Long Press in Standby	Voice Recording	Record My Voice Memo/Voice Recorder
スケジュール/メモ Long Press during call	Voice Memo	Record Voice Memo
スケジュール/メモ Long Press while ✍ appears	User Shortcut	Set User Shortcut
F ＊ 記号# In Standby	On/Off	Set/Cancel Mail, Web or V-Appli
F Vodafone key In Standby	Useful	Open Useful Menu

16 Abridged English Manual

Specifications

V801SH

Weight	Approximately 126 g (with battery)
Continuous Talk Time	Approximately 120 minutes (Japan Mode) Approximately 180 minutes (International Mode)
Continuous Standby Time (when closed)	Approximately 200 hours (Japan Mode) Approximately 220 hours (International Mode)
Charging Time (Power off)	Rapid Charger: Approximately 125 minutes In-Car Charger: Approximately 125 minutes
Dimensions (W × H × D)	Approximately 50 × 102 × 26 mm (when closed, excludes protruding portions)
Maximum Output	0.25 W (Japan Mode) 2.0W (International Mode)

- Values above were calculated with battery installed.
- Continuous Talk Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with Panel Saving off, in Standby with normal signal reception. Continuous Standby Time is an average measured with a new, fully-charged battery, with handset closed without calls or operations, in Standby with normal signal reception. Standby Time may be less than half this value if handset is out-of-range or signal quality is poor. Battery life may vary by environment (battery status, temperature, etc.).
- Battery life is a nominal value, measured under stable signal conditions. Battery life may be less than half this time if handset is used in weak signal conditions.
- Talk Time and Standby Time will decrease if display/keypad backlights are used frequently.
- Talk Time and Standby Time may decrease when V-Applications are active.
- Talk Time and Standby Time may decrease by handset operations or settings.
- Displays employ precision technology, however, some pixels may appear brighter or darker.

Rapid Charger

Rapid Charger

Power Source	AC 100 V - 240 V, 50/60 Hz
Power Consumption	11 VA
Output Voltage/Current	DC 5.2 V/600 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 66 × 27 × 48 mm (without protruding parts, cord)
Cord Length	Approximately 1.5 m

Power Cord

Power Source	AC 100 V, 50/60 Hz
Cord Length	Approximately 1.3 m

Desktop Holder

Input Voltage/Current	DC 5.2 V/600 mA
Output Voltage/Current	DC 5.2 V/600 mA
Charging Temperature	5℃ - 35℃
Dimensions (W × H × D)	Approximately 62 × 34 × 124 mm (without protruding parts)

Battery

Voltage	3.7 V
Battery Type	Lithium-ion
Capacity	740 mAh
Dimensions (W × H × D)	Approximately 38 × 5.9 × 37 mm (without protruding parts)

Stereo Headphones

Weight	Approximately 14.6 g
Cord Length	Approximately 133 cm

Customer Service

If you have questions about Vodafone handsets or services, please call General Information. For repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centers

From a Vodafone handset, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance

Call these numbers toll free from fixed lines.

Subscription Area	Service Center	Phone number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

Declaration of Conformity

We Sharp Telecommunications of Europe Ltd

of Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

Declare under sole responsibility that the product:

Model: V801SH
Description: GSM 900/GSM 1800/ PCS 1900 Tri Band Dual Mode Cellular Telephone
WCDMA(for Japan Domestic Market)
To which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents:

- ETSI EN301511
- ETSI EN301908-2
- ETSI EN301489-7
- ETSI EN301489-1
- EN60950
- EN50360

We hereby declare that the above named product is in conformance to all the essential requirements of the Directive **1999/5/EC**

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex [IV] of directive 1999/5/EC has been followed related to Articles

- R&TTE Article 3.1 (a) Health and Safety
- R&TTE Article 3.1 (b) EMC
- R&TTE Article 3.2 spectrum Usage

With the involvement of the following Notified Body:

BABT, Claremount House, 34 Molesey Road, Walton-on-Thames, KT12 4RQ

Identification mark: **0168** (Notified Body) **CE**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Sharp Telecommunications of Europe Ltd
Azure House
Bagshot Road
Bracknell
Berkshire
RG12 7QY

EU Representative: Clive Ross Bax

Authorised Person:

Name:	Signature:	Title:	Date:
C. R. BAX		GENERAL MANAGER	26/2/2004

IMEI: 350228 00

Document Control No: STE/BUSINESS/QA/1543

付録

F機能一覧

表中の「ボタン操作」に記載されているボタンを連続して押すと、メニューの表示を待たずに機能を選択／実行できます。

※1　通話中も操作できます。
※2　SDメモリカードが取り付けてあるときのみ表示されます。

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●基本設定／表示			
F00※1	自局電話番号	この電話機の電話番号を表示	P.2-32
F01	USIM設定	PINコードのON/OFF設定、変更	P.13-2
F02	システム設定	日本モード／海外モードを切り替え	P.2-2
●音関連機能			
F10	着信設定	各種着信音を設定	P.8-2
F11※1	受話音量調節	受話音量を調節	P.2-18
F13	効果音設定	各種効果音を設定	P.8-8
F15	着信音出力切替	イヤホン装着時の着信音出力場所を設定	P.8-12
F16※1	スピーカー設定	スピーカーホン（通話）／スピーカー受話を設定	P.8-11
F17	オリジナル着信音	オリジナル着信音を登録	P.8-15
F18	オリジナル音色	オリジナル音色を登録	P.8-32
F19	音色オクターブ設定	音色の音程を設定	P.8-34
●管理機能			
F20	ダイヤル操作禁止	電話機の使用を禁止	P.13-4
F21	簡易ロック	電源ON時に自動的にダイヤル操作禁止を設定	P.13-5
F22※1	シークレットモード	シークレットメモリを表示	P.13-10
F23	メモリ使用禁止	メモリダイヤルの使用や登録を禁止	P.13-5
F24	ダイヤル禁止	ダイヤル入力での発信を禁止	P.13-6
F25	指定着信許可	指定した相手の着信を許可	P.13-7
F26	指定着信拒否	指定した相手の着信を拒否	P.13-7
F27	オールリセット	登録内容やデータを消去し、各種設定を初期状態に戻す	P.13-12
F28	暗証番号変更	操作用暗証番号を変更	P.13-2
F29	設定リセット	各種設定を初期状態に戻す	P.13-12

付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●表示／設定１			
F30※1	ガイド機能	F機能以外の機能の操作方法を表示	P.14-36
F31	メモリ確認	メモリダイヤル登録件数を表示／蓄積メモリ／送信メール／ファイルBOX確認／保存先設定	P.5-6
F33	パネルセーブ	パネルセーブを設定	P.14-31
F34	照明設定	パネル照明／キー照明／パネル照明の明るさを設定	P.7-17
F35	Language	日本語表示／英語表示の切替	P.7-18
F36	ウェイクアップ	電源ON時のメッセージ表示の有無／メッセージを設定	P.7-16
F37	グループ設定	メモリダイヤルのグループ名やグループ着信音を設定	P.5-13
F39	サイドキー設定	サイドキーを１秒以上押したときの動作を設定	P.14-5
●表示／設定２			
F40	画面表示設定	壁紙／マイキャラクタ／文字表示／背景パターン／マーク表示を設定	P.7-2、P.7-15、P.7-12、P.7-14、P.7-3
F41※1	マネー積算メモ	マネー積算メモを表示／明細変更	P.14-35
F43	ユーザー辞書	ユーザー辞書の登録／編集／ダウンロード辞書の設定	P.4-21～P.4-23
F44	応答時間	簡易留守録が応答するまでの時間を設定	P.14-8
F46	マナー設定変更	マナーモード時の設定内容を変更	P.3-4
F47	サブディスプレイ	サブディスプレイの表示方法を設定	P.7-6
F48	アニメーション設定	アニメの設定／作成	P.7-12､P.7-14､P.7-15､P.11-13
F49	簡易電卓	簡易電卓の利用	P.14-33
●時計／アラーム機能			
F50	リピートアラーム設定	リピートアラームを設定	P.14-10
F52	時計表示設定	待受画面に時計やカレンダーを表示	P.7-4
F59※1	時刻設定	西暦／日付／時刻／世界時計を設定	P.1-28､P.1-29
●時間／料金機能			
F60	累積通話料金	累積の通話料金の目安を表示	P.2-30
F61	通話料金	直前の通話料金の目安を表示	P.2-29
F62	累積通話時間	累積の通話時間の目安を表示	P.2-28
F63	通話時間	直前の通話時間の目安を表示	P.2-28
F64	即時表示	通話後の通話明細表示を設定	P.2-31
F65	通話料金上限設定	通話料金の上限を設定	P.2-30

17
付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●付加サービス機能			
[F][7][0]	発着信規制	発信や着信を規制する	P.15-9
[F][7][1]	転送電話	転送電話サービスの開始／転送先の登録	P.15-3
[F][7][2]	留守番電話	留守番電話サービスの開始設定	P.15-5
[F][7][3]	転送／留守番停止	転送電話と留守番電話サービスの解除	P.15-4、P.15-6
[F][7][4]	転送留守設定確認	転送電話と留守番電話サービスの確認	P.15-4、P.15-6
[F][7][5]	割込通話設定	割込通話サービスの設定／解除	P.15-7
[F][7][6]	割込通話設定確認	割込通話サービスの設定確認	P.15-7
[F][7][7]	留守録再生	V801SHで伝言メッセージを聞く	P.15-6
[F][7][8]	国際発信設定	国際コード、国番号自動付加のON／OFF、国番号リスト編集	P.14-3
[F][7][9]	セット発信登録	メモリダイヤルの電話番号に付加する番号を登録	P.14-4
●メール・SMS機能			
[F][8][0][1]	メールボックス	メールボックスの表示／設定	別冊
[F][8][0][2]	新規作成	メールの新規作成	別冊
[F][8][0][3]	新着先行受信リクエスト	新着したVGSメールを先行受信	別冊
[F][8][0][4]	サーバー操作	メールサーバーに一時蓄積されているVGSメールの受信や消去	別冊
[F][8][0][5]	SMS	ショートメッセージ（SMS）の新規作成	別冊
[F][8][0][6]	メール・SMS設定	VGSメールやショートメッセージ（SMS）の各項目を設定	別冊
●ウェブ機能			
[F][8][1][1]	ボーダフォンウェブ	ボーダフォンウェブに接続	別冊
[F][8][1][2]	ホーム	ホームに設定している情報画面への接続	別冊
[F][8][1][3]	お気に入り	よく使う情報画面を登録	別冊
[F][8][1][4]	ブックマーク	ブックマークを利用して接続	別冊
[F][8][1][5]	インターネットアクセス	インターネット（ホームページ）への接続	別冊
[F][8][1][6]	メッセージフォルダ	V801SHに保存している情報を表示	別冊
[F][8][1][7]	ウェブ設定	ウェブの各項目を設定	別冊
●Vアプリ機能			
[F][8][2][1]	Vアプリライブラリ	Vアプリライブラリを表示	別冊
[F][8][2][2]	Vアプリ設定	Vアプリの各項目を設定	別冊
●データフォルダ			
[F][8][3]	データフォルダ	データフォルダを表示	P.11-7
●オーディオ&ビデオ機能			
[F][8][4][1]	ビデオプレイヤー	動画の再生／編集	P.9-3
[F][8][4][2]	オーディオプレイヤー	音楽の再生	P.9-22
[F][8][4][3]	オーディオレコーダー	音楽の録音	P.9-16
[F][8][4][4]	プレイヤー設定	オーディオ&ビデオの設定	P.9-27
●ネットワーク設定			
[F][8][5][1]	通話中着信設定	ネットワーク接続中に電話がかかってきたときの動作を設定	別冊
[F][8][5][2]	ネットワーク自動調整	ネットワークの接続情報をサーバーから入手	別冊
[F][8][5][3]	DNSキャッシュクリア	DNSキャッシュをクリア	別冊

17
付録

ボタン操作	機能名称	概要	頁
●その他の項目			
[F]（長押し）	誤動作防止	持ち運び時のボタン操作を禁止	P.13-11
[F]※1	メニュー表示	インデックスメニューを表示	P.1-30
[F][V]※2	メモリカード	メモリカードメニューを表示	P.10-6
[F][文字]（待受中）	簡易留守設定	簡易留守録を設定／解除	P.14-6
[F][スケジュール/メモ]（待受中）	録音データ再生	簡易留守録の用件／音声メモを再生	P.14-7
[F][3]（着信中）	手動着信転送	電話を転送先に転送	P.15-4、P.15-5
[文字]（待受中/通話中）	メモリダイヤル登録	メモリダイヤルを登録	P.5-2
[文字]（長押し）	マナーモード	マナーモードの設定／解除	P.3-3
[記号#]（待受中長押し）	運転中モード	運転中モードの設定／解除	P.3-6
[スケジュール/メモ]（待受中）	スケジュール	スケジュールを表示／設定	P.14-15
[スケジュール/メモ]（待受中長押し）	ボイス録音	マイボイスメモ／ボイスレコーダーを録音	P.2-19、P.14-9
[スケジュール/メモ]（通話中長押し）	音声メモ	音声メモを録音	P.14-9
[スケジュール/メモ]（[ショートカット]表示中長押し）	ユーザーショートカット登録	ユーザーショートカットを登録	P.2-33
[F][*][#]（待受中）	ON/OFF設定	メール/ウェブ/VアプリのON/OFF設定	別冊
[F][V]（待受中）	ユースフルメニュー	ユースフルメニューを表示	P.1-30

付録

設定リセットで初期化される内容

■初期状態に戻る項目（F機能）

F番号	機能の名前	初期設定	F番号	機能の名前	初期設定	F番号	機能の名前	初期設定
F10	着信設定	※1	F33	パネルセーブ	※5	F52	時計表示設定	時計大1
F11	受話音量調節	音量3	F34	照明設定	※6	F61	通話料金	0円
F13	効果音設定	※2	F35	Language	日本語	F62	累積通話時間	0時間0分
F15	着信音出力切替	※3	F36	ウェイクアップ	OFF	F63	通話時間	0分0秒
F16	スピーカー設定	OFF	F39	サイドキー設定	※7	F64	即時表示	OFF
F19	音色オクターブ設定	※4	F40	画面表示設定	※8	F71	転送電話	※12
F20	ダイヤル操作禁止	OFF	F44	応答時間	9秒	F77	留守録再生	※13
F21	簡易ロック	OFF	F46	マナー設定変更	※9	F78	国際発信設定	※14
F22	シークレットモード	OFF	F47	サブディスプレイ	※10	F¥#	ON/OFF設定	※15
F23	メモリ使用禁止	OFF	F48	アニメーション設定	※11			
F24	ダイヤル禁止	OFF	F49	通貨換算設定	OFF			

※1　P.8-2参照
※2　P.8-8参照
※3　イヤホン＋スピーカー
※4　P.8-20～P.8-23参照
※5　パネルセーブモード：ON/OFF設定：ON（5分）、ランプ表示設定：ランプ表示あり
※6　パネル照明、キー照明共にON/OFF設定：ON（15秒）、パネル明るさ調整：明るさ3
※7　着信時：簡易留守　、待受時：マーク表示
※8　壁紙設定：ON、マイキャラクタ：すべてOFF、文字表示設定：文字1、背景パターン設定：背景1、マーク表示設定：ON
※9　簡易留守　：ON、着信音量：すべてサイレント、バイブレータ：すべてON、ランプ設定：スモールライト、マナートークモード：ON、サウンド再生音量：サイレント、Vアプリ再生音量：サイレント、Vアプリバイブレータ：ON
※10　サブディスプレイON／OFF設定：ON、照明設定：ON（15秒）、濃度調整：濃度5、待受表示内容設定（時計：デジタル時計大1、マーク：ON、メモ（テキスト）：OFF）、壁紙設定：OFF、着信表示（カラーパターン：すべてホワイト、グラフィックパターン：OFF）、表示方向切替：上向き
※11　スクリーンアニメ：OFF、背景アニメ：ON、ボーダフォンライブ！アニメ：すべてON
※12　留守番電話センター番号：09066517000
※13　留守　再生番号：1416（国内用）、+819066514170（海外用）
※14　国際コード自動付加：OFF、国番号自動付加：OFF
※15　メール、ウェブ、Vアプリ共にON

付録

■初期状態に戻る項目（F機能以外）

機能	初期設定
マナーモード	解除
簡易留守録	解除
メモリダイヤル検索モード	メモリNo検索
インフォメーションメニュー	ランプ表示設定：すべてランプ表示なし、 タイムアウト設定：タイムアウトしない
メモリカードの暗号化設定	メモリダイヤル、メール、スケジュール：すべてOFF
ユーザーショートカット	1メール・SMS、2オーディオ&ビデオ、3ボイス、 4電子ブック、5簡易電卓、6マネー積算メモ、 7国際発信設定、8テキストメモ、9バーコード、 0Vアプリライブラリ、*赤外線／USB通信、 #スポットライト、データフォルダ
スポットライト	継続点灯時間：1分、点灯カラー：ライチフルーツ（白色系統）
スケジュール表示切替	1日表示
バーコード読取表示サイズ設定	文字中／画像等倍

トラブルシューティング

症状	確認すること	処置
電源が入らない	●を2秒以上押していますか？ ●電池切れになっていませんか？ ●電池パックがV801SHに装着されていますか？	●を2秒以上押してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。 ●正しく装着してください。
電源を入れたのに操作できない	●PIN1 ON/OFF切替が「ON」に設定されていませんか？	●PIN 1ON/OFF切替が「ON」に設定されているときは、PIN1コードの入力を求められますので、画面の指示に従って入力してください。（☞P.1-7）
電源を入れたときや機能の操作時に「USIMカードを確認してください」と表示される	●USIMカードは正しく差し込まれていますか？ ●違ったUSIMカードをお使いではありませんか？	●USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられているときは、破損している可能性があります。正しいUSIMカードであることを確認してください。使用できないカードが取り付けられている可能性があります。
ボタン操作ができない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」が表示）	●誤動作防止を解除してください。（☞P.13-11） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.13-4）

17

付録

症状	確認すること	処置
ダイヤルしても通話音（プープー…）が出る	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしていますか？ ●「圏外」が表示されていませんか？	●市外局番など0からはじまる相手の電話番号をダイヤルしてください。 ●電波の届く場所に移動してかけ直してください。
「圏外」が表示され、電話がかけられない	●サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●日本で海外モードに設定されていませんか？（「GSM」表示） ●海外で日本モードに設定されていませんか？（「3G」表示）	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●日本モードに設定してください。（☞P.2-2） ●海外モードに設定してください。（☞P.2-2）
通話がとぎれたり、切れる	●電波の届きにくい場所にいるのでは？ ●電池切れになっていませんか？	●電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ●電池パックを予備電池に交換するか、充電してください。
ダイヤルを押しても電話がかけられない	●誤動作防止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル操作禁止が設定されていませんか？（「」が表示） ●ダイヤル禁止が設定されていませんか？	●誤動作防止を解除してください。（☞P.13-11） ●ダイヤル操作禁止を解除してください。（☞P.13-4） ●ダイヤル禁止を解除してください。（☞P.13-6）
メモリダイヤルを使って電話がかけられない	●かけたいメモリダイヤルをシークレットメモリに登 していませんか？ ●メモリ使用禁止が設定されていませんか？	●シークレットモードにしてください。（☞P.13-10） ●メモリ使用禁止を解除してください。（☞P.13-5）
通話中に「プチッ」と音が入る	●電波が弱くなって別のエリアに切り替わるときに発生することがあります。	—
充電ができない	●急速充電器の接続コネクターがV801SHまたは卓上ホルダーに確実に差し込まれていますか？ ●急速充電器のプラグがしっかりとコンセントに差し込まれていますか？ ●電池パックがV801SHに装着されていますか？ ●V801SHが卓上ホルダーに確実に装着されていますか？ ●V801SH、電池パック、卓上ホルダーの充電端子や急速充電器の接続コネクター、V801SHの外部機器端子、卓上ホルダーの接続端子が汚れていませんか？ ●周囲温度が5℃～35℃以外になると、充電しないことがあります。 ●電池パックの寿命、または電池パックが異常です。 ●充電中にV801SHや電池パックの温度が上昇すると、充電を中断することがあります。	●もう一度、確実に差し込んでください。 ●もう一度、確実に差し込んでください。 ●正しく装着してください。 ●もう一度、確実に装着し直してください。 ●端子部を綿棒などで清掃してください。 ●5℃～35℃の温度範囲でご使用ください。 ●新しい電池パックと交換してください。

症状	確認すること	処置
充電時間が短い	●電池パックに容量が残っている場合は、充電時間が短くなります。	—
熱くなる	●充電中に、急速充電器や卓上ホルダーが発熱することがあります。 ●長時間通話すると、V801SHが熱くなることがあります。手で触れることのできる温度であれば異常ではありません。	—
電池の消耗が早い	●使用環境（気温／充電状況／電波状態）、操作や設定状態によっては、電池パックの消耗が早くなります。	●電池パックの利用可能時間（☞P.1-17）、持ちについて（☞P.1-17）、消耗を軽減する（☞P.1-18）を参照してください。
ディスプレイの表示がちらつく	●蛍光灯の下では、ディスプレイの表示がちらつくことがあります。	—
バックライト消灯時ディスプレイの表示が暗い	●ディスプレイの特性によるもので、故障ではありません。	—
スピーカーで音楽が再生できない	●マナーモードが設定されていませんか？	●マナーモードを解除してください。（☞P.3-3）

●故障の際の連絡先やアフターサービス：☞P.17-23

こんなときはご利用になれません

■「圏外」表示が出ているとき
サービスエリア外か電波の届かない場所にいるためです。「圏外」表示が消え、受信電波の強さを示すバーが１本以上表示される場所へ移動してください。

■「充電して下さい」のメッセージが出て、電池アラーム音が鳴っているとき
電池パックの残量がなくなっています。（☞P.1-18）
電池パックを充電するか、充電されている予備の電池パックと交換してください。

■「」表示が出ているとき
誤動作防止が設定されています。（☞P.13-11）
設定を解除しないとボタン操作はできません。ただし、電話がかかってきたときは、一時的に誤動作防止は解除されます。エニーキーアンサー（☞P.2-10）で電話に出ることができます。V801SHを閉じた状態でサイドキーを１秒以上押すと、サブディスプレイに「**サイドキー誤動作防止 F長押しで解除**」と表示されます。

■「」表示が出ているとき
ダイヤル操作禁止が設定されています。（☞P.13-4）
ダイヤル操作禁止を解除しないと電話はかけられません。ただし、電話がかかってきたときは、エニーキーアンサー（☞P.2-10）で電話に出ることができます。

スモールライト／電池残量表示

スモールライトや電池残量表示は、次のような状態をお知らせします。

電源が入っているとき

スモールライト	電池残量表示（ ）	状態
消灯	点滅	温度異常により充電中断中
赤色点滅	点滅	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	点滅	充電中
消灯	点灯	充電完了、待受中

電源が切れているとき

スモールライト	電池残量表示（ ）	状態
赤色点滅	消灯	電池パックの寿命、異常
赤色点灯	消灯	充電中

保証書とアフターサービス

■保証書

V801SH本体をお買い上げいただいた場合は、保証書がついています。

- **お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。**
- **内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。**
- **保証期間は、保証書に記載しております。**

■アフターサービスについて

修理をご依頼になる前に、「**トラブルシューティング**」に掲載されている項目をもう一度ご確認ください。該当する症状がないときや、異常を解決できないときは、ご契約いただいたボーダフォンの故障受付（P.17-23）にご相談ください。
その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- **保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。**
- **保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。**

その他アフターサービスの詳細は、お買い上げいただいた「**取扱店**」、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（P.17-23）までご連絡ください。
なお、補修用性能部品（機能維持のために必要な部品）の最低保有期間は、生産打ち切り後６年です。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客さま、または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客さまが登　・設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切なメモリダイヤルなどは控えをとっておかれることをおすすめします。
  なお、故障または修理の際にV801SHに登　したデータ（メモリダイヤル／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。

区点コード一覧

	0101
、	0102
。	0103
，	0104
．	0105
・	0106
：	0107
；	0108
？	0109
！	0110
゛	0111
゜	0112
´	0113
｀	0114
¨	0115
＾	0116
￣	0117
＿	0118
ヽ	0119
ヾ	0120
ゝ	0121
ゞ	0122
〃	0123
仝	0124
々	0125
〆	0126
〇	0127
ー	0128
―	0129
‐	0130
／	0131
＼	0132
～	0133
∥	0134
｜	0135
…	0136
‥	0137
‘	0138
’	0139
“	0140
”	0141
（	0142
）	0143
〔	0144
〕	0145
［	0146
］	0147
｛	0148
｝	0149
〈	0150
〉	0151
《	0152
》	0153
「	0154
」	0155
『	0156
』	0157
【	0158
】	0159
＋	0160
－	0161
±	0162
×	0163
÷	0164
＝	0165
≠	0166
＜	0167
＞	0168
≦	0169
≧	0170
∞	0171
∴	0172
♂	0173
♀	0174
°	0175
′	0176
″	0177
℃	0178
￥	0179
＄	0180
¢	0181
£	0182
％	0183
＃	0184
＆	0185
＊	0186
＠	0187
§	0188
☆	0189
★	0190
○	0191
●	0192
◎	0193
◇	0194
◆	0201
□	0202
■	0203
△	0204
▲	0205
▽	0206
▼	0207
※	0208
〒	0209
→	0210
←	0211
↑	0212
↓	0213
〓	0214
∈	0226
∋	0227
⊆	0228
⊇	0229
⊂	0230
⊃	0231
∪	0232
∩	0233
∧	0242
∨	0243
¬	0244
⇒	0245
⇔	0246
∀	0247
∃	0248
∠	0260
⊥	0261
⌒	0262
∂	0263
∇	0264
≡	0265
	0266
≪	0267
≫	0268
√	0269
∽	0270
∝	0271
∵	0272
∫	0273
∬	0274
Å	0282
‰	0283
♯	0284
♭	0285
♪	0286
†	0287
‡	0288
¶	0289
◯	0294
0	0316
1	0317
2	0318
3	0319
4	0320
5	0321
6	0322
7	0323
8	0324
9	0325
A	0333
B	0334
C	0335
D	0336
E	0337
F	0338
G	0339
H	0340
I	0341
J	0342
K	0343
L	0344
M	0345
N	0346
O	0347
P	0348
Q	0349
R	0350
S	0351
T	0352
U	0353
V	0354
W	0355
X	0356
Y	0357
Z	0358
a	0365
b	0366
c	0367
d	0368
e	0369
f	0370
g	0371
h	0372
i	0373
j	0374
k	0375
l	0376
m	0377
n	0378
o	0379
p	0380
q	0381
r	0382
s	0383
t	0384
u	0385
v	0386
w	0387
x	0388
y	0389
z	0390
ぁ	0401
あ	0402
ぃ	0403
い	0404
ぅ	0405
う	0406
ぇ	0407
え	0408
ぉ	0409
お	0410
か	0411
が	0412
き	0413
ぎ	0414
く	0415
ぐ	0416
け	0417
げ	0418
こ	0419
ご	0420
さ	0421
ざ	0422
し	0423
じ	0424
す	0425
ず	0426
せ	0427
ぜ	0428
そ	0429
ぞ	0430
た	0431
だ	0432
ち	0433
ぢ	0434
っ	0435
つ	0436
づ	0437
て	0438
で	0439
と	0440
ど	0441
な	0442
に	0443
ぬ	0444
ね	0445
の	0446
は	0447
ば	0448
ぱ	0449
ひ	0450
び	0451
ぴ	0452
ふ	0453
ぶ	0454
ぷ	0455
へ	0456
べ	0457
ぺ	0458
ほ	0459
ぼ	0460
ぽ	0461
ま	0462
み	0463
む	0464
め	0465
も	0466
ゃ	0467
や	0468
ゅ	0469
ゆ	0470
ょ	0471
よ	0472
ら	0473
り	0474
る	0475
れ	0476
ろ	0477
ゎ	0478
わ	0479
ゐ	0480
ゑ	0481
を	0482
ん	0483
ァ	0501
ア	0502
ィ	0503
イ	0504
ゥ	0505
ウ	0506
ェ	0507
エ	0508
ォ	0509
オ	0510
カ	0511
ガ	0512
キ	0513
ギ	0514
ク	0515
グ	0516
ケ	0517
ゲ	0518
コ	0519
ゴ	0520
サ	0521
ザ	0522
シ	0523
ジ	0524
ス	0525
ズ	0526
セ	0527
ゼ	0528
ソ	0529
ゾ	0530
タ	0531
ダ	0532
チ	0533
ヂ	0534
ッ	0535
ツ	0536
ヅ	0537
テ	0538
デ	0539
ト	0540
ド	0541
ナ	0542
ニ	0543
ヌ	0544
ネ	0545
ノ	0546
ハ	0547
バ	0548
パ	0549
ヒ	0550
ビ	0551
ピ	0552
フ	0553
ブ	0554
プ	0555
ヘ	0556
ベ	0557
ペ	0558
ホ	0559
ボ	0560
ポ	0561
マ	0562
ミ	0563
ム	0564
メ	0565
モ	0566
ャ	0567
ヤ	0568
ュ	0569
ユ	0570
ョ	0571
ヨ	0572
ラ	0573
リ	0574
ル	0575
レ	0576
ロ	0577
ヮ	0578
ワ	0579
ヰ	0580
ヱ	0581
ヲ	0582
ン	0583
ヴ	0584
ヵ	0585
ヶ	0586
Α	0601
Β	0602
Γ	0603
Δ	0604
Ε	0605
Ζ	0606
Η	0607
Θ	0608
Ι	0609
Κ	0610
Λ	0611
Μ	0612
Ν	0613
Ξ	0614
Ο	0615
Π	0616
Ρ	0617
Σ	0618
Τ	0619
Υ	0620
Φ	0621
Χ	0622
Ψ	0623
Ω	0624
α	0633
β	0634
γ	0635
δ	0636
ε	0637
ζ	0638
η	0639
θ	0640
ι	0641
κ	0642
λ	0643
μ	0644
ν	0645
ξ	0646
ο	0647
π	0648
ρ	0649
σ	0650
τ	0651
υ	0652
φ	0653
χ	0654
ψ	0655
ω	0656
А	0701
Б	0702
В	0703
Г	0704
Д	0705
Е	0706
Ё	0707
Ж	0708
З	0709
И	0710
Й	0711
К	0712
Л	0713
М	0714
Н	0715
О	0716
П	0717
Р	0718
С	0719
Т	0720
У	0721
Ф	0722
Х	0723
Ц	0724
Ч	0725
Ш	0726
Щ	0727
Ъ	0728
Ы	0729
Ь	0730
Э	0731
Ю	0732
Я	0733
а	0749
б	0750
в	0751
г	0752
д	0753
е	0754
ё	0755
ж	0756
з	0757
и	0758
й	0759
к	0760
л	0761
м	0762
н	0763
о	0764
п	0765
р	0766
с	0767
т	0768
у	0769
ф	0770
х	0771
ц	0772
ч	0773
ш	0774
щ	0775
ъ	0776
ы	0777
ь	0778
э	0779
ю	0780
я	0781
─	0801
│	0802
┌	0803
┐	0804
┘	0805
└	0806
├	0807
┬	0808
┤	0809
┴	0810
┼	0811
━	0812
┃	0813
┏	0814
┓	0815
┛	0816
┗	0817
┣	0818
┳	0819
┫	0820
┻	0821
╋	0822
┠	0823
┯	0824
┨	0825
┷	0826
┿	0827
┝	0828
┰	0829
┥	0830
┸	0831
╂	0832
【あ】	
亜	1601
唖	1602
娃	1603
阿	1604
哀	1605
愛	1606
挨	1607
姶	1608
逢	1609
葵	1610
茜	1611
穐	1612
悪	1613
握	1614
渥	1615
旭	1616
葦	1617
芦	1618
鯵	1619
梓	1620
圧	1621
斡	1622
扱	1623
宛	1624
姐	1625
虻	1626
飴	1627
絢	1628
綾	1629
鮎	1630
或	1631
粟	1632
袷	1633
安	1634
庵	1635
按	1636
暗	1637
案	1638
闇	1639
鞍	1640
杏	1641
【い】	
以	1642
伊	1643
位	1644
依	1645
偉	1646
囲	1647
夷	1648
委	1649
威	1650
尉	1651
惟	1652
意	1653
慰	1654
易	1655
椅	1656
為	1657
畏	1658
異	1659
移	1660
維	1661
緯	1662
胃	1663
萎	1664
衣	1665
謂	1666
違	1667
遺	1668
医	1669
井	1670
亥	1671
域	1672
育	1673
郁	1674
磯	1675
一	1676
壱	1677
溢	1678
逸	1679
稲	1680
茨	1681
芋	1682
鰯	1683
允	1684
印	1685
咽	1686
員	1687
因	1688
姻	1689
引	1690
飲	1691
淫	1692
胤	1693
蔭	1694
院	1701
陰	1702
隠	1703
韻	1704
吋	1705
【う】	
右	1706
宇	1707
烏	1708
羽	1709
迂	1710
雨	1711
卯	1712
鵜	1713
窺	1714
丑	1715
碓	1716
臼	1717
渦	1718
嘘	1719
唄	1720
欝	1721
蔚	1722
鰻	1723
姥	1724
厩	1725
浦	1726
瓜	1727
閏	1728
噂	1729
云	1730
運	1731
雲	1732
【え】	
荏	1733
餌	1734
叡	1735
営	1736
嬰	1737
影	1738
映	1739
曳	1740
栄	1741
永	1742
泳	1743
洩	1744
瑛	1745
盈	1746
穎	1747
頴	1748
英	1749
衛	1750
詠	1751

鋭	1752
液	1753
疫	1754
益	1755
駅	1756
悦	1757
謁	1758
越	1759
閲	1760
榎	1761
厭	1762
円	1763
園	1764
堰	1765
奄	1766
宴	1767
延	1768
怨	1769
掩	1770
援	1771
沿	1772
演	1773
炎	1774
焔	1775
煙	1776
燕	1777
猿	1778
縁	1779
艶	1780
苑	1781
薗	1782
遠	1783
鉛	1784
鴛	1785
塩	1786
【お】	
於	1787
汚	1788
甥	1789
凹	1790
央	1791
奥	1792
往	1793
応	1794
押	1801
旺	1802
横	1803
欧	1804
殴	1805
王	1806
翁	1807
襖	1808
鴬	1809
鴎	1810
黄	1811
岡	1812
沖	1813
荻	1814
億	1815
屋	1816
憶	1817
臆	1818
桶	1819
牡	1820
乙	1821
俺	1822
卸	1823
恩	1824
温	1825
穏	1826
音	1827
【か】	
下	1828
化	1829
仮	1830
何	1831
伽	1832
価	1833
佳	1834
加	1835
可	1836
嘉	1837
夏	1838
嫁	1839
家	1840
寡	1841
科	1842
暇	1843
果	1844
架	1845
歌	1846
河	1847
火	1848
珂	1849
禍	1850
禾	1851
稼	1852
箇	1853
花	1854
苛	1855
茄	1856
荷	1857
華	1858
菓	1859
蝦	1860
課	1861
嘩	1862
貨	1863
迦	1864
過	1865
霞	1866
蚊	1867
俄	1868
峨	1869
我	1870
牙	1871
画	1872
臥	1873
芽	1874
蛾	1875
賀	1876
雅	1877
餓	1878
駕	1879
介	1880
会	1881
解	1882
回	1883
塊	1884
壊	1885
廻	1886
快	1887
怪	1888
悔	1889
恢	1890
懐	1891
戒	1892
拐	1893
改	1894
魁	1901
晦	1902
械	1903
海	1904
灰	1905
界	1906
皆	1907
絵	1908
芥	1909
蟹	1910
開	1911
階	1912
貝	1913
凱	1914
劾	1915
外	1916
咳	1917
害	1918
崖	1919
慨	1920
概	1921
涯	1922
碍	1923
蓋	1924
街	1925
該	1926
鎧	1927
骸	1928
浬	1929
馨	1930
蛙	1931
垣	1932
柿	1933
蛎	1934
鈎	1935
劃	1936
嚇	1937
各	1938
廓	1939
拡	1940
撹	1941
格	1942
核	1943
殻	1944
獲	1945
確	1946
穫	1947
覚	1948
角	1949
赫	1950
較	1951
郭	1952
閣	1953
隔	1954
革	1955
学	1956
岳	1957
楽	1958
額	1959
顎	1960
掛	1961
笠	1962
樫	1963
橿	1964
梶	1965
鰍	1966
潟	1967
割	1968
喝	1969
恰	1970
括	1971
活	1972
渇	1973
滑	1974
葛	1975
褐	1976
轄	1977
且	1978
鰹	1979
叶	1980
椛	1981
樺	1982
鞄	1983
株	1984
兜	1985
竃	1986
蒲	1987
釜	1988
鎌	1989
噛	1990
鴨	1991
栢	1992
茅	1993
萱	1994
粥	2001
刈	2002
苅	2003
瓦	2004
乾	2005
侃	2006
冠	2007
寒	2008
刊	2009
勘	2010
勧	2011
巻	2012
喚	2013
堪	2014
姦	2015
完	2016
官	2017
寛	2018
干	2019
幹	2020
患	2021
感	2022
慣	2023
憾	2024
換	2025
敢	2026
柑	2027
桓	2028
棺	2029
款	2030
歓	2031
汗	2032
漢	2033
澗	2034
潅	2035
環	2036
甘	2037
監	2038
看	2039
竿	2040
管	2041
簡	2042
緩	2043
缶	2044
翰	2045
肝	2046
艦	2047
莞	2048
観	2049
諌	2050
貫	2051
還	2052
鑑	2053
間	2054
閑	2055
関	2056
陥	2057
韓	2058
館	2059
舘	2060
丸	2061
含	2062
岸	2063
巌	2064
玩	2065
癌	2066
眼	2067
岩	2068
翫	2069
贋	2070
雁	2071
頑	2072
顔	2073
願	2074
【き】	
企	2075
伎	2076
危	2077
喜	2078
器	2079
基	2080
奇	2081
嬉	2082
寄	2083
岐	2084
希	2085
幾	2086
忌	2087
揮	2088
机	2089
旗	2090
既	2091
期	2092
棋	2093
棄	2094
機	2101
帰	2102
毅	2103
気	2104
汽	2105
畿	2106
祈	2107
季	2108
稀	2109
紀	2110
徽	2111
規	2112
記	2113
貴	2114
起	2115
軌	2116
輝	2117
飢	2118
騎	2119
鬼	2120
亀	2121
偽	2122
儀	2123
妓	2124
宜	2125
戯	2126
技	2127
擬	2128
欺	2129
犠	2130
疑	2131
祇	2132
義	2133
蟻	2134
誼	2135
議	2136
掬	2137
菊	2138
鞠	2139
吉	2140
吃	2141
喫	2142
桔	2143
橘	2144
詰	2145
砧	2146
杵	2147
黍	2148
却	2149
客	2150
脚	2151
虐	2152
逆	2153
丘	2154
久	2155
仇	2156
休	2157
及	2158
吸	2159
宮	2160
弓	2161
急	2162
救	2163
朽	2164
求	2165
汲	2166
泣	2167
灸	2168
球	2169
究	2170
窮	2171
笈	2172
級	2173
糾	2174
給	2175
旧	2176
牛	2177
去	2178
居	2179
巨	2180
拒	2181
拠	2182
挙	2183
渠	2184
虚	2185
許	2186
距	2187
鋸	2188
漁	2189
禦	2190
魚	2191
亨	2192
享	2193
京	2194
供	2201
侠	2202
僑	2203
兇	2204
競	2205
共	2206
凶	2207
協	2208
匡	2209
卿	2210
叫	2211
喬	2212
境	2213
峡	2214
強	2215
彊	2216
怯	2217
恐	2218
恭	2219
挟	2220
教	2221
橋	2222
況	2223
狂	2224
狭	2225
矯	2226
胸	2227
脅	2228
興	2229
蕎	2230
郷	2231
鏡	2232
響	2233
饗	2234
驚	2235
仰	2236
凝	2237
尭	2238
暁	2239
業	2240
局	2241
曲	2242
極	2243
玉	2244
桐	2245
粁	2246
僅	2247
勤	2248
均	2249
巾	2250
錦	2251
斤	2252
欣	2253
欽	2254
琴	2255
禁	2256
禽	2257
筋	2258
緊	2259
芹	2260
菌	2261
衿	2262
襟	2263
謹	2264
近	2265
金	2266
吟	2267
銀	2268
【く】	
九	2269
倶	2270
句	2271
区	2272
狗	2273
玖	2274
矩	2275
苦	2276
躯	2277
駆	2278
駈	2279
駒	2280
具	2281
愚	2282
虞	2283
喰	2284
空	2285
偶	2286
寓	2287
遇	2288
隅	2289
串	2290
櫛	2291
釧	2292
屑	2293
屈	2294
掘	2301
窟	2302
沓	2303
靴	2304
轡	2305
窪	2306
熊	2307
隈	2308
粂	2309
栗	2310
繰	2311
桑	2312
鍬	2313
勲	2314
君	2315
薫	2316
訓	2317
群	2318
軍	2319
郡	2320
【け】	
卦	2321
袈	2322
祁	2323
係	2324
傾	2325
刑	2326
兄	2327
啓	2328
圭	2329
珪	2330
型	2331
契	2332
形	2333
径	2334
恵	2335
慶	2336
慧	2337
憩	2338
掲	2339
携	2340
敬	2341
景	2342
桂	2343
渓	2344
畦	2345
稽	2346
系	2347
経	2348
継	2349
繋	2350
罫	2351
茎	2352
荊	2353
蛍	2354
計	2355
詣	2356
警	2357
軽	2358
頚	2359
鶏	2360
芸	2361
迎	2362
鯨	2363
劇	2364
戟	2365
撃	2366
激	2367
隙	2368
桁	2369
傑	2370
欠	2371
決	2372
潔	2373
穴	2374
結	2375
血	2376
訣	2377
月	2378
件	2379
倹	2380
倦	2381
健	2382
兼	2383
券	2384
剣	2385
喧	2386
圏	2387
堅	2388
嫌	2389
建	2390
憲	2391
懸	2392
拳	2393
捲	2394
検	2401
権	2402
牽	2403
犬	2404
献	2405
研	2406
硯	2407
絹	2408
県	2409
肩	2410
見	2411
謙	2412
賢	2413
軒	2414
遣	2415
鍵	2416
険	2417
顕	2418
験	2419
鹸	2420
元	2421
原	2422
厳	2423
幻	2424
弦	2425
減	2426
源	2427
玄	2428
現	2429
絃	2430
舷	2431
言	2432
諺	2433
限	2434
【こ】	
乎	2435
個	2436
古	2437
呼	2438
固	2439
姑	2440
孤	2441
己	2442
庫	2443
弧	2444
戸	2445
故	2446
枯	2447
湖	2448
狐	2449
糊	2450
袴	2451
股	2452
胡	2453
菰	2454
虎	2455
誇	2456
跨	2457
鈷	2458
雇	2459
顧	2460
鼓	2461
五	2462

互 2463 伍 2464 午 2465 呉 2466 吾 2467 娯 2468 後 2469 御 2470 悟 2471 梧 2472 檎 2473 瑚 2474 碁 2475 語 2476 誤 2477 護 2478 醐 2479 乞 2480 鯉 2481 交 2482 佼 2483 侯 2484 候 2485 倖 2486 光 2487 公 2488 功 2489 効 2490 勾 2491 厚 2492 口 2493 向 2494

后 2501 喉 2502 坑 2503 垢 2504 好 2505 孔 2506 孝 2507 宏 2508 工 2509 巧 2510 巷 2511 幸 2512 広 2513 庚 2514 康 2515 弘 2516 恒 2517 慌 2518 抗 2519 拘 2520 控 2521 攻 2522 昂 2523 晃 2524 更 2525 杭 2526 校 2527 梗 2528 構 2529 江 2530 洪 2531 浩 2532 港 2533 溝 2534 甲 2535 皇 2536 硬 2537 稿 2538 糠 2539 紅 2540 紘 2541 絞 2542 綱 2543 耕 2544 考 2545 肯 2546 肱 2547 腔 2548 膏 2549 航 2550 荒 2551 行 2552 衡 2553 講 2554 貢 2555 購 2556 郊 2557 酵 2558 鉱 2559 砿 2560 鋼 2561 閤 2562 降 2563 項 2564 香 2565 高 2566 鴻 2567 剛 2568 劫 2569 号 2570 合 2571 壕 2572 拷 2573 濠 2574 豪 2575 轟 2576 麹 2577 克 2578 刻 2579 告 2580 国 2581 穀 2582 酷 2583 鵠 2584 黒 2585 獄 2586 漉 2587 腰 2588 甑 2589 忽 2590 惚 2591 骨 2592 狛 2593 込 2594

此 2601 頃 2602 今 2603 困 2604 坤 2605 墾 2606 婚 2607 恨 2608 懇 2609 昏 2610 昆 2611 根 2612 梱 2613 混 2614 痕 2615 紺 2616 艮 2617 魂 2618

【さ】

些 2619 佐 2620 叉 2621 唆 2622 嵯 2623 左 2624 差 2625 査 2626 沙 2627 瑳 2628 砂 2629 詐 2630 鎖 2631 裟 2632 坐 2633 座 2634 挫 2635 債 2636 催 2637 再 2638 最 2639 哉 2640 塞 2641 妻 2642 宰 2643 彩 2644 才 2645 採 2646 栽 2647 歳 2648 済 2649 災 2650 采 2651 犀 2652 砕 2653 砦 2654 祭 2655 斎 2656 細 2657 菜 2658 裁 2659 載 2660 際 2661 剤 2662 在 2663 材 2664 罪 2665 財 2666 冴 2667 坂 2668 阪 2669 堺 2670 榊 2671 肴 2672 咲 2673 崎 2674 埼 2675 碕 2676 鷺 2677 作 2678 削 2679 咋 2680 搾 2681 昨 2682 朔 2683 柵 2684 窄 2685 策 2686 索 2687 錯 2688 桜 2689 鮭 2690 笹 2691 匙 2692 冊 2693 刷 2694

察 2701 拶 2702 撮 2703 擦 2704 札 2705 殺 2706 薩 2707 雑 2708 皐 2709 鯖 2710 捌 2711 錆 2712 鮫 2713 皿 2714 晒 2715 三 2716 傘 2717 参 2718 山 2719 惨 2720 撒 2721 散 2722 桟 2723 燦 2724 珊 2725 産 2726 算 2727 纂 2728 蚕 2729 讃 2730 賛 2731 酸 2732 餐 2733 斬 2734 暫 2735 残 2736

【し】

仕 2737 仔 2738 伺 2739 使 2740 刺 2741 司 2742 史 2743 嗣 2744 四 2745 士 2746 始 2747 姉 2748 姿 2749 子 2750 屍 2751 市 2752 師 2753 志 2754 思 2755 指 2756 支 2757 孜 2758 斯 2759 施 2760 旨 2761 枝 2762 止 2763 死 2764 氏 2765 獅 2766 祉 2767 私 2768 糸 2769 紙 2770 紫 2771 肢 2772 脂 2773 至 2774 視 2775 詞 2776 詩 2777 試 2778 誌 2779 諮 2780 資 2781 賜 2782 雌 2783 飼 2784 歯 2785 事 2786 似 2787 侍 2788 児 2789 字 2790 寺 2791 慈 2792 持 2793 時 2794

次 2801 滋 2802 治 2803 爾 2804 璽 2805 痔 2806 磁 2807 示 2808 而 2809 耳 2810 自 2811 蒔 2812 辞 2813 汐 2814 鹿 2815 式 2816 識 2817 鴫 2818 竺 2819 軸 2820 宍 2821 雫 2822 七 2823 叱 2824 執 2825 失 2826 嫉 2827 室 2828 悉 2829 湿 2830 漆 2831 疾 2832 質 2833 実 2834 蔀 2835 篠 2836 偲 2837 柴 2838 芝 2839 屡 2840 蕊 2841 縞 2842 舎 2843 写 2844 射 2845 捨 2846 赦 2847 斜 2848 煮 2849 社 2850 紗 2851 者 2852 謝 2853 車 2854 遮 2855 蛇 2856 邪 2857 借 2858 勺 2859 尺 2860 杓 2861 灼 2862 爵 2863 酌 2864 釈 2865 錫 2866 若 2867 寂 2868 弱 2869 惹 2870 主 2871 取 2872 守 2873 手 2874 朱 2875 殊 2876 狩 2877 珠 2878 種 2879 腫 2880 趣 2881 酒 2882 首 2883 儒 2884 受 2885 呪 2886 寿 2887 授 2888 樹 2889 綬 2890 需 2891 囚 2892 収 2893 周 2894

宗 2901 就 2902 州 2903 修 2904 愁 2905 拾 2906 洲 2907 秀 2908 秋 2909 終 2910 繍 2911 習 2912 臭 2913 舟 2914 蒐 2915 衆 2916 襲 2917 讐 2918 蹴 2919 輯 2920 週 2921 酋 2922 酬 2923 集 2924 醜 2925 什 2926 住 2927 充 2928 十 2929 従 2930 戎 2931 柔 2932 汁 2933 渋 2934 獣 2935 縦 2936 重 2937 銃 2938 叔 2939 夙 2940 宿 2941 淑 2942 祝 2943 縮 2944 粛 2945 塾 2946 熟 2947 出 2948 術 2949 述 2950 俊 2951 峻 2952 春 2953 瞬 2954 竣 2955 舜 2956 駿 2957 准 2958 循 2959 旬 2960 楯 2961 殉 2962 淳 2963 準 2964 潤 2965 盾 2966 純 2967 巡 2968 遵 2969 醇 2970 順 2971 処 2972 初 2973 所 2974 暑 2975 曙 2976 渚 2977 庶 2978 緒 2979 署 2980 書 2981 薯 2982 藷 2983 諸 2984 助 2985 叙 2986 女 2987 序 2988 徐 2989 恕 2990 鋤 2991 除 2992 傷 2993 償 2994

勝 3001 匠 3002 升 3003 召 3004 哨 3005 商 3006 唱 3007 嘗 3008 奨 3009 妾 3010 娼 3011 宵 3012 将 3013 小 3014 少 3015 尚 3016 庄 3017 床 3018 廠 3019 彰 3020 承 3021 抄 3022 招 3023 掌 3024 捷 3025 昇 3026 昌 3027 昭 3028 晶 3029 松 3030 梢 3031 樟 3032 樵 3033 沼 3034 消 3035 渉 3036 湘 3037 焼 3038 焦 3039 照 3040 症 3041 省 3042 硝 3043 礁 3044 祥 3045 称 3046 章 3047 笑 3048 粧 3049 紹 3050 肖 3051 菖 3052 蒋 3053 蕉 3054 衝 3055 裳 3056 訟 3057 証 3058 詔 3059 詳 3060 象 3061 賞 3062 醤 3063 鉦 3064 鍾 3065 鐘 3066 障 3067 鞘 3068 上 3069 丈 3070 丞 3071 乗 3072 冗 3073 剰 3074 城 3075 場 3076 壌 3077 嬢 3078 常 3079 情 3080 擾 3081 条 3082 杖 3083 浄 3084 状 3085 畳 3086 穣 3087 蒸 3088 譲 3089 醸 3090 錠 3091 嘱 3092 埴 3093 飾 3094

拭 3101 植 3102 殖 3103 燭 3104 織 3105 職 3106 色 3107 触 3108 食 3109 蝕 3110 辱 3111 尻 3112 伸 3113 信 3114 侵 3115 唇 3116 娠 3117 寝 3118 審 3119 心 3120 慎 3121 振 3122 新 3123 晋 3124 森 3125 榛 3126 浸 3127 深 3128 申 3129 疹 3130 真 3131 神 3132 秦 3133 紳 3134 臣 3135 芯 3136 薪 3137 親 3138 診 3139 身 3140 辛 3141 進 3142 針 3143 震 3144 人 3145 仁 3146 刃 3147 塵 3148 壬 3149 尋 3150 甚 3151 尽 3152 腎 3153 訊 3154 迅 3155 陣 3156 靭 3157

【す】

笥 3158 諏 3159 須 3160 酢 3161 図 3162 厨 3163 逗 3164 吹 3165 垂 3166 帥 3167 推 3168 水 3169 炊 3170 睡 3171 粋 3172 翠 3173 衰 3174 遂 3175 酔 3176 錐 3177 錘 3178 随 3179 瑞 3180 髄 3181 崇 3182 嵩 3183 数 3184 枢 3185 趨 3186 雛 3187 据 3188 杉 3189 椙 3190 菅 3191 頗 3192 雀 3193 裾 3194

澄 3201 摺 3202 寸 3203

【せ】

世 3204 瀬 3205 畝 3206 是 3207 凄 3208 制 3209 勢 3210 姓 3211 征 3212 性 3213 成 3214 政 3215 整 3216 星 3217 晴 3218 棲 3219 栖 3220 正 3221 清 3222 牲 3223 生 3224 盛 3225 精 3226 聖 3227 声 3228 製 3229 西 3230 誠 3231 誓 3232 請 3233 逝 3234 醒 3235 青 3236 静 3237 斉 3238 税 3239 脆 3240 隻 3241 席 3242 惜 3243 戚 3244 斥 3245 昔 3246 析 3247 石 3248 積 3249 籍 3250 績 3251 脊 3252 責 3253 赤 3254 跡 3255 蹟 3256 碩 3257 切 3258 拙 3259 接 3260 摂 3261 折 3262 設 3263 窃 3264 節 3265 説 3266 雪 3267 絶 3268 舌 3269 蝉 3270 仙 3271 先 3272 千 3273 占 3274 宣 3275 専 3276 尖 3277 川 3278 戦 3279 扇 3280 撰 3281 栓 3282 栴 3283 泉 3284 浅 3285 洗 3286 染 3287 潜 3288 煎 3289 煽 3290 旋 3291 穿 3292 箭 3293 線 3294

繊 3301 羨 3302 腺 3303 舛 3304 船 3305 薦 3306 詮 3307 賎 3308 践 3309 選 3310 遷 3311 銭 3312 銑 3313 閃 3314 鮮 3315 前 3316 善 3317 漸 3318 然 3319 全 3320 禅 3321 繕 3322 膳 3323 糎 3324

【そ】

噌 3325 塑 3326 岨 3327 措 3328 曾 3329 曽 3330 楚 3331 狙 3332 疏 3333 疎 3334 礎 3335 祖 3336 租 3337 粗 3338 素 3339 組 3340 蘇 3341 訴 3342 阻 3343 遡 3344 鼠 3345 僧 3346 創 3347 双 3348 叢 3349 倉 3350 喪 3351 壮 3352 奏 3353 爽 3354 宋 3355 層 3356 匝 3357 惣 3358 想 3359 捜 3360 掃 3361 挿 3362 掻 3363 操 3364 早 3365 曹 3366 巣 3367 槍 3368 槽 3369 漕 3370 燥 3371 争 3372 痩 3373 相 3374 窓 3375 糟 3376 総 3377 綜 3378 聡 3379 草 3380 荘 3381 葬 3382 蒼 3383 藻 3384 装 3385 走 3386 送 3387 遭 3388 鎗 3389 霜 3390 騒 3391 像 3392 増 3393 憎 3394

臓 3401 蔵 3402 贈 3403 造 3404 促 3405 側 3406 則 3407 即 3408 息 3409 捉 3410 束 3411 測 3412 足 3413 速 3414 俗 3415 属 3416 賊 3417 族 3418 続 3419 卒 3420 袖 3421 其 3422 揃 3423 存 3424 孫 3425 尊 3426 損 3427 村 3428 遜 3429

【た】

他 3430 多 3431 太 3432 汰 3433 詑 3434 唾 3435 堕 3436 妥 3437 惰 3438 打 3439 柁 3440 舵 3441 楕 3442 陀 3443 駄 3444 騨 3445 体 3446 堆 3447 対 3448 耐 3449 岱 3450 帯 3451 待 3452 怠 3453 態 3454 戴 3455 替 3456 泰 3457 滞 3458 胎 3459 腿 3460 苔 3461 袋 3462 貸 3463 退 3464 逮 3465 隊 3466 黛 3467 鯛 3468 代 3469 台 3470 大 3471 第 3472 醍 3473 題 3474 鷹 3475 滝 3476 瀧 3477 卓 3478 啄 3479 宅 3480 托 3481 択 3482 拓 3483 沢 3484 濯 3485 琢 3486 託 3487 鐸 3488 濁 3489 諾 3490 茸 3491 凧 3492 蛸 3493 只 3494

叩 3501 但 3502 達 3503 辰 3504 奪 3505 脱 3506 巽 3507 竪 3508 辿 3509 棚 3510 谷 3511 狸 3512 鱈 3513 樽 3514 誰 3515 丹 3516 単 3517 嘆 3518 坦 3519 担 3520 探 3521 旦 3522 歎 3523 淡 3524 湛 3525 炭 3526 短 3527 端 3528 箪 3529 綻 3530 耽 3531 胆 3532 蛋 3533 誕 3534 鍛 3535 団 3536 壇 3537 弾 3538 断 3539 暖 3540 檀 3541 段 3542 男 3543 談 3544

【ち】

値 3545 知 3546 地 3547 弛 3548 恥 3549 智 3550 池 3551 痴 3552 稚 3553 置 3554 致 3555 蜘 3556 遅 3557 馳 3558 築 3559 畜 3560 竹 3561 筑 3562 蓄 3563 逐 3564 秩 3565 窒 3566 茶 3567 嫡 3568 着 3569 中 3570 仲 3571 宙 3572 忠 3573 抽 3574 昼 3575 柱 3576 注 3577 虫 3578 衷 3579 註 3580 酎 3581 鋳 3582 駐 3583 樗 3584 瀦 3585 猪 3586 苧 3587 著 3588 貯 3589 丁 3590 兆 3591 凋 3592 喋 3593 寵 3594

帖 3601 帳 3602 庁 3603 弔 3604 張 3605 彫 3606 徴 3607 懲 3608 挑 3609 暢 3610 朝 3611 潮 3612 牒 3613 町 3614 眺 3615 聴 3616 脹 3617 腸 3618 蝶 3619 調 3620 諜 3621 超 3622 跳 3623 銚 3624 長 3625 頂 3626 鳥 3627 勅 3628 捗 3629 直 3630 朕 3631 沈 3632 珍 3633 賃 3634 鎮 3635 陳 3636

【つ】

津 3637 墜 3638 椎 3639 槌 3640 追 3641 鎚 3642 痛 3643 通 3644 塚 3645 栂 3646 掴 3647 槻 3648 佃 3649 漬 3650 柘 3651 辻 3652 蔦 3653 綴 3654 鍔 3655 椿 3656 潰 3657 坪 3658 壷 3659 嬬 3660 紬 3661 爪 3662 吊 3663 釣 3664 鶴 3665

【て】

亭 3666 低 3667 停 3668 偵 3669 剃 3670 貞 3671 呈 3672 堤 3673 定 3674 帝 3675 底 3676 庭 3677 廷 3678 弟 3679 悌 3680 抵 3681 挺 3682 提 3683 梯 3684 汀 3685 碇 3686 禎 3687 程 3688 締 3689 艇 3690 訂 3691 諦 3692 蹄 3693 逓 3694

邸 3701 鄭 3702 釘 3703 鼎 3704 泥 3705 摘 3706 擢 3707 敵 3708 滴 3709 的 3710 笛 3711 適 3712 鏑 3713 溺 3714 哲 3715 徹 3716 撤 3717 轍 3718 迭 3719 鉄 3720 典 3721 填 3722 天 3723 展 3724 店 3725 添 3726 纏 3727 甜 3728 貼 3729 転 3730 顛 3731 点 3732 伝 3733 殿 3734 澱 3735 田 3736 電 3737

【と】

兎 3738 吐 3739 堵 3740 塗 3741 妬 3742 屠 3743 徒 3744 斗 3745 杜 3746 渡 3747 登 3748 菟 3749 賭 3750 途 3751 都 3752 鍍 3753 砥 3754 砺 3755 努 3756 度 3757 土 3758 奴 3759 怒 3760 倒 3761 党 3762 冬 3763 凍 3764 刀 3765 唐 3766 塔 3767 塘 3768 套 3769 宕 3770 島 3771 嶋 3772 悼 3773 投 3774 搭 3775 東 3776 桃 3777 梼 3778 棟 3779 盗 3780 淘 3781 湯 3782 涛 3783 灯 3784 燈 3785 当 3786 痘 3787 祷 3788 等 3789 答 3790 筒 3791 糖 3792 統 3793 到 3794

董 3801 蕩 3802 藤 3803 討 3804 謄 3805 豆 3806 踏 3807 逃 3808 透 3809 鐙 3810 陶 3811 頭 3812 騰 3813 闘 3814 働 3815 動 3816 同 3817 堂 3818 導 3819 憧 3820 撞 3821 洞 3822 瞳 3823 童 3824 胴 3825 萄 3826 道 3827 銅 3828 峠 3829 鴇 3830 匿 3831 得 3832 徳 3833 涜 3834 特 3835 督 3836 禿 3837 篤 3838 毒 3839 独 3840 読 3841 栃 3842 橡 3843 凸 3844 突 3845 椴 3846 届 3847 鳶 3848 苫 3849 寅 3850 酉 3851 瀞 3852 噸 3853 屯 3854 惇 3855 敦 3856 沌 3857 豚 3858 遁 3859 頓 3860 呑 3861 曇 3862 鈍 3863

【な】

奈 3864 那 3865 内 3866 乍 3867 凪 3868 薙 3869 謎 3870 灘 3871 捺 3872 鍋 3873 楢 3874 馴 3875 縄 3876 畷 3877 南 3878 楠 3879 軟 3880 難 3881 汝 3882

【に】

二 3883 尼 3884

17 付録

17 付録

弐 3885 逐 3886 匂 3887 賑 3888 肉 3889 虹 3890 廿 3891 日 3892 乳 3893 入 3894

如 3901 尿 3902 韮 3903 任 3904 妊 3905 忍 3906 認 3907 【ぬ】 濡 3908 【ね】 禰 3909 祢 3910 寧 3911 葱 3912 猫 3913 熱 3914 年 3915 念 3916 捻 3917 撚 3918 燃 3919 粘 3920 【の】 乃 3921 廼 3922 之 3923 埜 3924 嚢 3925 悩 3926 濃 3927 納 3928 能 3929 脳 3930 膿 3931 農 3932 覗 3933 蚤 3934 【は】 巴 3935 把 3936 播 3937 覇 3938 杷 3939 波 3940 派 3941 琶 3942 破 3943 婆 3944 罵 3945 芭 3946 馬 3947

俳 3948 廃 3949 拝 3950 排 3951 敗 3952 杯 3953 盃 3954 牌 3955 背 3956 肺 3957 輩 3958 配 3959 倍 3960 培 3961 媒 3962 梅 3963 楳 3964 煤 3965 狽 3966 買 3967 売 3968 賠 3969 陪 3970 這 3971 蝿 3972 秤 3973 矧 3974 萩 3975 伯 3976 剥 3977 博 3978 拍 3979 柏 3980 泊 3981 白 3982 箔 3983 粕 3984 舶 3985 薄 3986 迫 3987 曝 3988 漠 3989 爆 3990 縛 3991 莫 3992 駁 3993 麦 3994

函 4001 箱 4002 硲 4003 箸 4004 肇 4005 筈 4006 櫨 4007 幡 4008 肌 4009 畑 4010 畠 4011 八 4012 鉢 4013 溌 4014 発 4015 醗 4016 髪 4017 伐 4018 罰 4019 抜 4020 筏 4021 閥 4022 鳩 4023 噺 4024 塙 4025 蛤 4026 隼 4027 伴 4028 判 4029 半 4030 反 4031 叛 4032 帆 4033 搬 4034 斑 4035 板 4036 氾 4037 汎 4038 版 4039 犯 4040 班 4041 畔 4042 繁 4043 般 4044 藩 4045 販 4046 範 4047 釆 4048 煩 4049 頒 4050 飯 4051 挽 4052 晩 4053 番 4054 盤 4055 磐 4056 蕃 4057 蛮 4058 【ひ】 匪 4059 卑 4060 否 4061 妃 4062 庇 4063 彼 4064 悲 4065 扉 4066 批 4067 披 4068 斐 4069 比 4070 泌 4071 疲 4072 皮 4073 碑 4074 秘 4075

緋 4076 罷 4077 肥 4078 被 4079 誹 4080 費 4081 避 4082 非 4083 飛 4084 樋 4085 簸 4086 備 4087 尾 4088 微 4089 枇 4090 毘 4091 琵 4092 眉 4093 美 4094

鼻 4101 柊 4102 稗 4103 匹 4104 疋 4105 髭 4106 彦 4107 膝 4108 菱 4109 肘 4110 弼 4111 必 4112 畢 4113 筆 4114 逼 4115 桧 4116 姫 4117 媛 4118 紐 4119 百 4120 謬 4121 俵 4122 彪 4123 標 4124 氷 4125 漂 4126 瓢 4127 票 4128 表 4129 評 4130 豹 4131 廟 4132 描 4133 病 4134 秒 4135 苗 4136 錨 4137 鋲 4138 蒜 4139 蛭 4140 鰭 4141 品 4142 彬 4143 斌 4144 浜 4145 瀕 4146 貧 4147 賓 4148 頻 4149 敏 4150 瓶 4151 【ふ】 不 4152 付 4153 埠 4154 夫 4155 婦 4156 富 4157 冨 4158 布 4159 府 4160 怖 4161 扶 4162 敷 4163 斧 4164 普 4165 浮 4166 父 4167 符 4168 腐 4169 膚 4170 芙 4171 譜 4172 負 4173 賦 4174 赴 4175 阜 4176 附 4177 侮 4178 撫 4179 武 4180 舞 4181 葡 4182 蕪 4183 部 4184 封 4185 楓 4186 風 4187 葺 4188 蕗 4189 伏 4190 副 4191 復 4192 幅 4193 服 4194

福 4201 腹 4202 複 4203 覆 4204 淵 4205 弗 4206 払 4207 沸 4208 仏 4209 物 4210 鮒 4211 分 4212 吻 4213 噴 4214 墳 4215 憤 4216 扮 4217 焚 4218 奮 4219 粉 4220 糞 4221 紛 4222 雰 4223 文 4224 聞 4225 【へ】 丙 4226 併 4227 兵 4228 塀 4229 幣 4230 平 4231 弊 4232 柄 4233 並 4234 蔽 4235 閉 4236 陛 4237 米 4238 頁 4239 僻 4240 壁 4241 癖 4242 碧 4243 別 4244 瞥 4245 蔑 4246 箆 4247 偏 4248 変 4249 片 4250 篇 4251 編 4252 辺 4253 返 4254 遍 4255 便 4256 勉 4257 娩 4258 弁 4259 鞭 4260 【ほ】 保 4261 舗 4262 鋪 4263 圃 4264 捕 4265 歩 4266 甫 4267 補 4268 輔 4269 穂 4270 募 4271 墓 4272 慕 4273 戊 4274 暮 4275 母 4276 簿 4277 菩 4278 倣 4279 俸 4280 包 4281 呆 4282 報 4283 奉 4284 宝 4285 峰 4286 峯 4287 崩 4288 庖 4289 抱 4290 捧 4291 放 4292 方 4293 朋 4294

法 4301 泡 4302 烹 4303 砲 4304 縫 4305 胞 4306 芳 4307 萌 4308 蓬 4309 蜂 4310 褒 4311 訪 4312 豊 4313 邦 4314 鋒 4315 飽 4316 鳳 4317 鵬 4318 乏 4319 亡 4320 傍 4321 剖 4322 坊 4323 妨 4324 帽 4325 忘 4326 忙 4327 房 4328 暴 4329 望 4330 某 4331 棒 4332 冒 4333 紡 4334 肪 4335 膨 4336 謀 4337 貌 4338 貿 4339 鉾 4340 防 4341 吠 4342 頬 4343 北 4344 僕 4345 卜 4346 墨 4347 撲 4348 朴 4349 牧 4350 睦 4351 穆 4352 釦 4353 勃 4354 没 4355 殆 4356 堀 4357 幌 4358 奔 4359 本 4360 翻 4361 凡 4362 盆 4363 【ま】 摩 4364 磨 4365 魔 4366 麻 4367 埋 4368 妹 4369 昧 4370 枚 4371 毎 4372 哩 4373 槙 4374 幕 4375 膜 4376 枕 4377 鮪 4378 柾 4379 鱒 4380 桝 4381 亦 4382 俣 4383 又 4384 抹 4385 末 4386 沫 4387 迄 4388 侭 4389 繭 4390 麿 4391 万 4392 慢 4393 満 4394

漫 4401 蔓 4402 【み】 味 4403 未 4404 魅 4405 巳 4406 箕 4407 岬 4408 密 4409 蜜 4410 湊 4411 蓑 4412 稔 4413 脈 4414 妙 4415 粍 4416 民 4417 眠 4418 【む】 務 4419 夢 4420 無 4421 牟 4422 矛 4423 霧 4424 鵡 4425 椋 4426 婿 4427 娘 4428 【め】 冥 4429 名 4430 命 4431 明 4432 盟 4433 迷 4434 銘 4435 鳴 4436 姪 4437 牝 4438 滅 4439 免 4440 棉 4441 綿 4442 緬 4443 面 4444 麺 4445 【も】 摸 4446 模 4447 茂 4448 妄 4449 孟 4450 毛 4451 猛 4452 盲 4453 網 4454 耗 4455 蒙 4456 儲 4457 木 4458 黙 4459 目 4460 杢 4461 勿 4462 餅 4463 尤 4464 戻 4465 籾 4466 貰 4467 問 4468 悶 4469 紋 4470 門 4471 匁 4472 【や】 也 4473 冶 4474 夜 4475 爺 4476 耶 4477 野 4478 弥 4479 矢 4480 厄 4481 役 4482 約 4483 薬 4484 訳 4485 躍 4486 靖 4487 柳 4488 薮 4489 鑓 4490 【ゆ】 愉 4491 愈 4492 油 4493 癒 4494

諭 4501 輸 4502 唯 4503 佑 4504 優 4505 勇 4506 友 4507 宥 4508 幽 4509 悠 4510 憂 4511 揖 4512 有 4513 柚 4514 湧 4515 涌 4516 猶 4517 猷 4518 由 4519 祐 4520 裕 4521 誘 4522 遊 4523 邑 4524 郵 4525 雄 4526 融 4527 夕 4528 【よ】 予 4529 余 4530 与 4531 誉 4532 輿 4533 預 4534 傭 4535 幼 4536 妖 4537 容 4538 庸 4539 揚 4540 揺 4541 擁 4542 曜 4543 楊 4544 様 4545 洋 4546 溶 4547 熔 4548 用 4549 窯 4550 羊 4551 耀 4552 葉 4553 蓉 4554 要 4555 謡 4556 踊 4557 遥 4558 陽 4559 養 4560 慾 4561 抑 4562 欲 4563 沃 4564 浴 4565 翌 4566 翼 4567 淀 4568 【ら】 羅 4569 螺 4570 裸 4571 来 4572 莱 4573 頼 4574 雷 4575 洛 4576 絡 4577 落 4578 酪 4579 乱 4580 卵 4581 嵐 4582 欄 4583 濫 4584

藍 4585 蘭 4586 覧 4587 【り】 利 4588 吏 4589 履 4590 李 4591 梨 4592 理 4593 璃 4594

痢 4601 裏 4602 裡 4603 里 4604 離 4605 陸 4606 律 4607 率 4608 立 4609 葎 4610 掠 4611 略 4612 劉 4613 流 4614 溜 4615 琉 4616 留 4617 硫 4618 粒 4619 隆 4620 竜 4621 龍 4622 侶 4623 慮 4624 旅 4625 虜 4626 了 4627 亮 4628 僚 4629 両 4630 凌 4631 寮 4632 料 4633 梁 4634 涼 4635 猟 4636 療 4637 瞭 4638 稜 4639 糧 4640 良 4641 諒 4642 遼 4643 量 4644 陵 4645 領 4646 力 4647 緑 4648 倫 4649 厘 4650 林 4651 淋 4652 燐 4653 琳 4654 臨 4655 輪 4656 隣 4657 鱗 4658 麟 4659 【る】 瑠 4660 塁 4661 涙 4662 累 4663 類 4664 【れ】 令 4665 伶 4666 例 4667 冷 4668 励 4669 嶺 4670 怜 4671 玲 4672 礼 4673 苓 4674 鈴 4675 隷 4676 零 4677 霊 4678 麗 4679 齢 4680 暦 4681 歴 4682 列 4683 劣 4684 烈 4685 裂 4686 廉 4687 恋 4688 憐 4689 漣 4690 煉 4691 簾 4692 練 4693 聯 4694

蓮 4701 連 4702 錬 4703 【ろ】 呂 4704 魯 4705 櫓 4706 炉 4707 賂 4708 路 4709 露 4710 労 4711 婁 4712 廊 4713 弄 4714 朗 4715 楼 4716 榔 4717 浪 4718 漏 4719 牢 4720 狼 4721 篭 4722 老 4723 聾 4724 蝋 4725 郎 4726 六 4727 麓 4728 禄 4729 肋 4730 録 4731 論 4732 【わ】 倭 4733 和 4734 話 4735 歪 4736 賄 4737 脇 4738 惑 4739 枠 4740 鷲 4741 亙 4742 亘 4743 鰐 4744 詫 4745 藁 4746 蕨 4747 椀 4748 湾 4749 碗 4750 腕 4751

弌 4801 丐 4802 丕 4803 个 4804 丱 4805 丶 4806 丼 4807 丿 4808 乂 4809 乖 4810 乘 4811 亂 4812 亅 4813 豫 4814 亊 4815 舒 4816 弍 4817 于 4818 亞 4819 亟 4820 亠 4821 亢 4822 亰 4823 亳 4824 亶 4825 从 4826 仍 4827 仄 4828 仆 4829 仂 4830 仗 4831 仞 4832 仭 4833 仟 4834 价 4835 伉 4836 佚 4837 估 4838 佛 4839 佝 4840 佗 4841 佇 4842 佶 4843 侈 4844 侏 4845 侘 4846 佻 4847 佩 4848 佰 4849 侑 4850 佯 4851 來 4852 侖 4853 儘 4854 俔 4855 俟 4856 俎 4857 俘 4858 俛 4859 俑 4860 俚 4861 俐 4862 俤 4863 俥 4864 倚 4865 倨 4866 倔 4867 倪 4868 倥 4869 倅 4870 伜 4871 俶 4872 倡 4873 倩 4874 倬 4875 俾 4876 俯 4877 們 4878 倆 4879 偃 4880 假 4881 會 4882 偕 4883 偐 4884 偈 4885 做 4886 偖 4887 偬 4888 偸 4889 傀 4890 傚 4891 傅 4892 傴 4893 傲 4894

僉 4901 僊 4902 傳 4903 僂 4904 僖 4905 僞 4906 僥 4907 僭 4908 僣 4909 僮 4910 價 4911 僵 4912 儉 4913 儁 4914 儂 4915 儖 4916 儕 4917 儔 4918 儚 4919 儡 4920 儺 4921 儷 4922 儼 4923 儻 4924 儿 4925 兀 4926 兒 4927 兌 4928 兔 4929 兢 4930 竸 4931 兩 4932 兪 4933 兮 4934 冀 4935 冂 4936 囘 4937 册 4938 冉 4939 冏 4940 冑 4941 冓 4942 冕 4943 冖 4944 冤 4945 冦 4946 冢 4947 冩 4948 冪 4949 冫 4950 决 4951 冱 4952 冲 4953 冰 4954 况 4955 冽 4956 凅 4957 凉 4958 凛 4959 几 4960 處 4961 凩 4962 凭 4963 凰 4964 凵 4965 凾 4966 刄 4967 刋 4968 刔 4969 刎 4970 刧 4971 刪 4972 刮 4973 刳 4974 刹 4975 剏 4976 剄 4977 剋 4978 剌 4979 剞 4980 剔 4981 剪 4982 剴 4983 剩 4984 剳 4985 剿 4986 剽 4987 劍 4988 劔 4989 劒 4990 剱 4991 劈 4992 劑 4993 辨 4994

辧 5001 劬 5002 劭 5003 劼 5004 劵 5005 勁 5006 勍 5007 勗 5008 勞 5009 勣 5010 勦 5011 飭 5012 勠 5013 勳 5014 勵 5015 勸 5016 勹 5017 匆 5018 匈 5019 甸 5020 匍 5021 匐 5022 匏 5023 匕 5024 匚 5025 匣 5026 匯 5027 匱 5028 匳 5029 匸 5030 區 5031 卆 5032 卅 5033 丗 5034 卉 5035 卍 5036 凖 5037 卞 5038 卩 5039 卮 5040 夘 5041 卻 5042 卷 5043 厂 5044 厖 5045 厠 5046 厦 5047 厥 5048 厮 5049 厰 5050 厶 5051 參 5052 簒 5053 雙 5054 叟 5055 曼 5056 燮 5057 叮 5058 叨 5059 叭 5060 叺 5061 吁 5062 吽 5063 呀 5064 听 5065 吭 5066 吼 5067 吮 5068 吶 5069 吩 5070 吝 5071 呎 5072 咏 5073 呵 5074 咎 5075 呟 5076 呱 5077 呷 5078 呰 5079 咒 5080 呻 5081 咀 5082 呶 5083 咄 5084 咐 5085 咆 5086 哇 5087 咢 5088 咸 5089 咥 5090 咬 5091 哄 5092 哈 5093 咨 5094

咫 5101 哂 5102 咤 5103 咾 5104 咼 5105 哘 5106 哥 5107 哦 5108 唏 5109 唔 5110 哽 5111 哮 5112 哭 5113 哺 5114 哢 5115 唹 5116 啀 5117 啣 5118 啌 5119 售 5120 啜 5121 啅 5122 啖 5123 啗 5124 唸 5125 唳 5126 啝 5127 喙 5128 喀 5129 咯 5130 喊 5131 喟 5132 啻 5133 啾 5134 喘 5135 喞 5136 單 5137 啼 5138 喃 5139 喩 5140 喇 5141 喨 5142 嗚 5143 嗅 5144 嗟 5145 嗄 5146 嗜 5147 嗤 5148 嗔 5149 嘔 5150 嗷 5151 嘖 5152 嗾 5153 嗽 5154 嘛 5155 嗹 5156 噎 5157 噐 5158 營 5159 嘴 5160 嘶 5161 嘲 5162 嘸 5163 噫 5164 噤 5165 嘯 5166 噬 5167 噪 5168 嚆 5169 嚀 5170 嚊 5171 嚠 5172 嚔 5173 嚏 5174 嚥 5175 嚮 5176 嚶 5177 嚴 5178 囂 5179 嚼 5180 囁 5181 囃 5182 囀 5183 囈 5184 囎 5185 囑 5186 囓 5187 囗 5188 囮 5189 囹 5190 圀 5191 囿 5192 圄 5193 圉 5194

圈 5201 國 5202 圍 5203 圓 5204 團 5205 圖 5206 嗇 5207 圜 5208 圦 5209 圷 5210 圸 5211 坎 5212 圻 5213 址 5214 坏 5215 坩 5216 埀 5217 垈 5218 坡 5219 坿 5220 垉 5221 垓 5222 垠 5223 垳 5224 垤 5225 垪 5226 垰 5227 埃 5228 埆 5229 埔 5230 埒 5231 埓 5232 堊 5233 埖 5234 埣 5235 堋 5236 堙 5237 堝 5238 塲 5239 堡 5240 塢 5241 塋 5242 塰 5243 毀 5244 塒 5245 堽 5246 塹 5247 墅 5248 墹 5249 墟 5250 墫 5251 墺 5252 壞 5253 墻 5254 墸 5255 墮 5256 壅 5257 壓 5258 壑 5259 壗 5260 壙 5261 壘 5262 壥 5263 壜 5264 壤 5265 壟 5266 壯 5267 壺 5268 壹 5269 壻 5270 壼 5271 壽 5272 夂 5273 夊 5274 夐 5275 夛 5276 梦 5277 夥 5278 夬 5279 夭 5280 夲 5281 夸 5282 夾 5283 竒 5284 奕 5285 奐 5286 奎 5287 奚 5288 奘 5289 奢 5290 奠 5291 奧 5292 奬 5293 奩 5294

奸 5301 妁 5302 妝 5303 佞 5304 侫 5305 妣 5306 妲 5307 姆 5308 姨 5309 姜 5310 妍 5311 姙 5312 姚 5313 娥 5314 娟 5315 娑 5316 娜 5317 娉 5318 娚 5319 婀 5320 婬 5321 婉 5322 娵 5323 娶 5324 婢 5325 婪 5326 媚 5327 媼 5328 媾 5329 嫋 5330 嫂 5331 媽 5332 嫣 5333 嫗 5334 嫦 5335 嫩 5336 嫖 5337 嫺 5338 嫻 5339 嬌 5340 嬋 5341 嬖 5342 嬲 5343 嫐 5344

17 付録

字	コード
嬪	5345
嬶	5346
嬾	5347
孃	5348
孅	5349
孀	5350
孑	5351
孕	5352
孚	5353
孛	5354
孥	5355
孩	5356
孰	5357
孳	5358
孵	5359
學	5360
斈	5361
孺	5362
宀	5363
它	5364
宦	5365
宸	5366
寃	5367
寇	5368
寉	5369
寔	5370
寐	5371
寤	5372
實	5373
寢	5374
寞	5375
寥	5376
寫	5377
寰	5378
寶	5379
寳	5380
尅	5381
將	5382
專	5383
對	5384
尓	5385
尠	5386
尢	5387
尨	5388
尸	5389
尹	5390
屁	5391
屆	5392
屎	5393
屓	5394
屐	5401
屏	5402
孱	5403
屬	5404
屮	5405
乢	5406
屶	5407
屹	5408
岌	5409
岑	5410
岔	5411
妛	5412
岫	5413
岻	5414
岶	5415
岼	5416
岷	5417
峅	5418
岾	5419
峇	5420
峙	5421
峩	5422
峽	5423
峺	5424
峭	5425
嶌	5426
峪	5427
崋	5428
崕	5429
崗	5430
嵜	5431
崟	5432
崛	5433
崑	5434
崔	5435
崢	5436
崚	5437
崙	5438
崘	5439
嵌	5440
嵒	5441
嵎	5442
嵋	5443
嵬	5444
嵳	5445
嵶	5446
嶇	5447
嶄	5448
嶂	5449
嶢	5450
嶝	5451
嶬	5452
嶮	5453
嶽	5454
嶐	5455
嶷	5456
嶼	5457
巉	5458
巍	5459
巓	5460
巒	5461
巖	5462
巛	5463
巫	5464
已	5465
巵	5466
帋	5467
帚	5468
帙	5469
帑	5470
帛	5471
帶	5472
帷	5473
幄	5474
幃	5475
幀	5476
幎	5477
幗	5478
幔	5479
幟	5480
幢	5481
幤	5482
幇	5483
幵	5484
并	5485
幺	5486
麼	5487
广	5488
庠	5489
廁	5490
廂	5491
廈	5492
廐	5493
廏	5494
廖	5501
廣	5502
廝	5503
廚	5504
廛	5505
廢	5506
廡	5507
廨	5508
廩	5509
廬	5510
廱	5511
廳	5512
廰	5513
廴	5514
廸	5515
廾	5516
弃	5517
弉	5518
彝	5519
彜	5520
弋	5521
弑	5522
弖	5523
弩	5524
弭	5525
弸	5526
彁	5527
彈	5528
彌	5529
彎	5530
弯	5531
彑	5532
彖	5533
彗	5534
彙	5535
彡	5536
彭	5537
彳	5538
彷	5539
徃	5540
徂	5541
彿	5542
徊	5543
很	5544
徑	5545
徇	5546
從	5547
徙	5548
徘	5549
徠	5550
徨	5551
徭	5552
徼	5553
忖	5554
忻	5555
忤	5556
忸	5557
忱	5558
忝	5559
悳	5560
忿	5561
怡	5562
恠	5563
怙	5564
怐	5565
怩	5566
怎	5567
怱	5568
怛	5569
怕	5570
怫	5571
怦	5572
怏	5573
怺	5574
恚	5575
恁	5576
恪	5577
恷	5578
恟	5579
恊	5580
恆	5581
恍	5582
恣	5583
恃	5584
恤	5585
恂	5586
恬	5587
恫	5588
恙	5589
悁	5590
悍	5591
惧	5592
悃	5593
悚	5594
悄	5601
悛	5602
悖	5603
悗	5604
悒	5605
悧	5606
悋	5607
惡	5608
悸	5609
惠	5610
惓	5611
悴	5612
忰	5613
悽	5614
惆	5615
悵	5616
惘	5617
慍	5618
愕	5619
愆	5620
惶	5621
惷	5622
愀	5623
惴	5624
惺	5625
愃	5626
愡	5627
惻	5628
惱	5629
愍	5630
愎	5631
慇	5632
愾	5633
愨	5634
愧	5635
慊	5636
愿	5637
愼	5638
愬	5639
愴	5640
愽	5641
慂	5642
慄	5643
慳	5644
慷	5645
慘	5646
慙	5647
慚	5648
慫	5649
慴	5650
慯	5651
慥	5652
慱	5653
慟	5654
慝	5655
慓	5656
慵	5657
憙	5658
憖	5659
憇	5660
憬	5661
憔	5662
憚	5663
憊	5664
憑	5665
憫	5666
憮	5667
懌	5668
懊	5669
應	5670
懷	5671
懈	5672
懃	5673
懆	5674
憺	5675
懋	5676
罹	5677
懍	5678
懦	5679
懣	5680
懶	5681
懺	5682
懴	5683
懿	5684
懽	5685
懼	5686
懾	5687
戀	5688
戈	5689
戉	5690
戍	5691
戌	5692
戔	5693
戛	5694
戞	5701
戡	5702
截	5703
戮	5704
戰	5705
戲	5706
戳	5707
扁	5708
扎	5709
扞	5710
扣	5711
扛	5712
扠	5713
扨	5714
扼	5715
抂	5716
抉	5717
找	5718
抒	5719
抓	5720
抖	5721
拔	5722
抃	5723
抔	5724
拗	5725
拑	5726
抻	5727
拏	5728
拿	5729
拆	5730
擔	5731
拈	5732
拜	5733
拌	5734
拊	5735
拂	5736
拇	5737
抛	5738
拉	5739
挌	5740
拮	5741
拱	5742
挧	5743
挂	5744
挈	5745
拯	5746
拵	5747
捐	5748
挾	5749
捍	5750
搜	5751
捏	5752
掖	5753
掎	5754
掀	5755
掫	5756
捶	5757
掣	5758
掏	5759
掉	5760
掟	5761
掵	5762
捫	5763
捩	5764
掾	5765
揩	5766
揀	5767
揆	5768
揣	5769
揉	5770
插	5771
揶	5772
揄	5773
搖	5774
搴	5775
搆	5776
搓	5777
搦	5778
搶	5779
攝	5780
搗	5781
搨	5782
搏	5783
摧	5784
摯	5785
摶	5786
摎	5787
攪	5788
撕	5789
撓	5790
撥	5791
撩	5792
撈	5793
撼	5794
據	5801
擒	5802
擅	5803
擇	5804
撻	5805
擘	5806
擂	5807
擱	5808
擧	5809
舉	5810
擠	5811
擡	5812
抬	5813
擣	5814
擯	5815
攬	5816
擶	5817
擴	5818
擲	5819
擺	5820
攀	5821
擽	5822
攘	5823
攜	5824
攅	5825
攤	5826
攣	5827
攫	5828
攴	5829
攵	5830
攷	5831
收	5832
攸	5833
畋	5834
效	5835
敖	5836
敕	5837
敍	5838
敘	5839
敞	5840
敝	5841
敲	5842
數	5843
斂	5844
斃	5845
變	5846
斛	5847
斟	5848
斫	5849
斷	5850
旃	5851
旆	5852
旁	5853
旄	5854
旌	5855
旒	5856
旛	5857
旙	5858
无	5859
旡	5860
旱	5861
杲	5862
昊	5863
昃	5864
旻	5865
杳	5866
昵	5867
昶	5868
昴	5869
昜	5870
晏	5871
晄	5872
晉	5873
晁	5874
晞	5875
晝	5876
晤	5877
晧	5878
晨	5879
晟	5880
晢	5881
晰	5882
暃	5883
暈	5884
暎	5885
暉	5886
暄	5887
暘	5888
暝	5889
曁	5890
暹	5891
曉	5892
暾	5893
暼	5894
曄	5901
暸	5902
曖	5903
曚	5904
曠	5905
昿	5906
曦	5907
曩	5908
曰	5909
曵	5910
曷	5911
朏	5912
朖	5913
朞	5914
朦	5915
朧	5916
霸	5917
朮	5918
朿	5919
朶	5920
杁	5921
朸	5922
朷	5923
杆	5924
杞	5925
杠	5926
杙	5927
杣	5928
杤	5929
枉	5930
杰	5931
枩	5932
杼	5933
杪	5934
枌	5935
枋	5936
枦	5937
枡	5938
枅	5939
枷	5940
柯	5941
枴	5942
柬	5943
枳	5944
柩	5945
枸	5946
柤	5947
柞	5948
柝	5949
柢	5950
柮	5951
枹	5952
柎	5953
柆	5954
柧	5955
檜	5956
栞	5957
框	5958
栩	5959
桀	5960
桍	5961
栲	5962
桎	5963
梳	5964
栫	5965
桙	5966
档	5967
桷	5968
桿	5969
梟	5970
梏	5971
梭	5972
梔	5973
條	5974
梛	5975
梃	5976
檮	5977
梹	5978
桴	5979
梵	5980
梠	5981
梺	5982
椏	5983
梍	5984
桾	5985
椁	5986
棊	5987
椈	5988
棘	5989
椢	5990
椦	5991
棡	5992
椌	5993
棍	5994
棔	6001
棧	6002
棕	6003
椶	6004
椒	6005
椄	6006
棗	6007
棣	6008
椥	6009
棹	6010
棠	6011
棯	6012
椨	6013
椪	6014
椚	6015
椣	6016
椡	6017
棆	6018
楹	6019
楷	6020
楜	6021
楸	6022
楫	6023
楔	6024
楾	6025
楮	6026
椹	6027
楴	6028
椽	6029
楙	6030
椰	6031
楡	6032
楞	6033
楝	6034
榁	6035
楪	6036
榲	6037
榮	6038
槐	6039
榿	6040
槁	6041
槓	6042
榾	6043
槎	6044
寨	6045
槊	6046
槝	6047
榻	6048
槃	6049
榧	6050
樮	6051
榑	6052
榠	6053
榜	6054
榕	6055
榴	6056
槞	6057
槨	6058
樂	6059
樛	6060
槿	6061
權	6062
槹	6063
槲	6064
槧	6065
樅	6066
榱	6067
樞	6068
槭	6069
樔	6070
槫	6071
樊	6072
樒	6073
櫁	6074
樣	6075
樓	6076
橄	6077
樌	6078
橲	6079
樶	6080
橸	6081
橇	6082
橢	6083
橙	6084
橦	6085
橈	6086
樸	6087
樢	6088
檐	6089
檍	6090
檠	6091
檄	6092
檢	6093
檣	6094
檗	6101
蘗	6102
檻	6103
櫃	6104
櫂	6105
檸	6106
檳	6107
檬	6108
櫞	6109
櫑	6110
櫟	6111
檪	6112
櫚	6113
櫪	6114
櫻	6115
欅	6116
蘖	6117
櫺	6118
欒	6119
欖	6120
鬱	6121
欟	6122
欸	6123
欷	6124
盜	6125
欹	6126
飮	6127
歇	6128
歃	6129
歉	6130
歐	6131
歙	6132
歔	6133
歛	6134
歟	6135
歡	6136
歸	6137
歹	6138
歿	6139
殀	6140
殄	6141
殃	6142
殍	6143
殘	6144
殕	6145
殞	6146
殤	6147
殪	6148
殫	6149
殯	6150
殲	6151
殱	6152
殳	6153
殷	6154
殼	6155
毆	6156
毋	6157
毓	6158
毟	6159
毬	6160
毫	6161
毳	6162
毯	6163
麾	6164
氈	6165
氓	6166
气	6167
氛	6168
氤	6169
氣	6170
汞	6171
汕	6172
汢	6173
汪	6174
沂	6175
沍	6176
沚	6177
沁	6178
沛	6179
汾	6180
汨	6181
汳	6182
沒	6183
沐	6184
泄	6185
泱	6186
泓	6187
沽	6188
泗	6189
泅	6190
泝	6191
沮	6192
沱	6193
沾	6194
沺	6201
泛	6202
泯	6203
泙	6204
泪	6205
洟	6206
衍	6207
洶	6208
洫	6209
洽	6210
洸	6211
洙	6212
洵	6213
洳	6214
洒	6215
洌	6216
浣	6217
涓	6218
浤	6219
浚	6220
浹	6221
浙	6222
涎	6223
涕	6224
濤	6225
涅	6226
淹	6227
渕	6228
渊	6229
涵	6230
淇	6231
淦	6232
涸	6233
淆	6234
淬	6235
淞	6236
淌	6237
淨	6238
淒	6239
淅	6240
淺	6241
淙	6242
淤	6243
淕	6244
淪	6245
淮	6246
渭	6247
湮	6248
渮	6249
渙	6250
湲	6251
湟	6252
渾	6253
渣	6254
湫	6255
渫	6256
湶	6257
湍	6258
渟	6259
湃	6260
渺	6261
湎	6262
渤	6263
滿	6264
渝	6265
游	6266
溂	6267
溪	6268
溘	6269
滉	6270
溷	6271
滓	6272
溽	6273
溯	6274
滄	6275
溲	6276
滔	6277
滕	6278
溏	6279
溥	6280
滂	6281
溟	6282
潁	6283
漑	6284
灌	6285
滬	6286
滸	6287
滾	6288
漿	6289
滲	6290
漱	6291
滯	6292
漲	6293
滌	6294
漾	6301
漓	6302
滷	6303
澆	6304
潺	6305
潸	6306
澁	6307
澀	6308
潯	6309
潛	6310
濳	6311
潭	6312
澂	6313
潼	6314
潘	6315
澎	6316
澑	6317
濂	6318
潦	6319
澳	6320
澣	6321
澡	6322
澤	6323
澹	6324
濆	6325
澪	6326
濟	6327
濕	6328
濬	6329
濔	6330
濘	6331
濱	6332
濮	6333
濛	6334
瀉	6335
瀋	6336
濺	6337
瀑	6338
瀁	6339
瀏	6340
濾	6341
瀛	6342
瀚	6343
潴	6344
瀝	6345
瀘	6346
瀟	6347
瀰	6348
瀾	6349
瀲	6350
灑	6351
灣	6352
炙	6353
炒	6354
炯	6355
烱	6356
炬	6357
炸	6358
炳	6359
炮	6360
烟	6361
烋	6362
烝	6363
烙	6364
焉	6365
烽	6366
焜	6367
焙	6368
煥	6369
煕	6370
熈	6371
煦	6372
煢	6373
煌	6374
煖	6375
煬	6376
熏	6377
燻	6378
熄	6379
熕	6380
熨	6381
熬	6382
燗	6383
熹	6384
熾	6385
燒	6386
燉	6387
燔	6388
燎	6389
燠	6390
燬	6391
燧	6392
燵	6393
燼	6394
燹	6401
燿	6402
爍	6403
爐	6404
爛	6405
爨	6406
爭	6407
爬	6408
爰	6409
爲	6410
爻	6411
爼	6412
爿	6413
牀	6414
牆	6415
牋	6416
牘	6417
牴	6418
牾	6419
犂	6420
犁	6421
犇	6422
犒	6423
犖	6424
犢	6425
犧	6426
犹	6427
犲	6428
狃	6429
狆	6430
狄	6431
狎	6432
狒	6433
狢	6434
狠	6435
狡	6436
狹	6437
狷	6438
倏	6439
猗	6440
猊	6441
猜	6442
猖	6443
猝	6444
猴	6445
猯	6446
猩	6447
猥	6448
猾	6449
獎	6450
獏	6451
默	6452
獗	6453
獪	6454
獨	6455
獰	6456
獸	6457
獵	6458
獻	6459
獺	6460
珈	6461
玳	6462
珎	6463
玻	6464
珀	6465
珥	6466
珮	6467
珞	6468
璢	6469
琅	6470
瑯	6471
琥	6472
珸	6473
琲	6474
琺	6475
瑕	6476
琿	6477
瑟	6478
瑙	6479
瑁	6480
瑜	6481
瑩	6482
瑰	6483
瑣	6484
瑪	6485
瑶	6486
瑾	6487
璋	6488
璞	6489
璧	6490
瓊	6491
瓏	6492
瓔	6493
珱	6494
瓠	6501
瓣	6502
瓧	6503
瓩	6504
瓮	6505
瓲	6506
瓰	6507
瓱	6508
瓸	6509
瓷	6510
甄	6511
甃	6512
甅	6513
甌	6514
甎	6515
甍	6516
甕	6517
甓	6518
甞	6519
甦	6520
甬	6521
甼	6522
畄	6523
畍	6524
畊	6525
畉	6526
畛	6527
畆	6528
畚	6529
畩	6530
畤	6531
畧	6532
畫	6533
畭	6534
畸	6535
當	6536
疆	6537
疇	6538
畴	6539
疊	6540
疉	6541
疂	6542
疔	6543
疚	6544
疝	6545
疥	6546
疣	6547
痂	6548
疳	6549
痃	6550
疵	6551
疽	6552
疸	6553
疼	6554
疱	6555
痍	6556
痊	6557
痒	6558
痙	6559
痣	6560
痞	6561
痾	6562
痿	6563
痼	6564
瘁	6565
痰	6566
痺	6567
痲	6568
痳	6569
瘋	6570
瘍	6571
瘉	6572
瘟	6573
瘧	6574
瘠	6575
瘡	6576
瘢	6577
瘤	6578
瘴	6579
瘰	6580
瘻	6581
癇	6582
癈	6583
癆	6584
癜	6585
癘	6586
癡	6587
癢	6588
癨	6589
癩	6590
癪	6591
癧	6592
癬	6593
癰	6594
癲	6601
癶	6602
癸	6603
發	6604
皀	6605
皃	6606
皈	6607
皋	6608
皎	6609
皖	6610
皓	6611
皙	6612
皚	6613
皰	6614
皴	6615
皸	6616
皹	6617
皺	6618
盂	6619
盍	6620
盖	6621
盒	6622
盞	6623
盡	6624
盥	6625
盧	6626
盪	6627
蘯	6628
盻	6629
眈	6630
眇	6631
眄	6632
眩	6633
眤	6634
眞	6635
眥	6636
眦	6637
眛	6638
眷	6639
眸	6640
睇	6641
睚	6642
睨	6643
睫	6644
睛	6645
睥	6646
睿	6647
睾	6648
睹	6649
瞎	6650
瞋	6651
瞑	6652
瞠	6653
瞞	6654
瞰	6655
瞶	6656
瞹	6657
瞿	6658
瞼	6659
瞽	6660
瞻	6661
矇	6662
矍	6663
矗	6664
矚	6665
矜	6666
矣	6667
矮	6668
矼	6669
砌	6670
砒	6671
礦	6672
砠	6673
礪	6674
硅	6675
碎	6676
硴	6677
碆	6678
硼	6679
碚	6680
碌	6681
碣	6682
碵	6683
碪	6684
碯	6685
磑	6686
磆	6687
磋	6688
磔	6689
碾	6690
碼	6691
磅	6692
磊	6693
磬	6694
磧	6701
磚	6702
磽	6703
磴	6704
礇	6705
礒	6706
礑	6707
礙	6708
礬	6709
礫	6710
祀	6711
祠	6712
祗	6713
祟	6714
祚	6715
祕	6716
祓	6717
祺	6718
祿	6719
禊	6720
禝	6721
禧	6722
齋	6723
禪	6724
禮	6725
禳	6726
禹	6727
禺	6728
秉	6729
秕	6730
秧	6731
秬	6732
秡	6733
秣	6734
稈	6735
稍	6736
稘	6737
稙	6738
稠	6739
稟	6740
禀	6741
稱	6742
稻	6743
稾	6744
稷	6745
穃	6746
穗	6747
穉	6748
穡	6749
穢	6750
穩	6751
龝	6752
穰	6753
穹	6754
穽	6755
窈	6756
窗	6757
窕	6758
窘	6759
窖	6760
窩	6761
竈	6762
窰	6763
窶	6764
竅	6765
竄	6766
窿	6767
邃	6768
竇	6769
竊	6770
竍	6771
竏	6772
竕	6773
竓	6774
站	6775
竚	6776
竝	6777
竡	6778

竢 6779
竦 6780
竭 6781
竰 6782
笂 6783
笏 6784
笊 6785
笆 6786
笳 6787
笘 6788
笙 6789
笞 6790
笵 6791
笨 6792
笶 6793
筐 6794

筺 6801
笄 6802
筍 6803
笋 6804
筌 6805
筅 6806
筵 6807
筥 6808
筴 6809
筧 6810
筰 6811
筱 6812
筬 6813
筮 6814
箝 6815
箘 6816
箟 6817
箍 6818
箜 6819
箚 6820
箋 6821
箒 6822
箏 6823
筝 6824
箙 6825
篋 6826
篁 6827
篌 6828
篏 6829
箴 6830
篆 6831
篝 6832
篩 6833
簑 6834
簔 6835
篦 6836
篥 6837
籠 6838
簀 6839
簇 6840
簓 6841
篳 6842
篷 6843
簗 6844
簍 6845
篶 6846
簣 6847
簧 6848
簪 6849
簟 6850
簷 6851
簫 6852
簽 6853
籌 6854
籃 6855
籔 6856
籏 6857
籀 6858
籐 6859
籘 6860
籟 6861
籤 6862
籖 6863
籥 6864
籬 6865
籵 6866
粃 6867
粐 6868
粤 6869
粭 6870
粢 6871
粫 6872
粡 6873
粨 6874
粳 6875
粲 6876
粱 6877
粮 6878
粹 6879
粽 6880
糀 6881
糅 6882
糂 6883
糘 6884
糒 6885
糜 6886
糢 6887
鬻 6888
糯 6889
糲 6890
糴 6891
糶 6892
糺 6893
紆 6894

紂 6901
紜 6902
紕 6903
紊 6904
絅 6905
絋 6906
紮 6907
紲 6908
紿 6909
紵 6910
絆 6911
絳 6912
絖 6913
絎 6914
絲 6915
絨 6916
絮 6917
絏 6918
絣 6919
經 6920
綉 6921
絛 6922
綏 6923
絽 6924
綛 6925
綺 6926
綮 6927
綣 6928
綵 6929
緇 6930
綽 6931
綫 6932
總 6933
綢 6934
綯 6935
緜 6936
綸 6937
綟 6938
綰 6939
緘 6940
緝 6941
緤 6942
緞 6943
緻 6944
緲 6945
緡 6946
縅 6947
縊 6948
縣 6949
縡 6950
縒 6951
縱 6952
縟 6953
縉 6954
縋 6955
縢 6956
繆 6957
繦 6958
縻 6959
縵 6960
縹 6961
繃 6962
縷 6963
縲 6964
縺 6965
繧 6966
繝 6967
繖 6968
繞 6969
繙 6970
繚 6971
繹 6972
繪 6973
繩 6974
繼 6975
繻 6976
纃 6977
緕 6978
繽 6979
辮 6980
繿 6981
纈 6982
纉 6983
續 6984
纒 6985
纐 6986
纓 6987
纔 6988
纖 6989
纎 6990
纛 6991
纜 6992
缸 6993
缺 6994

罅 7001
罌 7002
罍 7003
罎 7004
罐 7005
网 7006
罕 7007
罔 7008
罘 7009
罟 7010
罠 7011
罨 7012
罩 7013
罧 7014
罸 7015
羂 7016
羆 7017
羃 7018
羈 7019
羇 7020
羌 7021
羔 7022
羞 7023
羝 7024
羚 7025
羣 7026
羯 7027
羲 7028
羹 7029
羮 7030
羶 7031
羸 7032
譱 7033
翅 7034
翆 7035
翊 7036
翕 7037
翔 7038
翡 7039
翦 7040
翩 7041
翳 7042
翹 7043
飜 7044
耆 7045
耄 7046
耋 7047
耒 7048
耘 7049
耙 7050
耜 7051
耡 7052
耨 7053
耿 7054
耻 7055
聊 7056
聆 7057
聒 7058
聘 7059
聚 7060
聟 7061
聢 7062
聨 7063
聳 7064
聲 7065
聰 7066
聶 7067
聹 7068
聽 7069
聿 7070
肄 7071
肆 7072
肅 7073
肛 7074
肓 7075
肚 7076
肭 7077
冐 7078
肬 7079
胛 7080
胥 7081
胙 7082
胝 7083
胄 7084
胚 7085
胖 7086
脉 7087
胯 7088
胱 7089
脛 7090
脩 7091
脣 7092
脯 7093
腋 7094

隋 7101
腆 7102
脾 7103
腓 7104
腑 7105
胼 7106
腱 7107
腮 7108
腥 7109
腦 7110
腴 7111
膃 7112
膈 7113
膊 7114
膀 7115
膂 7116
膠 7117
膕 7118
膤 7119
膣 7120
腟 7121
膓 7122
膩 7123
膰 7124
膵 7125
膾 7126
膸 7127
膽 7128
臀 7129
臂 7130
膺 7131
臉 7132
臍 7133
臑 7134
臙 7135
臘 7136
臈 7137
臚 7138
臟 7139
臠 7140
臧 7141
臺 7142
臻 7143
臾 7144
舁 7145
舂 7146
舅 7147
與 7148
舊 7149
舍 7150
舐 7151
舖 7152
舩 7153
舫 7154
舸 7155
舳 7156
艀 7157
艙 7158
艘 7159
艝 7160
艚 7161
艟 7162
艤 7163
艢 7164
艨 7165
艪 7166
艫 7167
舮 7168
艱 7169
艷 7170
艸 7171
艾 7172
芍 7173
芒 7174
芫 7175
芟 7176
芻 7177
芬 7178
苡 7179
苣 7180
苟 7181
苒 7182
苴 7183
苳 7184
苺 7185
莓 7186
范 7187
苻 7188
苹 7189
苞 7190
茆 7191
苜 7192
茉 7193
苙 7194

茵 7201
茴 7202
茖 7203
茲 7204
茱 7205
荀 7206
茹 7207
荐 7208
荅 7209
茯 7210
茫 7211
茗 7212
茘 7213
莅 7214
莚 7215
莪 7216
莟 7217
莢 7218
莖 7219
茣 7220
莎 7221
莇 7222
莊 7223
荼 7224
莵 7225
荳 7226
荵 7227
莠 7228
莉 7229
莨 7230
菴 7231
萓 7232
菫 7233
菎 7234
菽 7235
萃 7236
菘 7237
萋 7238
菁 7239
菷 7240
萇 7241
菠 7242
菲 7243
萍 7244
萢 7245
萠 7246
莽 7247
萸 7248
蔆 7249
菻 7250
葭 7251
萪 7252
萼 7253
蕚 7254
蒄 7255
葷 7256
葫 7257
蒭 7258
葮 7259
蒂 7260
葩 7261
葆 7262
萬 7263
葯 7264
葹 7265
萵 7266
蓊 7267
葢 7268
蒹 7269
蒿 7270
蒟 7271
蓙 7272
蓍 7273
蒻 7274
蓚 7275
蓐 7276
蓁 7277
蓆 7278
蓖 7279
蒡 7280
蔡 7281
蓿 7282
蓴 7283
蔗 7284
蔘 7285
蔬 7286
蔟 7287
蔕 7288
蔔 7289
蓼 7290
蕀 7291
蕣 7292
蕘 7293
蕈 7294

蕁 7301
蘂 7302
蕋 7303
蕕 7304
薀 7305
薤 7306
薈 7307
薑 7308
薊 7309
薨 7310
蕭 7311
薔 7312
薛 7313
藪 7314
薇 7315
薜 7316
蕷 7317
蕾 7318
薐 7319
藉 7320
薺 7321
藏 7322
薹 7323
藐 7324
藕 7325
藝 7326
藥 7327
藜 7328
藹 7329
蘊 7330
蘓 7331
蘋 7332
藾 7333
藺 7334
蘆 7335
蘢 7336
蘚 7337
蘰 7338
蘿 7339
虍 7340
乕 7341
虔 7342
號 7343
虧 7344
虱 7345
蚓 7346
蚣 7347
蚩 7348
蚪 7349
蚋 7350
蚌 7351
蚶 7352
蚯 7353
蛄 7354
蛆 7355
蚰 7356
蛉 7357
蠣 7358
蚫 7359
蛔 7360
蛞 7361
蛩 7362
蛬 7363
蛟 7364
蛛 7365
蛯 7366
蜒 7367
蜆 7368
蜈 7369
蜀 7370
蜃 7371
蛻 7372
蜑 7373
蜉 7374
蜍 7375
蛹 7376
蜊 7377
蜴 7378
蜿 7379
蜷 7380
蜻 7381
蜥 7382
蜩 7383
蜚 7384
蝠 7385
蝟 7386
蝸 7387
蝌 7388
蝎 7389
蝴 7390
蝗 7391
蝨 7392
蝮 7393
蝙 7394

蝓 7401
蝣 7402
蝪 7403
蠅 7404
螢 7405
螟 7406
螂 7407
螯 7408
蟋 7409
螽 7410
蟀 7411
蟐 7412
雖 7413
螫 7414
蟄 7415
螳 7416
蟇 7417
蟆 7418
螻 7419
蟯 7420
蟲 7421
蟠 7422
蠏 7423
蠍 7424
蟾 7425
蟶 7426
蟷 7427
蠎 7428
蟒 7429
蠑 7430
蠖 7431
蠕 7432
蠢 7433
蠡 7434
蠱 7435
蠶 7436
蠹 7437
蠧 7438
蠻 7439
衄 7440
衂 7441
衒 7442
衙 7443
衞 7444
衢 7445
衫 7446
袁 7447
衾 7448
袞 7449
衵 7450
衽 7451
袵 7452
衲 7453
袂 7454
袗 7455
袒 7456
袮 7457
袙 7458
袢 7459
袍 7460
袤 7461
袰 7462
袿 7463
袱 7464
裃 7465
裄 7466
裔 7467
裘 7468
裙 7469
裝 7470
裹 7471
褂 7472
裼 7473
裴 7474
裨 7475
裲 7476
褄 7477
褌 7478
褊 7479
褓 7480
襃 7481
褞 7482
褥 7483
褪 7484
褫 7485
襁 7486
襄 7487
褻 7488
褶 7489
褸 7490
襌 7491
褝 7492
襠 7493
襞 7494

襦 7501
襤 7502
襭 7503
襪 7504
襯 7505
襴 7506
襷 7507
襾 7508
覃 7509
覈 7510
覊 7511
覓 7512
覘 7513
覡 7514
覩 7515
覦 7516
覬 7517
覯 7518
覲 7519
覺 7520
覽 7521
覿 7522
觀 7523
觚 7524
觜 7525
觝 7526
觧 7527
觴 7528
觸 7529
訃 7530
訖 7531
訐 7532
訌 7533
訛 7534
訝 7535
訥 7536
訶 7537
詁 7538
詛 7539
詒 7540
詆 7541
詈 7542
詼 7543
詭 7544
詬 7545
詢 7546
誅 7547
誂 7548
誄 7549
誨 7550
誡 7551
誑 7552
誥 7553
誦 7554
誚 7555
誣 7556
諄 7557
諍 7558
諂 7559
諚 7560
諫 7561
諳 7562
諧 7563
諤 7564
諱 7565
謔 7566
諠 7567
諢 7568
諷 7569
諞 7570
諛 7571
謌 7572
謇 7573
謚 7574
諡 7575
謖 7576
謐 7577
謗 7578
謠 7579
謳 7580
鞫 7581
謦 7582
謫 7583
謾 7584
謨 7585
譁 7586
譌 7587
譏 7588
譎 7589
證 7590
譖 7591
譛 7592
譚 7593
譫 7594

譟 7601
譬 7602
譯 7603
譴 7604
譽 7605
讀 7606
讌 7607
讎 7608
讒 7609
讓 7610
讖 7611
讙 7612
讚 7613
谺 7614
豁 7615
谿 7616
豈 7617
豌 7618
豎 7619
豐 7620
豕 7621
豢 7622
豬 7623
豸 7624
豺 7625
貂 7626
貉 7627
貅 7628
貊 7629
貍 7630
貎 7631
貔 7632
豼 7633
貘 7634
戝 7635
貭 7636
貪 7637
貽 7638
貲 7639
貳 7640
貮 7641
貶 7642
賈 7643
賁 7644
賤 7645
賣 7646
賚 7647
賽 7648
賺 7649
賻 7650
贄 7651
贅 7652
贊 7653
贇 7654
贏 7655
贍 7656
贐 7657
齎 7658
贓 7659
賍 7660
贔 7661
贖 7662
赧 7663
赭 7664
赱 7665
赳 7666
趁 7667
趙 7668
跂 7669
趾 7670
趺 7671
跏 7672
跚 7673
跖 7674
跌 7675
跛 7676
跋 7677
跪 7678
跫 7679
跟 7680
跣 7681
跼 7682
踈 7683
踉 7684
跿 7685
踝 7686
踞 7687
踐 7688
踟 7689
蹂 7690
踵 7691
踰 7692
踴 7693
蹊 7694

蹇 7701
蹉 7702
蹌 7703
蹐 7704
蹈 7705
蹙 7706
蹤 7707
蹠 7708
踪 7709
蹣 7710
蹕 7711
蹶 7712
蹲 7713
蹼 7714
躁 7715
躇 7716
躅 7717
躄 7718
躋 7719
躊 7720
躓 7721
躑 7722
躔 7723
躙 7724
躪 7725
躡 7726
躬 7727
躰 7728
軆 7729
躱 7730
躾 7731
軅 7732
軈 7733
軋 7734
軛 7735
軣 7736
軼 7737
軻 7738
軫 7739
軾 7740
輊 7741
輅 7742
輕 7743
輒 7744
輙 7745
輓 7746
輜 7747
輟 7748
輛 7749
輌 7750
輦 7751
輳 7752
輻 7753
輹 7754
轅 7755
轂 7756
輾 7757
轌 7758
轉 7759
轆 7760
轎 7761
轗 7762
轜 7763
轢 7764
轣 7765
轤 7766
辜 7767
辟 7768
辣 7769
辭 7770
辯 7771
辷 7772
迚 7773
迥 7774
迢 7775
迪 7776
迯 7777
邇 7778
迴 7779
逅 7780
迹 7781
迺 7782
逑 7783
逕 7784
逡 7785
逍 7786
逞 7787
逖 7788
逋 7789
逧 7790
逶 7791
逵 7792
逹 7793
迸 7794

遏 7801
遐 7802
遑 7803
遒 7804
逎 7805
遉 7806
逾 7807
遖 7808
遘 7809
遞 7810
遨 7811
遯 7812
遶 7813
隨 7814
遲 7815
邂 7816
遽 7817
邁 7818
邀 7819
邊 7820
邉 7821
邏 7822
邨 7823
邯 7824
邱 7825
邵 7826
郢 7827
郤 7828
扈 7829
郛 7830
鄂 7831
鄒 7832
鄙 7833
鄲 7834
鄰 7835
酊 7836
酖 7837
酘 7838
酣 7839
酥 7840
酩 7841
酳 7842
酲 7843
醋 7844
醉 7845
醂 7846
醢 7847
醫 7848
醯 7849
醪 7850
醵 7851
醴 7852
醺 7853
釀 7854
釁 7855
釉 7856
釋 7857
釐 7858
釖 7859
釟 7860
釡 7861
釛 7862
釼 7863
釵 7864
釶 7865
鈞 7866
釿 7867
鈔 7868
鈬 7869
鈕 7870
鈑 7871
鉞 7872
鉗 7873
鉅 7874
鉉 7875
鉤 7876
鉈 7877
銕 7878
鈿 7879
鉋 7880
鉐 7881
銜 7882
銖 7883
銓 7884
銛 7885
鉚 7886
鋏 7887
銹 7888
銷 7889
鋩 7890
錏 7891
鋺 7892
鍄 7893
錮 7894

錙 7901
錢 7902
錚 7903
錣 7904
錺 7905
錵 7906
錻 7907
鍜 7908
鍠 7909
鍼 7910
鍮 7911
鍖 7912
鎰 7913
鎬 7914
鎭 7915
鎔 7916
鎹 7917
鏖 7918
鏗 7919
鏨 7920
鏥 7921
鏘 7922
鏃 7923
鏝 7924
鏐 7925
鏈 7926
鏤 7927
鐚 7928
鐔 7929
鐓 7930
鐃 7931
鐇 7932
鐐 7933
鐶 7934
鐫 7935
鐵 7936
鐡 7937
鐺 7938
鑁 7939
鑒 7940
鑄 7941
鑛 7942
鑠 7943
鑢 7944
鑞 7945
鑪 7946
鈩 7947
鑰 7948
鑵 7949
鑷 7950
鑽 7951
鑚 7952
鑼 7953
鑾 7954
钁 7955
鑿 7956
閂 7957
閇 7958
閊 7959
閔 7960
閖 7961
閘 7962
閙 7963
閠 7964
閨 7965
閧 7966
閭 7967
閼 7968
閻 7969
閹 7970
閾 7971
闊 7972
濶 7973
闃 7974
闍 7975
闌 7976
闕 7977
闔 7978
闖 7979
關 7980
闡 7981
闥 7982
闢 7983
阡 7984
阨 7985
阮 7986
阯 7987
陂 7988
陌 7989
陏 7990
陋 7991
陷 7992
陜 7993
陞 7994

陝 8001
陟 8002
陦 8003
陲 8004
陬 8005
隍 8006
隘 8007
隕 8008
隗 8009
險 8010
隧 8011
隱 8012
隲 8013
隰 8014
隴 8015
隶 8016
隸 8017
隹 8018
雎 8019
雋 8020
雉 8021
雍 8022
襍 8023
雜 8024
霍 8025
雕 8026
雹 8027
霄 8028
霆 8029
霈 8030
霓 8031
霎 8032
霑 8033
霏 8034
霖 8035
霙 8036
霤 8037
霪 8038
霰 8039
霹 8040
霽 8041
霾 8042
靄 8043
靆 8044
靈 8045
靂 8046
靉 8047
靜 8048
靠 8049
靤 8050
靦 8051
靨 8052
勒 8053
靫 8054
靱 8055
靹 8056
鞅 8057
靼 8058
鞁 8059
靺 8060
鞆 8061
鞋 8062
鞏 8063
鞐 8064
鞜 8065
鞨 8066
鞦 8067
鞣 8068
鞳 8069
鞴 8070
韃 8071
韆 8072
韈 8073
韋 8074
韜 8075
韭 8076
齏 8077
韲 8078
竟 8079
韶 8080
韵 8081
頏 8082
頌 8083
頸 8084
頤 8085
頡 8086
頷 8087
頽 8088
顆 8089
顏 8090
顋 8091
顫 8092
顯 8093
顰 8094

顱 8101
顴 8102
顳 8103
颪 8104
颯 8105
颱 8106
颶 8107
飄 8108
飃 8109
飆 8110
飩 8111
飫 8112
餃 8113
餉 8114
餒 8115
餔 8116
餘 8117
餡 8118
餝 8119
餞 8120
餤 8121
餠 8122
餬 8123
餮 8124
餽 8125
餾 8126
饂 8127
饉 8128
饅 8129
饐 8130
饋 8131
饑 8132
饒 8133
饌 8134
饕 8135
馗 8136
馘 8137
馥 8138
馭 8139
馮 8140
馼 8141
駟 8142
駛 8143
駝 8144
駘 8145
駑 8146
駭 8147
駮 8148
駱 8149
駲 8150
駻 8151
駸 8152
騁 8153
騏 8154
騅 8155
駢 8156
騙 8157
騫 8158
騷 8159
驅 8160
驂 8161
驀 8162
驃 8163
騾 8164
驕 8165
驍 8166
驛 8167
驗 8168
驟 8169
驢 8170
驥 8171
驤 8172
驩 8173
驫 8174
驪 8175
骭 8176
骰 8177
骼 8178
髀 8179
髏 8180
髑 8181
髓 8182
體 8183
髞 8184
髟 8185
髢 8186
髣 8187
髦 8188
髯 8189
髫 8190
髮 8191
髴 8192
髱 8193
髷 8194

髻 8201
鬆 8202
鬘 8203
鬚 8204
鬟 8205
鬢 8206
鬣 8207
鬥 8208
鬧 8209
鬨 8210
鬩 8211
鬪 8212
鬮 8213
鬯 8214
鬲 8215
魄 8216
魃 8217

文字	コード
魏	8218
魍	8219
魎	8220
魑	8221
魘	8222
魴	8223
鮓	8224
鮃	8225
鮑	8226
鮖	8227
鮗	8228
鮟	8229
鮠	8230
鮨	8231
鮴	8232
鯀	8233
鯊	8234
鮹	8235
鯆	8236
鯏	8237
鯑	8238
鯒	8239
鯣	8240
鯢	8241
鯤	8242
鯔	8243
鯡	8244
鰺	8245
鯲	8246
鯱	8247
鯰	8248
鰕	8249
鰔	8250
鰉	8251
鰓	8252
鰌	8253
鰆	8254
鰈	8255
鰒	8256
鰊	8257
鰄	8258
鰮	8259
鰛	8260
鰥	8261
鰤	8262
鰡	8263
鰰	8264
鱇	8265
鰲	8266
鱆	8267
鰾	8268
鱚	8269
鱠	8270
鱧	8271
鱶	8272
鱸	8273
鳧	8274
鳬	8275
鳰	8276
鴉	8277
鴈	8278
鳫	8279
鴃	8280
鴆	8281
鴪	8282
鴦	8283
鶯	8284
鴣	8285
鴟	8286
鵄	8287
鴕	8288
鴒	8289
鵁	8290
鴿	8291
鴾	8292
鵆	8293
鵈	8294
鵝	8301
鵞	8302
鵤	8303
鵑	8304
鵐	8305
鵙	8306
鵲	8307
鶉	8308
鶇	8309
鶫	8310
鵯	8311
鵺	8312
鶚	8313
鶤	8314
鶩	8315
鶲	8316
鷄	8317
鷁	8318
鶻	8319
鶸	8320
鶺	8321
鷆	8322
鷏	8323
鷂	8324
鷙	8325
鷓	8326
鷸	8327
鷦	8328
鷭	8329
鷯	8330
鷽	8331
鸚	8332
鸛	8333
鸞	8334
鹵	8335
鹹	8336
鹽	8337
麁	8338
麈	8339
麋	8340
麌	8341
麒	8342
麕	8343
麑	8344
麝	8345
麥	8346
麩	8347
麸	8348
麪	8349
麭	8350
靡	8351
黌	8352
黎	8353
黏	8354
黐	8355
黔	8356
黜	8357
點	8358
黝	8359
黠	8360
黥	8361
黨	8362
黯	8363
黴	8364
黶	8365
黷	8366
黹	8367
黻	8368
黼	8369
黽	8370
鼇	8371
鼈	8372
皷	8373
鼕	8374
鼡	8375
鼬	8376
鼾	8377
齊	8378
齒	8379
齔	8380
齣	8381
齟	8382
齠	8383
齡	8384
齦	8385
齧	8386
齬	8387
齪	8388
齷	8389
齲	8390
齶	8391
龕	8392
龜	8393
龠	8394
堯	8401
槇	8402
遙	8403
瑤	8404
凜	8405
熙	8406

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内　ボーダフォン携帯電話から157（無料）
紛失・故障受付　ボーダフォン携帯電話から113（無料）

■一般電話からおかけの場合

ご契約地域	お問い合わせ内容	電話番号
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

索引

英数字

あ

か

さ

た

主な仕様

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。

■V801SH

質量	約126g（電池パック装着時）
連続通話時間	約120分（日本モード） 約180分（海外モード）
連続待受時間（折りたたみ時）	約200時間（日本モード） 約220時間（海外モード）
充電時間 （V801SHの電源を切って充電した場合）	急速充電器　：約125分 シガーライター充電器　：約125分
サイズ（幅×高さ×奥行）	約50×102×26mm（アンテナ、突起部を含まず） （折りたたみ時）
最大出力	0.25W（日本モード） 2.0W　（海外モード）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
  連続待受時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、V801SHを閉じた状態で通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によっては、ご利用可能時間が変動することがあります。
- 電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
- パネル照明およびキー照明が点灯している状態での利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多いときは、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
- Vアプリを起動させた状態では、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
- 操作や設定状態によっては、通話時間および待受時間が短くなることがあります。
  （☞P.1-17）
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がありますので、あらかじめご了承ください。

■急速充電器

●本体

電源	AC100-240V、50/60Hz共用
消費電力	11VA
出力電圧／出力電流	DC5.2V／600mA
充電温度範囲	5℃〜35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約66×27×48mm（突起部、コード除く）
コードの長さ	約1.5m

●電源コード

電源	AC100V、50/60Hz共用
コードの長さ	約1.3m

■卓上ホルダー

入力電圧／入力電流	DC5.2V／600mA
出力電圧／出力電流	DC5.2V／600mA
充電温度範囲	5℃〜35℃
サイズ（幅×高さ×奥行）	約62×34×124mm（突起部 除く）

■電池パック

電圧	3.7V
使用電池	リチウムイオン電池
容量	740mAh
外形サイズ（幅×高さ×奥行）	約38×5.9×37mm（突起部 除く）

■ステレオヘッドホン

質量	約14.6g
コードの長さ	約133cm